令和７年度
常磐自動車道
田野高架橋耐震補強工事

契約参考図書
（率計上工事及び概算数量、図面）

令和　７　年　１２　月

東日本高速道路株式会社
関東支社　水戸管理事務所

・契約参考図書は、率計上工事や概算数量などを提示する資料であり、工事請負契約書第1条にいう設計図書でない。（請負契約上拘束力はない）

・当該内容は、受注後に協議を開始する項目であるため、内容に関する質問は受け付けない。

【 図 面 目 録 】田野高架橋耐震補強工事　率計上工事(1/2)

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
1 ～ 3	田野高架橋耐震補強工事　率計上工事　数量総括表 （その1） ～ （その3）	139 ～ 141	久慈川高架橋（上り線） 防護柵・立入防止柵　撤去設置工　平面図 （その1） ～ （その3）
4 ～ 8	田野高架橋（上り線） 上部工排水装置撤去・設置工 （その1） ～ （その5）	142	久慈川高架橋（上り線） 立入防止柵B1　詳細図
9 ～ 38	田野高架橋（上り線） 下部工排水装置撤去・設置工 （その1） ～ （その30）	143	久慈川高架橋（上り線） コンクリートブロック張り撤去図
39	田野高架橋（上り線） 上部工検査路A　撤去工	144	久慈川高架橋（上り線） コンクリートブロック張り復旧図
40 ～ 46	田野高架橋（上り線） 下部工検査路B　撤去・設置工 （その1） ～ （その7）	145 ～ 149	菩提橋（上り線） 排水装置撤去・設置工 （その1） ～ （その5）
47 ～ 49	田野高架橋（上り線） 防護柵・立入防止柵・横断防止柵　撤去設置工　平面図 （その1） ～ （その3）	150 ～ 155	菩提橋（上り線） 下部工検査路撤去・設置工 （その1） ～ （その6）
50	田野高架橋（上り線） P1、P2橋脚コンクリートブロック張り撤去図	156	菩提橋（上り線） ブロック積撤去図
51	田野高架橋（上り線） P4、P5橋脚コンクリートブロック張り撤去図	157	菩提橋（上り線） ブロック積再設置図
52	田野高架橋（上り線） P1、P2橋脚コンクリートブロック張り復旧図	158	菩提橋（上り線） 仮設水路計画図
53	田野高架橋（上り線） P4、P5橋脚コンクリートブロック張り復旧図	159	宮田川橋（上り線） A2橋台　撤去工　耐震連結装置　構造図
54	田野高架橋（上り線） 護岸撤去図	160 ～ 162	宮田川橋（上り線） A1橋台（起点側）撤去・設置工、新設工　検査路構造図 （その1） ～ （その3）
55	田野高架橋（上り線） P8橋脚土のう撤去図	163 ～ 164	宮田川橋（上り線） A1橋台（終点側）撤去・設置工、新設工　検査路構造図 （その1） ～ （その2）
56	田野高架橋（上り線） 護岸復旧図	165 ～ 166	宮田川橋（上り線） P1橋脚　撤去・設置工、新設工　検査路構造図 （その1） ～ （その2）
57	田野高架橋（上り線） P8橋脚土のう設置図	167 ～ 168	宮田川橋（上り線） A2橋台　撤去・設置工、新設工　検査路構造図 （その1） ～ （その2）
58	田野高架橋（上下線） 既設舗装撤去復旧図	169	宮田川橋（上り線） A1橋台（起点側） 撤去・設置工、新設工　排水装置構造図
59	田野高架橋（上り線） 支承防錆図	170 ～ 172	宮田川橋（上り線） P1橋脚　撤去・設置工、新設工　排水装置構造図 （その1） ～ （その3）
60 ～ 64	田野高架橋（下り線） 上部工排水装置撤去・設置工 （その1） ～ （その5）	173	宮田川橋（上り線） 立入防止柵　撤去設置工　平面図
65 ～ 94	田野高架橋（下り線） 下部工排水装置撤去・設置工 （その1） ～ （その30）	174	宮田川橋（上り線） 仮設段差防止構造　撤去・設置図
95	田野高架橋（下り線） 上部工検査路A　撤去工	175	宮田川橋（上り線） ケーブル配置図
96 ～ 103	田野高架橋（下り線） 下部工検査路B　撤去・設置工 （その1） ～ （その8）	176	宮田川橋（下り線） P2橋脚（終点側）撤去工　耐震連結装置　構造図
104 ～ 106	田野高架橋（下り線） 防護柵・立入防止柵・横断防止柵　撤去設置工　平面図 （その1） ～ （その3）	177	宮田川橋（下り線） P2橋脚　撤去工　耐震連結装置　構造図
107	田野高架橋（下り線） P4、P5橋脚コンクリートブロック張り撤去図	178	宮田川橋（下り線） P4橋脚　撤去工　耐震連結装置　構造図
108	田野高架橋（下り線） P4、P5橋脚コンクリートブロック張り復旧図	179	宮田川橋（下り線） P4橋脚（起点側）撤去工　下弦材切断　構造図
109	田野高架橋（下り線） 護岸撤去図	180	宮田川橋（下り線） 仮設段差防止構造　撤去・設置図
110	田野高架橋（下り線） P8橋脚土のう撤去図	181	宮田川橋（下り線） 工事用道路計画図
111	田野高架橋（下り線） 護岸復旧図	182	宮田川橋（下り線） ケーブル配置図
112	田野高架橋（下り線） P8橋脚土のう設置図	183	数沢川橋（上り線） P3橋脚（起点側）撤去工　耐震連結装置　構造図
113 ～ 135	久慈川高架橋（上り線） 排水装置撤去・設置工 （その1） ～ （その23）	184	数沢川橋（上り線） A1橋台　撤去・設置工、新設工　検査路構造図
136 ～ 138	久慈川高架橋（上り線） 下部工検査路撤去・設置工 （その1） ～ （その3）	185 ～ 187	数沢川橋（上り線） P1橋脚（起点側）撤去・設置工、新設工　検査路構造図 （その1） ～ （その3）

【 図 面 目 録 】田野高架橋耐震補強工事 率計上工事(2/2)

図面番号	図面名称	図面番号	図面名称
188 ～ 189	数沢川橋（上り線） P1橋脚（終点側）撤去・設置工、新設工 検査路構造図 （その1） ～ （その2）		
190 ～ 191	数沢川橋（上り線） P2橋脚 撤去・設置工、新設工 検査路構造図 （その1） ～ （その2）		
192 ～ 194	数沢川橋（上り線） P3橋脚（起点側）撤去・設置工、新設工 検査路構造図 （その1） ～ （その3）		
195 ～ 197	数沢川橋（上り線） P3橋脚（終点側）撤去・設置工、新設工 検査路構造図 （その1） ～ （その3）		
198	数沢川橋（上り線） A2橋台 撤去・設置工、新設工 検査路構造図		
199 ～ 201	数沢川橋（上り線） P1橋脚（終点側）撤去・設置工、新設工 排水装置構造図 （その1） ～ （その3）		
202 ～ 204	数沢川橋（上り線） P2橋脚 撤去・設置工、新設工 排水装置構造図 （その1） ～ （その3）		
205 ～ 207	数沢川橋（上り線） P3橋脚（起点側）撤去・設置工、新設工 排水装置構造図 （その1） ～ （その3）		
208 ～ 209	数沢川橋（上り線） 仮設段差防止構造 撤去・設置図 （その1） ～ （その2）		
210	数沢川橋（上り線） ケーブル配置図		

田野高架橋耐震補強工事　率計上工事　数量総括表（その1）

項目番号			特－(9)																								
項目名称			コンクリートブロック積撤去設置工	コンクリートブロック張り撤去設置工	連節ブロック張り撤去設置工	コンクリート平ブロック撤去設置工	大型土のう撤去設置工	仮設水路設置撤去工	排水装置	検査路	防護柵撤去設置工	立入防止柵撤去設置工	立入防止柵撤去設置工	横断防止柵撤去設置工	撤去・設置工		撤去工					支承防錆工	既設舗装撤去復旧工	縁石工撤去復旧	仮設段差防止構造撤去設置工	ケーブル移設工	送水管移設工	工事用道路費
区分								高耐圧ポリエチレン管φ700	排水管A	検査路B	ガードレールGr-C-4E	一般型非積雪地用	B1		排水管A	検査路B	排水管A	検査路A	検査路B	既設耐震連結装置	下弦材撤去						
単位			m2	m2	m2	m2	個	m	m	kg	m	m	m	m	m	kg	m	kg	kg	箇所	kg	箇所	m2	m	kg	m	m	m
田野高架橋	上り線	A1								1.028		30.0							812									
		P1		29.7								26.0			3.572													
		P2		59.4					4.926						5.220		4.920											
		P3							5.746			30.0			6.720		5.739											
		P4		23.6					12.109			26.0			7.720		11.871	0.028										
		P5		82.1					4.825			29.0		25.0	2.260		4.770						12.5	25.0				
		P6							4.964			26.0			7.720		4.907											
		P7							12.234			26.0			7.720		12.265	0.030										
		P8					44.0		6.188						7.720		6.143											
		P9			7.7	46.1			6.391						7.720		6.339											
		P10							11.762			27.0			6.720		11.491	0.028				2						
		P11							4.878						5.720		4.783											
		P12							12.932			26.0			4.920		12.600	0.026				2						
		P13							4.786			26.0			3.860		4.906											
		P14							5.275						2.860		5.270											
		A2								1.081	32.0	37.0							810									
合計			194.8	7.7	46.1	44.0		97.016	2.109	32.0	309.0		25.0	80.452		96.004	0.112	1622			4	12.5	25.0				
田野高架橋	下り線	A1								1079									858									
		P1													3.025													
		P2							5.714						3.860		5.708											
		P3							5.296						6.720		5.289											
		P4		46.5					11.533						7.720		11.858	0.028										
		P5		83.4					4.795						3.860		4.789											
		P6							5.418						7.720		5.229											
		P7							12.260						7.720		12.301	0.028										
		P8					67.0		6.528						6.720		6.335											
		P9			14.4	2.0			6.284						6.720		6.321											
		P10							11.472						6.720		11.258	0.026										
		P11							4.745						5.720		4.680											
		P12							12.907						4.920		12.602	0.028										
		P13							4.912						3.860		4.840											
		P14							5.383						2.860		5.377											
		A2								1107									833									
合計			129.9	14.4	2.0	67.0		97.247	2186					78.145		96.587	0.110	1691										

※田野高架橋（上り線）の立入防止柵撤去設置工、既設舗装撤去復旧工、縁石工撤去復旧の数量は上下線を含む数量を示す。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事	
図面の種類	田野高架橋耐震補強工事 率計上工事　数量総括表（その1）
縮　尺	—
図面番号	1 / 210
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所

田野高架橋耐震補強工事　率計上工事　数量総括表（その2）

項目番号			特－(9)																									
項目名称			コンクリートブロック積撤去設置工	コンクリートブロック張り撤去設置工	連節ブロック張り撤去設置工	コンクリート平ブロック撤去設置工	大型土のう撤去設置工	仮設水路設置撤去工	排水装置	検査路	防護柵撤去設置工	立入防止柵撤去設置工	立入防止柵撤去設置工	横断防止柵撤去設置工	撤去・設置工		撤去工					支承防錆工	既設舗装撤去復旧工	縁石工撤去復旧	仮設段差防止構造撤去設置工	ケーブル移設工	送水管移設工	工事用道路費
区分								高耐圧ポリエチレン管φ700	排水管A	検査路B	ガードレールGr-C-4E	一般型非積雪地用	B1		排水管A	検査路B	排水管A	検査路A	検査路B	既設耐震連結装置	下弦材撤去							
単位			m2	m2	m2	m2	個	m	m	kg	m	m	m	m	m	kg	m	kg	kg	箇所	kg	箇所	m2	m	kg	m	m	m
久慈川高架橋	上り線	A1														40.0												
		P1	196.9						3.935		16.0		14.0		2.488		3.848											
		P2							0.246						7.750		0.269											
		P3							0.246		8.0		10.0		7.061	85.0	0.275											
		P4							1.324		8.0		10.0		7.292	101.0	0.815											
		P5							1.324						7.712		0.815											
		P6							1.324				22.0		8.012		0.815											
		P7							0.386				24.0		8.995	126.0	0.275											
		P8							0.386				6.0		10.195	131.0	0.275											
		P9							1.324				6.0		9.373	131.0	0.815											
		P10							1.324				20.0		9.312		0.815											
		P11							1.324				20.0		9.312		0.815											
		P12							1.324				6.0		9.373	131.0	0.815											
		AP1																										
	合計		196.9						14.467		32.0		138.0		96.875	745.0	10.647											
菩提橋	上り線	A1								1454.0									1383.0									
		P1						70.0	0.386						15.158		0.480											
		P2	171.3						1.046						15.616		1.140											
		A2								1393.0									1378.0									
	合計		171.3					70.0	1.432	2847.0					30.774		1.620		2761.0									

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事	
図面の種類	田野高架橋耐震補強工事 率計上工事　数量総括表（その2）
縮　尺	—
図面番号	2 / 210
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所

田野高架橋耐震補強工事　率計上工事　数量総括表（その3）

項目番号			特－(9)																									
項目名称			コンクリートブロック積撤去設置工	コンクリートブロック張り撤去設置工	連節ブロック張り撤去設置工	コンクリート平ブロック撤去設置工	大型土のう撤去設置工	仮設水路設置撤去工	排水装置	検査路	防護柵撤去設置工	立入防止柵撤去設置工	立入防止柵撤去設置工	横断防止柵撤去設置工	撤去・設置工		撤去工					支承防錆工	既設舗装撤去復旧工	縁石工撤去復旧	仮設段差防止構造撤去設置工	ケーブル移設工	送水管移設工	工事用道路費
区分								高耐圧ポリエチレン管φ700	排水管A	検査路B	ガードレールGr-C-4E	一般型非積雪地用	B1		排水管A	検査路B	排水管A	検査路A	検査路B	既設耐震連結装置	下弦材撤去							
単位			m2	m2	m2	m2	個	m	m	kg	m	m	m	m	m	kg	m	kg	kg	kg	kg	箇所	m2	m	kg	m	m	m
宮田川橋	上り線	A0橋台																										
		A1橋台 起点側								924.0					7.6				745.0									
		A1橋台 終点側								318.0									296.0						990.0			
		P1橋脚 起点側																										
		P1橋脚 終点側							13.3	18.0					18.8	572.0	11.4		16.0									
		A2橋台								318.0									296.0	644.0					990.0		20.0	
	合計								13.3	1578.0					26.4	572.0	11.4		1353.0	644.0					1980.0		20.0	
宮田川橋	下り線	A1橋台																										
		P1橋脚																										
		P2橋脚 起点側																										
		P2橋脚 終点側																		890.0					990.0			500.0
		P3橋脚 起点側																										
		P3橋脚 終点側																										
		P4橋脚 起点側																							990.0			
		P4橋脚 終点側																		112.0	121.0							
		P5橋脚																										
		A2橋台																										
	合計																			1002.0	121.0				1980.0			500.0
数沢川橋	上り線	A1橋台								121.0						1043.0			11.0									
		P1橋脚 起点側								1308.0									1050.0						752.0	12.0		
		P1橋脚 終点側							7.3	162.0					9.2	36.0	15.9		104.0									
		P2橋脚 起点側																										
		P2橋脚 終点側							14.5	332.0					13.1	46.0	26.9		202.0							6.0		
		P3橋脚 起点側								163.0					10.5	34.0	10.5		104.0	502.0					932.0	21.0		
		P3橋脚 終点側								1369.0									1065.0									
		A2橋台								86.0						1105.0			11.0									
	合計								21.8	3541.0					32.8	2264.0	53.3		2547.0	502.0					1684.0	39.0		

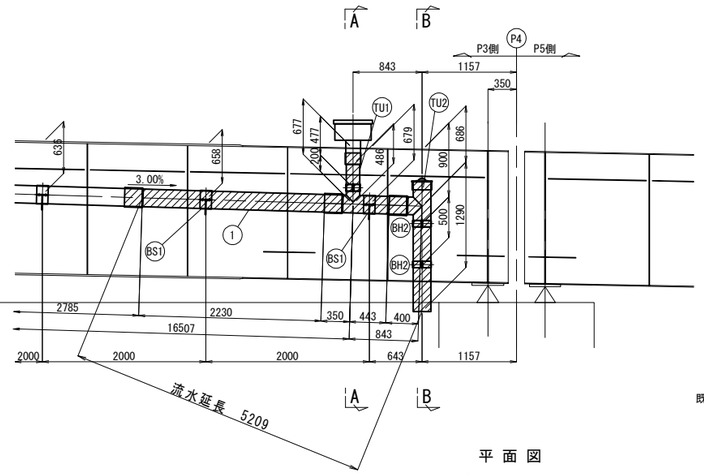
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋耐震補強工事 率計上工事　数量総括表（その3）		
縮　尺	—	図面番号	3 / 210
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 上部工排水装置撤去・設置工 (その1)　S=1:75

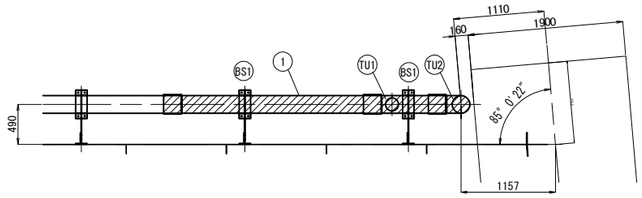
P4橋脚 上部工排水装置位置図

撤去図

側面図

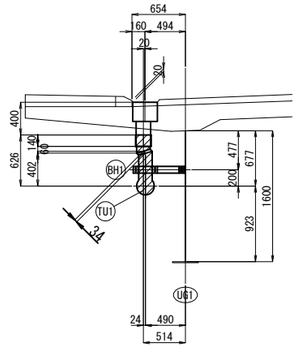


平 面 図

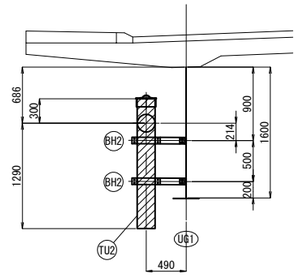


断面図

A － A



B － B



既設排水装置撤去数量：

排水管：

① 1-VP 200Ax2660

TU1 1箇所

TU2 1箇所

排水金具：

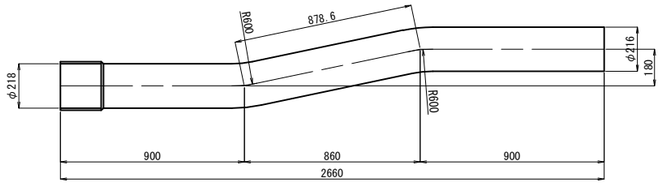
BH1 1箇所

BH2 2箇所

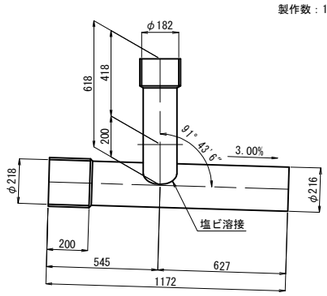
BS1 2箇所

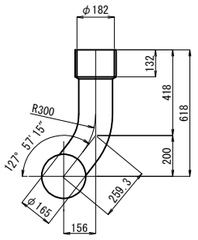
排水管加工詳細　S=1:30

L1
製作数：1

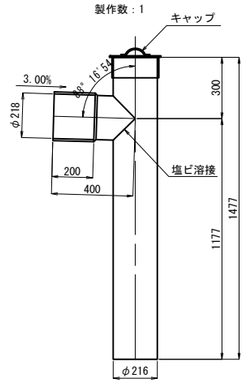


T1
製作数：1



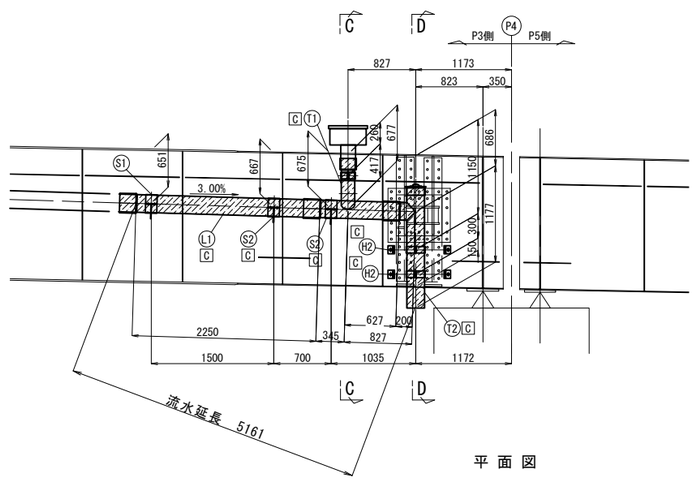


T2
製作数：1

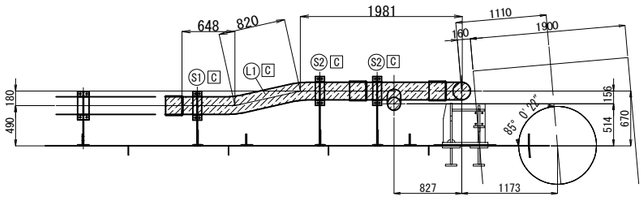


設置図

側面図



平 面 図



凡 例：

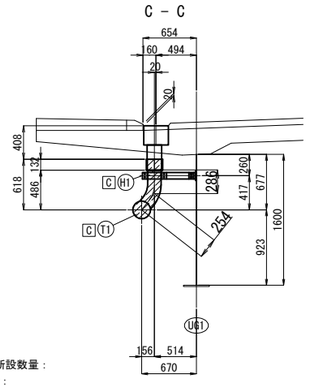
撤去範囲

新設範囲

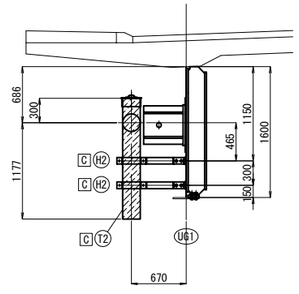
C ：全て新設部材

断面図

C － C



D － D



排水装置新設数量：

排水管：

L1 1箇所

T1 1箇所

T2 1箇所

排水金具：

H1 1箇所

H2 2箇所

S1 1箇所

S2 2箇所

排水管キャップ(VP 200A用)　1箇所

注 記

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
   亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
   但し、ボルト・ナット、板厚3.2mm未満の
   部材は、HDZT49とする。
3. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。
4. 普通ボルトは、全てゆるみ止めナット付きとする。
5. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

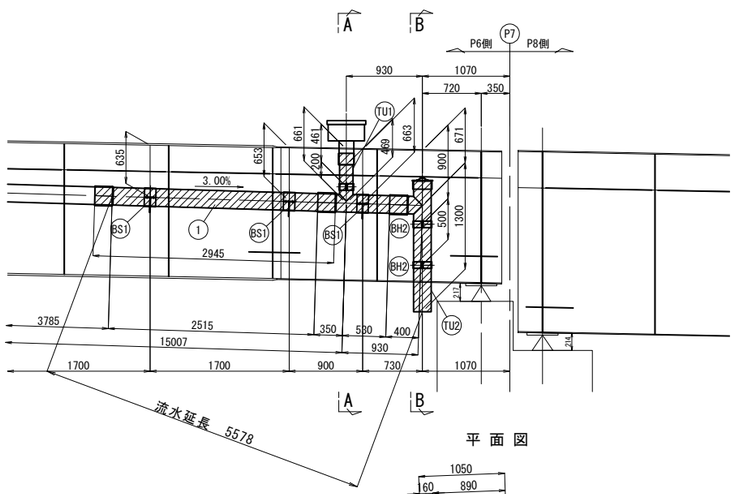
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 上部工排水装置撤去・設置工 (その1)		
縮　尺	図 示	図面番号	4 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 上部工排水装置撤去・設置工 (その2)　S=1:75

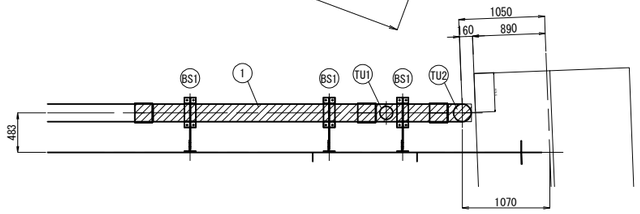
P7橋脚 上部工排水装置位置図

撤去図

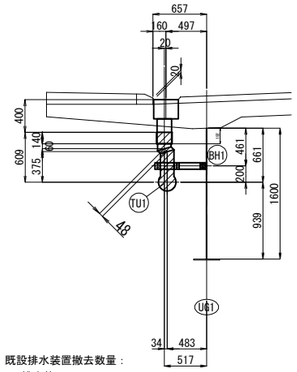
側面図



平 面 図

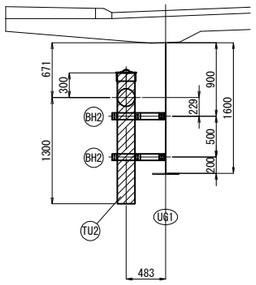


A － A



断面図

B － B



既設排水装置撤去数量：

排水管：

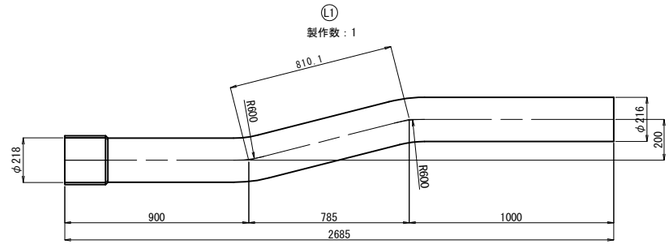
- (1) 1-VP 200Ax2945
- (TU1) 1箇所
- (TU2) 1箇所

排水金具：

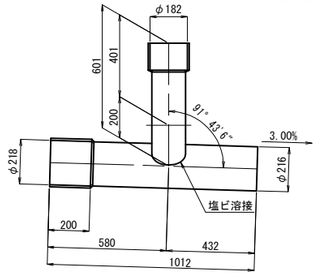
- (BH1) 1箇所
- (BH2) 2箇所
- (BS1) 3箇所

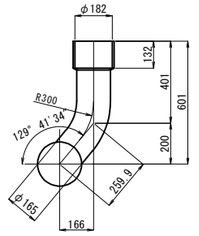
排水管加工詳細　S=1:30

(L1)
製作数：1

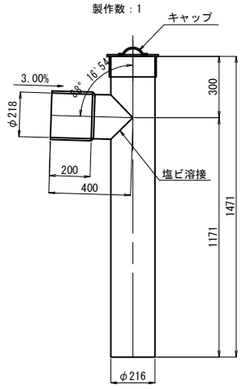


(T1)
製作数：1



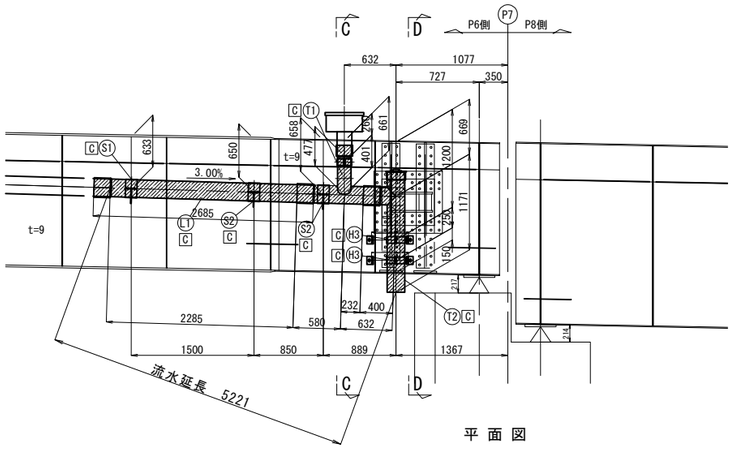


(T2)
製作数：1

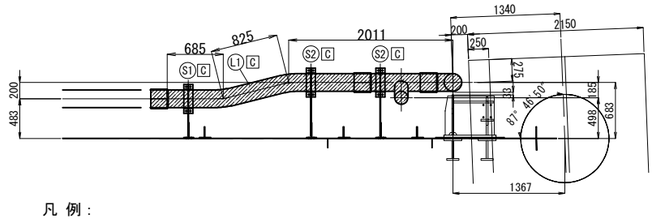


設置図

側面図



平 面 図

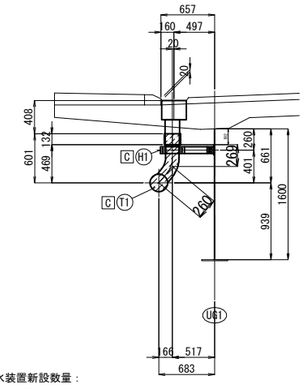


凡 例：

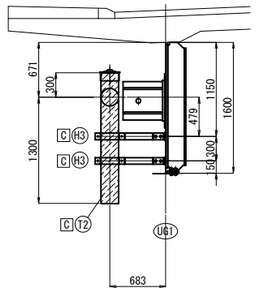
- 撤去範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

断面図

C － C



D － D



排水装置新設数量：

排水管：

- (L1) 1箇所
- (T1) 1箇所
- (T2) 1箇所

排水金具：

- (H1) 1箇所
- (H3) 2箇所
- (S1) 1箇所
- (S2) 2箇所

排水管キャップ(VP 200A用)　1箇所

注 記

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
   亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
   但し、ボルト・ナット、板厚3.2mm未満の
   部材は、HDZT49とする。
3. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。
4. 普通ボルトは、全てゆるみ止めナット付きとする。
5. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

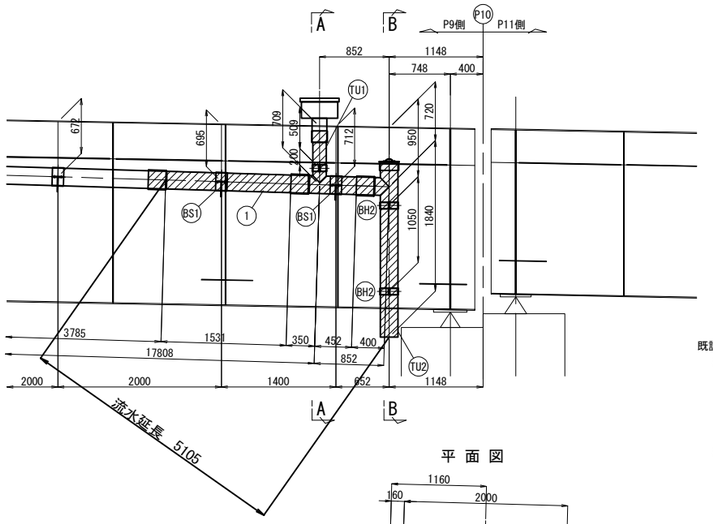
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 上部工排水装置撤去・設置工 (その2)		
縮　尺	図　示	図面番号	5 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 上部工排水装置撤去・設置工 (その3)　S=1:75

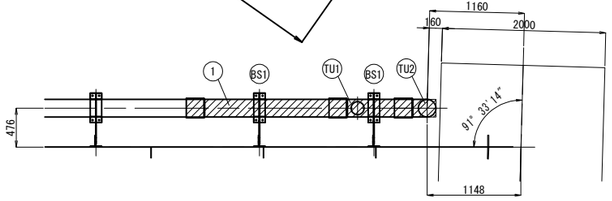
P10橋脚 上部工排水装置位置図

撤去図

側面図

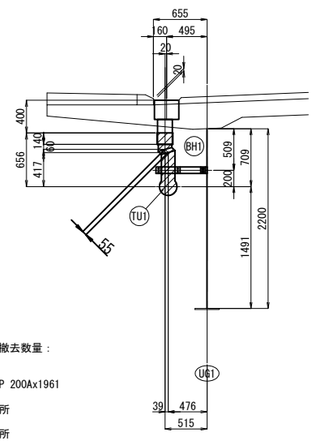


平 面 図

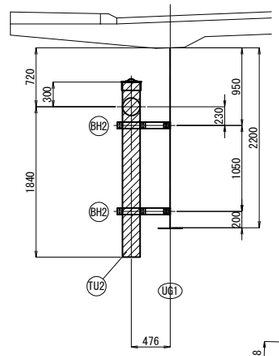


断面図

A － A



B － B



既設排水装置撤去数量：

排水管：

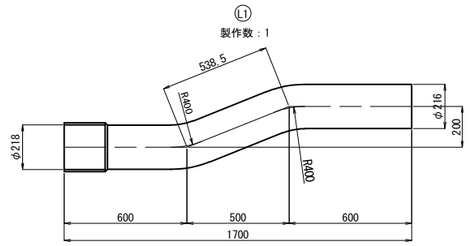
- (1) 1-VP 200Ax1961
- (TU1) 1箇所
- (TU2) 1箇所

排水金具：

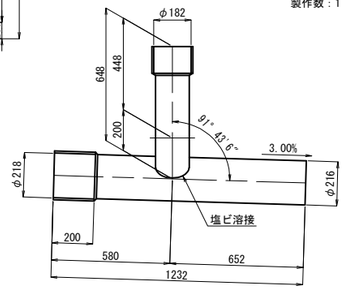
- (BH1) 1箇所
- (BH2) 2箇所
- (BS1) 2箇所

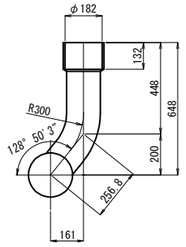
排水管加工詳細　S=1:30

(L1)
製作数：1

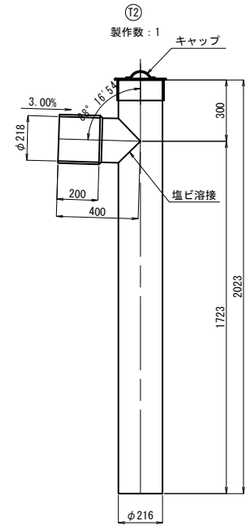


(T1)
製作数：1



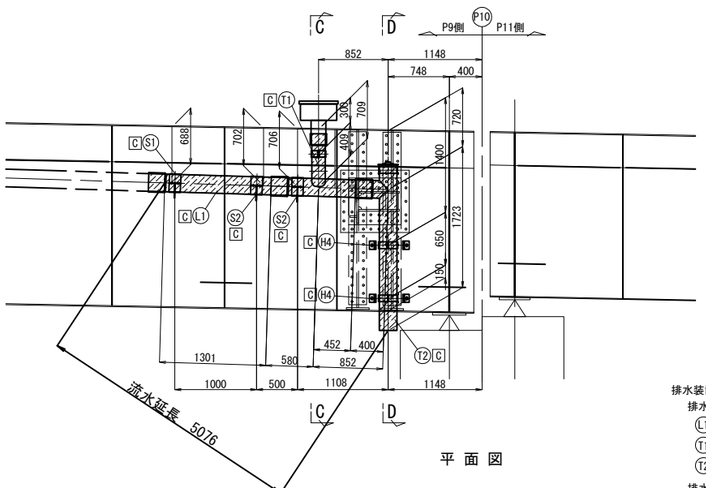


(T2)
製作数：1

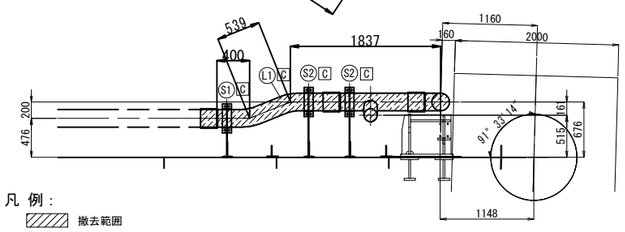


設置図

側面図



平 面 図

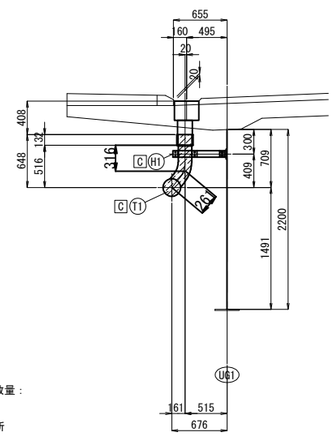


凡 例：

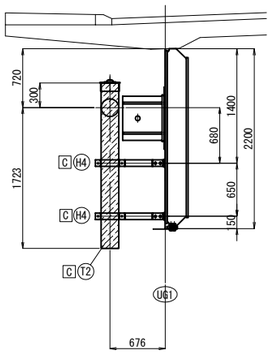
- 撤去範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

断面図

C － C



D － D



排水装置新設数量：

排水管：

- (L1) 1箇所
- (T1) 1箇所
- (T2) 1箇所

排水金具：

- (H1) 1箇所
- (H4) 2箇所
- (S1) 1箇所
- (S2) 2箇所

排水管キャップ(VP 200A用)　1箇所

注 記

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
   亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
   但し、ボルト・ナット、板厚3.2mm未満の
   部材は、HDZT49とする。
3. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。
4. 普通ボルトは、全てゆるみ止めナット付きとする。
5. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

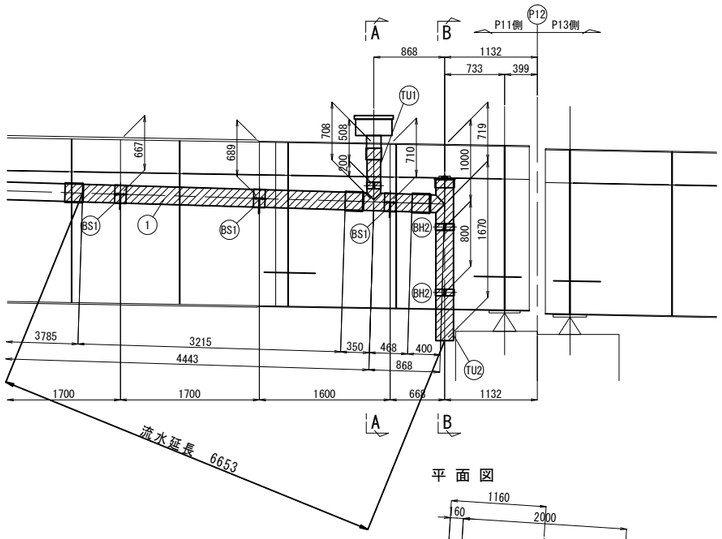
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 上部工排水装置撤去・設置工 (その3)		
縮　尺	図　示	図面番号	6 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 上部工排水装置撤去・設置工 (その4)　S=1:75

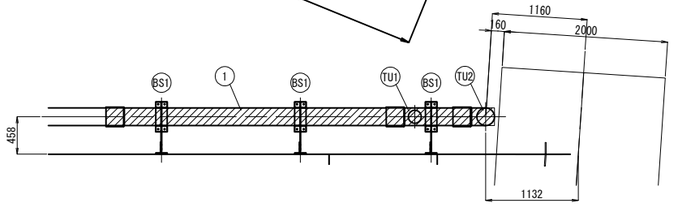
P12橋脚 上部工排水装置位置図

撤去図

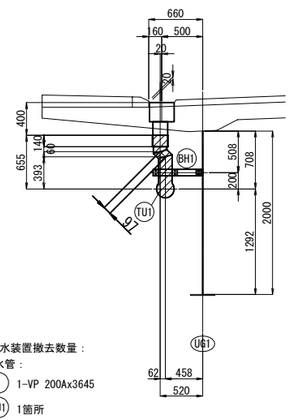
側面図



平 面 図



A － A



既設排水装置撤去数量：

排水管：

① 1-VP 200Ax3645

TU1 1箇所

TU2 1箇所

排水金具：

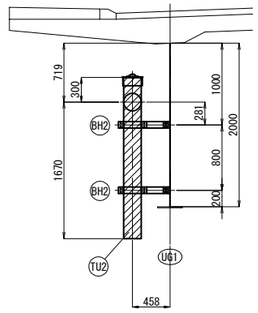
BH1 1箇所

BH2 2箇所

BS1 3箇所

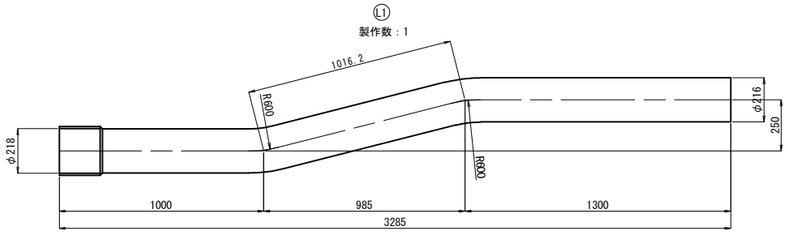
断面図

B － B

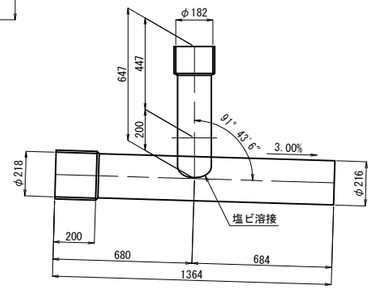


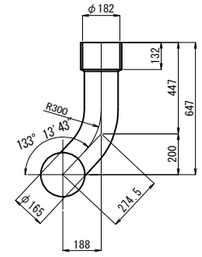
排水管加工詳細　S=1:30

L1
製作数：1

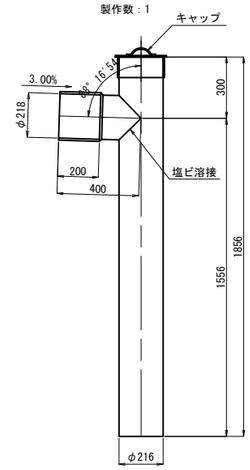


T1
製作数：1



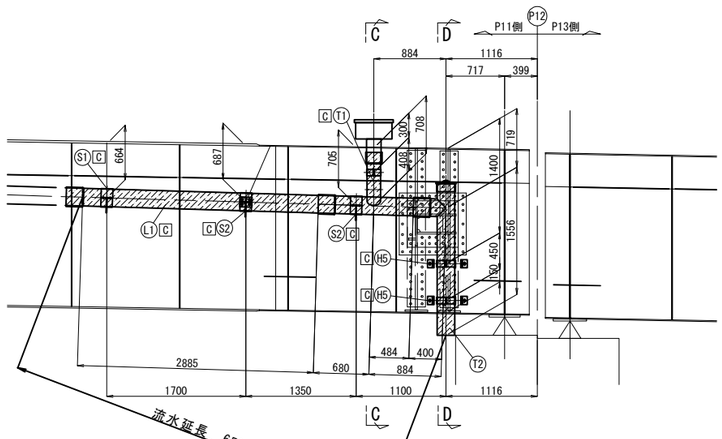


T2
製作数：1

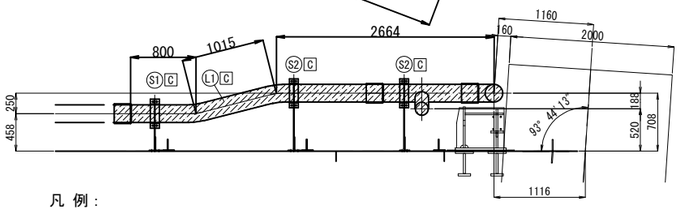


設置図

側面図



平 面 図



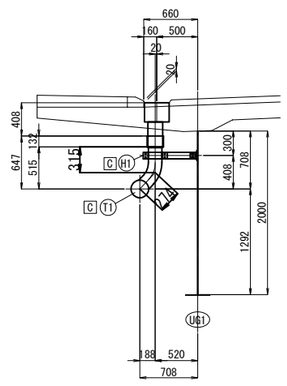
凡 例：

撤去範囲

新設範囲

C ：全て新設部材

C － C



排水装置新設数量：

排水管：

L1 1箇所

T1 1箇所

T2 1箇所

排水金具：

H1 1箇所

H5 2箇所

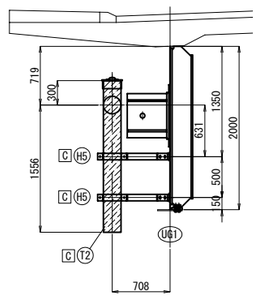
S1 1箇所

S2 2箇所

排水管キャップ(VP 200A用)　1箇所

断面図

D － D



注 記

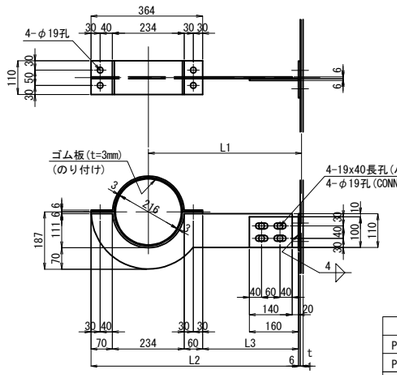
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
   亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
   但し、ボルト・ナット、板厚3.2mm未満の
   部材は、HDZT49とする。
3. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。
4. 普通ボルトは、全てゆるみ止めナット付きとする。
5. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 上部工排水装置撤去・設置工 (その4)		
縮　尺	図　示	図面番号	7 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 上部工排水装置撤去・設置工 (その5) S=1:20

取付金具詳細

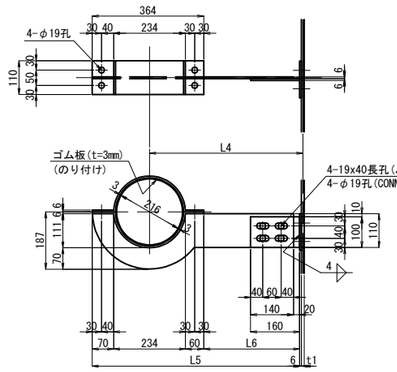
S1
製作数：n1組



2-PL 110x6x488
1-PL 181x6xLL1
1-PL 100x6x160(SM400A)
1-PL 120x6x150(SM400A)
8-BN M16x40(2-W付)
4-BN M16x45(2-W付)
※ 2-ゴム 110x3x340(クロロプレンゴム)

	n1	t1	L1	L2	L3	LL1
P4橋脚	1	9	490	666.5	302.5	647
P7橋脚	1	9	483	659.5	295.5	640
P10橋脚	1	10	476	652	288	632
P12橋脚	1	10	458	634	270	614

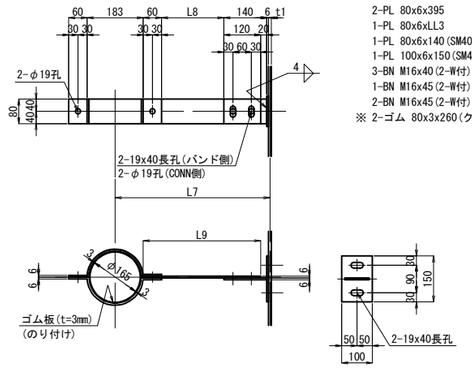
S2
製作数：n2組



2-PL 110x6x488
1-PL 181x6xLL2
1-PL 100x6x160(SM400A)
1-PL 120x6x150(SM400A)
8-BN M16x40(2-W付)
4-BN M16x45(2-W付)
※ 2-ゴム 110x3x340(クロロプレンゴム)

	n2	t1	L4	L5	L6	LL2
P4橋脚	2	9	670	846.5	482.5	827
P7橋脚	2	9	683	859.5	495.5	840
P10橋脚	2	10	676	852	488	832
P12橋脚	2	10	708	884	520	846

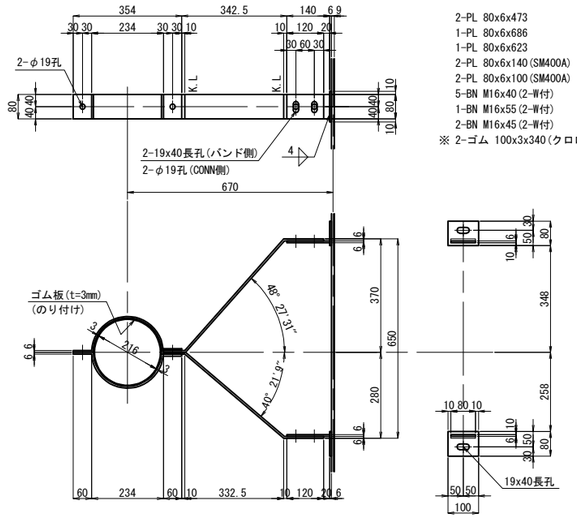
H1
製作数：n3組



2-PL 80x6x395
1-PL 80x6xLL3
1-PL 80x6x140(SM400A)
1-PL 100x6x150(SM400A)
3-BN M16x40(2-W付)
1-BN M16x45(2-W付)
2-BN M16x45(2-W付)
※ 2-ゴム 80x3x260(クロロプレンゴム)

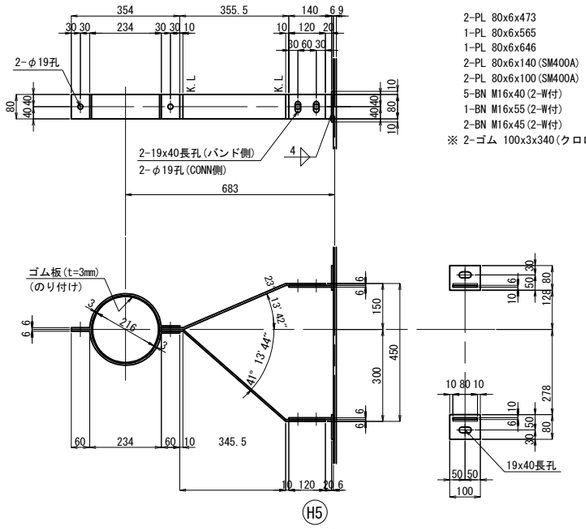
	n3	t1	L7	L8	L9	LL3
P4橋脚	1	9	514	212	392	392
P7橋脚	1	9	517	215	395	395
P10橋脚	1	10	515	212.5	392.5	393
P12橋脚	1	10	520	217.5	397.5	398

H2
P4橋脚
製作数：2組



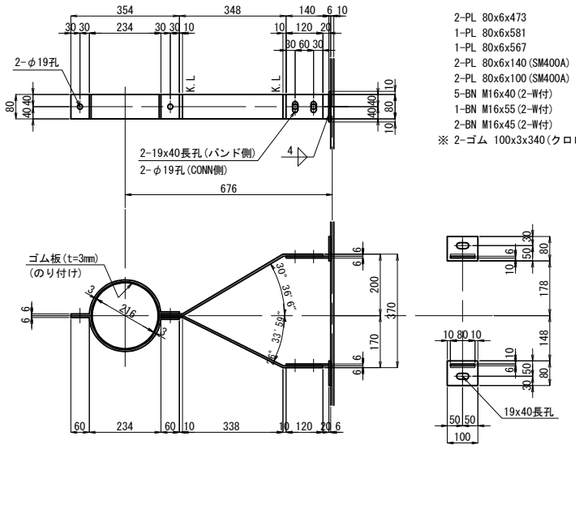
2-PL 80x6x473
1-PL 80x6x686
1-PL 80x6x623
2-PL 80x6x140(SM400A)
2-PL 80x6x100(SM400A)
5-BN M16x40(2-W付)
1-BN M16x55(2-W付)
2-BN M16x45(2-W付)
※ 2-ゴム 100x3x340(クロロプレンゴム)

H3
P7橋脚
製作数：2組



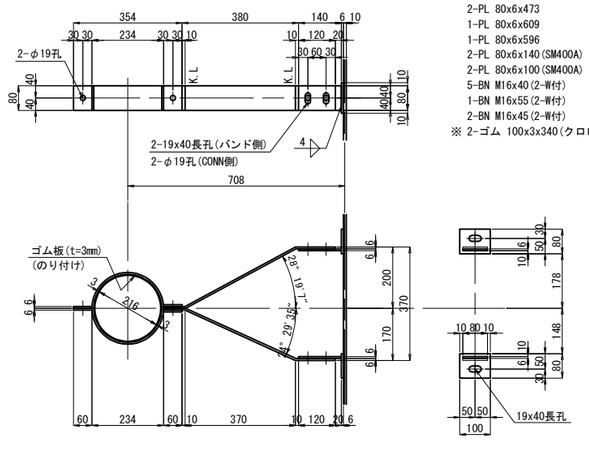
2-PL 80x6x473
1-PL 80x6x565
1-PL 80x6x646
2-PL 80x6x140(SM400A)
2-PL 80x6x100(SM400A)
5-BN M16x40(2-W付)
1-BN M16x55(2-W付)
2-BN M16x45(2-W付)
※ 2-ゴム 100x3x340(クロロプレンゴム)

H4
P10橋脚
製作数：2組



2-PL 80x6x473
1-PL 80x6x581
1-PL 80x6x567
2-PL 80x6x140(SM400A)
2-PL 80x6x100(SM400A)
5-BN M16x40(2-W付)
1-BN M16x55(2-W付)
2-BN M16x45(2-W付)
※ 2-ゴム 100x3x340(クロロプレンゴム)

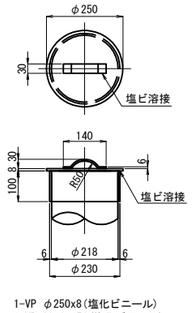
H5
P12橋脚
製作数：2組



2-PL 80x6x473
1-PL 80x6x609
1-PL 80x6x596
2-PL 80x6x140(SM400A)
2-PL 80x6x100(SM400A)
5-BN M16x40(2-W付)
1-BN M16x55(2-W付)
2-BN M16x45(2-W付)
※ 2-ゴム 100x3x340(クロロプレンゴム)

キャップ

P4, P7, P10, P12橋脚
設置数：各1箇所



1-VP φ250x8(塩化ビニール)
1-VP 30x6x156(塩化ビニール)
1-VP 100x6x723(塩化ビニール)

注 記

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
   亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
   但し、ボルト・ナット、板厚3.2mm未満の
   部材は、HDZT49とする。
3. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。
4. 普通ボルトは、全てゆるみ止めナット付きとする。
5. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事	
図面の種類	田野高架橋(上り線) 上部工排水装置撤去・設置工 (その5)
縮尺	図示
図面番号	8 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所

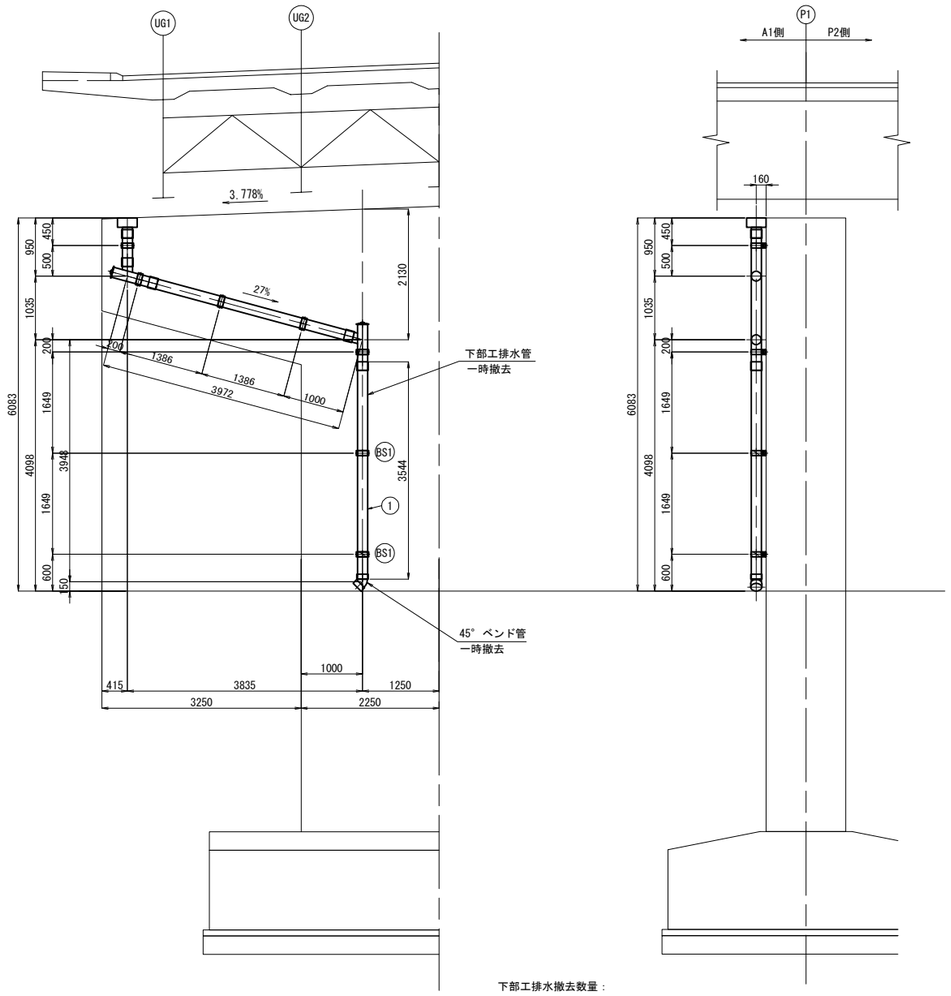
田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その1)

S=1:100

P1橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

正面図



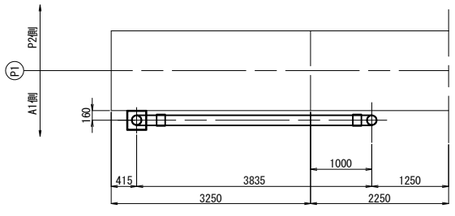
側面図

下部工排水撤去数量：

排水金具：

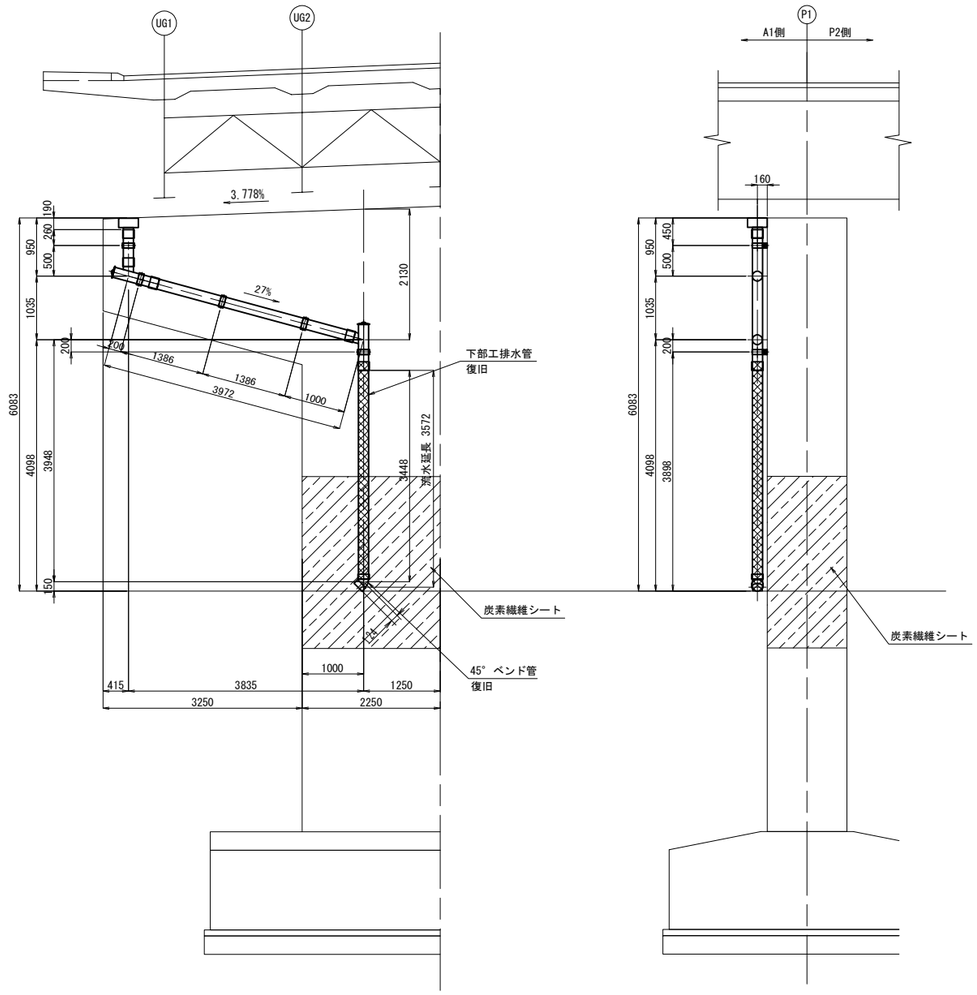
(BS1) 2箇所

平面図



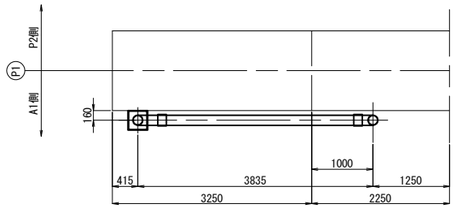
一時撤去(再利用)図

正面図



側面図

平面図



凡 例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常盤自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その1)		
縮　尺	図　示	図面番号	9 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

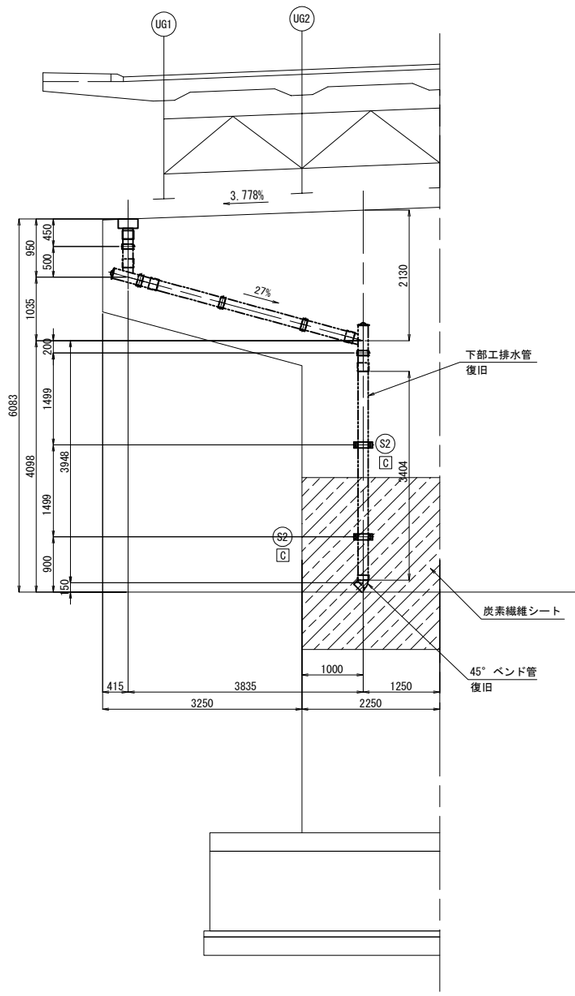
田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その2)

S=1:100

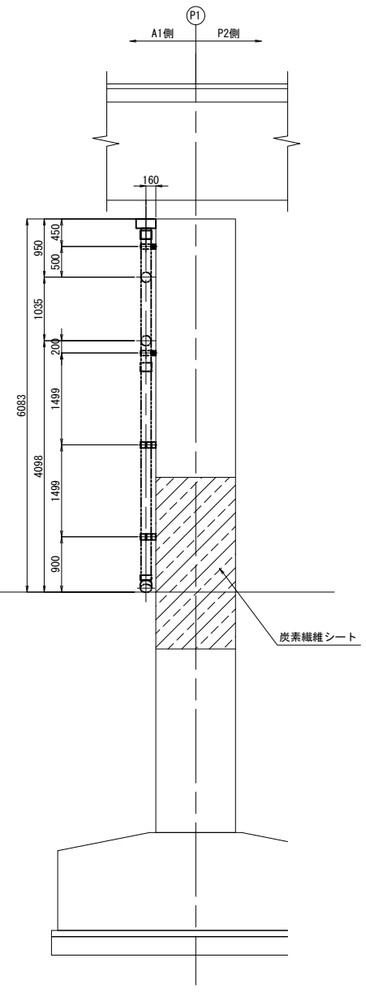
P1橋脚 排水装置 設置工

新設図

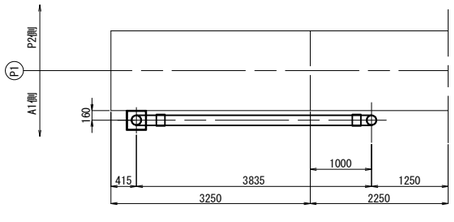
正面図



側面図



平面図



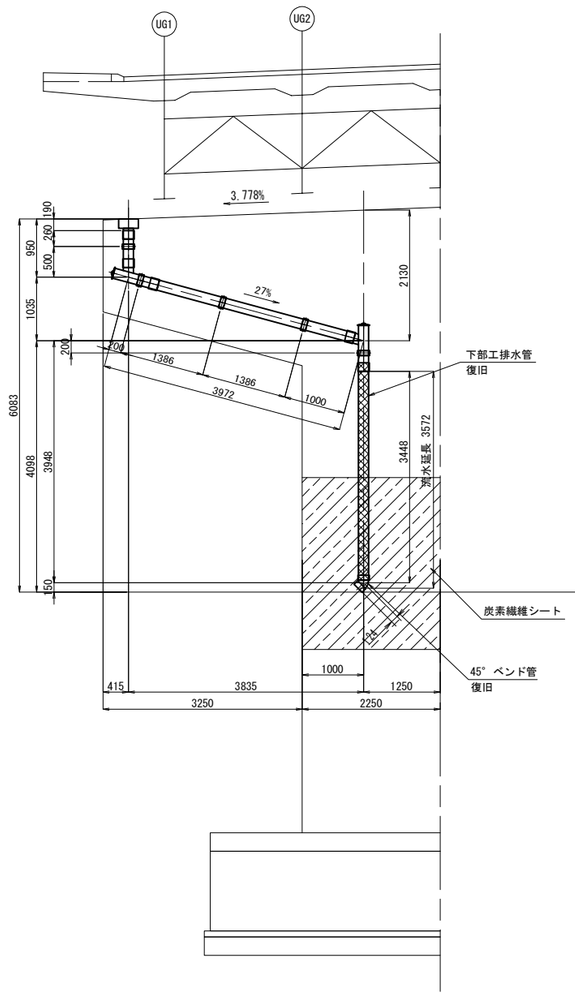
下部工排水新設数量：

排水金具：

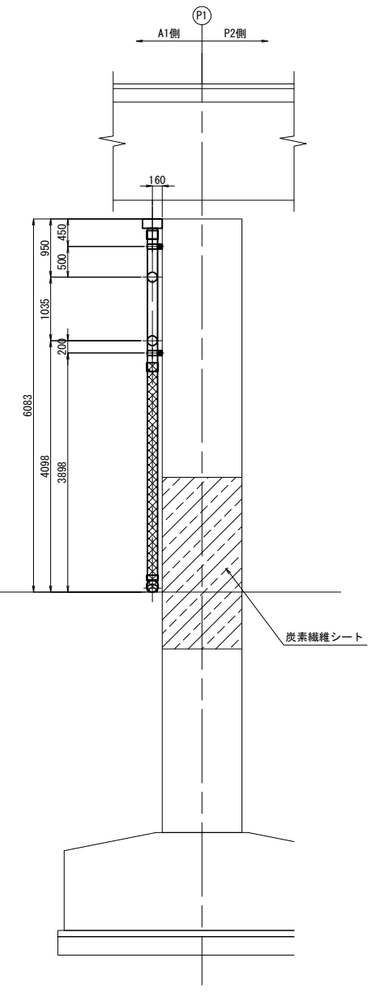
(S2) 2箇所

再利用図

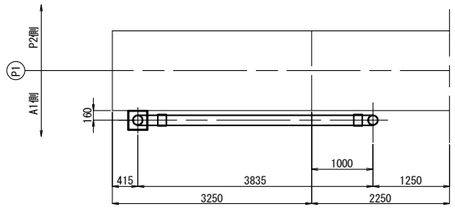
正面図



側面図



平面図



凡 例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その2)		
縮　尺	図　示	図面番号	10 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

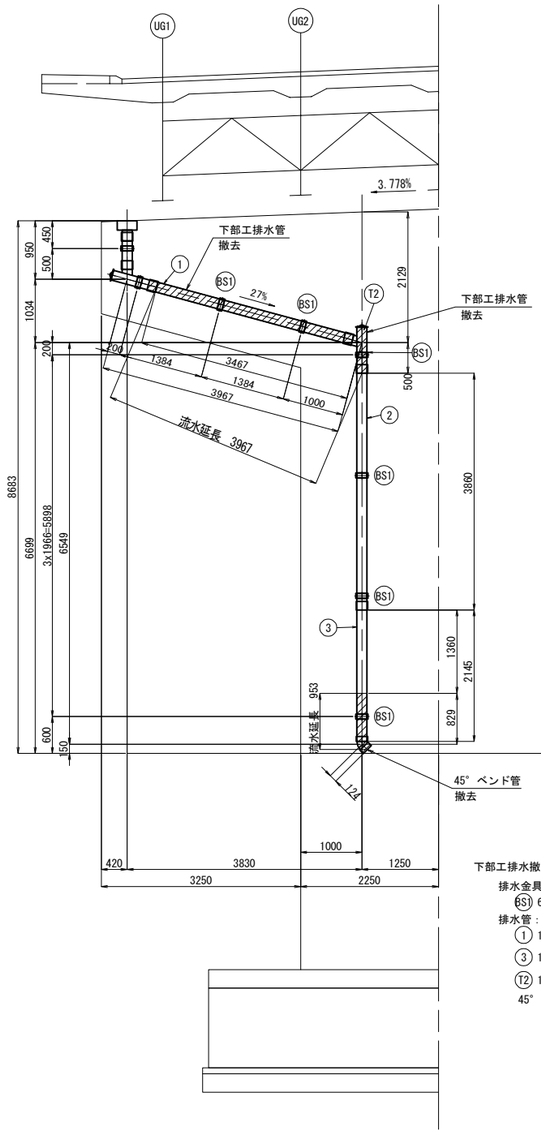
田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その3)

S=1:100

P2橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

正面図



下部工排水撤去数量：

排水金具：

BS1 6箇所

排水管：

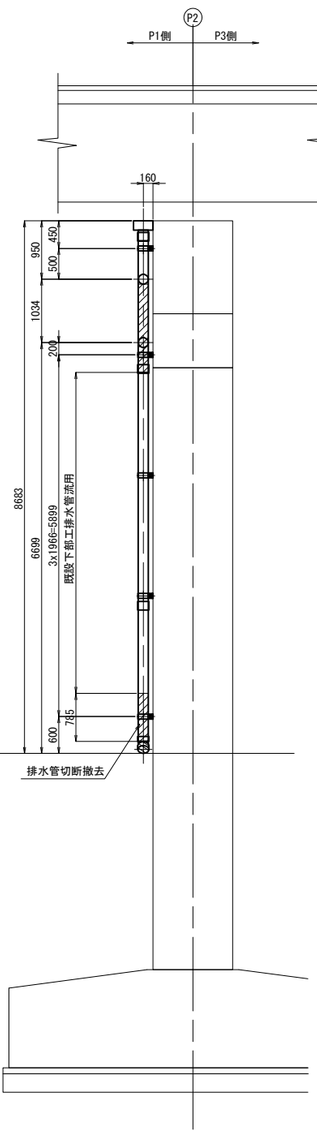
① 1-VP 150Ax3447

③ 1-VP 150Ax785(切断撤去)

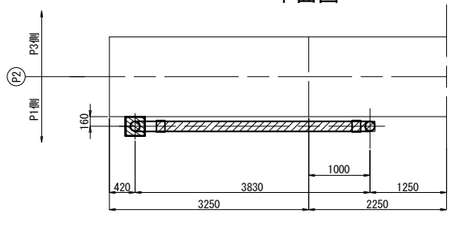
T2 1箇所

45° ベンド管 1箇所

側面図



平面図



凡 例：

撤去範囲

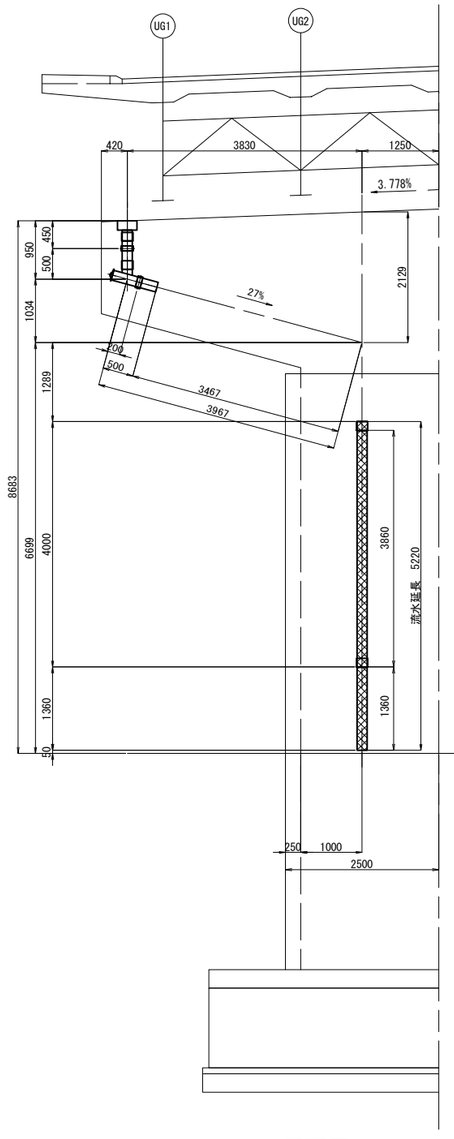
流用範囲

新設範囲

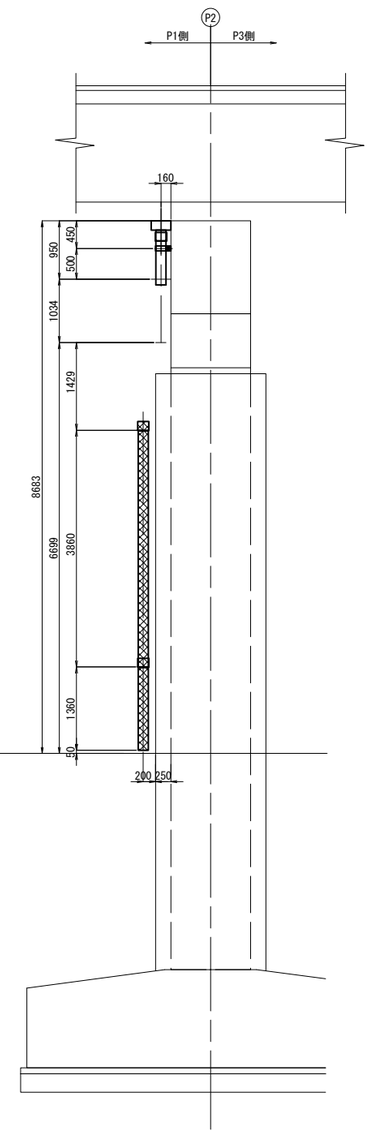
C ：全て新設部材

一時撤去(再利用)図

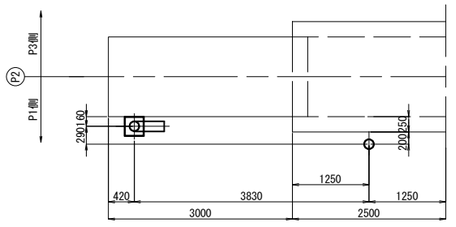
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常盤自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	11 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

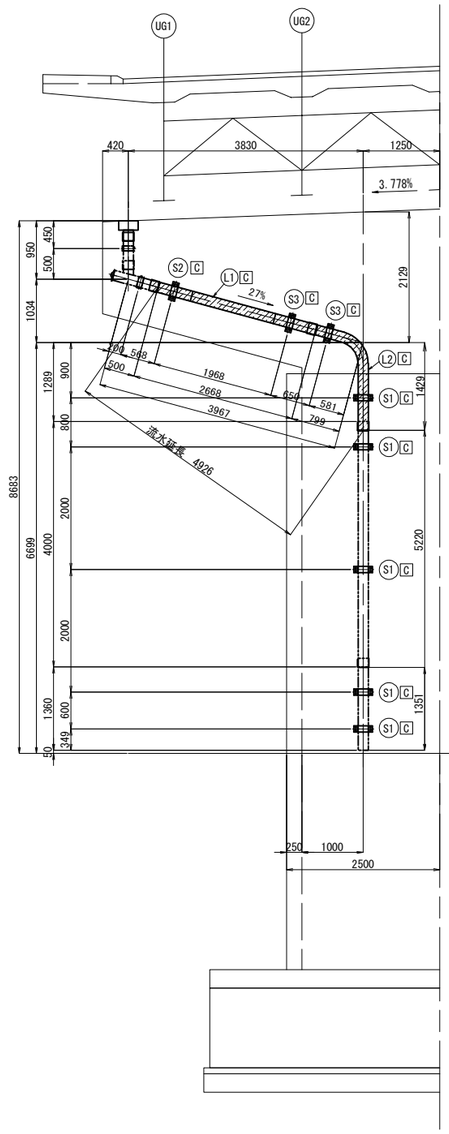
田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その4)

S=1:100

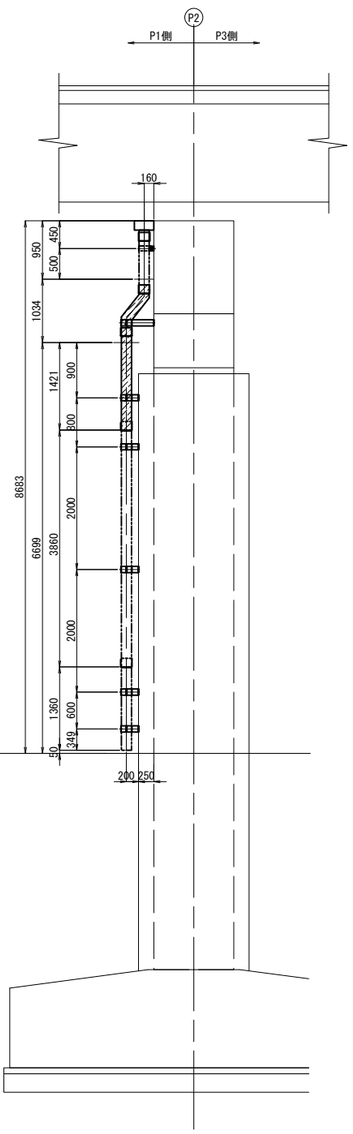
P2橋脚 排水装置 設置工

新設図

正面図



側面図



下部工排水新設数量：

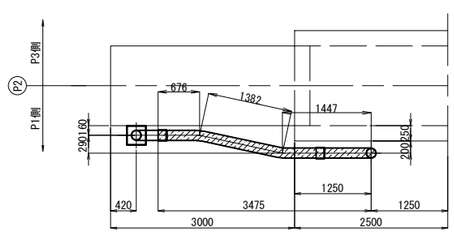
排水金具：

- S1 5箇所
- S2 1箇所
- S3 2箇所

排水管：

- L1 1箇所
- L2 1箇所

平面図

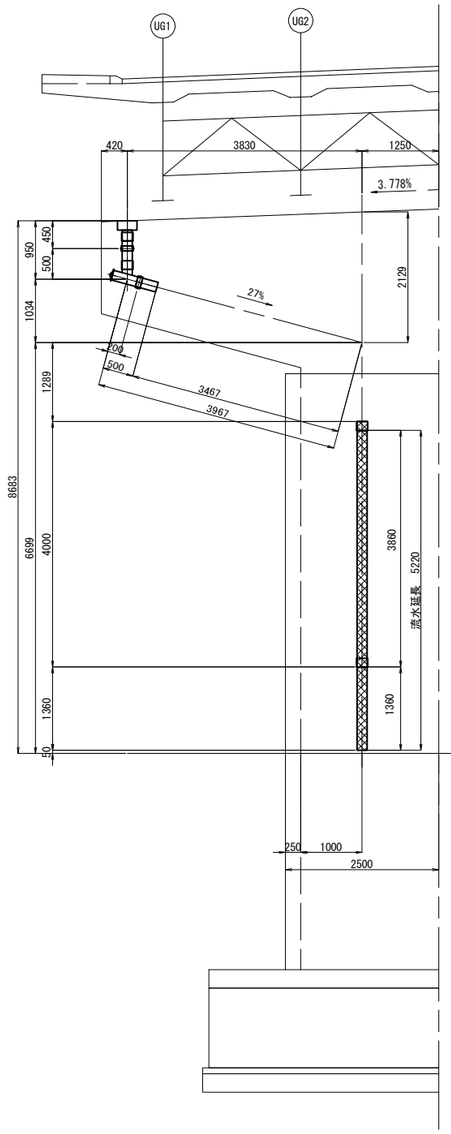


凡 例：

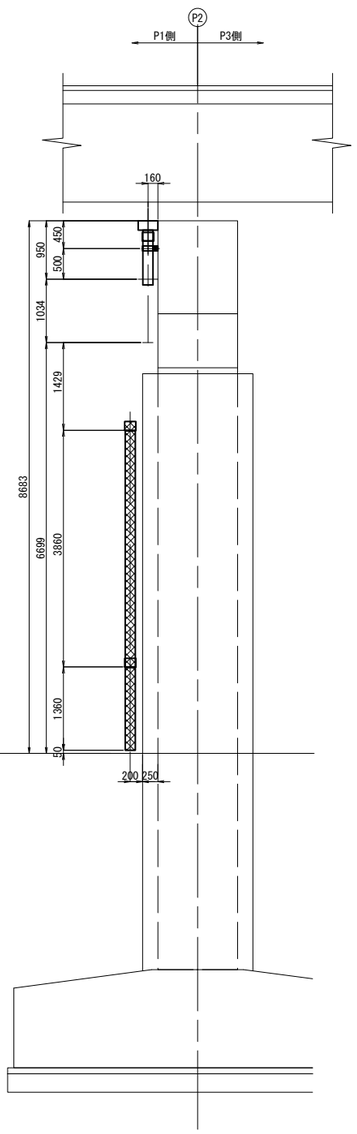
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

再利用図

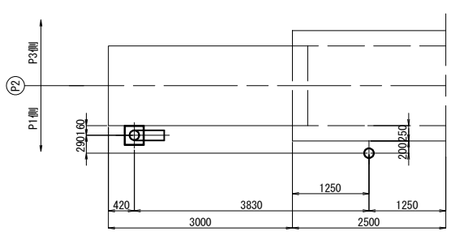
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その4)		
縮　尺	図　示	図面番号	12 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

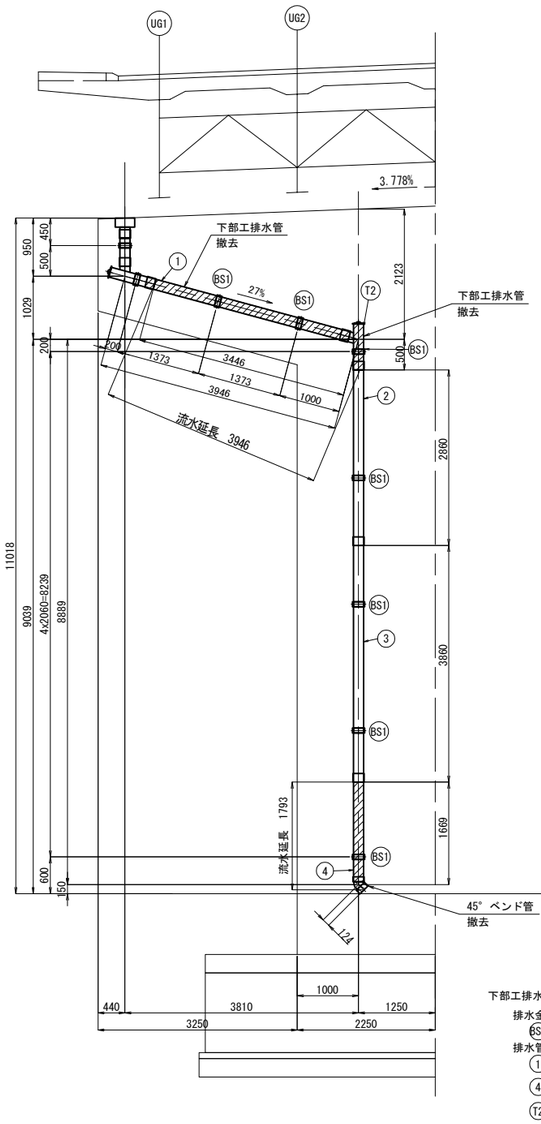
田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その5)

S=1:100

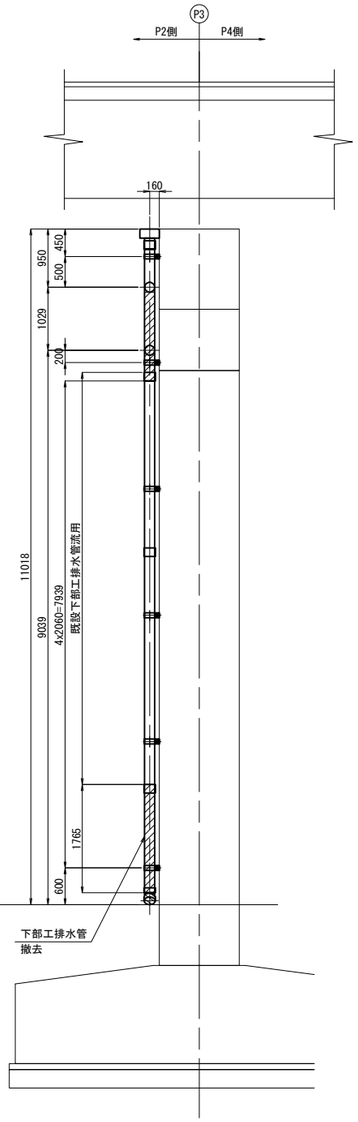
P3橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

正面図



側面図



下部工排水撤去数量：

排水金具：

(BS1) 7箇所

排水管：

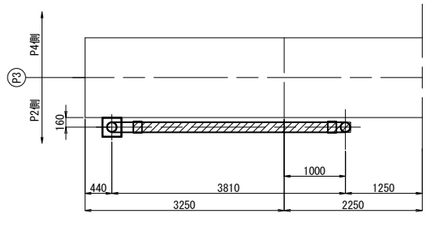
① 1-VP 150Ax3426

④ 1-VP 150Ax1765

(T2) 1箇所

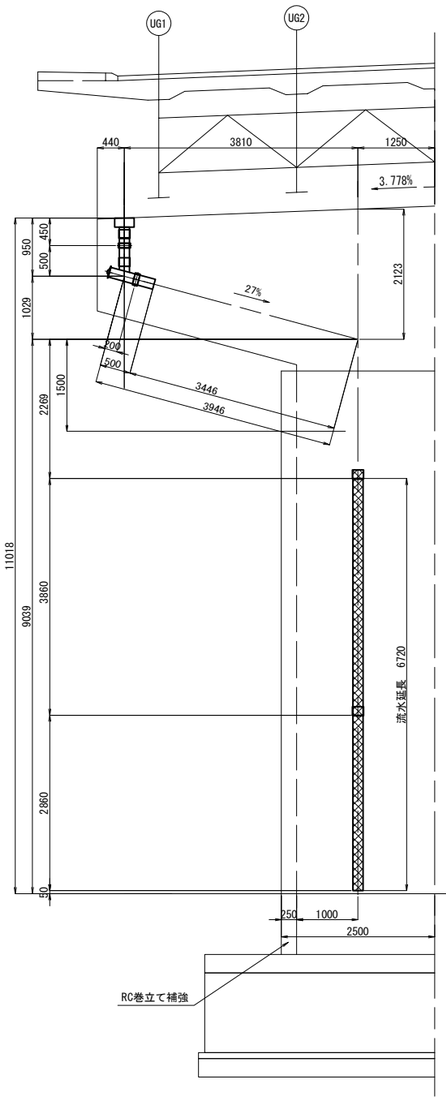
45° ベンド管 1箇所

平面図

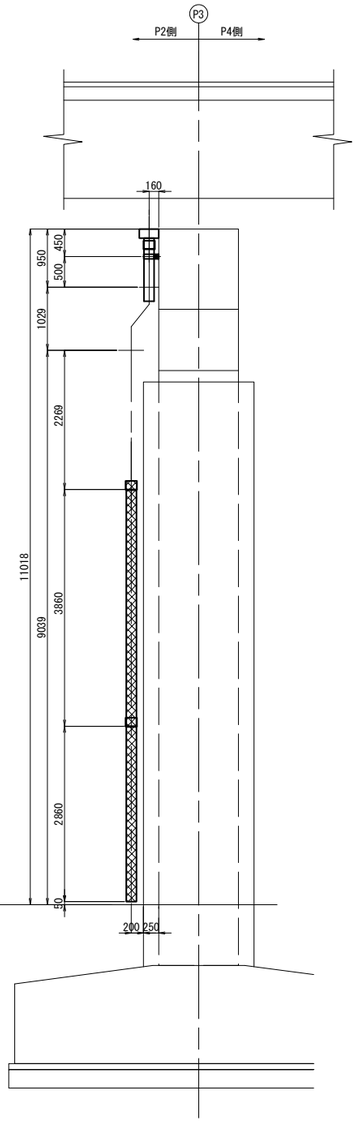


一時撤去(再利用)図

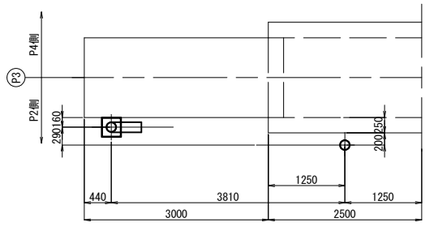
正面図



側面図



平面図



凡 例：

撤去範囲

流用範囲

新設範囲

C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その5)		
縮 尺	図 示	図面番号	13 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

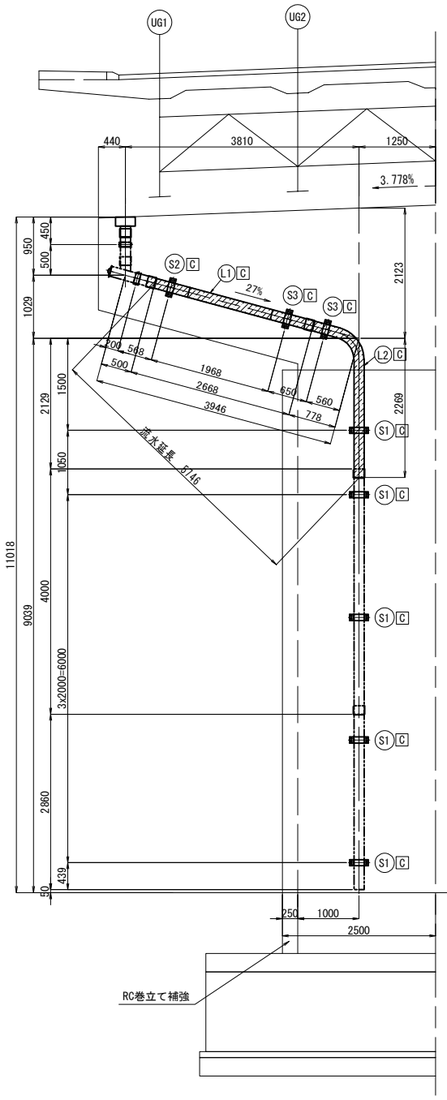
田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その6)

S=1:100

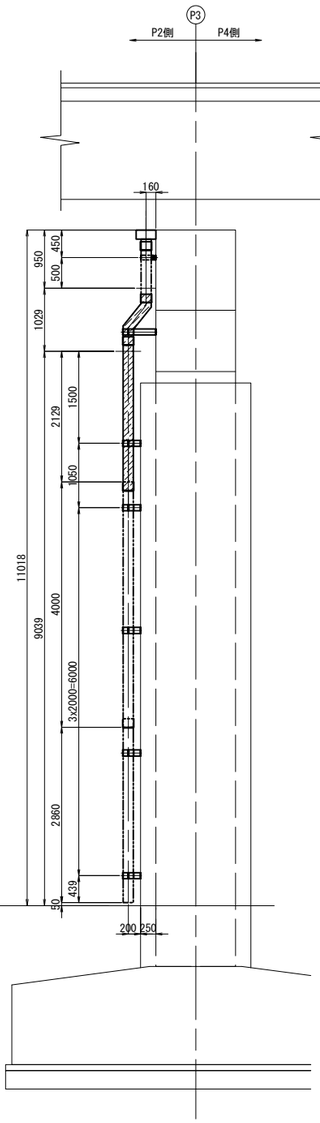
P3橋脚 排水装置 設置工

新設図

正面図



側面図



下部工排水新設数量：

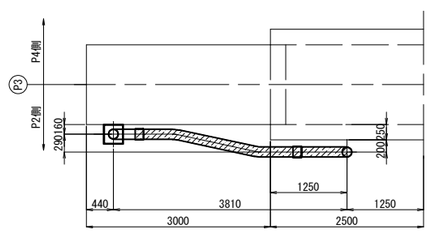
排水金具：

- (S1) 5箇所
- (S2) 1箇所
- (S3) 2箇所

排水管：

- (L1) 1箇所
- (L2) 1箇所

平面図

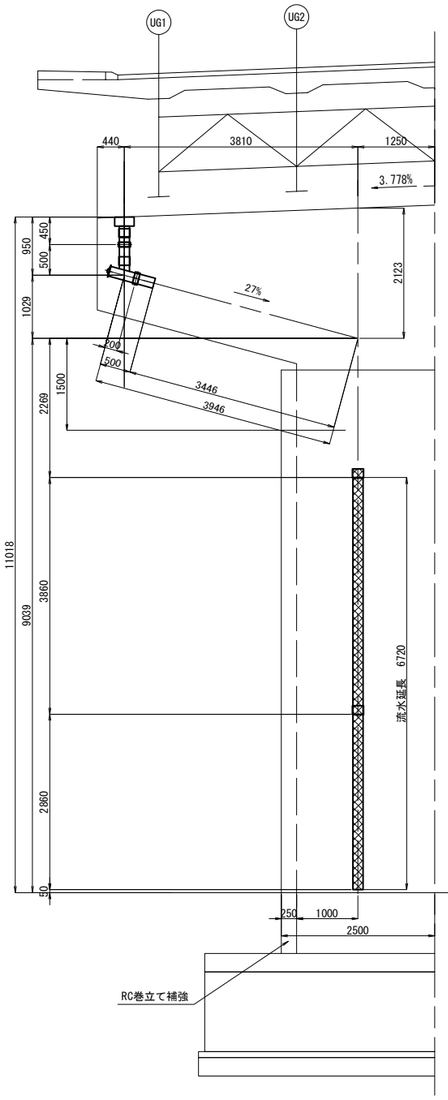


凡 例：

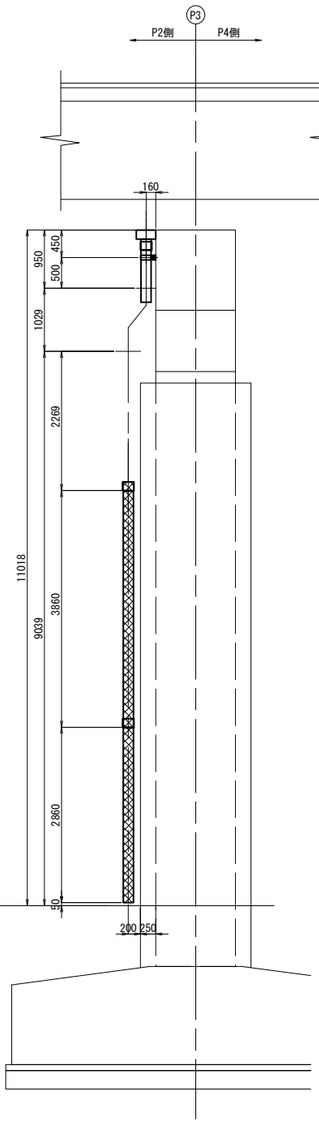
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

再利用図

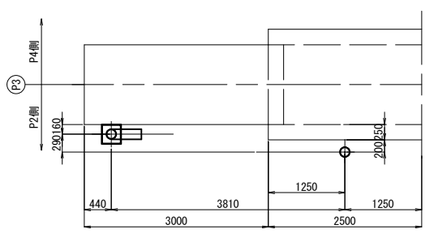
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

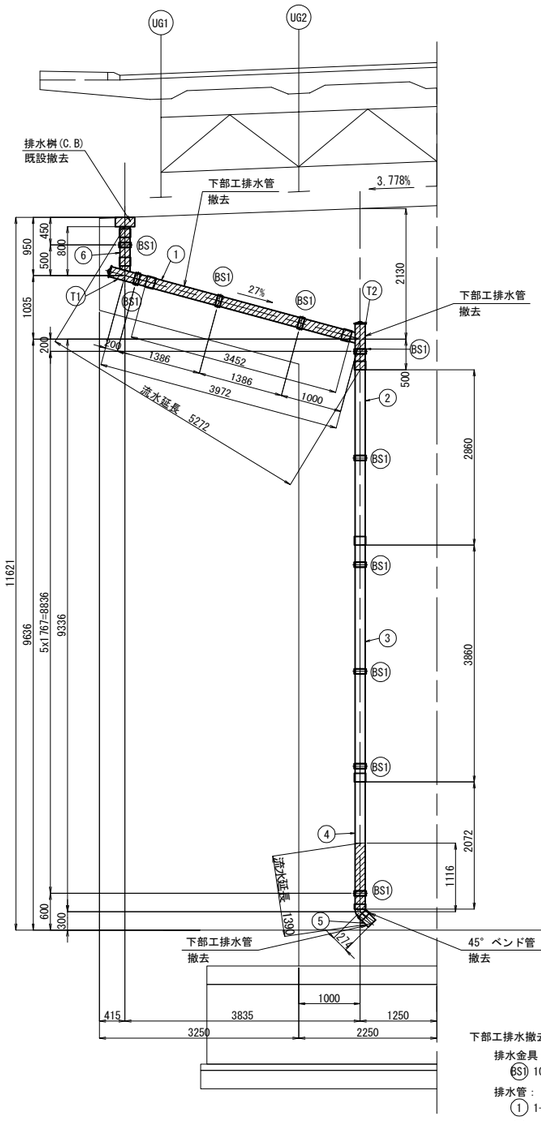
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その6)		
縮 尺	図 示	図面番号	14 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その7)　S=1:100

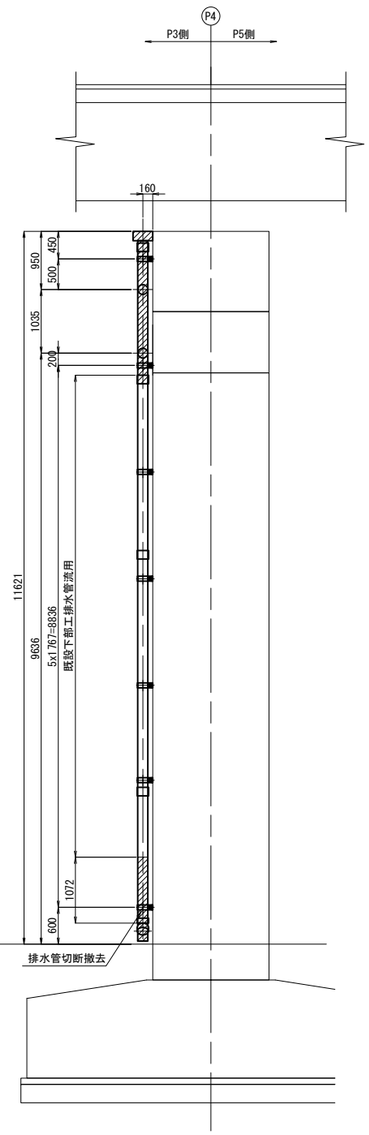
P4橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

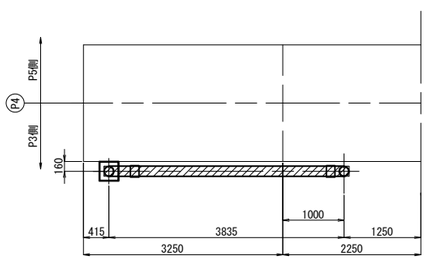
正面図



側面図



平面図



下部工排水撤去数量：

排水金具：

BS1 10箇所

排水管：

1 1-VP 150Ax3452

4 1-VP 150Ax1072(切断撤去)

5 1-VP 150Ax230

6 1-VP 150Ax605

T1 1箇所

T2 1箇所

45° ベンド管

排水桝(C.B)　1箇所

凡 例：

撤去範囲

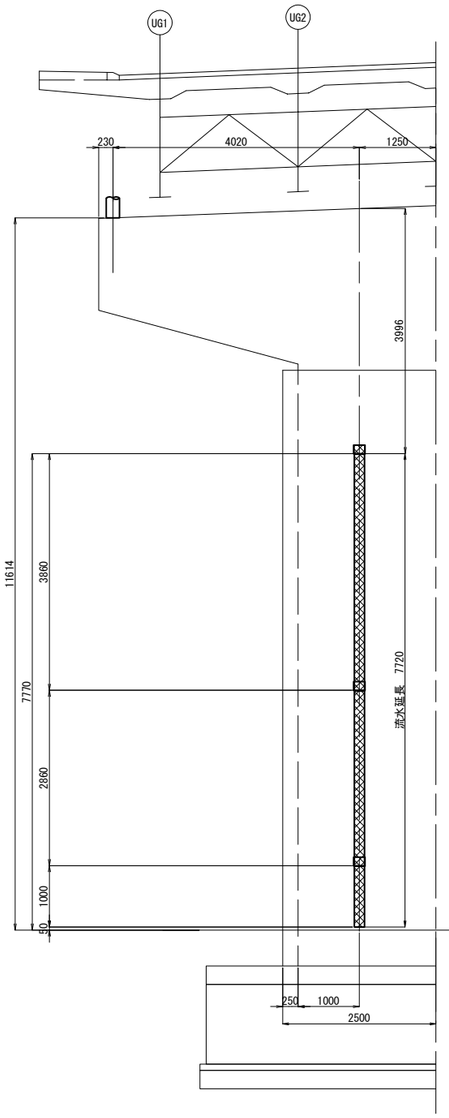
流用範囲

新設範囲

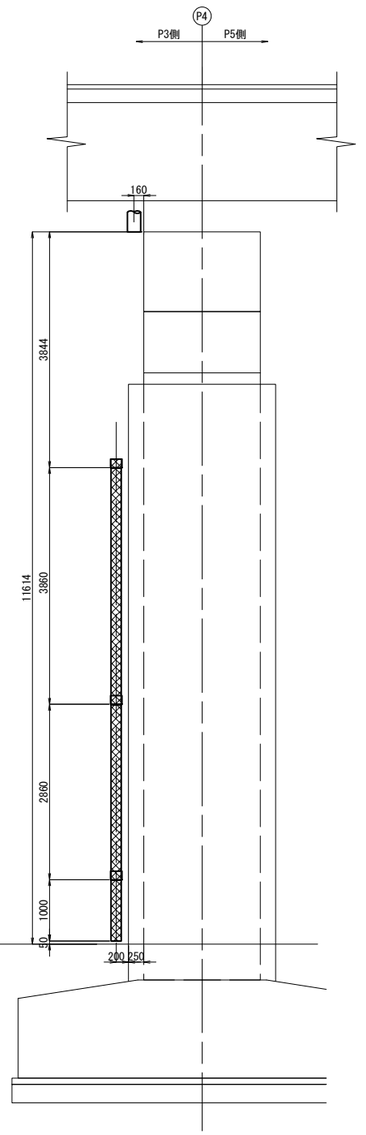
C ：全て新設部材

一時撤去(再利用)図

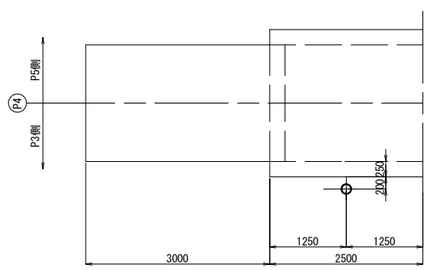
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

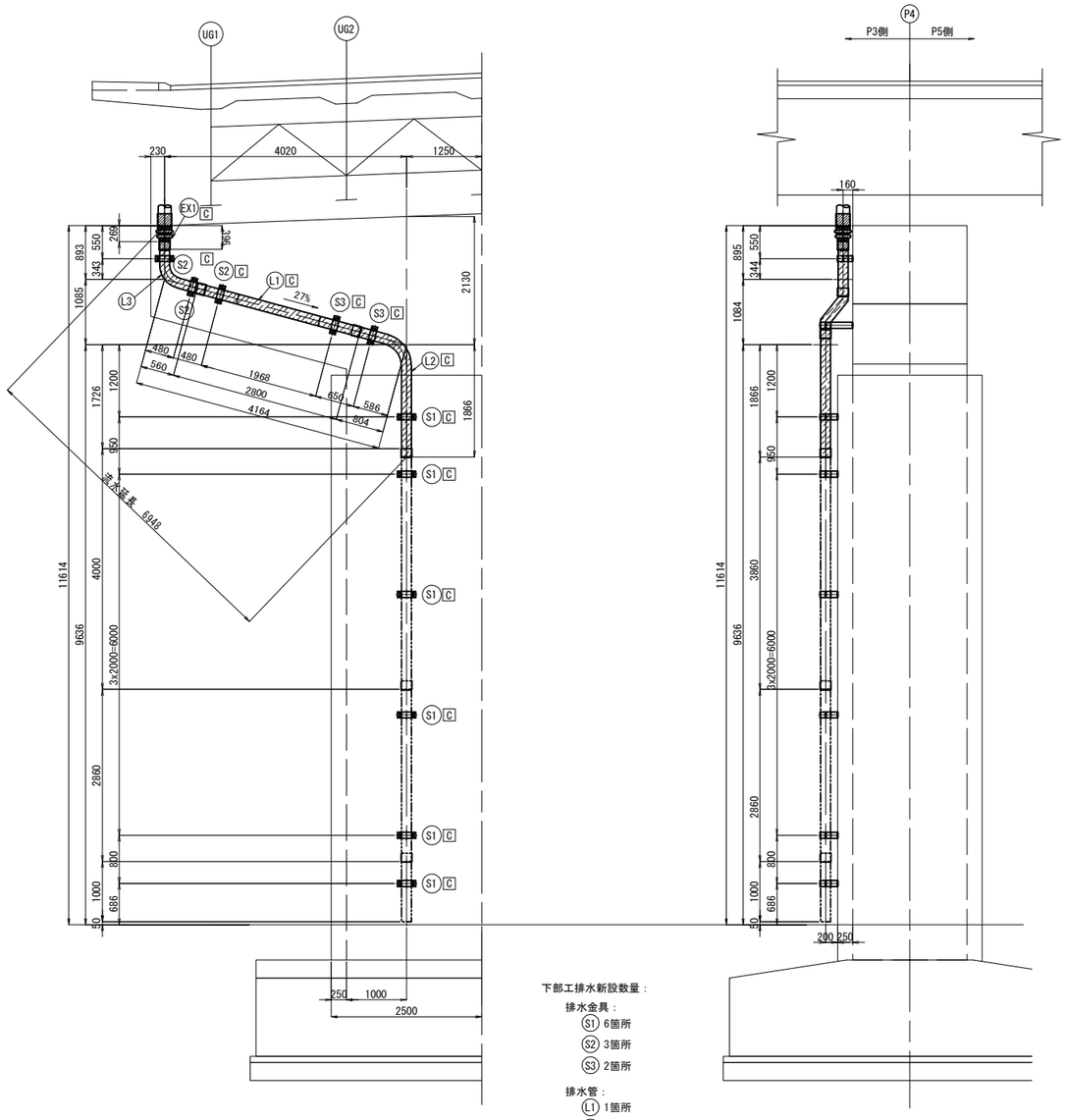
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その7)		
縮　尺	図　示	図面番号	15 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その8)　S=1:100

P4橋脚 排水装置 設置工

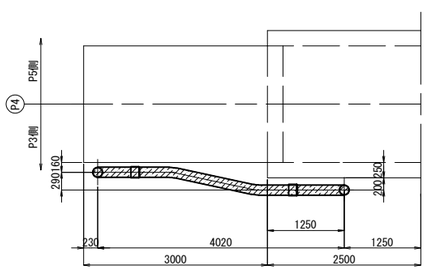
新設図

正面図



側面図

平面図



下部工排水新設数量：

排水金具：

- S1 6箇所
- S2 3箇所
- S3 2箇所

排水管：

- L1 1箇所
- L2 1箇所
- L3 1箇所

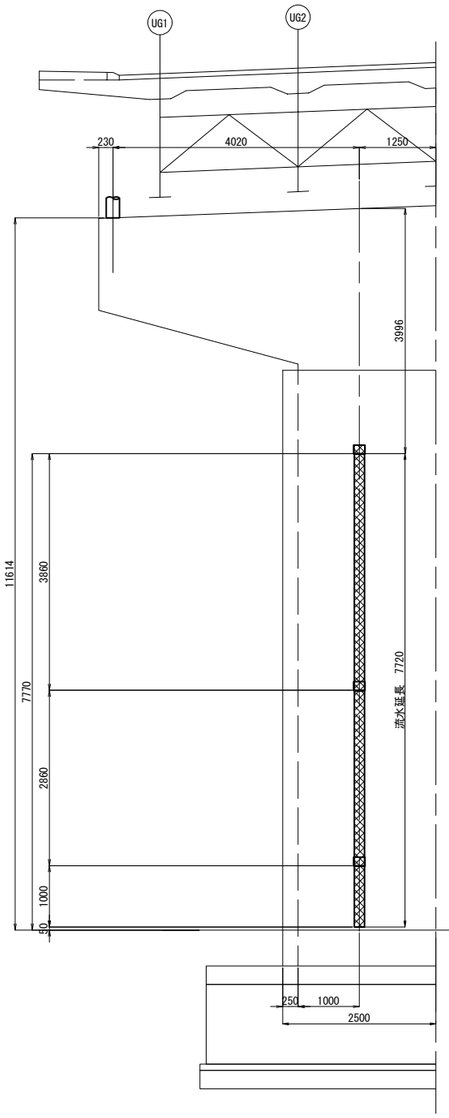
伸縮継手　EX1　1箇所

凡 例：

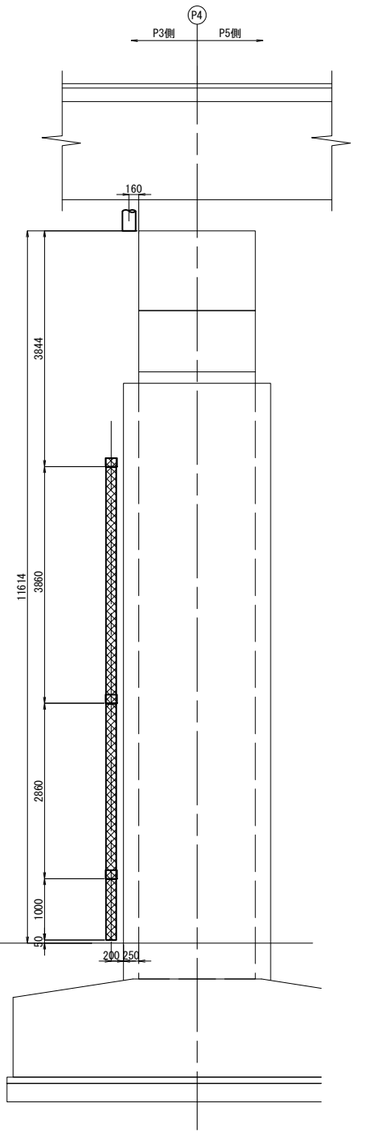
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

再利用図

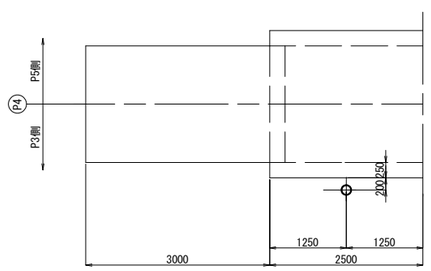
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

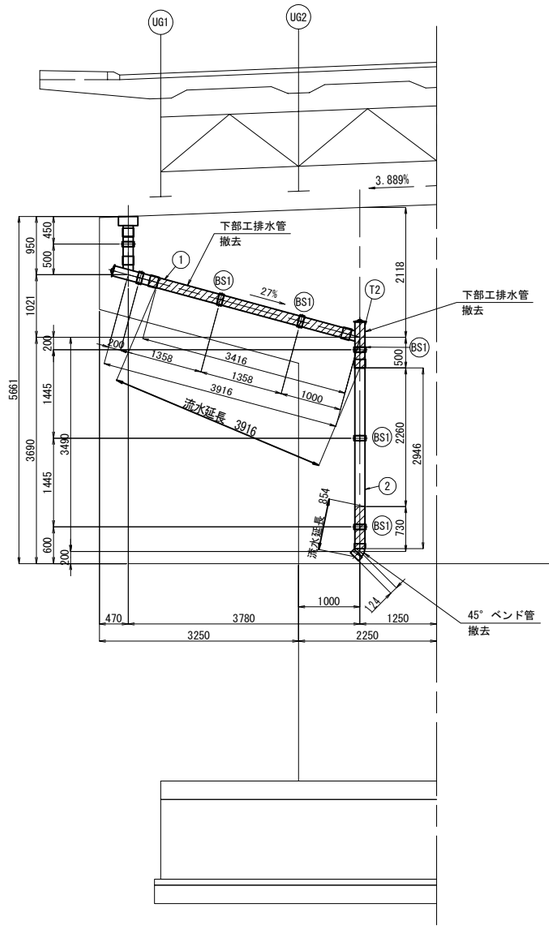
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その8)		
縮　尺	図　示	図面番号	16 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その9)　S=1:100

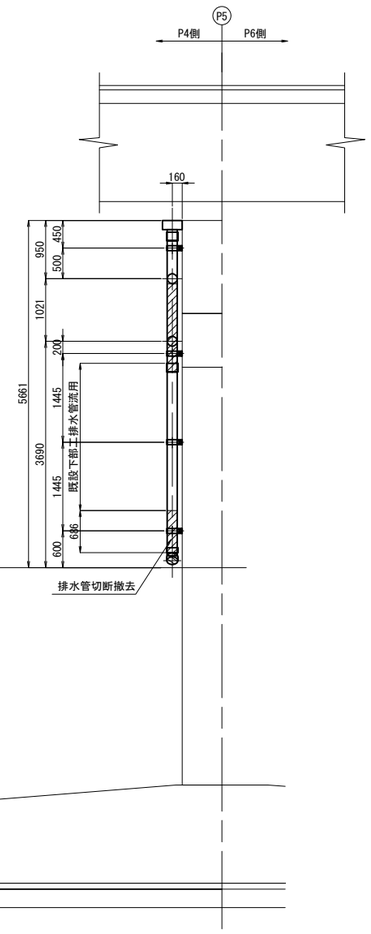
P5橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

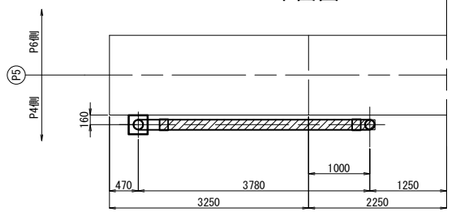
正面図



側面図



平面図



下部工排水撤去数量：

排水金具：

BS1 5箇所

排水管：

① 1-VP 150Ax3395

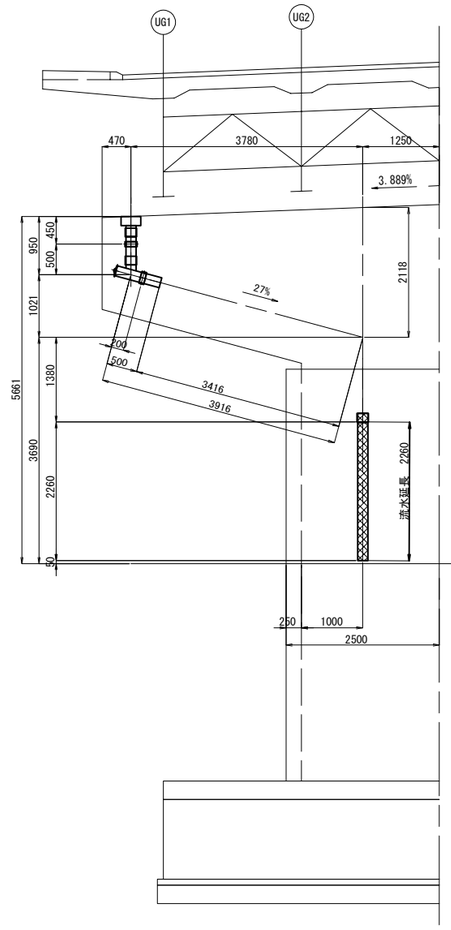
② 1-VP 150Ax686(切断撤去)

T2 1箇所

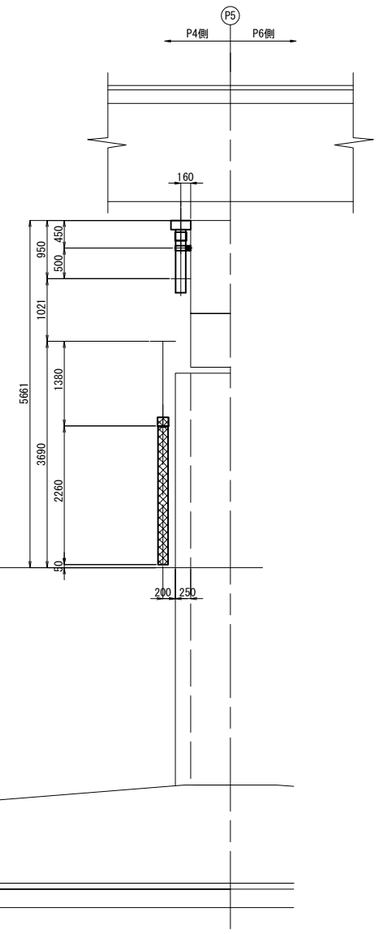
45° ベンド管　1箇所

一時撤去(再利用)図

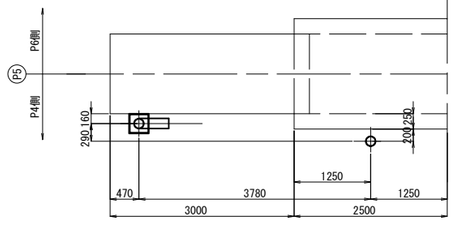
正面図



側面図



平面図



凡 例：

撤去範囲

流用範囲

新設範囲

C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

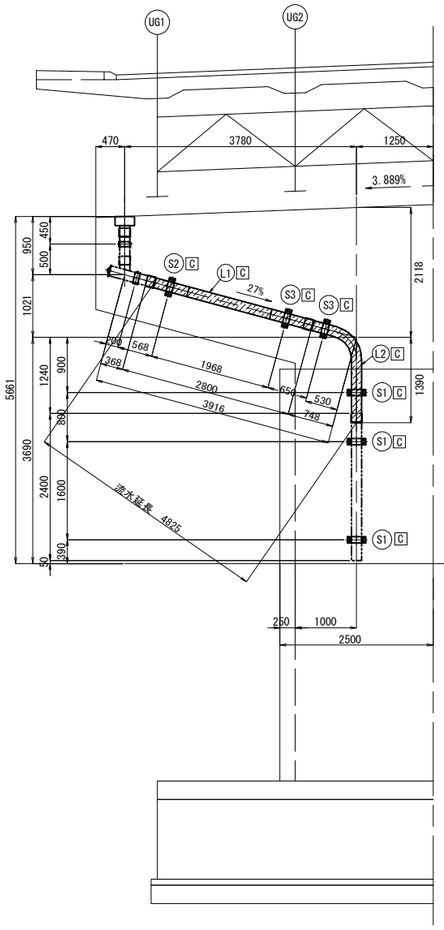
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その9)		
縮　尺	図　示	図面番号	17 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その10) S=1:100

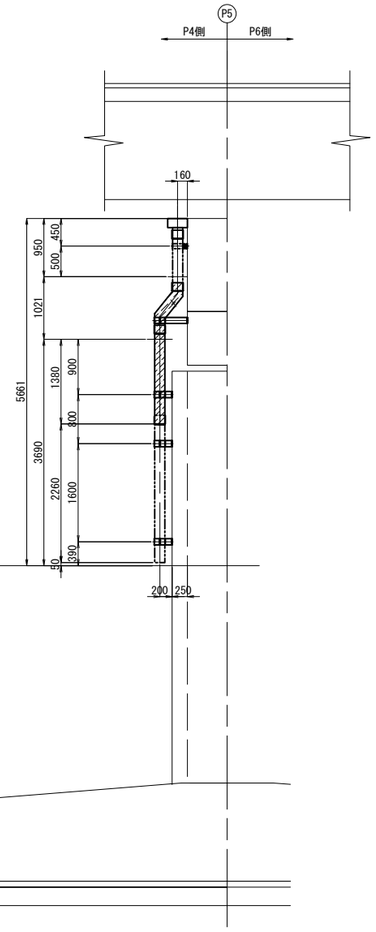
P5橋脚 排水装置 設置工

新設図

正面図



側面図



下部工排水新設数量：

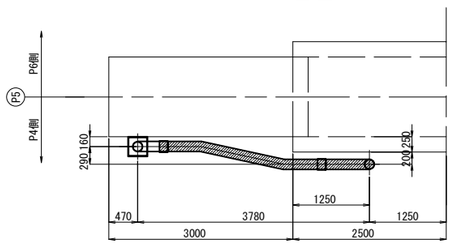
排水金具：

- (S1) 3箇所
- (S2) 1箇所
- (S3) 2箇所

排水管：

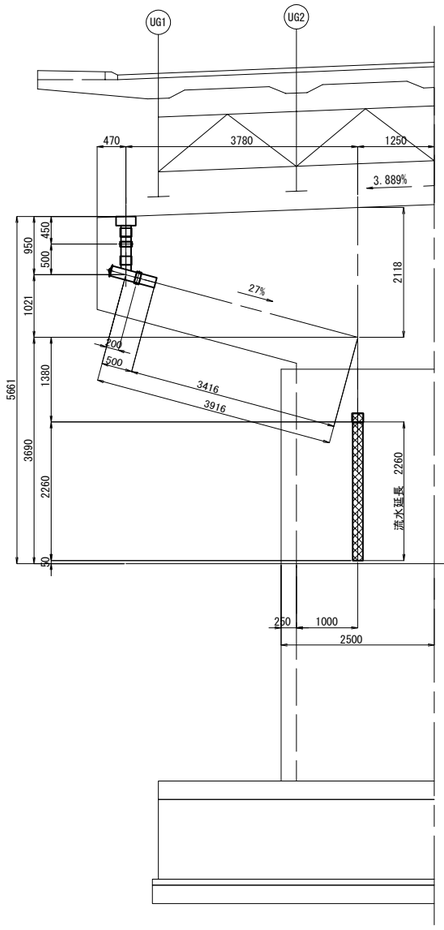
- (L1) 1箇所
- (L2) 1箇所

平面図

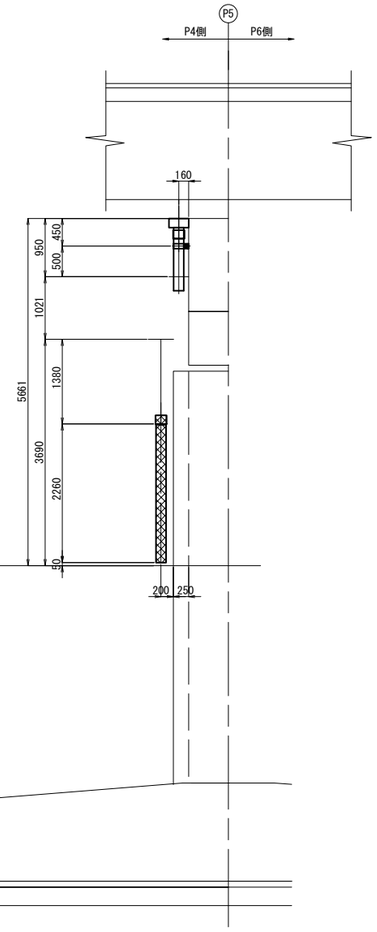


再利用図

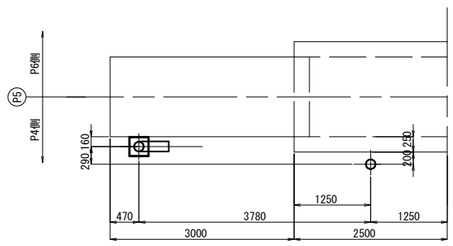
正面図



側面図



平面図



凡例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

注記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その10)		
縮尺	図示	図面番号	18 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

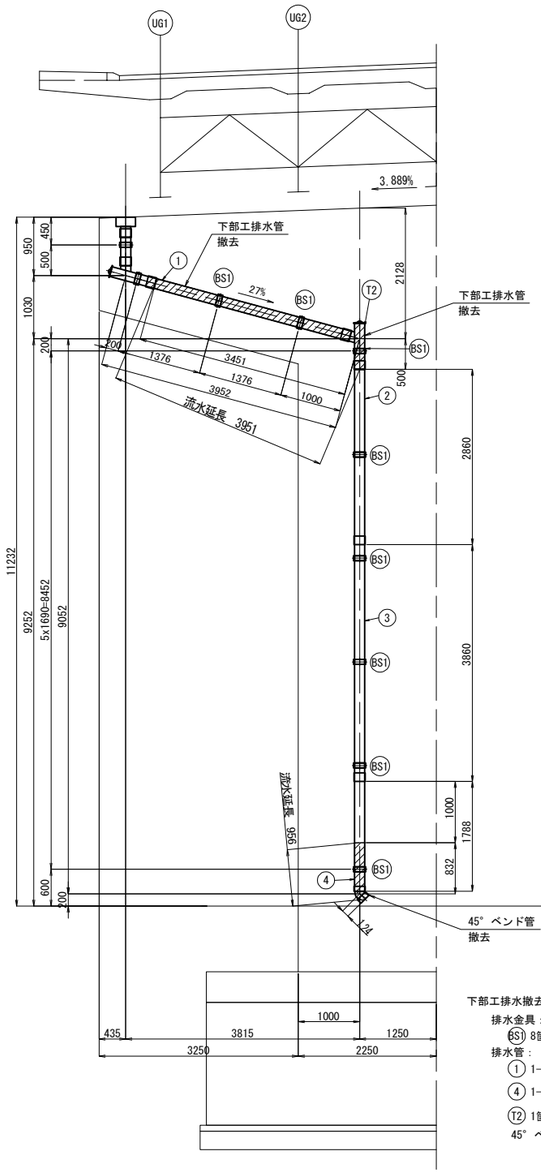
田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その11)

S=1:100

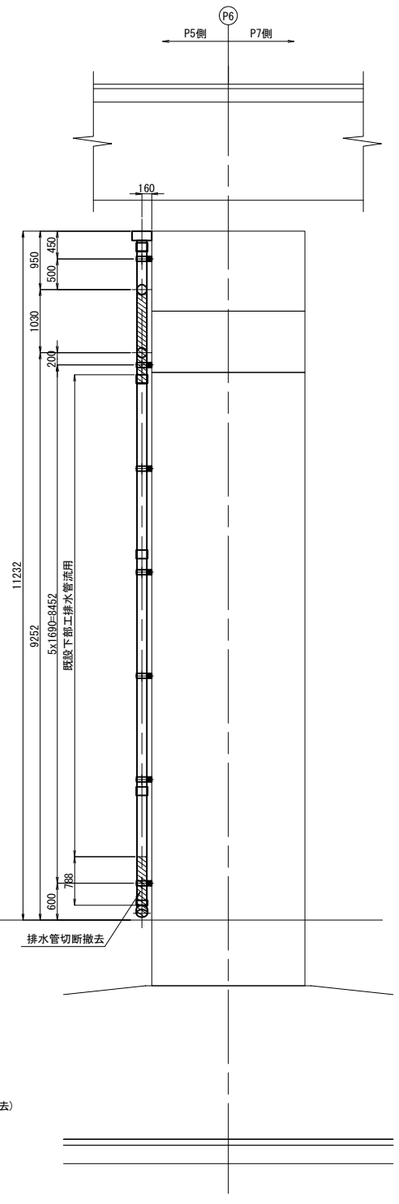
P6橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

正面図



側面図



下部工排水撤去数量：

排水金具：

(BS1) 8箇所

排水管：

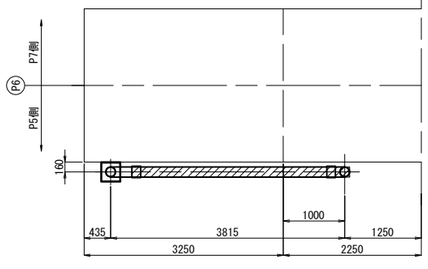
(1) 1-VP 150Ax3432

(4) 1-VP 150Ax788(切断撤去)

(T2) 1箇所

45° ベンド管 1箇所

平面図



凡 例：

撤去範囲

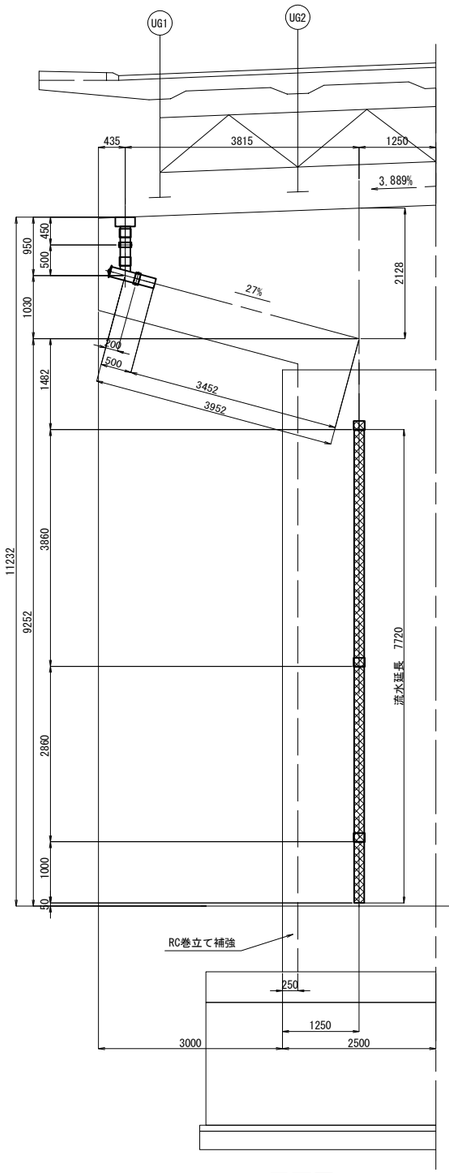
流用範囲

新設範囲

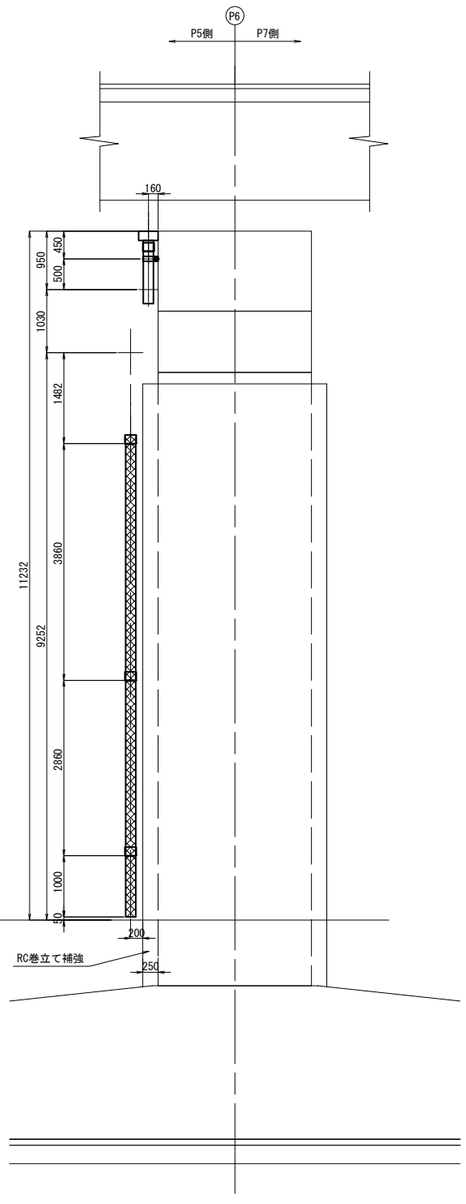
C ：全て新設部材

一時撤去(再利用)図

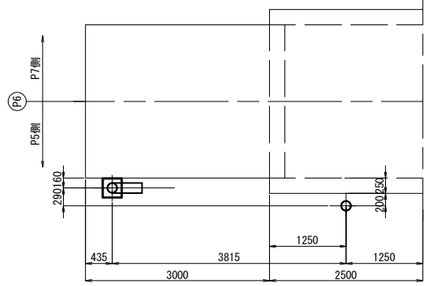
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その11)		
縮 尺	図 示	図面番号	19 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

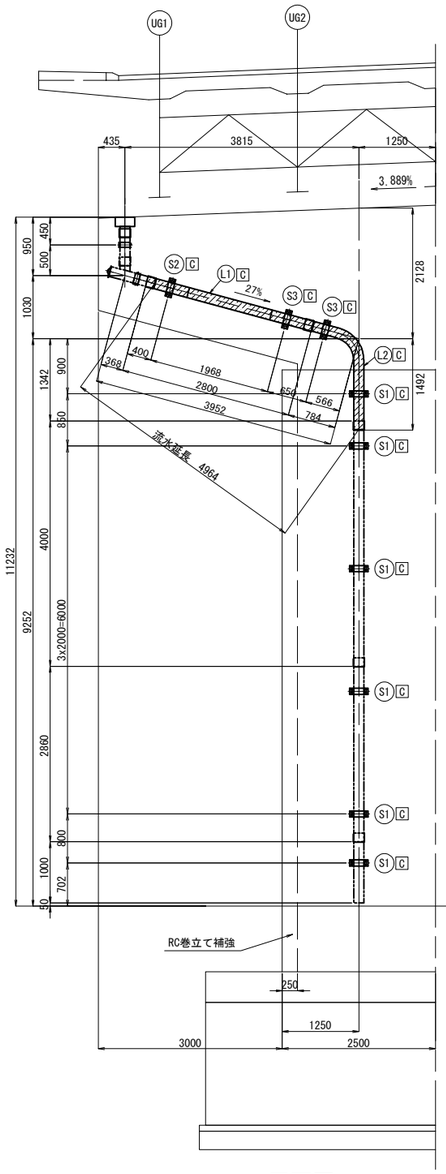
田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その12)

S=1:100

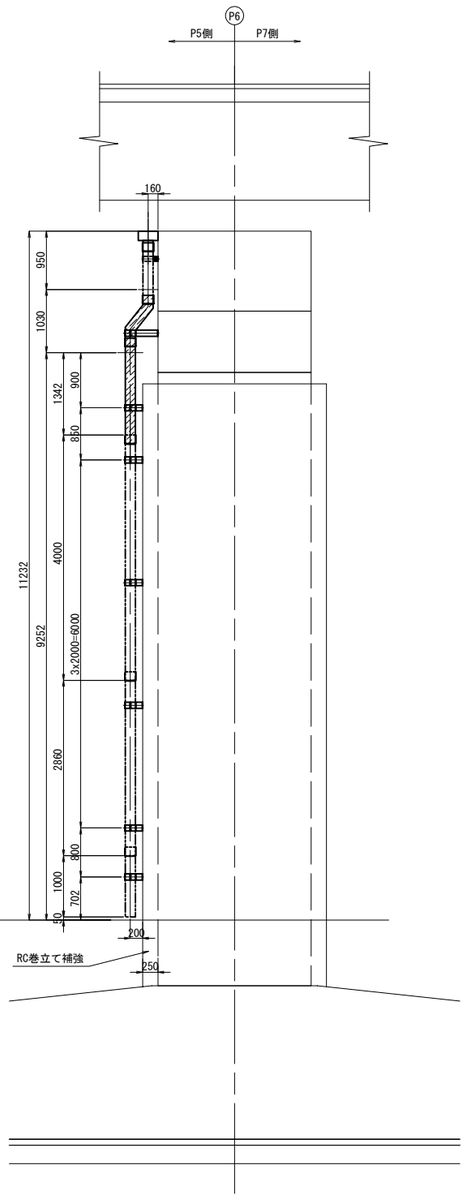
P6橋脚 排水装置 設置工

新設図

正面図



側面図



下部工排水新設数量：

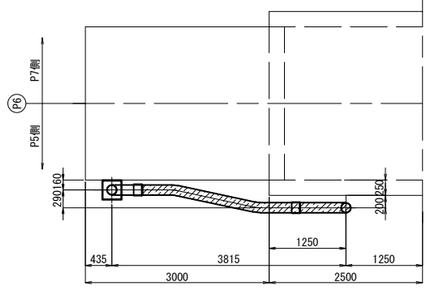
排水金具：

- S1 6箇所
- S2 1箇所
- S3 2箇所

排水管：

- L1 1箇所
- L2 1箇所

平面図

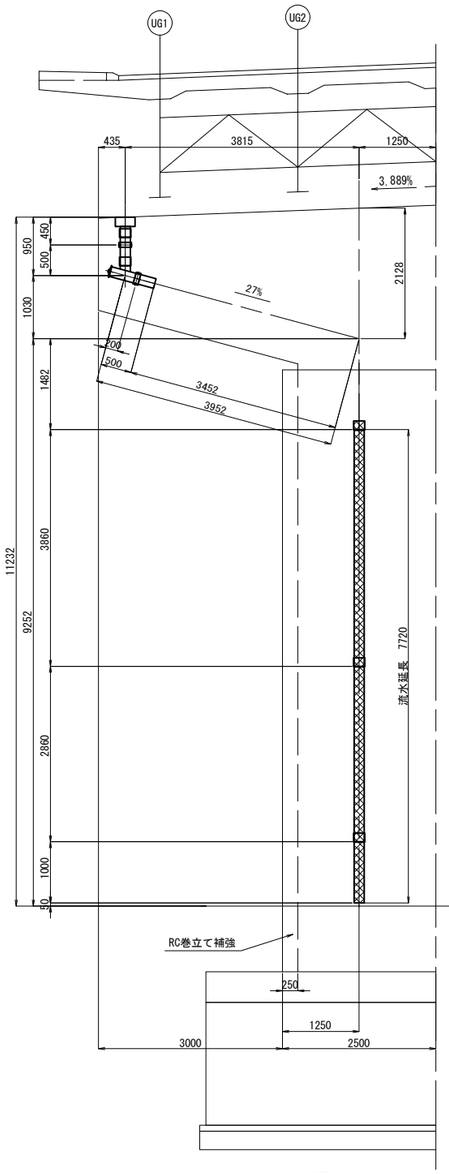


凡 例：

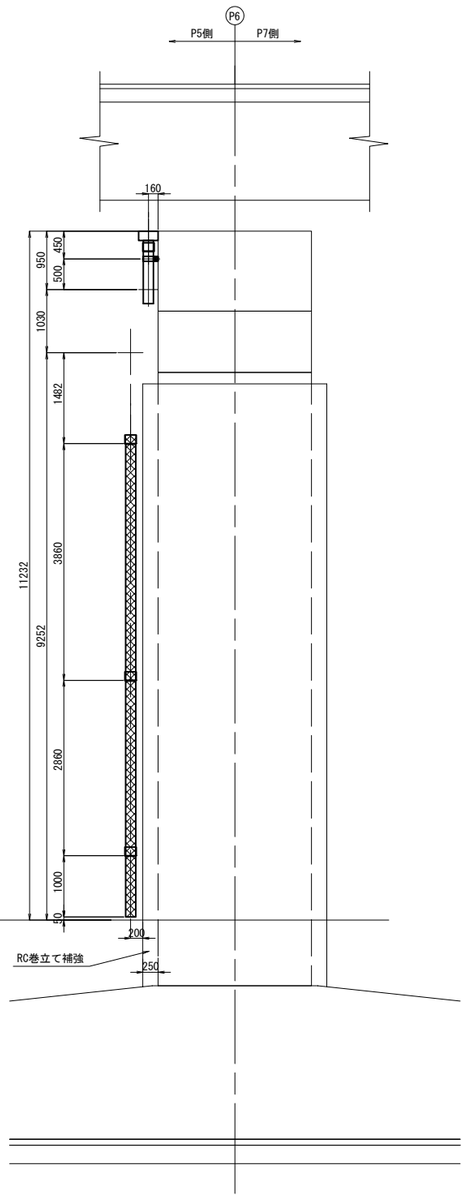
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

再利用図

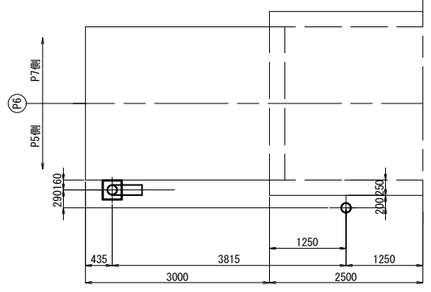
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

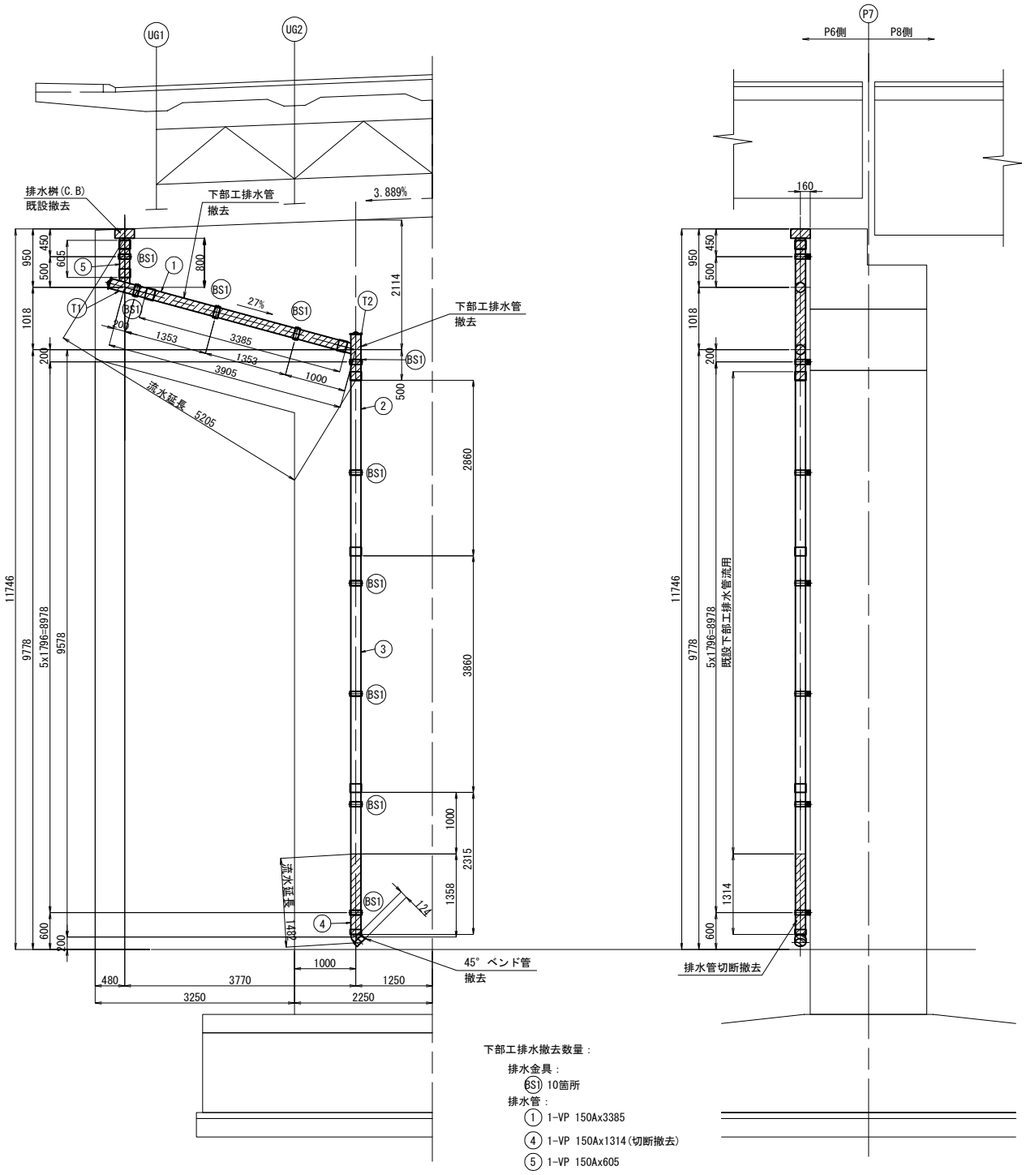
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その12)		
縮　尺	図　示	図面番号	20 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その13) S=1:100

P7橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

正面図



側面図

下部工排水撤去数量：

排水金具：

(BS1) 10箇所

排水管：

(1) 1-VP 150Ax3385

(4) 1-VP 150Ax1314(切断撤去)

(5) 1-VP 150Ax605

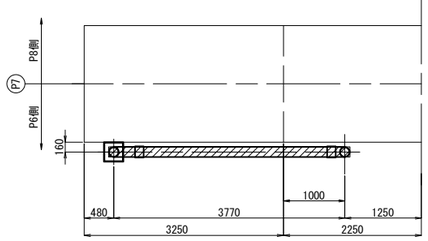
(T1) 1箇所

(T2) 1箇所

45° ベンド管

排水桝(C.B) 1箇所

平面図



凡 例：

撤去範囲

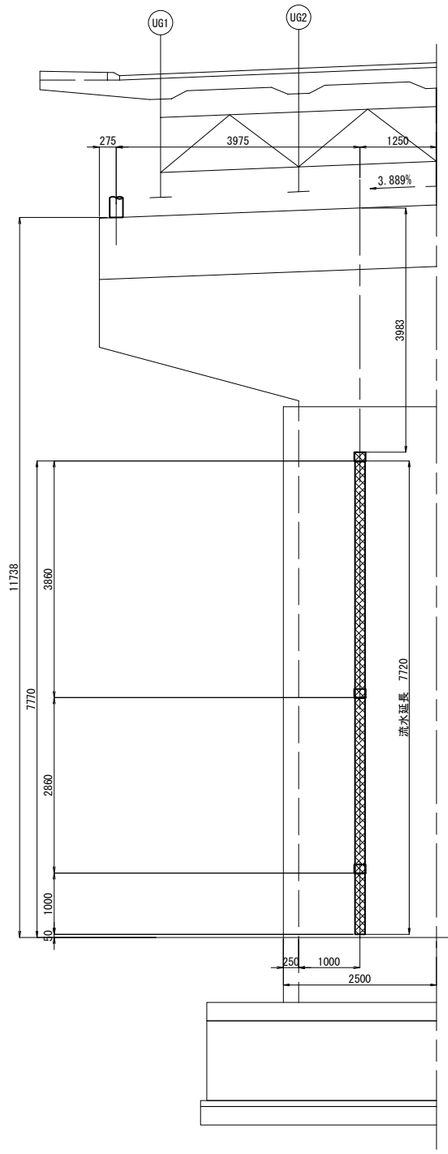
流用範囲

新設範囲

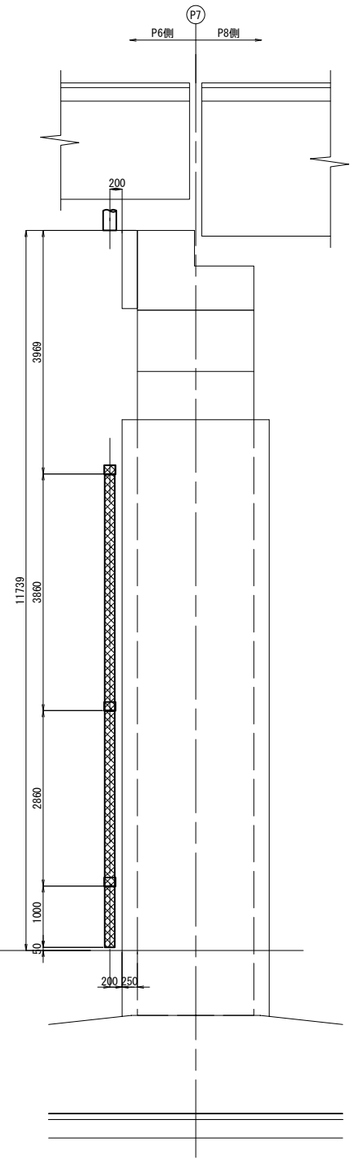
C ：全て新設部材

一時撤去(再利用)図

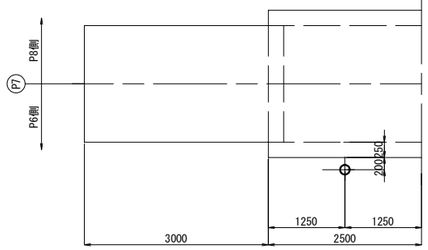
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

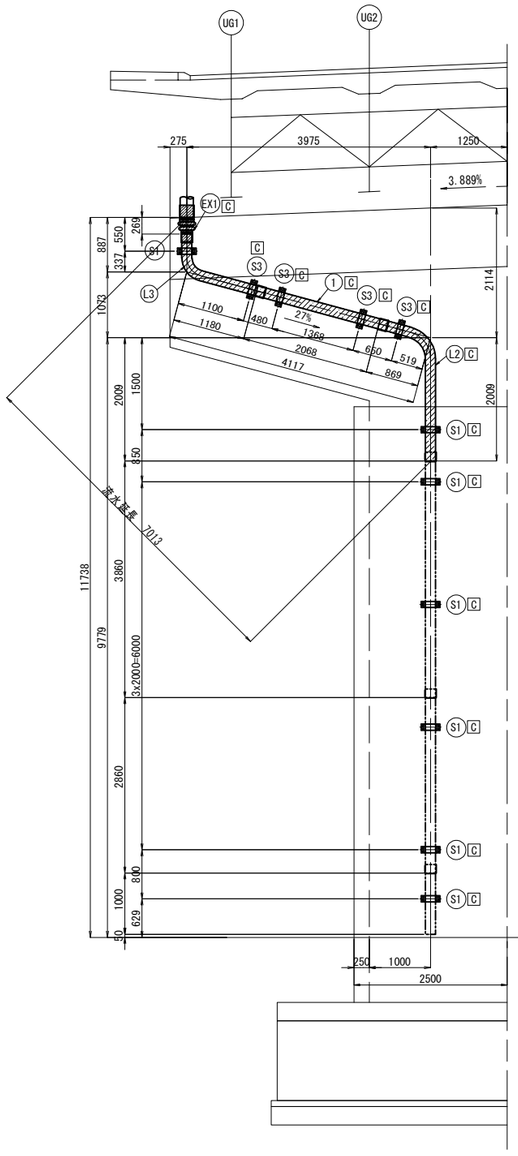
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その13)		
縮 尺	図 示	図面番号	21 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その14) S=1:100

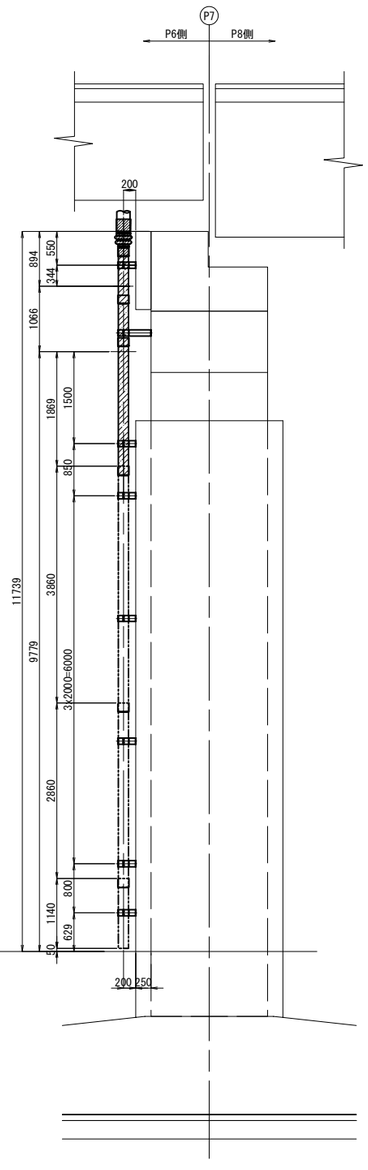
P7橋脚 排水装置 設置工

新設図

正面図



側面図



下部工排水新設数量：

排水金具：

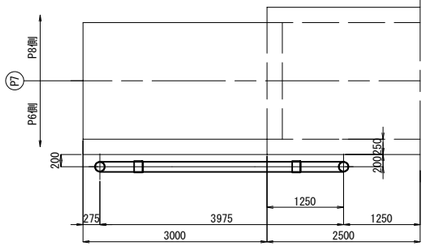
- S1 7箇所
- S3 4箇所

排水管：

- 1 1-VP 150Ax2200
- L2 1箇所
- L3 1箇所

伸縮継手 EX1 1箇所

平面図

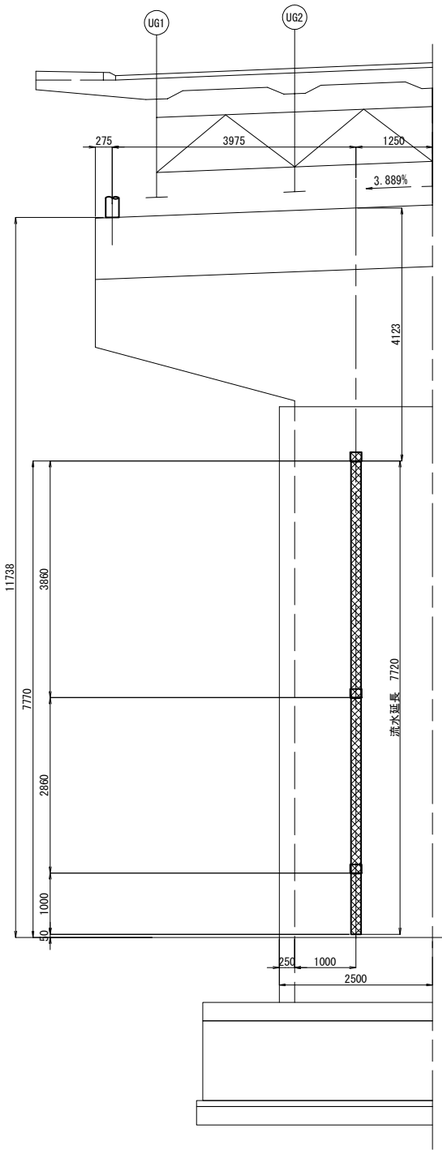


凡 例：

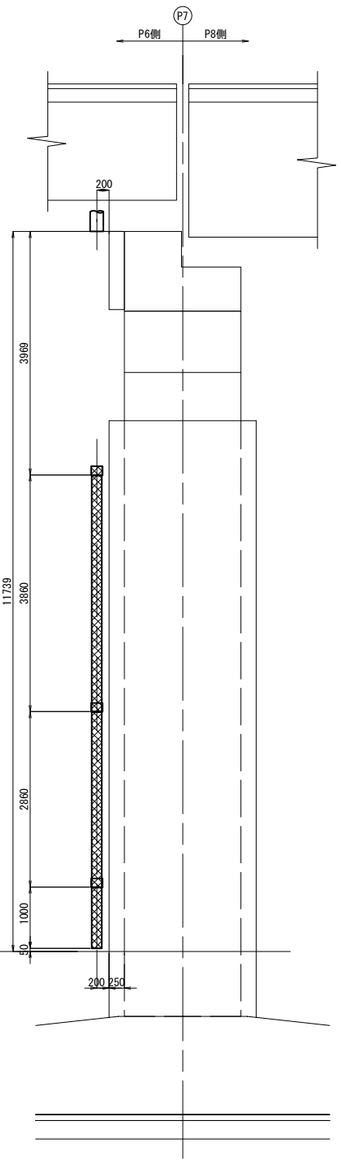
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

再利用図

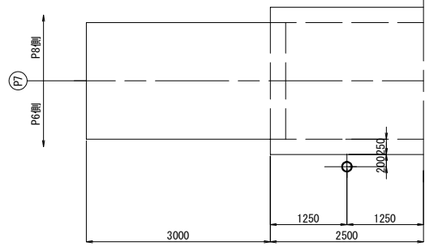
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常盤自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その14)		
縮 尺	図 示	図面番号	22 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

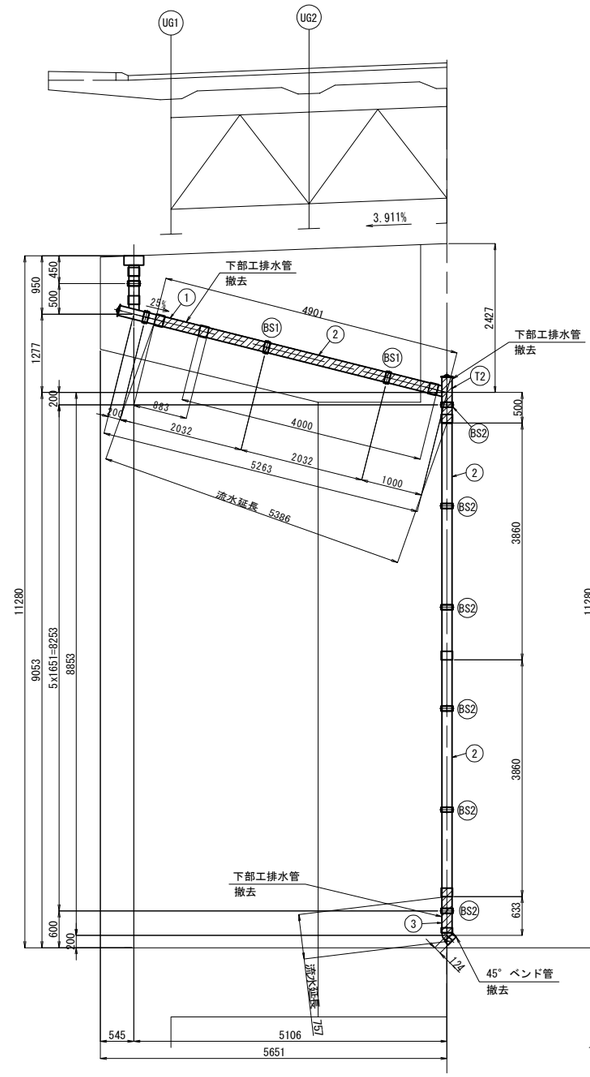
田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その15)

S=1:100

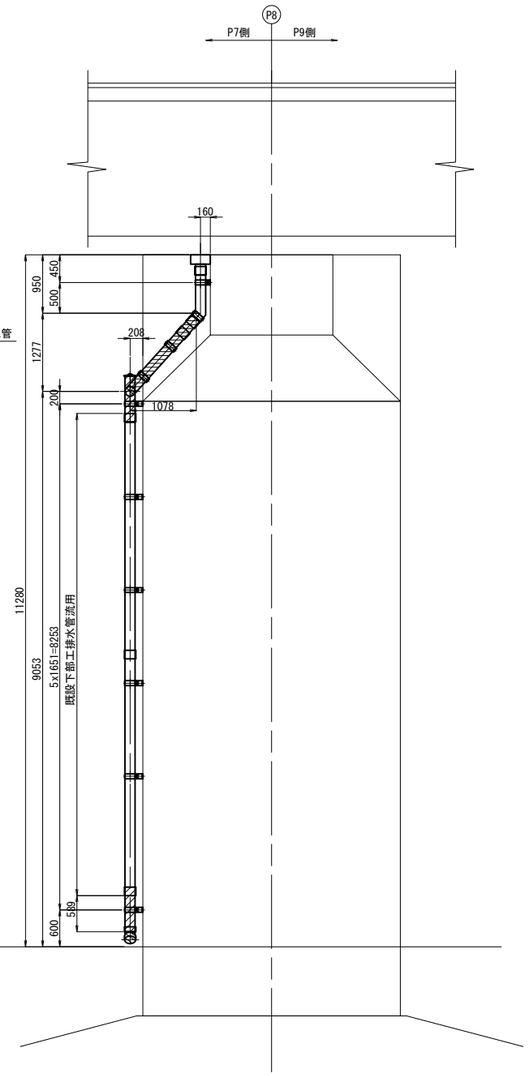
P8橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

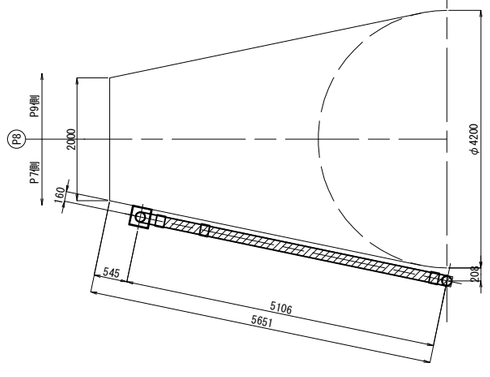
正面図



側面図



平面図



下部工排水撤去数量：

排水金具：

- (BS1) 2箇所
- (BS2) 6箇所

排水管：

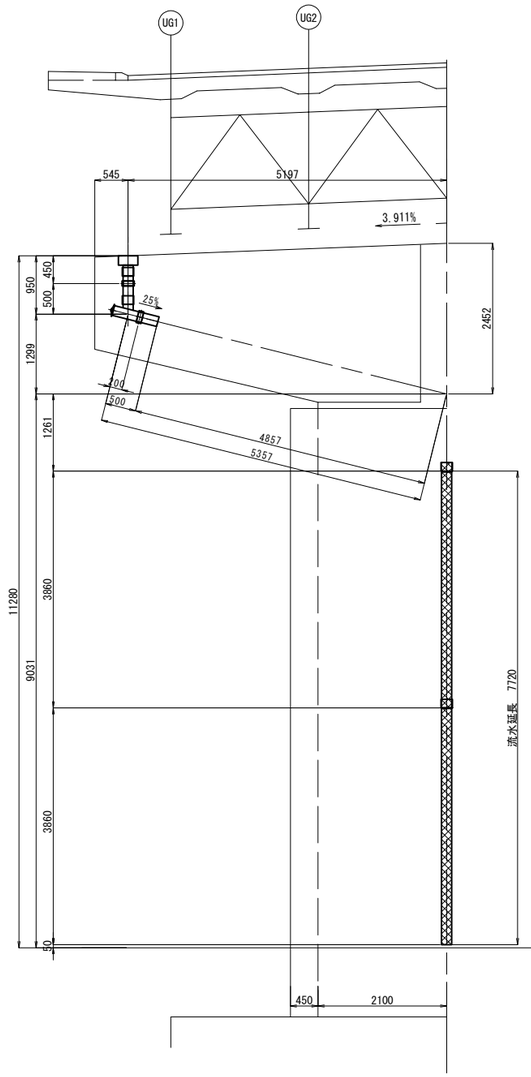
- (1) 1-VP 150Ax883
- (2) 1-VP 150Ax4000
- (3) 1-VP 150Ax729
- (T2) 1箇所
- 45° ベンド管 1箇所

凡 例：

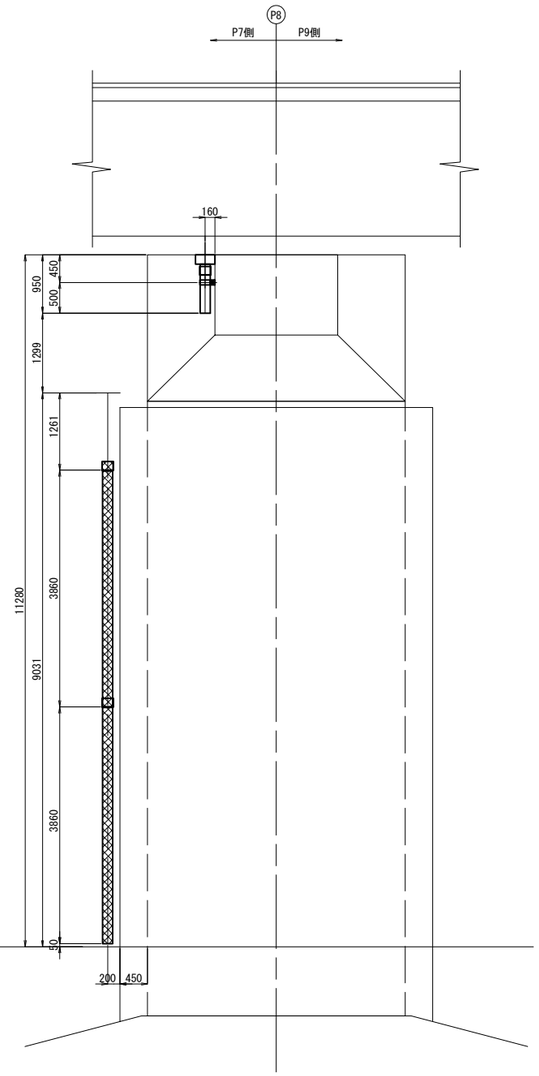
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

一時撤去(再利用)図

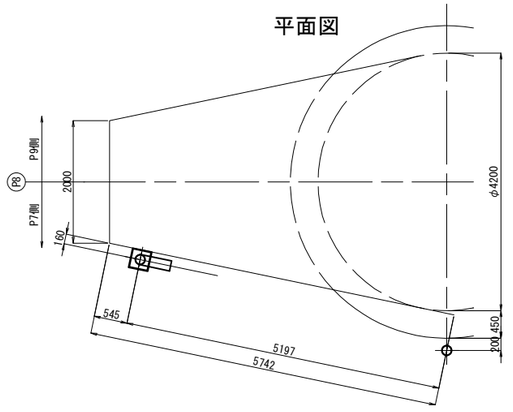
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その15)		
縮 尺	図 示	図面番号	23 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

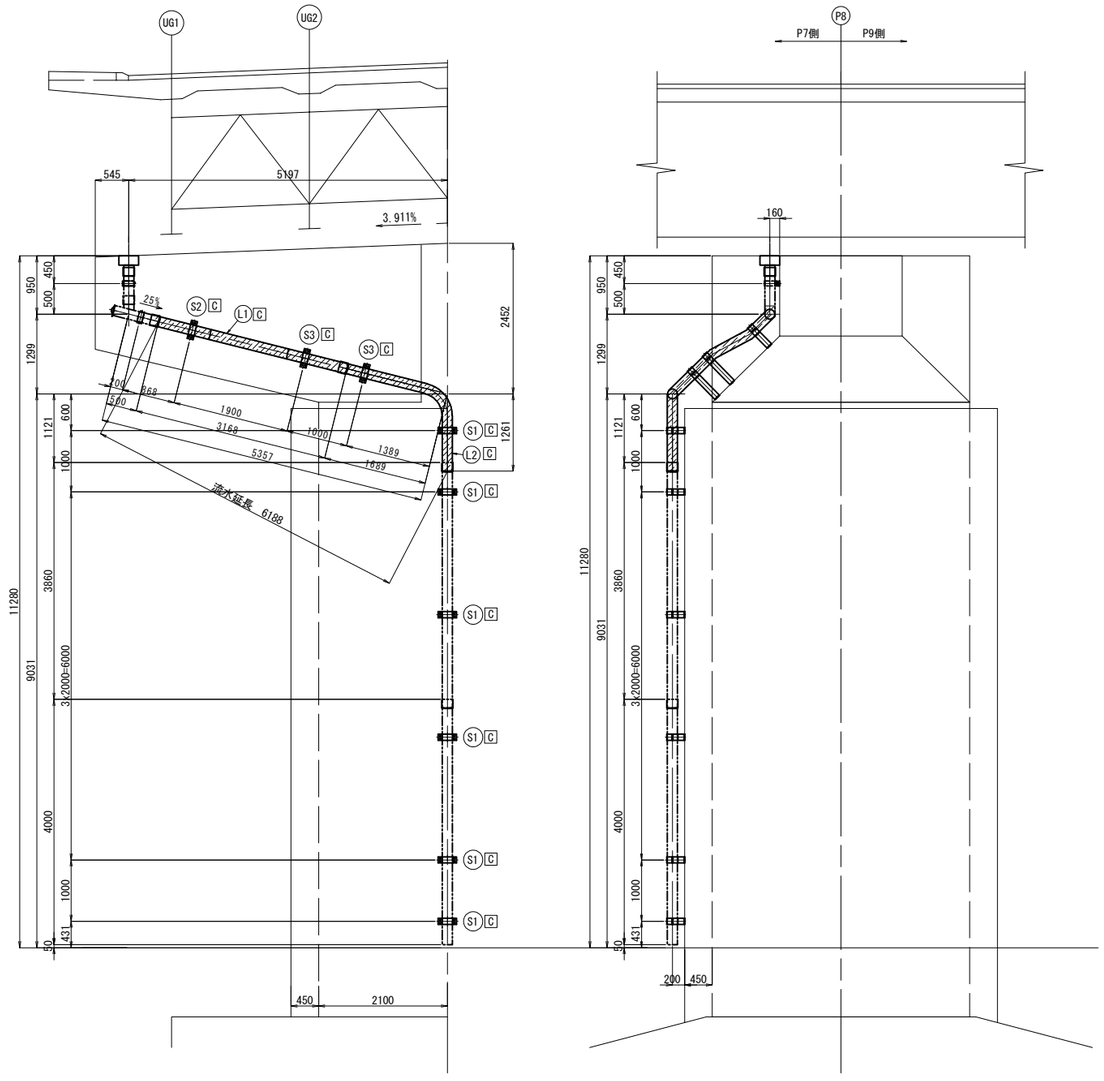
田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その16)

S=1:100

P8橋脚 排水装置 設置工

新設図

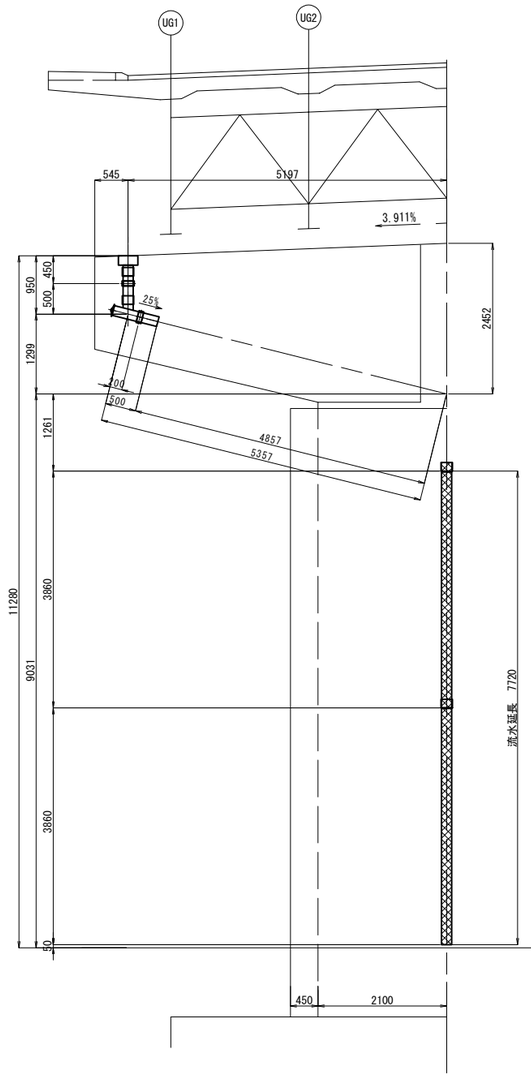
正面図



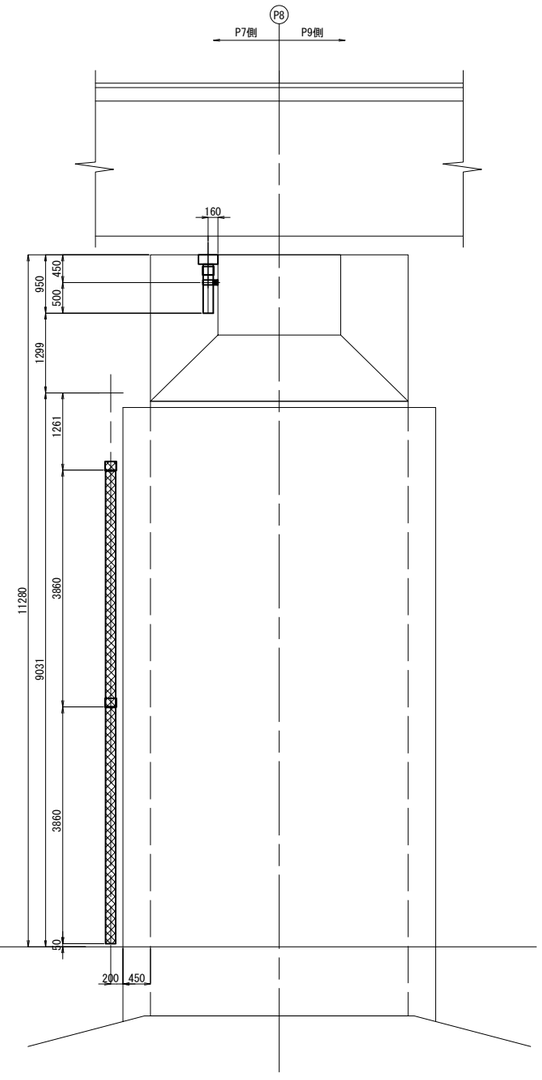
側面図

再利用図

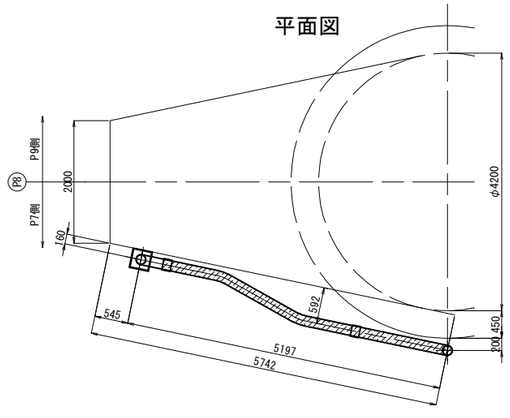
正面図



側面図



平面図



下部工排水新設数量：

排水金具：

- S1 6箇所
- S2 1箇所
- S3 2箇所

排水管：

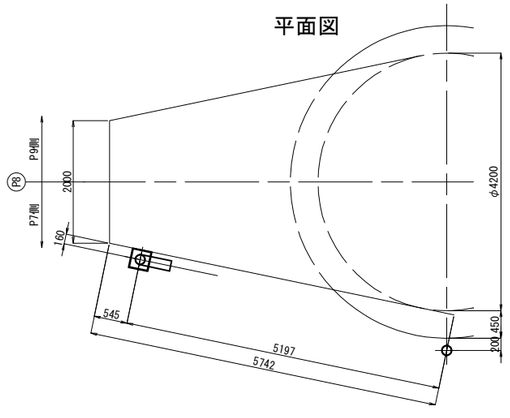
- L1 1箇所
- L2 1箇所

伸縮継手 EX1 1箇所

凡 例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その16)		
縮 尺	図 示	図面番号	24 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

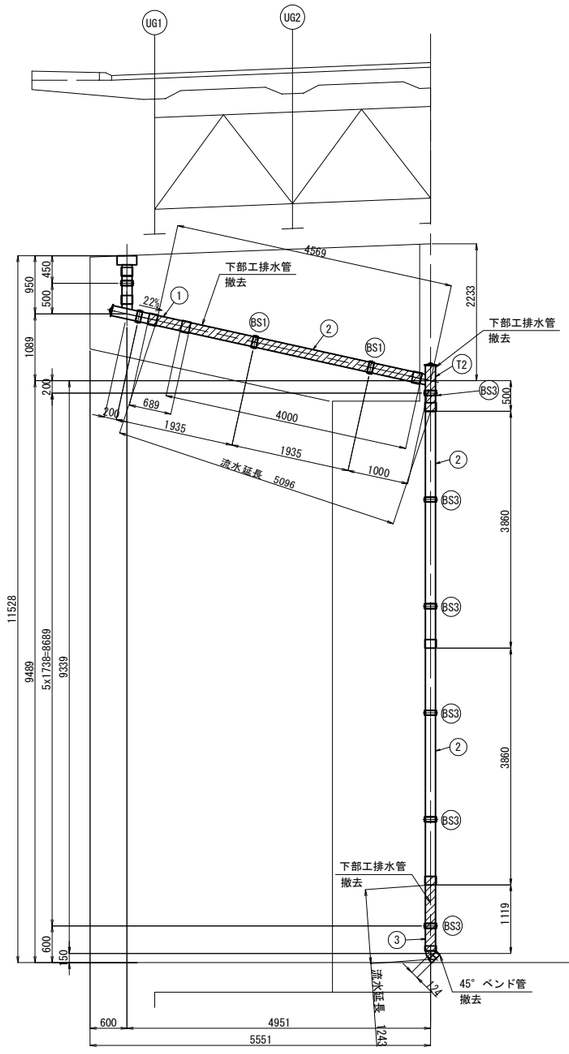
田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その17)

S=1:100

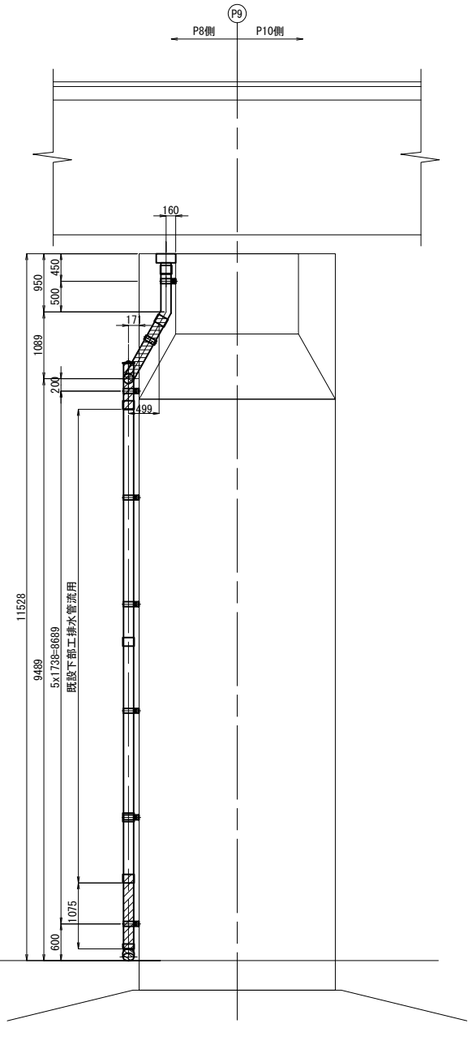
P9橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

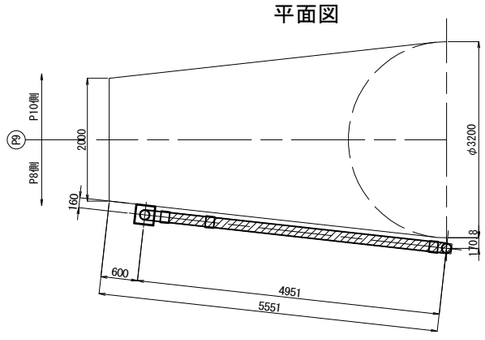
正面図



側面図



平面図



下部工排水撤去数量：

排水金具：

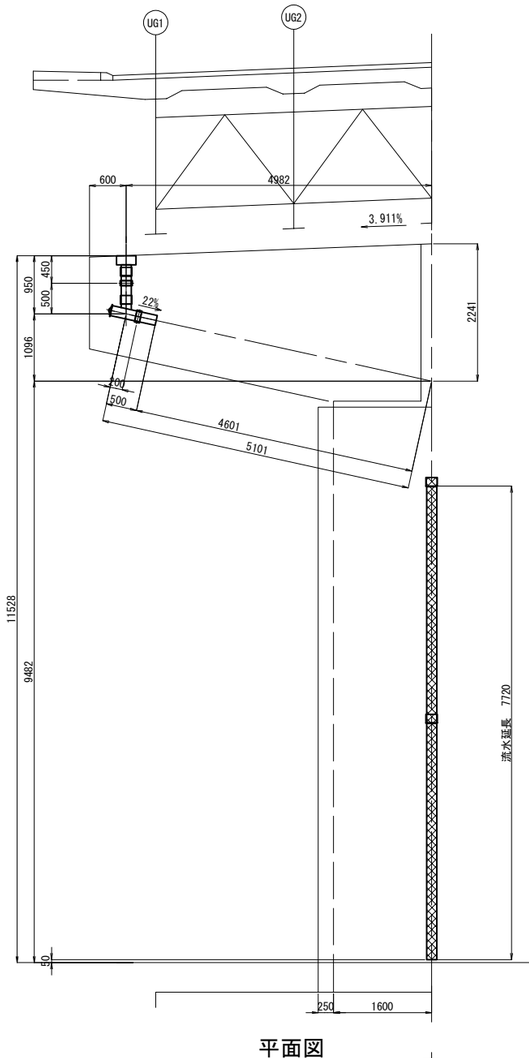
- BS1 2箇所
- BS3 6箇所

排水管：

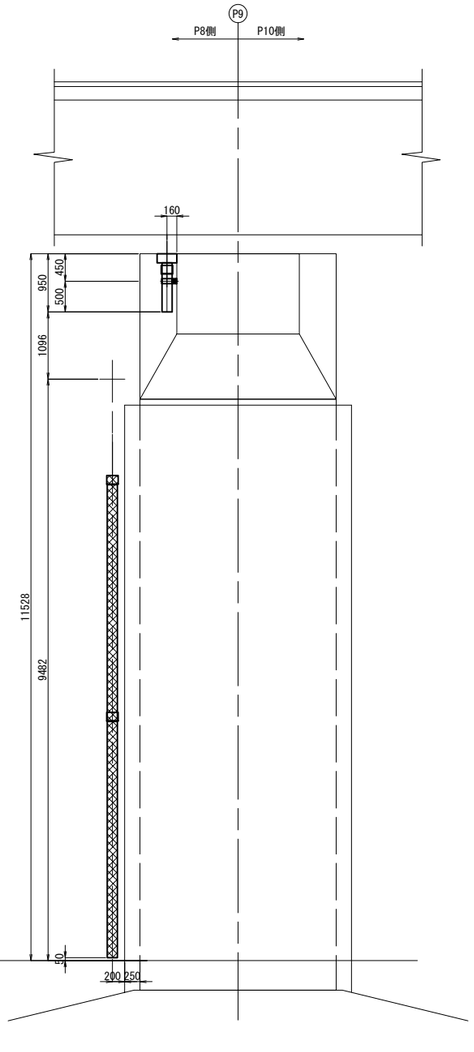
- ① 1-VP 150Ax689
- ② 1-VP 150Ax4000
- ③ 1-VP 150Ax1215
- T2 1箇所
- 45° ベンド管 1箇所

一時撤去(再利用)図

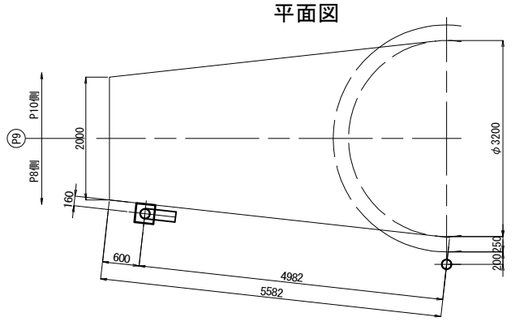
正面図



側面図



平面図



凡 例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その17)		
縮　尺	図　示	図面番号	25 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

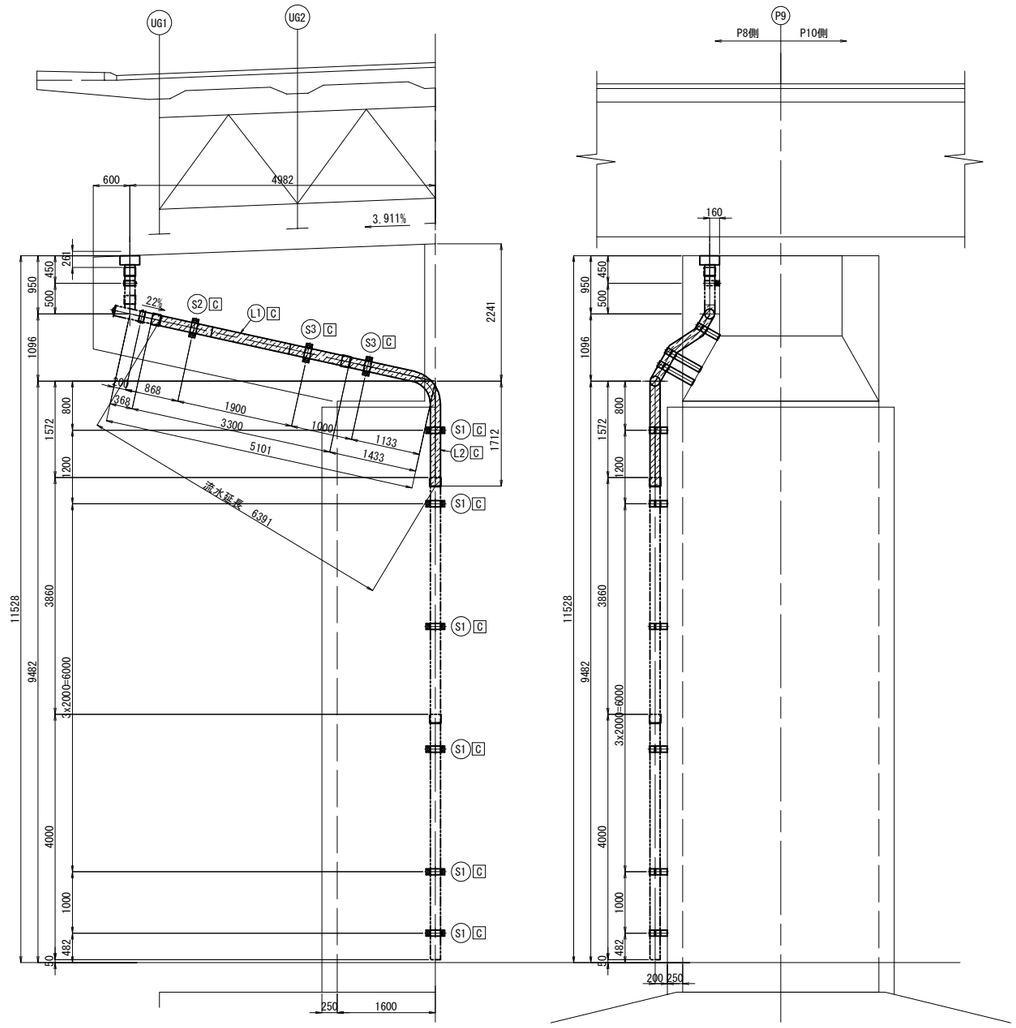
田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その18)

S=1:100

P9橋脚 排水装置 設置工

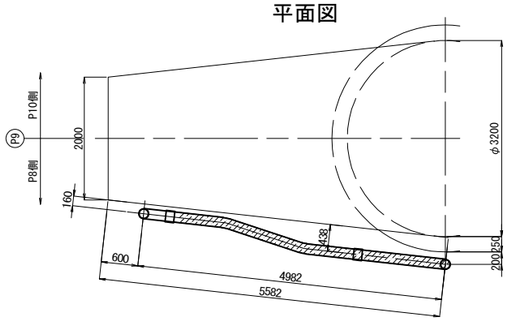
新設図

正面図



側面図

平面図



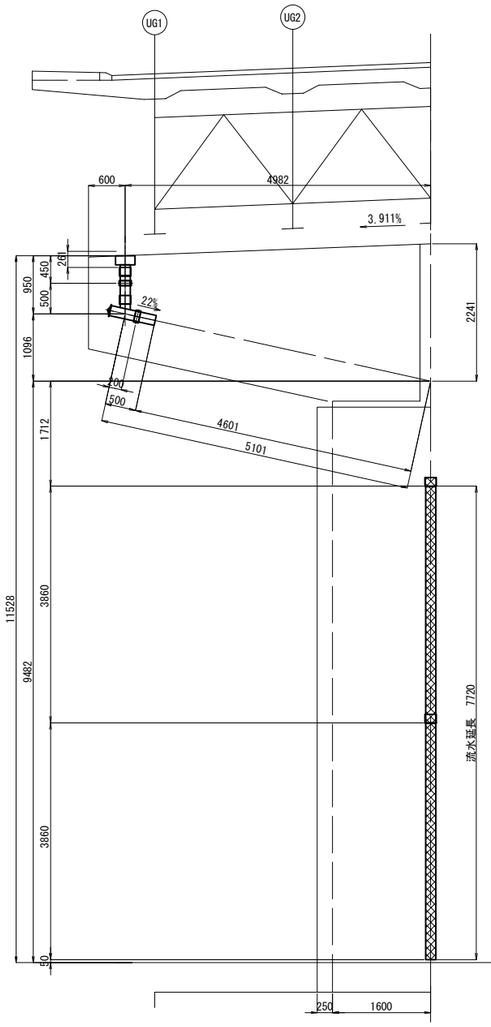
下部工排水新設数量：

排水金具：
- S1 6箇所
- S2 1箇所
- S3 2箇所

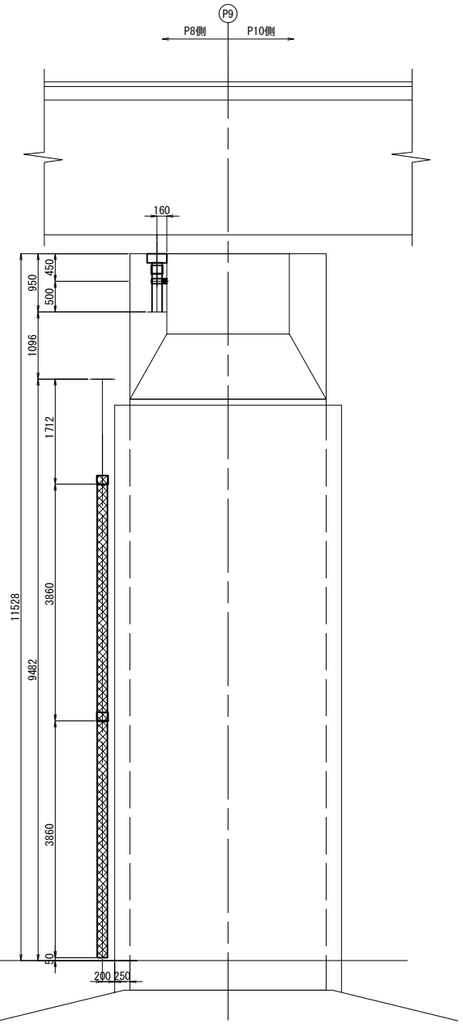
排水管：
- L1 1箇所
- L2 1箇所

再利用図

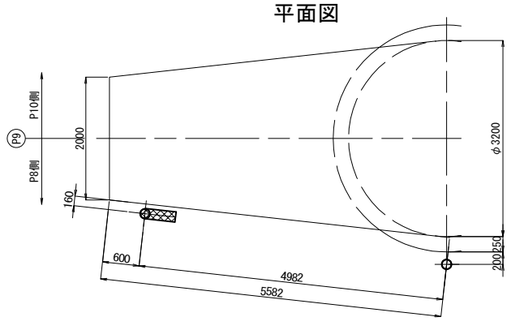
正面図



側面図



平面図



下部工排水新設数量：

排水金具：
- S1 6箇所
- S2 1箇所
- S3 2箇所

排水管：
- L1 1箇所
- L2 1箇所

伸縮継手 EX1 1箇所

凡 例：
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

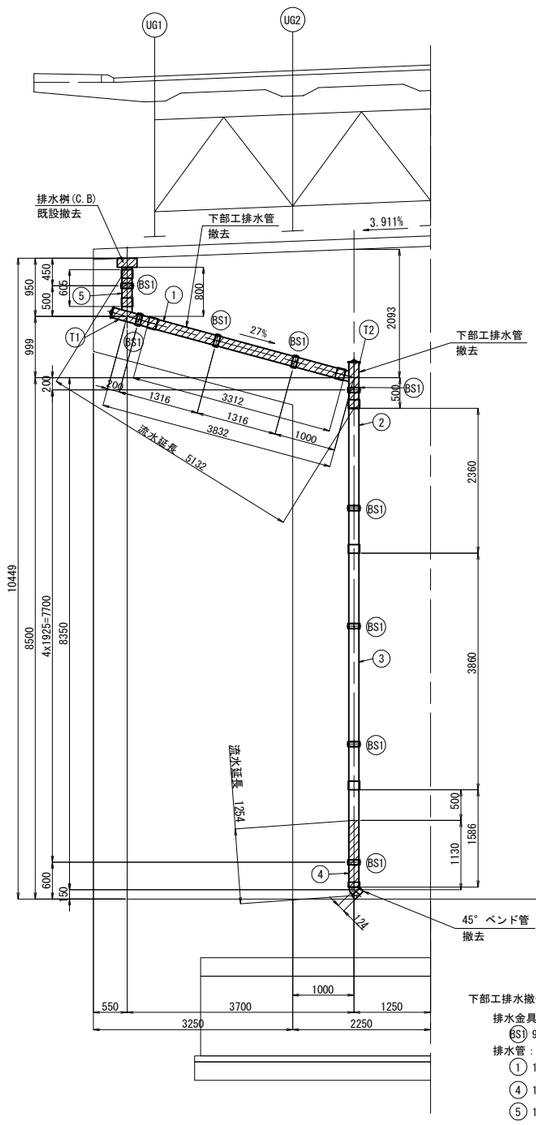
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その18)		
縮　尺	図　示	図面番号	26 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その19) S=1:100

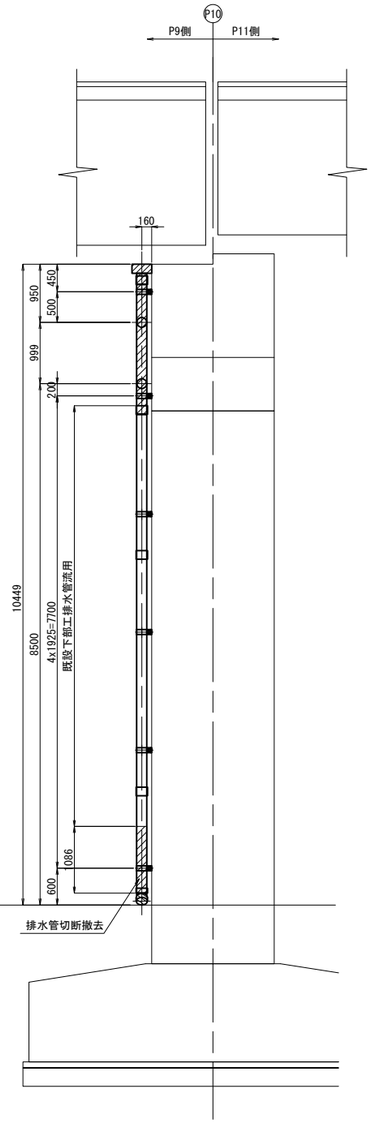
P10橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

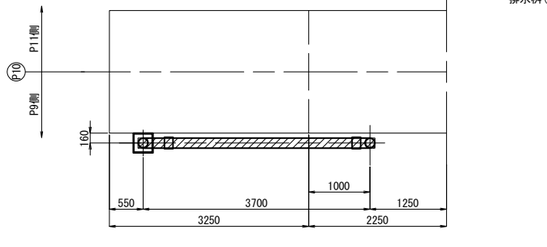
正面図



側面図



平面図



下部工排水撤去数量：

排水金具：

BS1 9箇所

排水管：

① 1-VP 150Ax3312

④ 1-VP 150Ax1086(切断撤去)

⑤ 1-VP 150Ax605

T1 1箇所

T2 1箇所

45° ベンド管 1箇所

排水桝(C.B) 1箇所

凡例：

撤去範囲

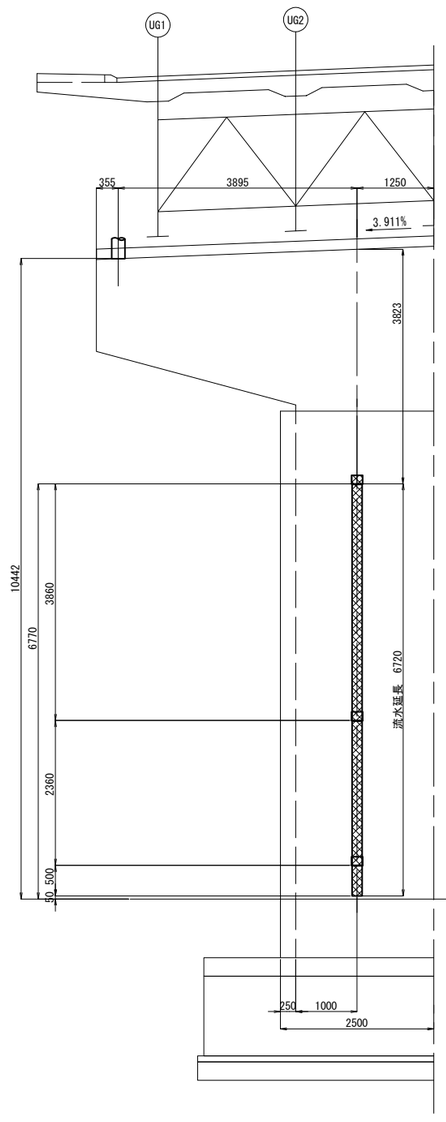
流用範囲

新設範囲

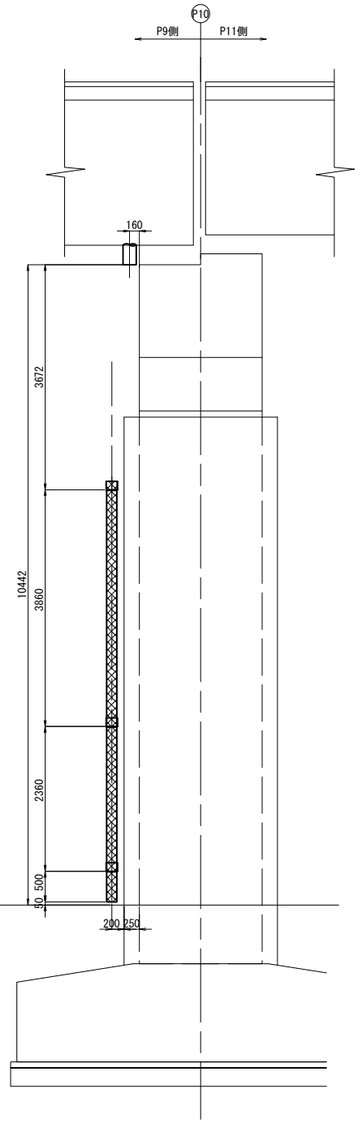
C ：全て新設部材

一時撤去(再利用)図

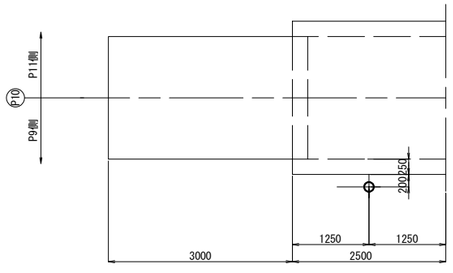
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

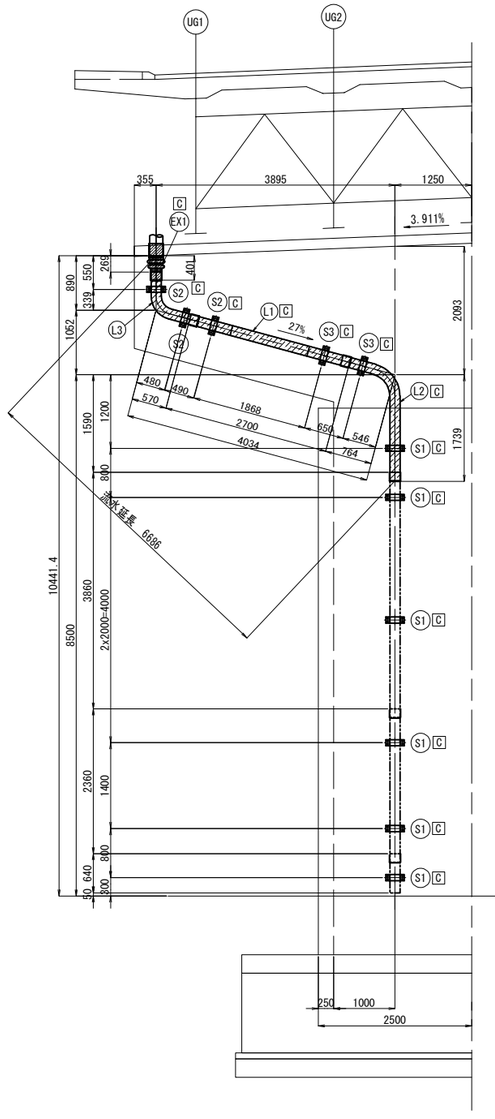
常盤自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その19)		
縮 尺	図 示	図面番号	27 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その20) S=1:100

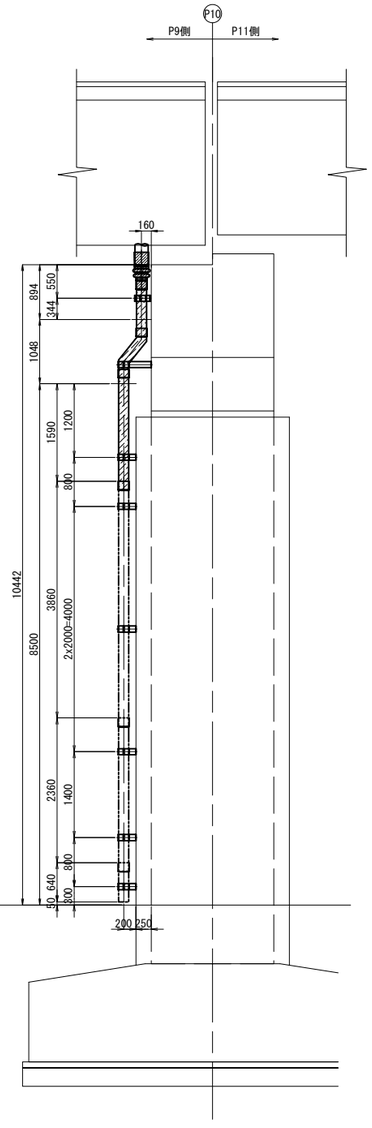
P10橋脚 排水装置 設置工

新設図

正面図



側面図



下部工排水新設数量：

排水金具：

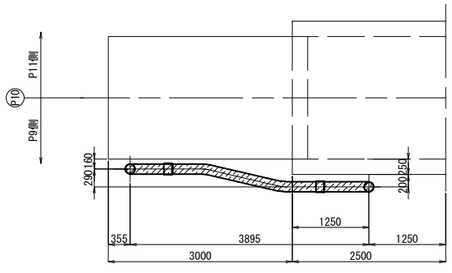
- (S1) 6箇所
- (S2) 3箇所
- (S3) 2箇所

排水管：

- (L1) 1箇所
- (L2) 1箇所
- (L3) 1箇所

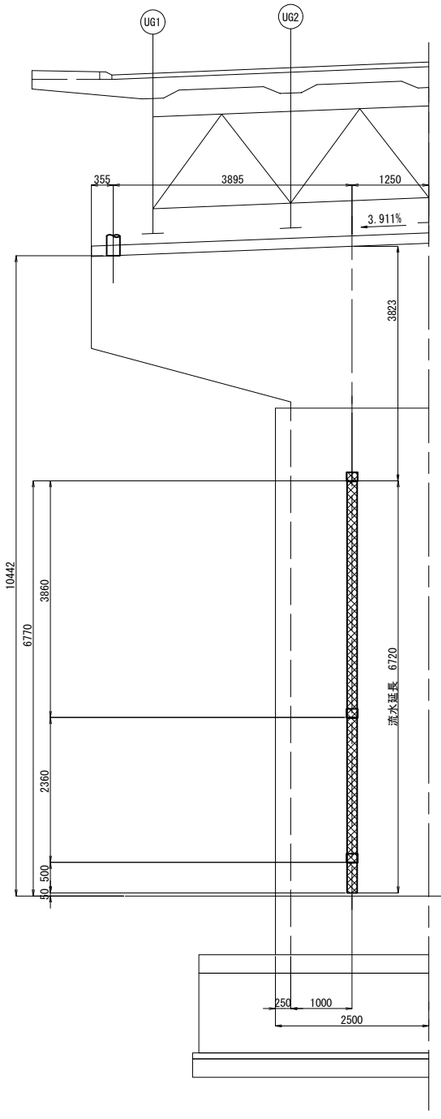
伸縮継手 (EX1) 1箇所

平面図

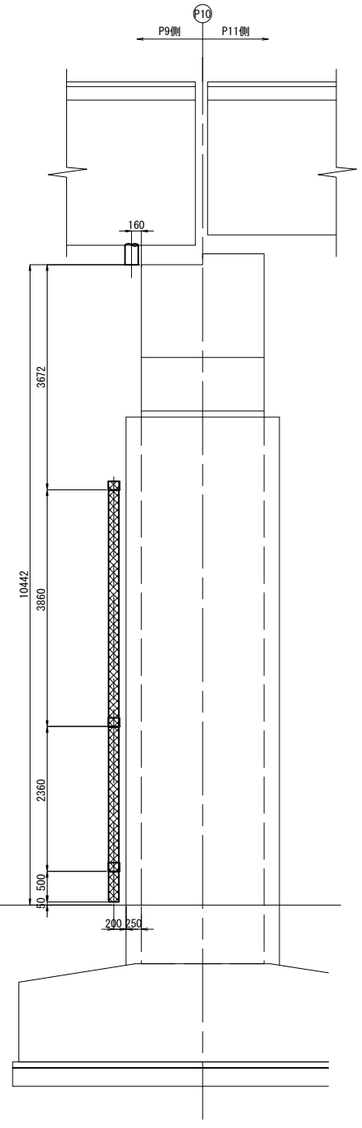


再利用図

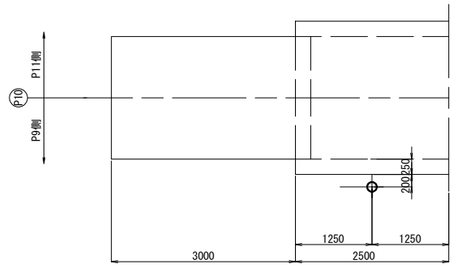
正面図



側面図



平面図



凡例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

注記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常盤自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その20)		
縮尺	図示	図面番号	28 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

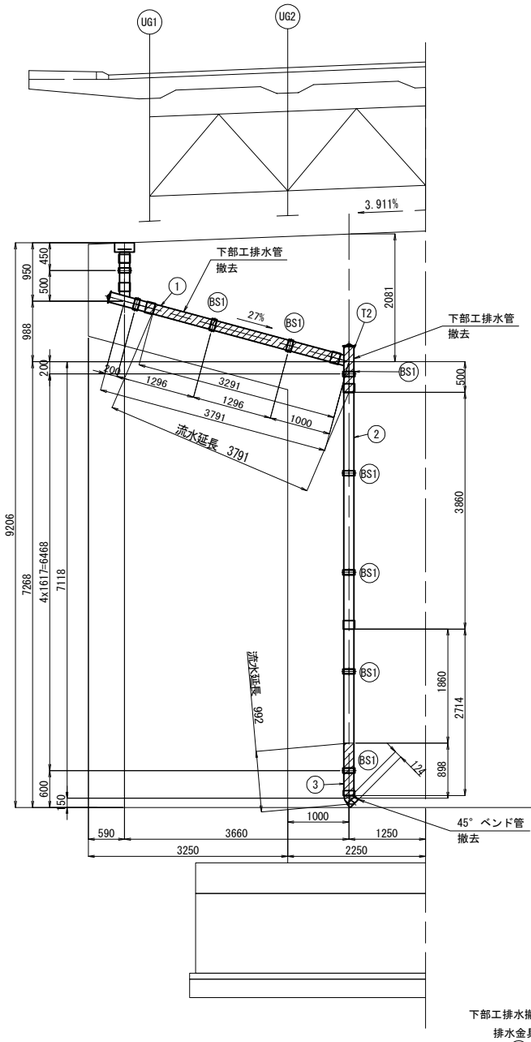
田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その21)

S=1:100

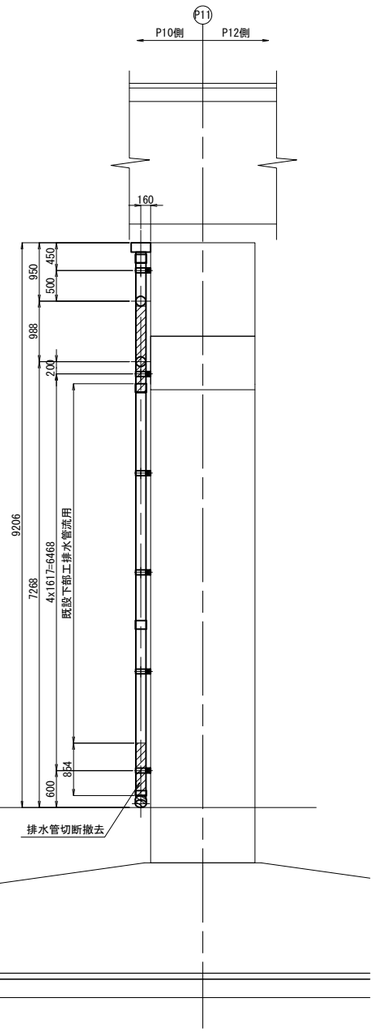
P11橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

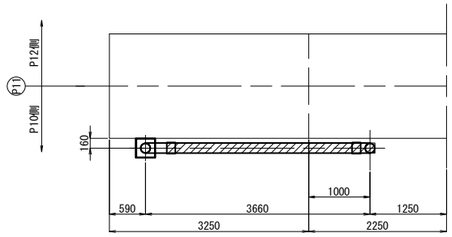
正面図



側面図



平面図



下部工排水撤去数量：

排水金具：

BS1 7箇所

排水管：

① 1-VP 150Ax3271

③ 1-VP 150Ax854(切断撤去)

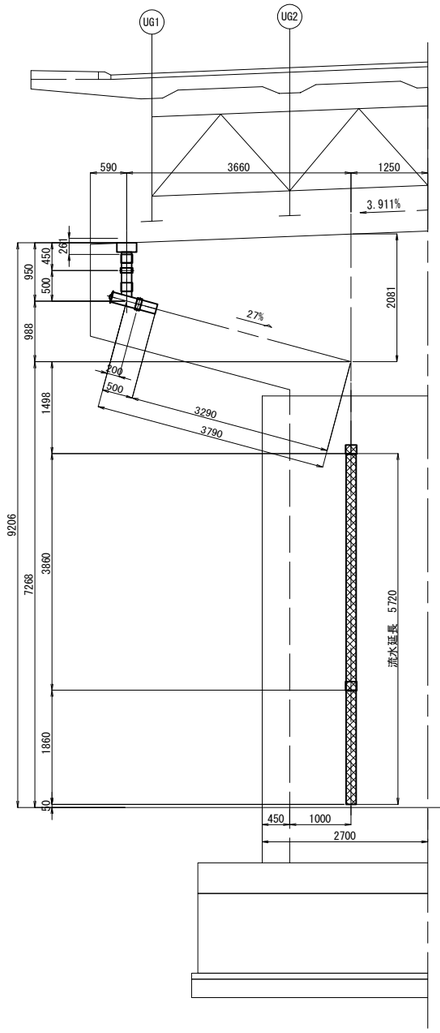
T2 1箇所

45° ベンド管 1箇所

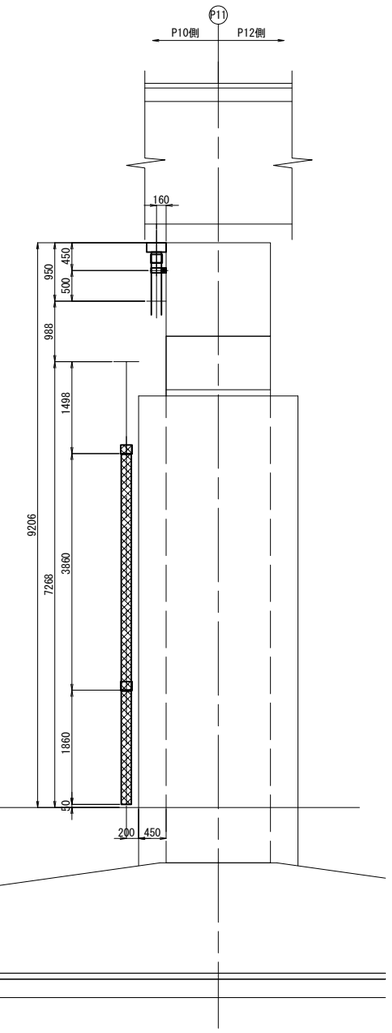
排水桝(C.B) 1箇所

一時撤去(再利用)図

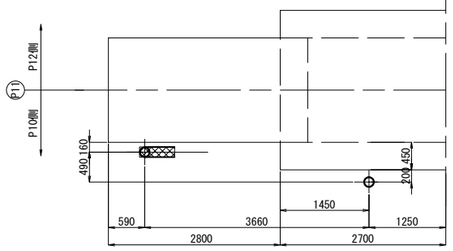
正面図



側面図



平面図



凡 例：

撤去範囲

流用範囲

新設範囲

C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その21)		
縮 尺	図 示	図面番号	29 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

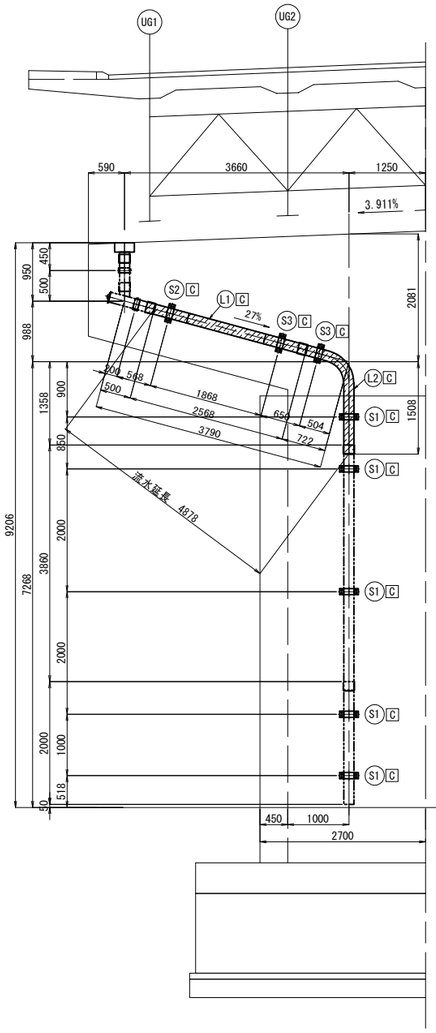
田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その22)

S=1:100

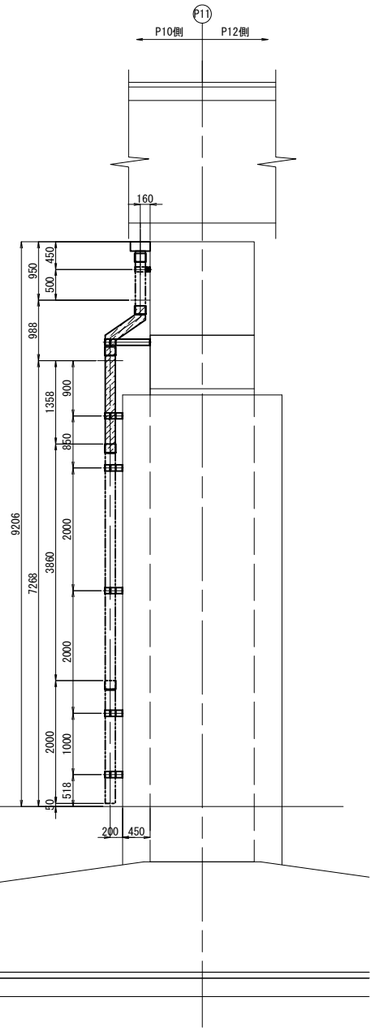
P11橋脚 排水装置 設置工

新設図

正面図

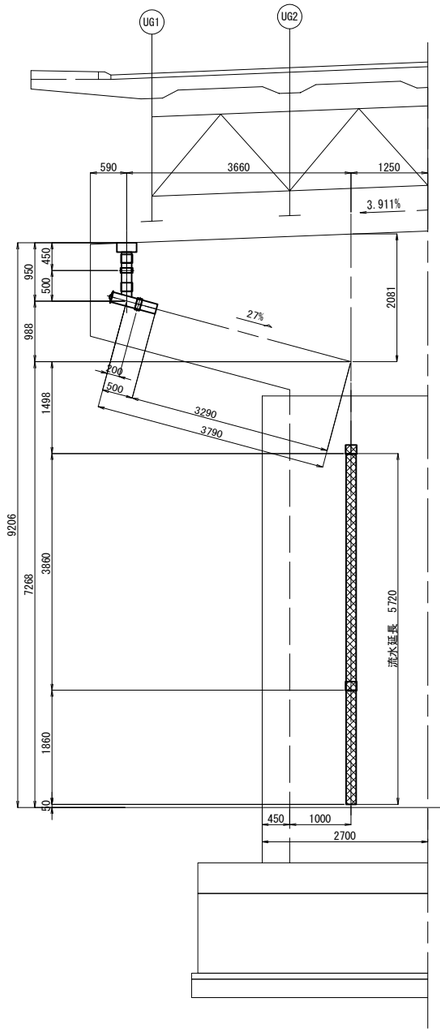


側面図

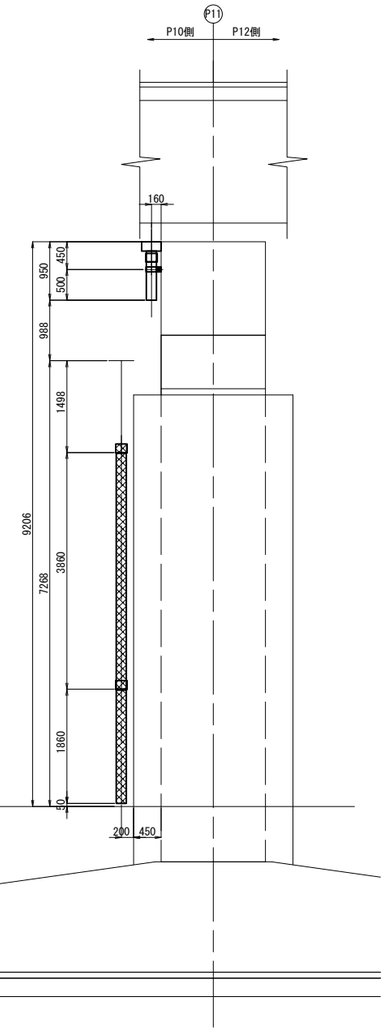


再利用図

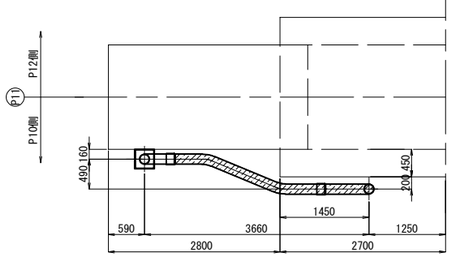
正面図



側面図



平面図



下部工排水新設数量：

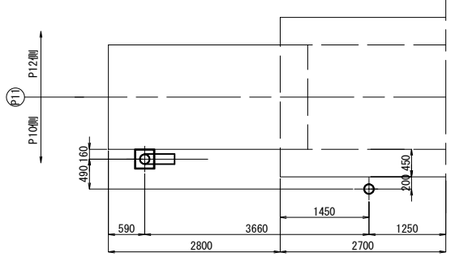
排水金具：

- S1 5箇所
- S2 1箇所
- S3 2箇所

排水管：

- L1 1箇所
- L2 1箇所

平面図



凡 例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

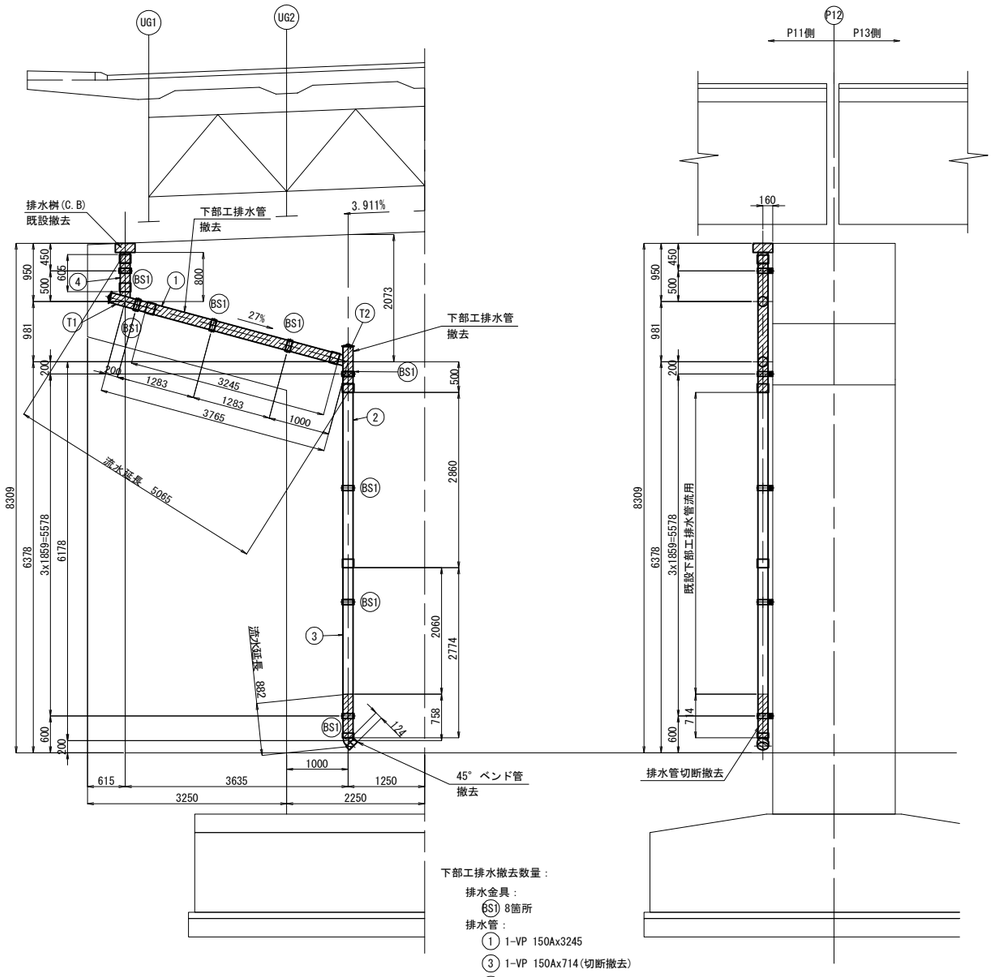
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その22)		
縮　尺	図　示	図面番号	30 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その23) S=1:100

P12橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

正面図



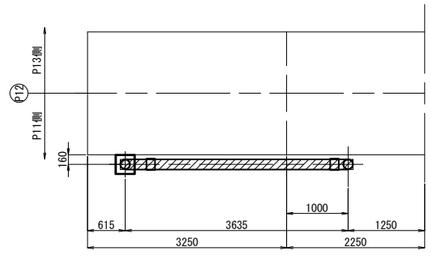
側面図

下部工排水撤去数量：

排水金具：
- (GS1) 8箇所

排水管：
- (1) 1-VP 150Ax3245
- (3) 1-VP 150Ax714(切断撤去)
- (4) 1-VP 150Ax605
- (T1) 1箇所
- (T2) 1箇所
- 45° ベンド管 1箇所
- 排水桝(C.B) 1箇所

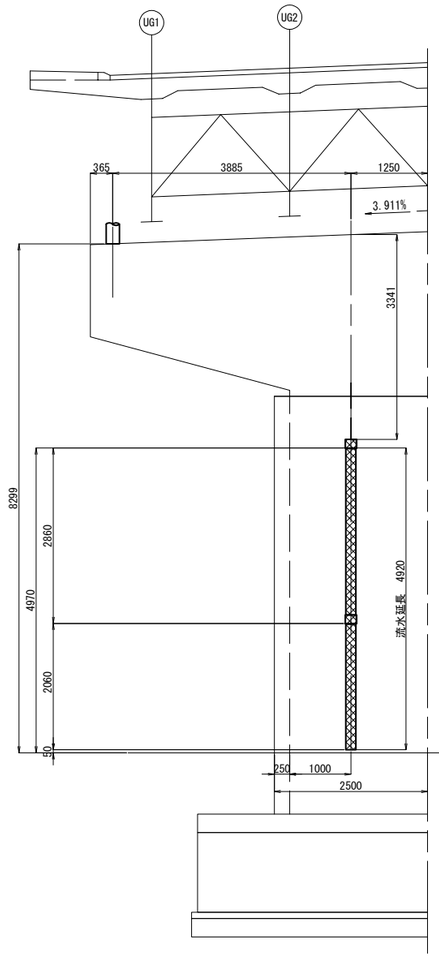
平面図



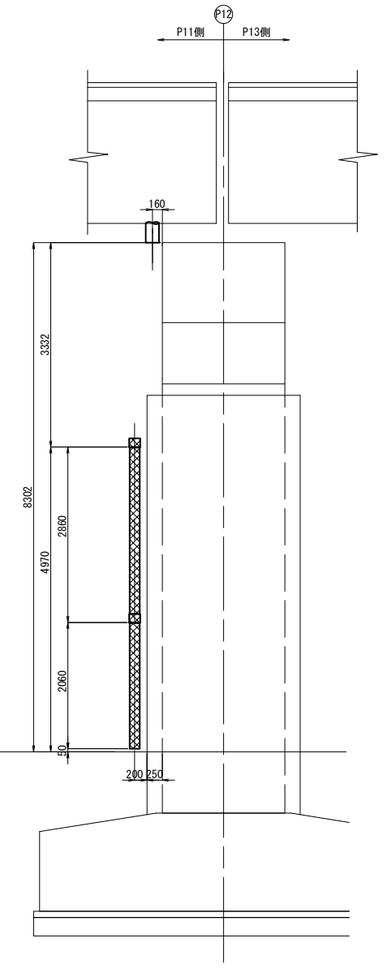
凡 例：
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

一時撤去(再利用)図

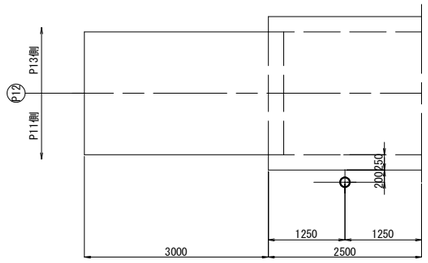
正面図



側面図



平面図



注 記
1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

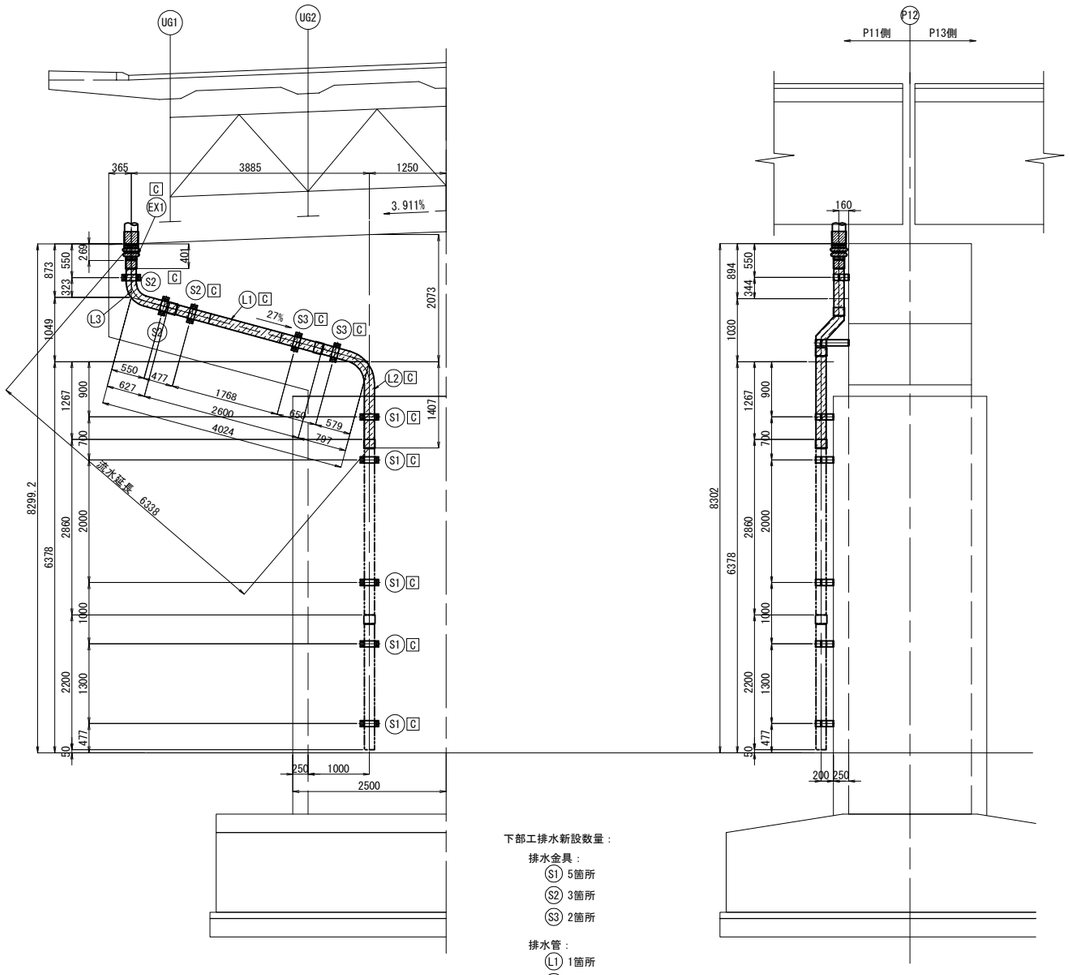
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その23)		
縮 尺	図 示	図面番号	31 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その24) S=1:100

P12橋脚 排水装置 設置工

新設図

正面図



側面図

下部工排水新設数量：

排水金具：

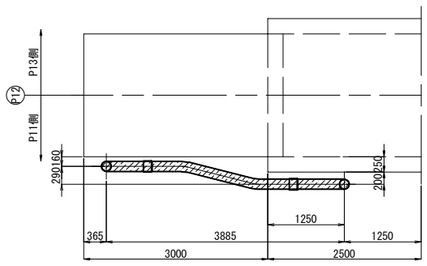
- S1 5箇所
- S2 3箇所
- S3 2箇所

排水管：

- L1 1箇所
- L2 1箇所
- L3 1箇所

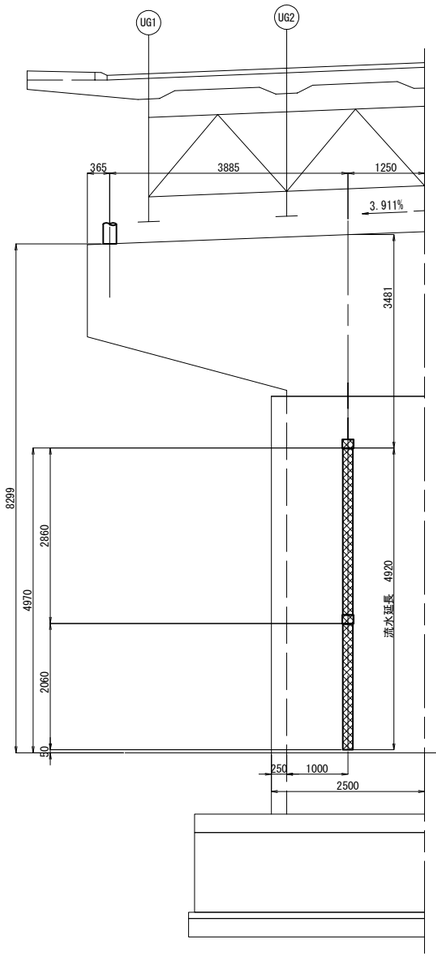
伸縮継手 EX1 1箇所

平面図

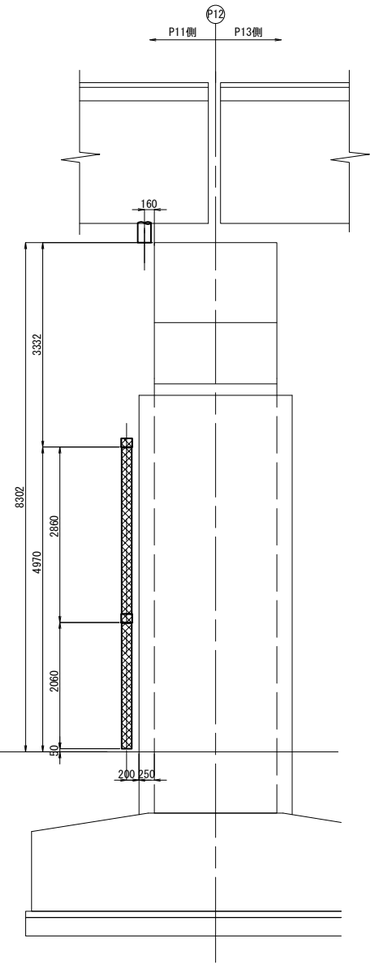


再利用図

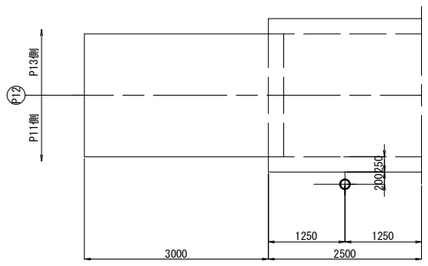
正面図



側面図



平面図



凡 例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その24)		
縮 尺	図 示	図面番号	32 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

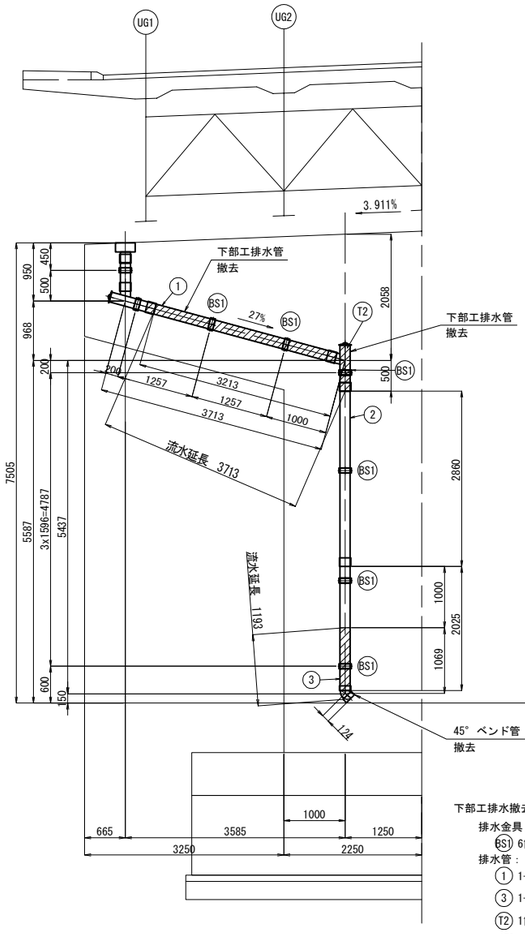
田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その25)

S=1:100

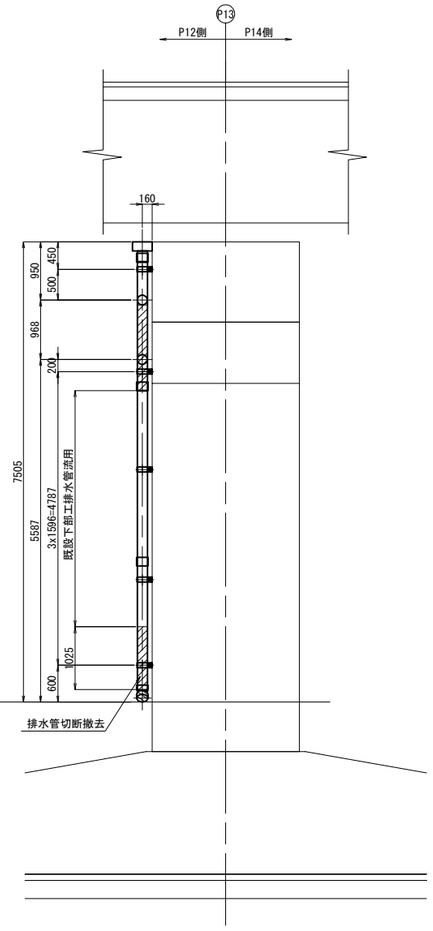
P13橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

正面図



側面図



下部工排水撤去数量：

排水金具：

BS1 6箇所

排水管：

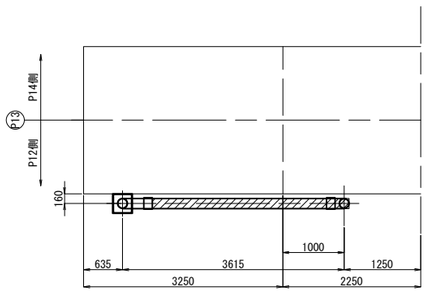
① 1-VP 150Ax3193

③ 1-VP 150Ax1025(切断撤去)

T2 1箇所

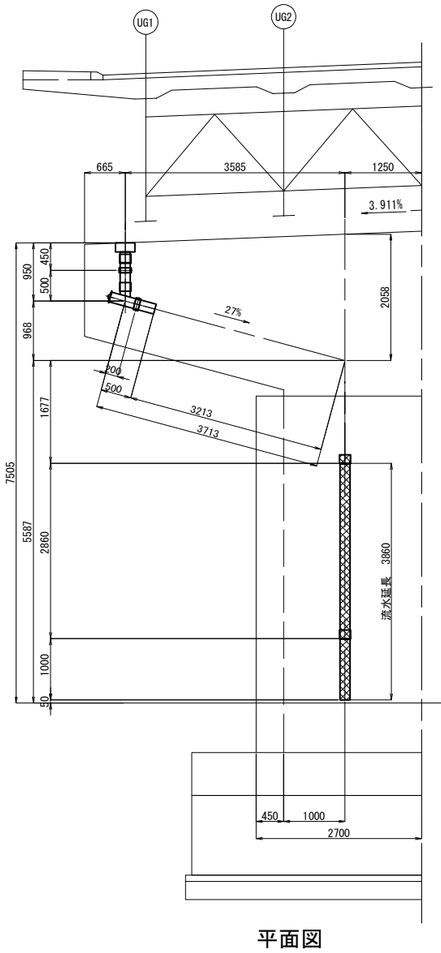
45° ベンド管 1箇所

平面図

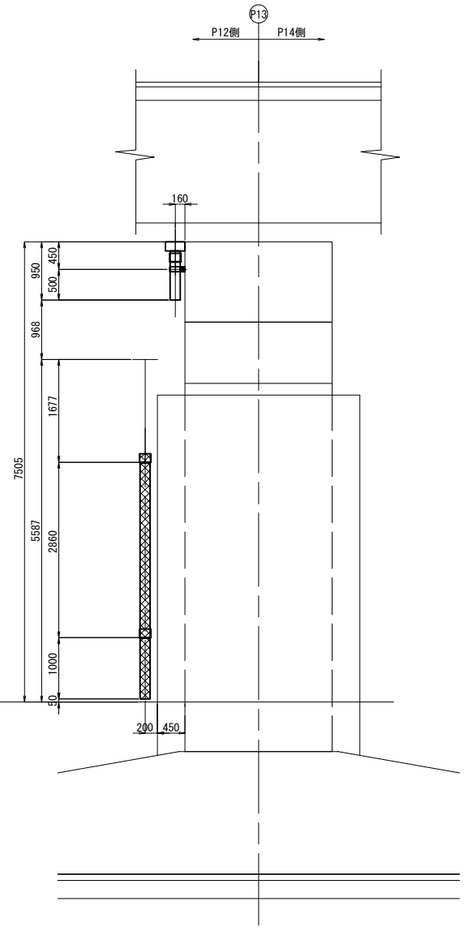


一時撤去(再利用)図

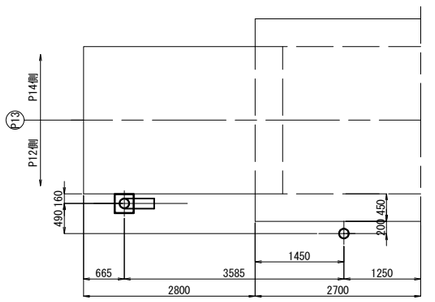
正面図



側面図



平面図



凡 例：

撤去範囲

流用範囲

新設範囲

C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その25)		
縮 尺	図 示	図面番号	33 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

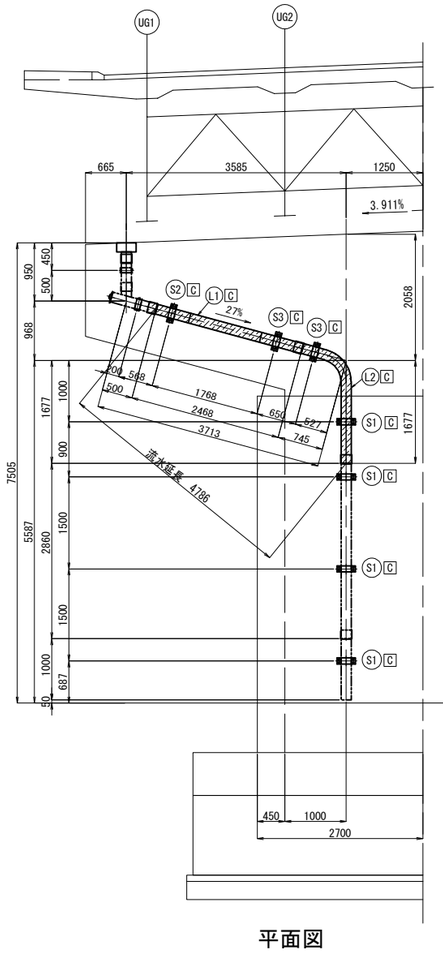
田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その26)

S=1:100

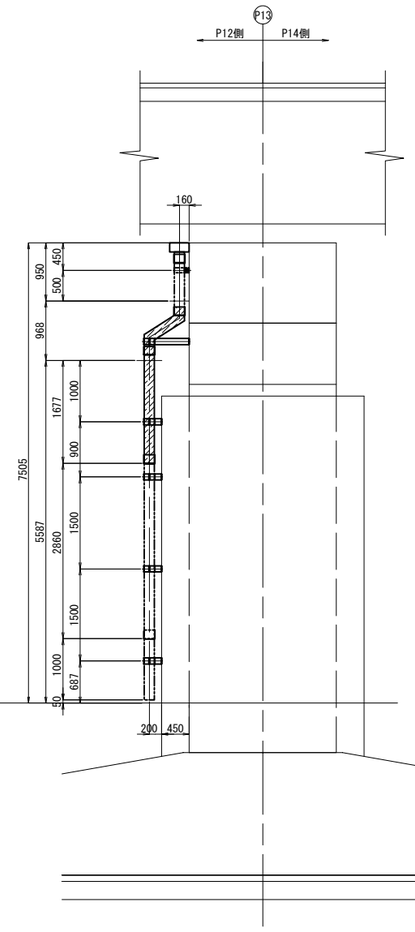
P13橋脚 排水装置 設置工

新設図

正面図



側面図



下部工排水新設数量：

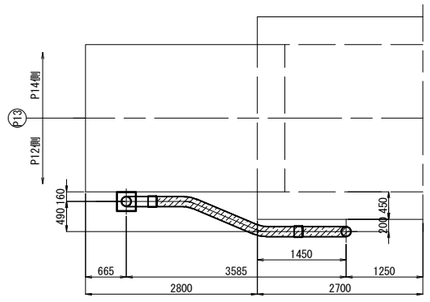
排水金具：

- S1 4箇所
- S2 1箇所
- S3 2箇所

排水管：

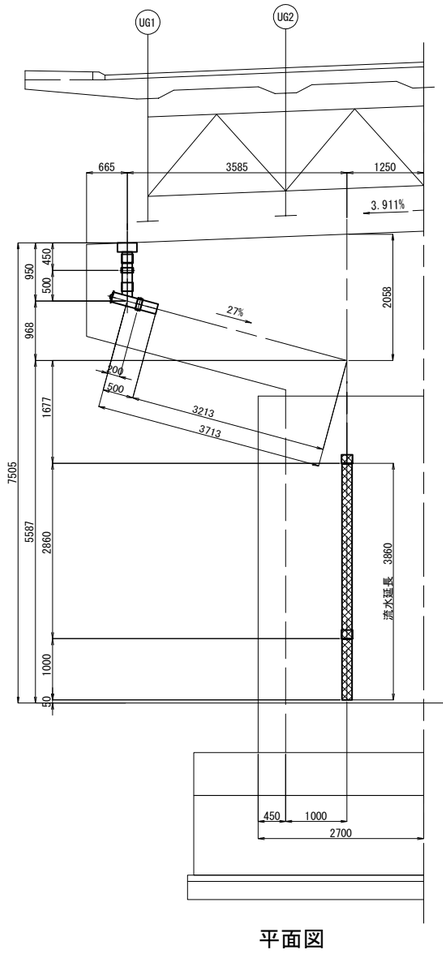
- L1 1箇所
- L2 1箇所

平面図

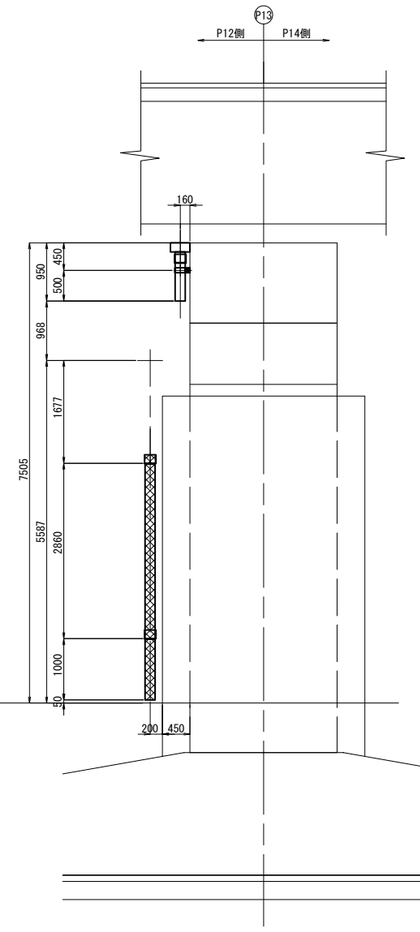


再利用図

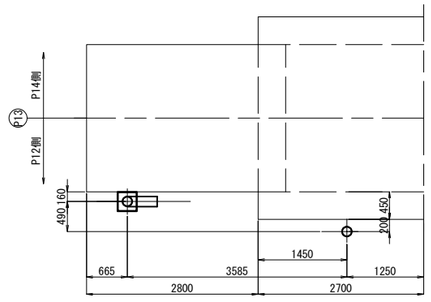
正面図



側面図



平面図



凡 例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その26)		
縮　尺	図　示	図面番号	34 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

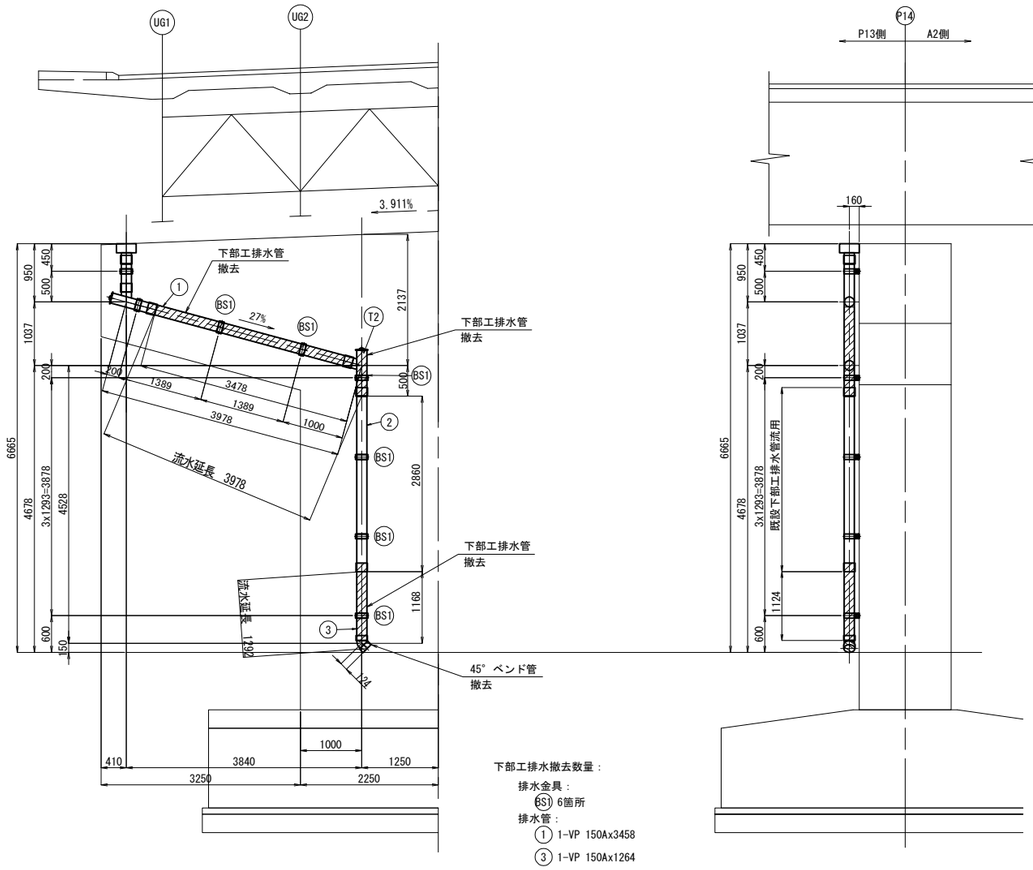
田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その27)

S=1:100

P14橋脚 排水装置 撤去工

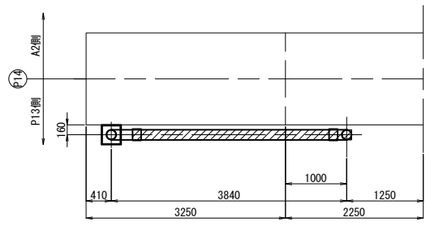
撤去図

正面図



側面図

平面図



下部工排水撤去数量：

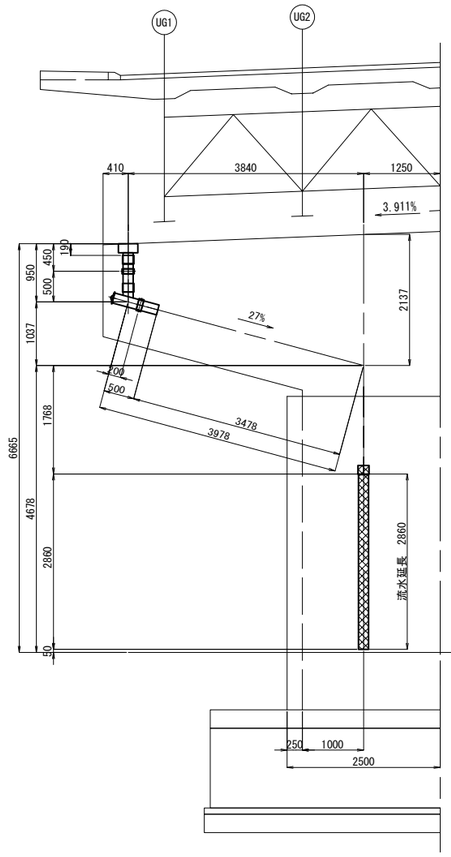
- 排水金具：
  - (BS1) 6箇所
- 排水管：
  - (1) 1-VP 150Ax3458
  - (3) 1-VP 150Ax1264
  - (T2) 1箇所
  - 45° ベンド管 1箇所
- 排水桝(C.B) 1箇所

上部工排水撤去数量：

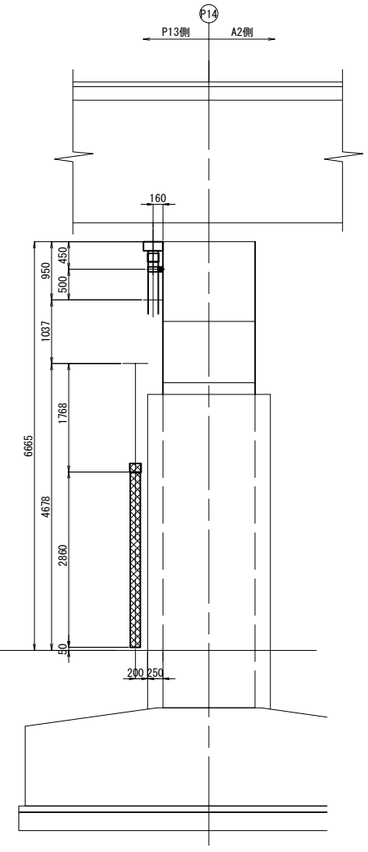
- 排水管：
  - (TU) 1-VP 200Ax174(切断撤去)

一時撤去(再利用)図

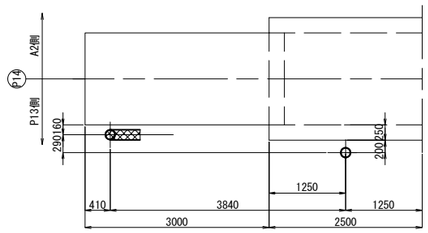
正面図



側面図



平面図



凡 例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その27)		
縮 尺	図 示	図面番号	35 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

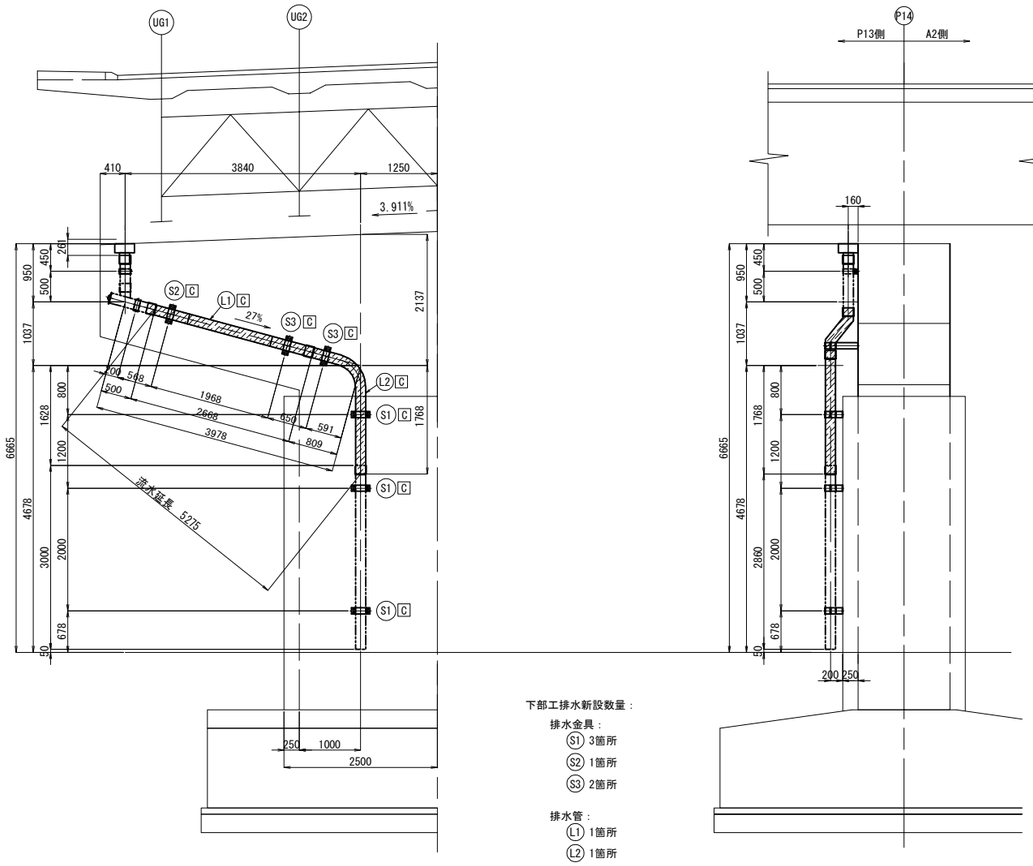
田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その28)

S=1:100

P14橋脚 排水装置 設置工

新設図

正面図



側面図

下部工排水新設数量：

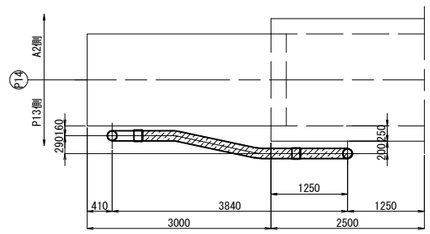
排水金具：

- S1 3箇所
- S2 1箇所
- S3 2箇所

排水管：

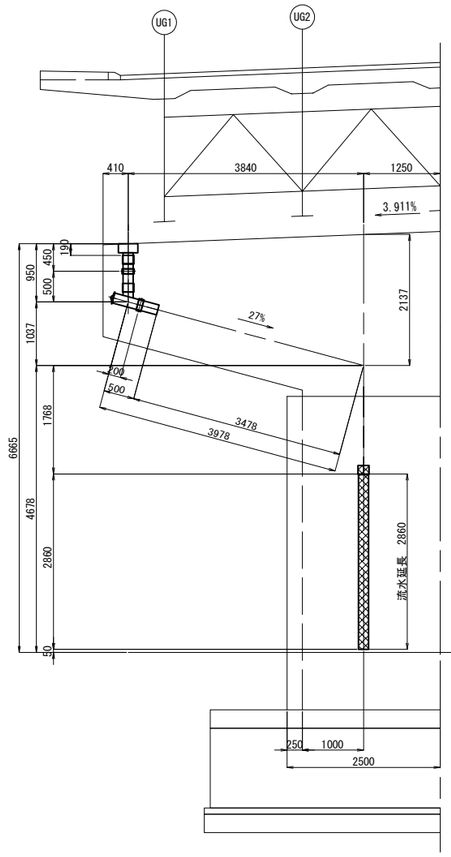
- L1 1箇所
- L2 1箇所

平面図

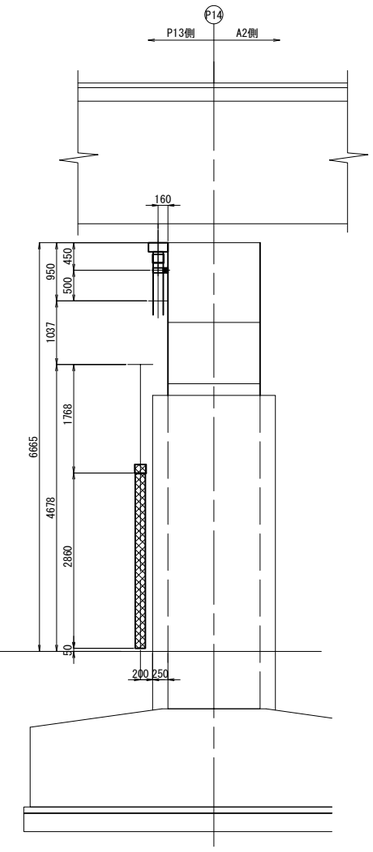


再利用図

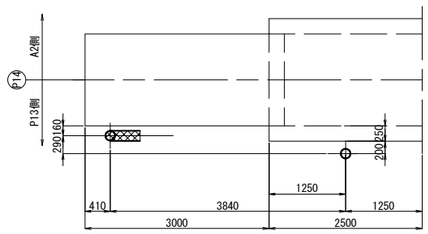
正面図



側面図



平面図



凡 例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

注 記

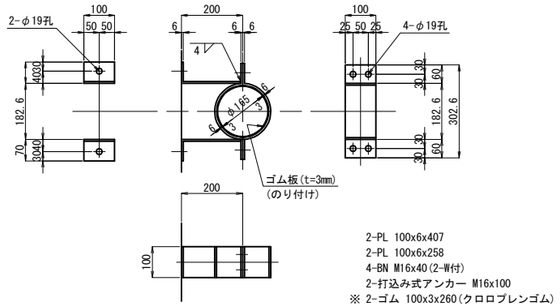
1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) **下部工排水装置撤去・設置工(その28)**		
縮　尺	図　示	図面番号	36 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その29)　S=1:20

取付金具詳細

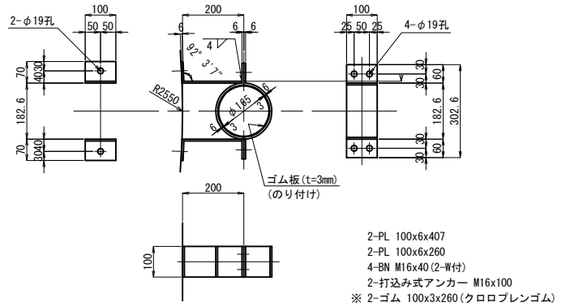
S1
製作数：n組



	n
P1橋脚	----
P2橋脚	5
P3橋脚	5
P4橋脚	6
P5橋脚	3
P6橋脚	6
P7橋脚	7
P10橋脚	6
P11橋脚	5
P12橋脚	5
P13橋脚	4
P14橋脚	3

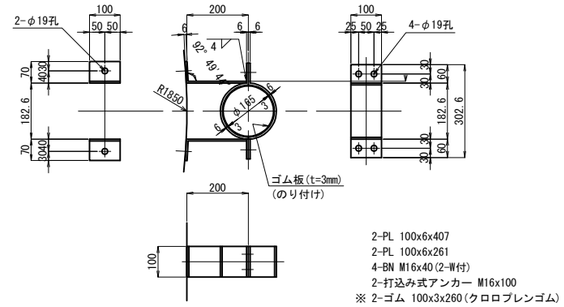
2-PL 100x6x407
2-PL 100x6x258
4-BN M16x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M16x100
※ 2-ゴム 100x3x260(クロロプレンゴム)

P8橋脚 S1
製作数：6組



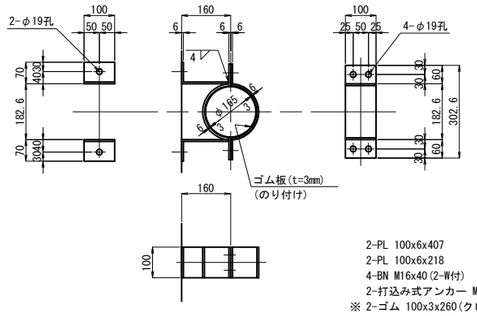
2-PL 100x6x407
2-PL 100x6x260
4-BN M16x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M16x100
※ 2-ゴム 100x3x260(クロロプレンゴム)

P9橋脚 S1
製作数：6組



2-PL 100x6x407
2-PL 100x6x261
4-BN M16x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M16x100
※ 2-ゴム 100x3x260(クロロプレンゴム)

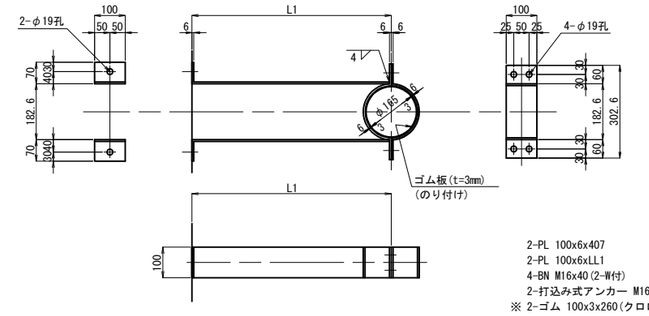
S2
製作数：n組



	n
P1橋脚	2
P2橋脚	1
P3橋脚	1
P4橋脚	3
P5橋脚	1
P6橋脚	1
P8橋脚	1
P9橋脚	1
P10橋脚	3
P11橋脚	1
P12橋脚	3
P13橋脚	1
P14橋脚	1

2-PL 100x6x407
2-PL 100x6x218
4-BN M16x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M16x100
※ 2-ゴム 100x3x260(クロロプレンゴム)

S3
製作数：n組

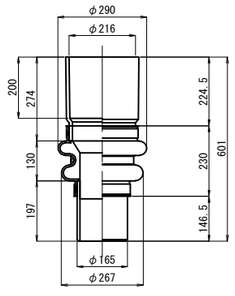


2-PL 100x6x407
2-PL 100x6xLL1
4-BN M16x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M16x100
※ 2-ゴム 100x3x260(クロロプレンゴム)

	n	L1	LL1
P1橋脚	----	----	----
P2橋脚	2	450	508
P3橋脚	2	450	508
P4橋脚	2	450	508
P5橋脚	2	450	508
P6橋脚	2	450	508
P7橋脚	4	450	508
P8橋脚	2	592	650
P9橋脚	2	438	496
P10橋脚	2	450	508
P11橋脚	2	650	708
P12橋脚	2	450	508
P13橋脚	2	650	708
P14橋脚	2	450	508

伸縮継手
200A-150A

EX1
設置数：n



	n
P1橋脚	1
P2橋脚	1
P3橋脚	1
P4橋脚	1
P5橋脚	1
P6橋脚	1
P7橋脚	1
P8橋脚	1
P9橋脚	1
P10橋脚	1
P11橋脚	1
P12橋脚	1
P13橋脚	1
P14橋脚	1

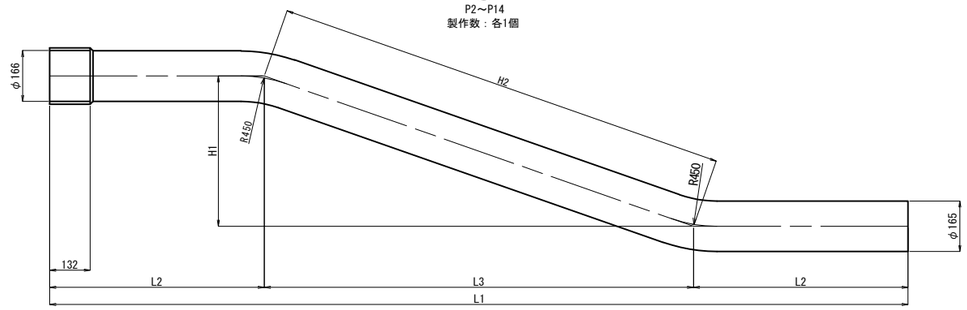
注 記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ※印部材以外は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
   亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
   但し、ボルト･ナット、板厚3.2mm未満の
   部材は、HDZT49とする。
3. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。
4. 普通ボルトは、全てゆるみ止めナット付きとする。
5. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その29)		
縮　尺	図　示	図面番号	37 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その30)　S=1:20

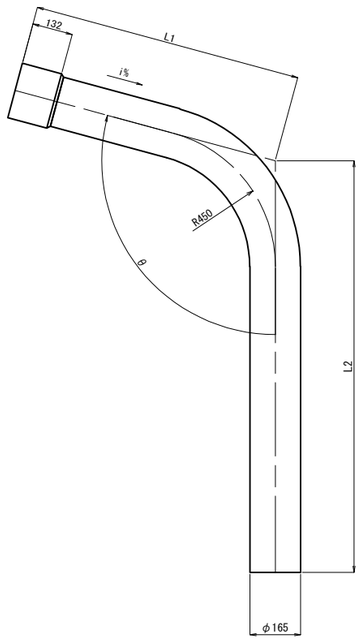
排水管詳細

L1
P2～P14
製作数：各1個



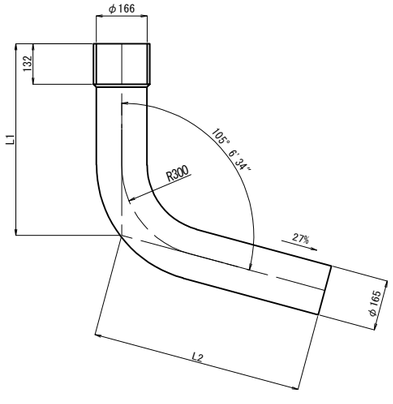
	L1	L2	L3	H1	H2
P1橋脚	----	----	----	----	----
P2橋脚	2800	700	1400	290	1430
P3橋脚	2800	700	1400	290	1430
P4橋脚	2800	700	1400	290	1430
P5橋脚	2800	700	1400	290	1430
P6橋脚	2800	700	1400	290	1430
P8橋脚	3300	1000	1300	432	1370
P9橋脚	3300	1000	1300	278	1329
P10橋脚	2700	700	1300	290	1332
P11橋脚	2700	700	1300	490	1389
P12橋脚	2600	700	1200	290	1235
P13橋脚	2600	700	1200	490	1296
P14橋脚	2800	700	1400	290	1430

L2
P2～P14
製作数：各1個



	L1	L2	θ
P1橋脚	----	----	----
P2橋脚	931	1429	105° 6' 34"
P3橋脚	911	2269	105° 6' 34"
P4橋脚	936	1866	105° 6' 34"
P5橋脚	879	1380	105° 6' 34"
P6橋脚	916	1482	105° 6' 34"
P7橋脚	869	2009	105° 6' 34"
P8橋脚	1821	1261	104° 2' 10"
P9橋脚	1565	1712	102° 24' 27"
P10橋脚	897	1730	105° 6' 34"
P11橋脚	855	1498	105° 6' 34"
P12橋脚	929	1407	105° 6' 34"
P13橋脚	877	1677	105° 6' 34"
P14橋脚	941	1768	105° 6' 34"

L3
製作数：n個



	n	L1	L2
P1橋脚	----	----	----
P2橋脚	----	----	----
P3橋脚	----	----	----
P4橋脚	1	624	692
P5橋脚	----	----	----
P6橋脚	----	----	----
P7橋脚	1	617	1312
P8橋脚	----	----	----
P9橋脚	----	----	----
P10橋脚	1	620	702
P11橋脚	----	----	----
P12橋脚	1	603	759
P13橋脚	----	----	----
P14橋脚	----	----	----

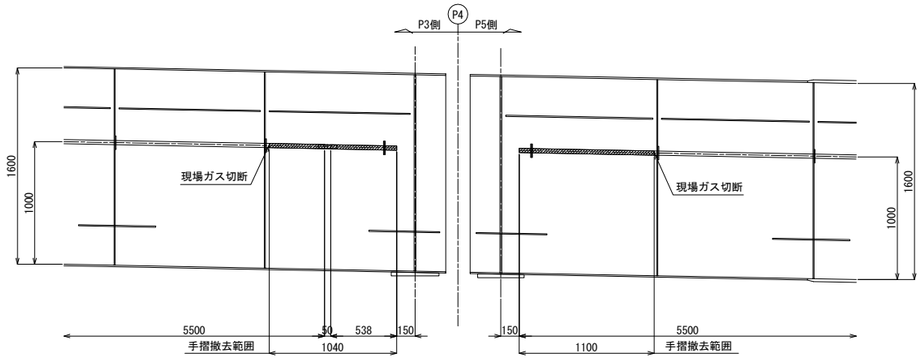
注 記

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ※印部材以外は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
   亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
   但し、ボルト･ナット、板厚3.2mm未満の
   部材は、HDZT49とする。
3. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。
4. 普通ボルトは、全てゆるみ止めナット付きとする。
5. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その30)		
縮　尺	図　示	図面番号	38 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

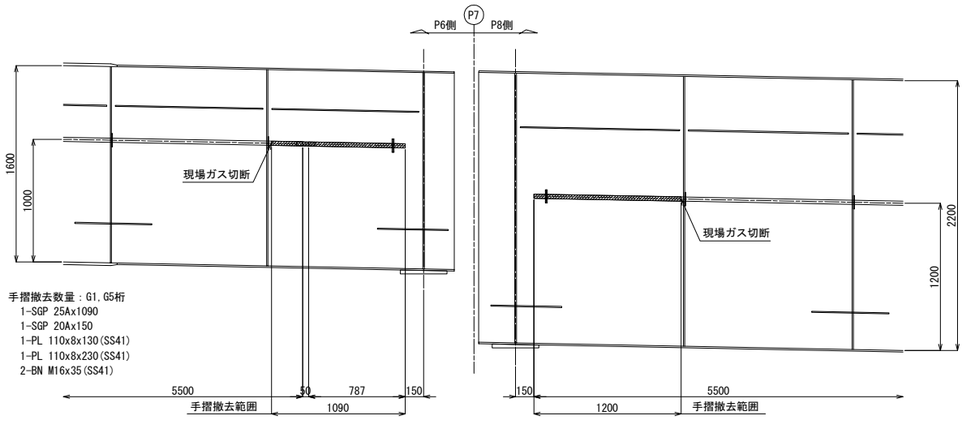
田野高架橋(上り線) 上部工検査路A　撤去工　S=1:50

手摺撤去図



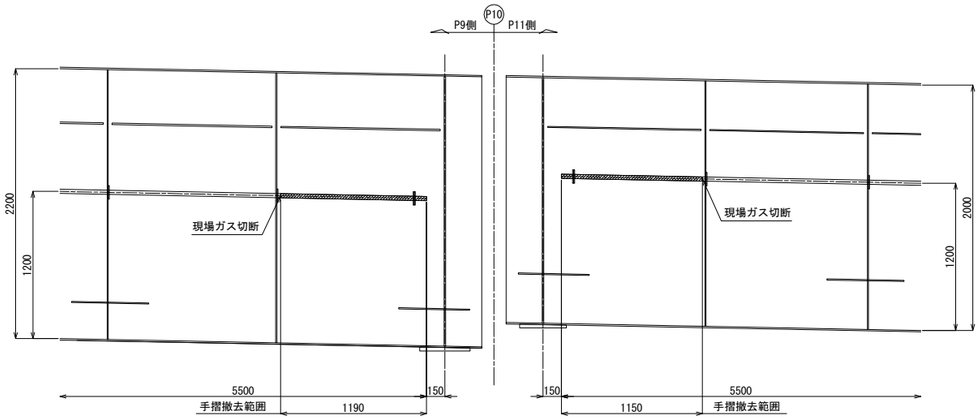
手摺撤去数量：G1,G5桁
1-SGP 25Ax1040
1-SGP 20Ax150
1-PL 110x8x130(SS41)
1-PL 110x8x230(SS41)
2-BN M16x35(SS41)

手摺撤去数量：G1,G5桁
1-SGP 25Ax1100
1-PL 110x8x130(SS41)
1-PL 110x8x230(SS41)
2-BN M16x35(SS41)



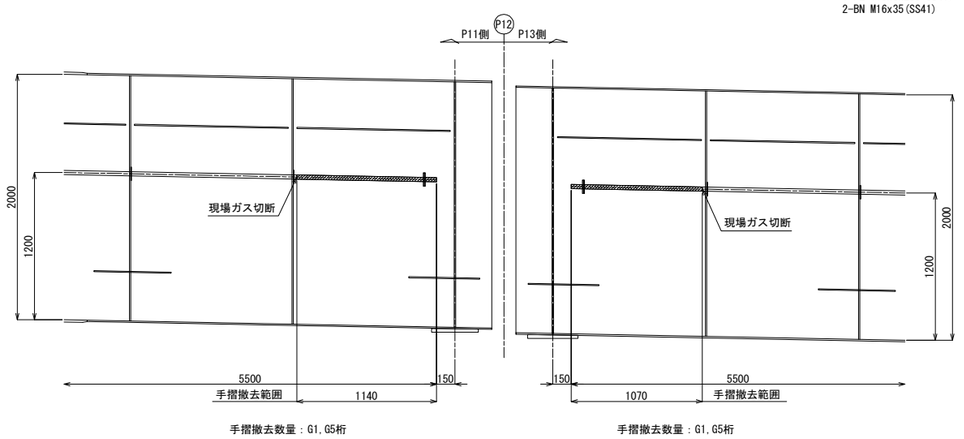
手摺撤去数量：G1,G5桁
1-SGP 25Ax1090
1-SGP 20Ax150
1-PL 110x8x130(SS41)
1-PL 110x8x230(SS41)
2-BN M16x35(SS41)

手摺撤去数量：G1,G5桁
1-SGP 25Ax1200
1-PL 110x8x130(SS41)
1-PL 110x8x230(SS41)
2-BN M16x35(SS41)



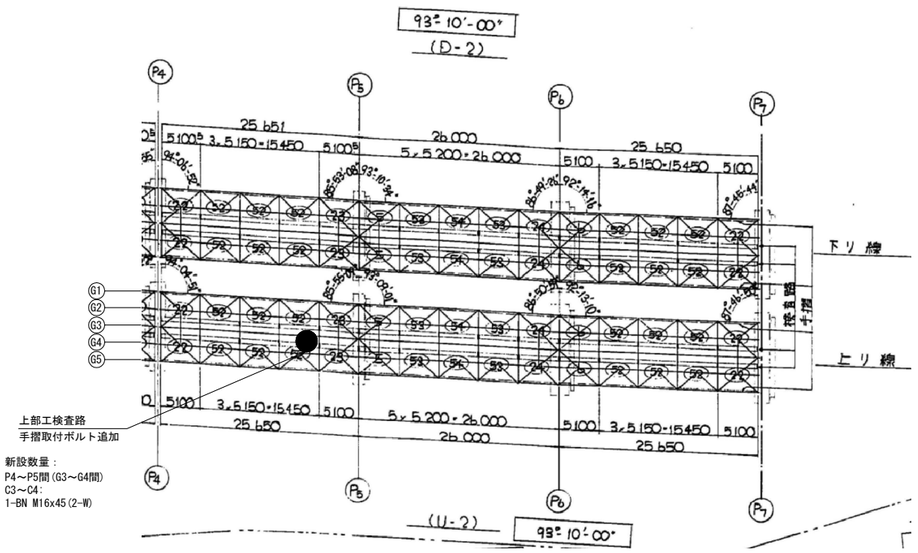
手摺撤去数量：G1,G5桁
1-SGP 25Ax1190
1-PL 110x8x130(SS41)
1-PL 110x8x230(SS41)
2-BN M16x35(SS41)

手摺撤去数量：G1,G5桁
1-SGP 25Ax1150
1-PL 110x8x130(SS41)
1-PL 110x8x230(SS41)
2-BN M16x35(SS41)



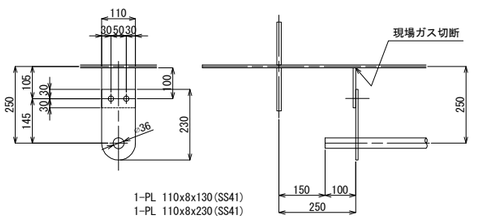
手摺撤去数量：G1,G5桁
1-SGP 25Ax1140
1-PL 110x8x130(SS41)
1-PL 110x8x230(SS41)
2-BN M16x35(SS41)

手摺撤去数量：G1,G5桁
1-SGP 25Ax1070
1-PL 110x8x130(SS41)
1-PL 110x8x230(SS41)
2-BN M16x35(SS41)



新設数量：
P4～P5間(G3～G4間)
C3～C4：
1-BN M16x45(2-W)

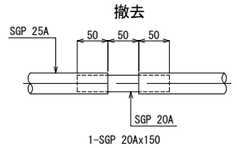
手摺取付金具撤去詳細　S=1:20



1-PL 110x8x130(SS41)
1-PL 110x8x230(SS41)
2-BN M16x35(SS41)

既設手摺継手部詳細　S=1:10

撤去



1-SGP 20Ax150

注 記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、
付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、ボルト･ナット類はHDZT77とする。
3. 普通ボルトは、全てゆるみ止めナット付きとする。
ボルト径+3mmを標準とする。

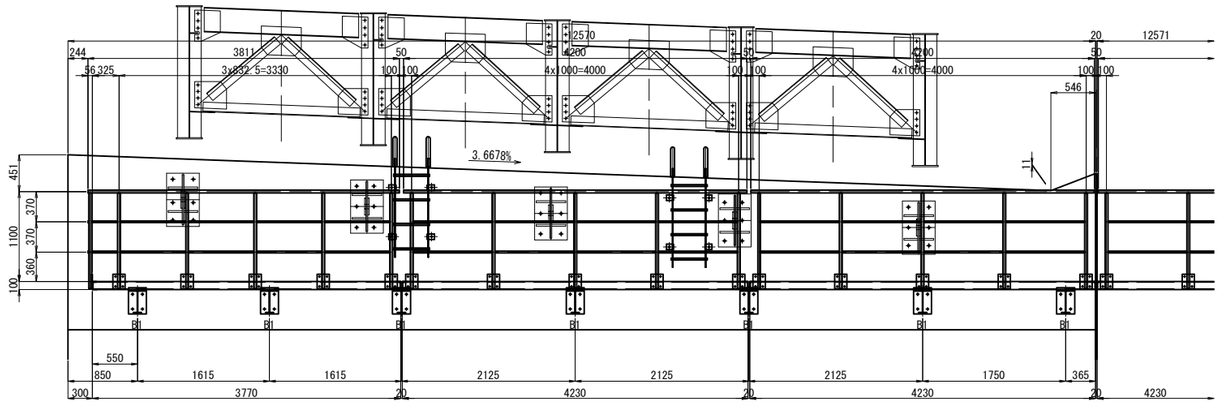
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 上部工検査路A　撤去工		
縮　尺	図　示	図面番号	39 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その1)　S=1:75

A1橋台 下部工検査路撤去図

正面図

A － A



1-FLOOR PL 470x3.2x3730
2-[100x50x5x7.5x3770
1-[100x50x5x7.5x500
1-L 75x75x6x490
5-FB 75x6x490
2-PL 200x8x480
1-PL 80x8x480
40-BN M10x30 (1-TW,1-SW)

12-PL 150x6x180
12-BN M16x35
12-BN M16x40
1-SGP 25Ax3811(SGP)
1-SGP 25Ax529(SGP)
6-SGP 25Ax1180(SGP)
8-SGP 15Ax807(SGP)
2-SGP 15Ax362(SGP)
2-SGP 15Ax416(SGP)

1-FLOOR PL 470x3.2x4180
2-[100x50x5x7.5x4230
2-L 75x75x6x490
5-FB 75x6x490
1-PL 200x8x480
2-PL 80x8x480
38-BN M10x30 (1-TW,1-SW)

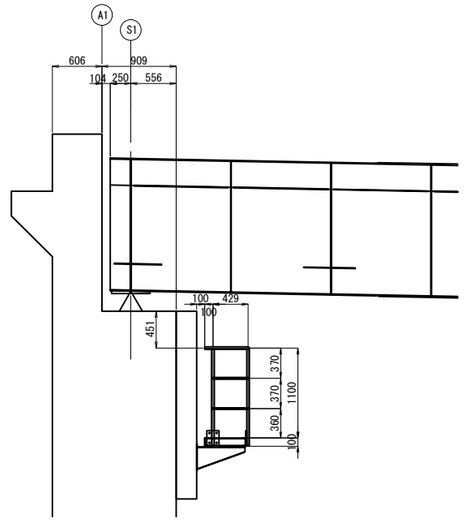
10-PL 150x6x180
10-BN M16x35
10-BN M16x40
1-SGP 25Ax4200(SGP)
5-SGP 25Ax1180(SGP)
8-SGP 15Ax974(SGP)

1-FLOOR PL 470x3.2x4180
2-[100x50x5x7.5x4230
2-L 75x75x6x490
5-FB 75x6x490
2-PL 200x8x480
1-PL 80x8x480
38-BN M10x30 (1-TW,1-SW)

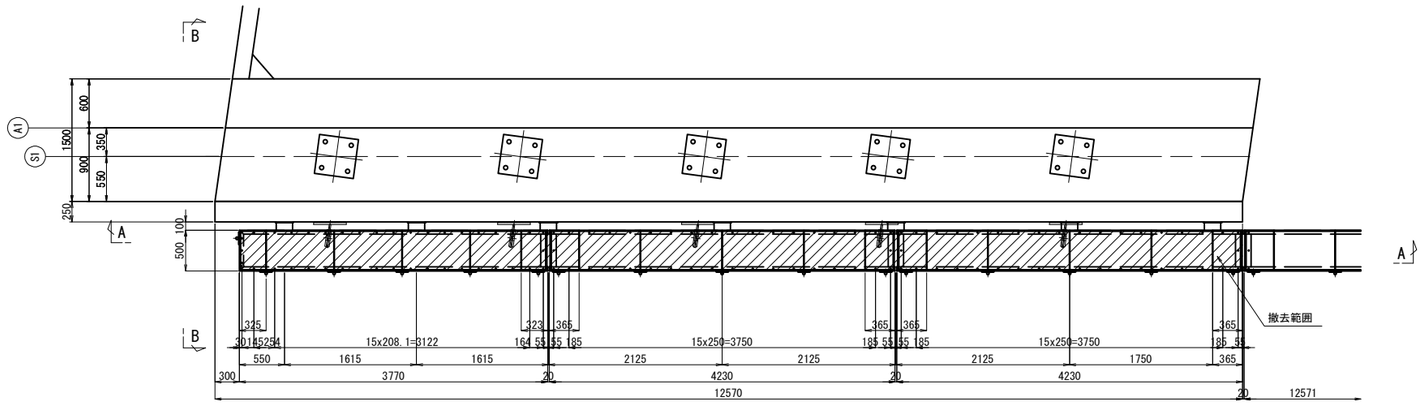
10-PL 150x6x180
10-BN M16x35
10-BN M16x40
1-SGP 25Ax4200(SGP)
5-SGP 25Ax1180(SGP)
8-SGP 15Ax974(SGP)

側面図

B － B

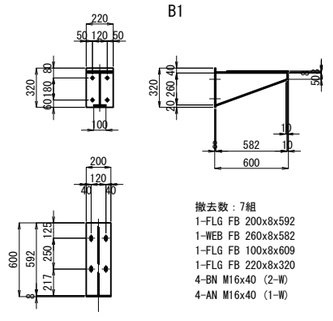


平面図



ブラケット詳細　S=1:50

B1



撤去数：7組
1-FLG FB 200x8x592
1-WEB FB 260x8x582
1-FLG FB 100x8x609
1-FLG FB 220x8x320
4-BN M16x40 (2-W)
4-AN M16x40 (1-W)

注 記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。

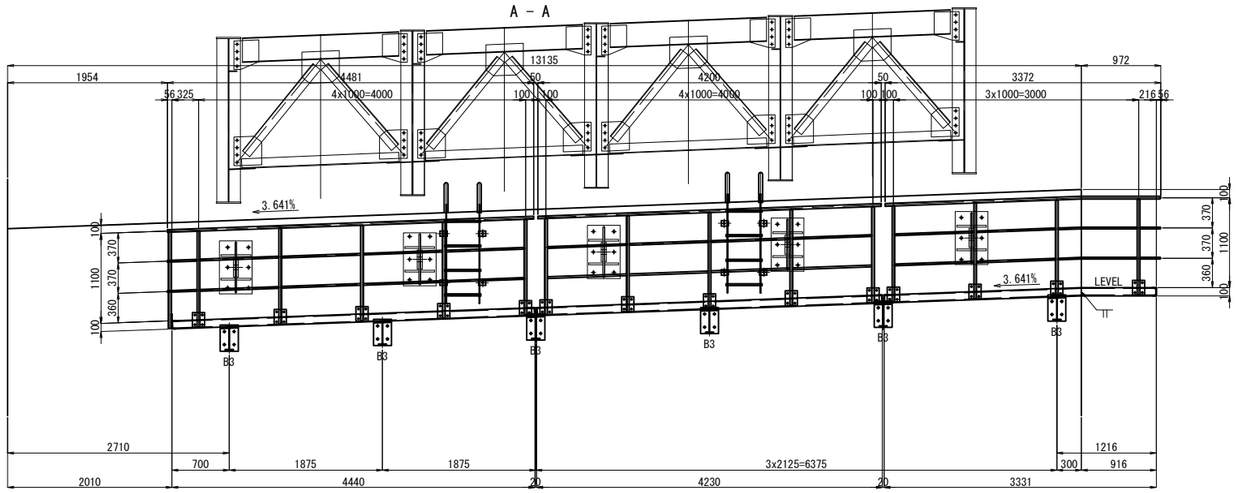
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その1)		
縮　尺	図　示	図面番号	40 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その2)　S=1:75

A2橋台 下部工検査路撤去図

正面図

A － A



1-FLOOR PL 470x3.2x4403
2-[100x50x5x7.5x4447
1-[100x50x5x7.5x500
1-L 75x75x6x490
5-FB 75x6x490
2-PL 200x8x480
1-PL 80x8x480
40-BN M10x30 (1-TW,1-SW)

10-PL 150x6x186
2-PL 150x6x180
12-BN M16x35
12-BN M16x40
1-SGP 25Ax4484(SGP)
1-SGP 25Ax529(SGP)
6-SGP 25Ax1180(SGP)
8-SGP 15Ax975(SGP)
2-SGP 15Ax362(SGP)
2-SGP 15Ax416(SGP)

1-FLOOR PL 470x3.2x4183
2-[100x50x5x7.5x4237
2-L 75x75x6x490
5-FB 75x6x490
1-PL 200x8x480
2-PL 80x8x480
38-BN M10x30 (1-TW,1-SW)

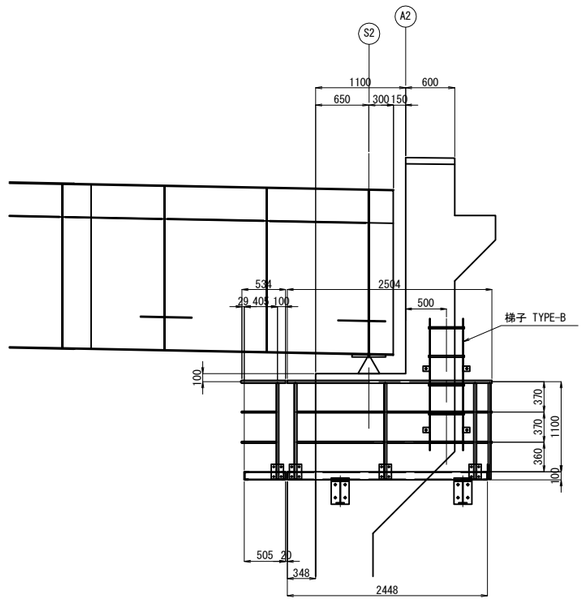
10-PL 150x6x186
10-BN M16x35
10-BN M16x40
1-SGP 25Ax4203(SGP)
5-SGP 25Ax1180(SGP)
8-SGP 15Ax975(SGP)

1-FLOOR PL 470x3.2x3294
2-[100x50x5x7.5x2422
1-[100x50x5x7.5x916
1-[100x50x5x7.5x844
1-[100x50x5x7.5x505
1-L 75x75x6x490
4-FB 75x6x490
1-PL 200x8x480
1-PL 80x8x480
30-BN M10x30 (1-TW,1-SW)

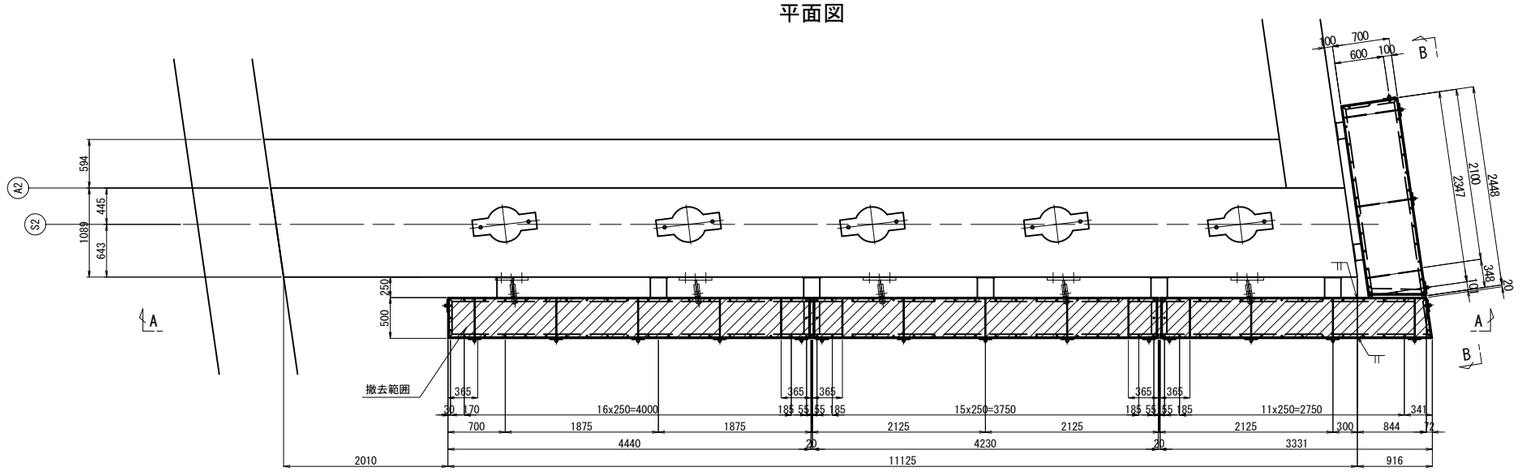
6-PL 150x6x186
4-PL 150x6x180
10-BN M16x35
10-BN M16x40
1-SGP 25Ax2403(SGP)
1-SGP 25Ax972(SGP)
1-SGP 25Ax534(SGP)
5-SGP 25Ax1180(SGP)
4-SGP 15Ax975(SGP)
2-SGP 15Ax287(SGP)
2-SGP 15Ax687(SGP)
2-SGP 15Ax253(SGP)
2-SGP 15Ax420(SGP)

側面図

B － B

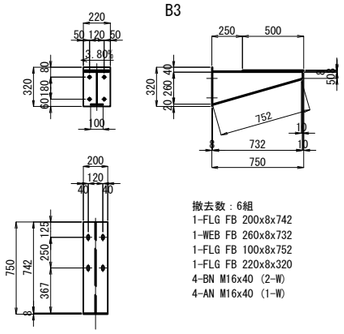


平面図



ブラケット詳細　S=1:50

B3



撤去数：6組
1-FLG FB 200x8x742
1-WEB FB 260x8x732
1-FLG FB 100x8x752
1-FLG FB 220x8x320
4-BN M16x40 (2-W)
4-AN M16x40 (1-W)

注 記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。

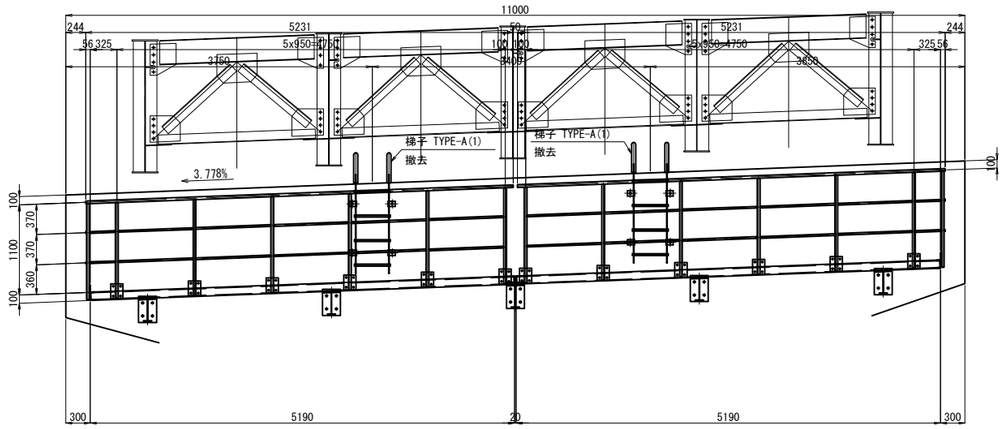
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その2)		
縮　尺	図　示	図面番号	41 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その3)　S=1:75

P4橋脚 下部工検査路撤去・新設図

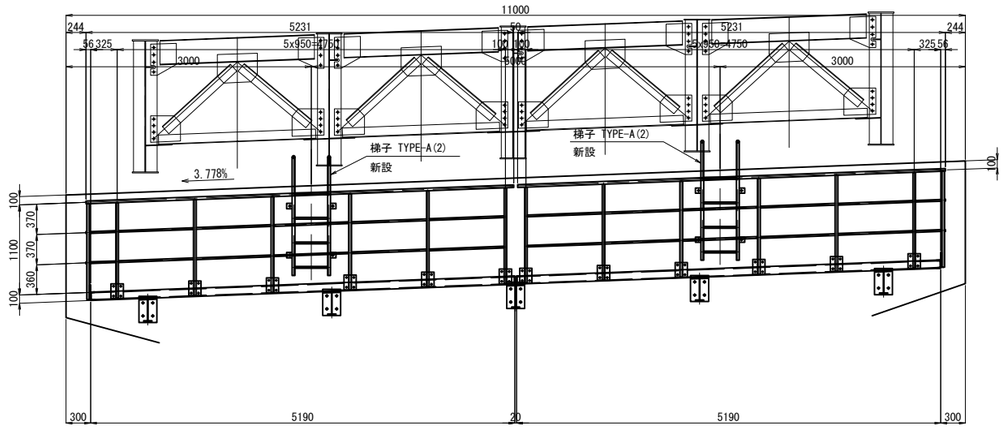
正面図(撤去図)

A - A

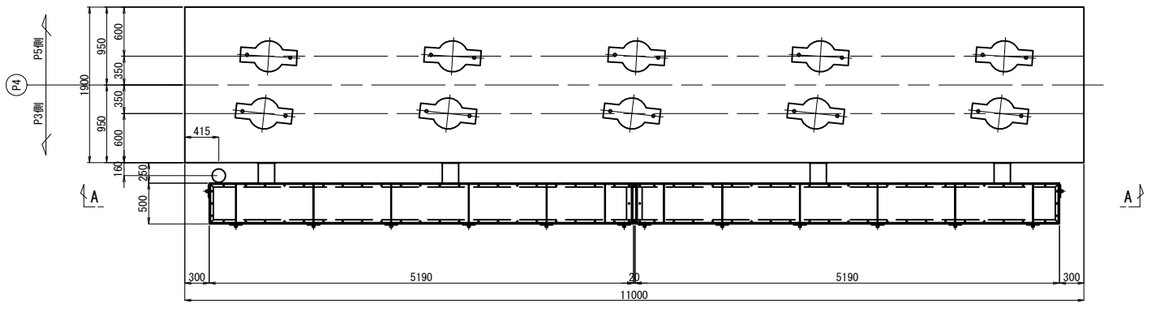


正面図(新設図)

A - A

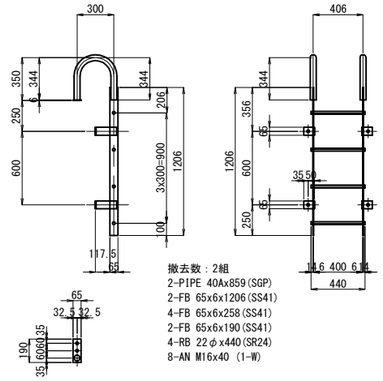


平面図



梯子 TYPE-A(1) S=1:50

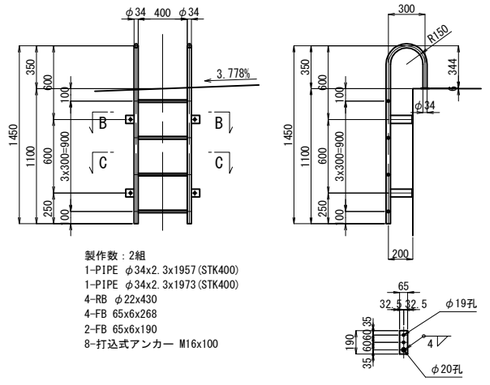
既設梯子



撤去数：2組
2-PIPE 40Ax859(SGP)
2-FB 65x6x1206(SS41)
4-FB 65x6x258(SS41)
2-FB 65x6x190(SS41)
4-RB 22φx440(SR24)
8-AN M16x40 (1-W)

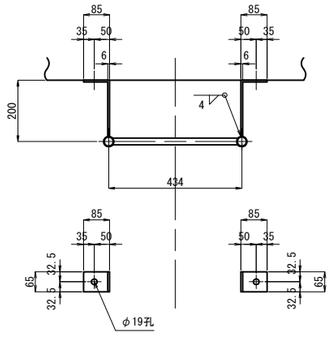
梯子 TYPE-A(2) S=1:50

新設梯子

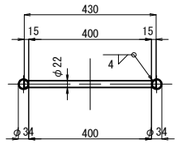


製作数：2組
1-PIPE φ34x2.3x1957(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1973(STK400)
4-RB φ22x430
4-FB 65x6x268
2-FB 65x6x190
8-打込式アンカー M16x100

B - B S=1:20



C - C S=1:20



注 記

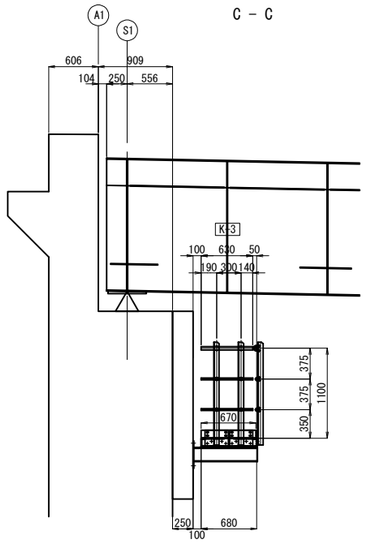
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT77とする。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けるのが良い。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その3)		
縮　尺	図　示	図面番号	42 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その4)　S=1:75

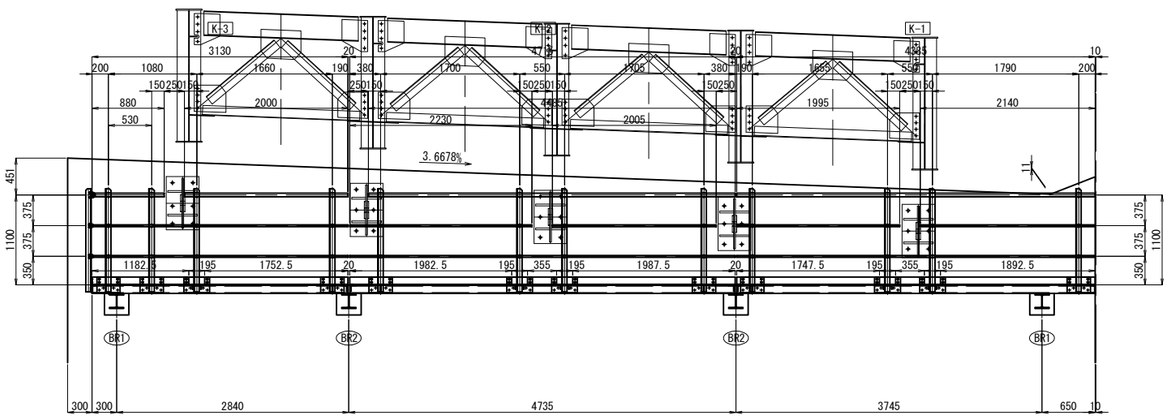
A1橋台 下部工検査路新設詳細図

側面図
C － C



K-3 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x630(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x630(STK400)
2-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x670
2-PL 190x12x285(SM400A)
8-BN M16x45(2-W)
8-BN M10x35(2-W)
2-U.BOLT 呼び 32C
4-U.BOLT 呼び 15C

正面図
A － A

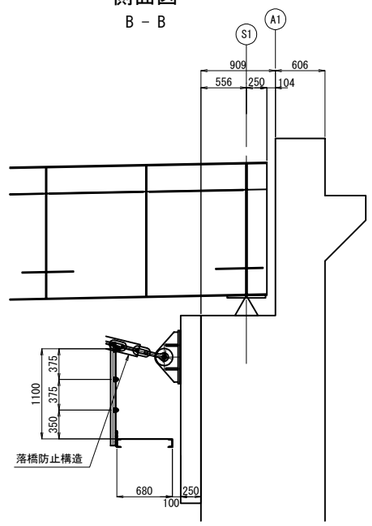


K-3 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x880(STK400)
1-PIPE φ42.7x2.3x2000(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x3130(STK400)
4-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x1183
1-PL 90x3.2x1753
3-PL 190x12x285(SM400A)
1-PL 190x12x315(SM400A)
16-BN M16x45(2-W)
16-BN M10x35(2-W)
4-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

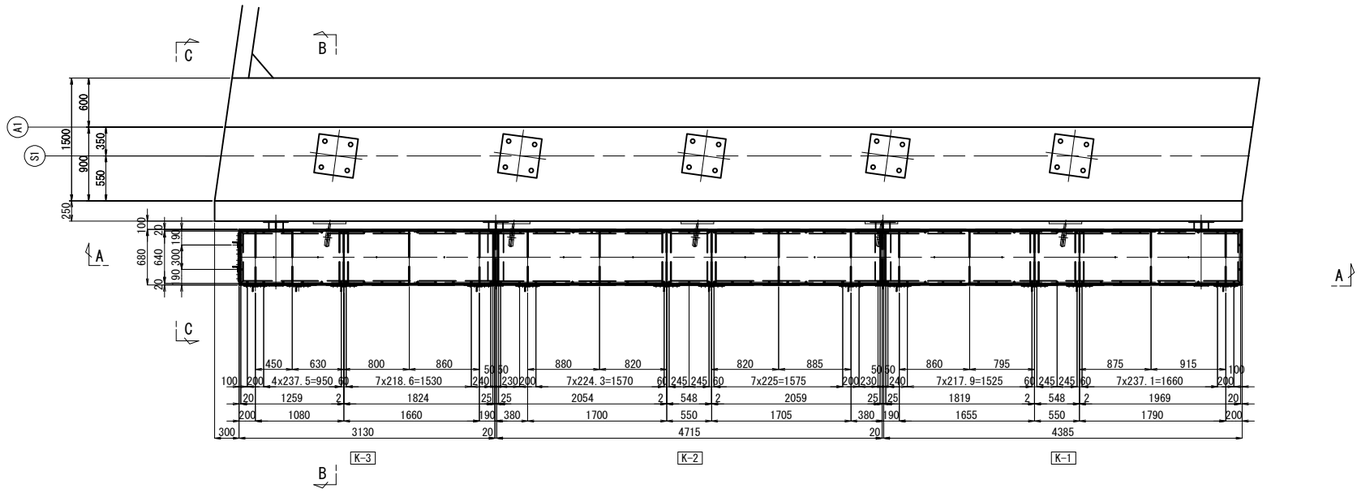
K-2 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x4485(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x2230(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x2005(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x4715(STK400)
4-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x1983
1-PL 90x3.2x1988
1-PL 90x3.2x355
2-PL 190x12x285(SM400A)
2-PL 190x12x315(SM400A)
16-BN M16x45(2-W)
16-BN M10x35(2-W)
4-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

K-1 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x4385(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x1995(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x2140(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x4385(STK400)
4-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x1748
1-PL 90x3.2x1893
1-PL 90x3.2x355
2-PL 190x12x285(SM400A)
2-PL 190x12x315(SM400A)
16-BN M16x45(2-W)
16-BN M10x35(2-W)
4-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

側面図
B － B



平面図



K-3 製作数：1
1-Ch.PL 640x3.2x1824(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x1259(SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x3130
1-CH 100x50x5x7.5x680
1-L 75x75x6x670
2-L 50x50x6x670
4-FB 90x9x670
1-PL 160x9x660(SM400A)
1-PL 60x9x660(SM400A)
32-BN M10x30(1-W,1-TW付)

K-2 製作数：1
1-Ch.PL 640x3.2x2054(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x2059(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x548(SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x4715
2-L 75x75x6x670
4-L 50x50x6x670
4-FB 90x9x670
2-PL 60x9x660(SM400A)
46-BN M10x30(1-W,1-TW付)

K-1 製作数：1
1-Ch.PL 640x3.2x1819(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x548(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x1969(SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x4385
1-CH 100x50x5x7.5x680
1-L 75x75x6x670
4-L 50x50x6x670
4-FB 90x9x670
1-PL 160x9x660(SM400A)
1-PL 60x9x660(SM400A)
44-BN M10x30(1-W,1-TW付)

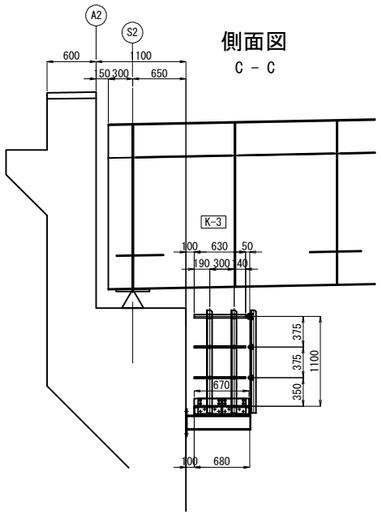
注記
1．特記なき材質は全てSS400とする。
2．Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3．鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT77とする。
4．ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
5．床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けるのが良い。

常盤自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その4)		
縮　尺	図　示	図面番号	43 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その5)　S=1:75

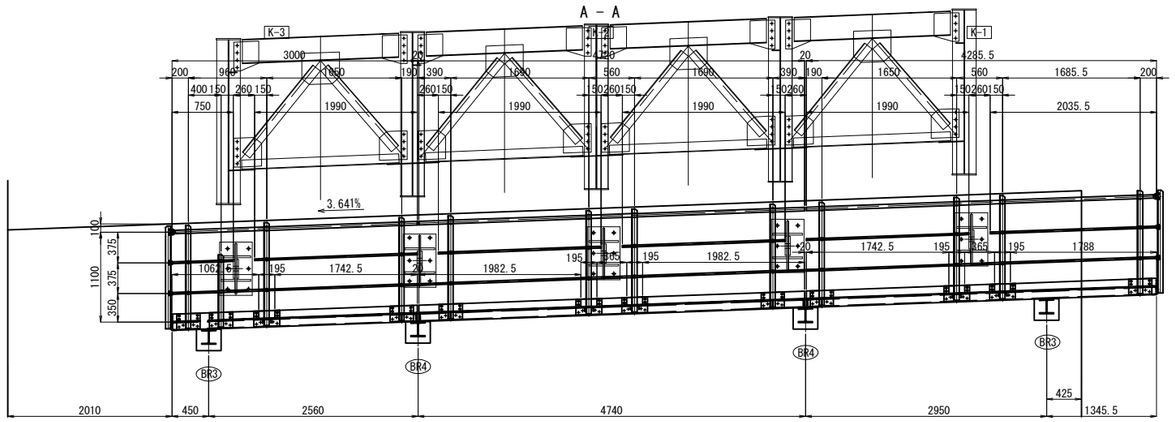
A2橋台 下部工検査路新設詳細図

側面図 C－C



K-3　製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x630(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x630(STK400)
2-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x670
2-PL 190x12x285(SM400A)
8-BN M16x45(2-W)
8-BN M10x35(2-W)
2-U.BOLT 呼び 32C
4-U.BOLT 呼び 15C

正面図 A－A

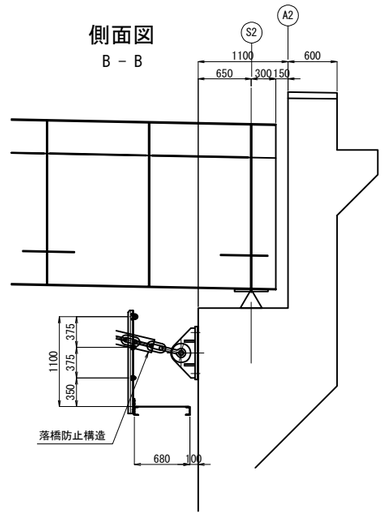


K-3　製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x3002(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x751(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x1991(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x3002(STK400)
3-L 65x65x6x1258
1-L 65x65x6x883
1-PL 90x3.2x1063
1-PL 90x3.2x1743
3-PL 200x12x285(SM400A)
1-PL 202x12x315(SM400A)
16-BN M16x45(2-W)
16-BN M10x35(2-W)
3-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

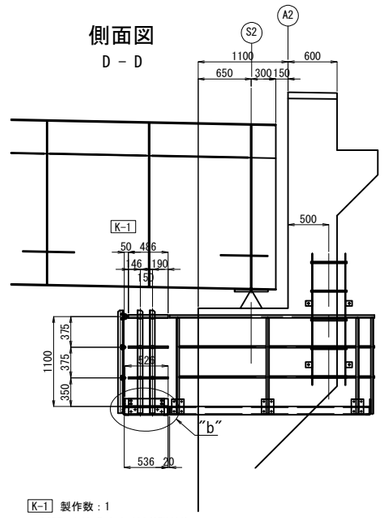
K-2　製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x4723(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x1991(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x4723(STK400)
4-L 65x65x6x1258
2-PL 90x3.2x1983
1-PL 90x3.2x365
2-PL 200x12x285(SM400A)
2-PL 202x12x315(SM400A)
16-BN M16x45(2-W)
16-BN M10x35(2-W)
4-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

K-1　製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x4288(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x1991(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x2037(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x4288(STK400)
4-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x1743
1-PL 90x3.2x1788
1-PL 90x3.2x365
2-PL 200x12x285(SM400A)
2-PL 202x12x315(SM400A)
16-BN M16x45(2-W)
16-BN M10x35(2-W)
4-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

側面図 B－B

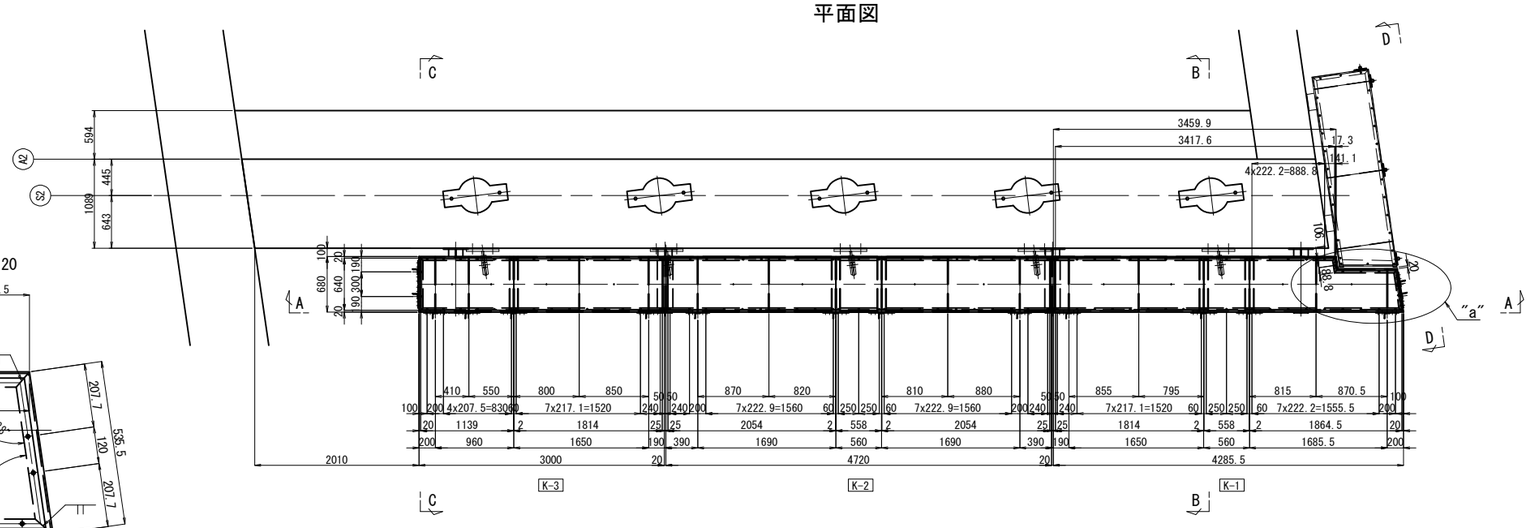


側面図 D－D



K-1　製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x486(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x486(STK400)
2-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x526
1-PL 190x12x435(SM400A)
4-BN M16x45(2-W)
4-BN M10x35(2-W)
2-U.BOLT 呼び 32C
4-U.BOLT 呼び 15C

平面図

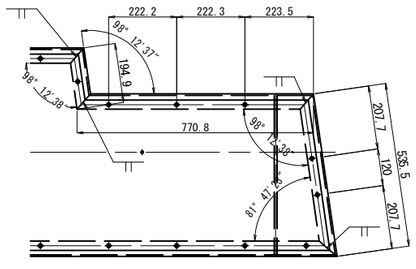


K-3　製作数：1
1-Ch.PL 640x3.2x1140(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x1815(SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x3002
1-CH 100x50x5x7.5x680
1-L 75x75x6x670
2-L 50x50x6x670
4-FB 90x9x670
1-PL 160x17x660(SM400A)
1-PL 60x17x660(SM400A)
32-BN M10x30(1-W,1-TW付)

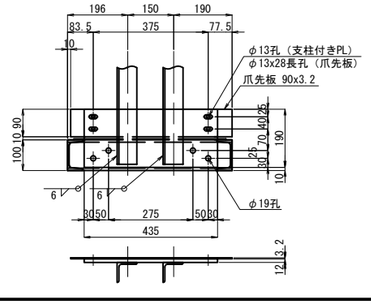
K-2　製作数：1
2-Ch.PL 640x3.2x2055(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x558(SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x4723
2-L 75x75x6x670
4-L 50x50x6x670
4-FB 90x9x670
1-PL 60x14x660(SM400A)
1-PL 60x17x660(SM400A)
46-BN M10x30(1-W,1-TW付)

K-1　製作数：1
1-Ch.PL 640x3.2x1815(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x558(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x1866(SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7.5x4289
1-CH 100x50x5x7.5x3462
1-CH 100x50x5x7.5x195
1-CH 100x50x5x7.5x772
1-CH 100x50x5x7.5x536
1-L 75x75x6x670
4-L 50x50x6x670
3-FB 90x9x670
1-FB 90x9x520
1-PL 160x17x660(SM400A)
1-PL 60x14x660(SM400A)
44-BN M10x30(1-W,1-TW付)

"a"部詳細　S=1:20



"b"部詳細　S=1:20

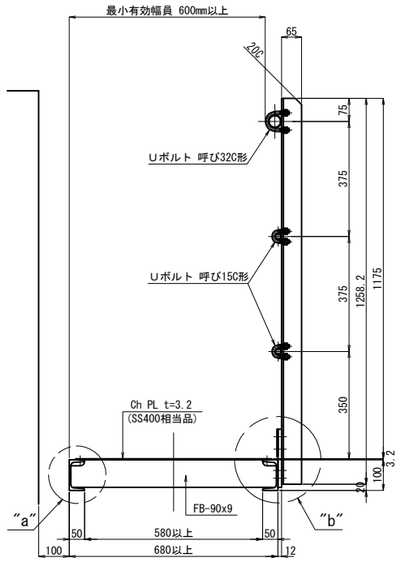


注 記
1．特記なき材質は全てSS400とする。
2．Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3．鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT77とする。
4．ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
5．床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けるのが良い。

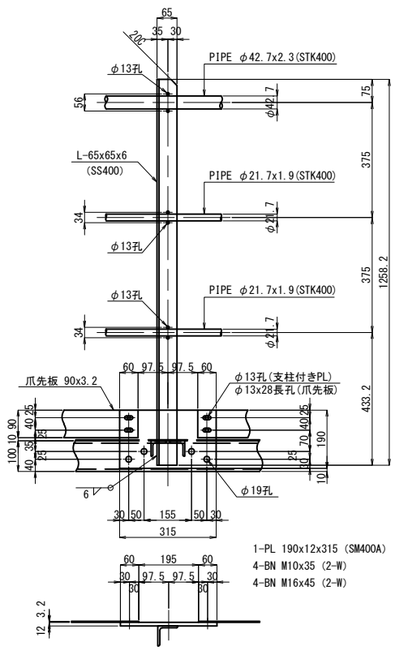
常盤自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その5)		
縮　尺	図　示	図面番号	44 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その6)　S=1:20

歩廊断面及び構造詳細図

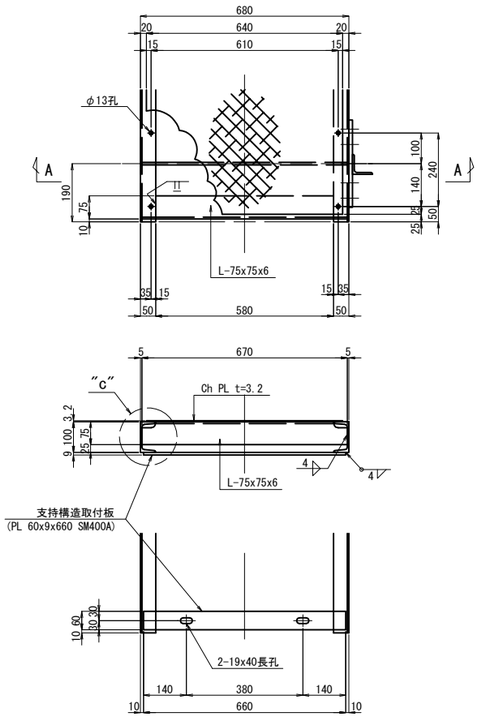


共通詳細図

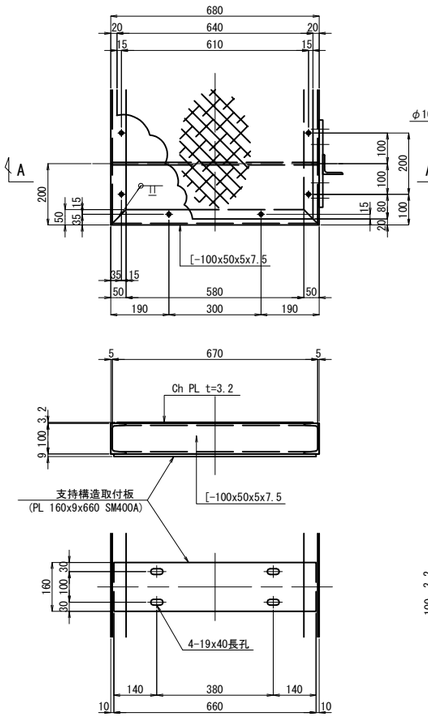


歩廊端部詳細図

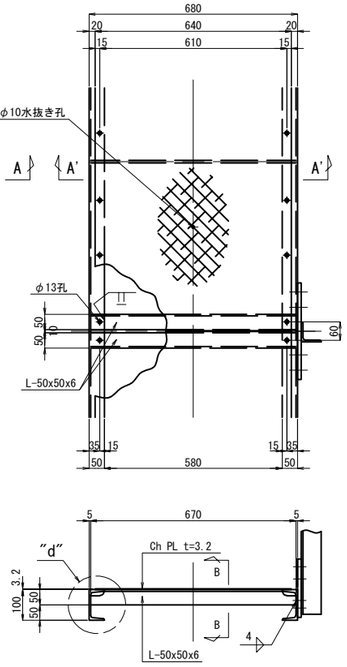
掛け違い部



端部

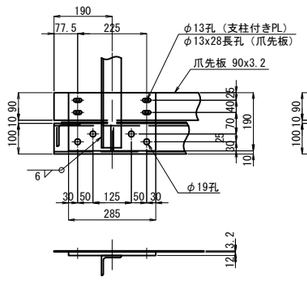


歩廊中間部詳細図

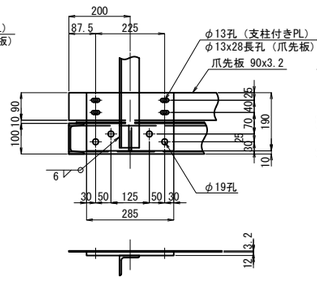


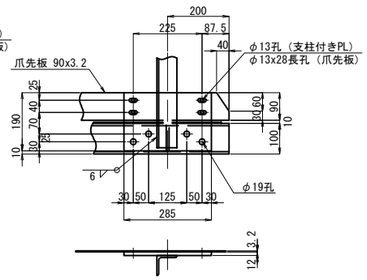
端支柱部

掛け違い部

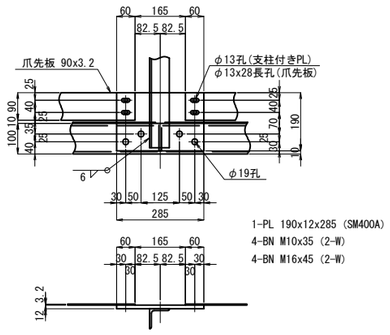


一般部

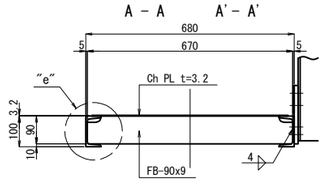




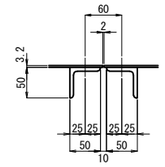
中間支柱部



A - A　A' - A'

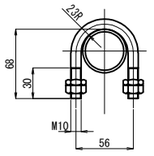


B - B　S=1:10

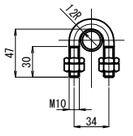


Uボルト詳細　S=1:6

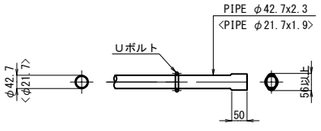
呼び32C形
(PIPE φ42.7用)



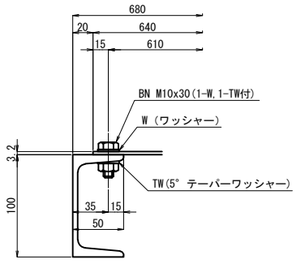
呼び15C形
(PIPE φ21.7用)



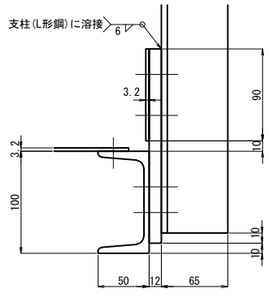
手摺り抜け落ち防止加工



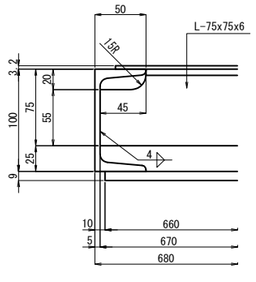
"a"部詳細　S=1:6



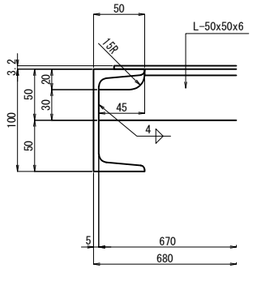
"b"部詳細　S=1:6



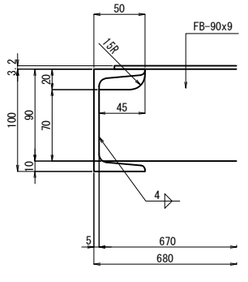
"c"部詳細　S=1:6



"d"部詳細　S=1:6



"e"部詳細　S=1:6



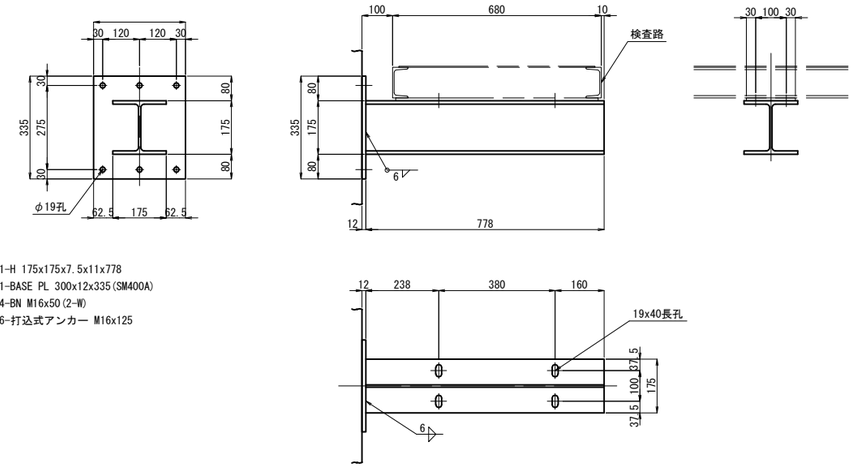
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT77とする。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けるのが良い。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その6)		
縮　尺	図　示	図面番号	45 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その7)　S=1:20

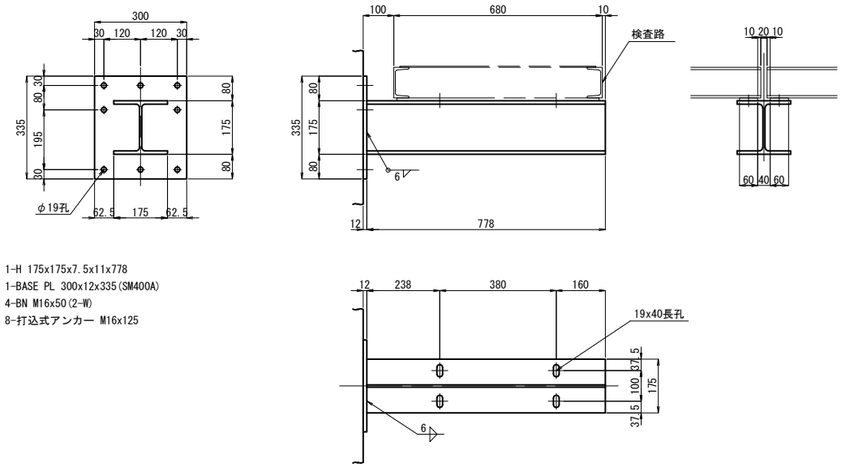
ブラケット詳細図

BR1
（製作数：2）



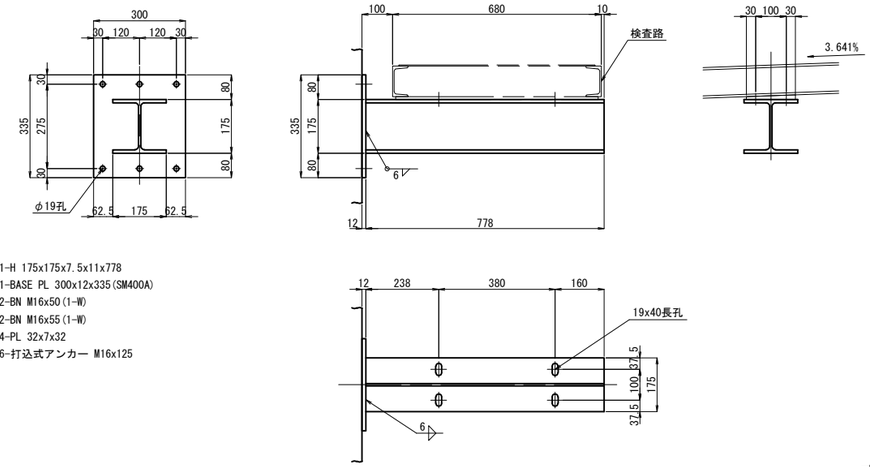
1-H 175x175x7.5x11x778
1-BASE PL 300x12x335(SM400A)
4-BN M16x50(2-W)
6-打込式アンカー M16x125

BR2
（製作数：2）



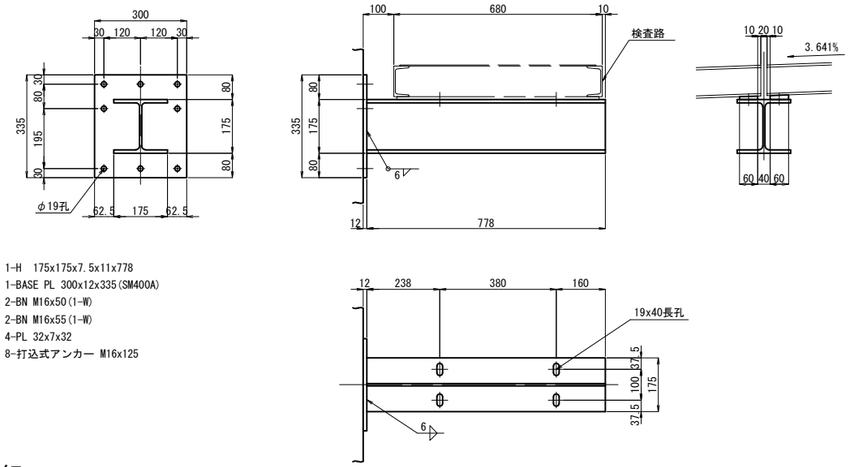
1-H 175x175x7.5x11x778
1-BASE PL 300x12x335(SM400A)
4-BN M16x50(2-W)
8-打込式アンカー M16x125

BR3
（製作数：2）



1-H 175x175x7.5x11x778
1-BASE PL 300x12x335(SM400A)
2-BN M16x50(1-W)
2-BN M16x55(1-W)
4-PL 32x7x32
6-打込式アンカー M16x125

BR4
（製作数：2）

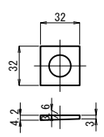


1-H 175x175x7.5x11x778
1-BASE PL 300x12x335(SM400A)
2-BN M16x50(1-W)
2-BN M16x55(1-W)
4-PL 32x7x32
8-打込式アンカー M16x125

支持構造取付板詳細

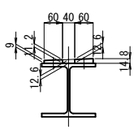
A2橋台側

テーパ座金詳細　S=1:5



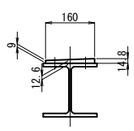
1-PL 32x7x32

掛け違い部



1-PL 60x14x660(SM400A)
1-PL 60x17x660(SM400A)

端部



1-PL 160x17x660(SM400A)

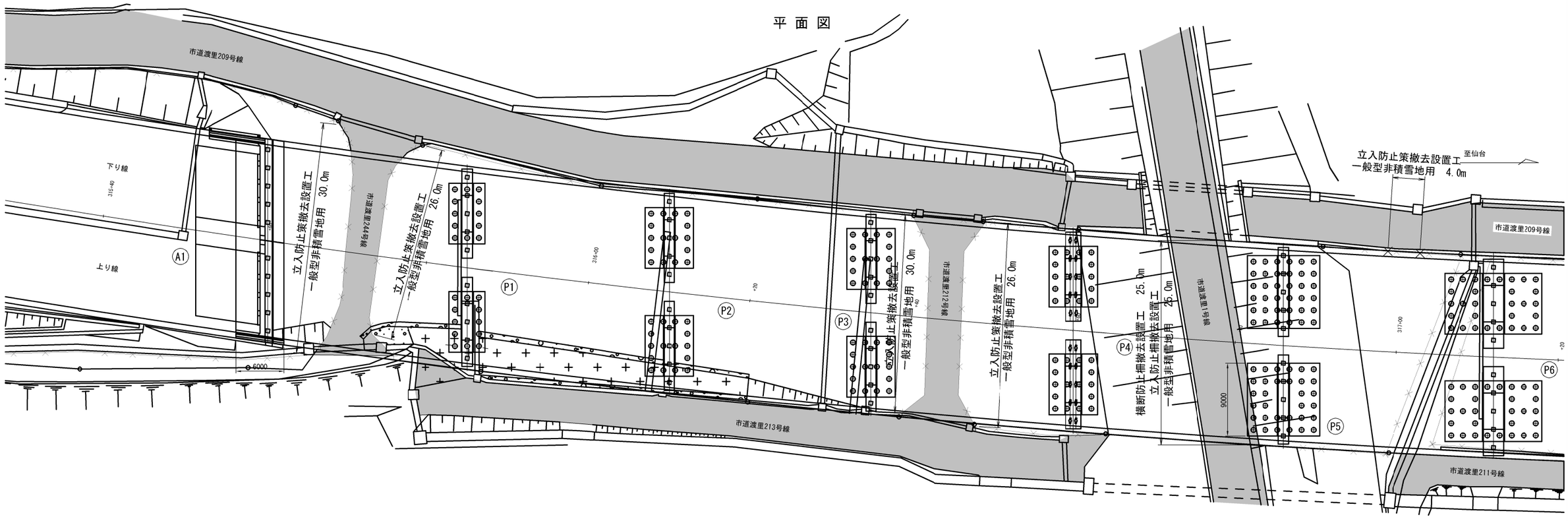
注 記
1．特記なき材質は全てSS400とする。
2．Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3．鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、ボルト･ナット類はHDZT77とする。
4．ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その7)		
縮　尺	図　示	図面番号	46 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 防護柵・立入防止柵・横断防止柵　撤去設置工　平面図（その1）

S=1:500

平 面 図



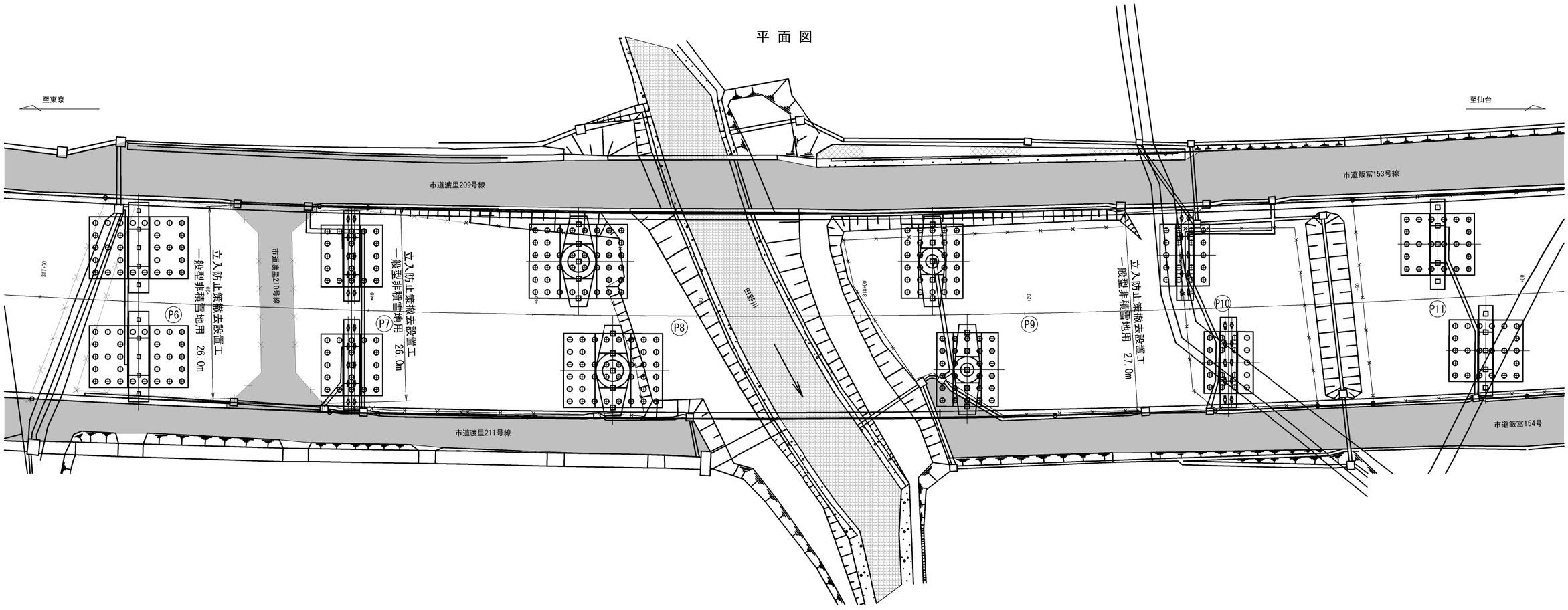
※撤去設置工の延長は上下線の合計であり、数量は上り線に計上する

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 防護柵・立入防止柵・横断防止柵 撤去設置工　平面図(その1)		
縮　尺	図　示	図面番号	47 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 防護柵・立入防止柵・横断防止柵　撤去設置工　平面図（その2）

S=1:500

平 面 図



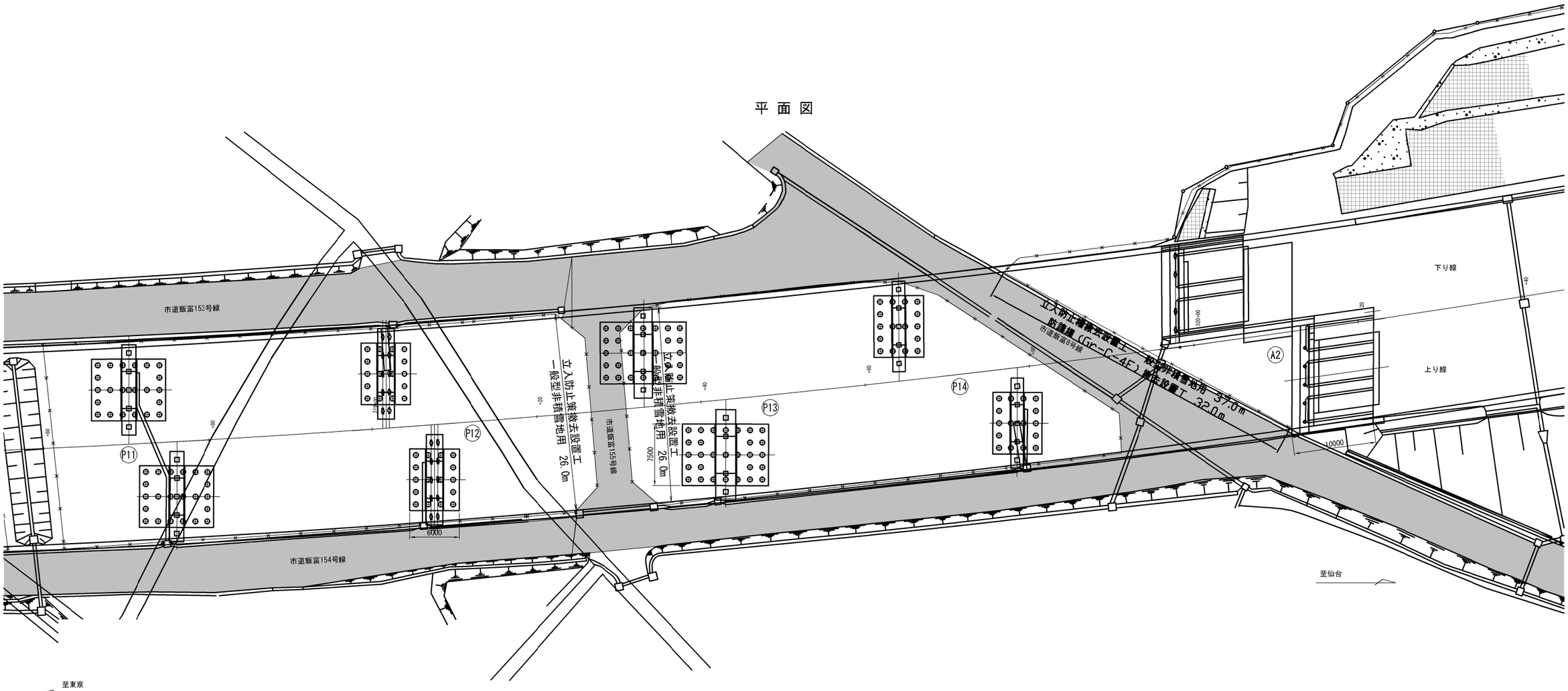
※撤去設置工の延長は上下線の合計であり、数量は上り線に計上する

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 防護柵・立入防止柵・横断防止柵 撤去設置工　平面図(その2)		
縮　尺	図　示	図面番号	48 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 防護柵・立入防止柵・横断防止柵　撤去設置工　平面図（その3）

S=1:500

平 面 図

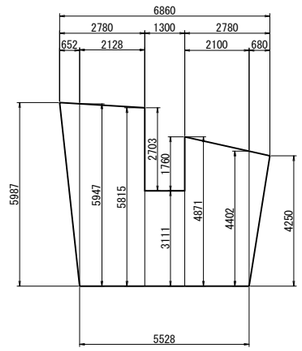


※撤去設置工の延長は上下線の合計であり、数量は上り線に計上する

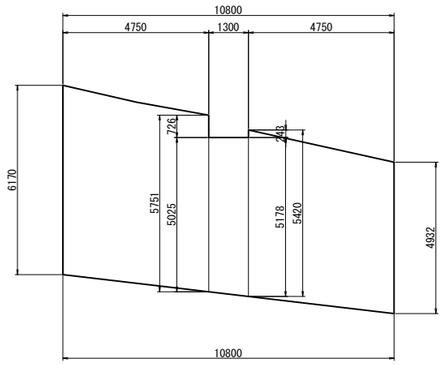
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 防護柵・立入防止柵・横断防止柵 撤去設置工　平面図(その3)		
縮　尺	図　示	図面番号	49 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋（上り線）P1、P2橋脚コンクリートブロック張り撤去図 S=1:500

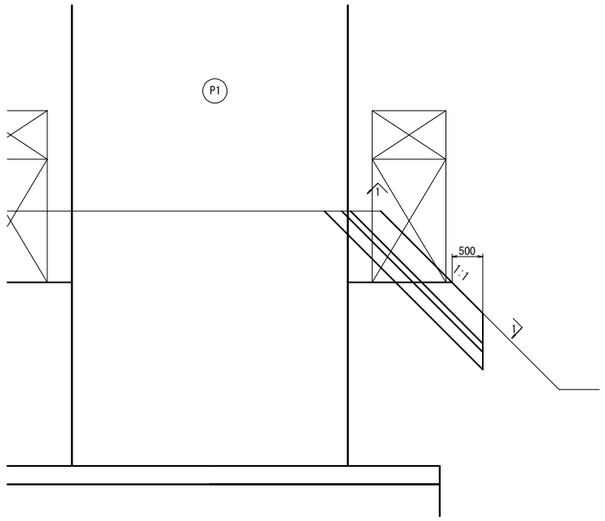
1－1 展 開 図 S=1:200



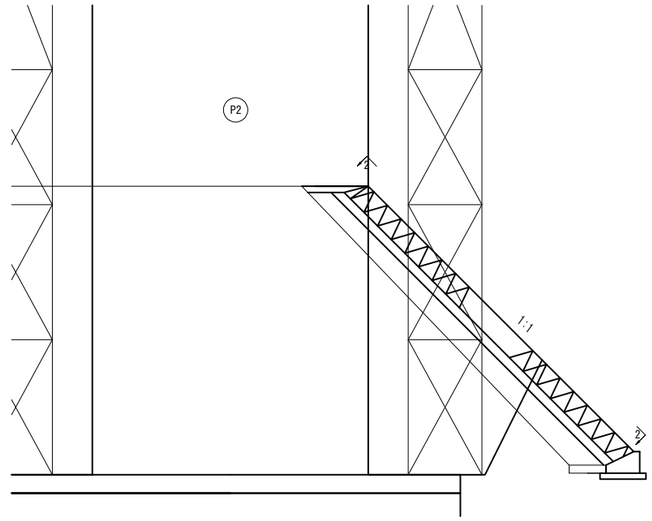
2－2 展 開 図 S=1:200



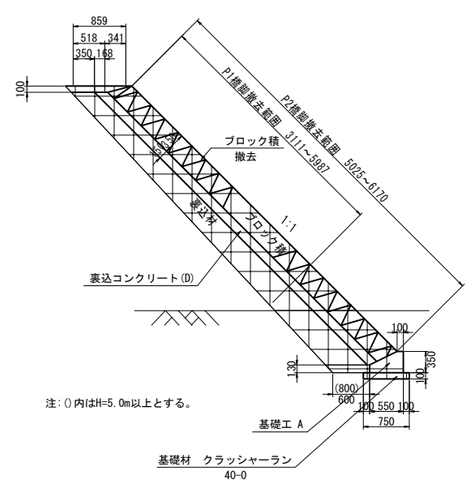
3－3 断 面 図 S=1:100



4－4 断 面 図 S=1:100

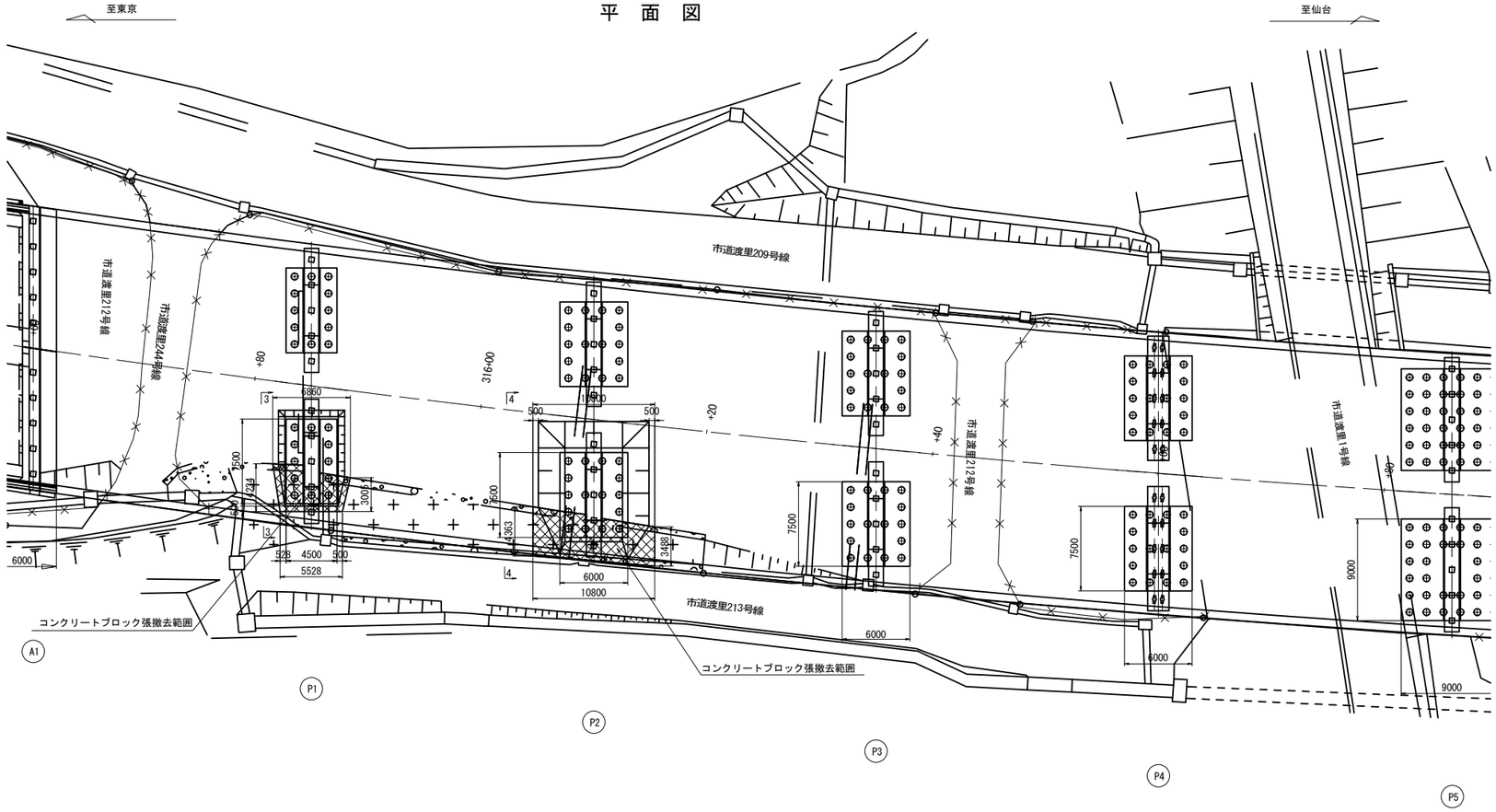


基礎工詳細図 S=1:100



注：()内はH=5.0m以上とする。

平 面 図

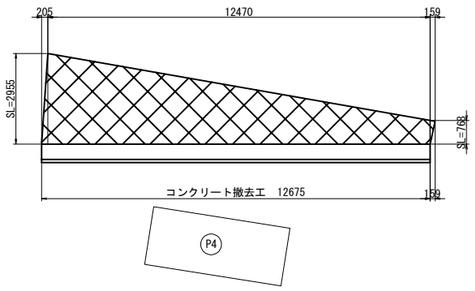


注記
・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
・施工前に現況を再度調査・寸法計測すること。

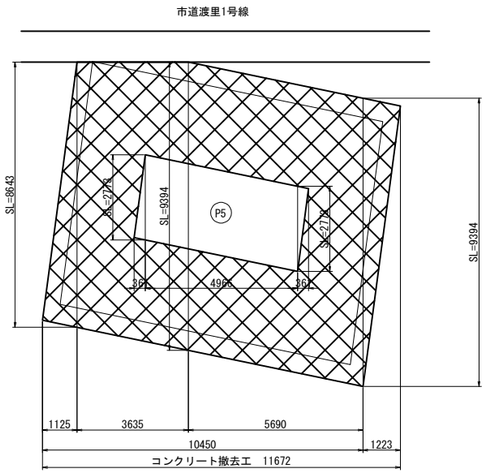
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) P1、P2橋脚コンクリートブロック張り撤去図		
縮 尺	図 示	図面番号	50 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋（上り線）P4、P5橋脚コンクリートブロック張り撤去図 S=1:500

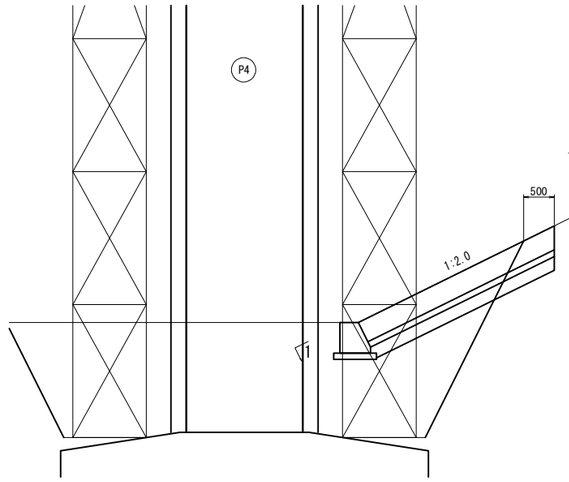
1－1 展 開 図 S=1:200



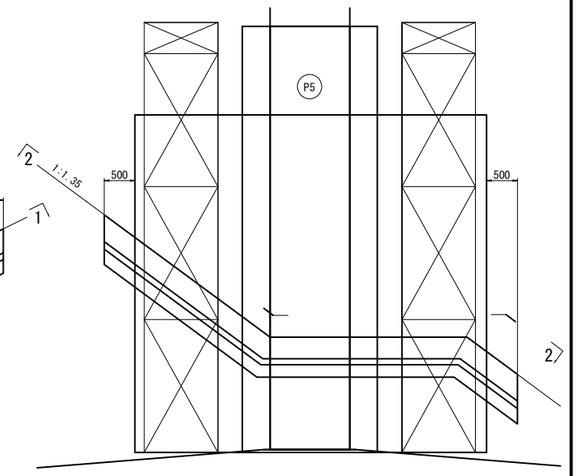
2－2 展 開 図 S=1:200



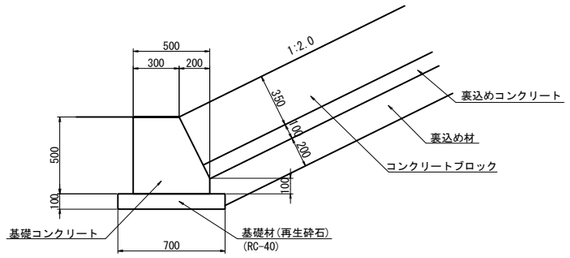
3－3 断 面 図 S=1:100



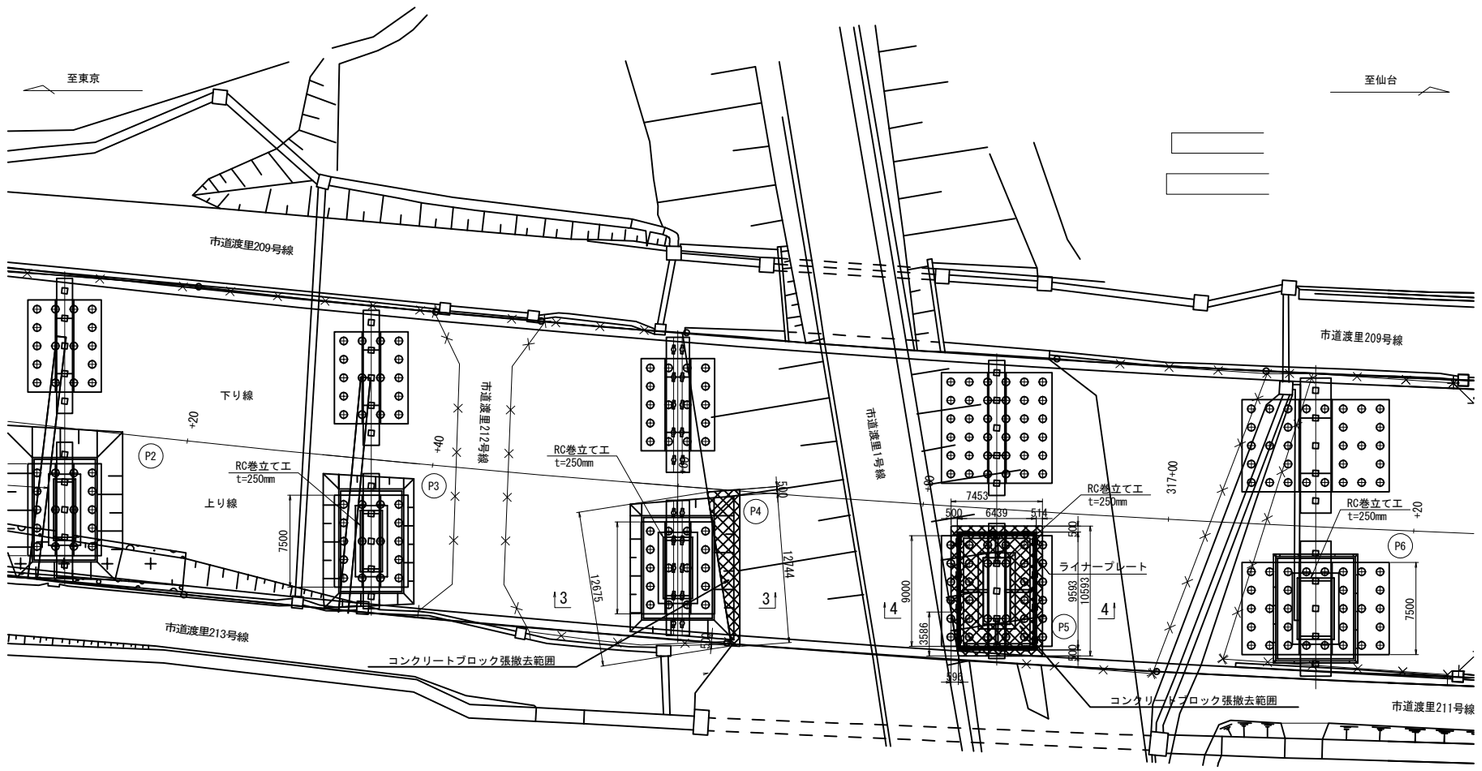
4－4 断 面 図 S=1:100



基礎工詳細図 S=1:40



平 面 図

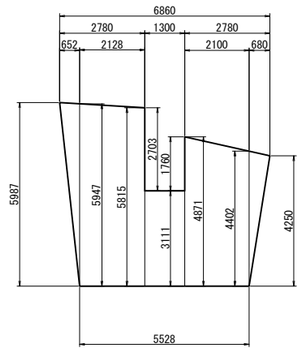


注記
・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
・施工前に現況を再度調査・寸法計測すること。

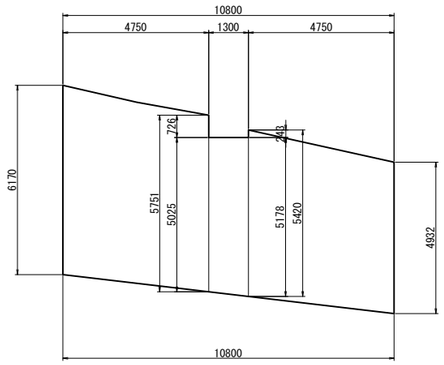
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋（上り線） P4、P5橋脚コンクリートブロック張り撤去図		
縮 尺	図 示	図面番号	51 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋（上り線）P1、P2橋脚コンクリートブロック張り復旧図 S=1:500

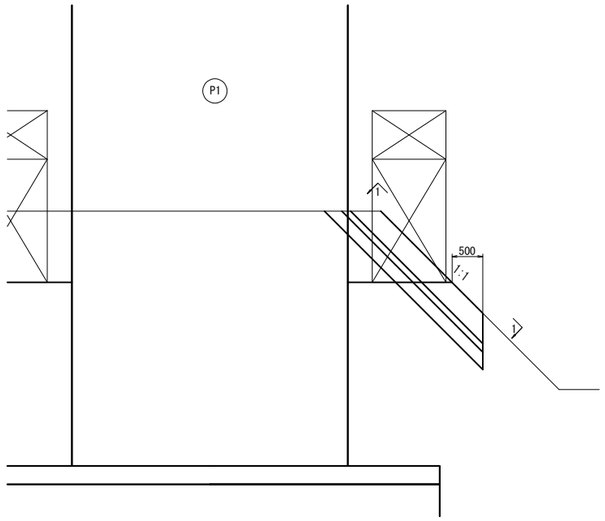
1－1 展 開 図 S=1:200



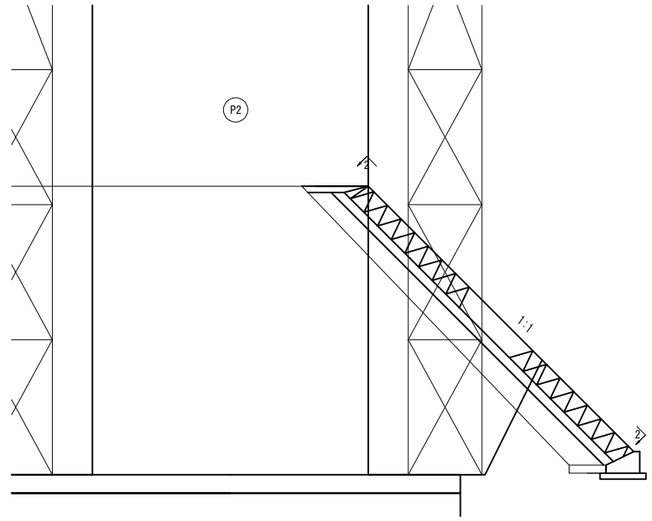
2－2 展 開 図 S=1:200



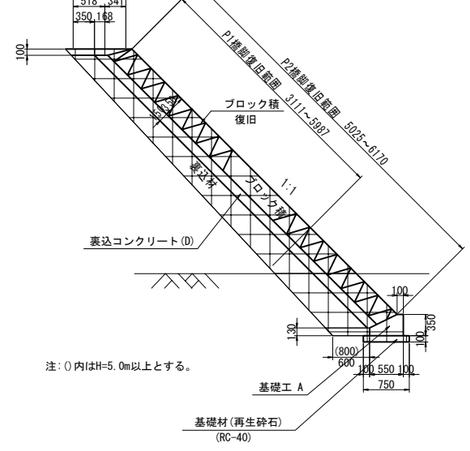
3－3 断 面 図 S=1:100



4－4 断 面 図 S=1:100

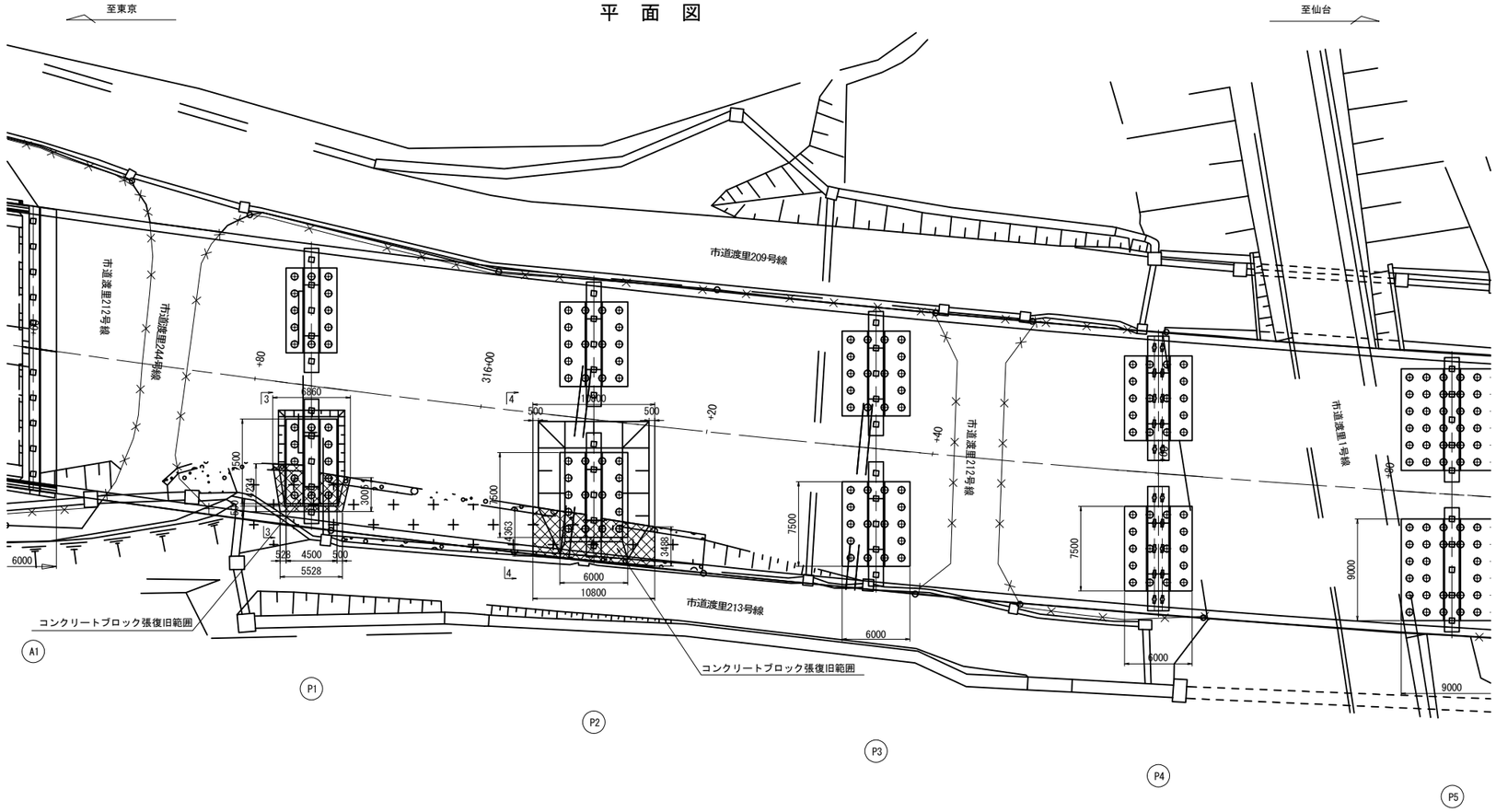


基礎工詳細図 S=1:100



注：()内はH=5.0m以上とする。

平 面 図

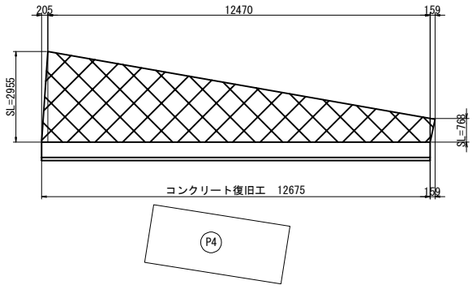


注記
・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
・施工前に現況を再度調査・寸法計測すること。

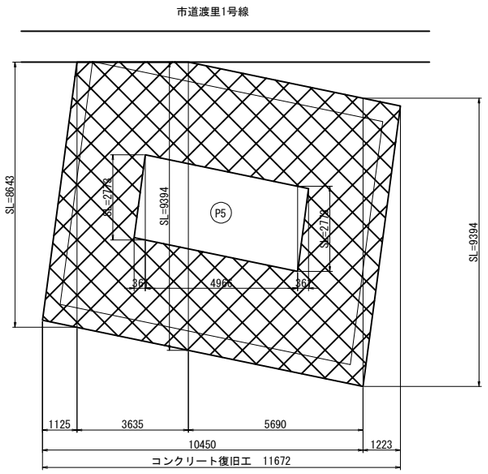
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋（上り線） P1、P2橋脚コンクリートブロック張り復旧図		
縮 尺	図 示	図面番号	52 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) P4、P5橋脚コンクリートブロック張り復旧図 S=1:500

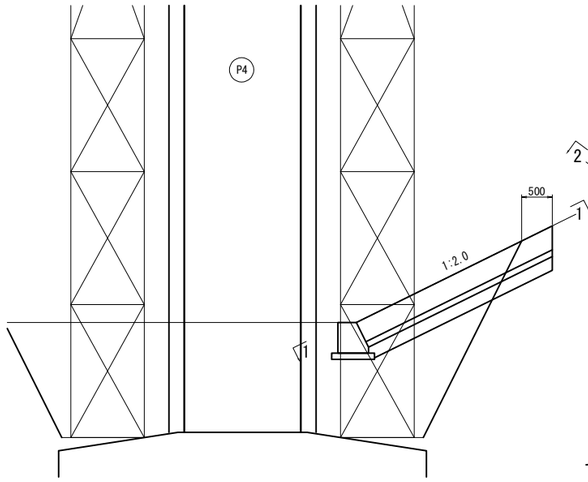
1 - 1 展 開 図 S=1:200



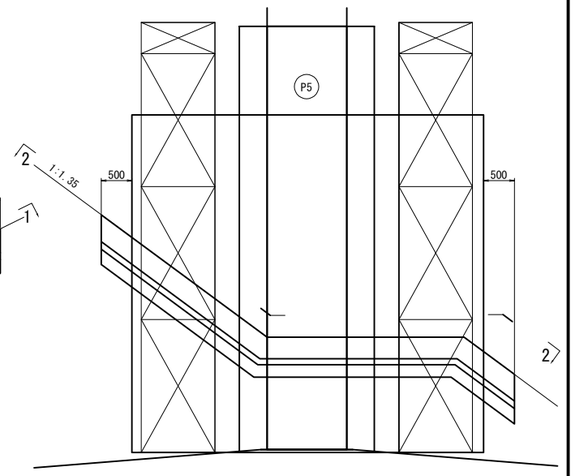
2 - 2 展 開 図 S=1:200



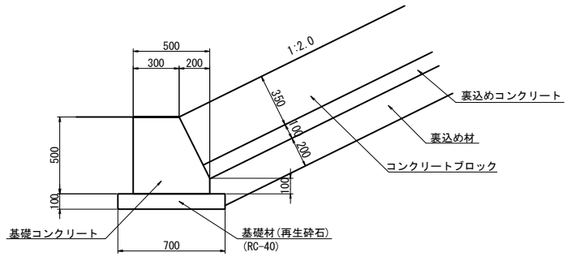
3 - 3 断 面 図 S=1:100



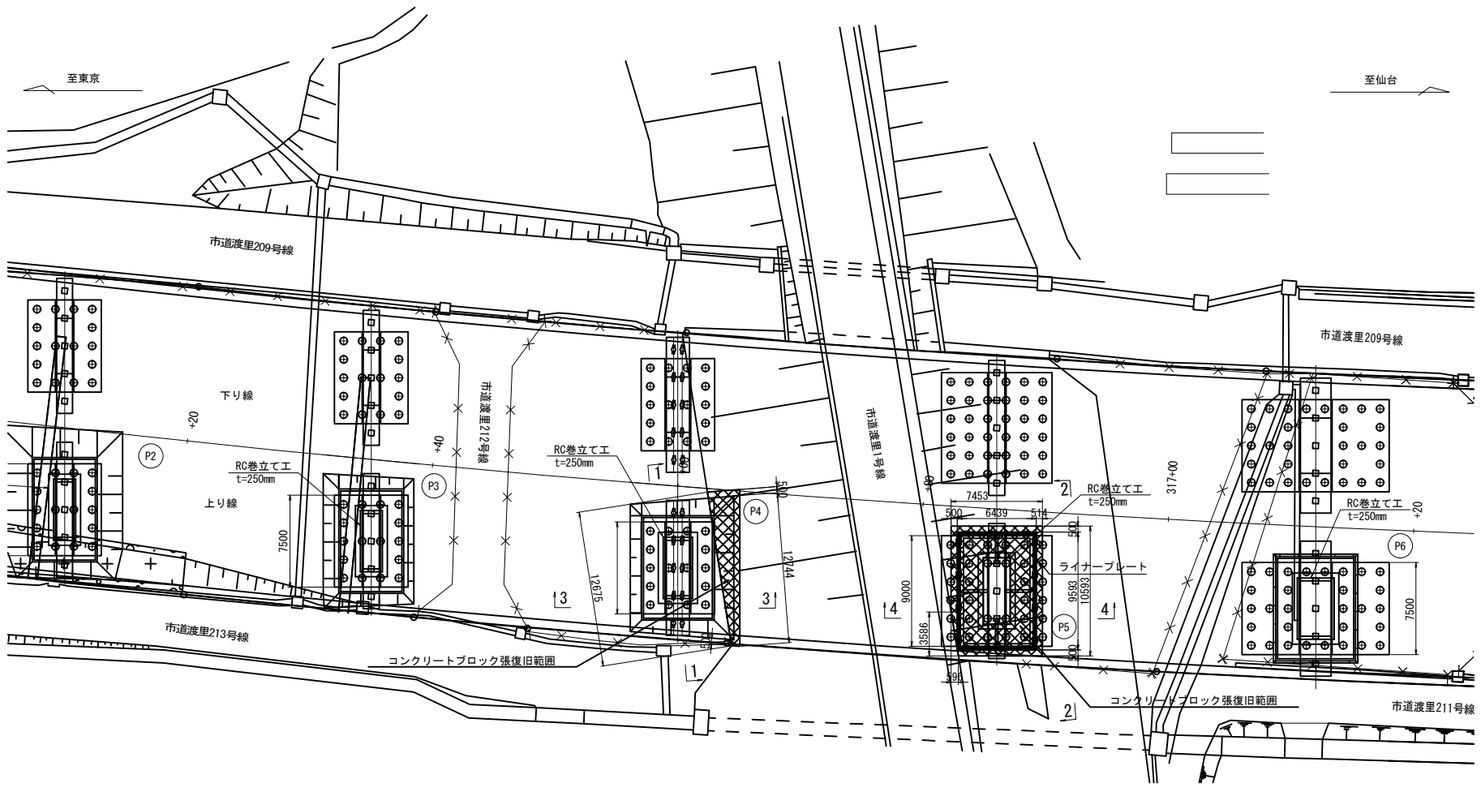
4 - 4 断 面 図 S=1:100



基礎工詳細図 S=1:40



平 面 図

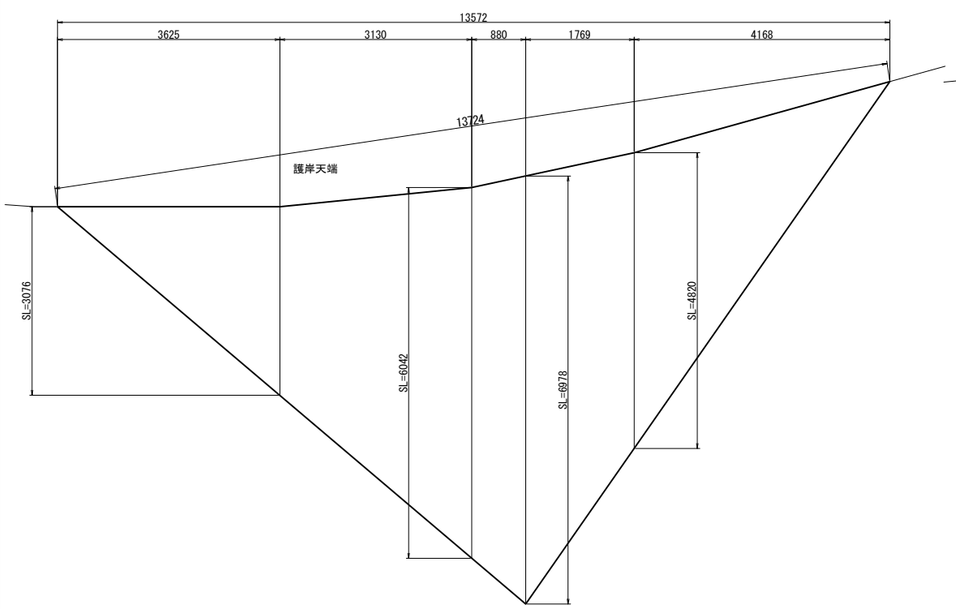


注記
・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
・施工前に現況を再度調査・寸法計測すること。

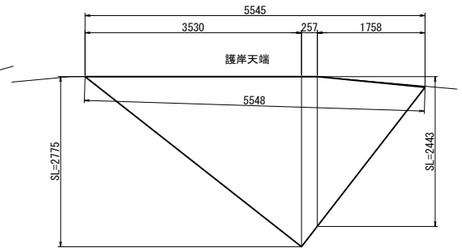
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) P4、P5橋脚コンクリートブロック張り復旧図		
縮 尺	図 示	図面番号	53 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 護岸撤去図　S=1:500

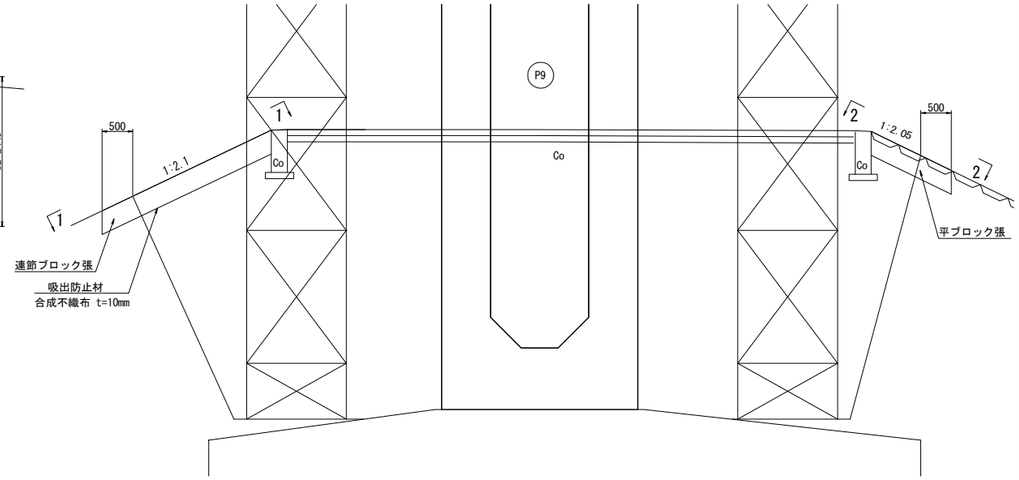
1 - 1 展 開 図 S=1:100



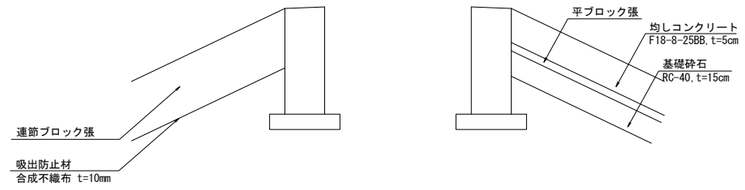
2 - 2 展 開 図 S=1:100



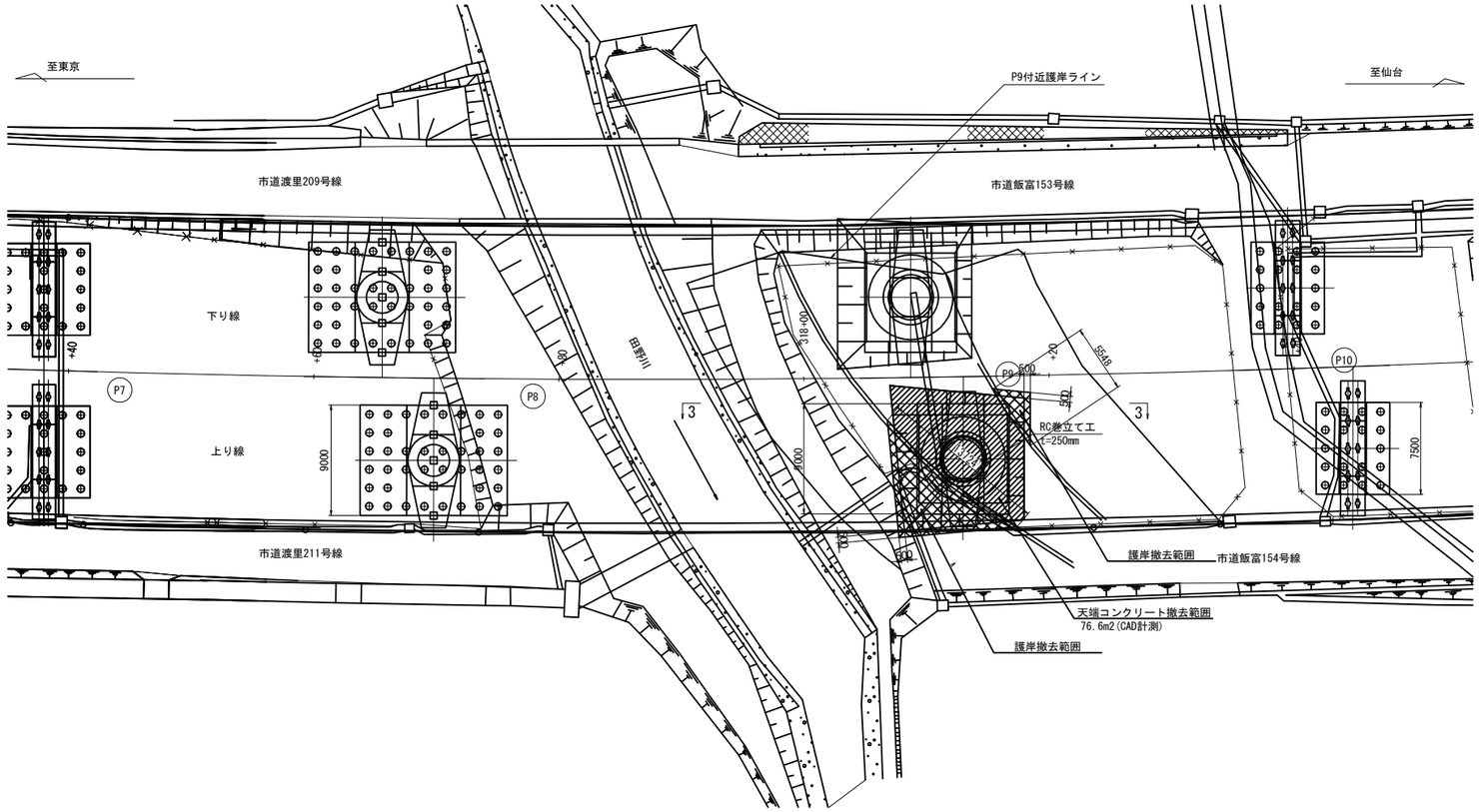
3 - 3 断 面 図 S=1:100



天端詳細図 S=1:40



平 面 図



撤去数量表

項 目		単位	数量	備 考
連節ブロック張	150kg未満/個	m2	7.7	
連結線	亜鉛アルミニュウム メッキ鋼線φ6mm	t	0.007	7.7×4×0.22=7kg
吸出防止材(t=10mm)		m2	7.7	

項 目		単位	数量	備 考
平ブロック張	150kg未満/個	m2	46.1	
均しコンクリート	F18-8-25BB, t=5cm	m2	46.1	
基礎砕石	RC-40, t=15cm	m2	46.1	

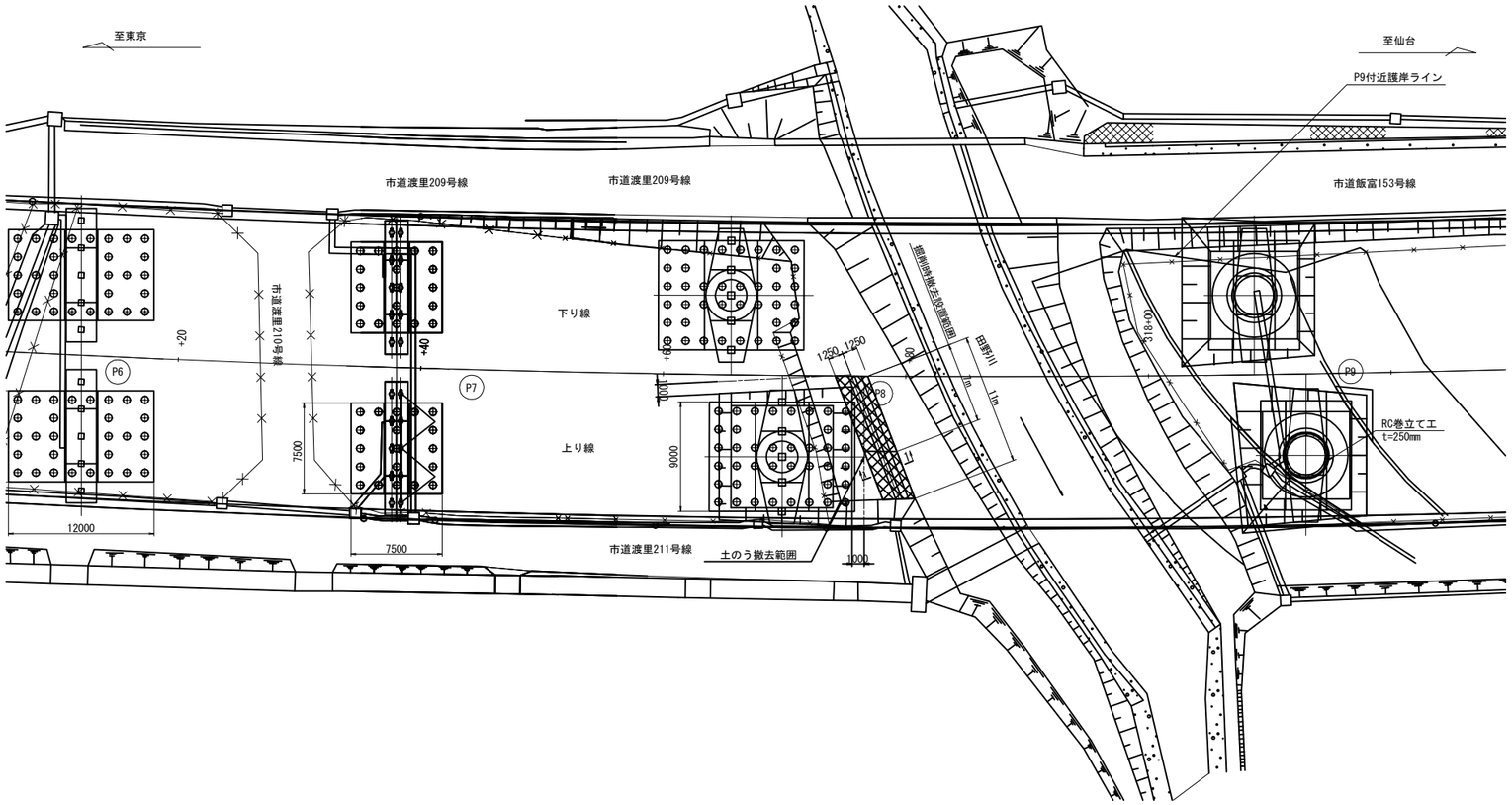
項 目		単位	数量	備 考
天端コンクリート		m2	76.6	(CAD計測)

注記
・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
・施工前に現況を再度調査・寸法計測すること。

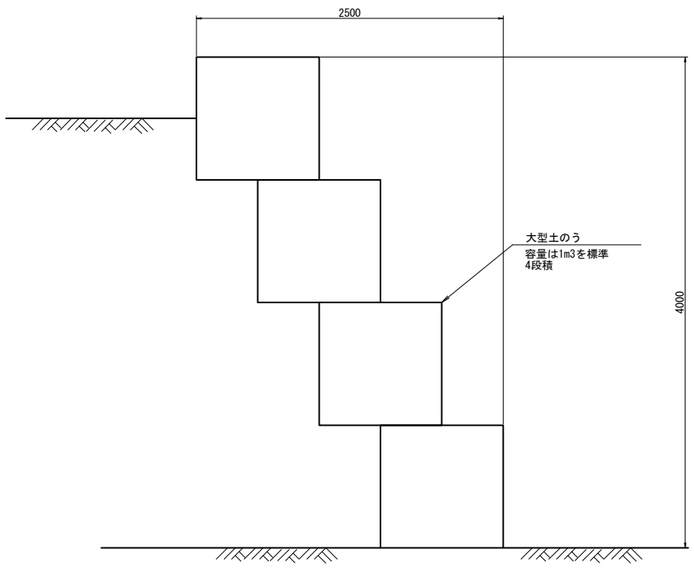
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 護岸撤去図		
縮 尺	図 示	図面番号	54 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) P8橋脚土のう撤去図 S=1:500

平 面 図



1 － 1 S=1:50



土のう撤去図数量表

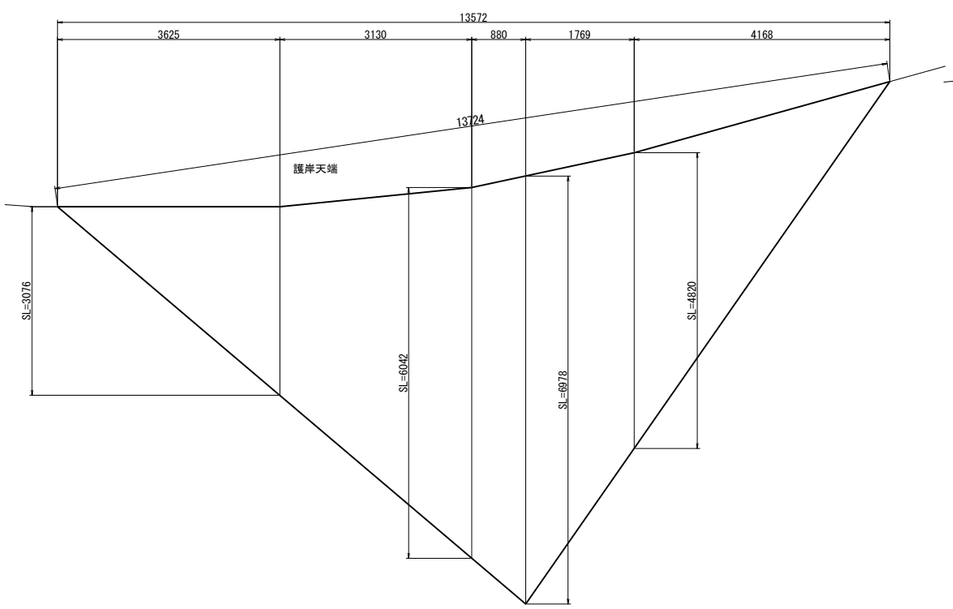
項　目	種　別	単　位	数　量	備　考
土のう		m^3	44.0	
		袋	44	容量は1m3を標準

注記
・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
・施工前に現況を再度調査・寸法計測すること。

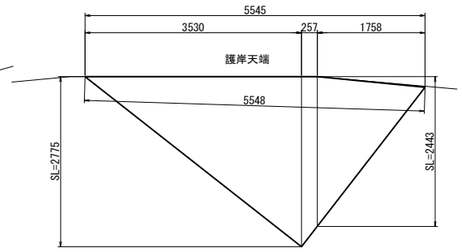
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) P8橋脚土のう撤去図		
縮　尺	図　示	図面番号	55 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) 護岸復旧図　S=1:500

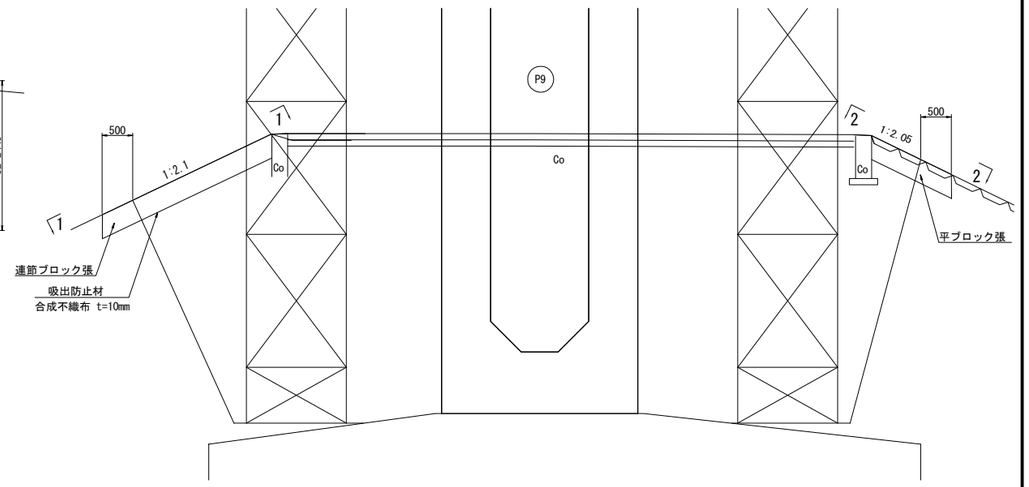
1－1展　開　図 S=1:100



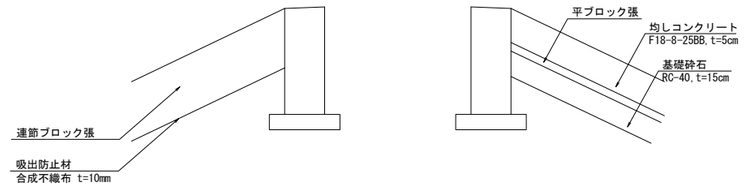
2－2展　開　図 S=1:100



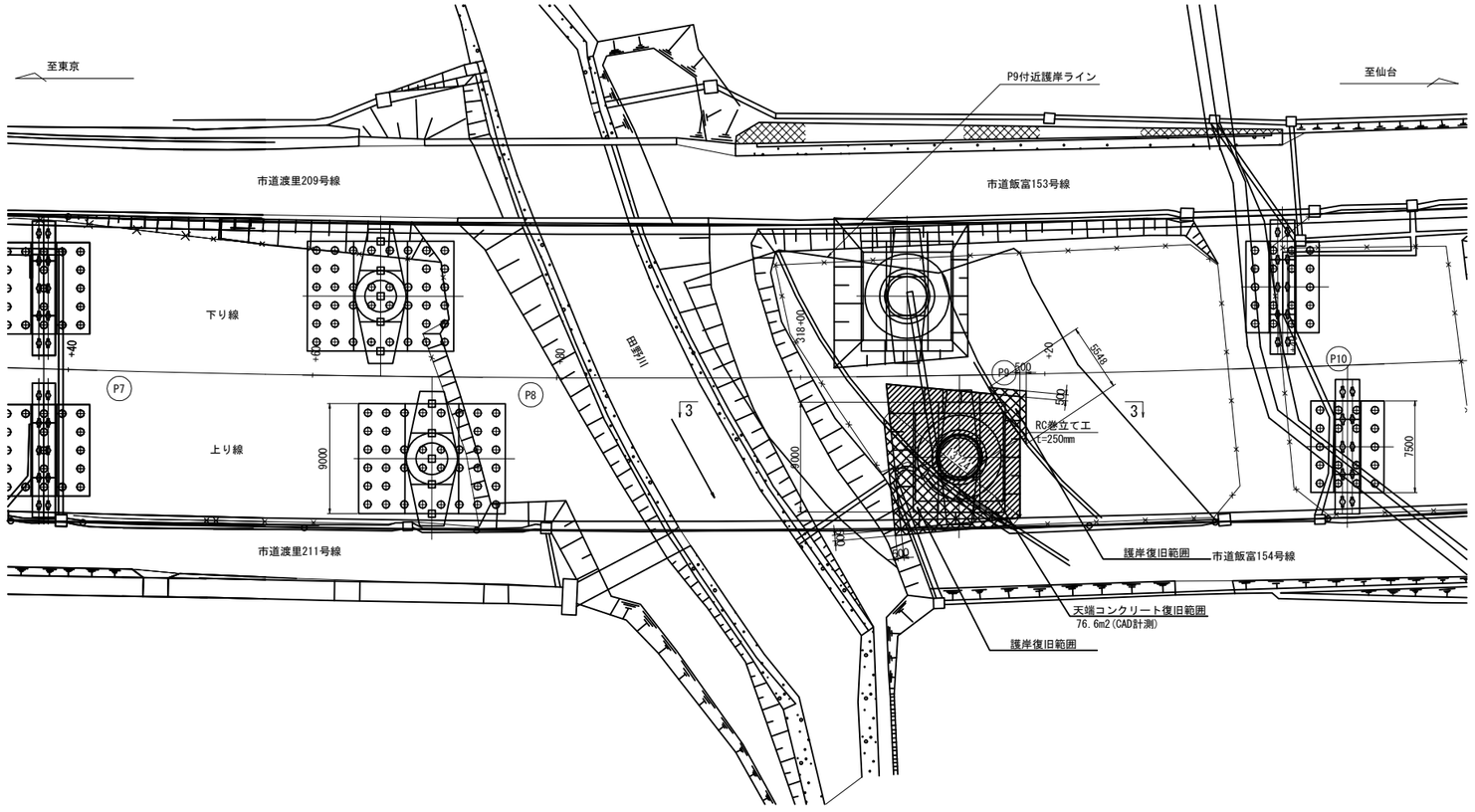
3－3断　面　図 S=1:100



天端詳細図　S=1:40



平　面　図



復旧数量表

項　目		単位	数量	備　考
連節ブロック張	150kg未満/個	m2	7.7	
連結線	亜鉛アルミニュウム メッキ鋼線φ6mm	t	0.007	7.7×4×0.22=7kg
吸出防止材(t=10mm)		m2	7.7	

項　目		単位	数量	備　考
平ブロック張	150kg未満/個	m2	46.1	
均しコンクリート	F18-8-25BB, t=5cm	m2	46.1	
基礎砕石	RC-40, t=15cm	m2	46.1	

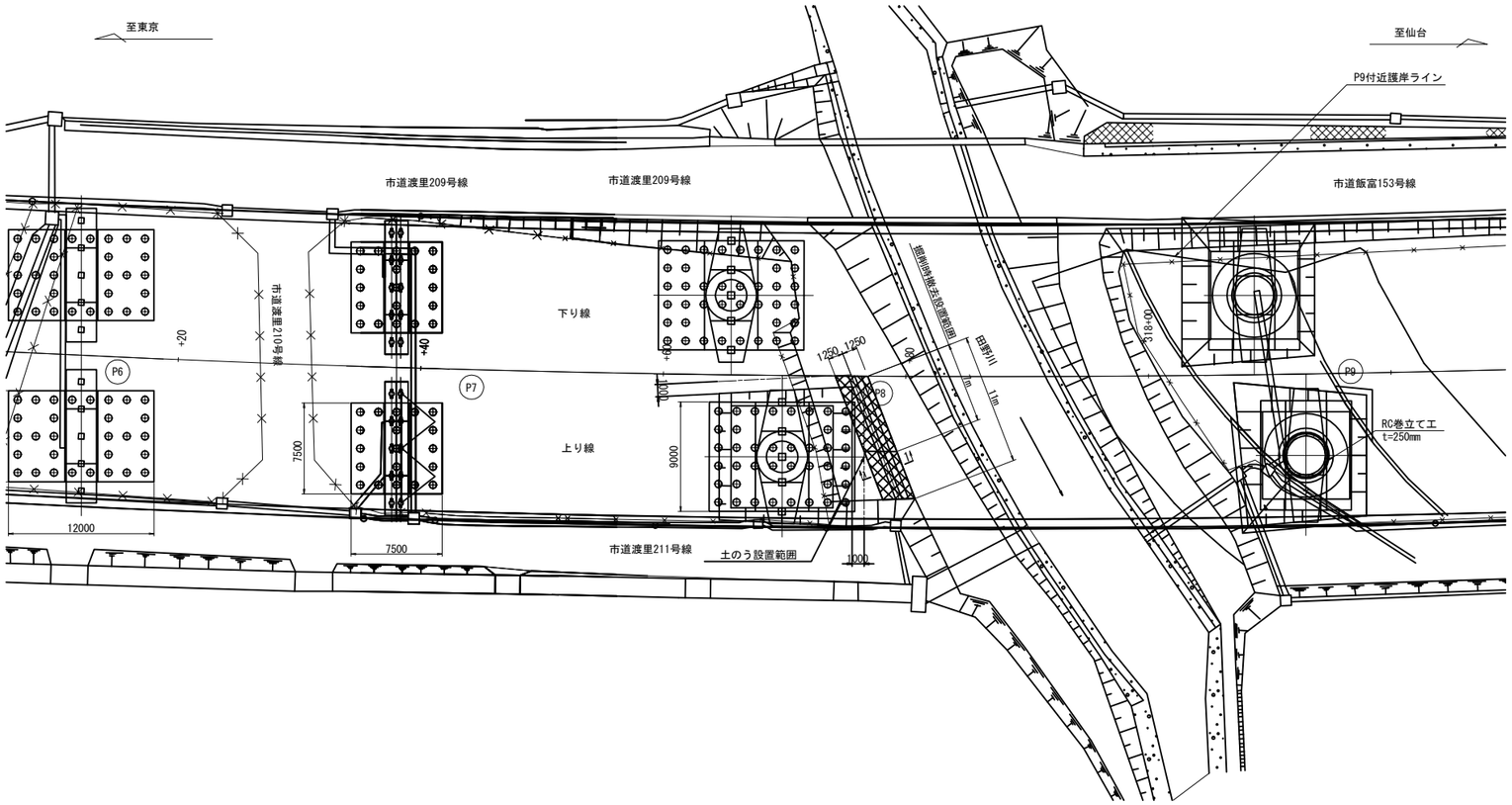
項　目		単位	数量	備　考
天端コンクリート		m2	76.6	(CAD計測)

注記
・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
・施工前に現況を再度調査・寸法計測すること。

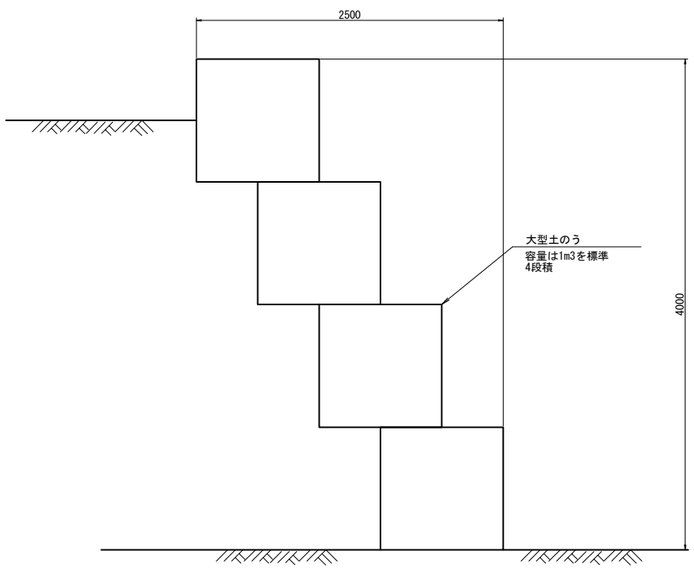
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 護岸復旧図		
縮　尺	図　示	図面番号	56 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(上り線) P8橋脚土のう設置図 S=1:500

平 面 図



1 － 1 S=1:50



土のう設置図数量表

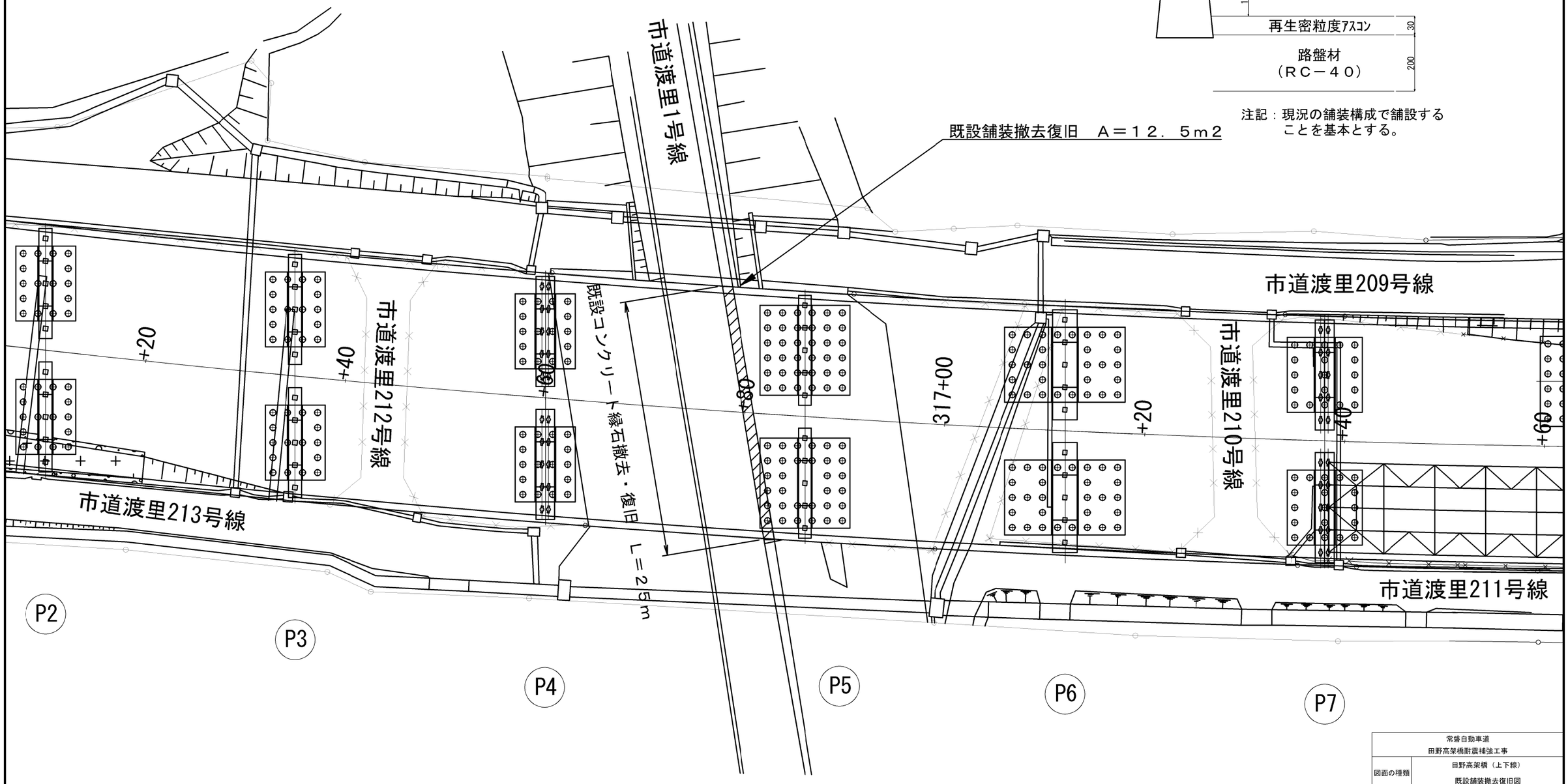
項　目	種　別	単　位	数　量	備　考
土のう		m^3	44.0	
		袋	44	容量は1m3を標準

注記
・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
・施工前に現況を再度調査・寸法計測すること。

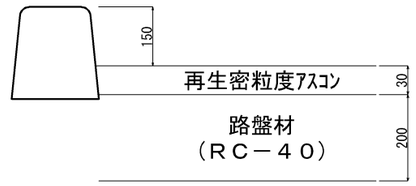
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事	
図面の種類	田野高架橋(上り線) P8橋脚土のう設置図
縮　尺	図　示
図面番号	57 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所

田野高架橋（上下線）既設舗装撤去復旧図

平　面　図



断　面　図

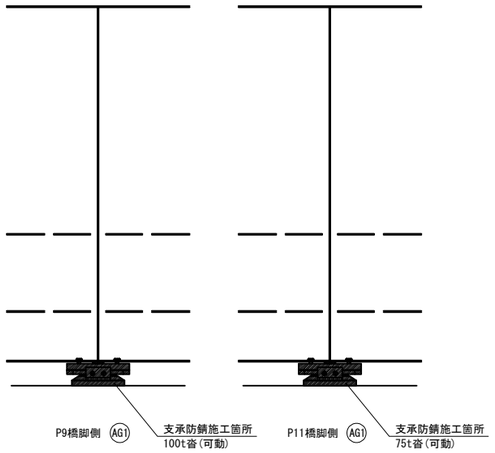


注記：現況の舗装構成で舗設することを基本とする。

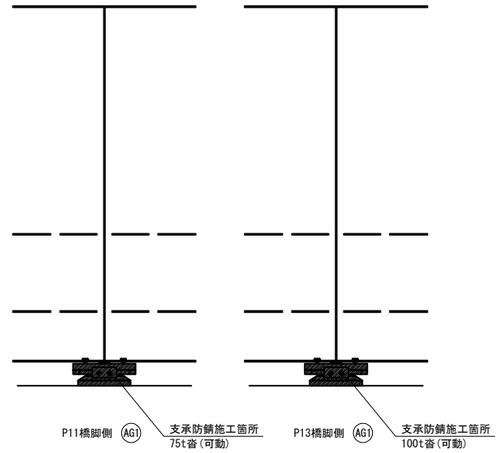
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋（上下線） 既設舗装撤去復旧図		
縮　尺	－	図面番号	58 / 210
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋（上り線）　支承防錆図 S=1:50

P10橋脚



P12橋脚



数　量　表

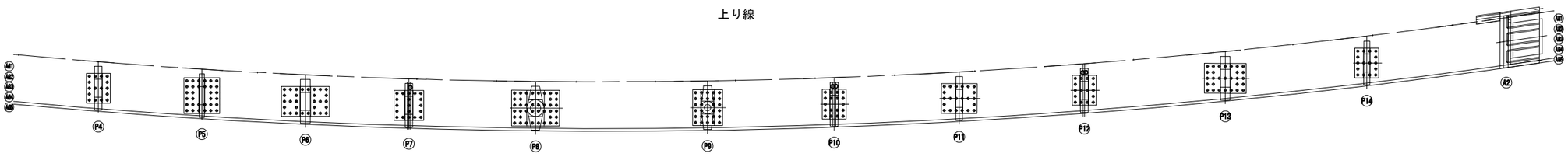
項　目		数　量	単　位	摘　要
支承防錆工	P10橋脚	1	箇所	100t沓(可動)
		1	〃	75t沓(可動)
	P12橋脚	1	〃	75t沓(可動)
		1	〃	100t沓(可動)
合　計		4	〃	

施工フロー

潤滑材注入	-潤滑材は二硫化モリブデン系の防錆潤滑材とする。
素地調整	-素地調整は、第1種ケレンとする。
亜鉛アルミ溶射	-亜鉛アルミは、JIS H 2107（亜鉛地金）及びJIS H 2102（アルミニウム地金）の化学成分に準拠する。
上塗塗装	-浸透性のエポキシ樹脂系塗料を塗布する。（平均塗膜厚80μm）

位　置　図

上り線



凡　例

○ ：支承防錆箇所

注記）

・図面は竣工図に基づき作成されたものである。
　既設構造物の形状を現地計測の上、必要に応じて
　施工内容を精査すること。

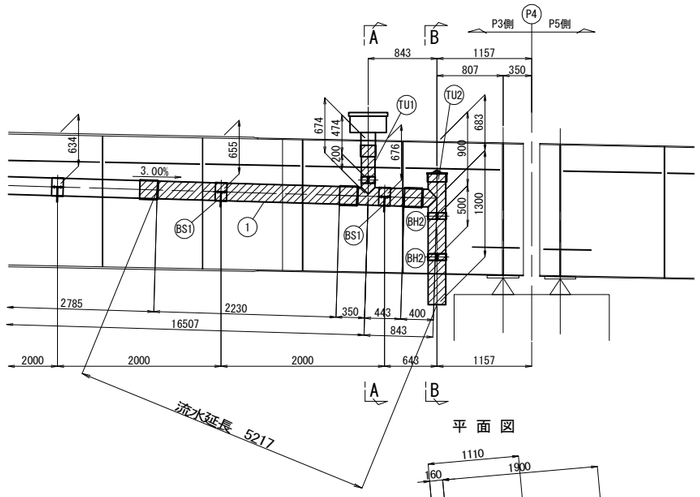
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(上り線) 支承防錆図		
縮　尺	図　示	図面番号	59 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 上部工排水装置撤去・設置工 (その1)　S=1:75

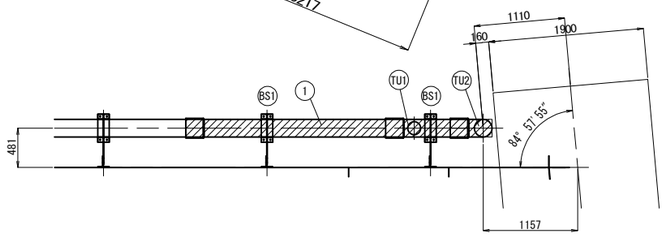
P4橋脚 上部工排水装置位置図

撤去図

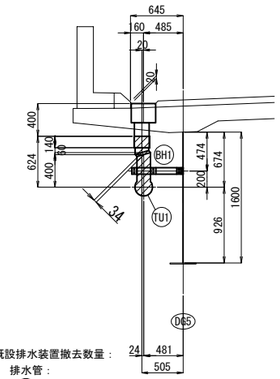
側面図



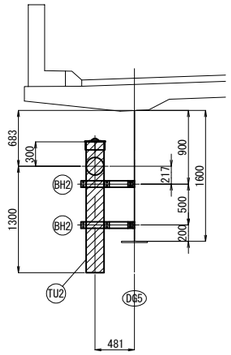
平 面 図



A － A



B － B



既設排水装置撤去数量：

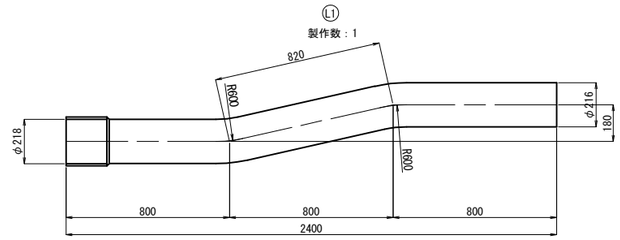
排水管：

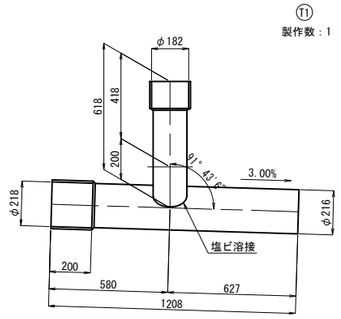
- ① 1-VP 200Ax2660
- TU1 1箇所
- TU2 1箇所

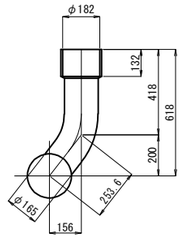
排水金具：

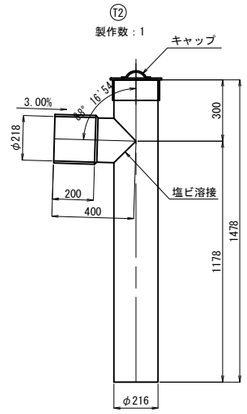
- BH1 1箇所
- BH2 2箇所
- BS1 2箇所

排水管加工詳細　S=1:30



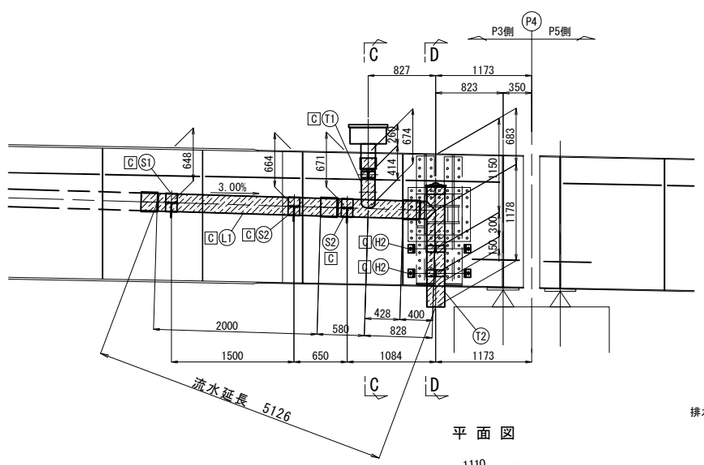




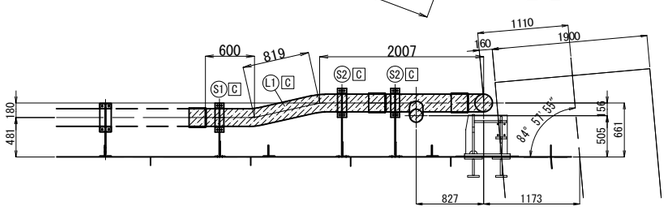


設置図

側面図

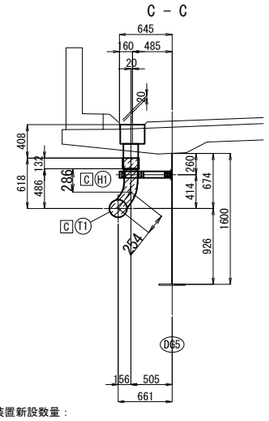


平 面 図

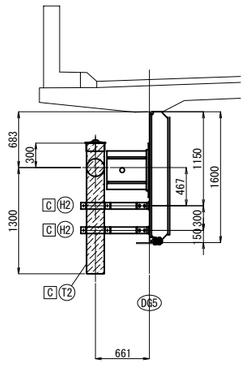


断面図

C － C



D － D



排水装置新設数量：

排水管：

- L1 1箇所
- T1 1箇所
- T2 1箇所

排水金具：

- H1 1箇所
- H2 2箇所
- S1 1箇所
- S2 2箇所

排水管キャップ(VP 200A用)　1箇所

凡 例：

- 撤去範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

注 記

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
   亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
   但し、ボルト・ナット、板厚3.2mm未満の
   部材は、HDZT49とする。
3. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。
4. 普通ボルトは、全てゆるみ止めナット付きとする。
5. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

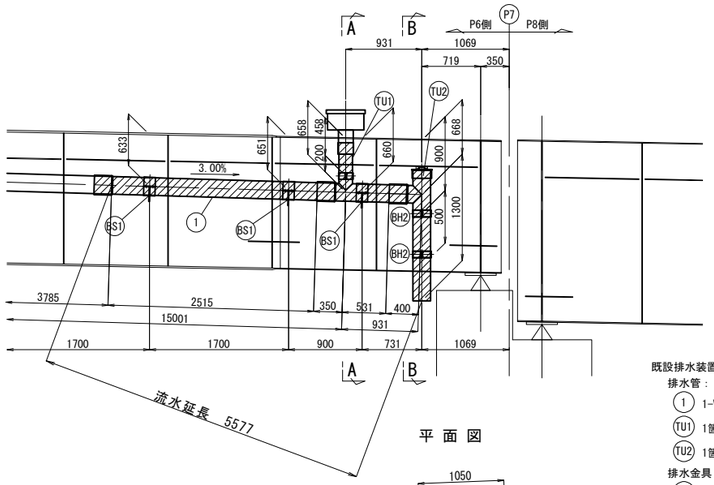
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 上部工排水装置撤去・設置工 (その1)		
縮　尺	図 示	図面番号	60 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 上部工排水装置撤去・設置工 (その2)　S=1:75

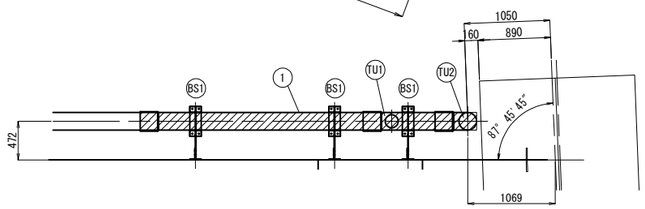
P7橋脚 上部工排水装置位置図

撤去図

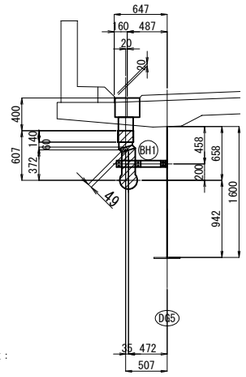
側面図



平 面 図

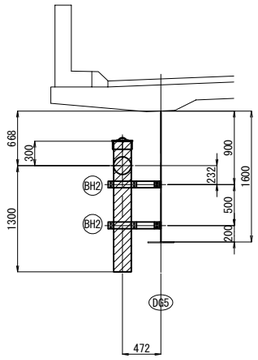


A － A



断面図

B － B



既設排水装置撤去数量：

排水管：

① 1-VP 200Ax2945

TU1 1箇所

TU2 1箇所

排水金具：

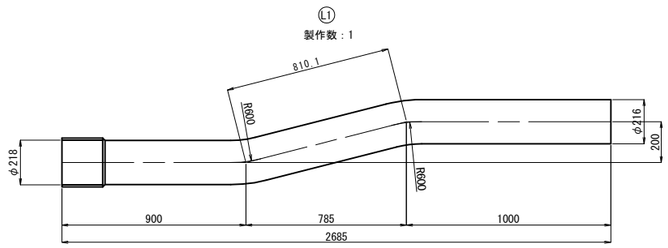
BH1 1箇所

BH2 2箇所

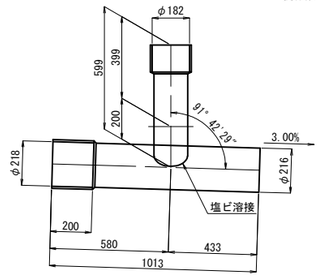
BS1 3箇所

排水管加工詳細　S=1:30

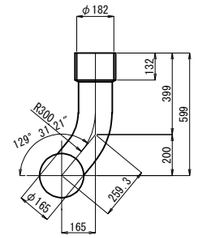
L1
製作数：1

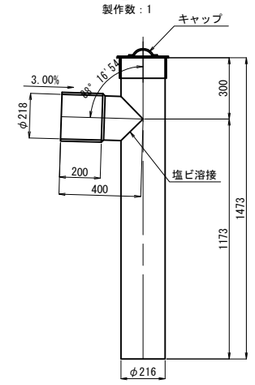


T1
製作数：1



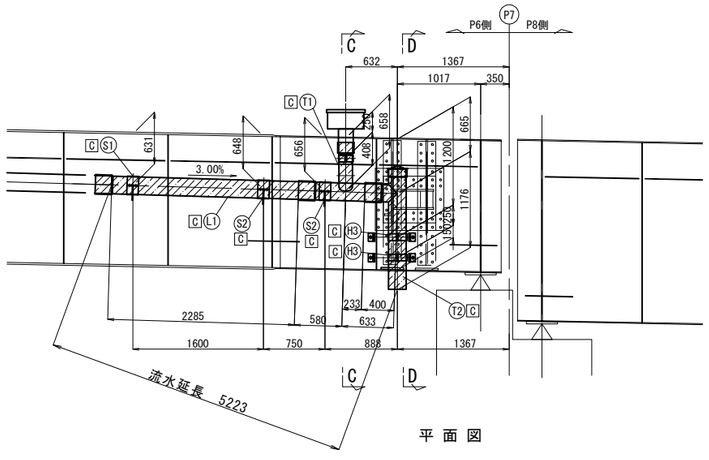
T2
製作数：1



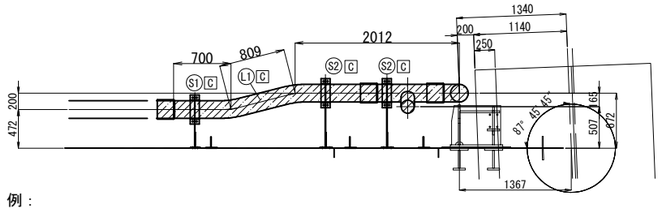


設置図

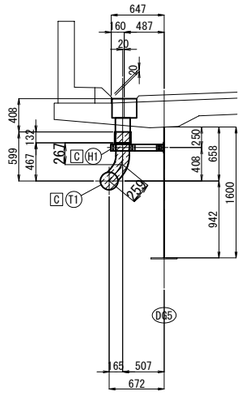
側面図



平 面 図

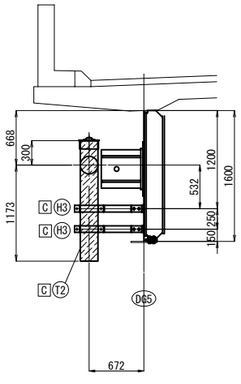


C － C



断面図

D － D



排水装置新設数量：

排水管：

L1 1箇所

T1 1箇所

T2 1箇所

排水金具：

H1 1箇所

H3 2箇所

S1 1箇所

S2 2箇所

排水管キャップ(VP 200A用)　1箇所

凡 例：

撤去範囲

新設範囲

C ：全て新設部材

注 記

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
   亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
   但し、ボルト・ナット、板厚3.2mm未満の
   部材は、HDZT49とする。
3. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。
4. 普通ボルトは、全てゆるみ止めナット付きとする。
5. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

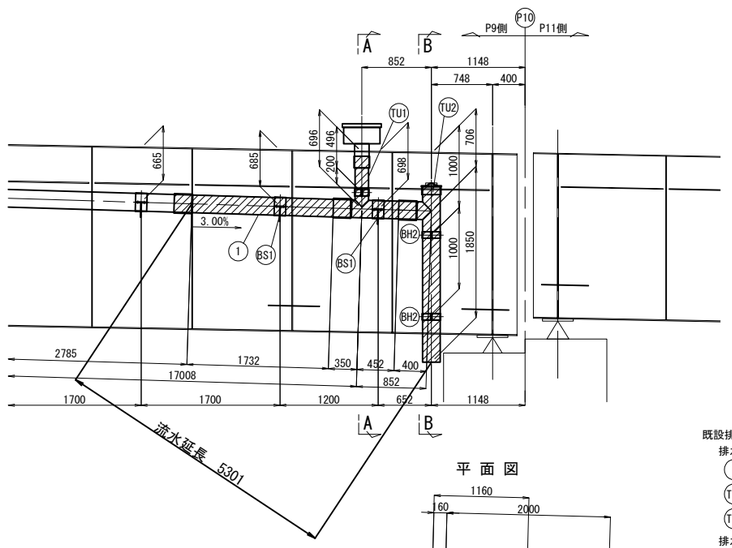
常盤自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 上部工排水装置撤去・設置工 (その2)		
縮　尺	図 示	図面番号	61 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 上部工排水装置撤去・設置工 (その3)　S=1:75

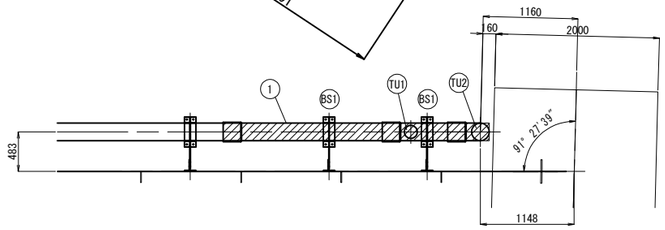
P10橋脚 上部工排水装置位置図

撤去図

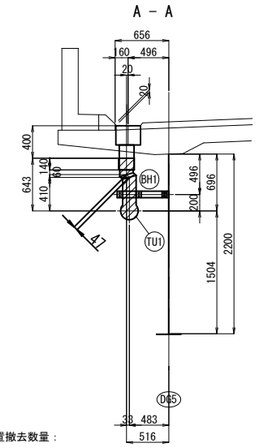
側面図



平 面 図



A － A



既設排水装置撤去数量：

排水管：

① 1-VP 200Ax2161

TU1 1箇所

TU2 1箇所

排水金具：

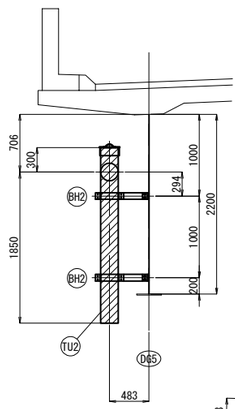
BH1 1箇所

BH2 2箇所

BS1 2箇所

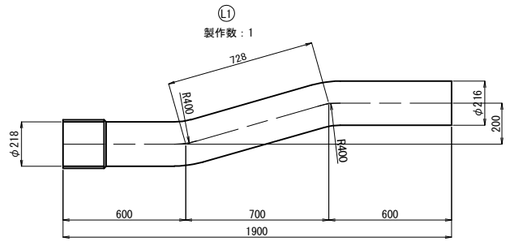
断面図

B － B

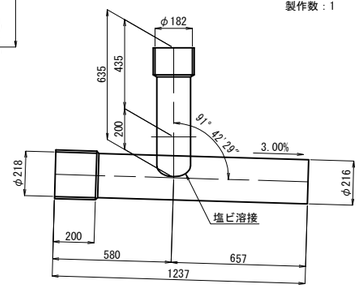


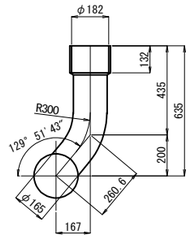
排水管加工詳細　S=1:30

L1
製作数：1

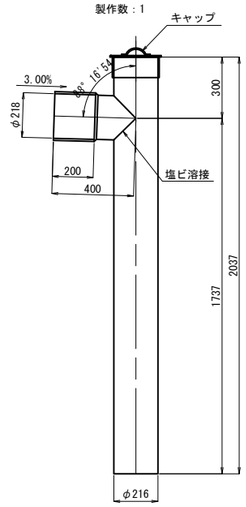


T1
製作数：1



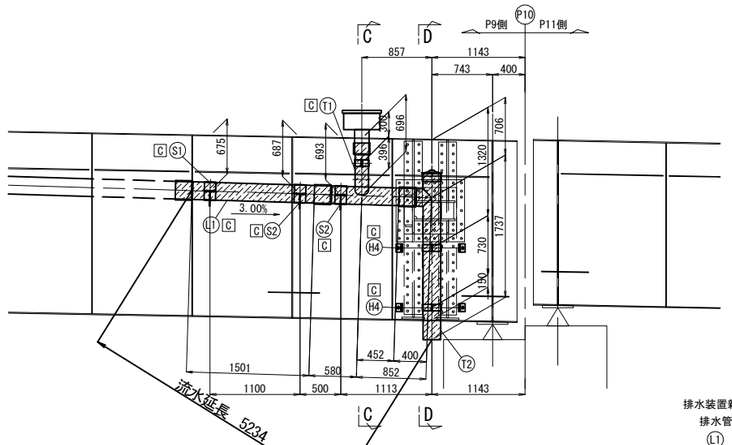


T2
製作数：1

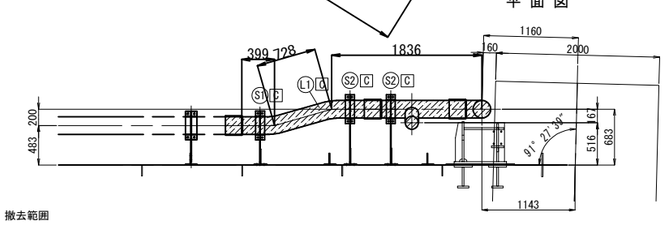


設置図

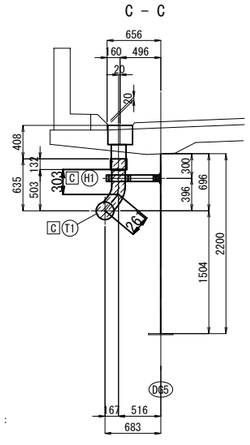
側面図



平 面 図



C － C



排水装置新設数量：

排水管：

L1 1箇所

T1 1箇所

T2 1箇所

排水金具：

H1 1箇所

H4 2箇所

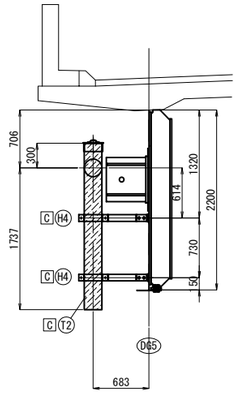
S1 1箇所

S2 2箇所

排水管キャップ(VP 200A用)　1箇所

断面図

D － D



凡 例：

撤去範囲

新設範囲

C ：全て新設部材

注 記

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
   亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
   但し、ボルト・ナット、板厚3.2mm未満の
   部材は、HDZT49とする。
3. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。
4. 普通ボルトは、全てゆるみ止めナット付きとする。
5. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

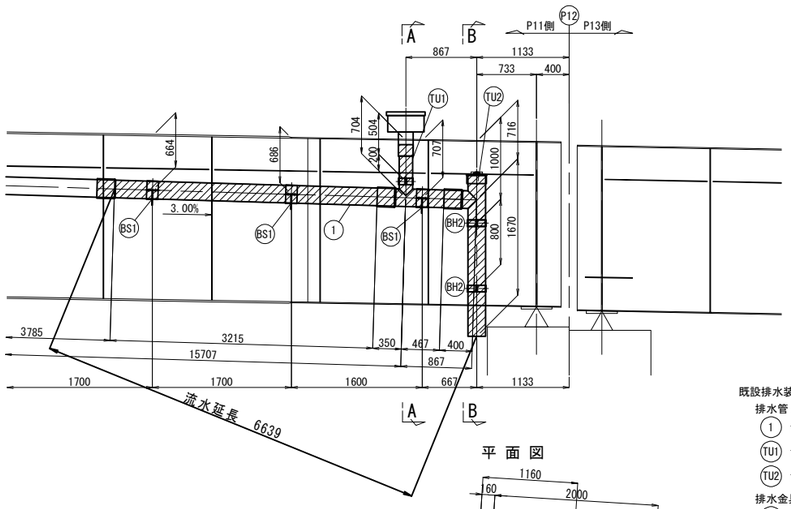
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 上部工排水装置撤去・設置工 (その3)		
縮　尺	図 示	図面番号	62 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 上部工排水装置撤去・設置工 (その4)　S=1:75

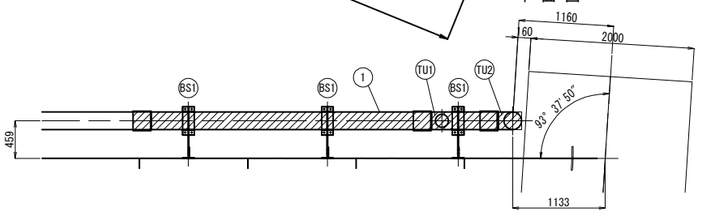
P12橋脚 上部工排水装置位置図

撤去図

側面図



平 面 図



既設排水装置撤去数量：

排水管：

① 1-VP 200Ax3645

TU1 1箇所

TU2 1箇所

排水金具：

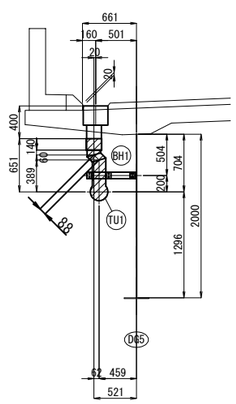
BH1 1箇所

BH2 2箇所

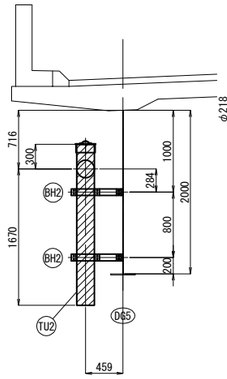
BS1 3箇所

断面図

A － A

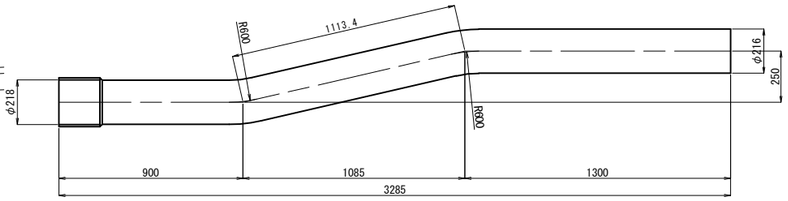


B － B

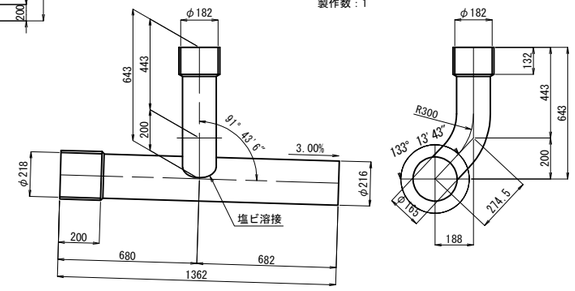


排水管加工詳細　S=1:30

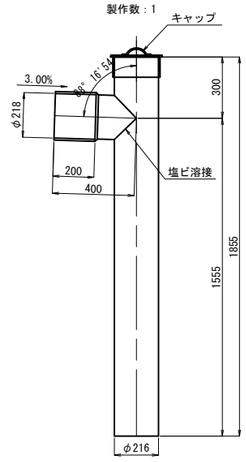
L1
製作数：1



T1
製作数：1

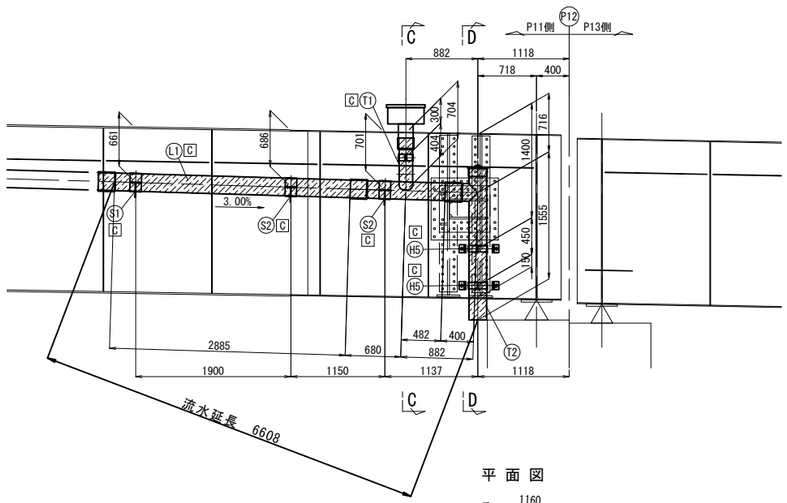


T2
製作数：1

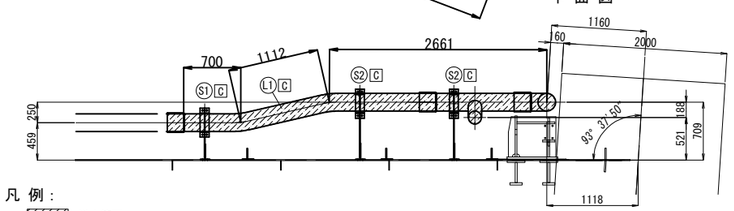


設置図

側面図

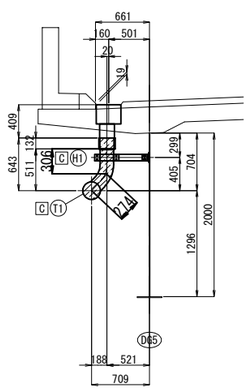


平 面 図

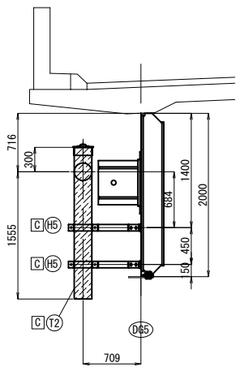


断面図

C － C



D － D



排水装置新設数量：

排水管：

L1 1箇所

T1 1箇所

T2 1箇所

排水金具：

H1 1箇所

H5 2箇所

S1 1箇所

S2 2箇所

排水管キャップ(VP 200A用)　1箇所

凡 例：

撤去範囲

新設範囲

C ：全て新設部材

注 記

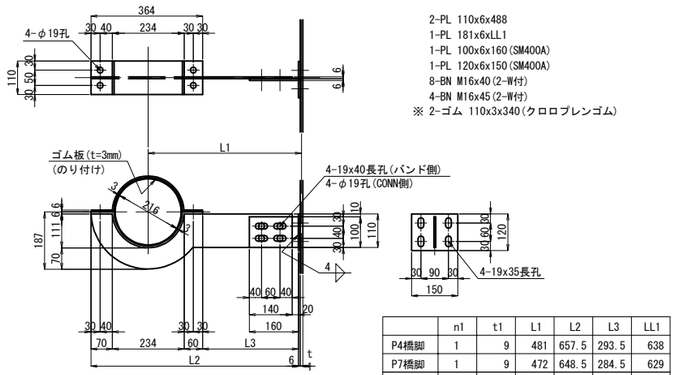
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
   亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
   但し、ボルト・ナット、板厚3.2mm未満の
   部材は、HDZT49とする。
3. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。
4. 普通ボルトは、全てゆるみ止めナット付きとする。
5. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 上部工排水装置撤去・設置工 (その4)		
縮　尺	図 示	図面番号	63 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 上部工排水装置撤去・設置工 (その5) S=1:20

取付金具詳細

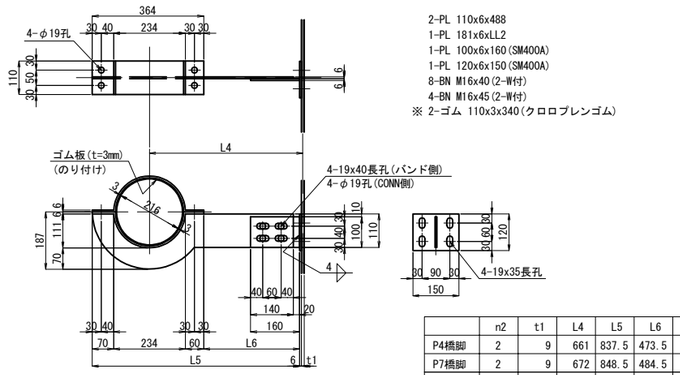
S1
製作数：n1組



2-PL 110x6x488
1-PL 181x6xLL1
1-PL 100x6x160(SM400A)
1-PL 120x6x150(SM400A)
8-BN M16x40(2-W付)
4-BN M16x45(2-W付)
※ 2-ゴム 110x3x340(クロロプレンゴム)

	n1	t1	L1	L2	L3	LL1
P4橋脚	1	9	481	657.5	293.5	638
P7橋脚	1	9	472	648.5	284.5	629
P10橋脚	1	10	483	659	295	639
P12橋脚	1	10	459	635	271	615

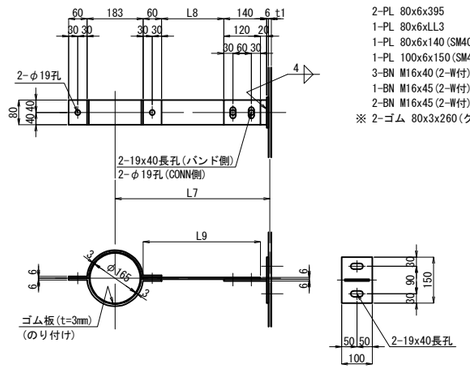
S2
製作数：n2組



2-PL 110x6x488
1-PL 181x6xLL2
1-PL 100x6x160(SM400A)
1-PL 120x6x150(SM400A)
8-BN M16x40(2-W付)
4-BN M16x45(2-W付)
※ 2-ゴム 110x3x340(クロロプレンゴム)

	n2	t1	L4	L5	L6	LL2
P4橋脚	2	9	661	837.5	473.5	818
P7橋脚	2	9	672	848.5	484.5	829
P10橋脚	2	10	683	859	495	839
P12橋脚	2	10	709	885	521	865

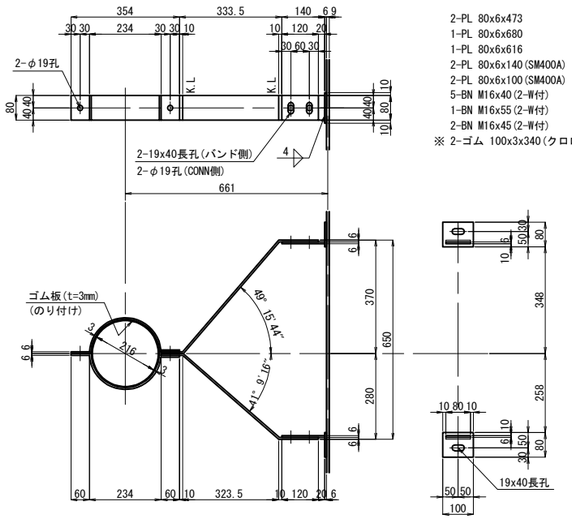
H1
製作数：n3組



2-PL 80x6x395
1-PL 80x6xLL3
1-PL 80x6x140(SM400A)
1-PL 100x6x150(SM400A)
3-BN M16x40(2-W付)
1-BN M16x45(2-W付)
2-BN M16x45(2-W付)
※ 2-ゴム 80x3x260(クロロプレンゴム)

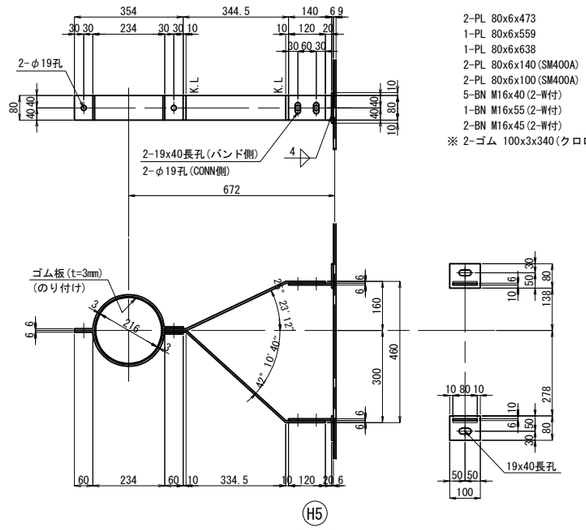
	n3	t1	L7	L8	L9	LL3
P4橋脚	1	9	505	203	383	383
P7橋脚	1	9	507	205	385	385
P10橋脚	1	10	516	213.5	393.5	394
P12橋脚	1	10	521	218.5	398.5	399

H2
P4橋脚
製作数：2組



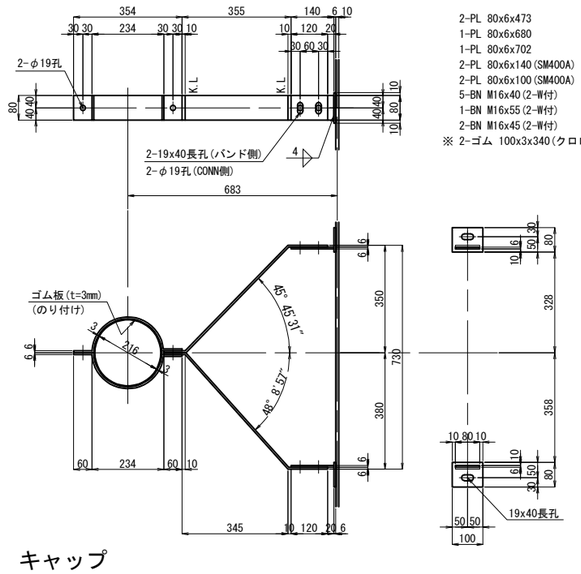
2-PL 80x6x473
1-PL 80x6x680
1-PL 80x6x616
2-PL 80x6x140(SM400A)
2-PL 80x6x100(SM400A)
5-BN M16x40(2-W付)
1-BN M16x55(2-W付)
2-BN M16x45(2-W付)
※ 2-ゴム 100x3x340(クロロプレンゴム)

H3
P7橋脚
製作数：2組



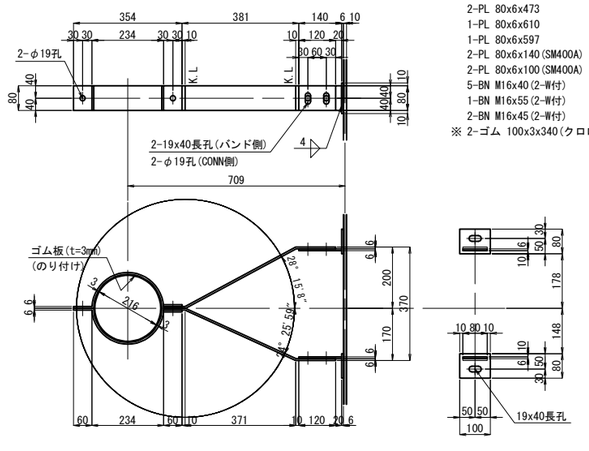
2-PL 80x6x473
1-PL 80x6x559
1-PL 80x6x638
2-PL 80x6x140(SM400A)
2-PL 80x6x100(SM400A)
5-BN M16x40(2-W付)
1-BN M16x55(2-W付)
2-BN M16x45(2-W付)
※ 2-ゴム 100x3x340(クロロプレンゴム)

H4
P10橋脚
製作数：2組



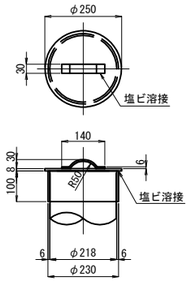
2-PL 80x6x473
1-PL 80x6x680
1-PL 80x6x702
2-PL 80x6x140(SM400A)
2-PL 80x6x100(SM400A)
5-BN M16x40(2-W付)
1-BN M16x55(2-W付)
2-BN M16x45(2-W付)
※ 2-ゴム 100x3x340(クロロプレンゴム)

H5
P12橋脚
製作数：2組



2-PL 80x6x473
1-PL 80x6x610
1-PL 80x6x597
2-PL 80x6x140(SM400A)
2-PL 80x6x100(SM400A)
5-BN M16x40(2-W付)
1-BN M16x55(2-W付)
2-BN M16x45(2-W付)
※ 2-ゴム 100x3x340(クロロプレンゴム)

キャップ
P4, P5, P7, P10, P12橋脚
設置数：各1箇所



1-VP φ250x8(塩化ビニール)
1-VP 30x6x156(塩化ビニール)
1-VP 100x6x723(塩化ビニール)

注 記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
   亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
   但し、ボルト・ナット、板厚3.2mm未満の
   部材は、HDZT49とする。
3. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。
4. 普通ボルトは、全てゆるみ止めナット付きとする。
5. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常盤自動車道 田野高架橋耐震補強工事	
図面の種類	田野高架橋(下り線) 上部工排水装置撤去・設置工 (その5)
縮尺	図示
図面番号	64 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所

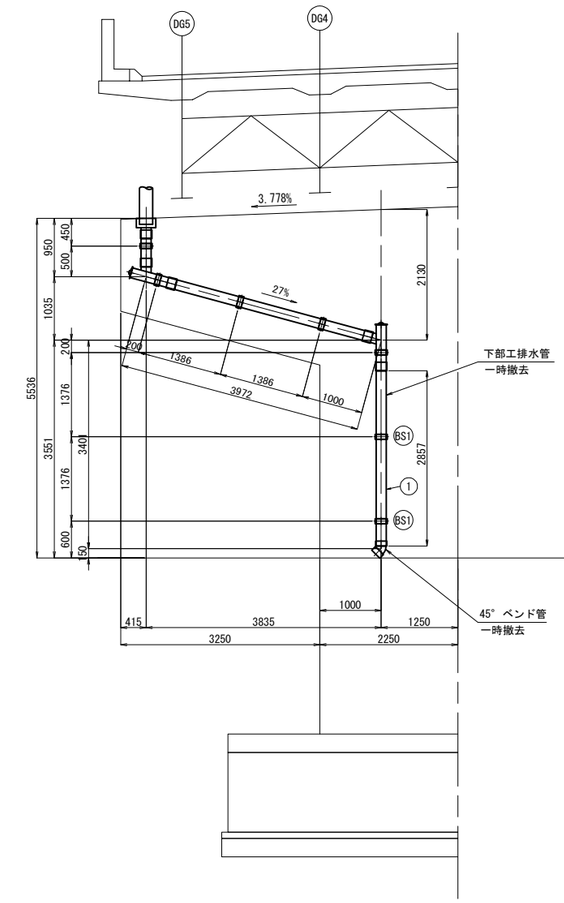
田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その1)

S=1:100

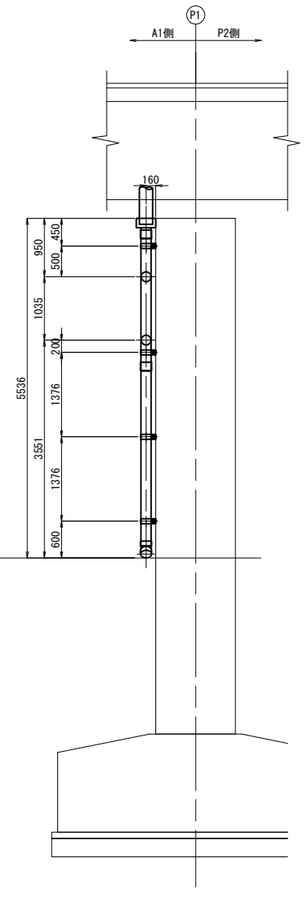
P1橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

正面図



側面図



下部工排水撤去数量：

排水管(一時撤去)：

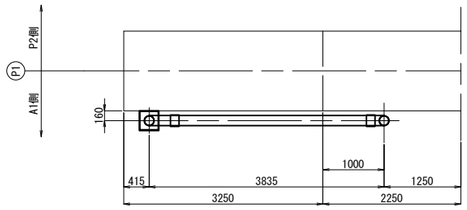
① 1-VP 150Ax2997

45° ベンド管　1箇所

排水金具：

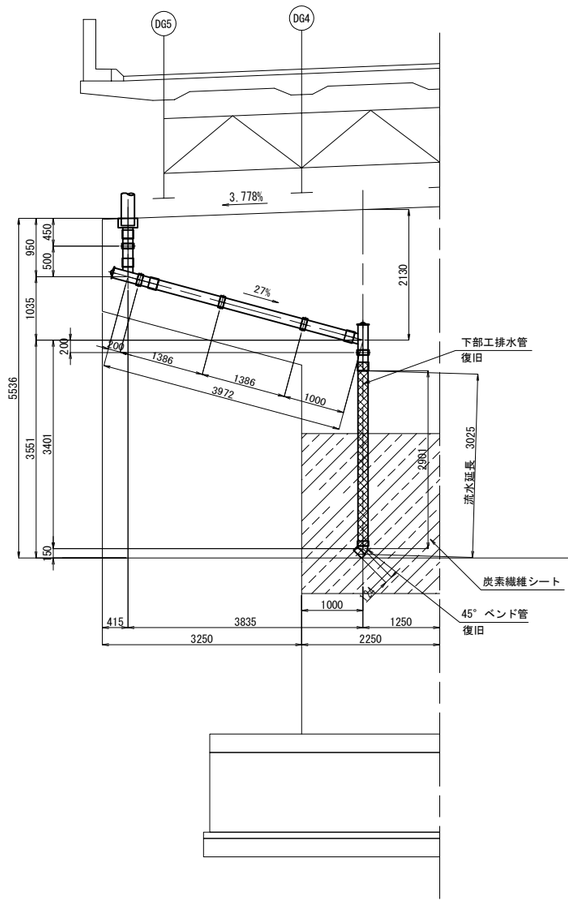
BS1 2箇所

平面図

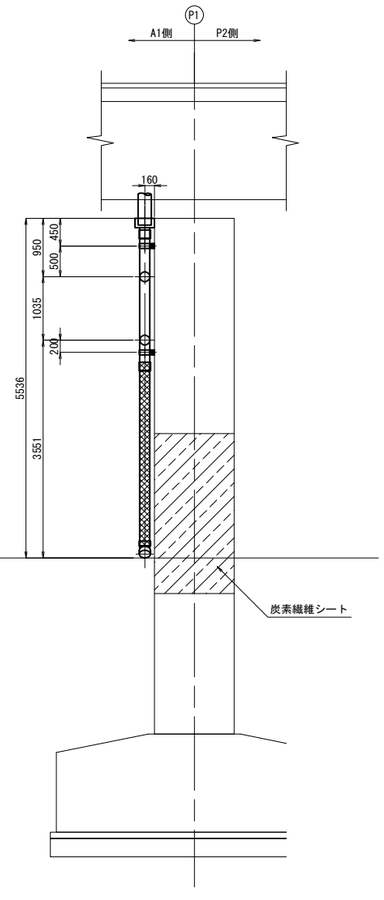


一時撤去(再利用)図

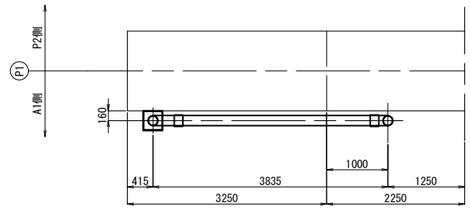
正面図



側面図



平面図



凡 例：

撤去範囲

流用範囲

新設範囲

C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行う。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その1)		
縮　尺	図　示	図面番号	65 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

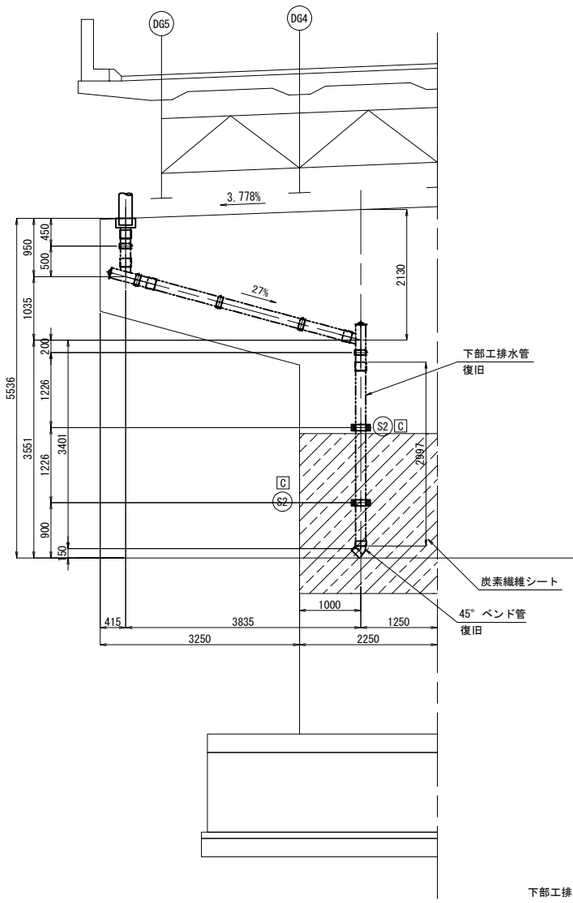
田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その2)

S=1:100

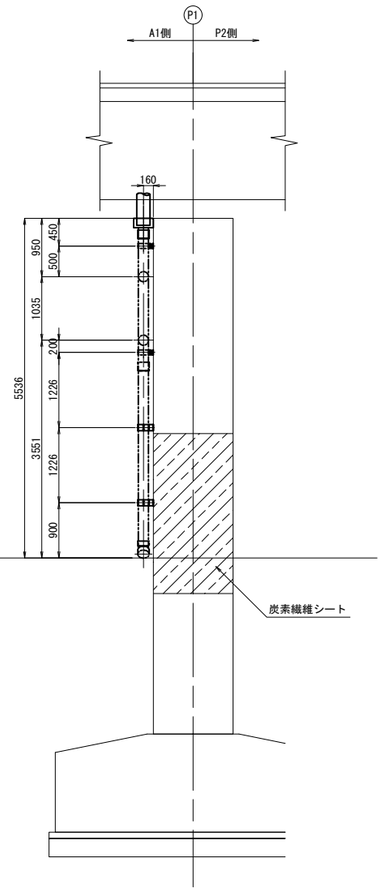
P1橋脚 排水装置 設置工

新設図

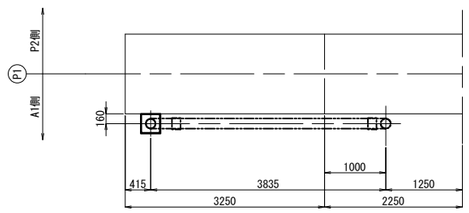
正面図



側面図



平面図



下部工排水復旧数量：

排水管(復旧)：

① 1-VP 150Ax2997

45° ベンド管　1箇所

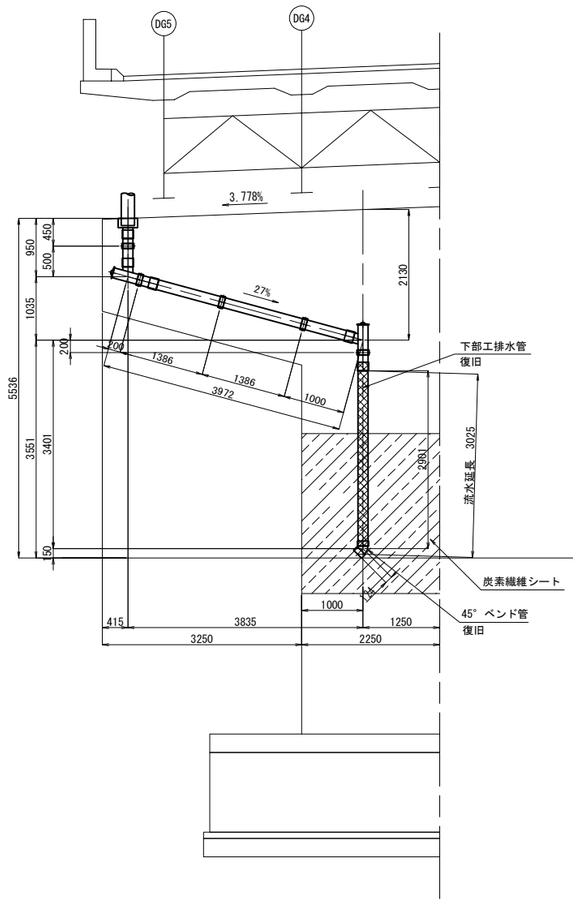
下部工排水新設数量：

排水金具：

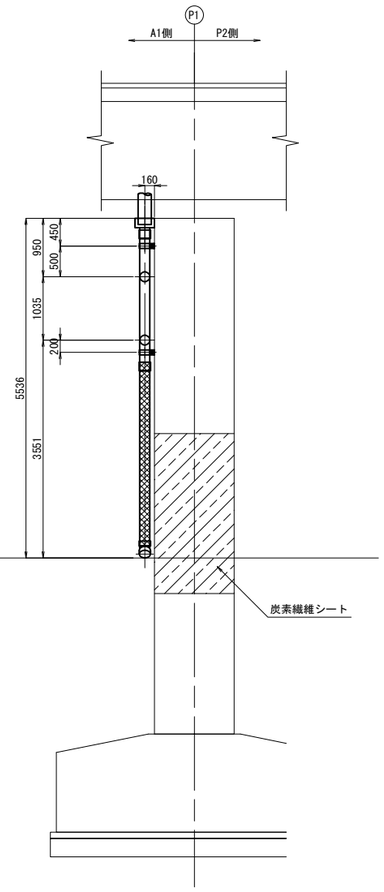
S2 2箇所

再利用図

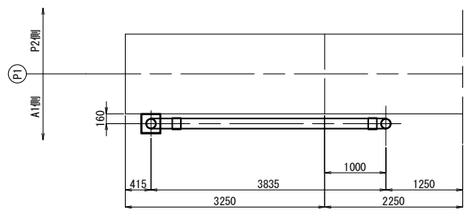
正面図



側面図



平面図



凡 例：

撤去範囲

流用範囲

新設範囲

C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行う。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その2)		
縮　尺	図　示	図面番号	66 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

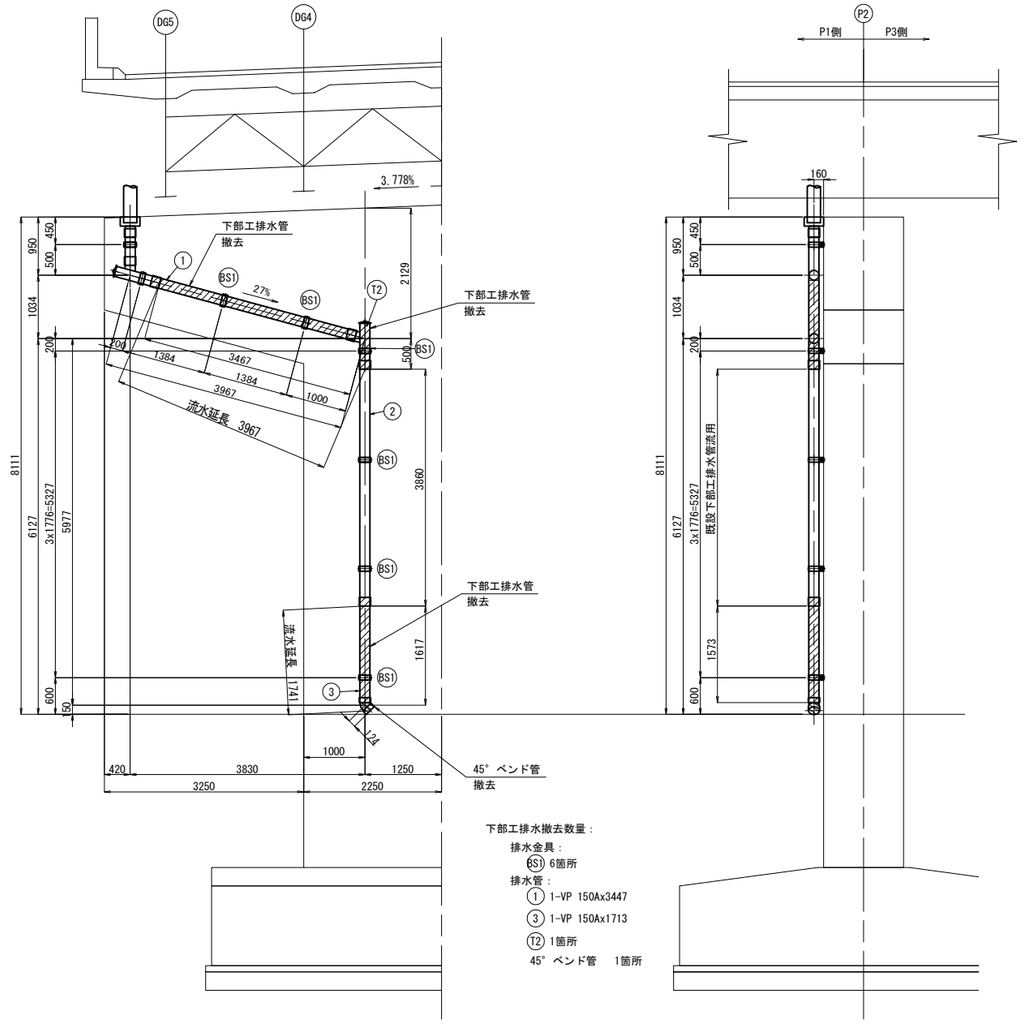
田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その3)

S=1:100

P2橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

正面図



側面図

下部工排水撤去数量：

排水金具：

BS1 6箇所

排水管：

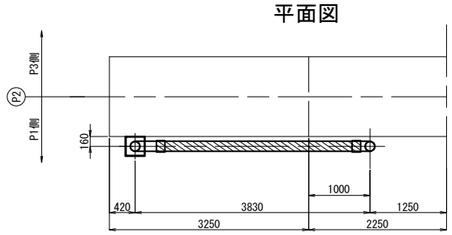
① 1-VP 150Ax3447

③ 1-VP 150Ax1713

T2 1箇所

45° ベンド管 1箇所

平面図



凡例：

撤去範囲

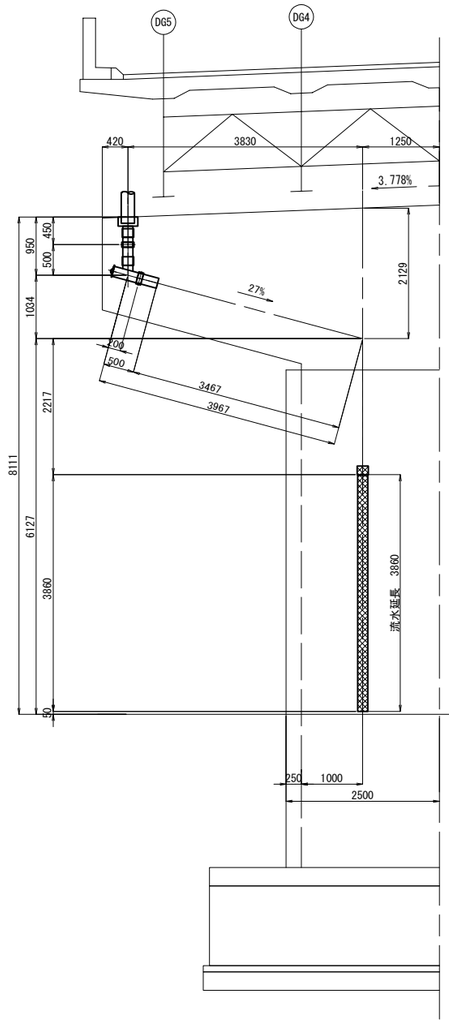
流用範囲

新設範囲

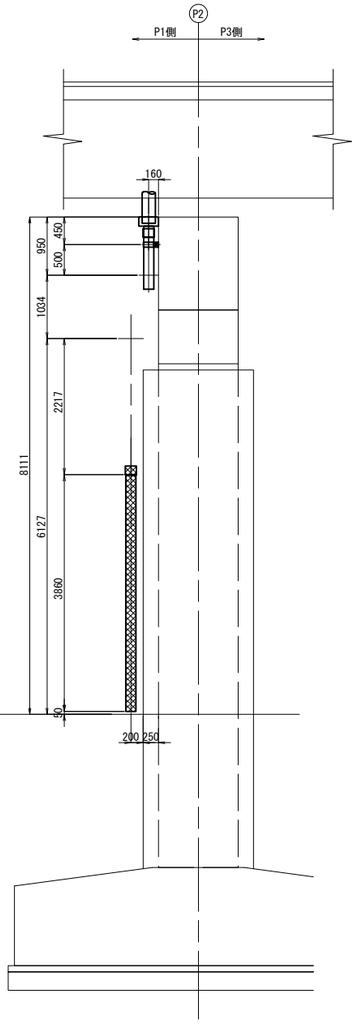
C ：全て新設部材

一時撤去(再利用)図

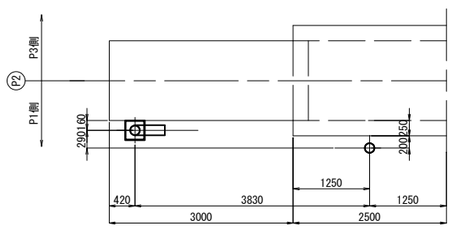
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行う。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	67 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

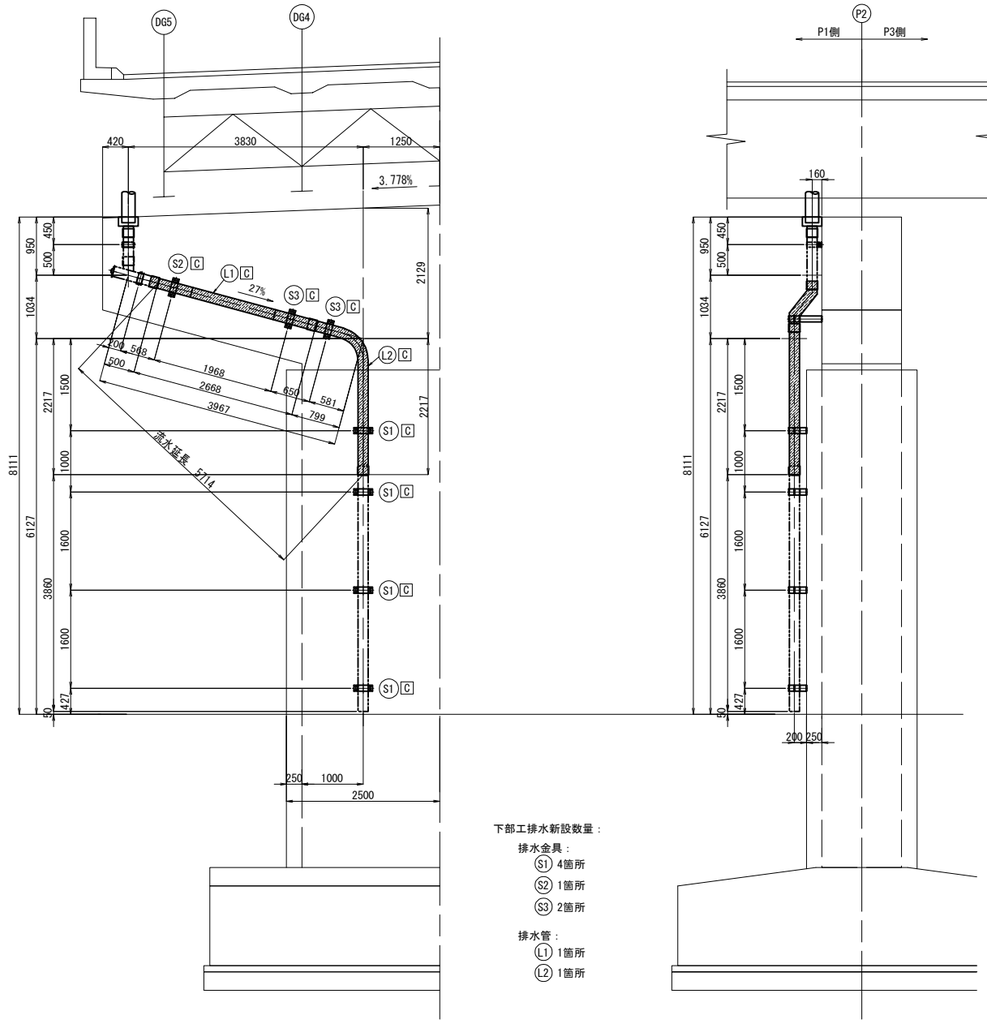
田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その4)

S=1:100

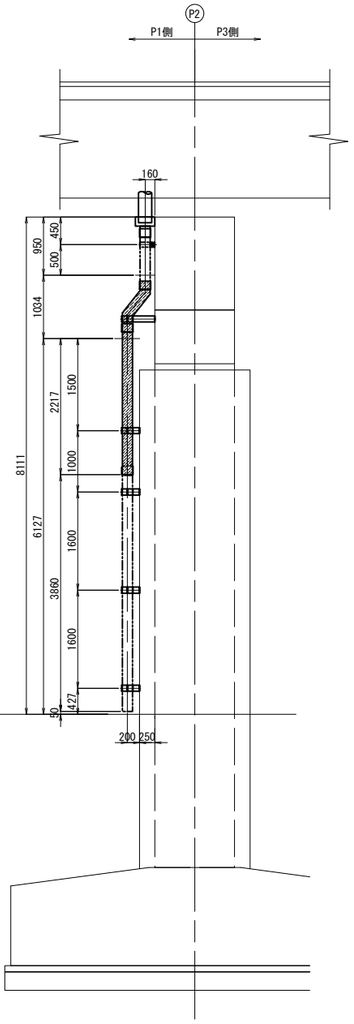
P2橋脚 排水装置 設置工

新設図

正面図



側面図



下部工排水新設数量：

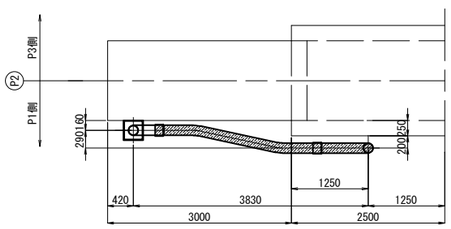
排水金具：

- S1 4箇所
- S2 1箇所
- S3 2箇所

排水管：

- L1 1箇所
- L2 1箇所

平面図

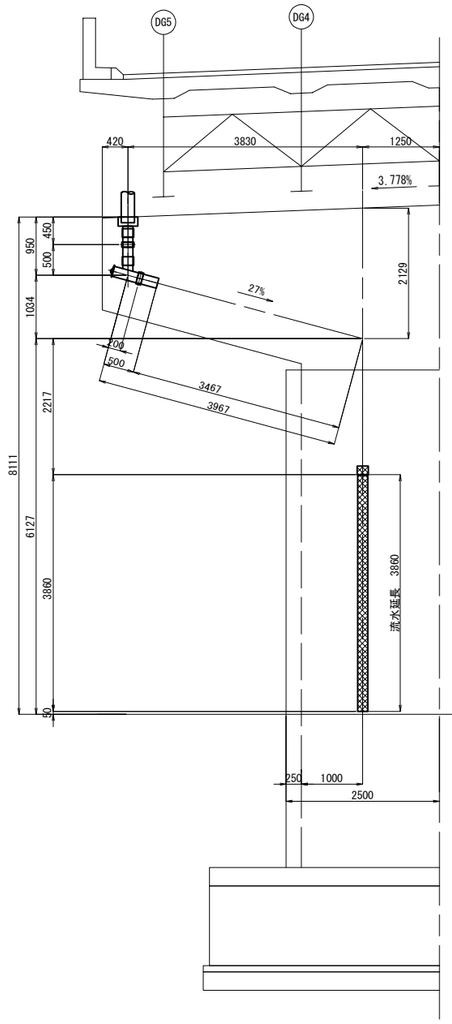


凡例：

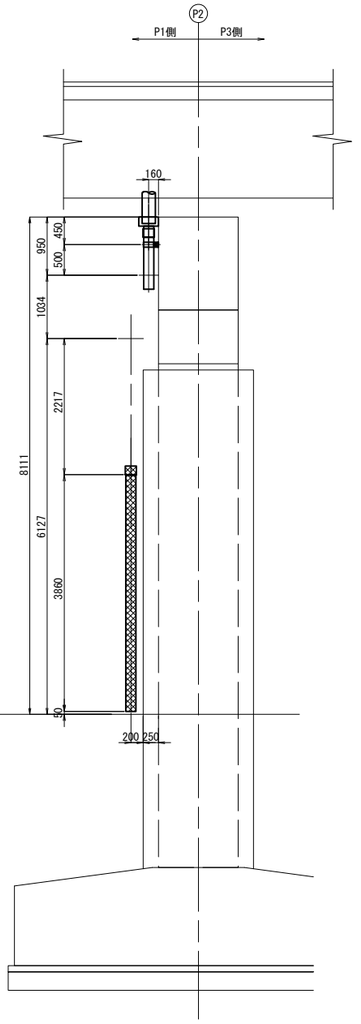
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

再利用図

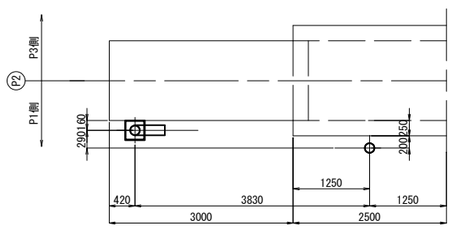
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行う。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その4)		
縮　尺	図　示	図面番号	68 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

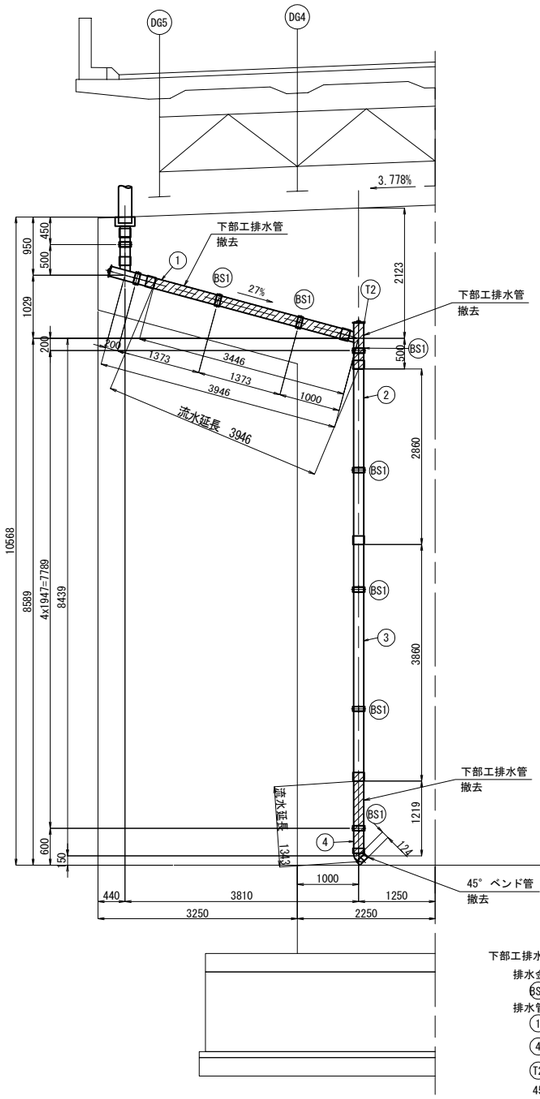
田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その5)

S=1:100

P3橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

正面図



下部工排水撤去数量：

排水金具：

BS1 7箇所

排水管：

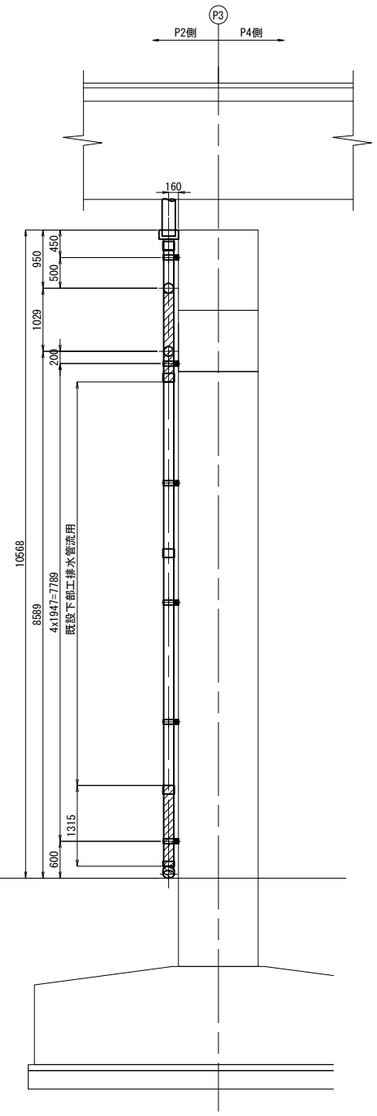
① 1-VP 150Ax3426

④ 1-VP 150Ax1315

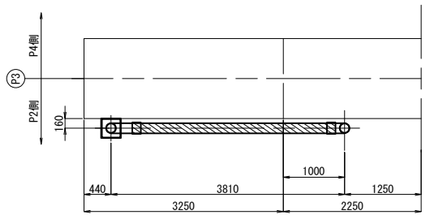
T2 1箇所

45° ベンド管 1箇所

側面図

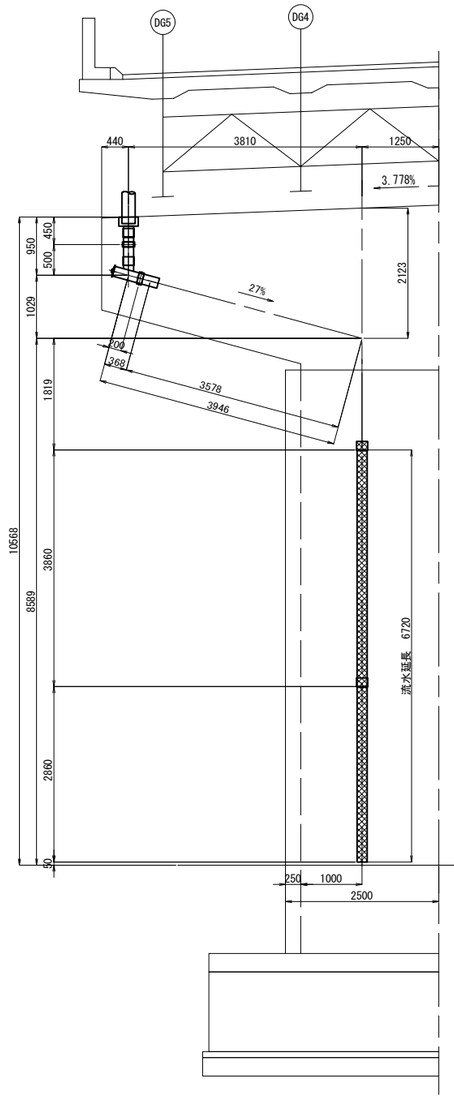


平面図

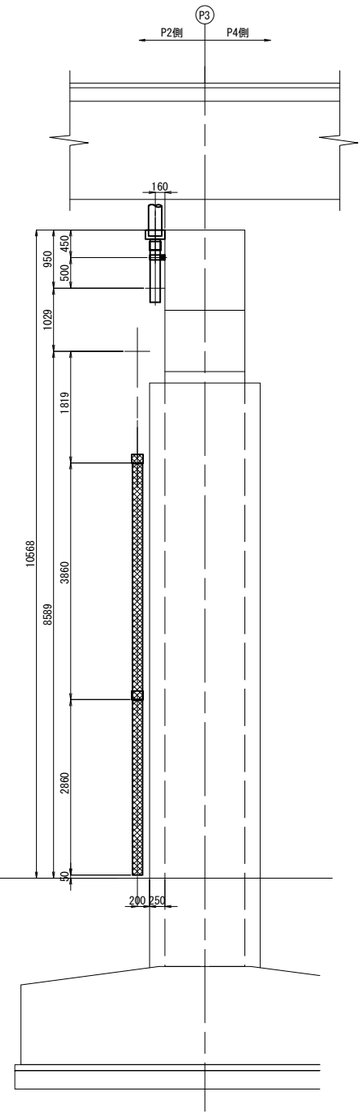


一時撤去(再利用)図

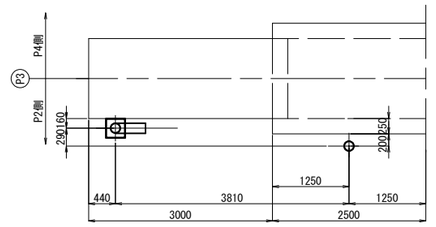
正面図



側面図



平面図



凡 例：

撤去範囲

流用範囲

新設範囲

C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行う。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その5)		
縮 尺	図 示	図面番号	69 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

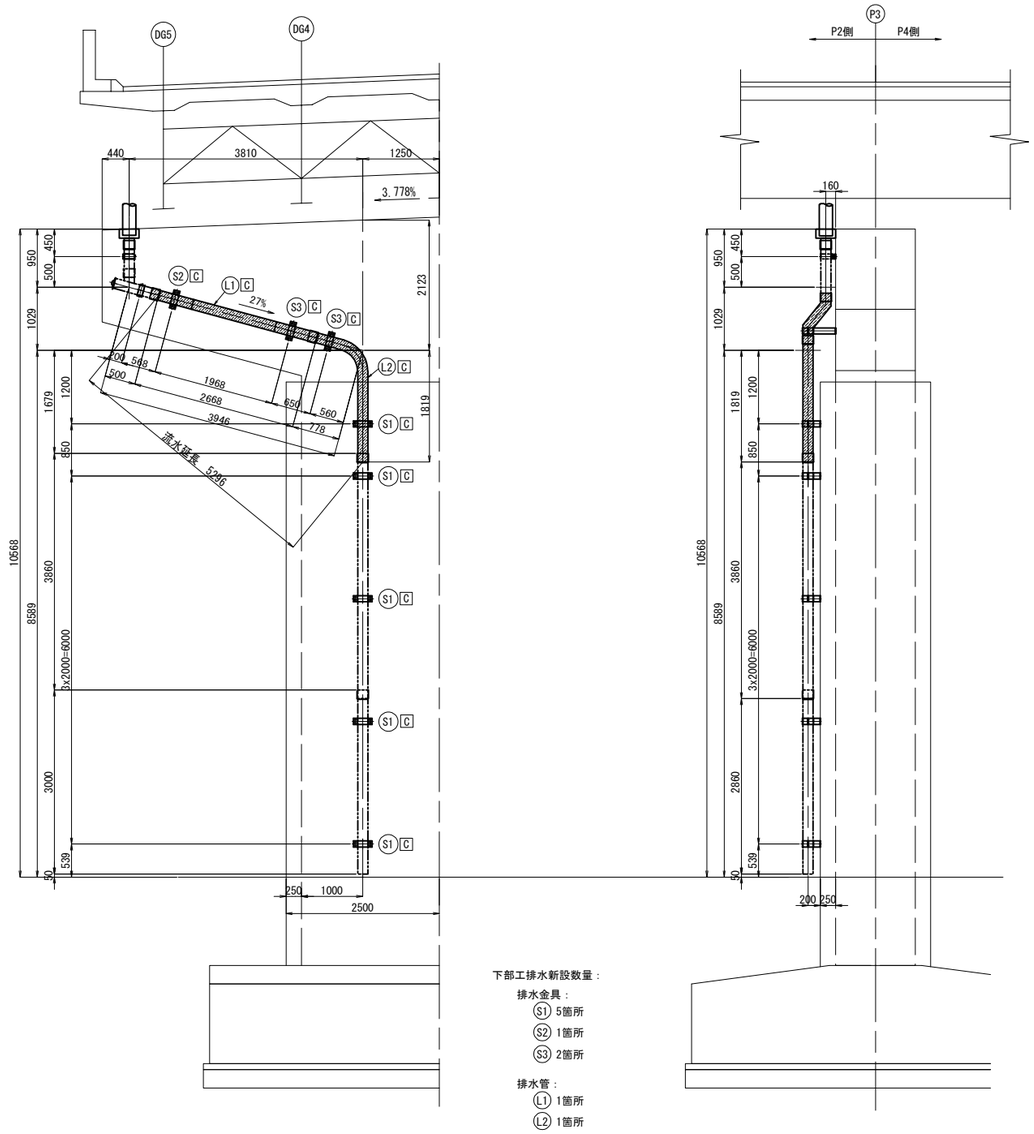
田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その6)

S=1:100

P3橋脚 排水装置 設置工

新設図

正面図



側面図

下部工排水新設数量：

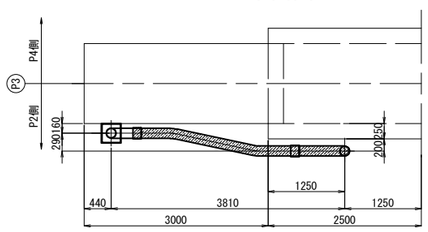
排水金具：

- S1 5箇所
- S2 1箇所
- S3 2箇所

排水管：

- L1 1箇所
- L2 1箇所

平面図

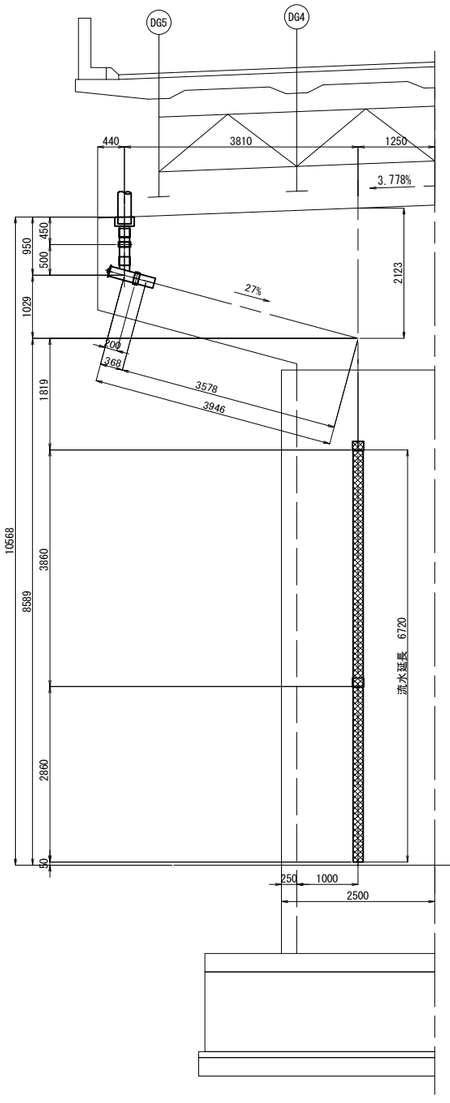


凡例：

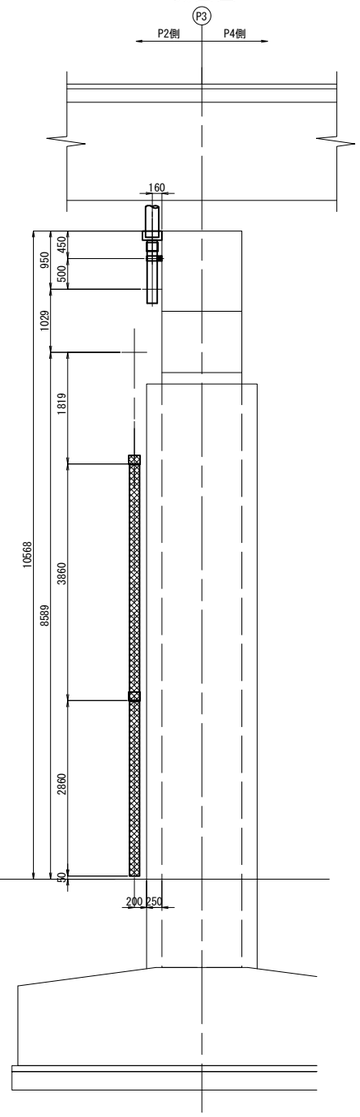
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C：全て新設部材

再利用図

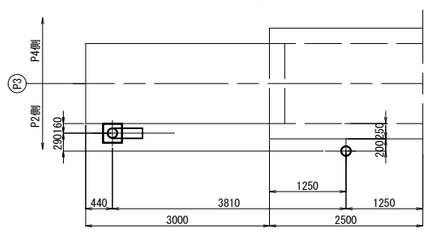
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行う。

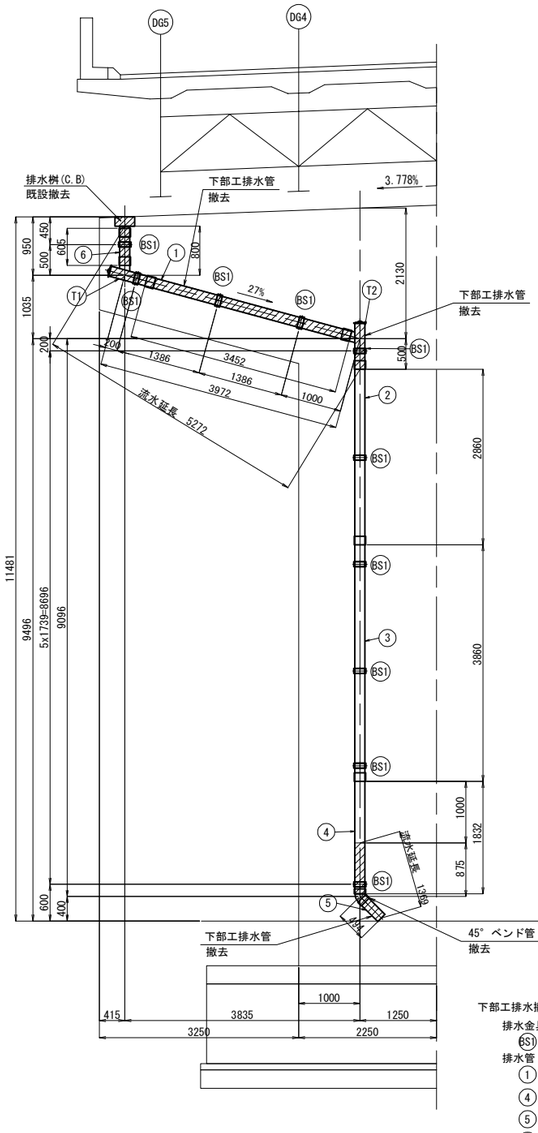
常盤自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その6)		
縮　尺	図　示	図面番号	70 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その7)　S=1:100

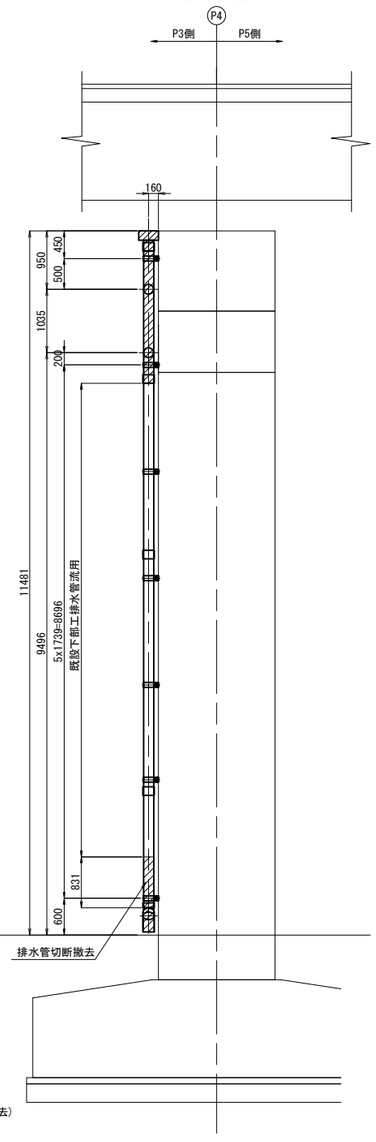
P4橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

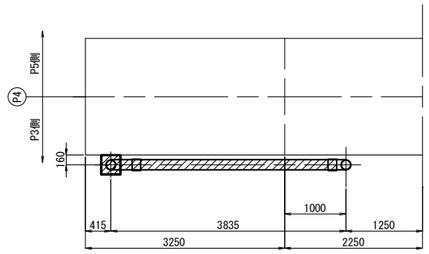
正面図



側面図



平面図



下部工排水撤去数量：

排水金具：

(BS) 10箇所

排水管：

(1) 1-VP 150Ax3452

(4) 1-VP 150Ax832(切断撤去)

(5) 1-VP 150Ax450

(6) 1-VP 150Ax605

(T1) 1箇所

(T2) 1箇所

45° ベンド管

排水桝(C.B)　1箇所

凡 例：

撤去範囲

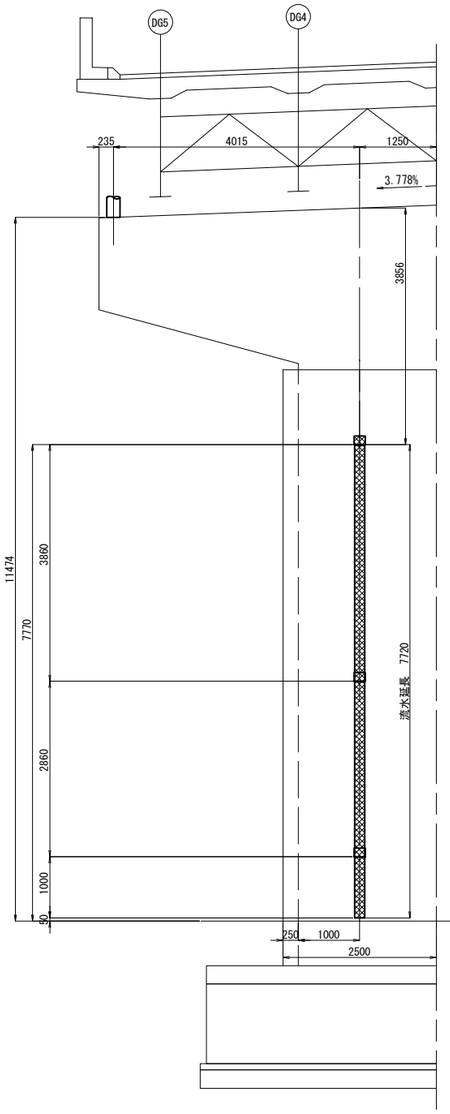
流用範囲

新設範囲

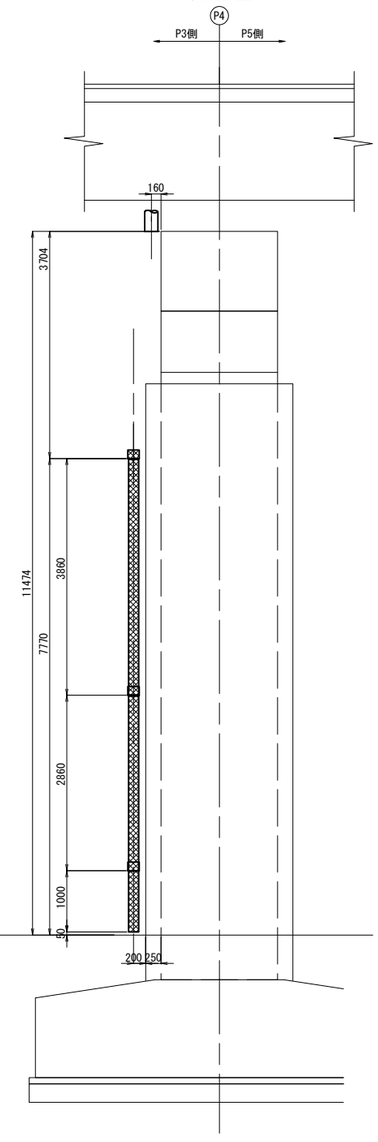
C ：全て新設部材

一時撤去(再利用)図

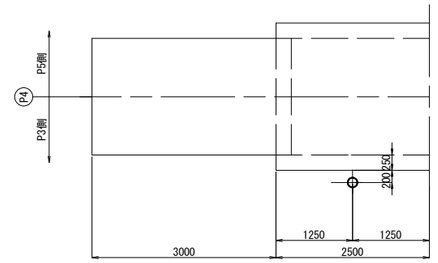
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

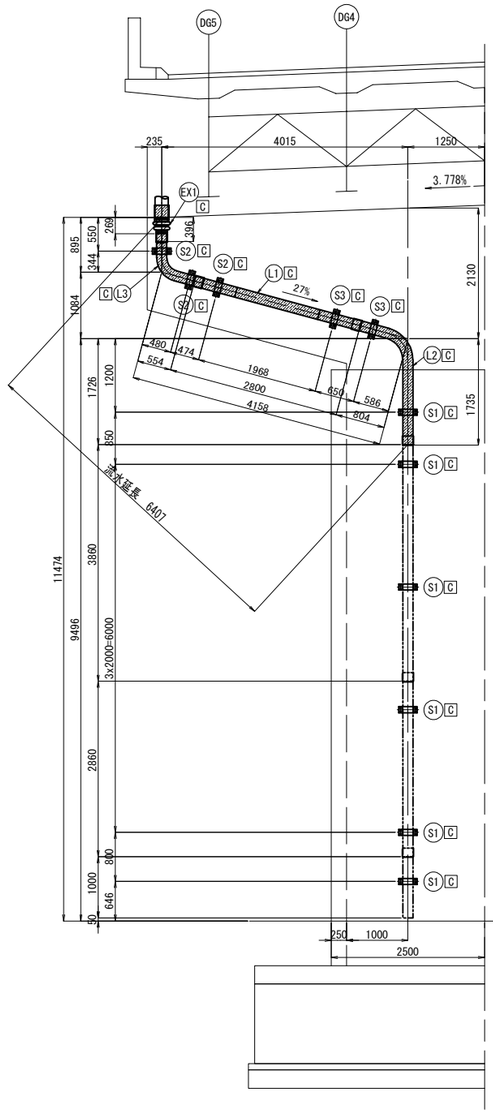
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その7)		
縮　尺	図　示	図面番号	71 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その8)　S=1:100

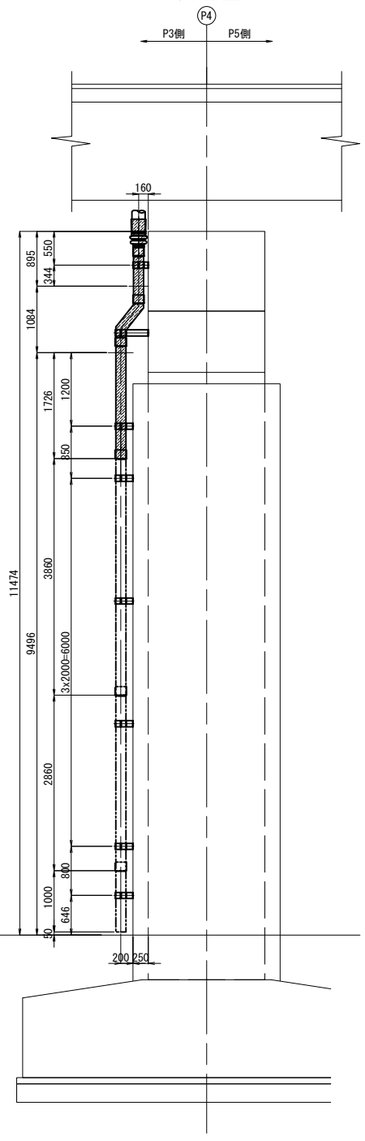
P4橋脚 排水装置 設置工

新設図

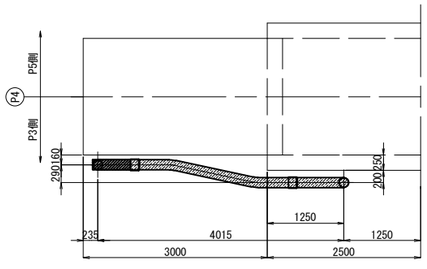
正面図



側面図



平面図



下部工排水新設数量：

排水金具：

- S1 6箇所
- S2 3箇所
- S3 2箇所

排水管：

- L1 1箇所
- L2 1箇所
- L3 1箇所

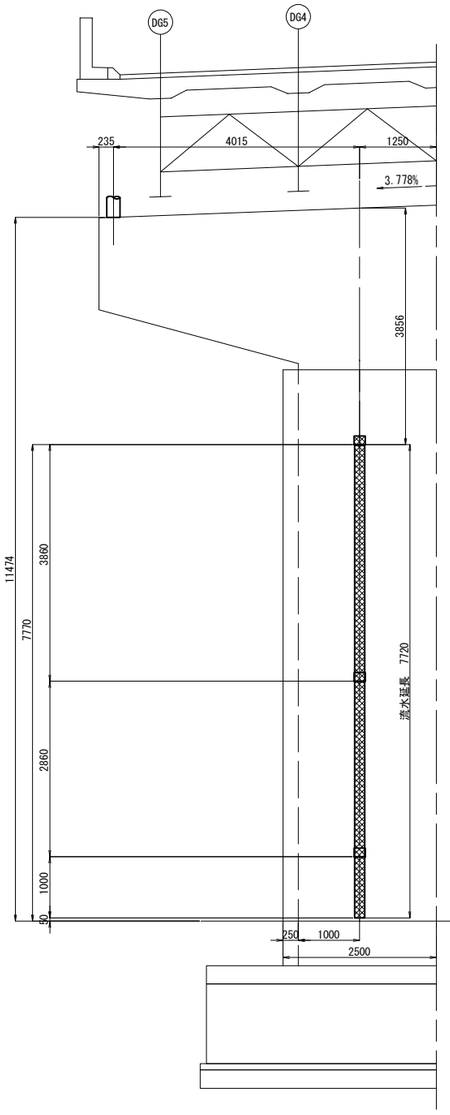
伸縮継手　EX1　1箇所

凡 例：

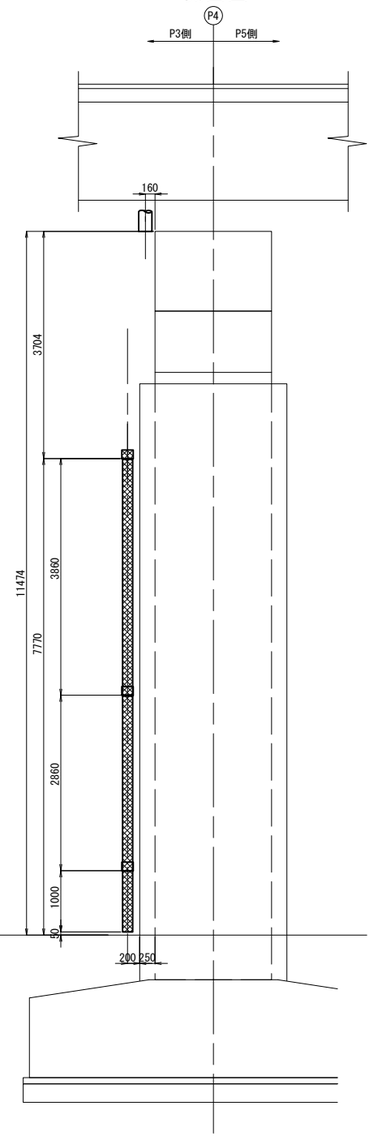
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

再利用図

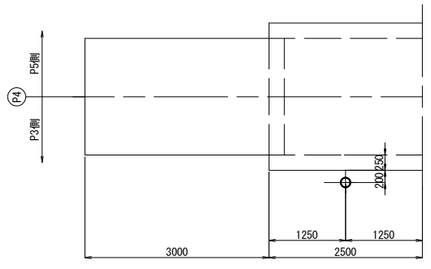
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その8)		
縮　尺	図　示	図面番号	72 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

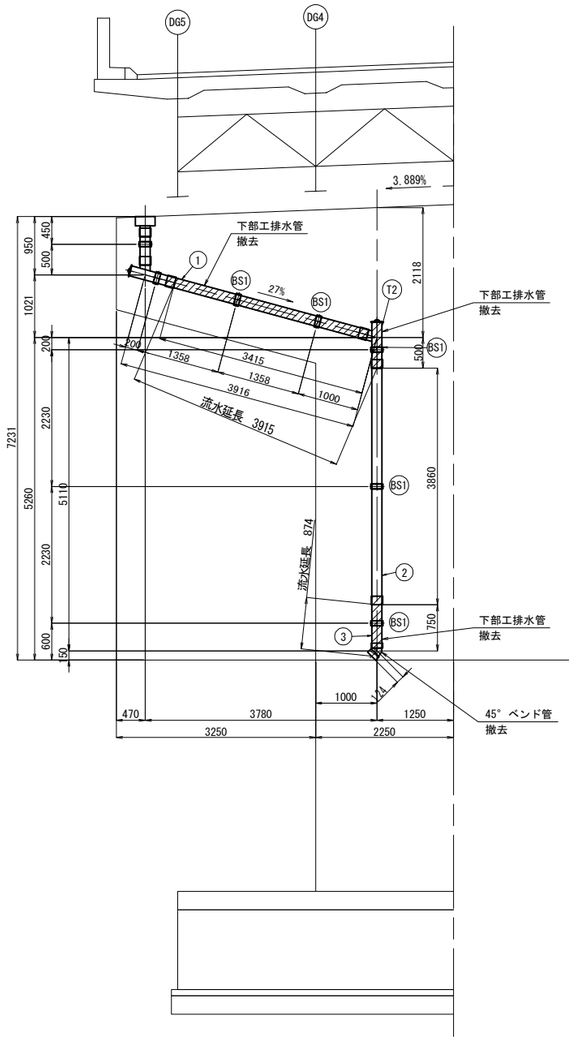
田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その9)

S=1:100

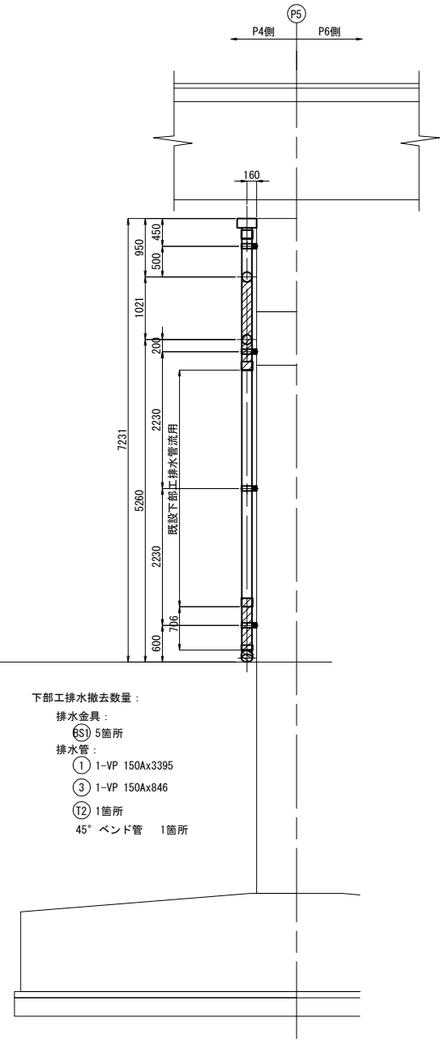
P5橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

正面図



側面図



下部工排水撤去数量：

排水金具：

(6S1) 5箇所

排水管：

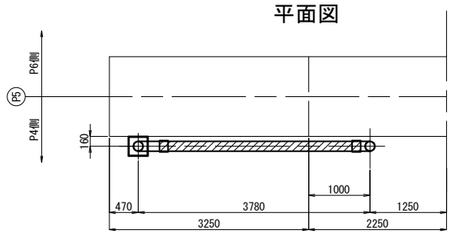
① 1-VP 150Ax3395

③ 1-VP 150Ax846

(T2) 1箇所

45° ベンド管 1箇所

平面図

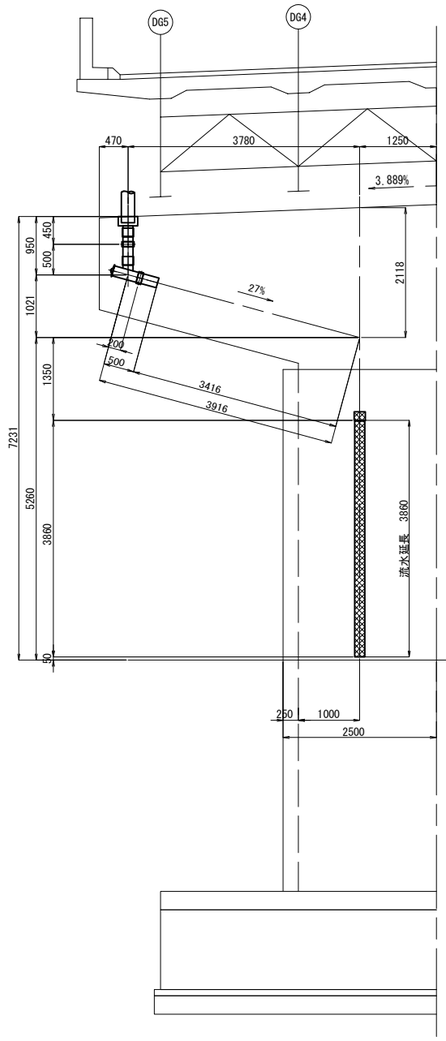


凡例：

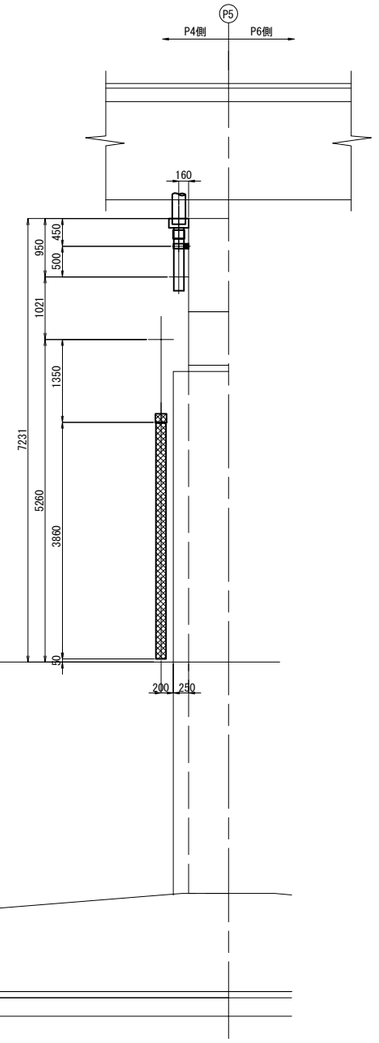
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

一時撤去(再利用)図

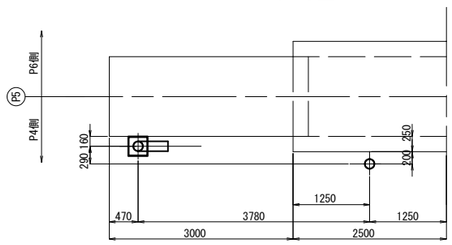
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その9)		
縮 尺	図 示	図面番号	73 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

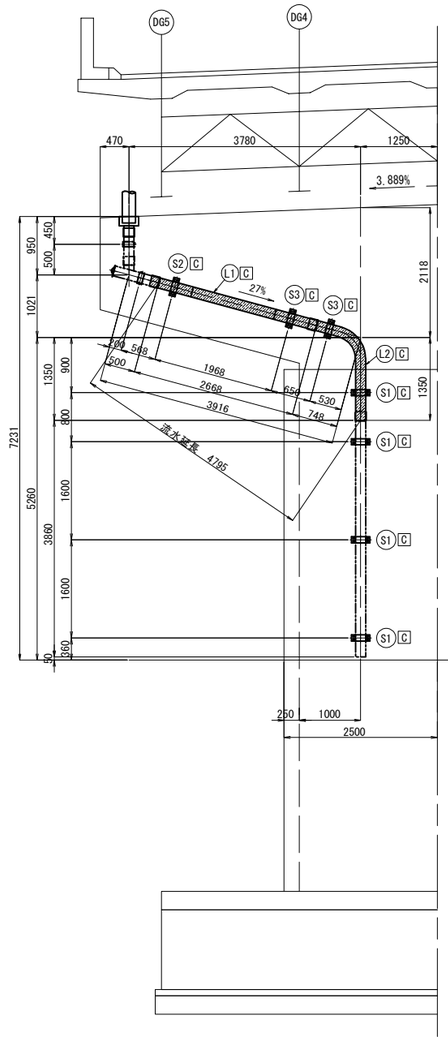
田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その10)

S=1:100

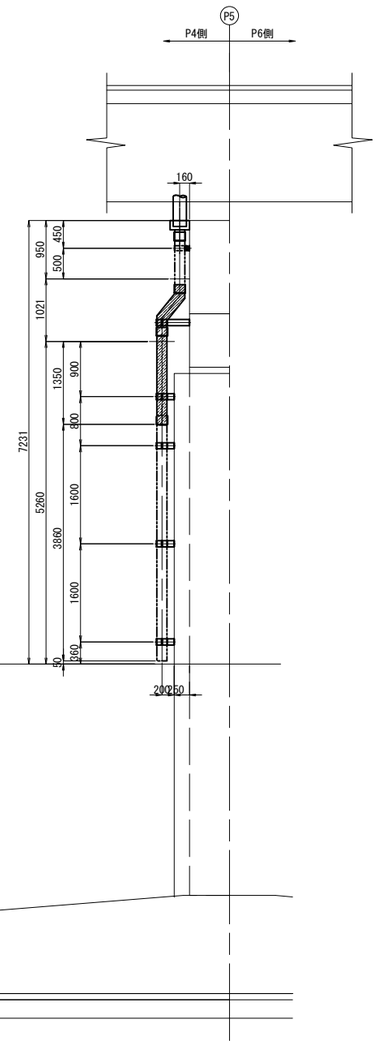
P5橋脚 排水装置 設置工

新設図

正面図



側面図



下部工排水新設数量：

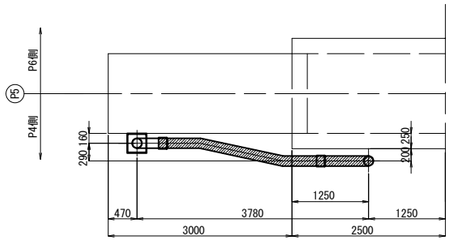
排水金具：

- (S1) 4箇所
- (S2) 1箇所
- (S3) 2箇所

排水管：

- (L1) 1箇所
- (L2) 1箇所

平面図

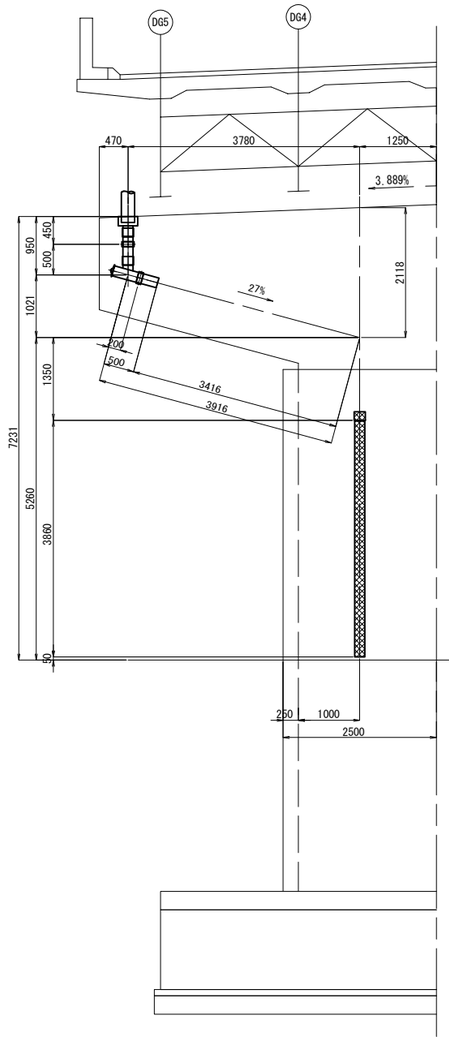


凡 例：

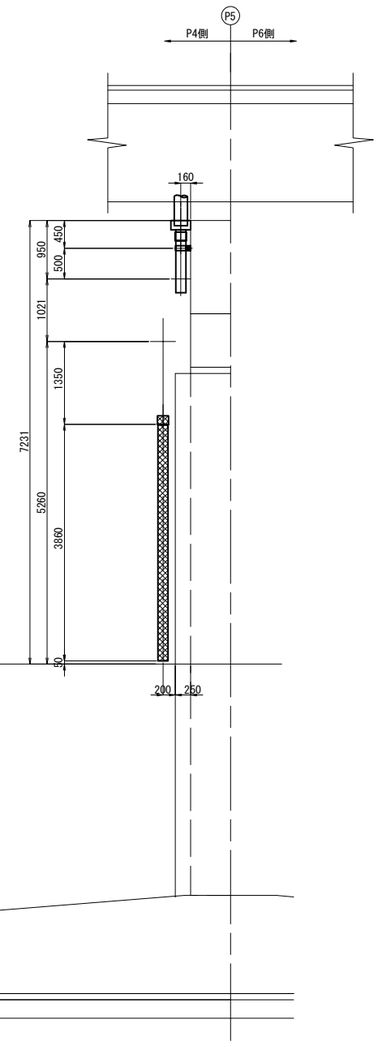
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

再利用図

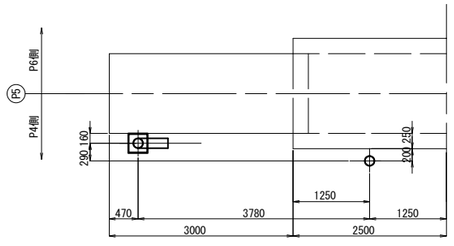
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その10)		
縮　尺	図　示	図面番号	74 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

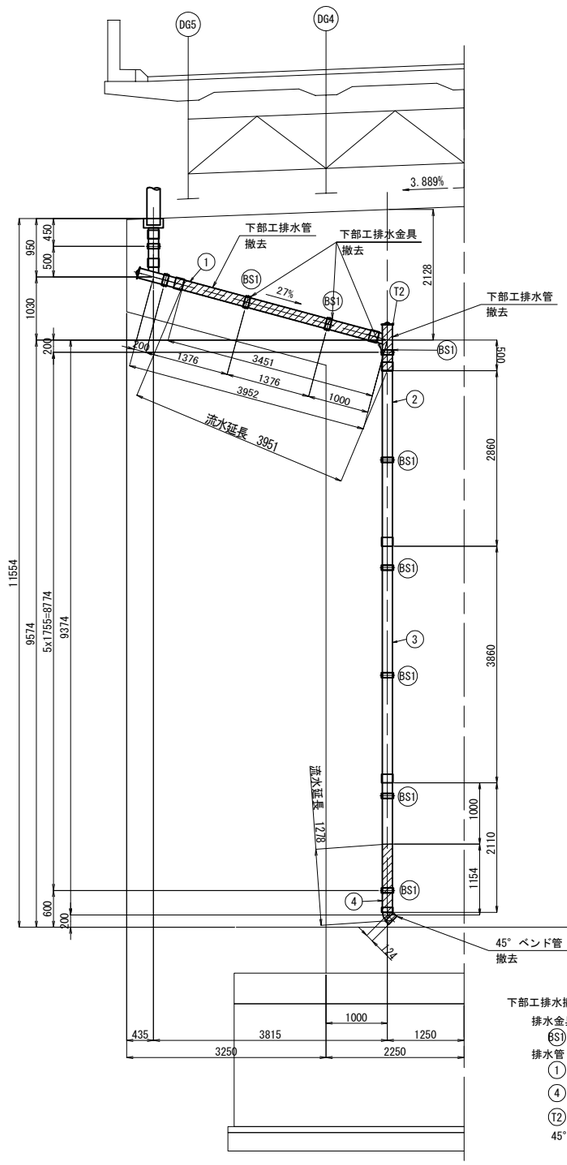
田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その11)

S=1:100

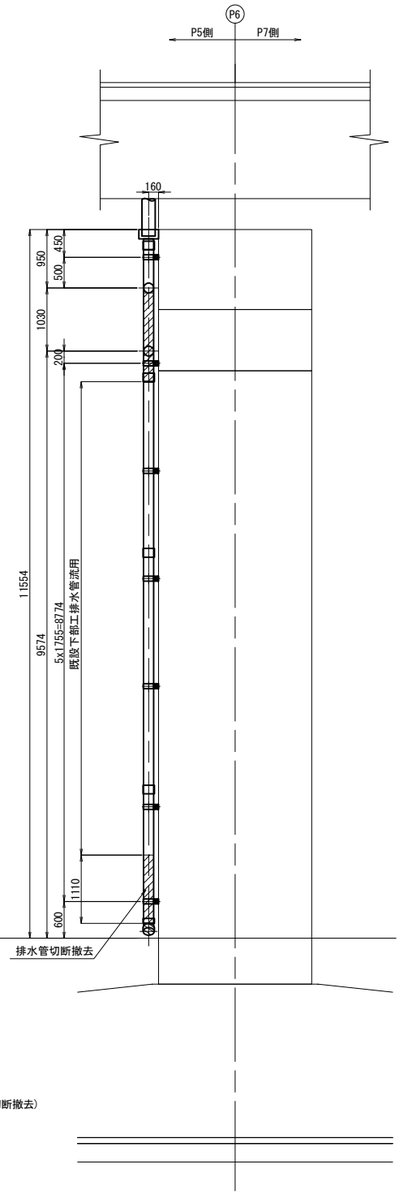
P6橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

正面図



側面図



下部工排水撤去数量：

排水金具：

(BS1) 8箇所

排水管：

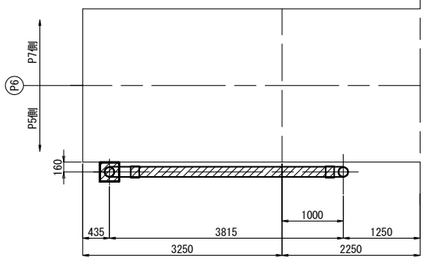
(1) 1-VP 150Ax3432

(4) 1-VP 150Ax1110(切断撤去)

(T2) 1箇所

45° ベンド管 1箇所

平面図



凡 例：

撤去範囲

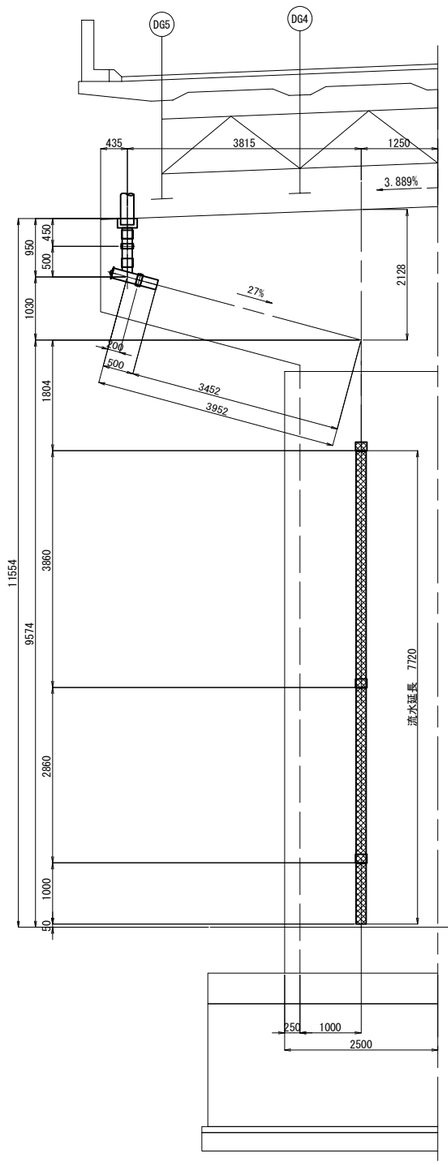
流用範囲

新設範囲

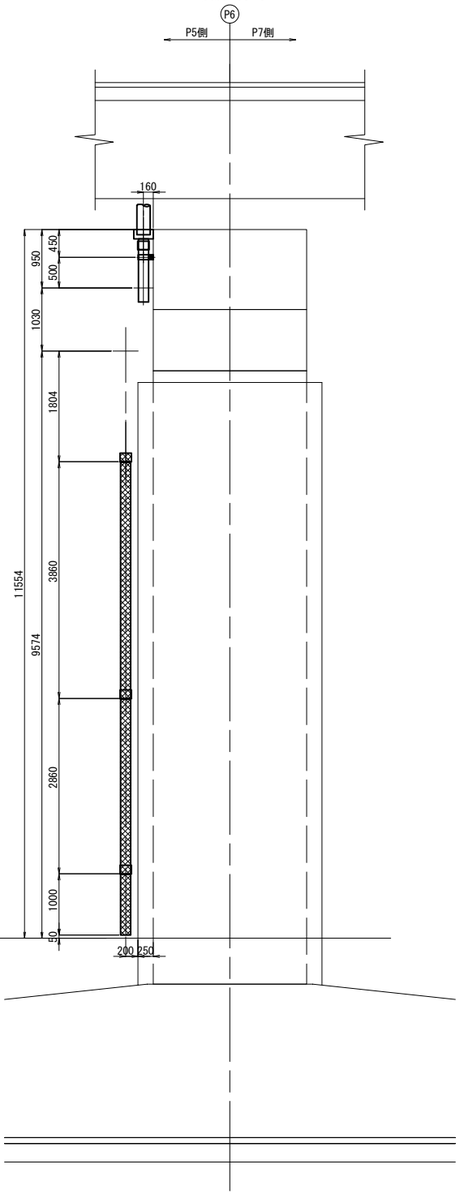
C ：全て新設部材

一時撤去(再利用)図

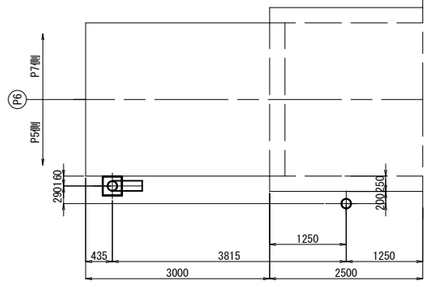
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その11)		
縮 尺	図 示	図面番号	75 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

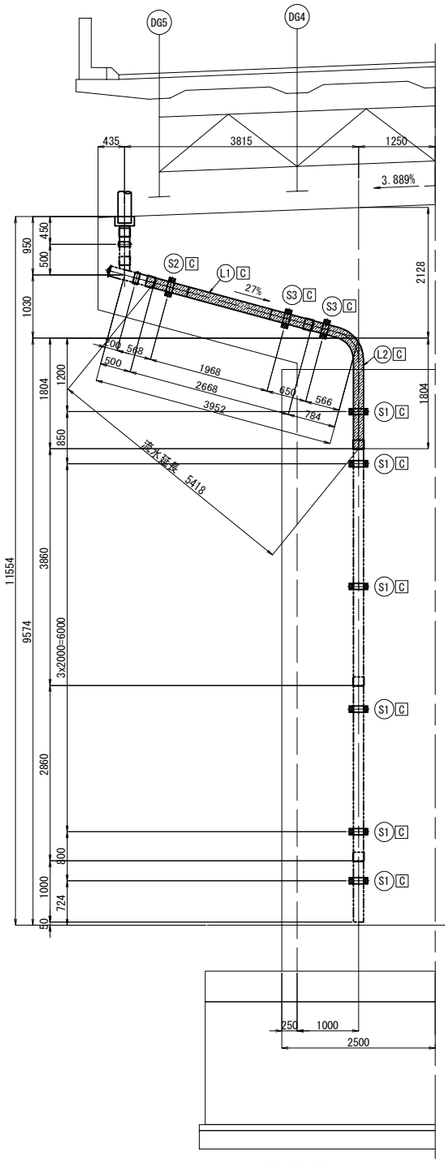
田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その12)

S=1:100

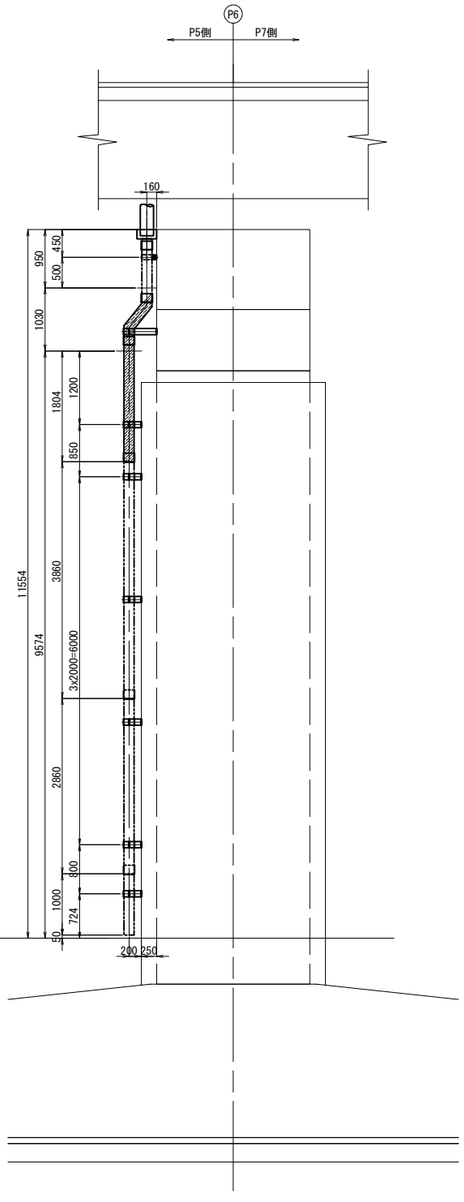
P6橋脚 排水装置 設置工

新設図

正面図



側面図



下部工排水新設数量：

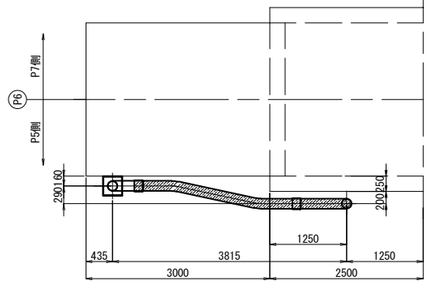
排水金具：

- S1 6箇所
- S2 1箇所
- S3 2箇所

排水管：

- L1 1箇所
- L2 1箇所

平面図

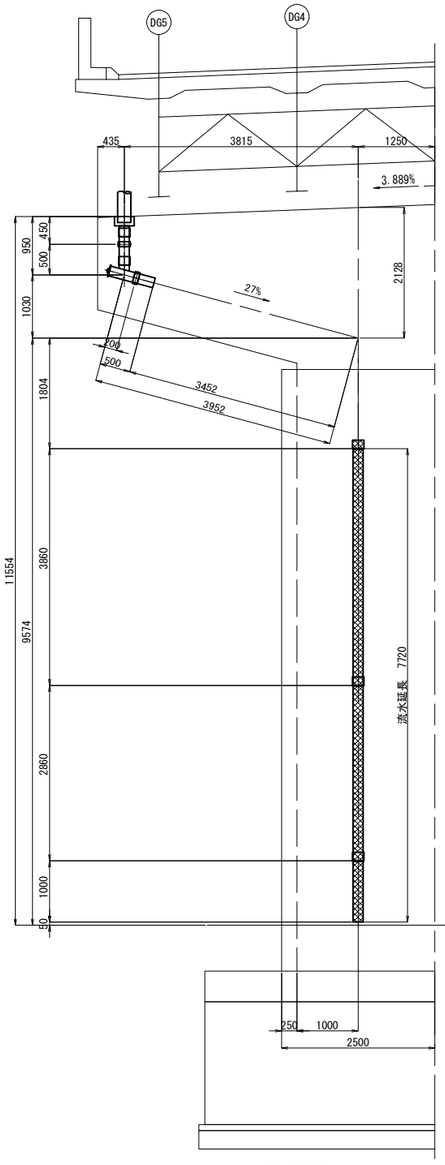


凡 例：

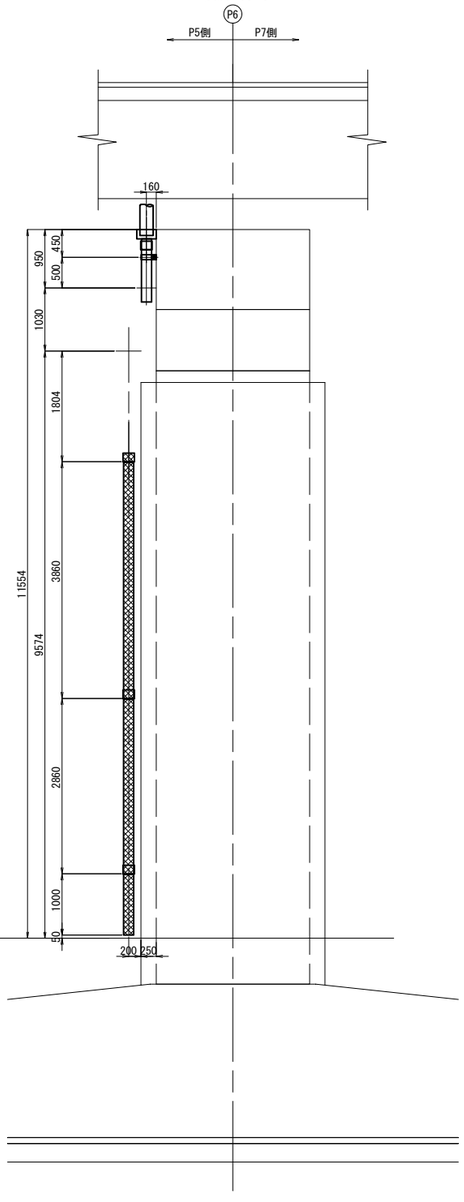
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

再利用図

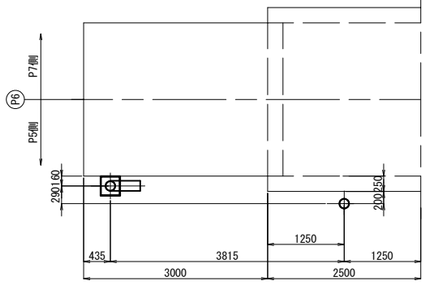
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

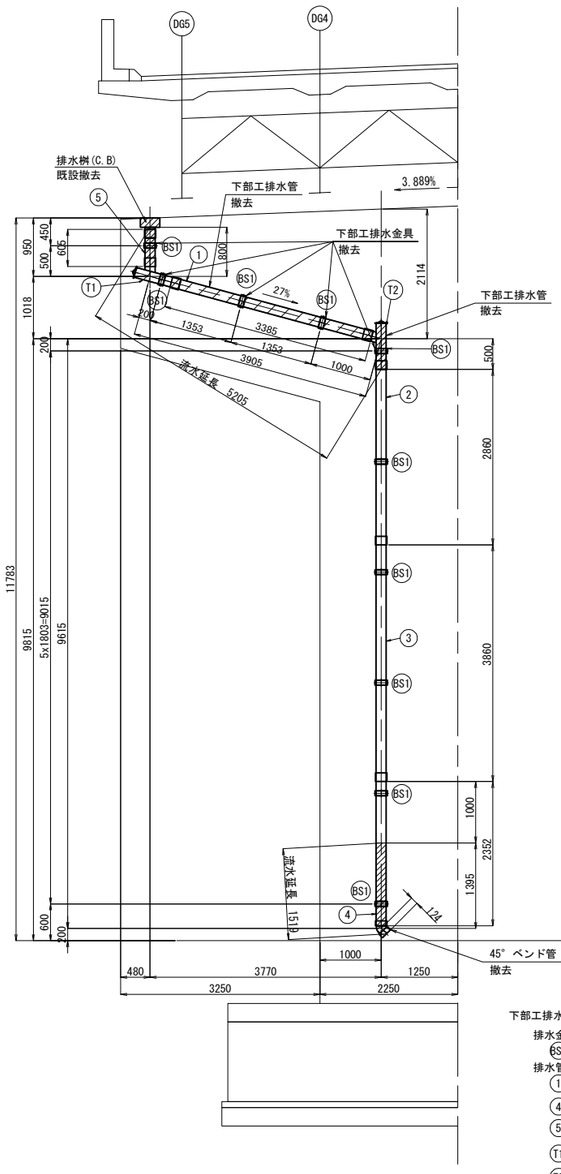
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その12)		
縮 尺	図 示	図面番号	76 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その13) S=1:100

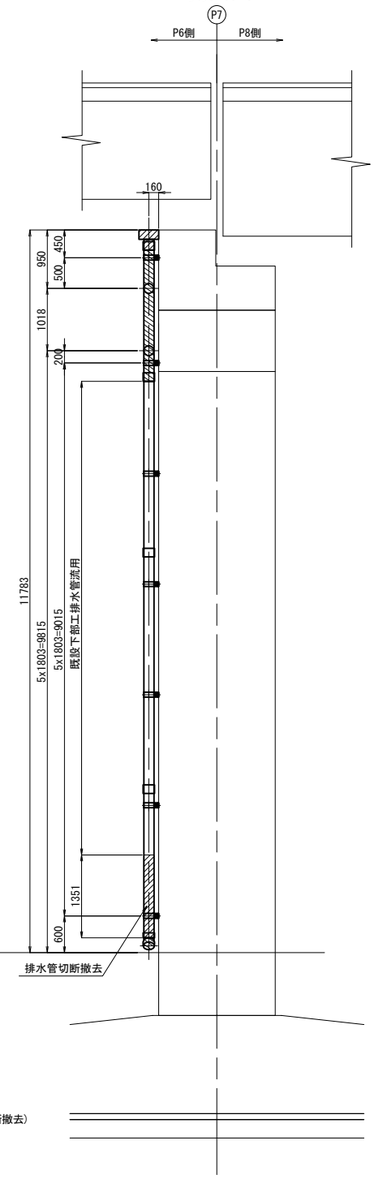
P7橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

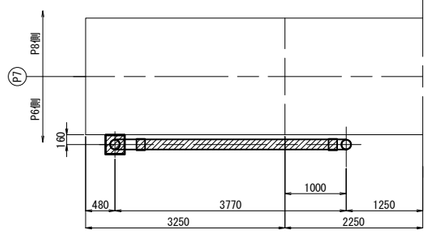
正面図



側面図



平面図



下部工排水撤去数量：

排水金具：

BS1 10箇所

排水管：

1 1-VP 150Ax3385

4 1-VP 150Ax1351(切断撤去)

5 1-VP 150Ax605

T1 1箇所

T2 1箇所

45° ベンド管

排水桝(C.B) 1箇所

凡 例：

撤去範囲

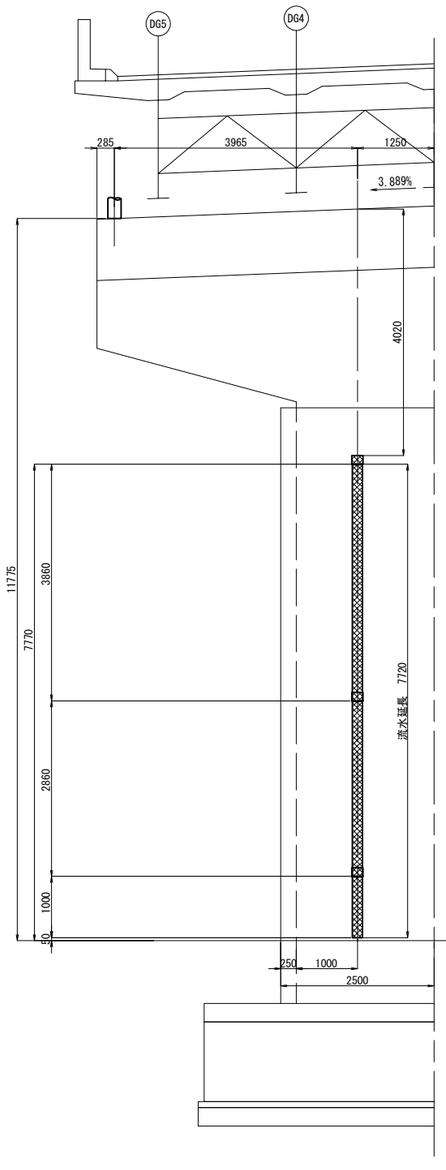
流用範囲

新設範囲

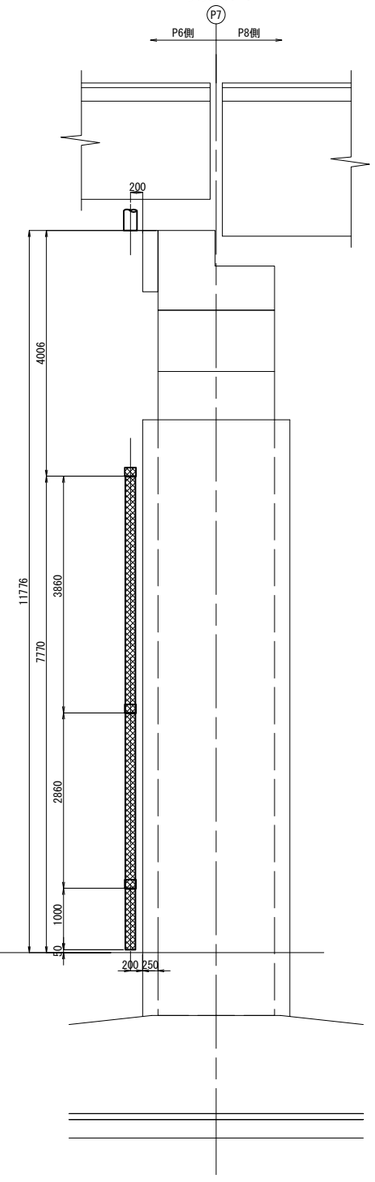
C ：全て新設部材

一時撤去(再利用)図

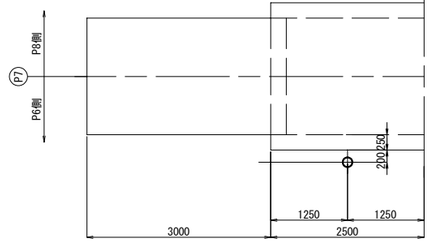
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

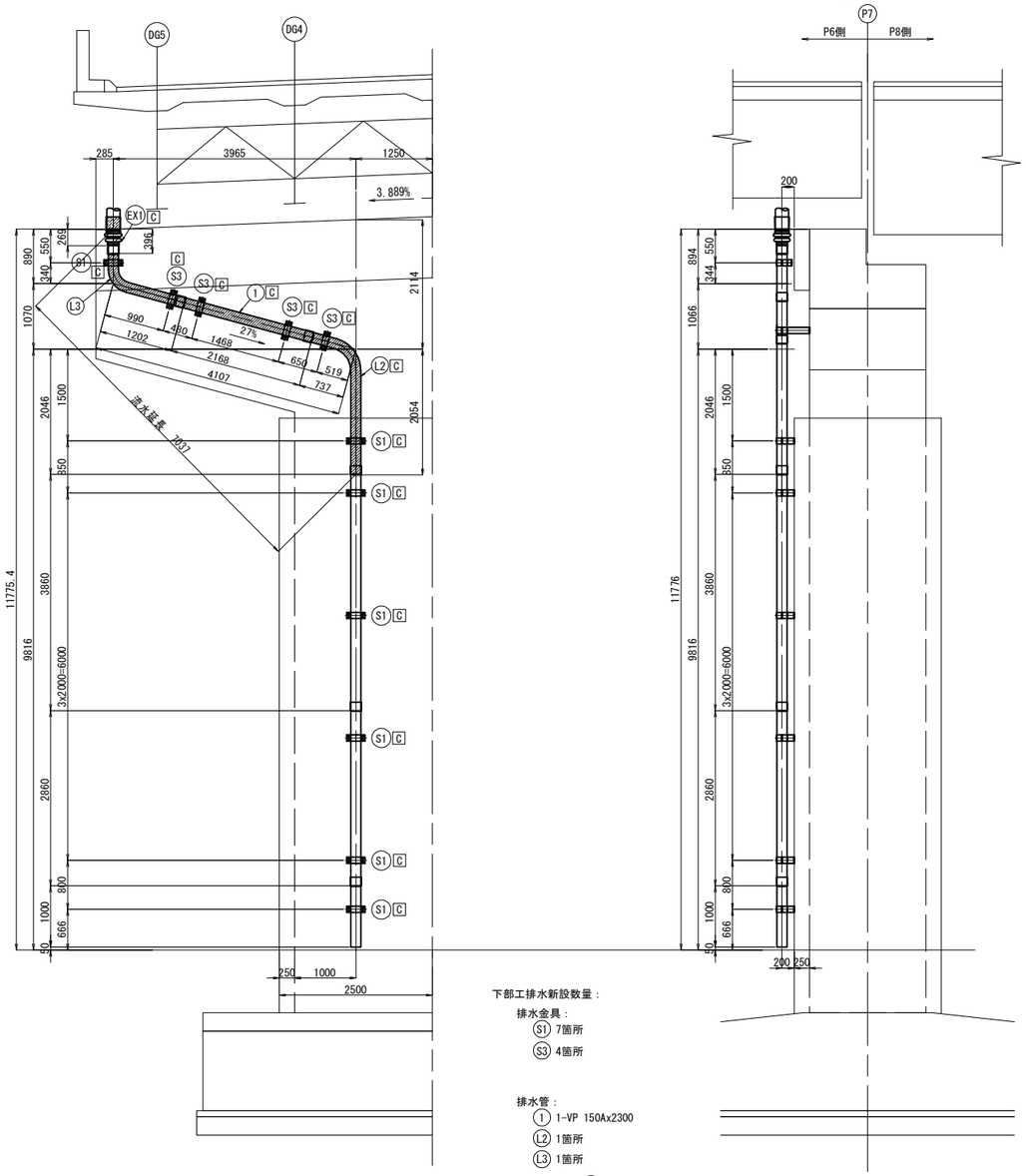
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その13)		
縮 尺	図 示	図面番号	77 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その14) S=1:100

P7橋脚 排水装置 設置工

新設図

正面図



側面図

下部工排水新設数量：

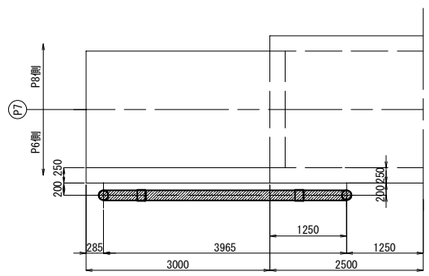
排水金具：

- S1 7箇所
- S3 4箇所

排水管：

- 1 1-VP 150Ax2300
- L2 1箇所
- L3 1箇所

伸縮継手 EX1 1箇所

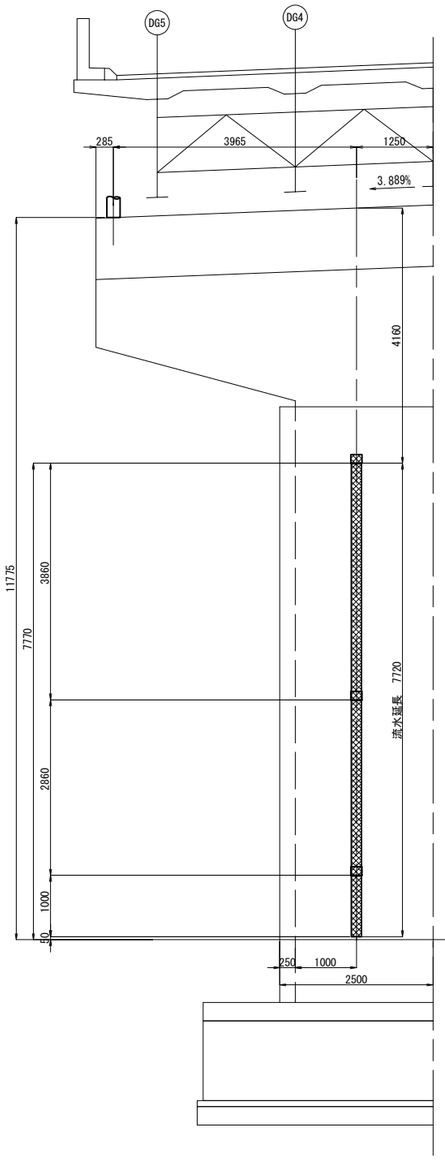


凡例：

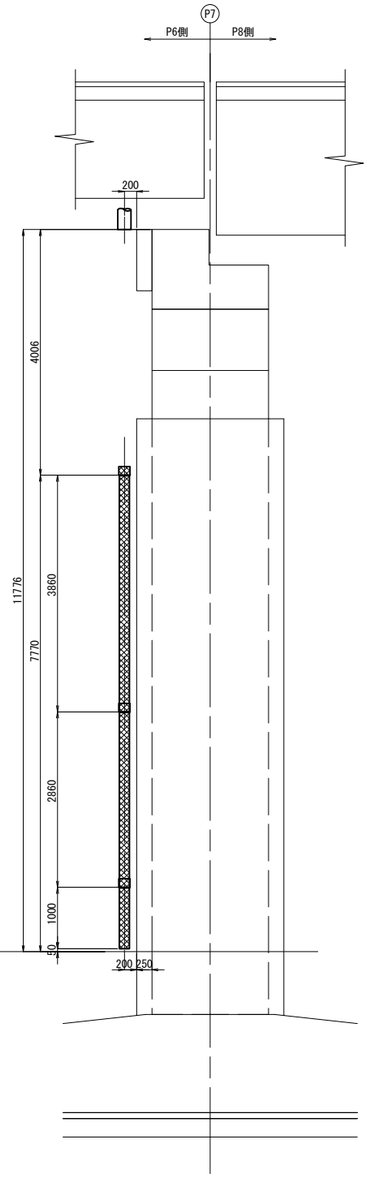
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

再利用図

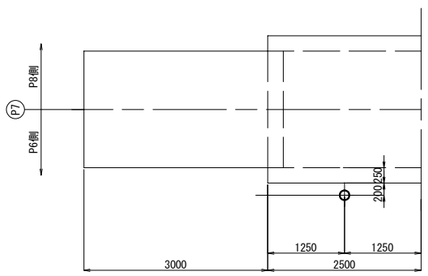
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その14)		
縮　尺	図　示	図面番号	78 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

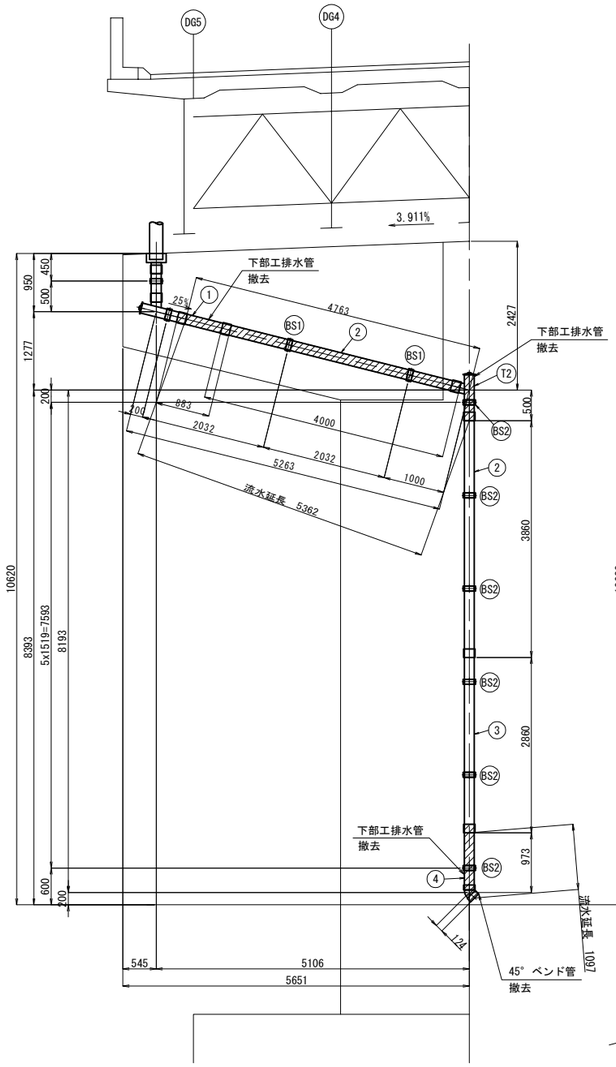
田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その15)

S=1:100

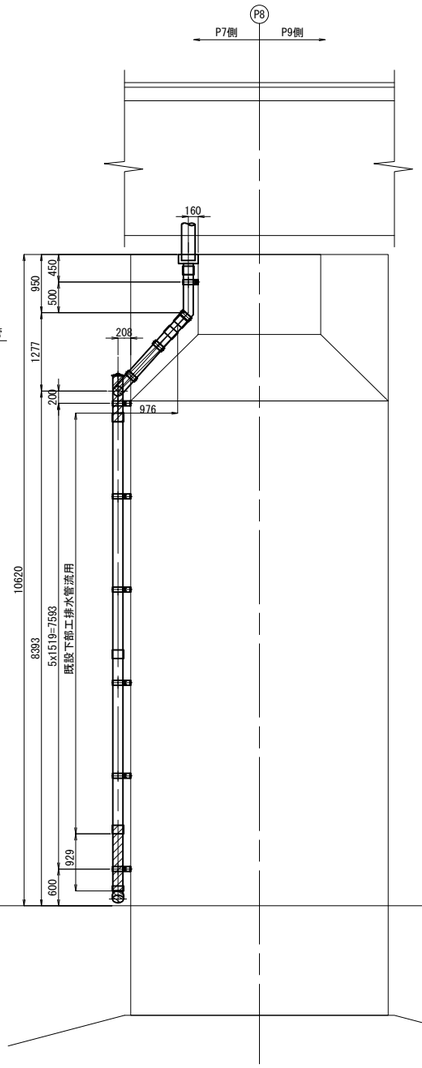
P8橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

正面図

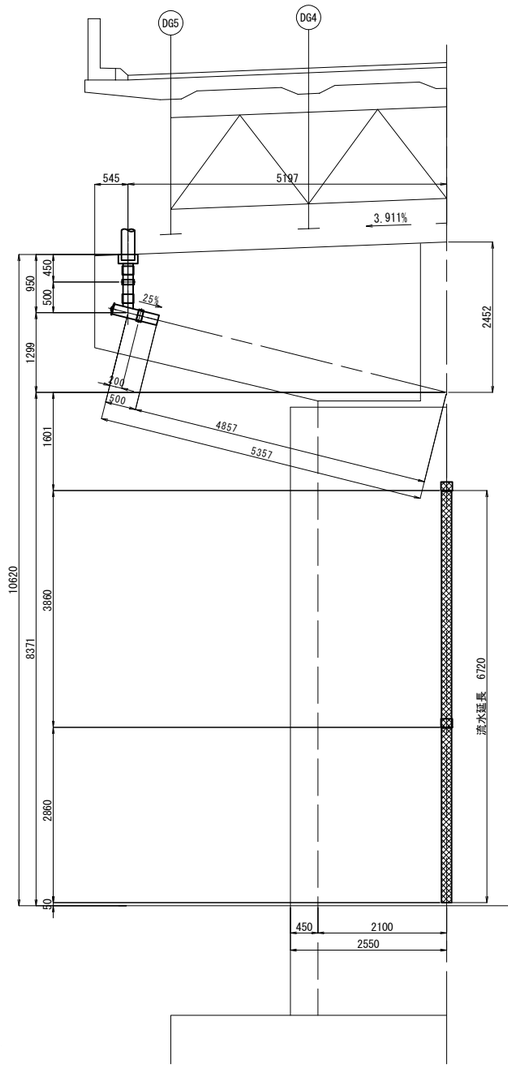


側面図

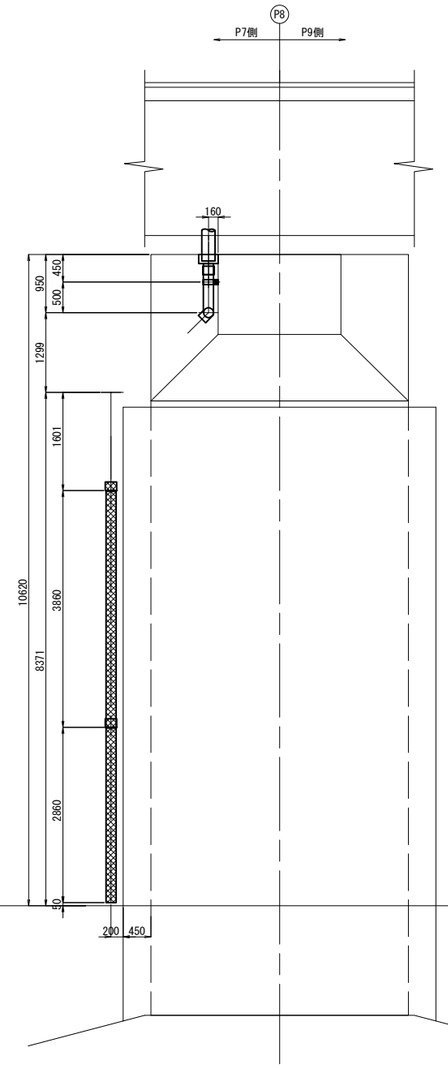


一時撤去(再利用)図

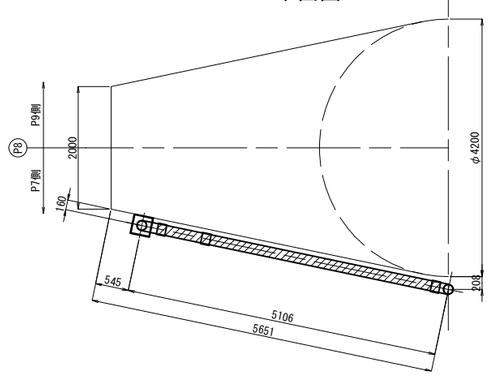
正面図



側面図



平面図



下部工排水撤去数量：

排水金具：

- BS1 2箇所
- BS2 6箇所

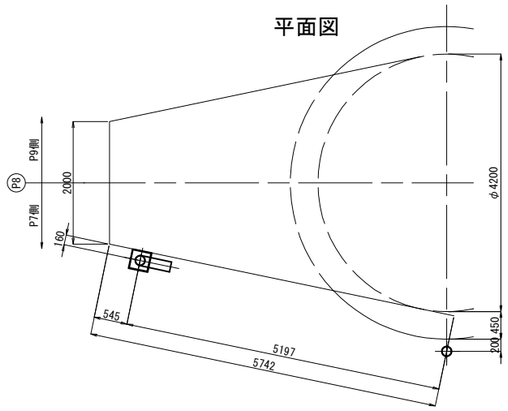
排水管：

- ① 1-VP 150Ax883
- ② 1-VP 150Ax4000
- ④ 1-VP 150Ax1069
- T2 1箇所
- 45° ベンド管 1箇所

凡 例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その15)		
縮 尺	図 示	図面番号	79 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

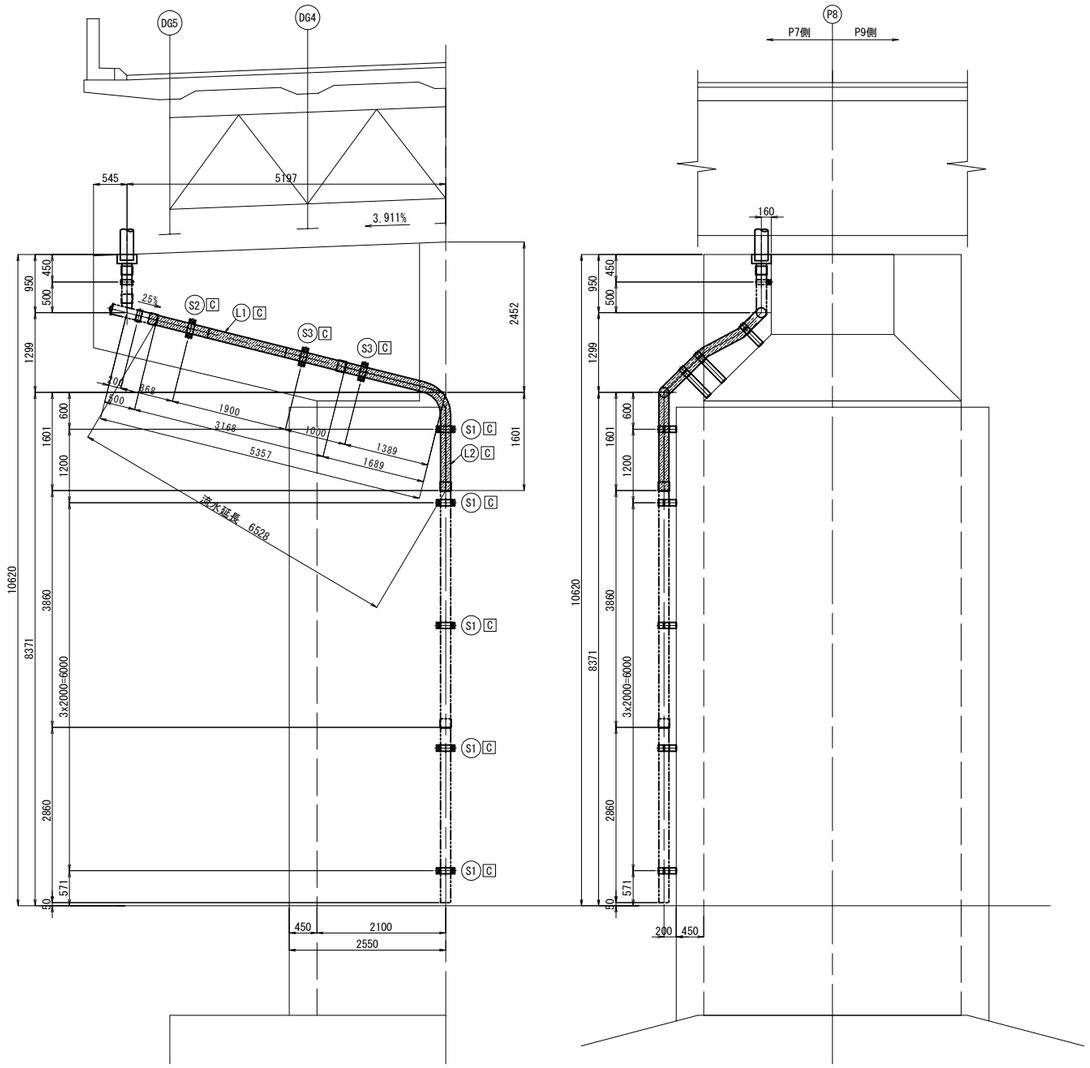
田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その16)

S=1:100

P8橋脚 排水装置 設置工

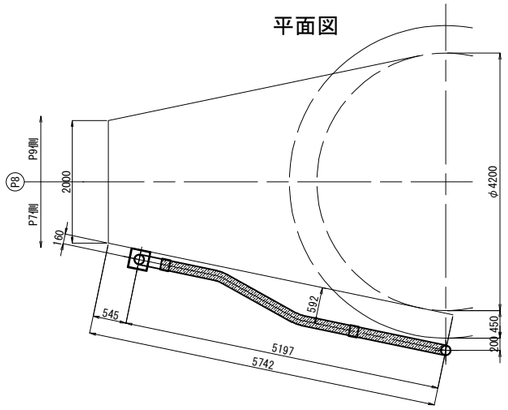
新設図

正面図



側面図

平面図



下部工排水新設数量：

排水金具：

- S1 5箇所
- S2 1箇所
- S3 2箇所

排水管：

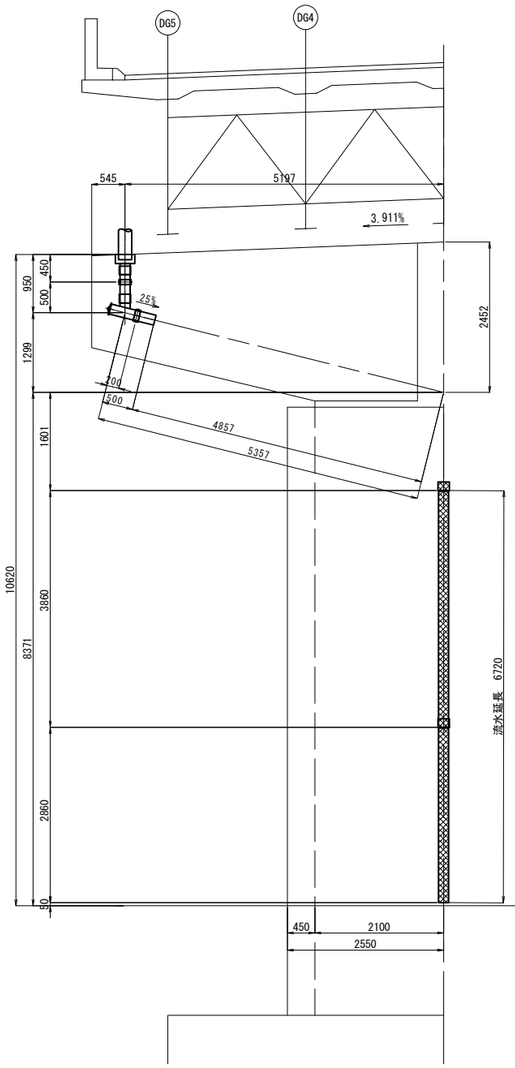
- L1 1箇所
- L2 1箇所

凡 例：

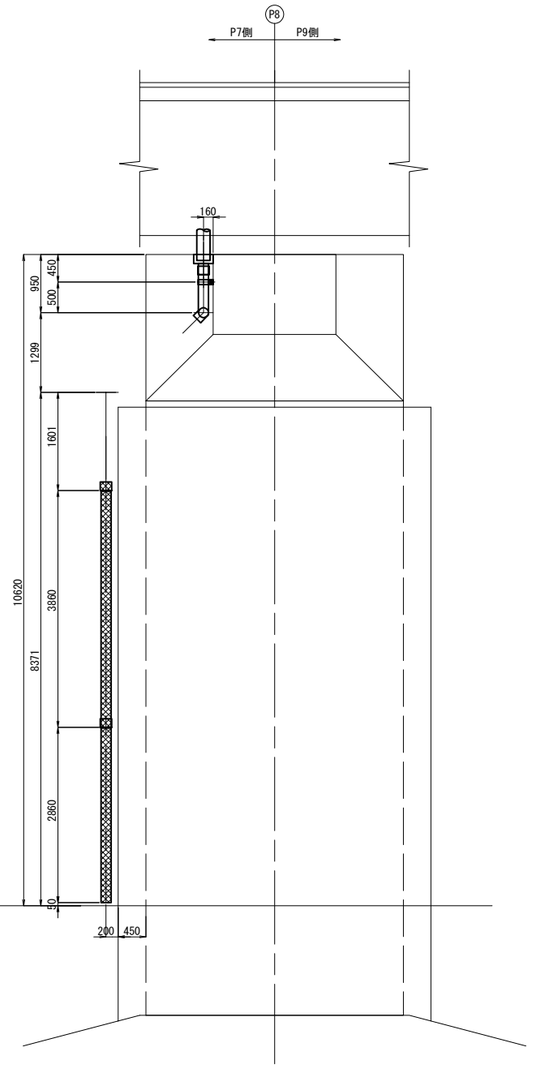
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

再利用図

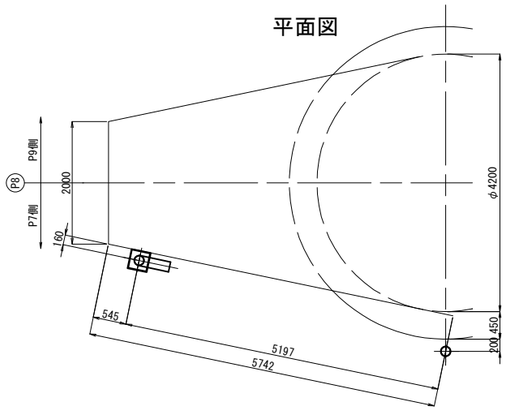
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その16)		
縮　尺	図　示	図面番号	80 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

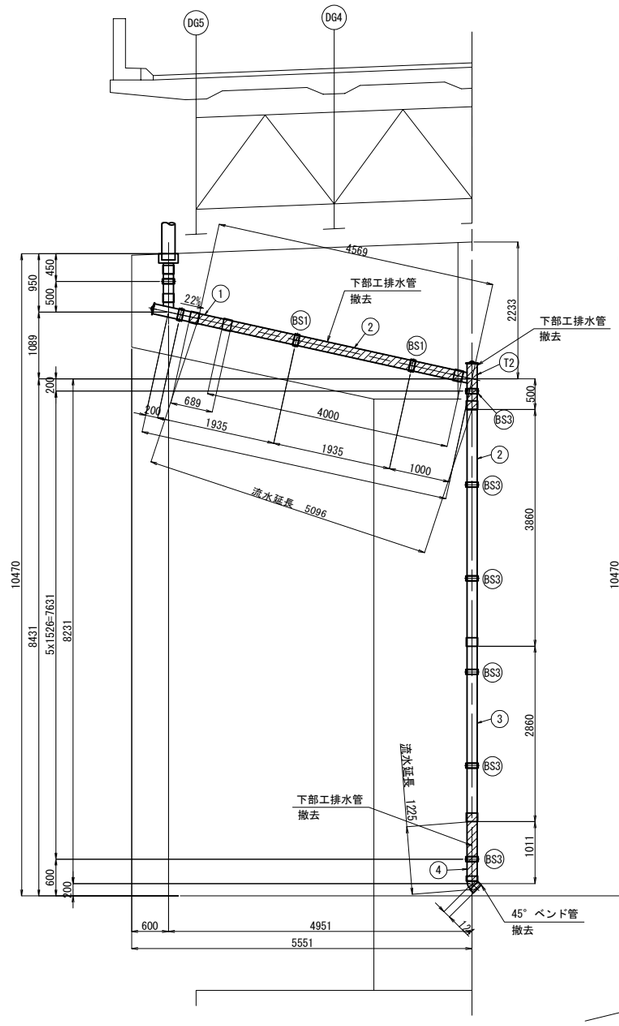
田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その17)

S=1:100

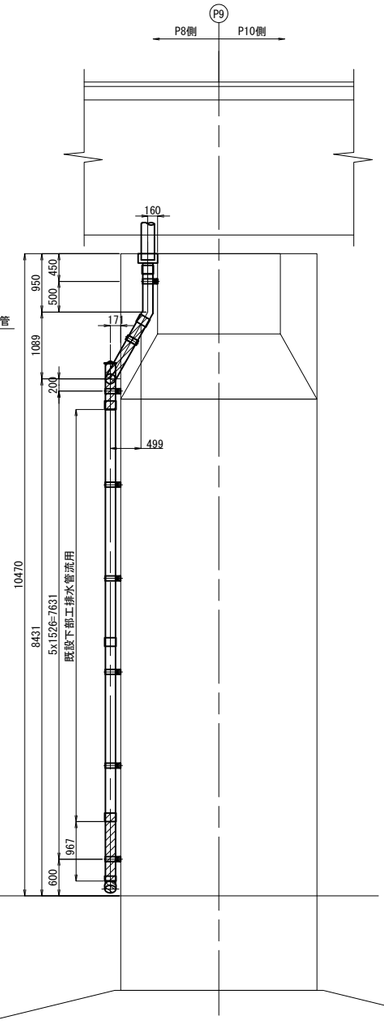
P9橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

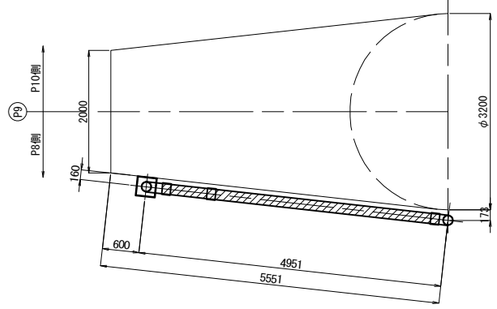
正面図



側面図



平面図



下部工排水撤去数量：

排水金具：

- BS1 2箇所
- BS3 6箇所

排水管：

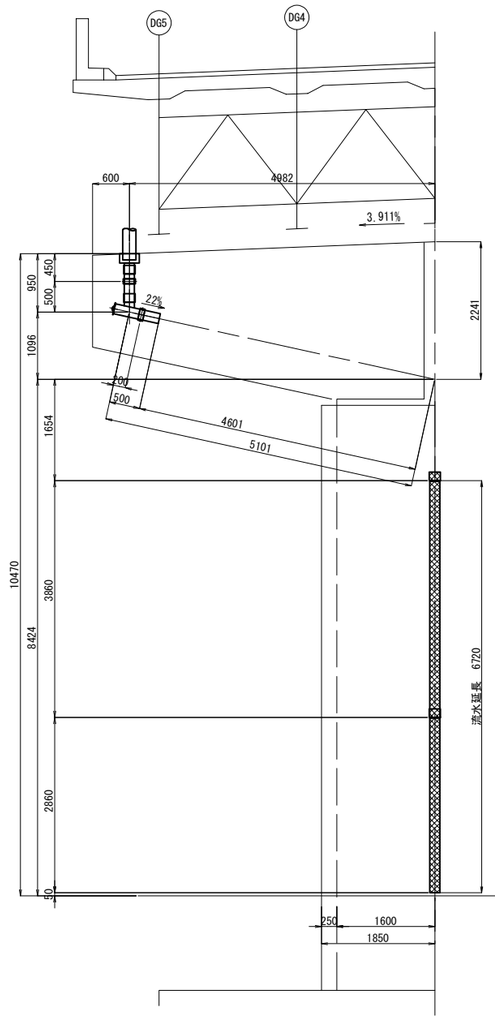
- ① 1-VP 150Ax689
- ② 1-VP 150Ax4000
- ④ 1-VP 150Ax1107
- T2 1箇所
- 45° ベンド管 1箇所

凡 例：

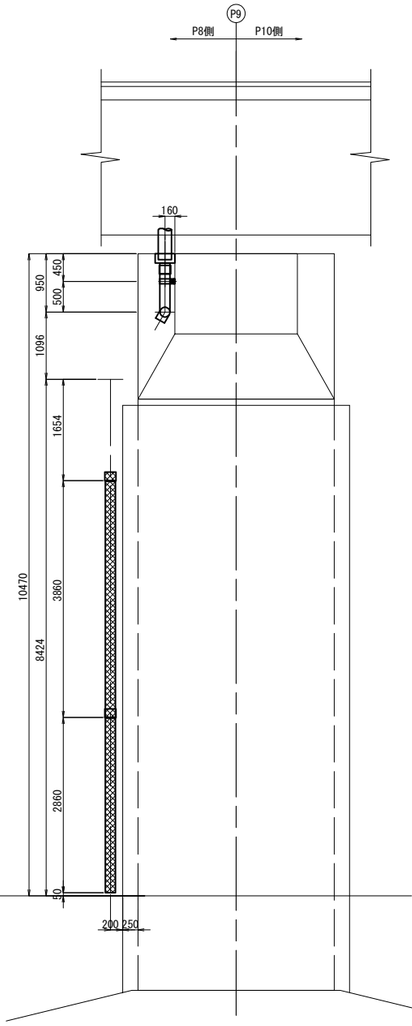
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

一時撤去(再利用)図

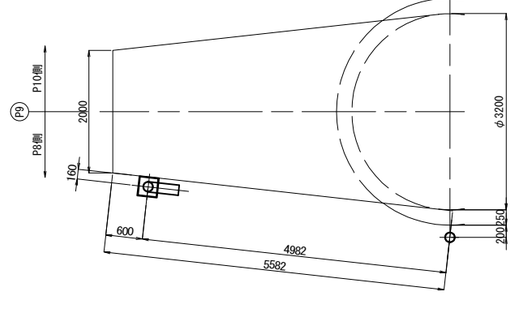
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その17)		
縮 尺	図 示	図面番号	81 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

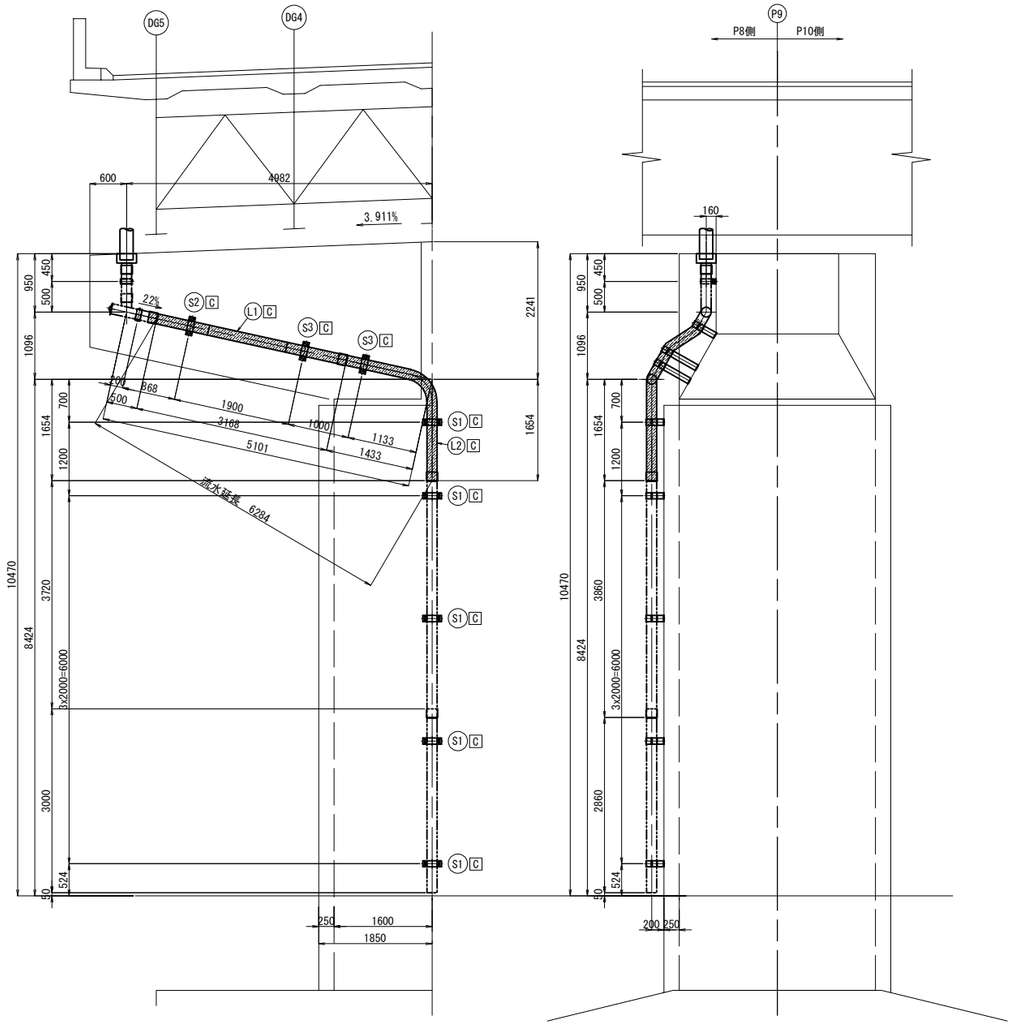
田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その18)

S=1:100

P9橋脚 排水装置 設置工

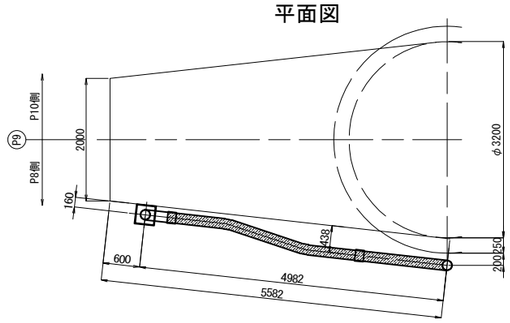
新設図

正面図



側面図

平面図



下部工排水新設数量：

排水金具：

- S1 5箇所
- S2 1箇所
- S3 2箇所

排水管：

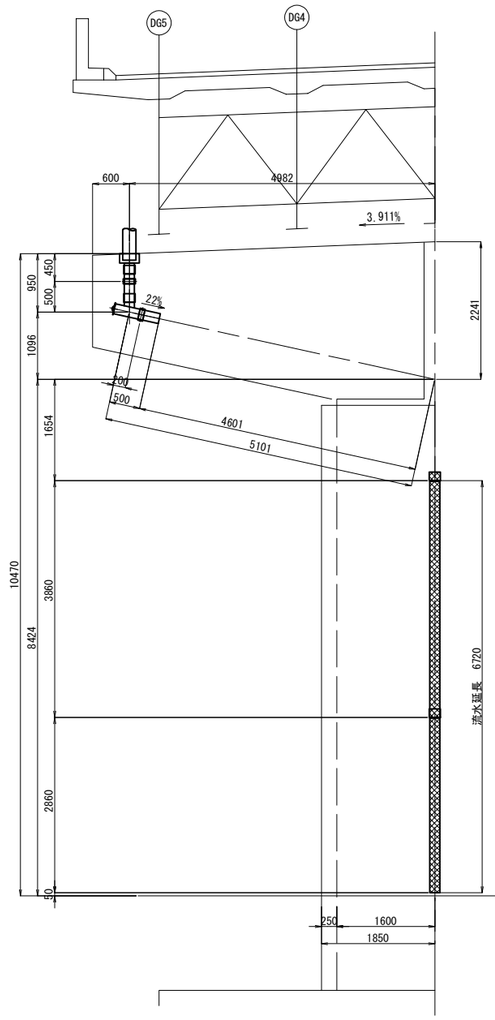
- L1 1箇所
- L2 1箇所

凡 例：

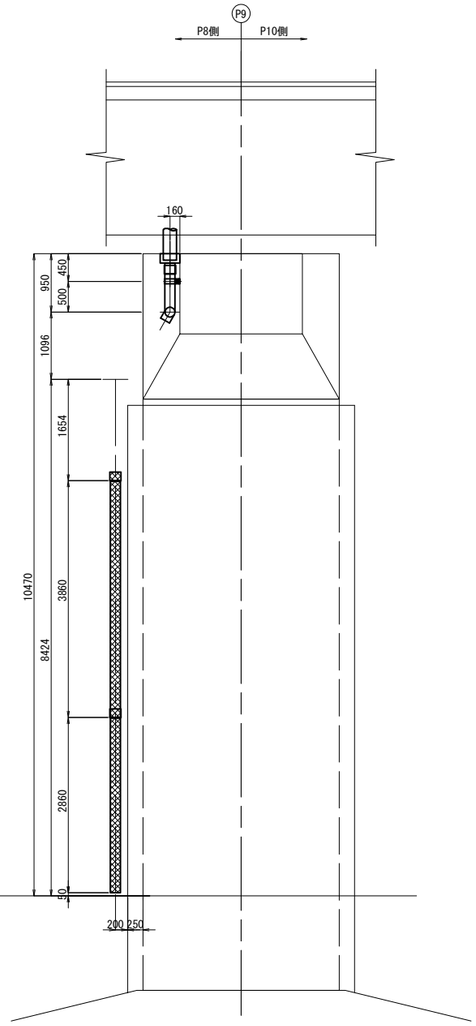
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

再利用図

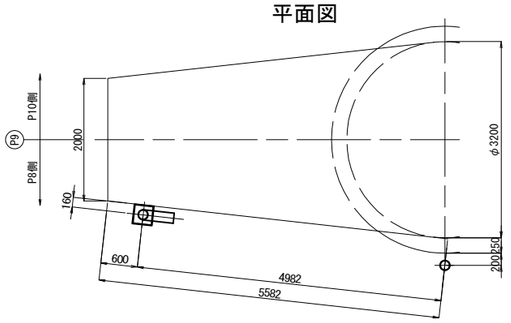
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

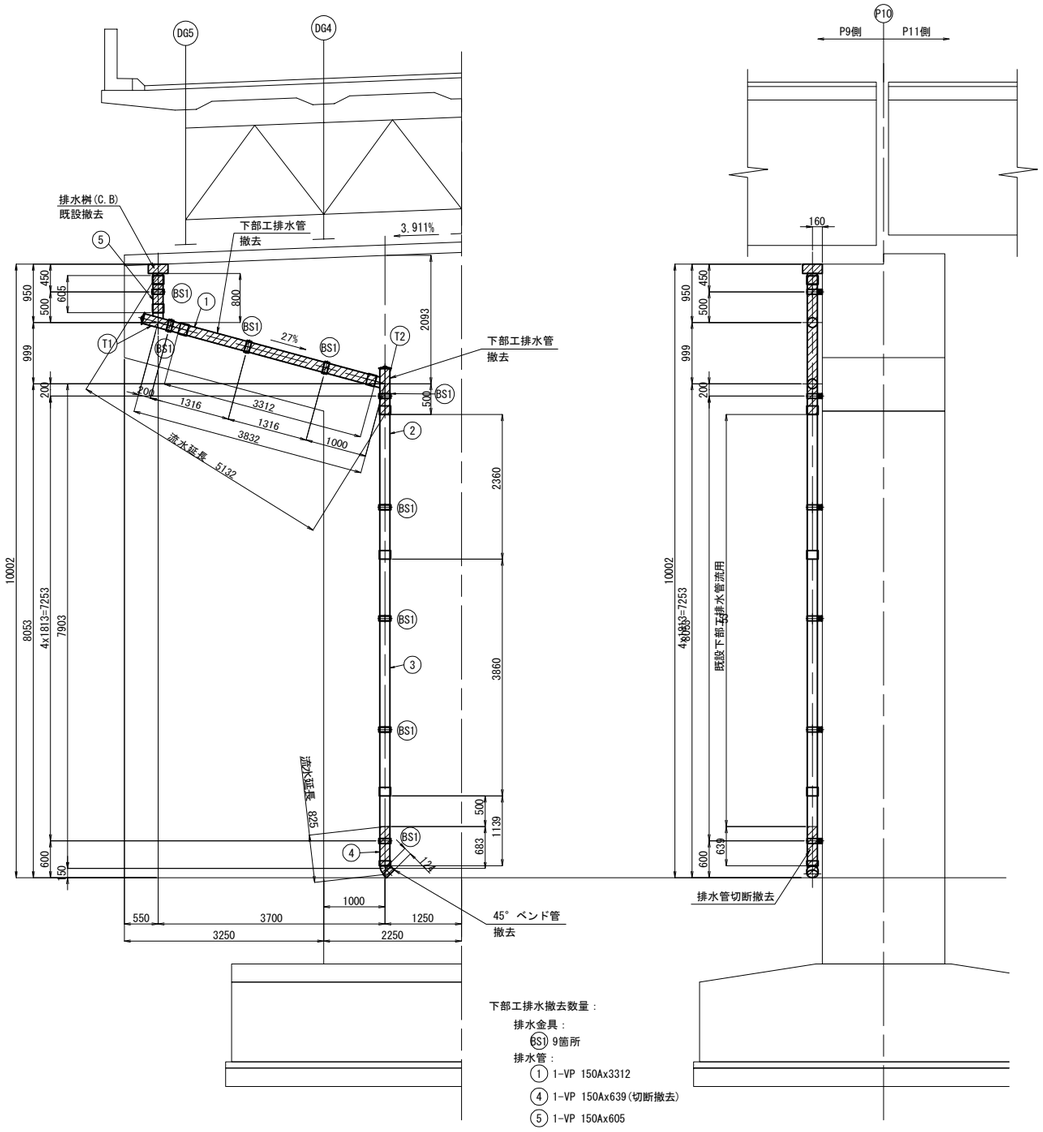
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その18)		
縮　尺	図　示	図面番号	82 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その19) S=1:100

P10橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

正面図



側面図

下部工排水撤去数量：

排水金具：

BS1 9箇所

排水管：

① 1-VP 150Ax3312

④ 1-VP 150Ax639(切断撤去)

⑤ 1-VP 150Ax605

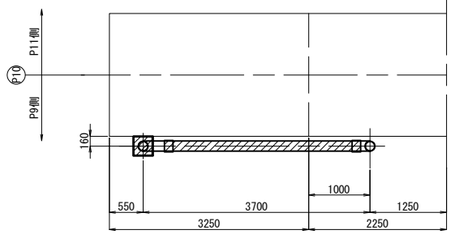
T1 1箇所

T2 1箇所

45° ベンド管 1箇所

排水桝(C.B) 1箇所

平面図



凡 例：

撤去範囲

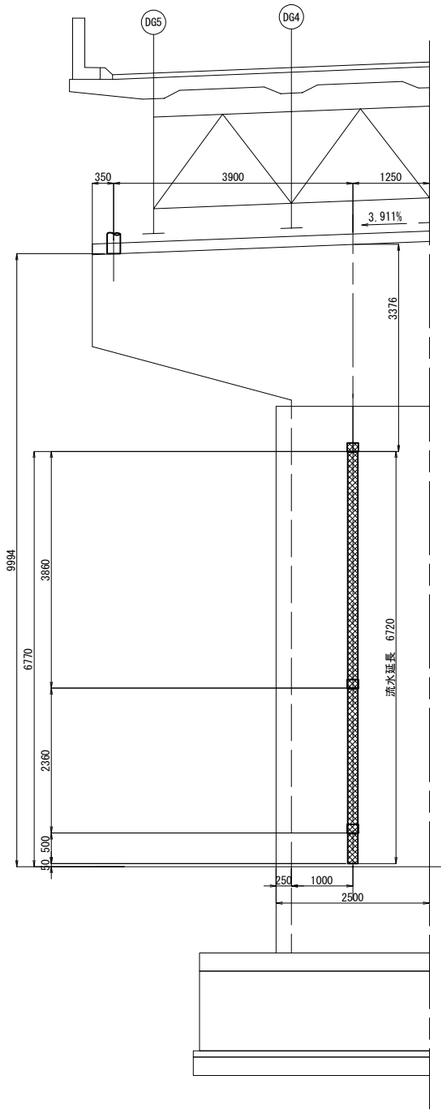
流用範囲

新設範囲

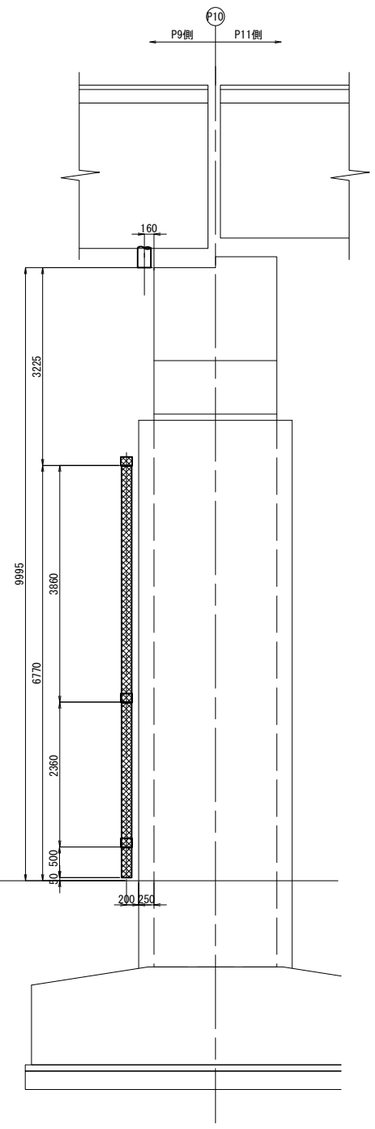
C ：全て新設部材

一時撤去(再利用)図

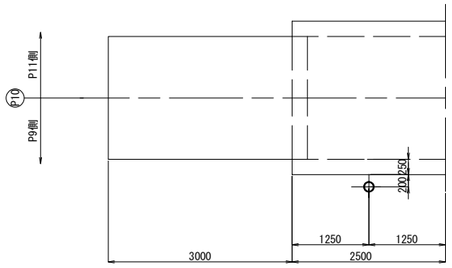
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

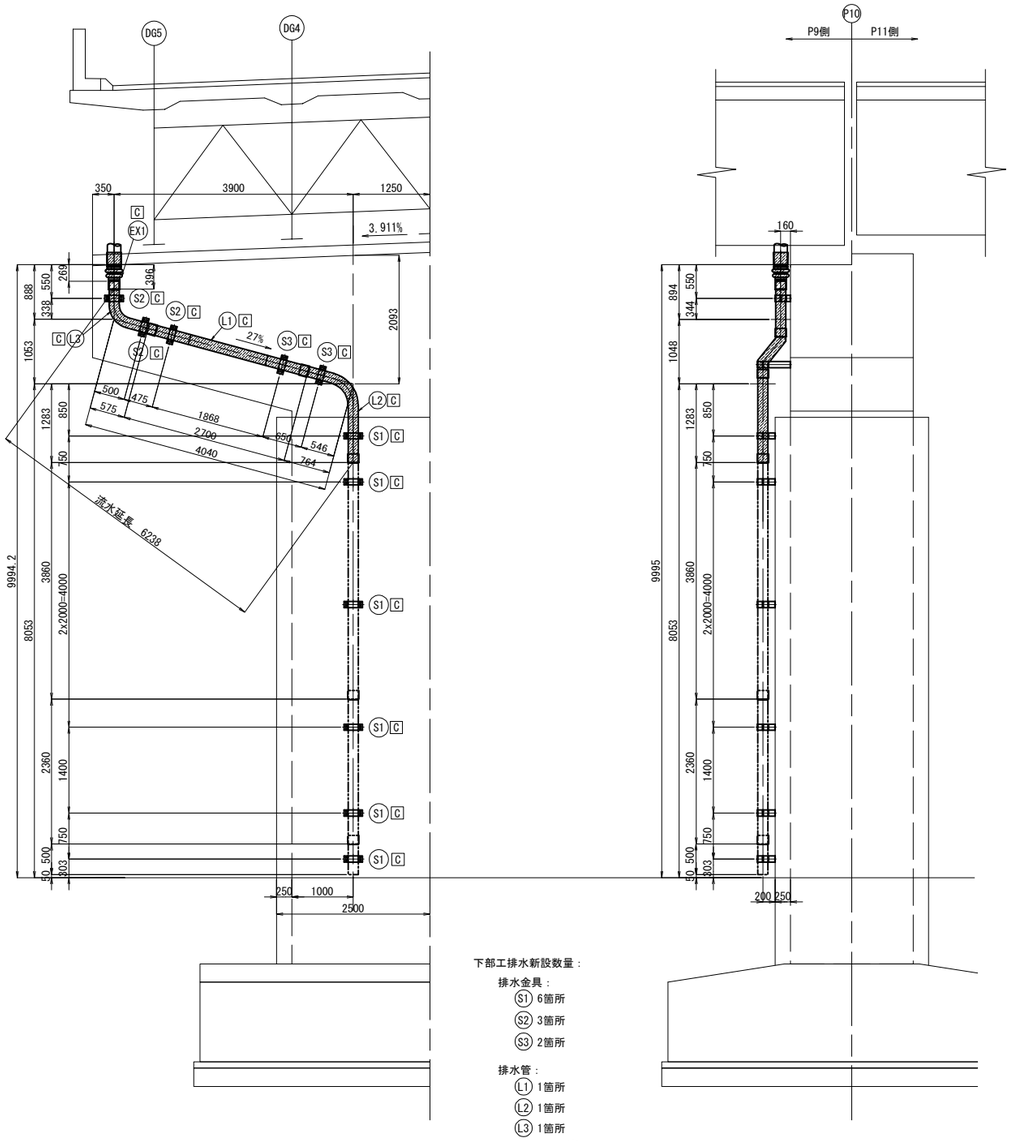
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その19)		
縮 尺	図 示	図面番号	83 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その20) S=1:100

P10橋脚 排水装置 設置工

新設図

正面図



側面図

下部工排水新設数量：

排水金具：

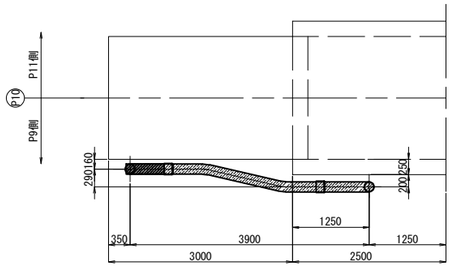
- S1 6箇所
- S2 3箇所
- S3 2箇所

排水管：

- L1 1箇所
- L2 1箇所
- L3 1箇所

伸縮継手 EX1 1箇所

平面図

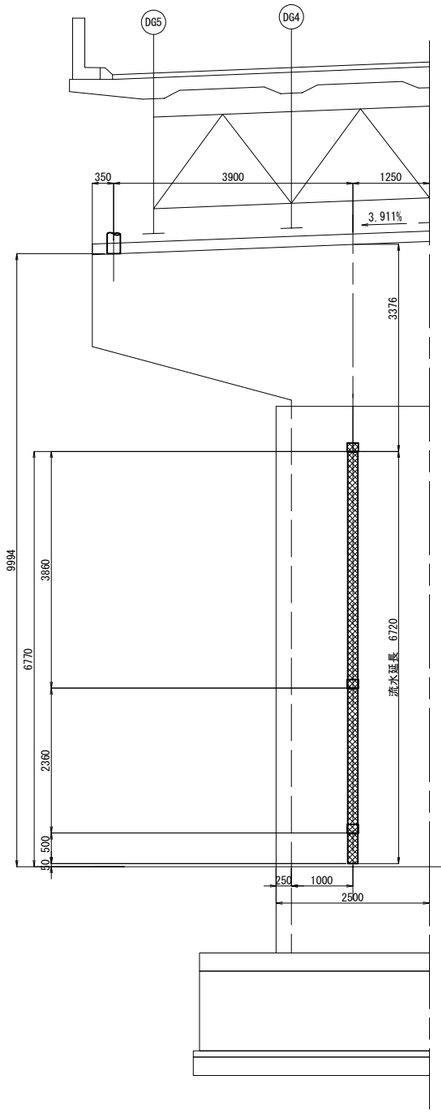


凡 例：

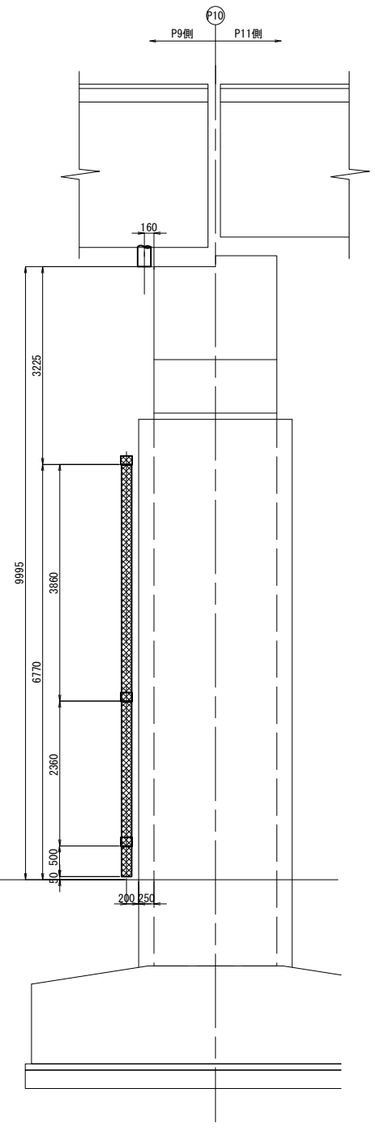
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

再利用図

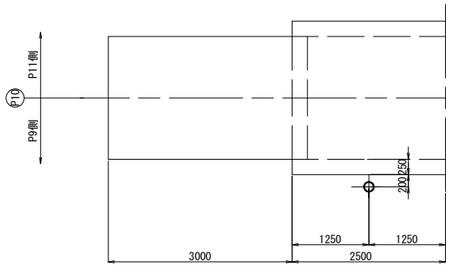
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その20)		
縮 尺	図 示	図面番号	84 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

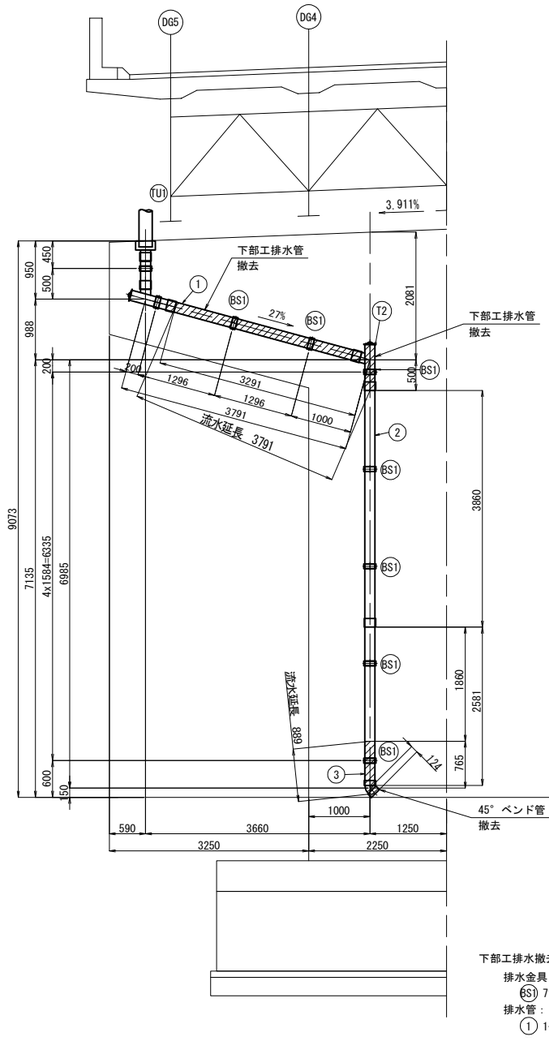
田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その21)

S=1:100

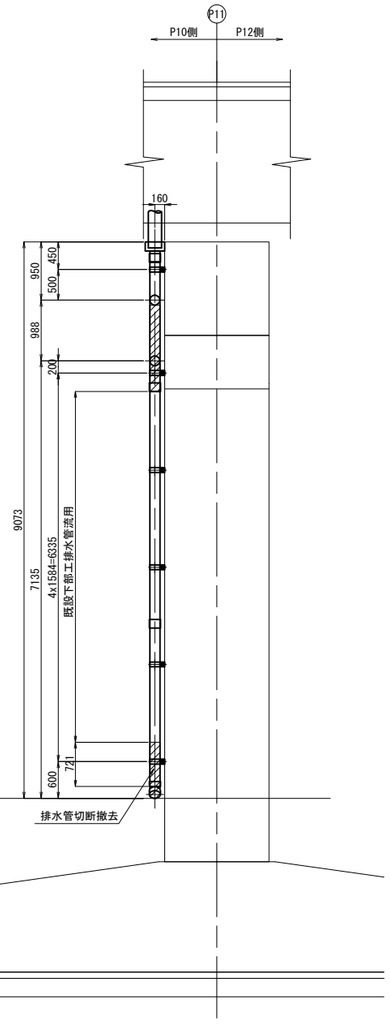
P11橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

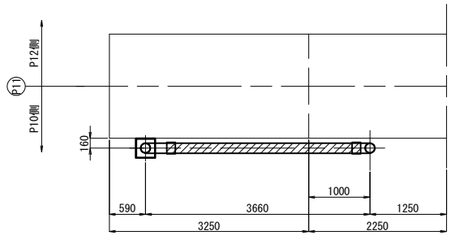
正面図



側面図



平面図



下部工排水撤去数量：

排水金具：

BS1 7箇所

排水管：

1 1-VP 150Ax3271

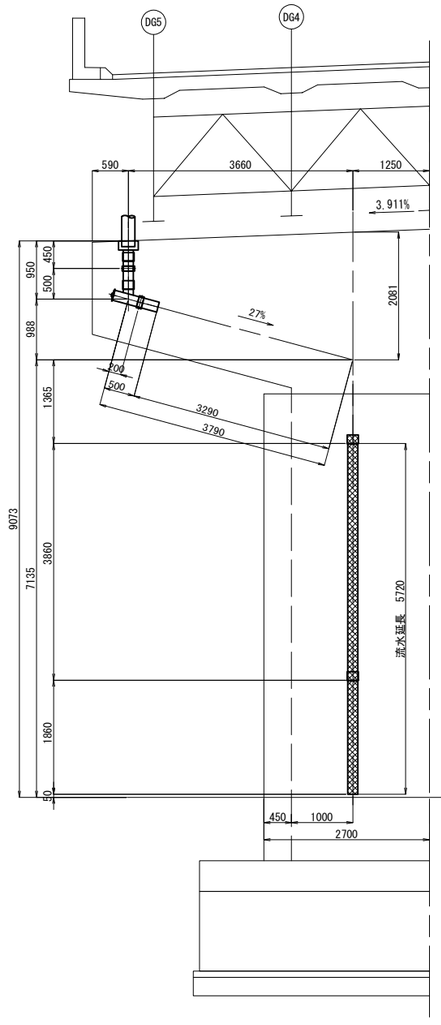
3 1-VP 150Ax721(切断撤去)

T2 1箇所

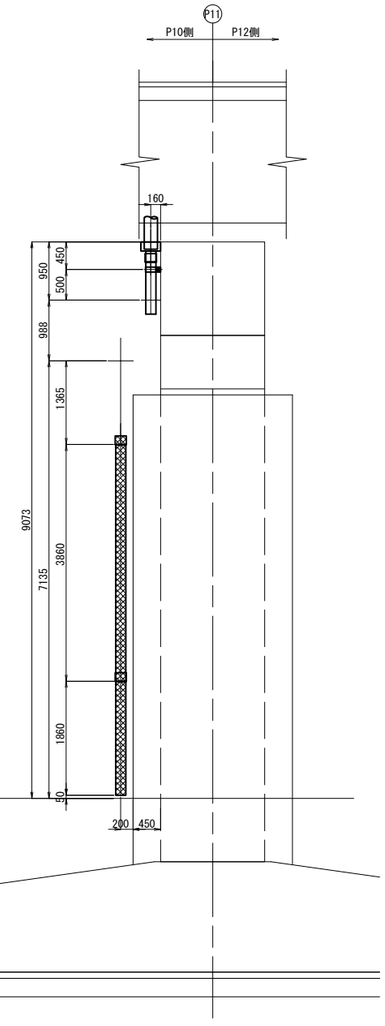
45° ベンド管 1箇所

一時撤去(再利用)図

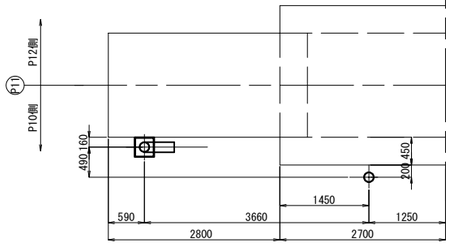
正面図



側面図



平面図



凡 例：

撤去範囲

流用範囲

新設範囲

C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常盤自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その21)		
縮 尺	図 示	図面番号	85 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

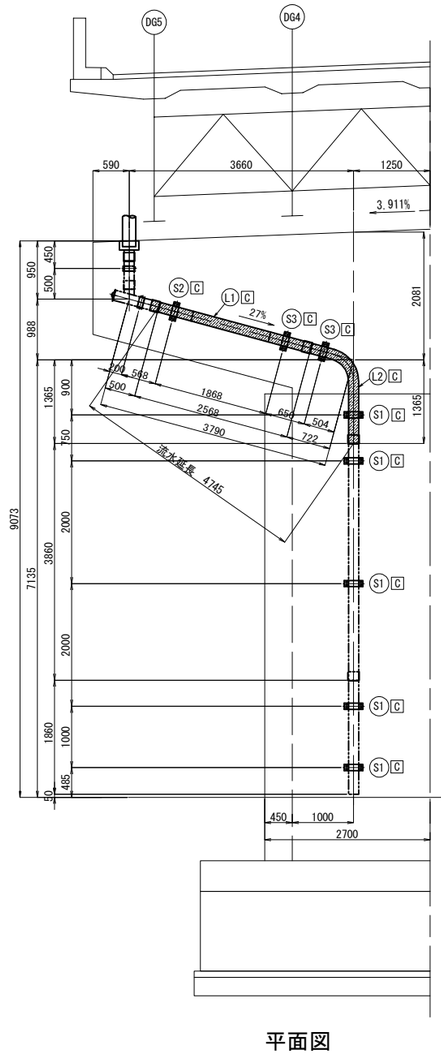
田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その22)

S=1:100

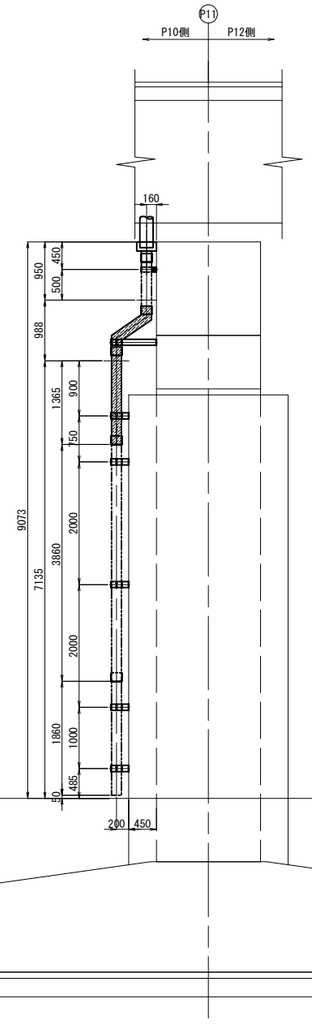
P11橋脚 排水装置 設置工

新設図

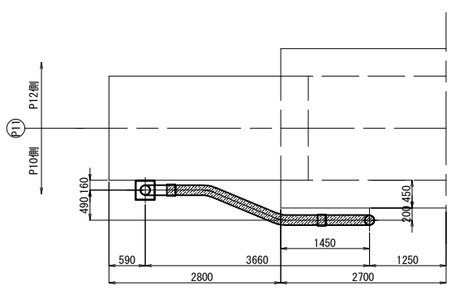
正面図



側面図



平面図



下部工排水新設数量：

排水金具：

- S1 5箇所
- S2 1箇所
- S3 2箇所

排水管：

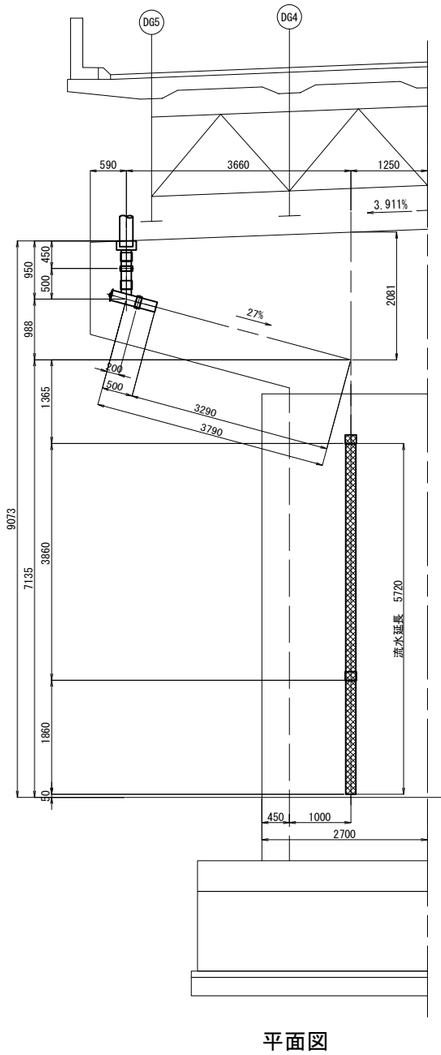
- L1 1箇所
- L2 1箇所

凡 例：

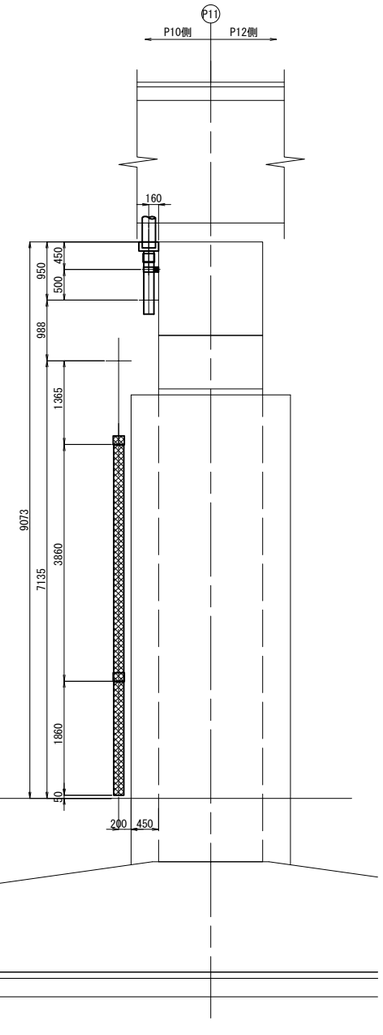
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

再利用図

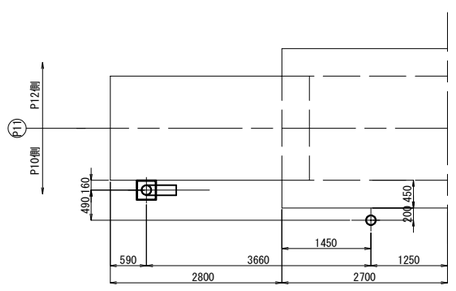
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

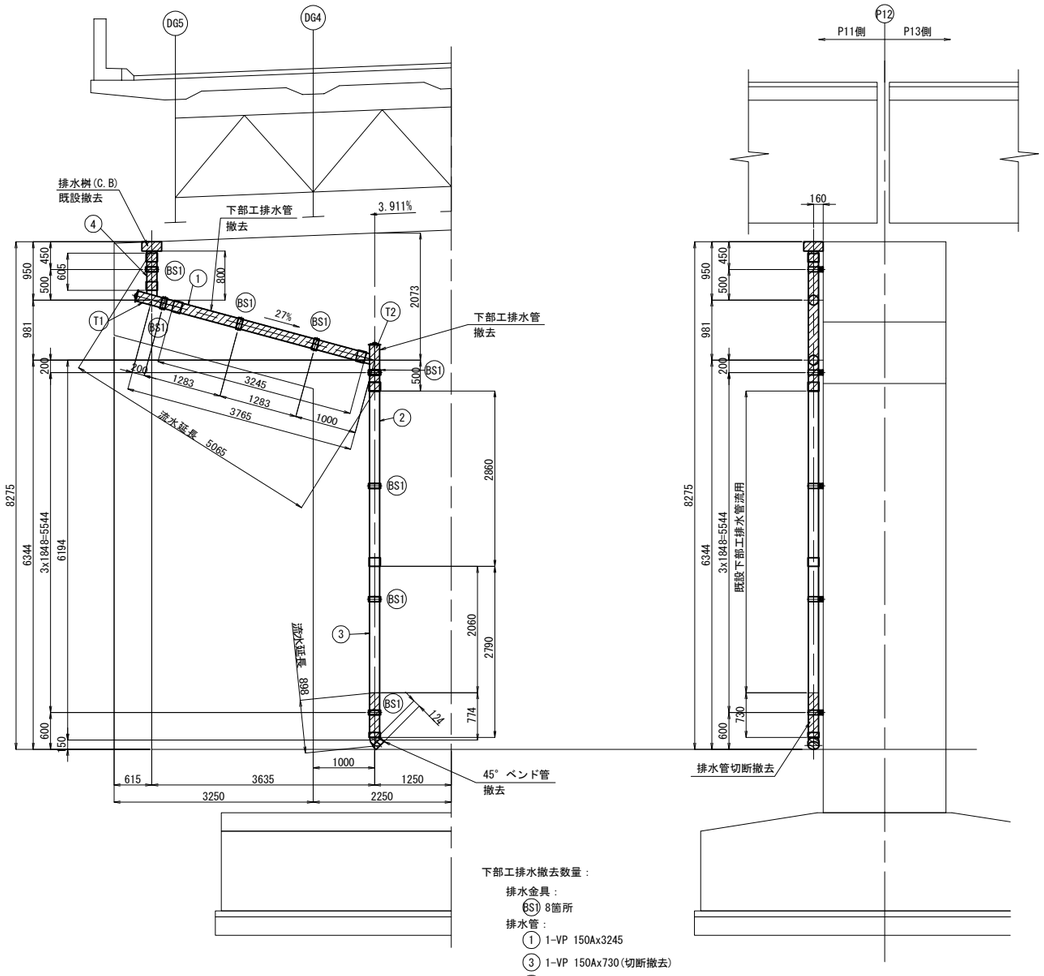
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その22)		
縮 尺	図 示	図面番号	86 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その23) S=1:100

P12橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

正面図



側面図

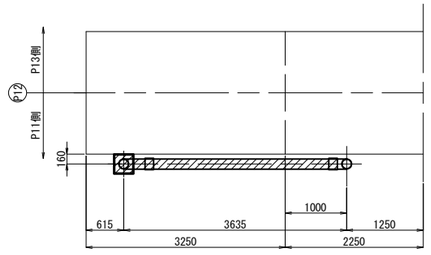
下部工排水撤去数量：

排水金具：
- (6S1) 8箇所

排水管：
- (1) 1-VP 150Ax3245
- (3) 1-VP 150Ax730(切断撤去)
- (4) 1-VP 150Ax605
- (T1) 1箇所
- (T2) 1箇所
- 45° ベンド管 1箇所

排水桝(C.B) 1箇所

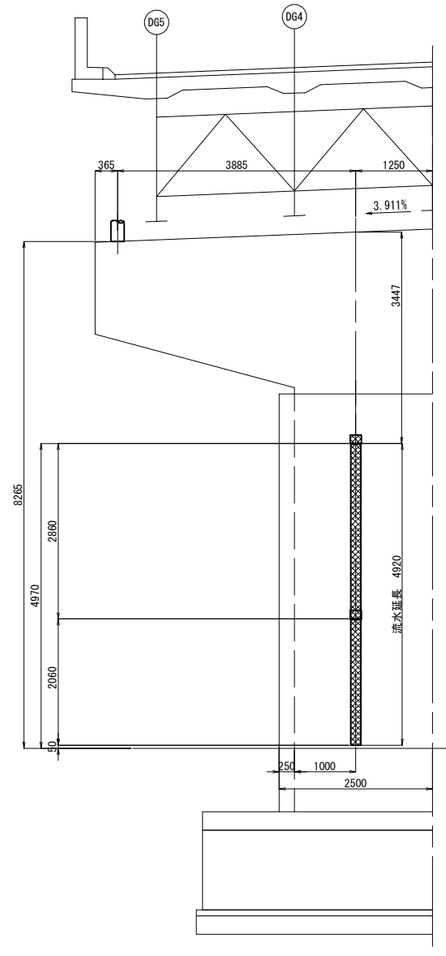
平面図



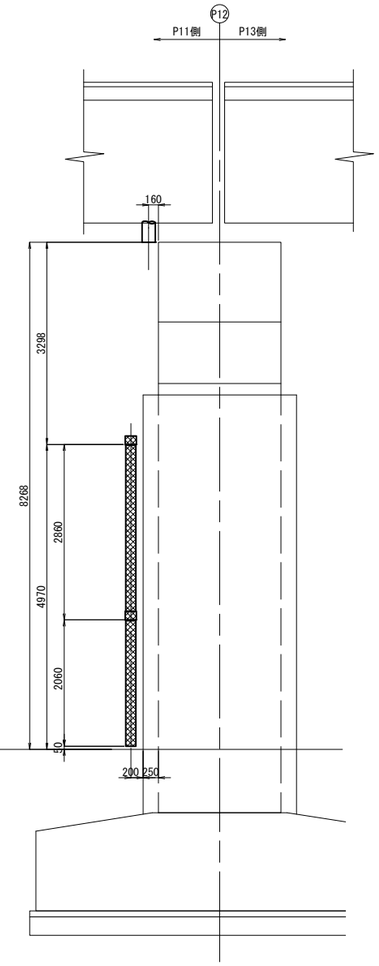
凡例：
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

一時撤去(再利用)図

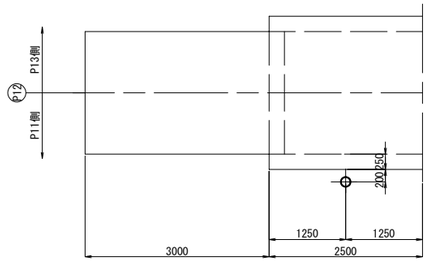
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

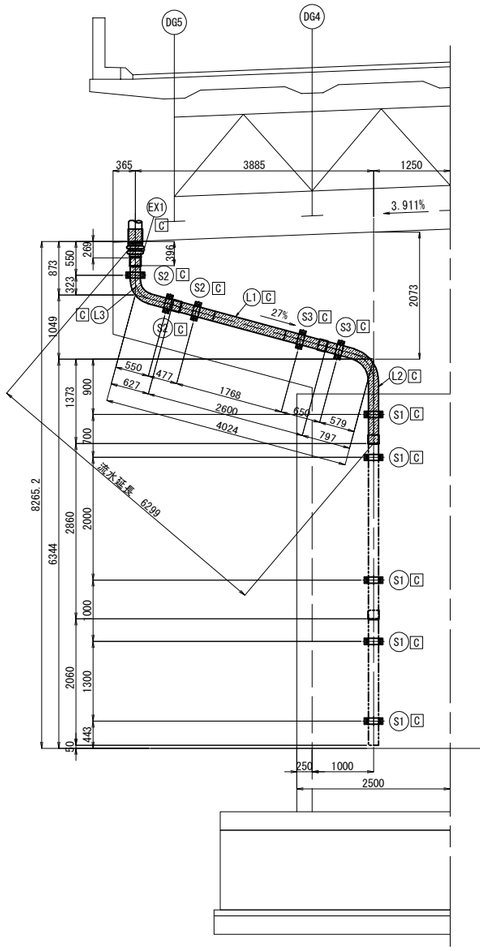
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その23)		
縮 尺	図 示	図面番号	87 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その24) S=1:100

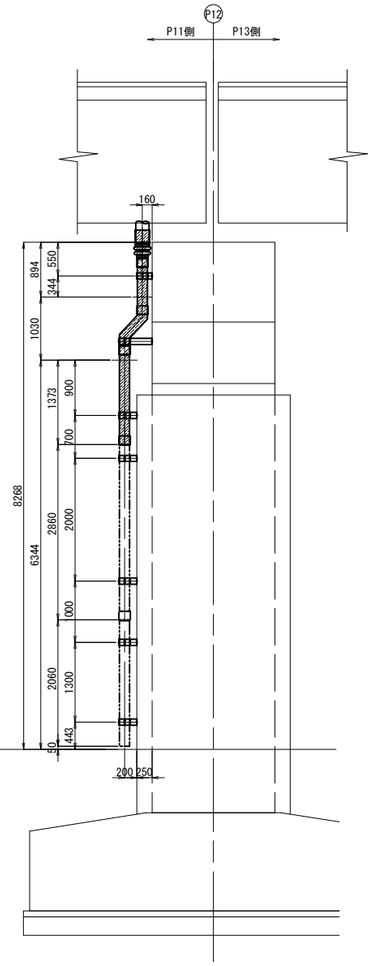
P12橋脚 排水装置 設置工

新設図

正面図



側面図



下部工排水新設数量：

排水金具：

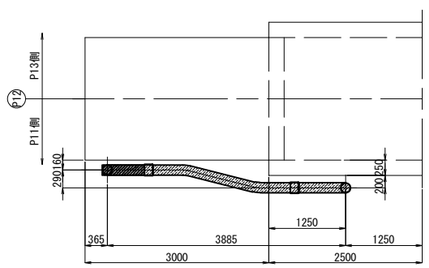
- S1 5箇所
- S2 3箇所
- S3 2箇所

排水管：

- L1 1箇所
- L2 1箇所
- L3 1箇所

伸縮継手 EX1 1箇所

平面図

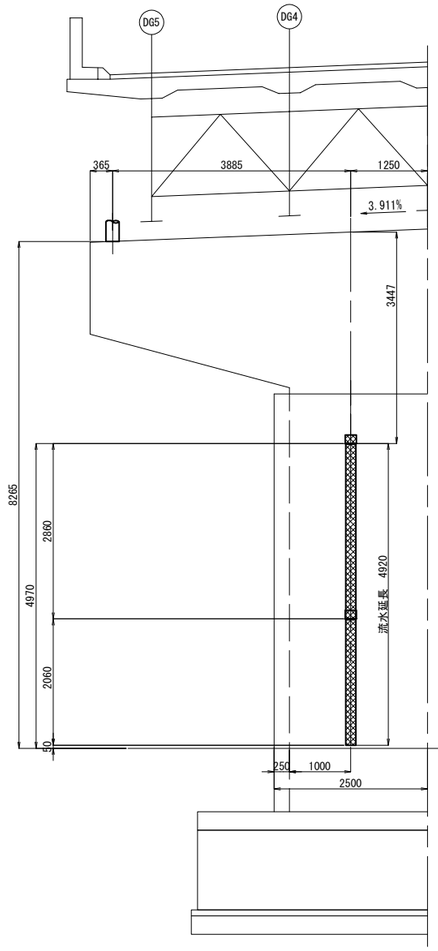


凡例：

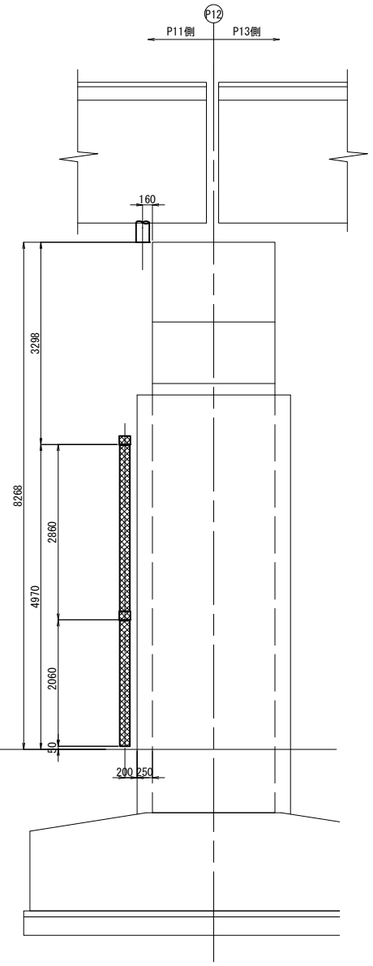
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

再利用図

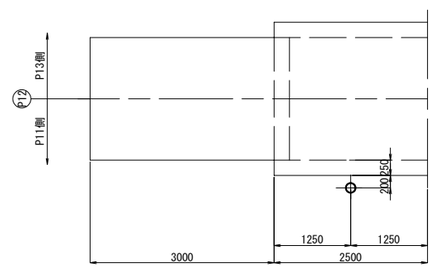
正面図



側面図



平面図



注記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その24)		
縮尺	図示	図面番号	88 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

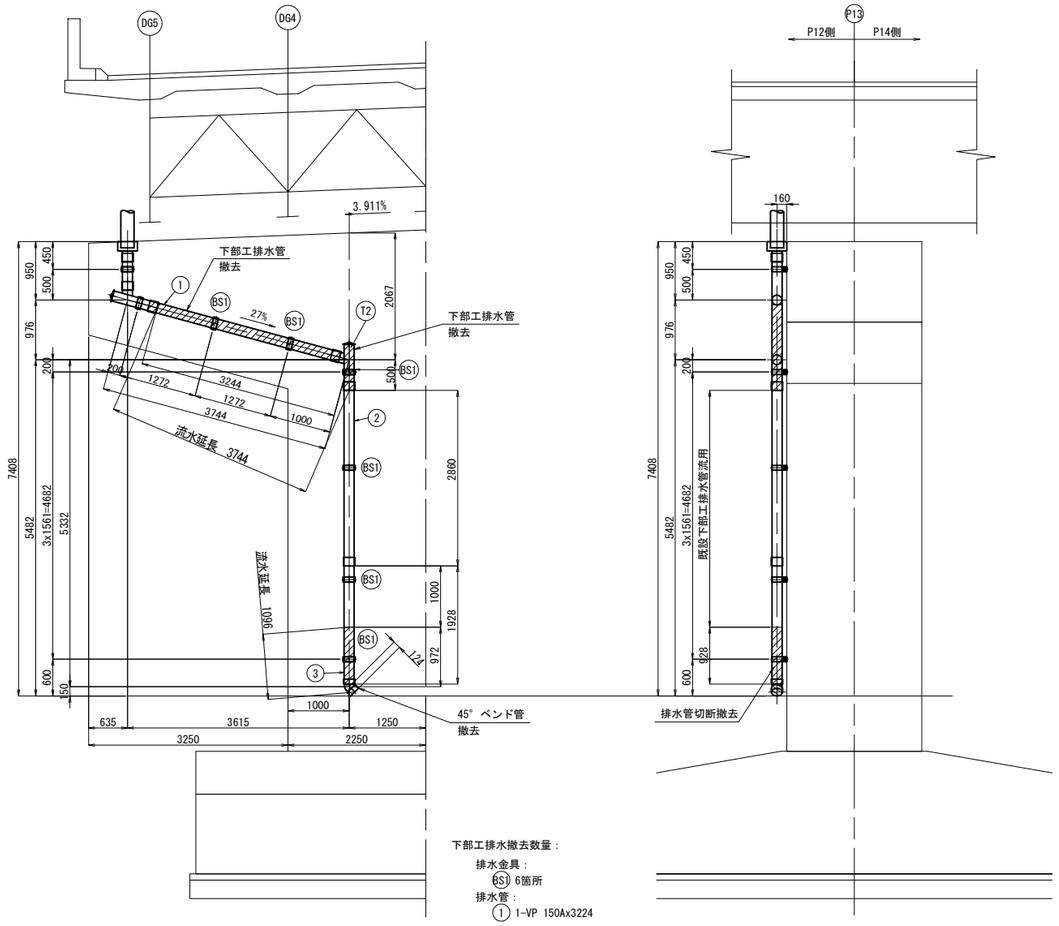
田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その25)

S=1:100

P13橋脚 排水装置 撤去工

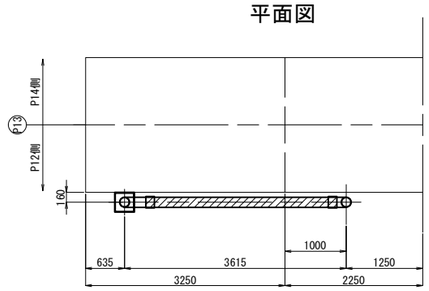
撤去図

正面図



側面図

平面図



下部工排水撤去数量：

排水金具：

BS1 6箇所

排水管：

① 1-VP 150Ax3224

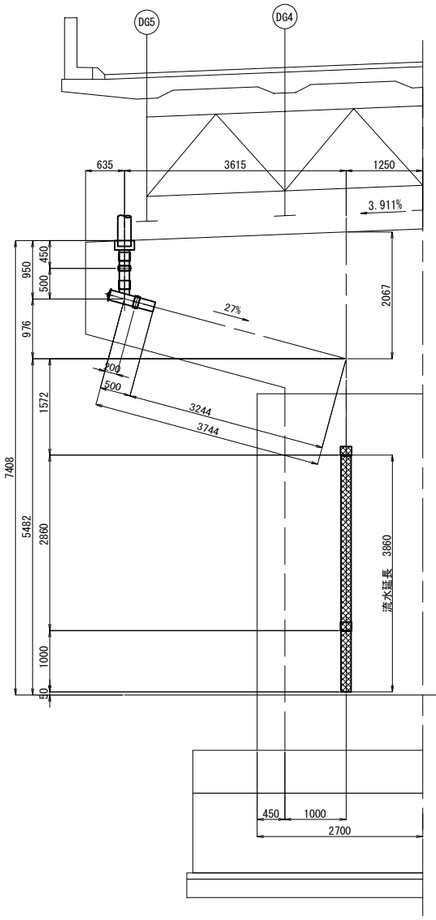
③ 1-VP 150Ax928(切断撤去)

T2 1箇所

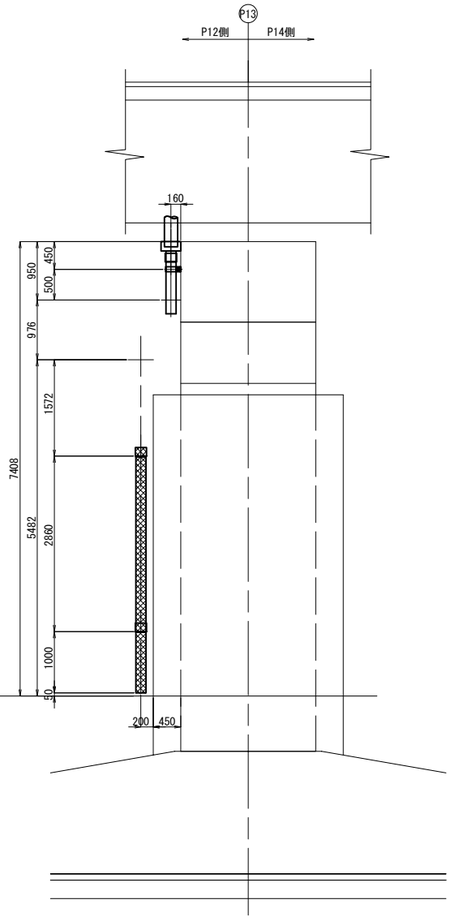
45° ベンド管 1箇所

一時撤去(再利用)図

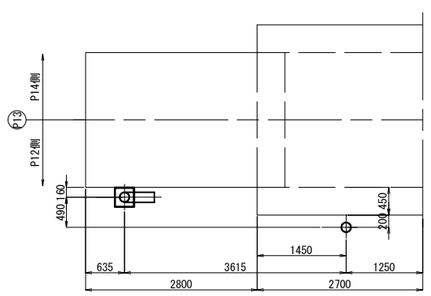
正面図



側面図



平面図



凡 例：

撤去範囲

流用範囲

新設範囲

C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その25)		
縮 尺	図 示	図面番号	89 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

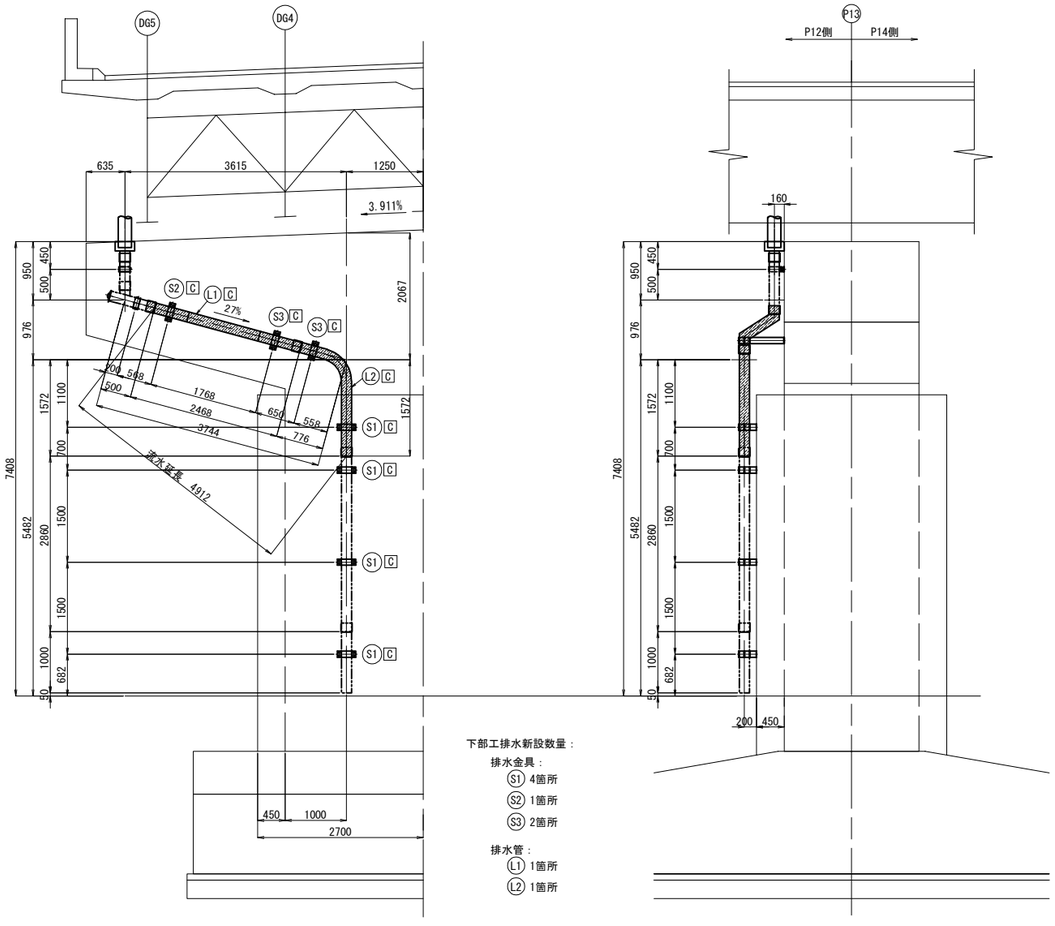
田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その26)

S=1:100

P13橋脚 排水装置 設置工

設置図

正面図



側面図

下部工排水新設数量：

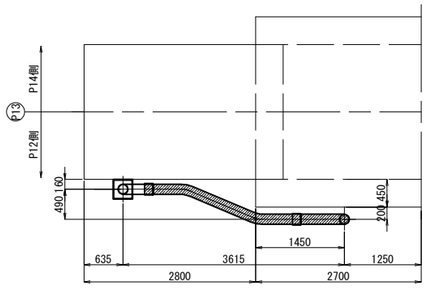
排水金具：

- S1 4箇所
- S2 1箇所
- S3 2箇所

排水管：

- L1 1箇所
- L2 1箇所

平面図

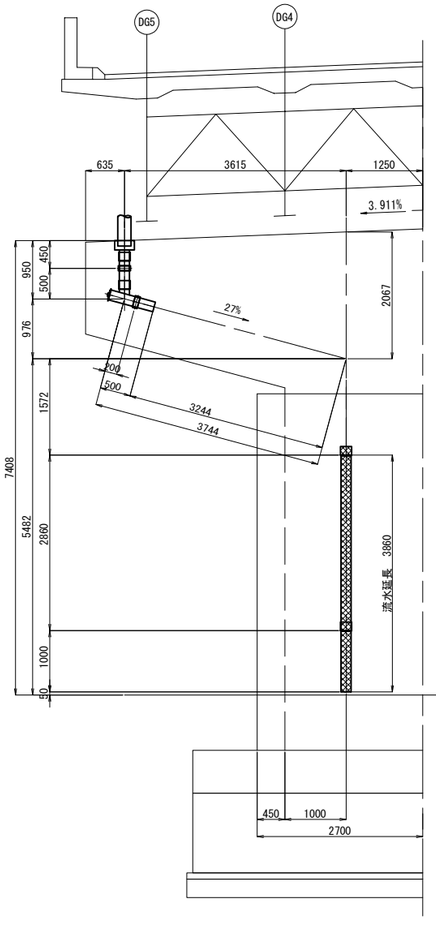


凡例：

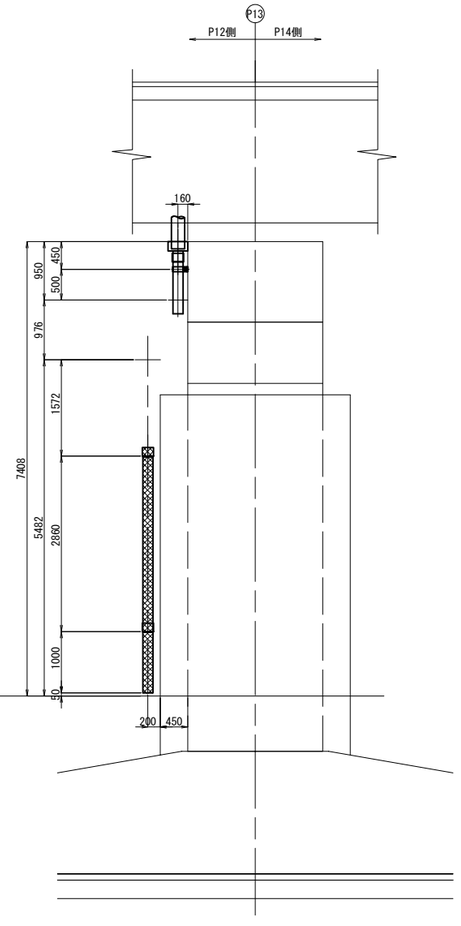
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

再利用図

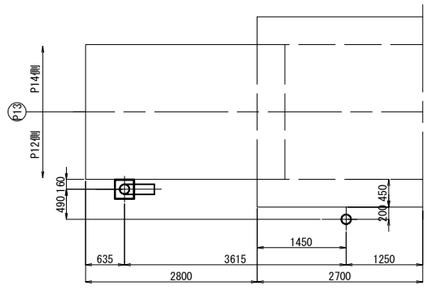
正面図



側面図



平面図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その26)		
縮　尺	図　示	図面番号	90 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

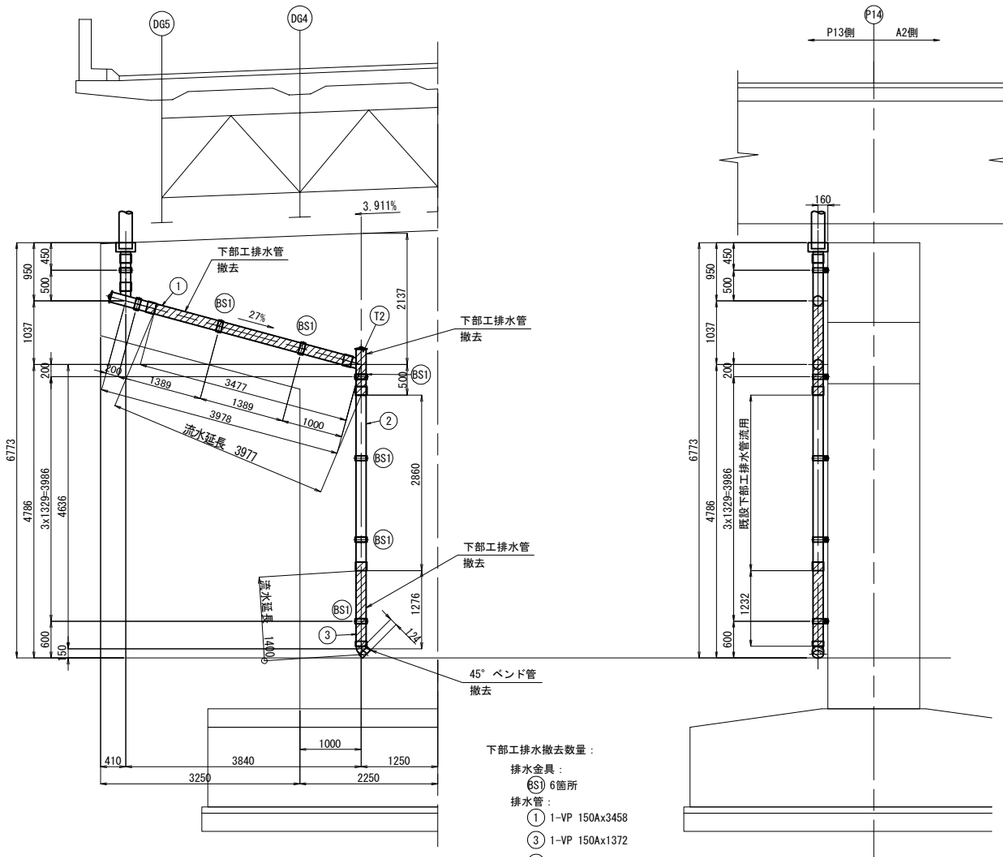
田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その27)

S=1:100

P14橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

正面図



側面図

下部工排水撤去数量：

排水金具：

(BS1) 6箇所

排水管：

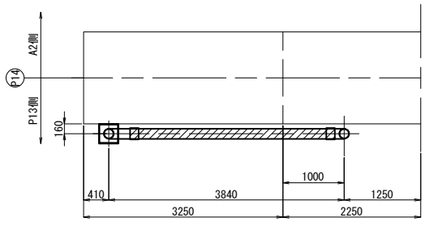
(1) 1-VP 150Ax3458

(3) 1-VP 150Ax1372

(T2) 1箇所

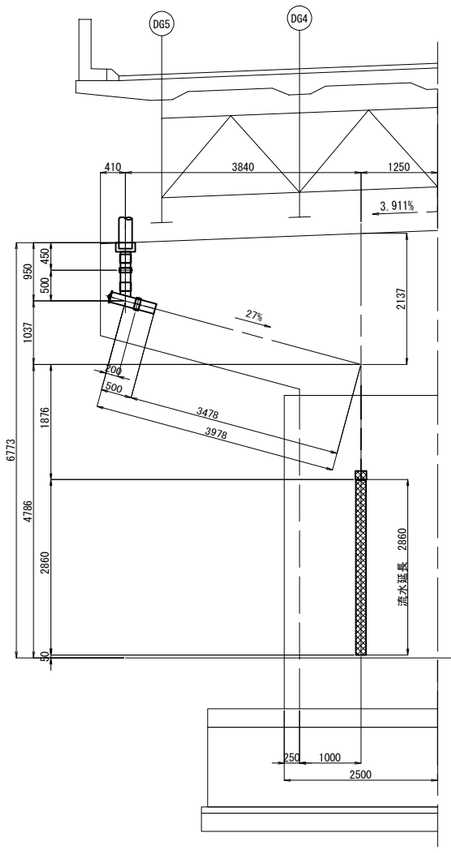
45° ベンド管　1箇所

平面図

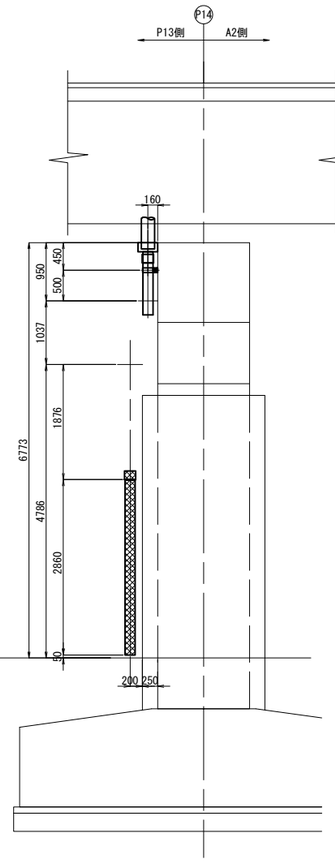


一時撤去(再利用)図

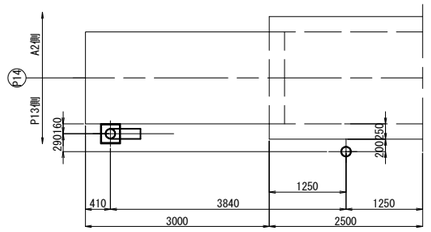
正面図



側面図



平面図



凡 例：

撤去範囲

流用範囲

新設範囲

C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その27)		
縮　尺	図　示	図面番号	91 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

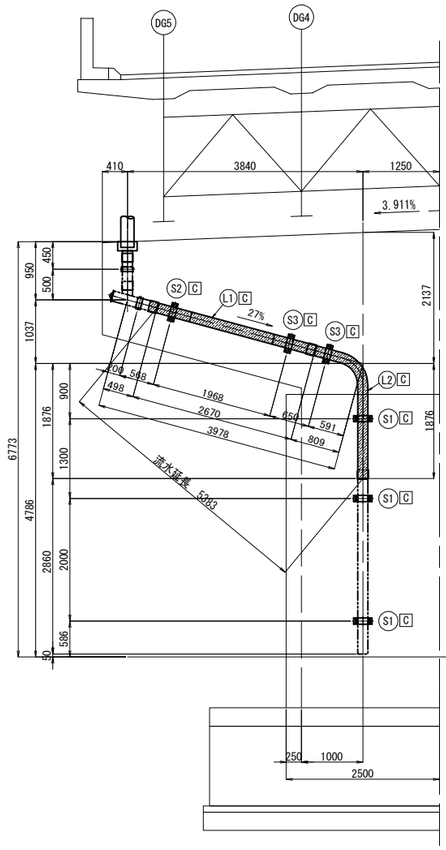
田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その28)

S=1:100

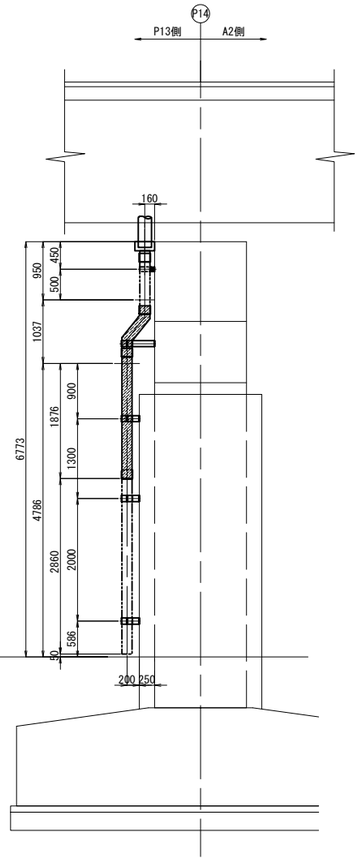
P14橋脚 排水装置 設置工

新設図

正面図



側面図



下部工排水新設数量：

排水金具：

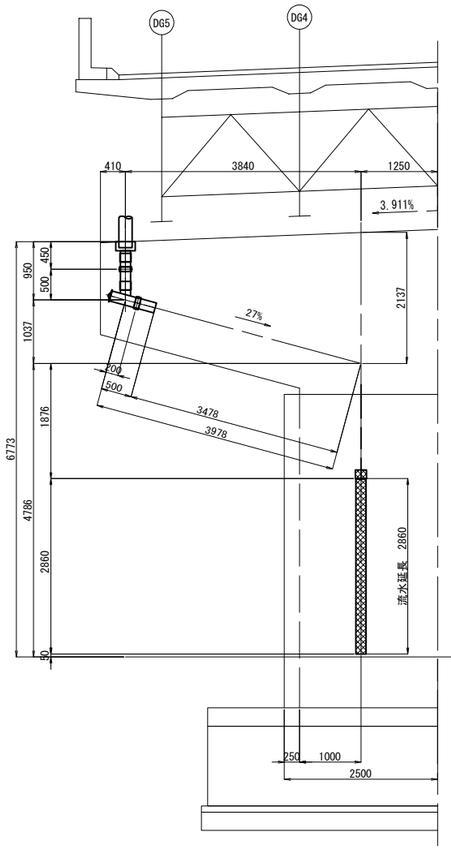
- (S1) 3箇所
- (S2) 1箇所
- (S3) 2箇所

排水管：

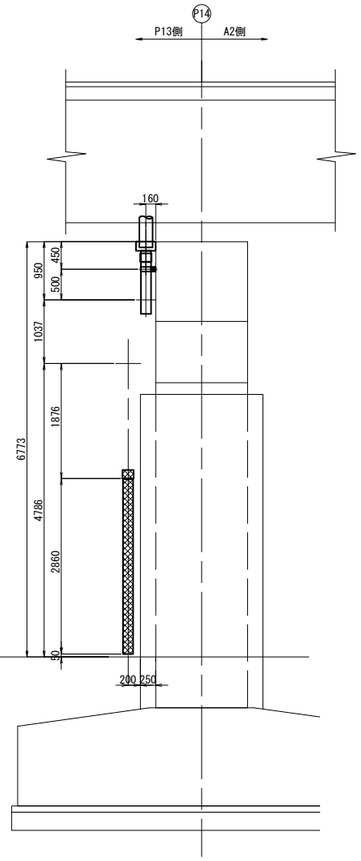
- (L1) 1箇所
- (L2) 1箇所

再利用図

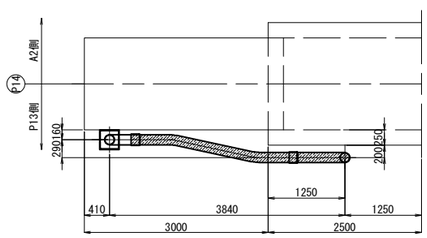
正面図



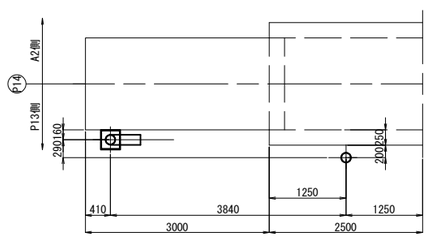
側面図



平面図



平面図



凡 例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

注 記

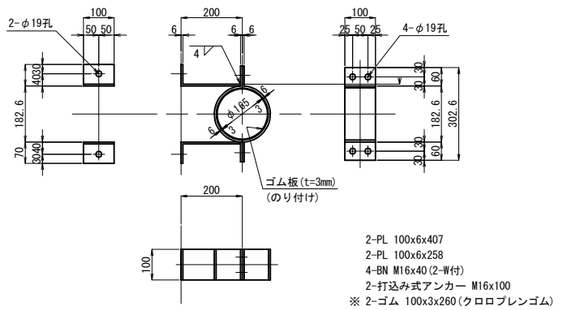
1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その28)		
縮　尺	図　示	図面番号	92 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その29)　S=1:20

取付金具詳細

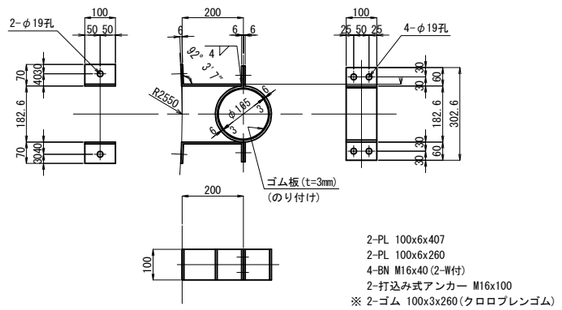
S1
製作数：n組



2-PL 100x6x407
2-PL 100x6x258
4-BN M16x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M16x100
※ 2-ゴム 100x3x260(クロロプレンゴム)

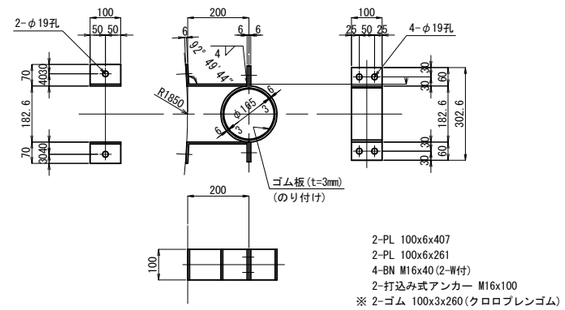
	n
P1橋脚	----
P2橋脚	4
P3橋脚	5
P4橋脚	6
P5橋脚	4
P6橋脚	6
P7橋脚	7
P10橋脚	6
P11橋脚	5
P12橋脚	5
P13橋脚	4
P14橋脚	3

P8橋脚 S1
製作数：5組



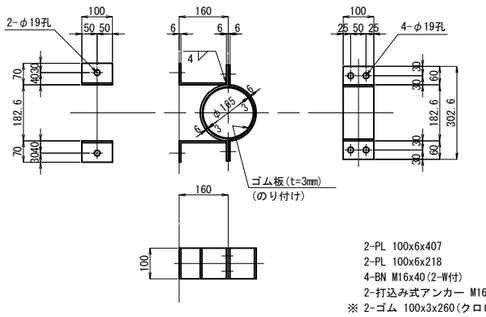
2-PL 100x6x407
2-PL 100x6x260
4-BN M16x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M16x100
※ 2-ゴム 100x3x260(クロロプレンゴム)

P9橋脚 S1
製作数：5組



2-PL 100x6x407
2-PL 100x6x261
4-BN M16x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M16x100
※ 2-ゴム 100x3x260(クロロプレンゴム)

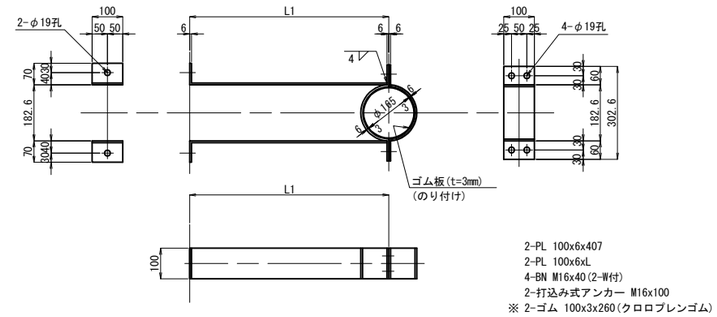
S2
製作数：n組



2-PL 100x6x407
2-PL 100x6x218
4-BN M16x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M16x100
※ 2-ゴム 100x3x260(クロロプレンゴム)

	n
P1橋脚	2
P2橋脚	1
P3橋脚	1
P4橋脚	3
P5橋脚	1
P6橋脚	1
P8橋脚	1
P9橋脚	1
P10橋脚	3
P11橋脚	1
P12橋脚	3
P13橋脚	1
P14橋脚	1

S3
製作数：n組

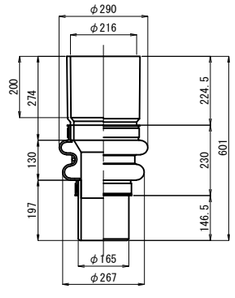


2-PL 100x6x407
2-PL 100x6xL
4-BN M16x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M16x100
※ 2-ゴム 100x3x260(クロロプレンゴム)

	n	L1	L
P1橋脚	----	----	----
P2橋脚	2	450	508
P3橋脚	2	450	508
P4橋脚	2	450	508
P5橋脚	2	450	508
P6橋脚	2	450	508
P7橋脚	4	450	508
P8橋脚	2	592	650
P9橋脚	2	438	496
P10橋脚	2	450	508
P11橋脚	2	650	708
P12橋脚	2	450	508
P13橋脚	2	650	708
P14橋脚	2	450	508

伸縮継手
VP 200A-150A

EX1
設置数：n



	n
P4橋脚	1
P7橋脚	1
P10橋脚	1
P12橋脚	1

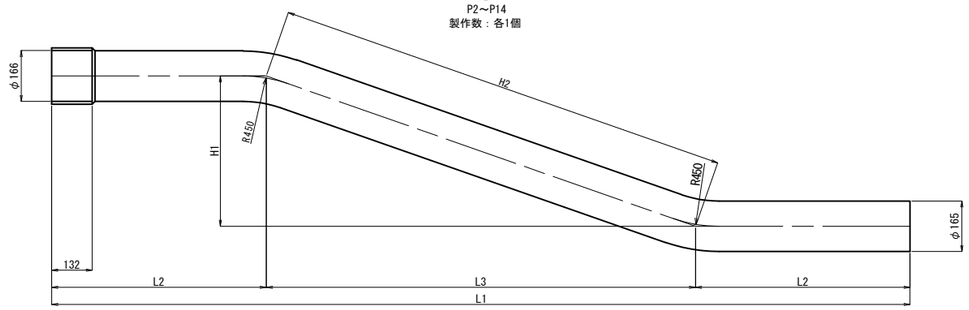
注 記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
   亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
   但し、ボルト･ナット、板厚3.2mm未満の
   部材は、HDZT49とする。
3. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。
4. 普通ボルトは、全てゆるみ止めナット付きとする。
5. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その29)		
縮　尺	図　示	図面番号	93 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その30)　S=1:20

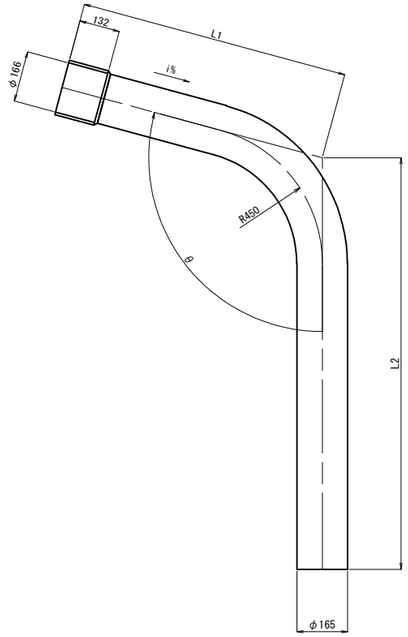
排水管詳細

L1
P2～P14
製作数：各1個



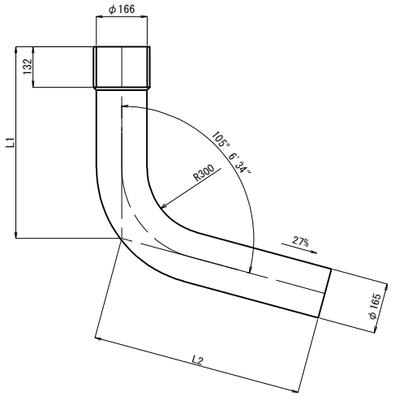
	L1	L2	L3	H1	H2
P1橋脚	----	----	----	----	----
P2橋脚	2800	700	1400	290	1430
P3橋脚	2800	700	1400	290	1430
P4橋脚	2800	700	1400	290	1430
P5橋脚	2800	700	1400	290	1430
P6橋脚	2800	700	1400	290	1430
P8橋脚	3300	1000	1300	432	1370
P9橋脚	3300	1000	1300	278	1329
P10橋脚	2700	700	1300	290	1332
P11橋脚	2700	700	1300	490	1389
P12橋脚	2600	700	1200	290	1235
P13橋脚	2600	700	1200	490	1296
P14橋脚	2800	700	1400	290	1430

L2
P2～P14
製作数：各1個



	L1	L2	θ	i%
P1橋脚	----	----	----	----
P2橋脚	931	2217	105° 6′ 34″	27%
P3橋脚	911	1819	105° 6′ 34″	27%
P4橋脚	936	1726	105° 6′ 34″	27%
P5橋脚	879	1350	105° 6′ 34″	27%
P6橋脚	916	1804	105° 6′ 34″	27%
P7橋脚	869	2046	105° 6′ 34″	27%
P8橋脚	1821	1601	104° 2′ 10″	25%
P9橋脚	1565	1654	102° 24′ 27″	22%
P10橋脚	897	1283	105° 6′ 34″	27%
P11橋脚	855	1365	105° 6′ 34″	27%
P12橋脚	929	1373	105° 6′ 34″	27%
P13橋脚	908	1572	105° 6′ 34″	27%
P14橋脚	941	1876	105° 6′ 34″	27%

L3
製作数：n個



	n	L1	L2
P1橋脚	----	----	----
P2橋脚	----	----	----
P3橋脚	----	----	----
P4橋脚	1	625	686
P5橋脚	----	----	----
P6橋脚	----	----	----
P7橋脚	1	620	1202
P8橋脚	----	----	----
P9橋脚	----	----	----
P10橋脚	1	619	707
P11橋脚	----	----	----
P12橋脚	1	603	759
P13橋脚	----	----	----
P14橋脚	----	----	----

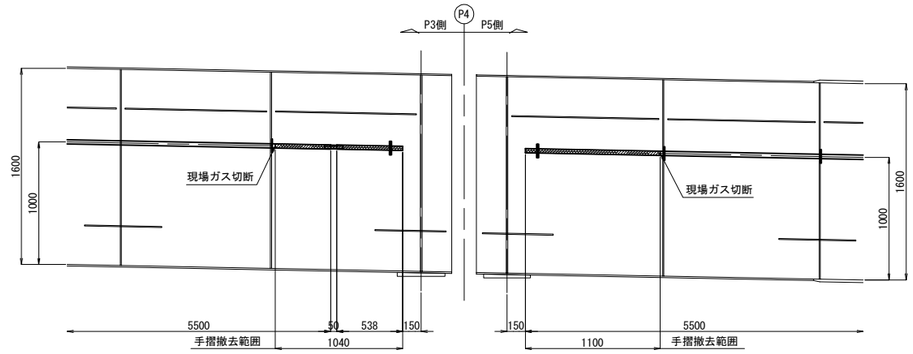
注 記

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ※印部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
   亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
   但し、ボルト･ナット、板厚3.2mm未満の
   部材は、HDZT49とする。
3. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。
4. 普通ボルトは、全てゆるみ止めナット付きとする。
5. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工排水装置撤去・設置工(その30)		
縮　尺	図　示	図面番号	94 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

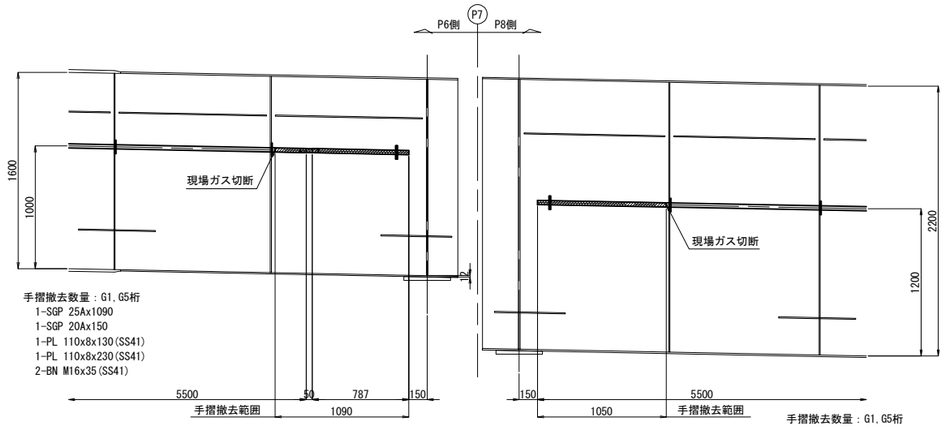
田野高架橋(下り線) 上部工検査路A　撤去工　S=1:50

手摺撤去図



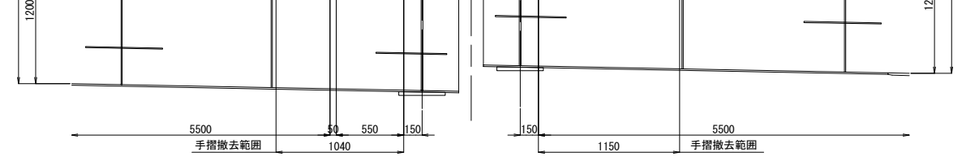
手摺撤去数量：G1,G5桁
1-SGP 25Ax1040
1-SGP 20Ax150
1-PL 110x8x130(SS41)
1-PL 110x8x230(SS41)
2-BN M16x35(SS41)

手摺撤去数量：G1,G5桁
1-SGP 25Ax1100
1-PL 110x8x130(SS41)
1-PL 110x8x230(SS41)
2-BN M16x35(SS41)



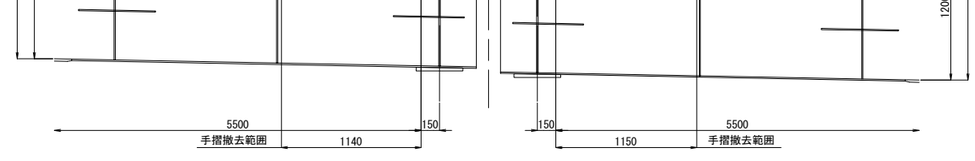
手摺撤去数量：G1,G5桁
1-SGP 25Ax1090
1-SGP 20Ax150
1-PL 110x8x130(SS41)
1-PL 110x8x230(SS41)
2-BN M16x35(SS41)

手摺撤去数量：G1,G5桁
1-SGP 25Ax1050
1-PL 110x8x130(SS41)
1-PL 110x8x230(SS41)
2-BN M16x35(SS41)



手摺撤去数量：G1,G5桁
1-SGP 25Ax1040
1-SGP 20Ax150
1-PL 110x8x130(SS41)
1-PL 110x8x230(SS41)
2-BN M16x35(SS41)

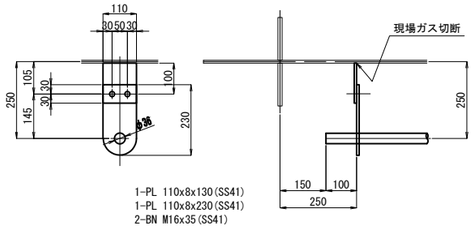
手摺撤去数量：G1,G5桁
1-SGP 25Ax1150
1-PL 110x8x130(SS41)
1-PL 110x8x230(SS41)
2-BN M16x35(SS41)



手摺撤去数量：G1,G5桁
1-SGP 25Ax1140
1-PL 110x8x130(SS41)
1-PL 110x8x230(SS41)
2-BN M16x35(SS41)

手摺撤去数量：G1,G5桁
1-SGP 25Ax1150
1-PL 110x8x130(SS41)
1-PL 110x8x230(SS41)
2-BN M16x35(SS41)

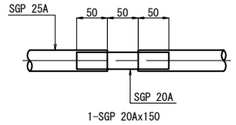
手摺取付金具撤去詳細　S=1:20



1-PL 110x8x130(SS41)
1-PL 110x8x230(SS41)
2-BN M16x35(SS41)

既設手摺継手部詳細　S=1:10

撤去工



1-SGP 20Ax150

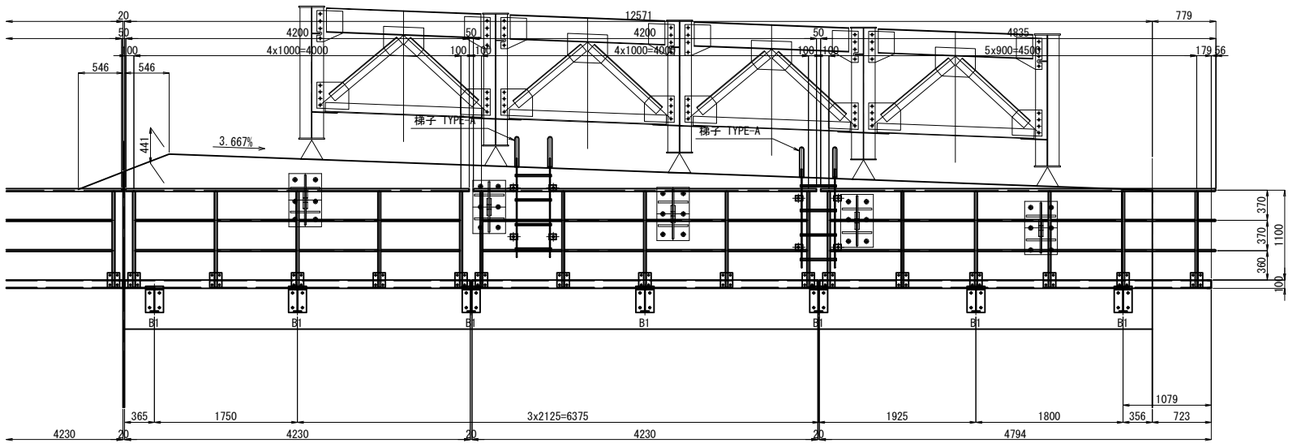
注 記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、
付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、ボルト･ナット類はHDZT77とする。
3. 普通ボルトは、全てゆるみ止めナット付きとする。
ボルト径+3mmを標準とする。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 上部工検査路A　撤去工		
縮　尺	図　示	図面番号	95 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

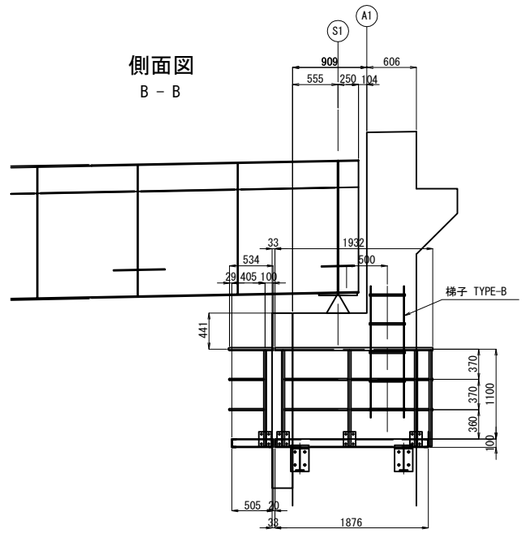
田野高架橋(下り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その1)　S=1:75

A1橋台 下部工検査路撤去図

正面図
A - A



側面図
B - B

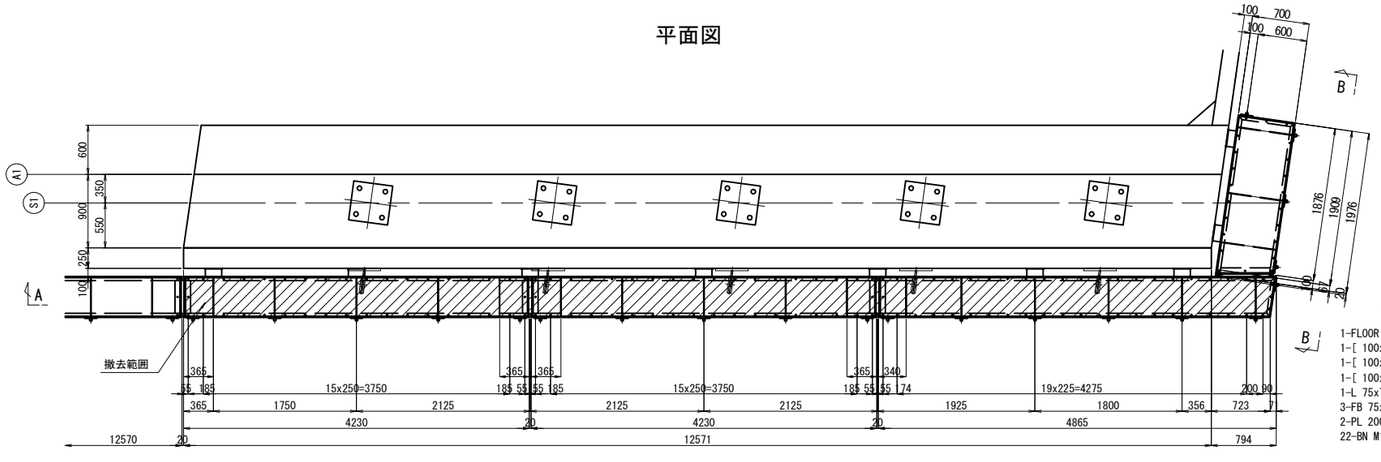


1-FLOOR PL 470x3.2x4180
2-[100x50x5x7.5x4230
2-L 75x75x6x490
5-FB 75x6x490
2-PL 200x8x480
1-PL 80x8x480
38-BN M10x30 (1-TW,1-SW)
10-PL 150x6x180
10-BN M16x35
10-BN M16x40
1-SGP 25Ax4200(SGP)
5-SGP 25Ax1180(SGP)
8-SGP 15Ax974(SGP)

1-FLOOR PL 470x3.2x4180
2-[100x50x5x7.5x4230
2-L 75x75x6x490
5-FB 75x6x490
1-PL 200x8x480
2-PL 80x8x480
38-BN M10x30 (1-TW,1-SW)
10-PL 150x6x180
10-BN M16x35
10-BN M16x40
1-SGP 25Ax4200(SGP)
5-SGP 25Ax1180(SGP)
8-SGP 15Ax974(SGP)

1-FLOOR PL 470x3.2x4825
1-[100x50x5x7.5x4865
1-[100x50x5x7.5x4794
1-[100x50x5x7.5x505
1-L 75x75x6x490
6-FB 75x6x490
2-PL 200x8x480
1-PL 80x8x480
48-BN M10x30 (1-TW,1-SW)
14-PL 150x6x180
14-BN M16x35
14-BN M16x40
1-SGP 25Ax4835(SGP)
1-SGP 25Ax534(SGP)
7-SGP 25Ax1180(SGP)
10-SGP 15Ax874(SGP)
2-SGP 15Ax216(SGP)
2-SGP 15Ax421(SGP)

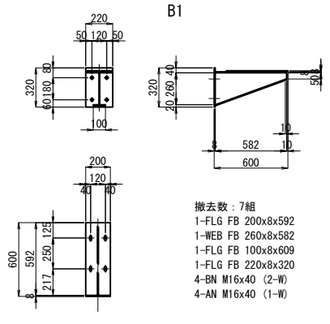
平面図



1-FLOOR PL 670x3.2x1936
1-[100x50x5x7.5x1976
1-[100x50x5x7.5x1876
1-[100x50x5x7.5x700
1-L 75x75x6x697
3-FB 75x6x690
2-PL 200x8x680
22-BN M10x30 (1-TW,1-SW)
8-PL 150x6x180
8-BN M16x35
8-BN M16x40
1-SGP 25Ax1932(SGP)
1-SGP 25Ax729(SGP)
4-SGP 25Ax1180(SGP)
4-SGP 15Ax787(SGP)
2-SGP 15Ax187(SGP)
2-SGP 15Ax616(SGP)

ブラケット詳細　S=1:50

B1



撤去数：7組
1-FLG FB 200x8x592
1-WEB FB 260x8x582
1-FLG FB 100x8x609
1-FLG FB 220x8x320
4-BN M16x40 (2-W)
4-AN M16x40 (1-W)

注 記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。

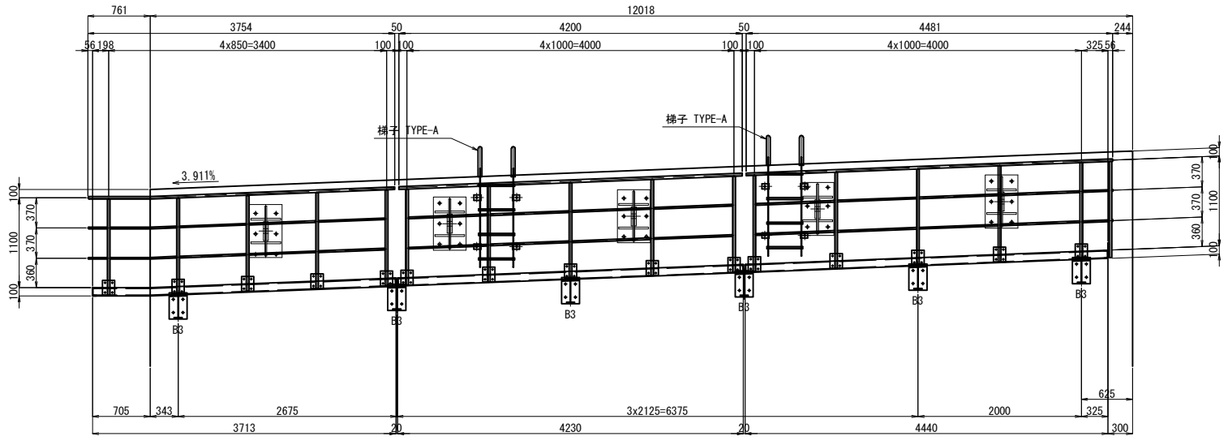
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その1)		
縮　尺	図　示	図面番号	96 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その2)　S=1:75

A2橋台 下部工検査路撤去図

正面図

A － A



1-FL00R PL 470x3.2x3744
2-[100x50x5x7.5x3014
1-[100x50x5x7.5x773
1-[100x50x5x7.5x705
1-[100x50x5x7.5x505
1-L 75x75x6x490
5-FB 75x6x490
1-PL 200x8x480
1-PL 80x8x480
40-BN M10x30 (1-TW,1-SW)

4-PL 150x6x180
8-PL 150x6x186
12-BN M16x35
12-BN M16x40
1-SGP 25Ax2995(SGP)
1-SGP 25Ax761(SGP)
1-SGP 25Ax534(SGP)
6-SGP 25Ax1180(SGP)
6-SGP 15Ax825(SGP)
2-SGP 15Ax330(SGP)
2-SGP 15Ax494(SGP)
2-SGP 15Ax235(SGP)
2-SGP 15Ax420(SGP)

1-FL00R PL 470x3.2x4183
2-[100x50x5x7.5x4237
2-L 75x75x6x490
5-FB 75x6x490
1-PL 200x8x480
2-PL 80x8x480
38-BN M10x30 (1-TW,1-SW)

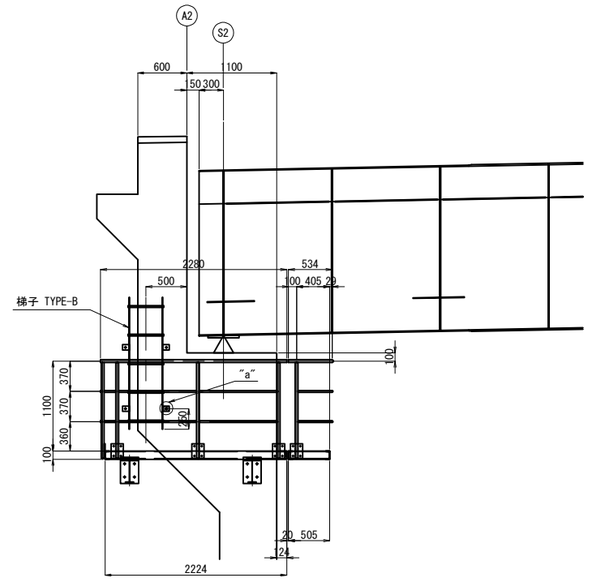
10-PL 150x6x186
10-BN M16x35
10-BN M16x40
1-SGP 25Ax4203(SGP)
5-SGP 25Ax1180(SGP)
8-SGP 15Ax975(SGP)

1-FL00R PL 470x3.2x4403
2-[100x50x5x7.5x4447
1-[100x50x5x7.5x500
1-L 75x75x6x490
5-FB 75x6x490
2-PL 200x8x480
1-PL 80x8x480
40-BN M10x30 (1-TW,1-SW)

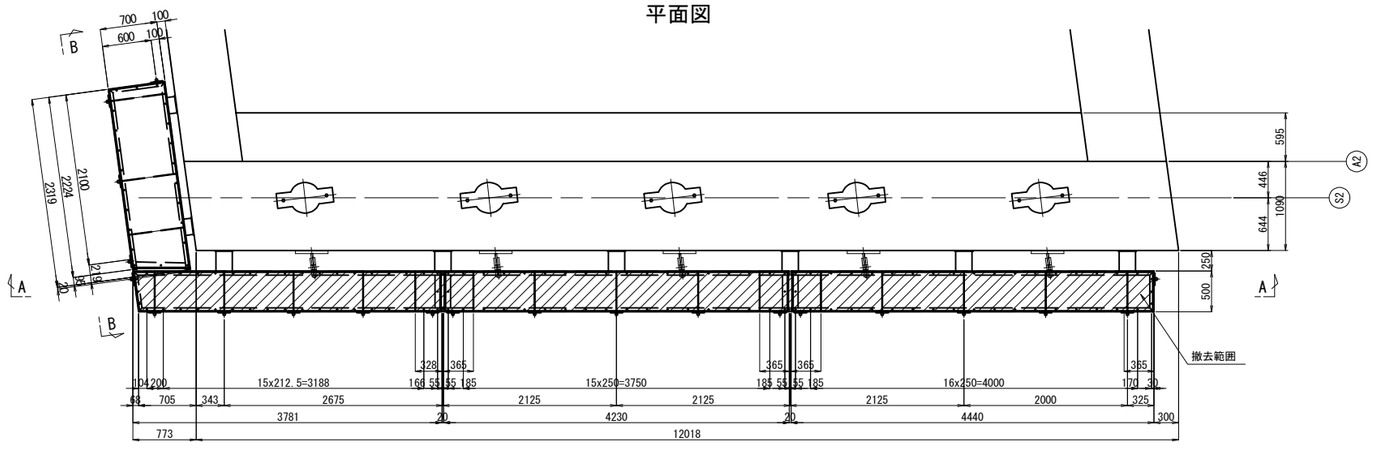
10-PL 150x6x186
2-PL 150x6x180
12-BN M16x35
12-BN M16x40
1-SGP 25Ax4484(SGP)
1-SGP 25Ax529(SGP)
6-SGP 25Ax1180(SGP)
8-SGP 15Ax975(SGP)
2-SGP 15Ax362(SGP)
2-SGP 15Ax416(SGP)

側面図

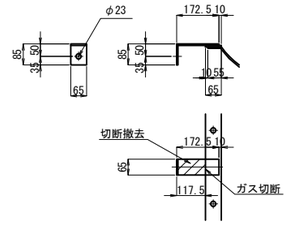
B － B



平面図



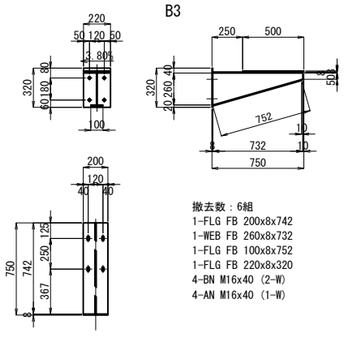
"a"部詳細　S=1:25



切断撤去数：1箇所
1-FB 65x6x203

ブラケット詳細　S=1:50

B3



撤去数：6組
1-FLG FB 200x8x742
1-WEB FB 260x8x732
1-FLG FB 100x8x752
1-FLG FB 220x8x320
4-BN M16x40 (2-W)
4-AN M16x40 (1-W)

注 記

1．特記なき材質は全てSS400とする。

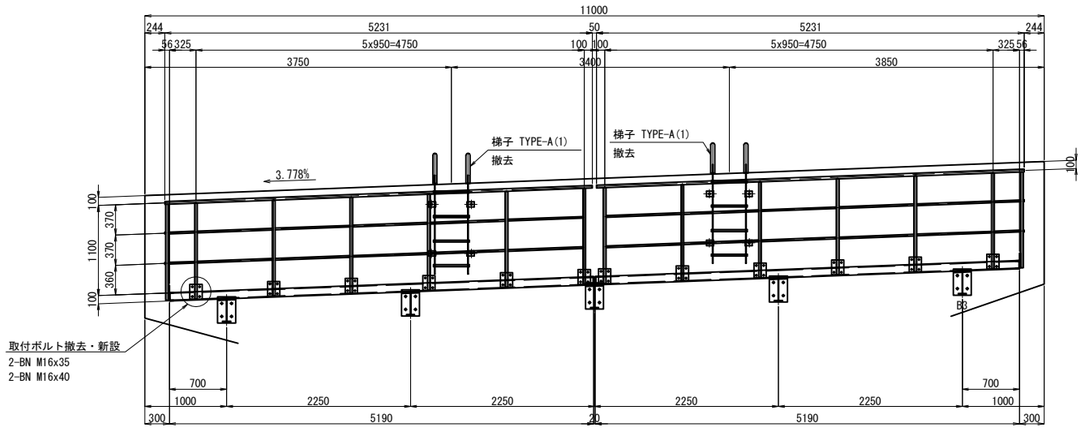
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その2)		
縮　尺	図　示	図面番号	97 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その3)　S=1:75

P4橋脚 下部工検査路撤去図

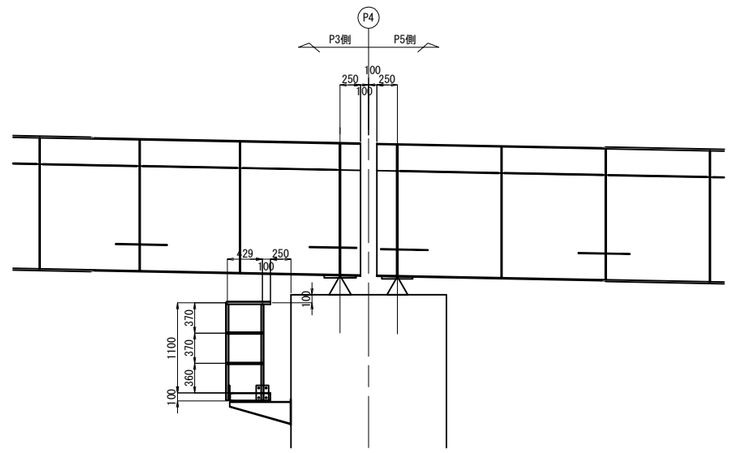
正面図

A － A

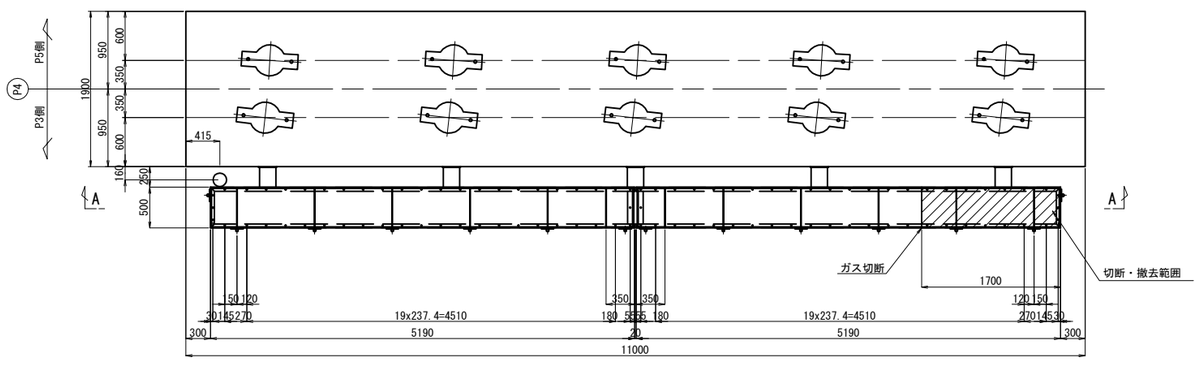


側面図

B － B



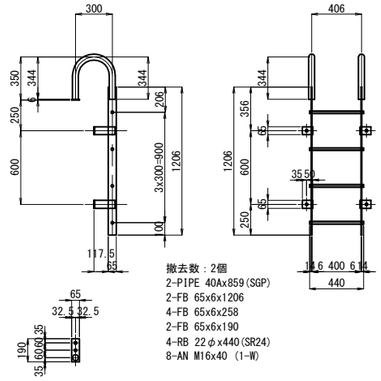
平面図



1-FLOOR PL 470x3.2x1685
2-[100x50x5x7.5x1701
1-[100x50x5x7.5x500
2-FB 75x6x490
1-PL 200x8x480
17-BN M10x30(テーパー座金付)
2-PL 150x6x180
4-PL 150x6x186
6-BN M16x35
6-BN M16x40
1-SGP 25Ax1757
1-SGP 25Ax529
3-SGP 25Ax1180
2-SGP 15Ax925
2-SGP 15Ax412
2-SGP 15Ax362
2-SGP 15Ax416

梯子 TYPE-A(1) S=1:50

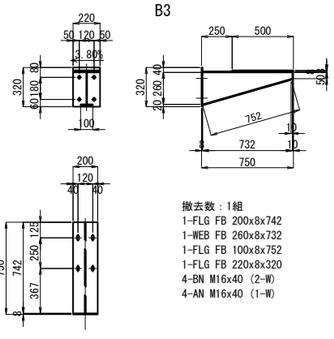
既設梯子



撤去数：2個
2-PIPE 40Ax859(SGP)
2-FB 65x6x1206
4-FB 65x6x258
2-FB 65x6x190
4-RB 22φx440(SR24)
8-AN M16x40 (1-W)

ブラケット詳細 S=1:50

B3



撤去数：1組
1-FLG FB 200x8x742
1-WEB FB 260x8x732
1-FLG FB 100x8x752
1-FLG FB 220x8x320
4-BN M16x40 (2-W)
4-AN M16x40 (1-W)

注 記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。

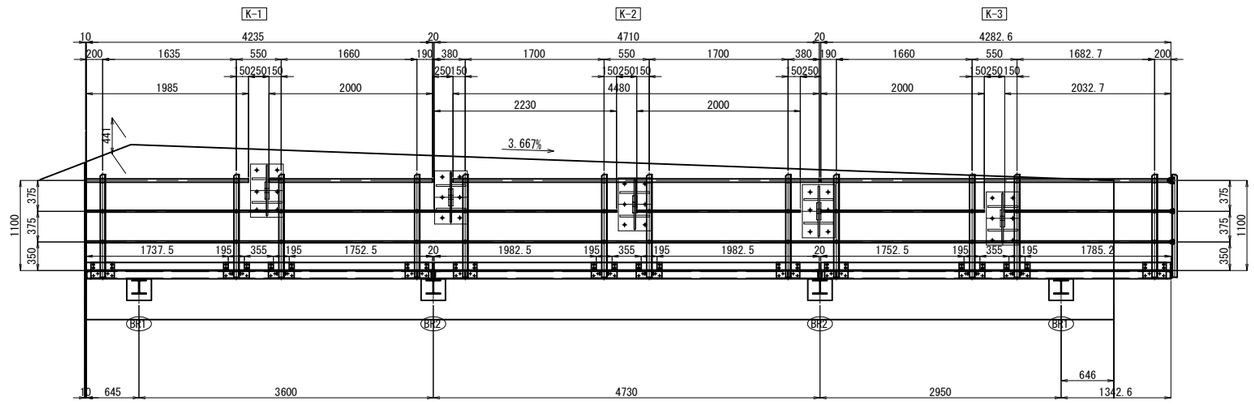
常盤自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その3)		
縮　尺	図　示	図面番号	98 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その4)　S=1:75

A1橋台 下部工検査路新設詳細図

正面図

A - A



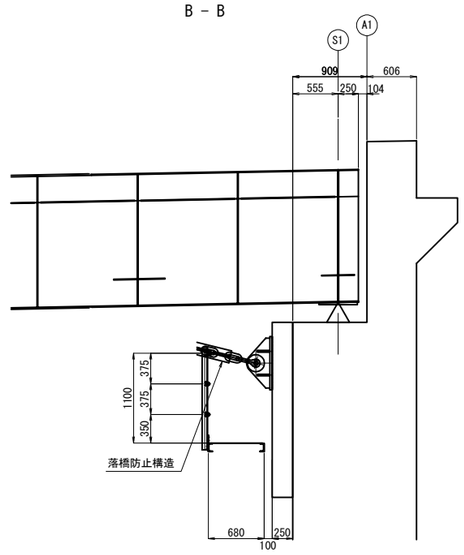
K-1 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x1985(STK400)
1-PIPE φ42.7x2.3x2000(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x4235(STK400)
4-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x1738
1-PL 90x3.2x1753
1-PL 90x3.2x355
2-PL 190x12x285(SM400A)
2-PL 190x12x315(SM400A)
16-BN M16x45(2-W)
16-BN M10x35(2-W)
4-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

K-2 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x4480(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x2230(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x2000(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x4710(STK400)
4-L 65x65x6x1258
2-PL 90x3.2x1983
1-PL 90x3.2x355
2-PL 190x12x285(SM400A)
2-PL 190x12x315(SM400A)
16-BN M16x45(2-W)
16-BN M10x35(2-W)
4-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

K-3 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x4283(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x2000(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x2033(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x4283(STK400)
4-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x1753
1-PL 90x3.2x355
1-PL 90x3.2x1785
2-PL 190x12x285(SM400A)
2-PL 190x12x315(SM400A)
16-BN M16x45(2-W)
16-BN M10x35(2-W)
4-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

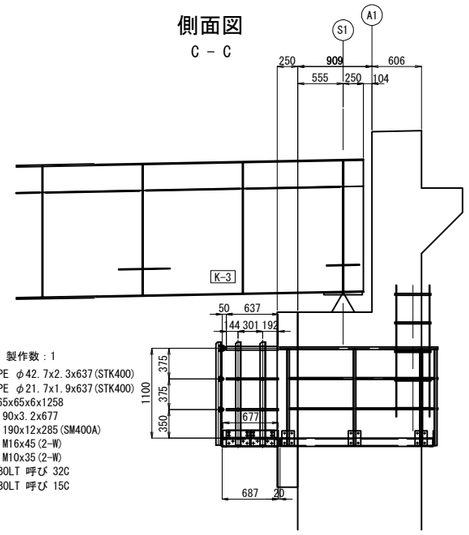
側面図

B - B



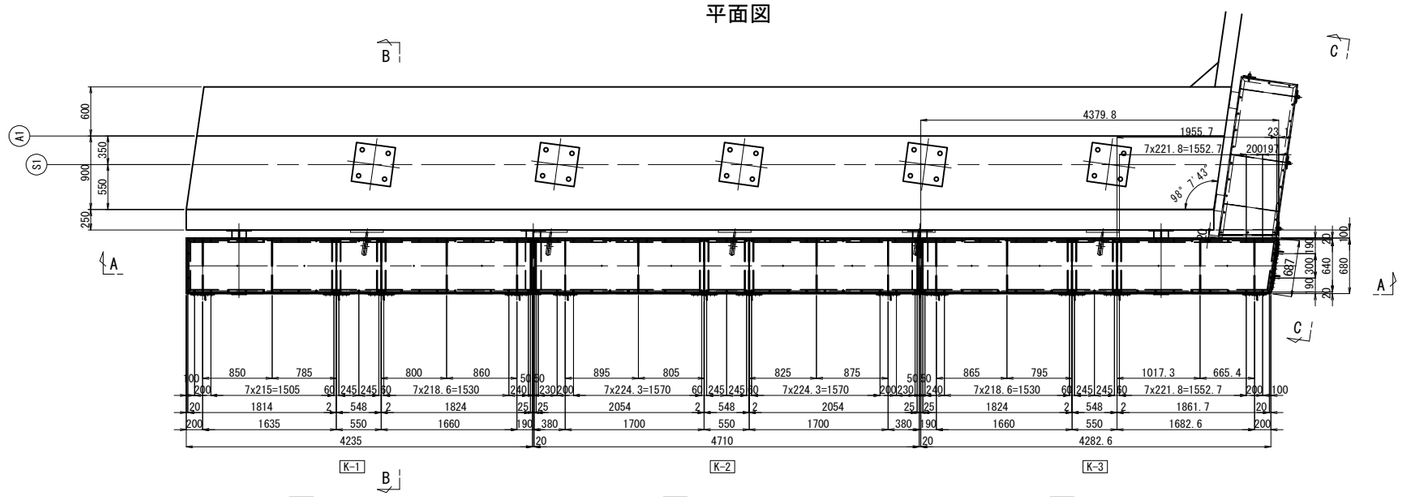
側面図

C - C



K-3 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x637(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x637(STK400)
2-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x677
2-PL 190x12x285(SM400A)
8-BN M16x45(2-W)
8-BN M10x35(2-W)
2-U.BOLT 呼び 32C
4-U.BOLT 呼び 15C

平面図



K-1 製作数：1
1-Ch.PL 640x3.2x1814(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x548(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x1824(SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x4235
1-CH 100x50x5x7.5x680
1-L 75x75x6x670
4-L 50x50x6x670
4-FB 90x9x670
1-PL 160x9x660(SM400A)
1-PL 60x9x660(SM400A)
44-BN M10x30(1-W,1-TW付)

K-2 製作数：1
2-Ch.PL 640x3.2x2054(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x548(SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x4710
2-L 75x75x6x670
4-L 50x50x6x670
4-FB 90x9x670
2-PL 60x9x660(SM400A)
46-BN M10x30(1-W,1-TW付)

K-3 製作数：1
1-Ch.PL 640x3.2x1824(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x548(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x1956(SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7.5x4283
1-CH 100x50x5x7.5x4380
1-CH 100x50x5x7.5x687
1-L 75x75x6x670
4-L 50x50x6x670
4-FB 90x9x670
1-PL 160x9x660(SM400A)
1-PL 60x9x660(SM400A)
44-BN M10x30(1-W,1-TW付)

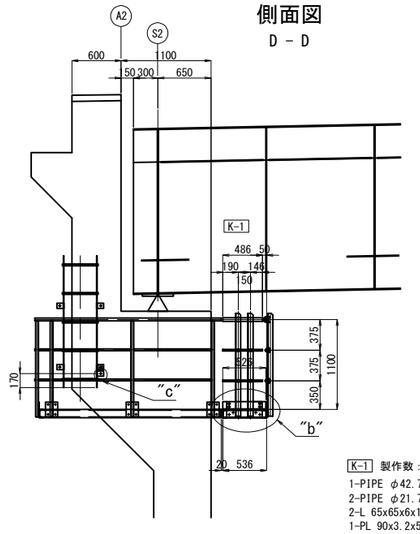
注記
1．特記なき材質は全てSS400とする。
2．Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3．鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT77とする。
4．ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
5．床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けるのが良い。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その4)		
縮　尺	図　示	図面番号	99 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その5)　S=1:75

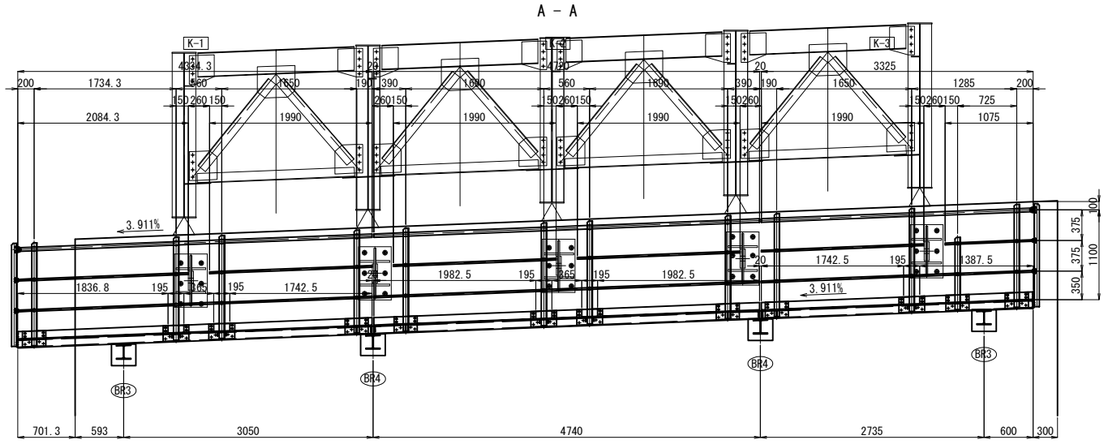
A2橋台 下部工検査路新設詳細図

側面図
D - D



K-1 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x486(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x486(STK400)
2-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x526
1-PL 190x12x435(SM400A)
4-BN M16x45(2-W)
4-BN M10x35(2-W)
2-U.BOLT 呼び 32C
4-U.BOLT 呼び 15C

正面図
A - A

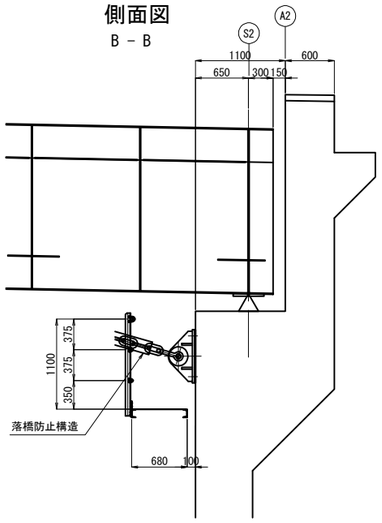


K-1 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x4338(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x2086(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x1992(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x4338(STK400)
4-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x1837
1-PL 90x3.2x1743
1-PL 90x3.2x365
2-PL 201x12x285(SM400A)
2-PL 202x12x315(SM400A)
16-BN M16x45(2-W)
16-BN M10x35(2-W)
4-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

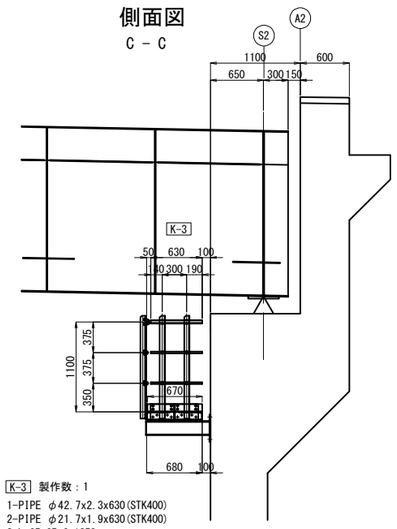
K-2 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x4724(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x1992(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x4724(STK400)
4-L 65x65x6x1258
2-PL 90x3.2x1983
1-PL 90x3.2x365
2-PL 201x12x285(SM400A)
2-PL 202x12x315(SM400A)
16-BN M16x45(2-W)
16-BN M10x35(2-W)
4-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

K-3 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x3328(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x1992(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x1076(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x3328(STK400)
3-L 65x65x6x1258
1-L 65x65x6x883
1-PL 90x3.2x1743
1-PL 90x3.2x1388
3-PL 201x12x285(SM400A)
1-PL 202x12x315(SM400A)
16-BN M16x45(2-W)
16-BN M10x35(2-W)
3-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

側面図
B - B

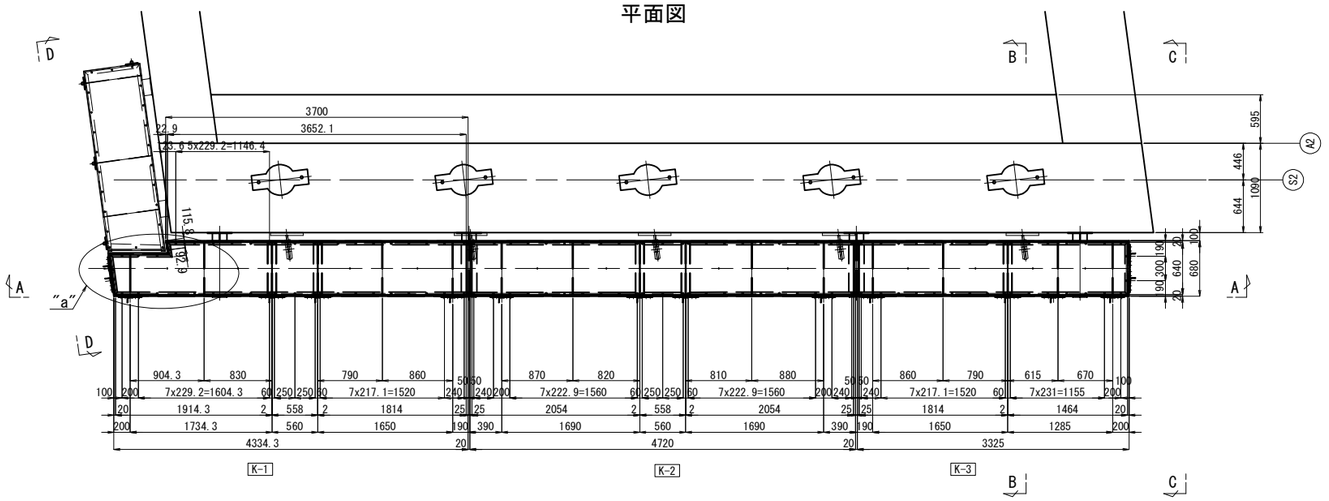


側面図
C - C



K-3 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x630(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x630(STK400)
2-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x670
2-PL 190x12x285(SM400A)
8-BN M16x45(2-W)
8-BN M10x35(2-W)
2-U.BOLT 呼び 32C
4-U.BOLT 呼び 15C

平面図

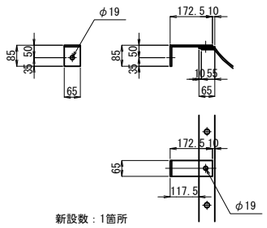


K-1 製作数：1
1-Ch.PL 640x3.2x1915(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x558(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x1815(SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7.5x4337
1-CH 100x50x5x7.5x3703
1-CH 100x50x5x7.5x209
1-CH 100x50x5x7.5x785
1-CH 100x50x5x7.5x535
1-L 75x75x6x670
4-L 50x50x6x670
3-FB 90x9x670
1-FB 90x9x525
1-PL 160x18x660(SM400A)
1-PL 60x14x660(SM400A)
45-BN M10x30(1-W,1-TW付)

K-2 製作数：1
2-Ch.PL 640x3.2x2056(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x558(SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x4723
2-L 75x75x6x670
4-L 50x50x6x670
4-FB 90x9x670
1-PL 60x18x660(SM400A)
1-PL 60x14x660(SM400A)
46-BN M10x30(1-W,1-TW付)

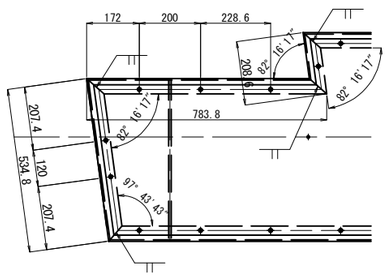
K-3 製作数：1
1-Ch.PL 640x3.2x1815(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x1465(SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x3327
1-CH 100x50x5x7.5x680
1-L 75x75x6x670
2-L 50x50x6x670
4-FB 90x9x670
1-PL 160x18x660(SM400A)
1-PL 60x18x660(SM400A)
34-BN M10x30(1-W,1-TW付)

"c"部詳細　S=1:25
新設取付金具

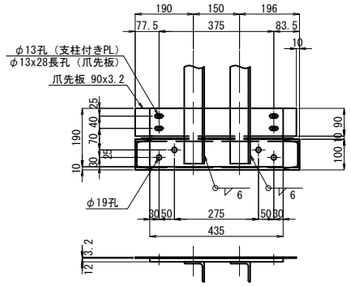


新設数：1箇所
1-FB 65x6x258
1-BN M16x45(2-W)
1-スリーブ打込式アンカーボルト M16x100

"a"部詳細　S=1:20



"b"部詳細　S=1:20



注記
1．特記なき材質は全てSS400とする。
2．Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3．鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT77とする。
4．ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
5．床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けるのが良い。

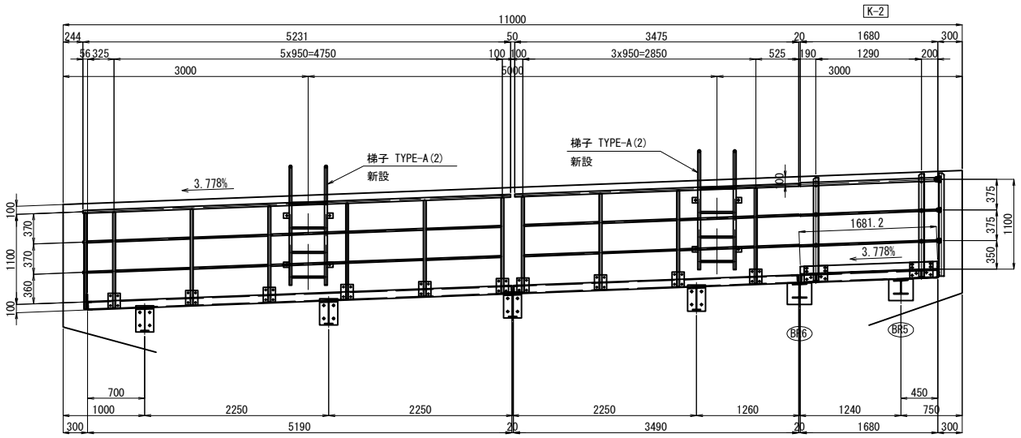
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その5)		
縮　尺	図　示	図面番号	100 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その6)　S=1:75

P4橋脚 下部工検査路新設詳細図

正面図

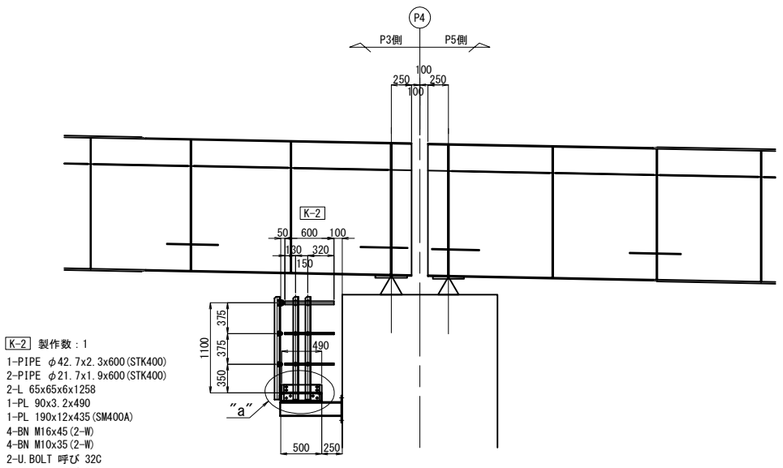
A － A



K-2 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x1681(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x1681(STK400)
2-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x1681
2-PL 201x12x285(SM400A)
8-BN M16x45(2-W)
8-BN M10x35(2-W)
2-U.BOLT 呼び 32C
4-U.BOLT 呼び 15C

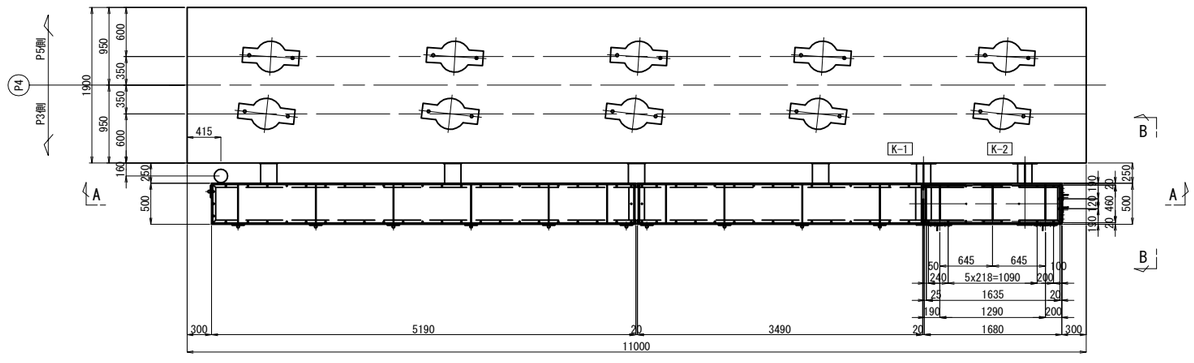
側面図

B － B



K-2 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x600(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x600(STK400)
2-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x490
1-PL 190x12x435(SM400A)
4-BN M16x45(2-W)
4-BN M10x35(2-W)
2-U.BOLT 呼び 32C
4-U.BOLT 呼び 15C

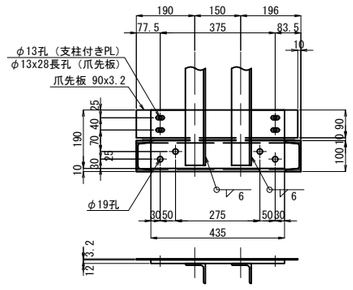
平面図



K-1 製作数：1
1-L 75x75x6x490
1-PL 60x14x480(SM400A)

K-2 製作数：1
1-Ch.PL 460x3.2x1636(SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x1681
1-CH 100x50x5x7.5x500
1-L 75x75x6x490
3-FB 90x9x490
1-PL 160x17x480(SM400A)
1-PL 60x17x480(SM400A)
18-BN M10x30(1-W,1-TW付)

"a"部詳細　S=1:20



既設側掛け違い部　S=1:20

梯子 TYPE-A(2)　S=1:50

新設梯子

(製作数：2)
1-PIPE φ34x2.3x1957(STK400)
1-PIPE φ34x2.3x1973(STK400)
4-RB φ22x430
4-FB 65x6x268
2-FB 65x6x190
8-打込式アンカー M16x100

C － C　S=1:25

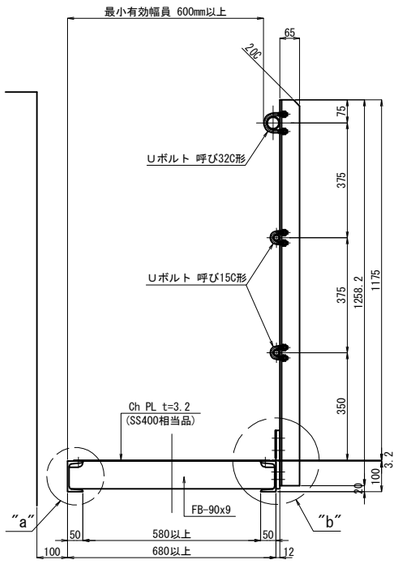
D － D　S=1:25

注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT77とする。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けるのが良い。

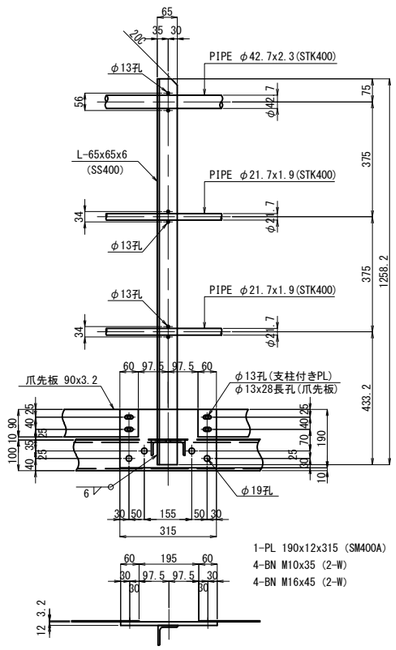
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その6)		
縮　尺	図　示	図面番号	101 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 下部工検査路B 撤去・設置工(その7) S=1:20

歩廊断面及び構造詳細図

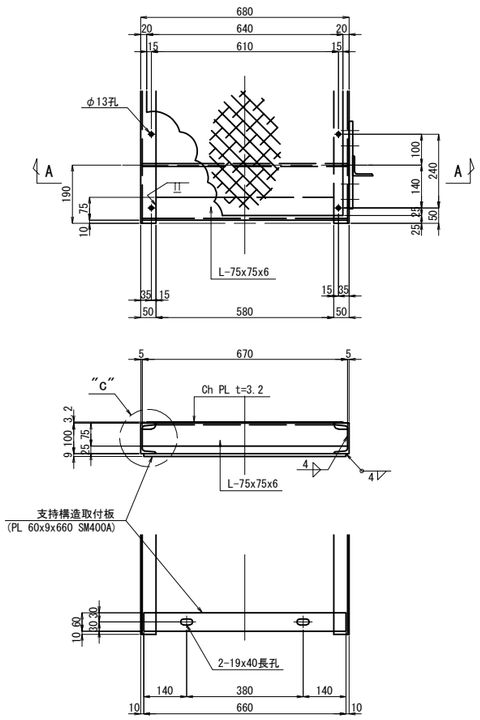


共通詳細図

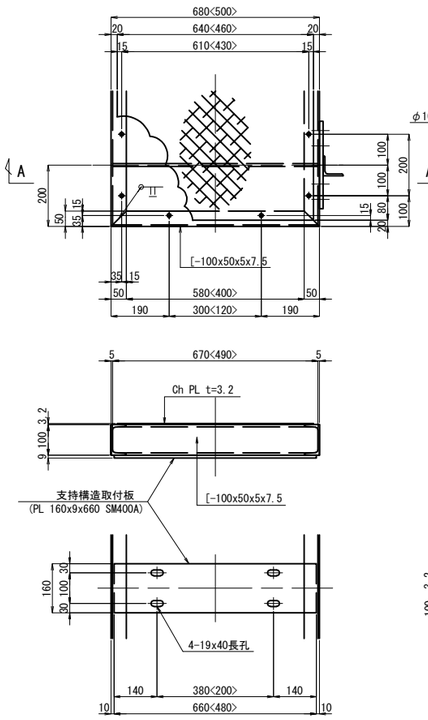


歩廊端部詳細図

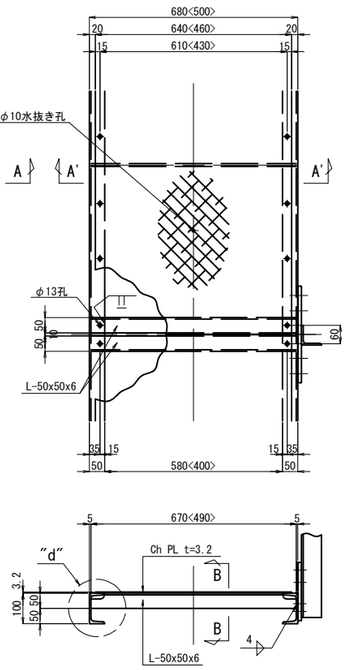
掛け違い部



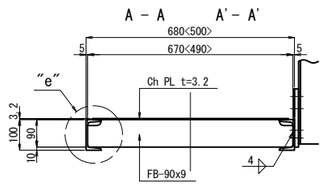
端部



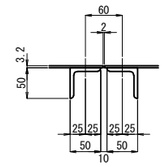
歩廊中間部詳細図



A - A　A' - A'

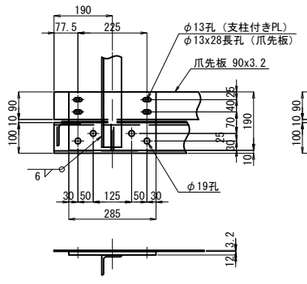


B - B S=1:10

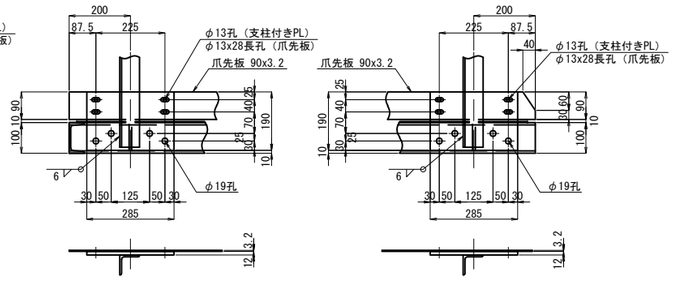


端支柱部

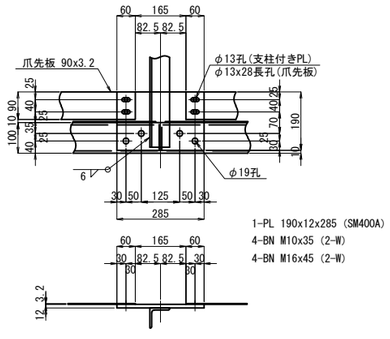
掛け違い部



一般部

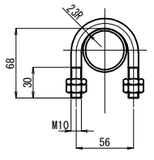


中間支柱部

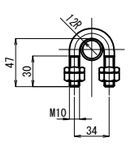


Uボルト詳細 S=1:6

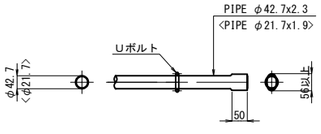
呼び32C形
(PIPE φ42.7用)



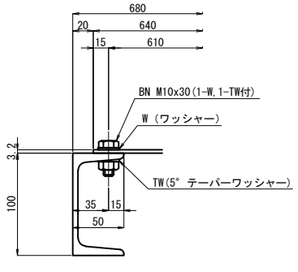
呼び15C形
(PIPE φ21.7用)



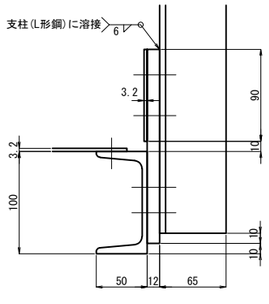
手摺り抜け落ち防止加工



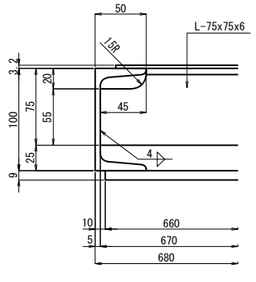
"a"部詳細 S=1:6



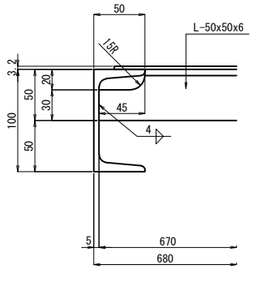
"b"部詳細 S=1:6



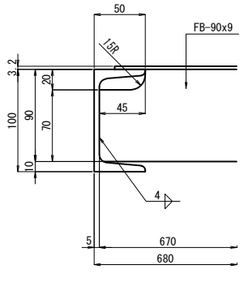
"c"部詳細 S=1:6



"d"部詳細 S=1:6



"e"部詳細 S=1:6



メッキ部材表

便覧規格	規格	付着量	検査路適用鋼材
厚さ3.2mm未満の鋼板	HDZ 35	350g/m2以上	チェッカープレート
普通ボルト			手摺りパイプ
手摺りパイプ、縞鋼板			普通ボルト・ナット
厚さ3.2mm以上の鋼板、形鋼	HDZ 55	550g/m2以上	形鋼、プレート
高力ボルト			高力ボルト・ナット

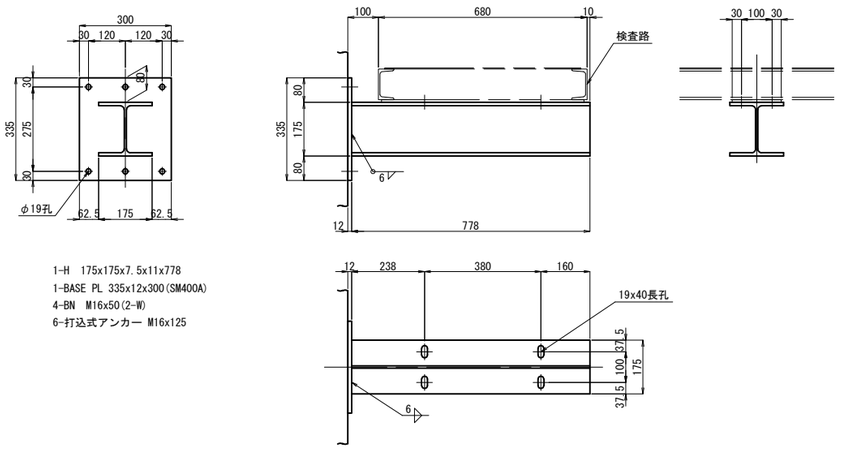
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT77とする。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けるのが良い。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工検査路B 撤去・設置工(その7)		
縮尺	図示	図面番号	102 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その8)　S=1:20

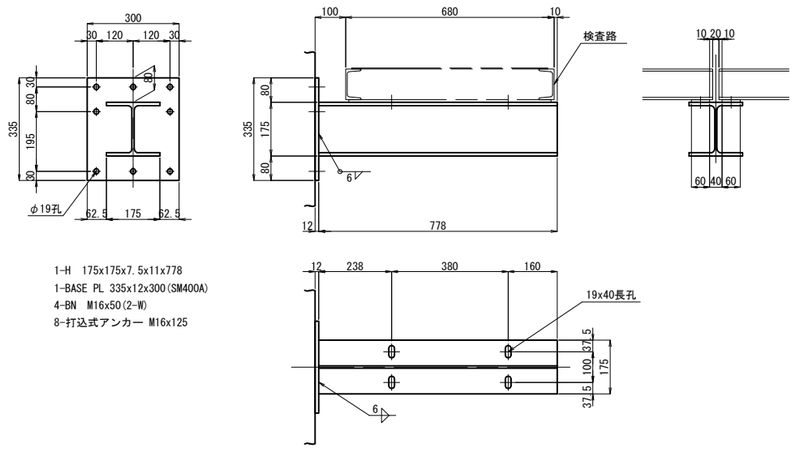
ブラケット詳細図

BR1
（製作数：2）



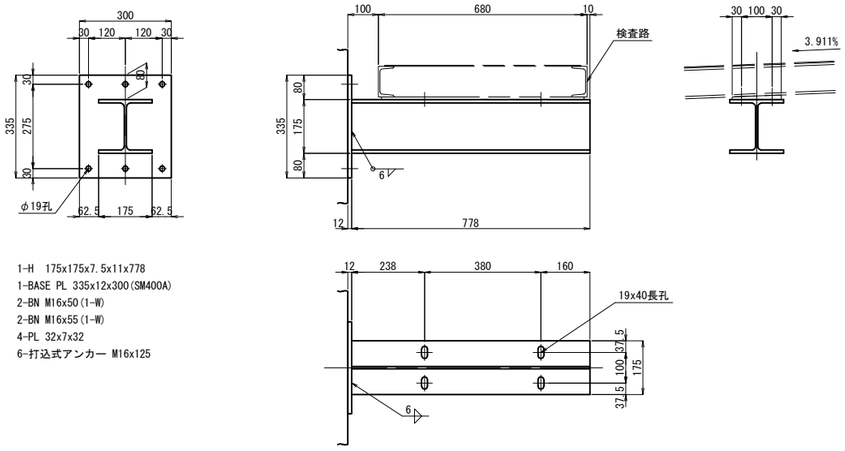
1-H　175x175x7.5x11x778
1-BASE PL 335x12x300(SM400A)
4-BN　M16x50(2-W)
6-打込式アンカー M16x125

BR2
（製作数：2）



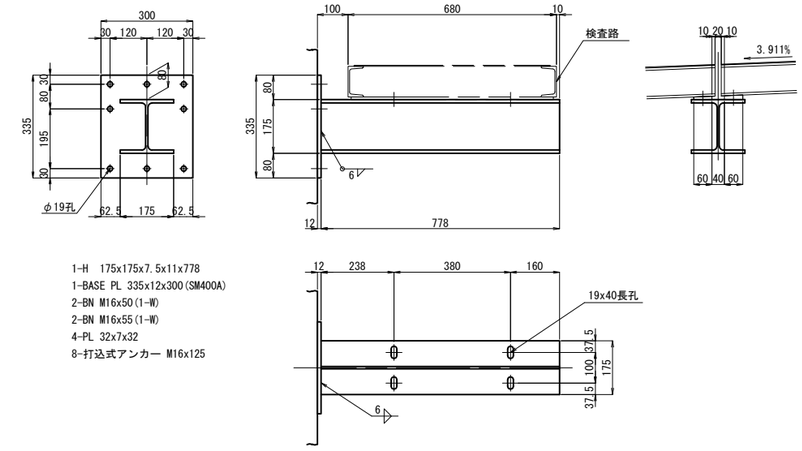
1-H　175x175x7.5x11x778
1-BASE PL 335x12x300(SM400A)
4-BN　M16x50(2-W)
8-打込式アンカー M16x125

BR3
（製作数：2）



1-H　175x175x7.5x11x778
1-BASE PL 335x12x300(SM400A)
2-BN M16x50(1-W)
2-BN M16x55(1-W)
4-PL 32x7x32
6-打込式アンカー M16x125

BR4
（製作数：2）

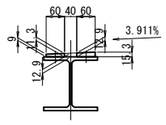


1-H　175x175x7.5x11x778
1-BASE PL 335x12x300(SM400A)
2-BN M16x50(1-W)
2-BN M16x55(1-W)
4-PL 32x7x32
8-打込式アンカー M16x125

支持構造取付板詳細

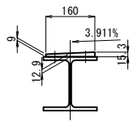
A2橋台側

掛け違い部



1-PL 60x14x660(SM400A)
1-PL 60x18x660(SM400A)

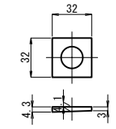
端部



1-PL 160x18x660(SM400A)

テーパ座金詳細　S=1:5

A2橋台側



1-PL 32x7x32

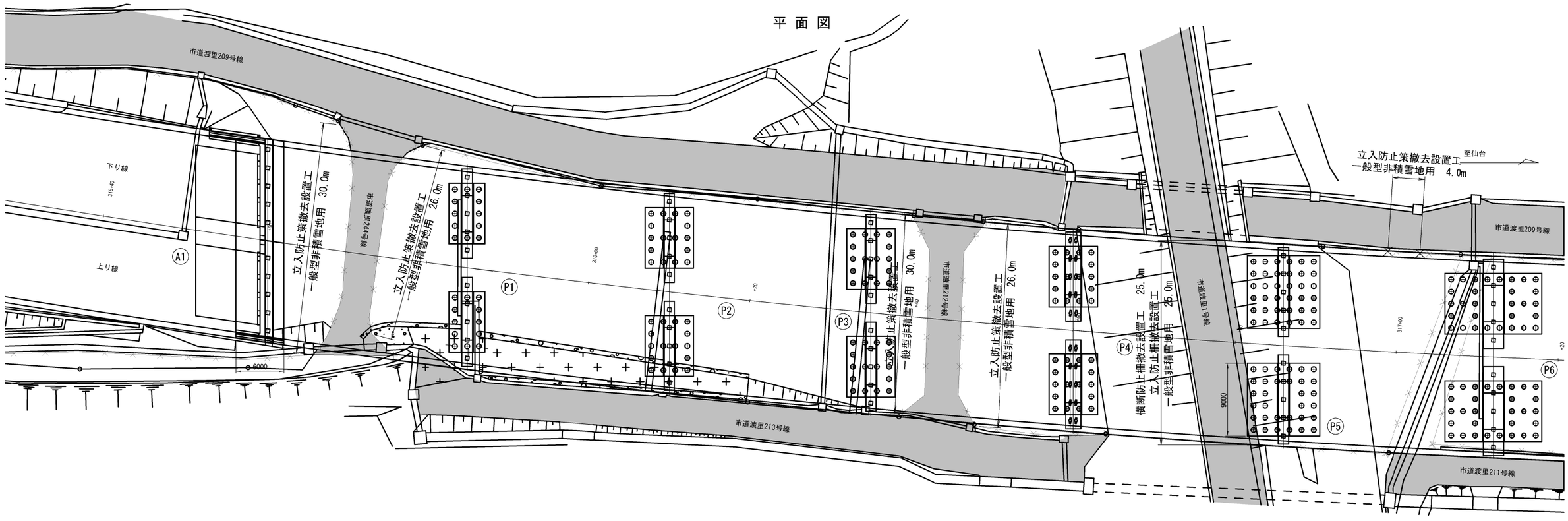
注 記
1．特記なき材質は全てSS400とする。
2．Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3．鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZT77とする。
4．ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 下部工検査路B　撤去・設置工(その8)		
縮　尺	図　示	図面番号	103 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 防護柵・立入防止柵・横断防止柵　撤去設置工　平面図（その1）

S=1:500

平 面 図



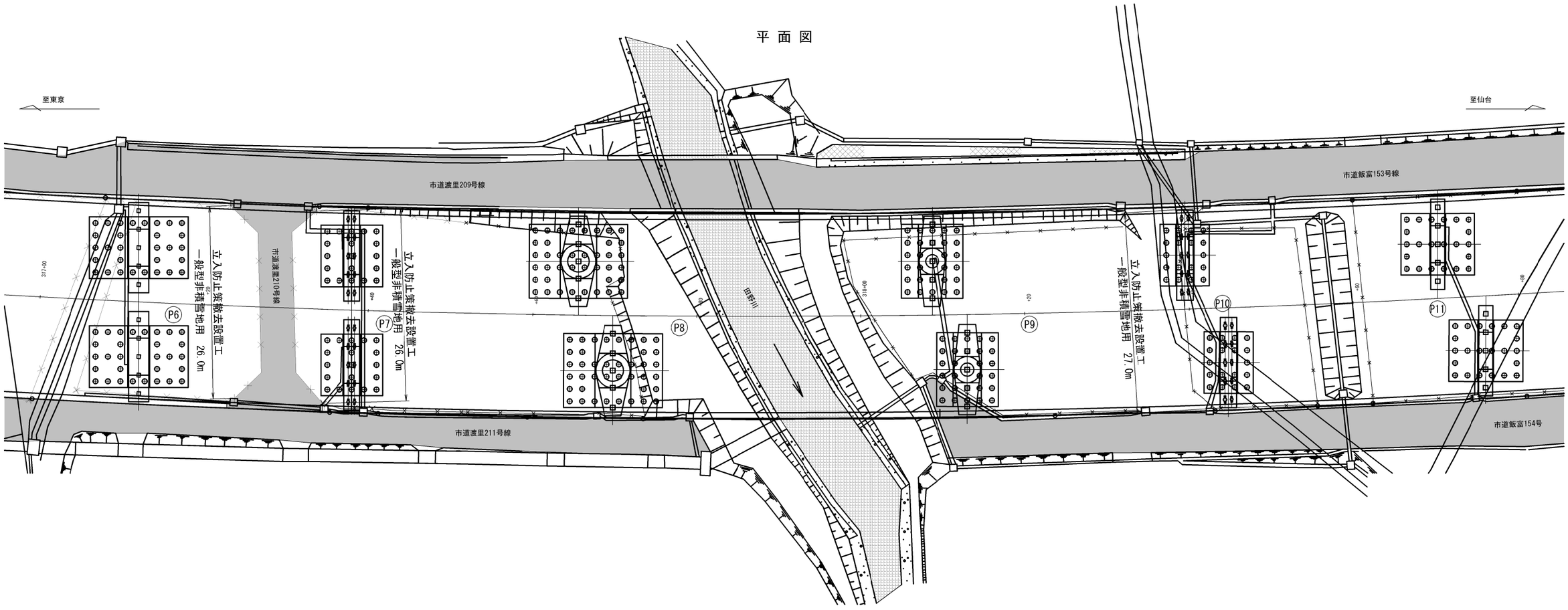
※撤去設置工の延長は上下線の合計であり、数量は上り線に計上する

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 防護柵・立入防止柵・横断防止柵 撤去設置工　平面図(その1)		
縮　尺	図　示	図面番号	104 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 防護柵・立入防止柵・横断防止柵　撤去設置工　平面図（その2）

S=1:500

平 面 図



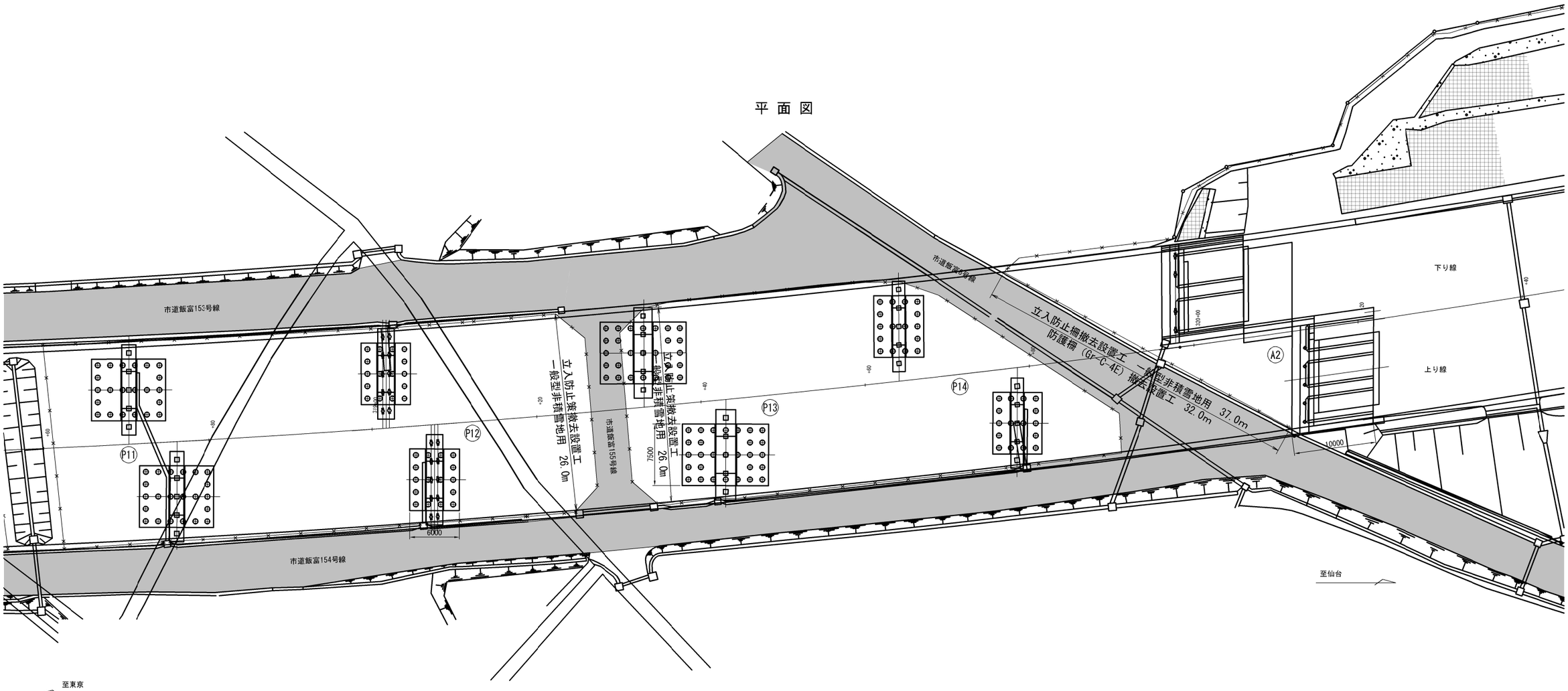
※撤去設置工の延長は上下線の合計であり、数量は上り線に計上する

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 防護柵・立入防止柵・横断防止柵 撤去設置工　平面図(その2)		
縮　尺	図　示	図面番号	105 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 防護柵・立入防止柵・横断防止柵　撤去設置工　平面図（その3）

S=1:500

平 面 図

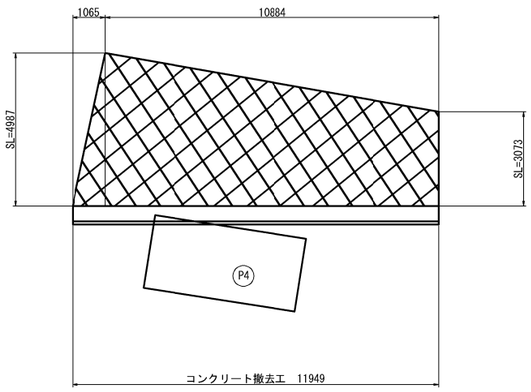


※撤去設置工の延長は上下線の合計であり、数量は上り線に計上する

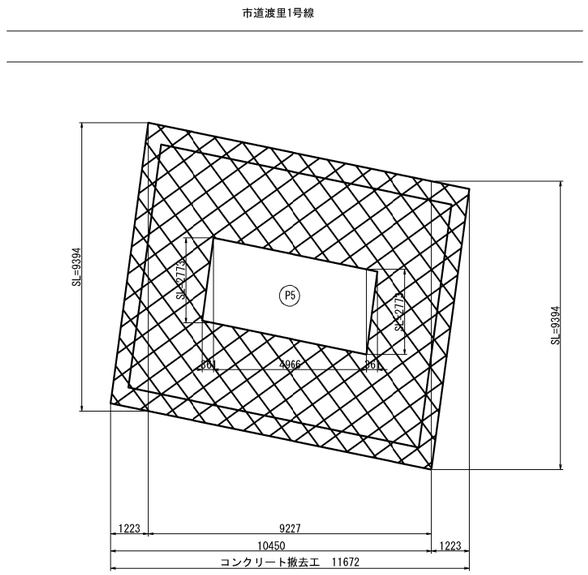
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 防護柵・立入防止柵・横断防止柵 撤去設置工　平面図(その3)		
縮　尺	図　示	図面番号	106 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) P4、P5橋脚コンクリートブロック張り撤去図 S=1:500

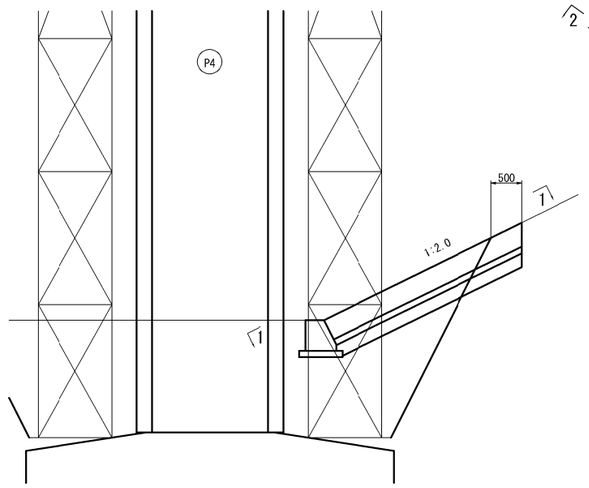
1－1 展 開 図 S=1:200



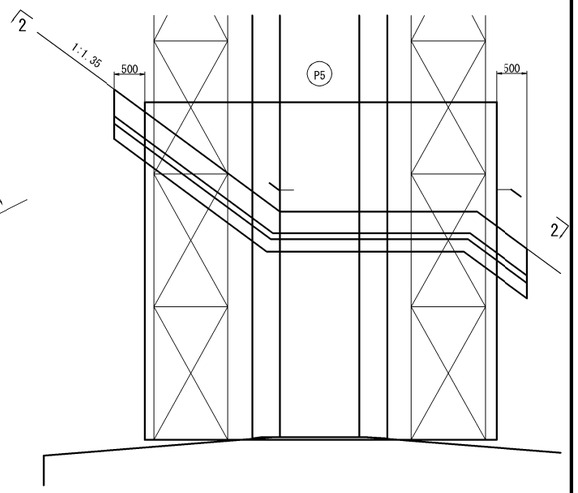
2－2 展 開 図 S=1:200



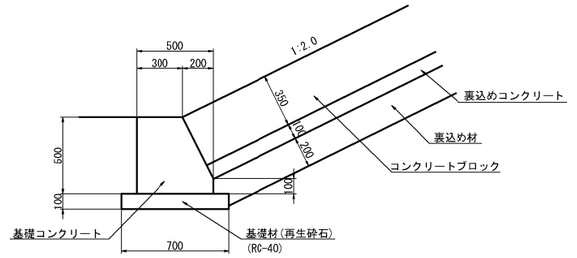
3－3 断 面 図 S=1:100



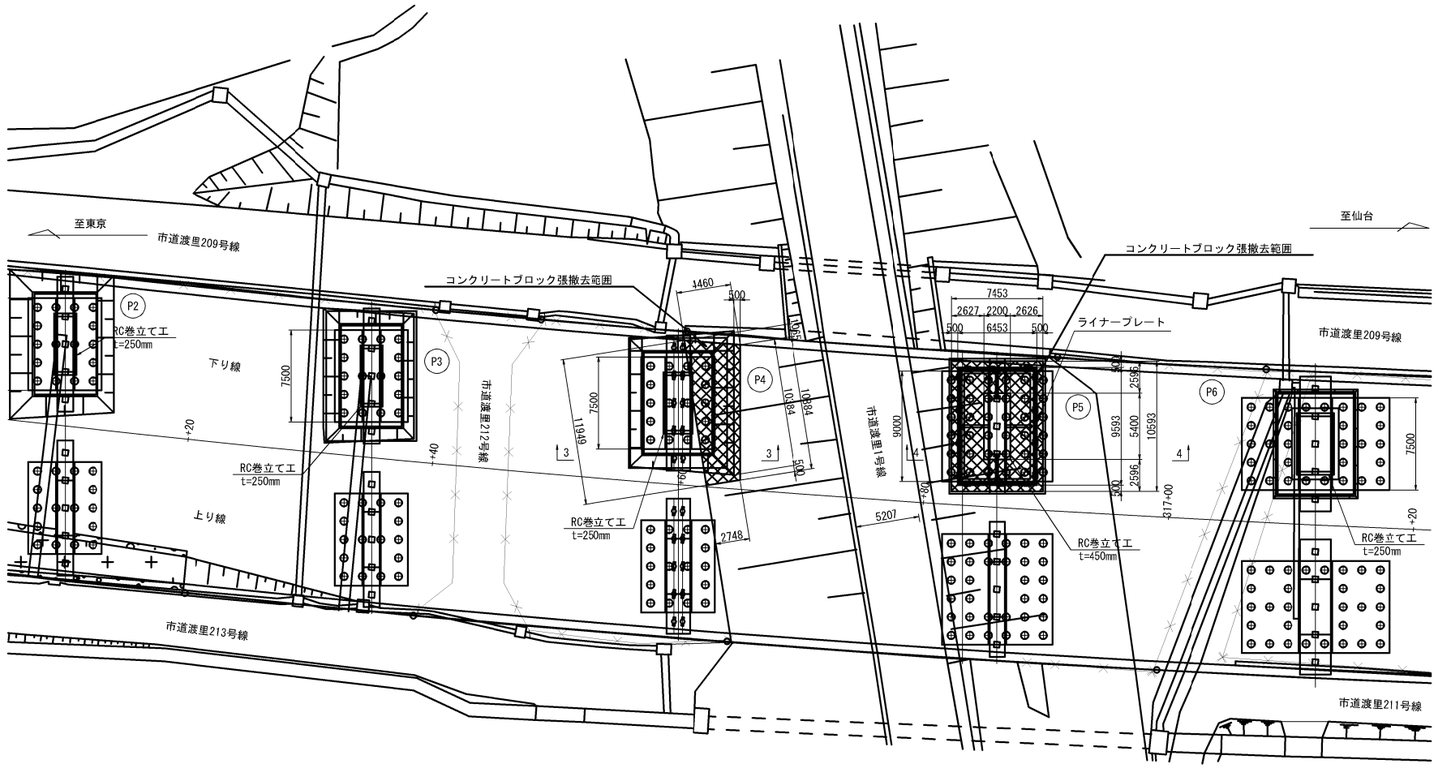
4－4 断 面 図 S=1:100



基礎工詳細図 S=1:40



平 面 図

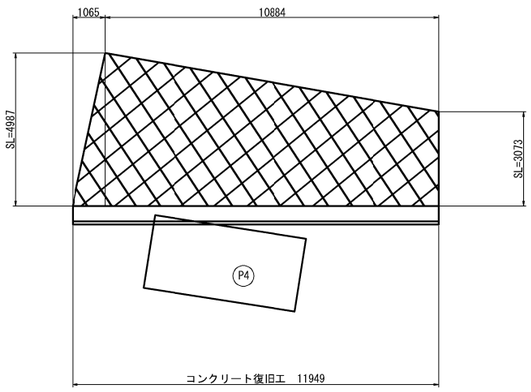


注記
・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
・施工前に現況を再度調査・寸法計測すること。

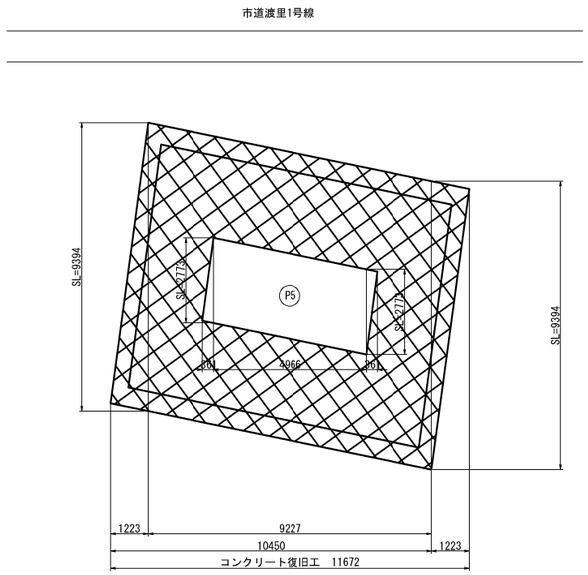
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) P4、P5橋脚コンクリートブロック張り撤去図		
縮 尺	図 示	図面番号	107 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) P4、P5橋脚コンクリートブロック張り復旧図 S=1:500

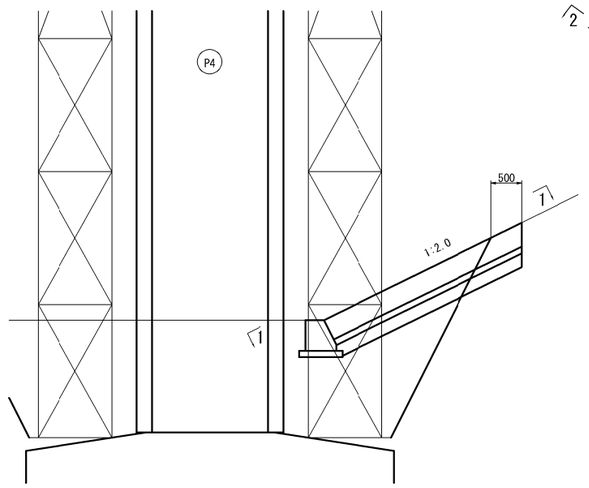
1 - 1 展 開 図 S=1:200



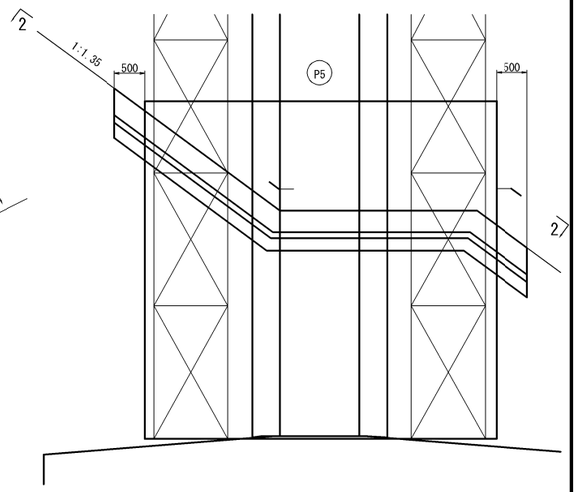
2 - 2 展 開 図 S=1:200



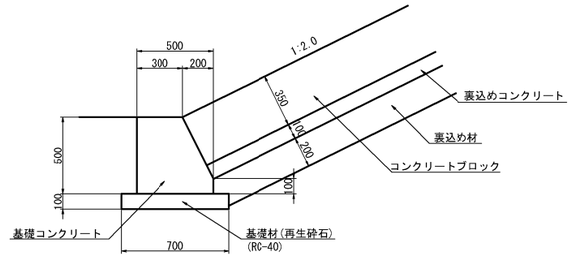
3 - 3 断 面 図 S=1:100



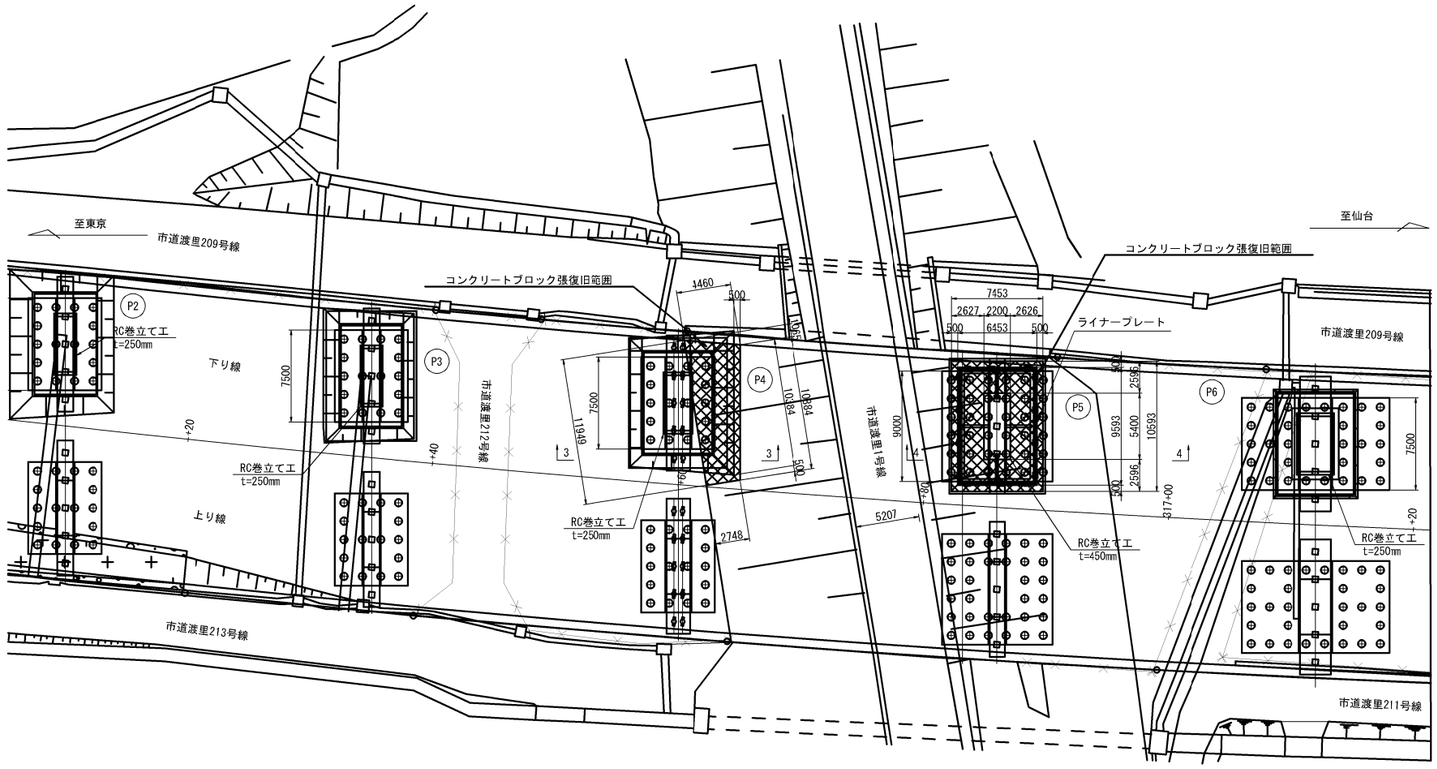
4 - 4 断 面 図 S=1:100



基礎工詳細図 S=1:40



平 面 図

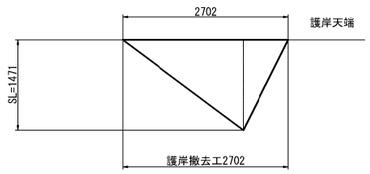


注記
・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
・施工前に現況を再度調査・寸法計測すること。

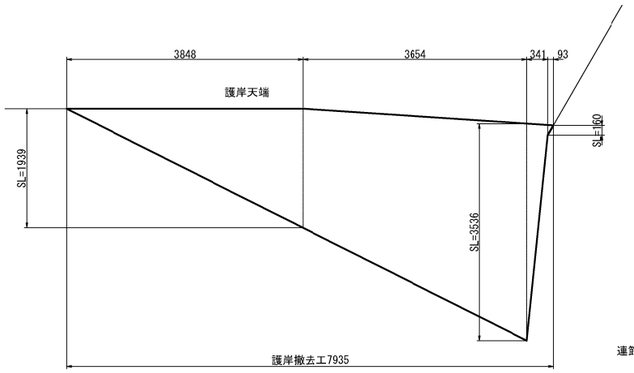
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) P4、P5橋脚コンクリートブロック張り復旧図		
縮 尺	図 示	図面番号	108 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 護岸撤去図　S=1:500

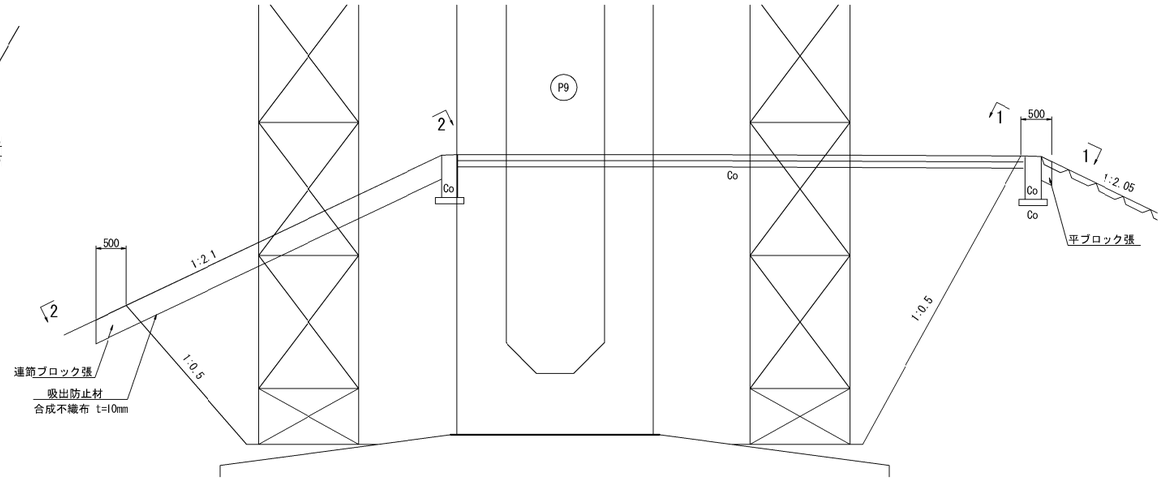
1－1展　開　図 S=1:100



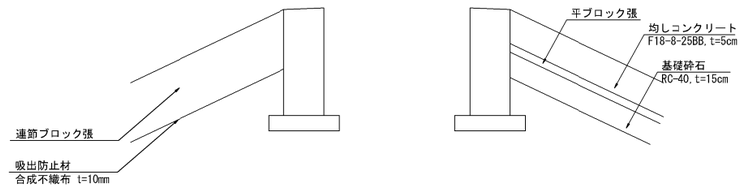
2－2展　開　図 S=1:100



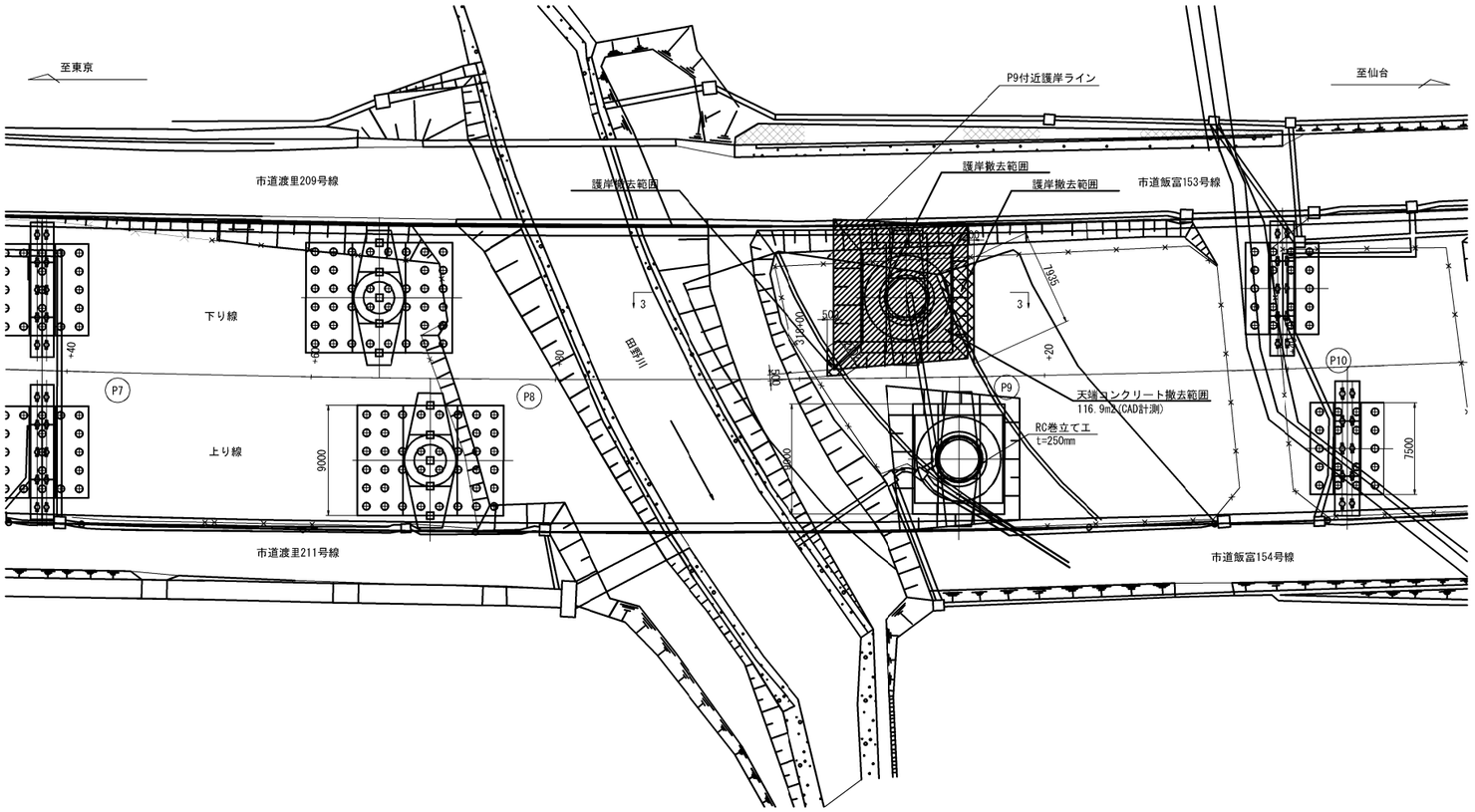
3－3断　面　図 S=1:100



天端詳細図　S=1:40



平　面　図



撤去数量表

項　目		単位	数量	備　考
連節ブロック張	150kg未満/個	m2	14.4	
連結線	亜鉛アルミニュウム メッキ鋼線φ6mm	t	0.013	14.4×4×0.22=13kg
吸出防止材(t=10mm)		m2	14.4	

項　目		単位	数量	備　考
平ブロック張	150kg未満/個	m2	2.0	
均しコンクリート	F18-8-25BB, t=5cm	m2	2.0	
基礎砕石	RC-40, t=15cm	m2	2.0	

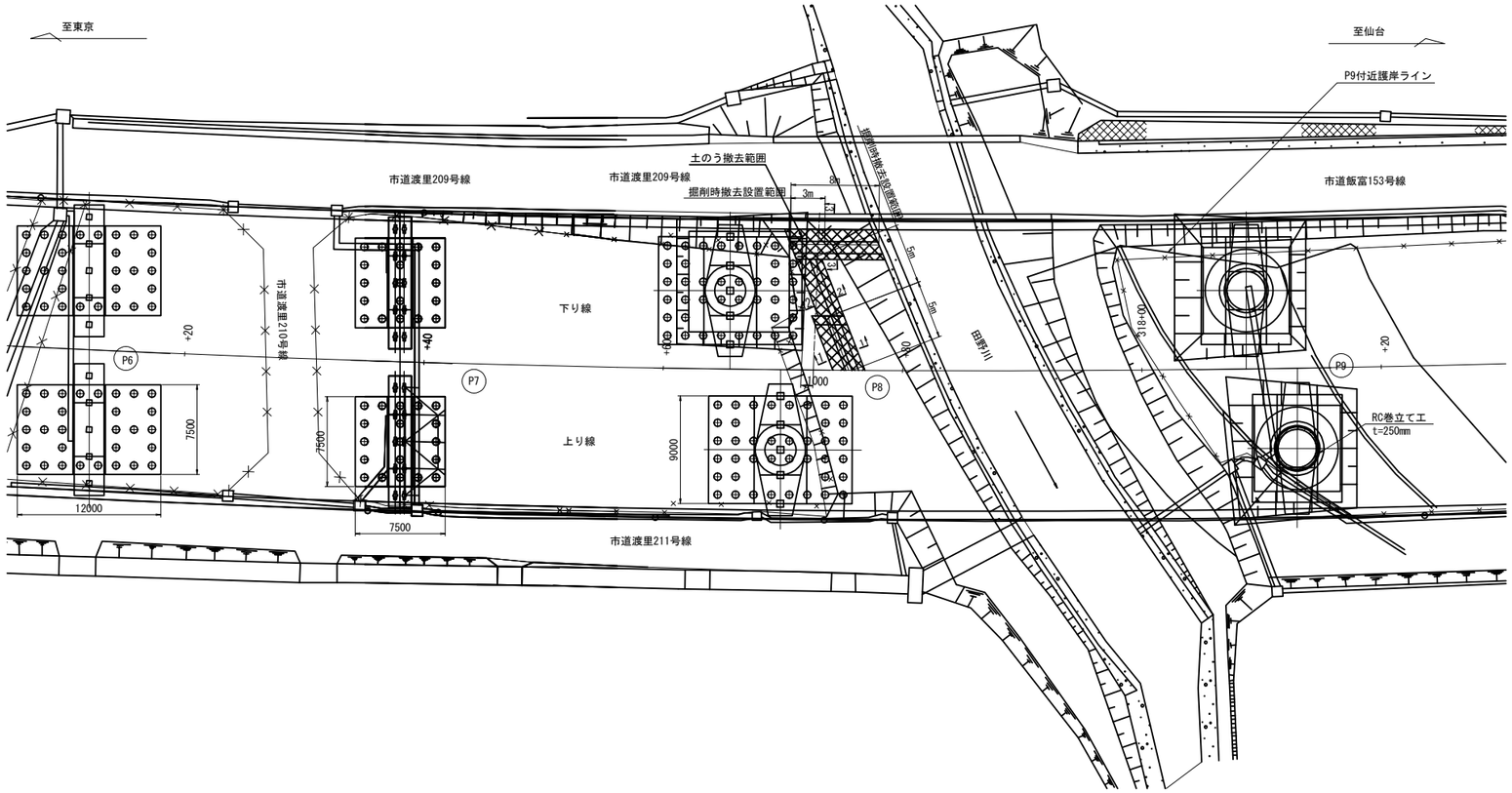
項　目		単位	数量	備　考
天端コンクリート		m2	116.9	(CAD計測)

注記
・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
・施工前に現況を再度調査・寸法計測すること。

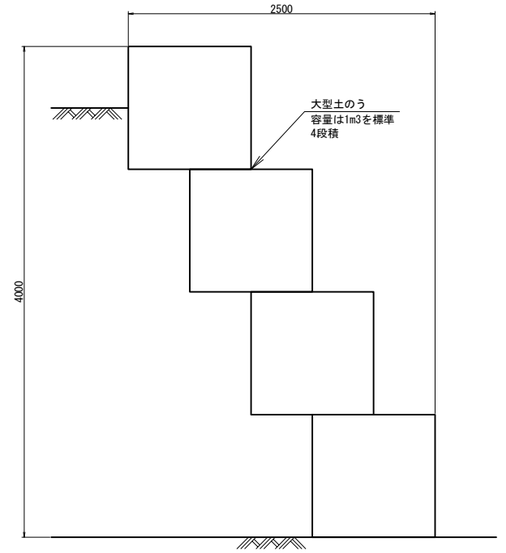
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 護岸撤去図		
縮　尺	図　示	図面番号	109 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋（下り線）P8橋脚土のう撤去図 S=1:500

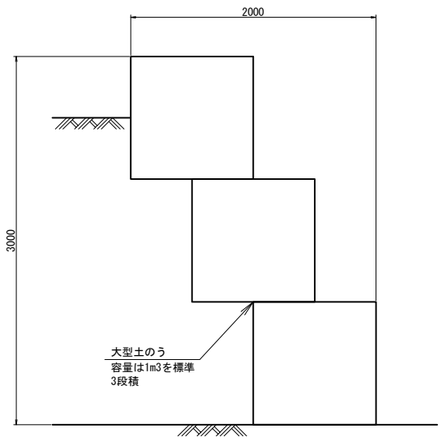
平　面　図



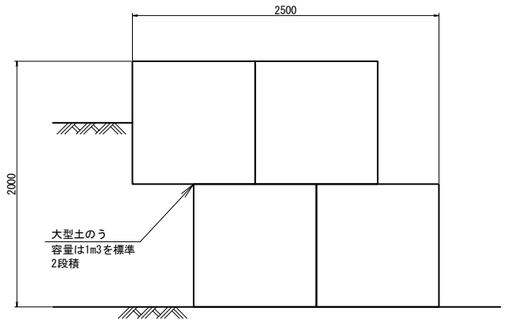
1 － 1　S=1:50



2 － 2　S=1:50



3 － 3　S=1:50



土のう撤去図数量表

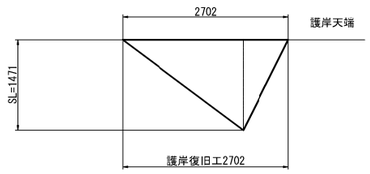
項　目	種　別	単　位	数　量	備　考
土のう		m^3	67.0	
		袋	67	容量は1m3を標準

注記
・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
・施工前に現況を再度調査・寸法計測すること。

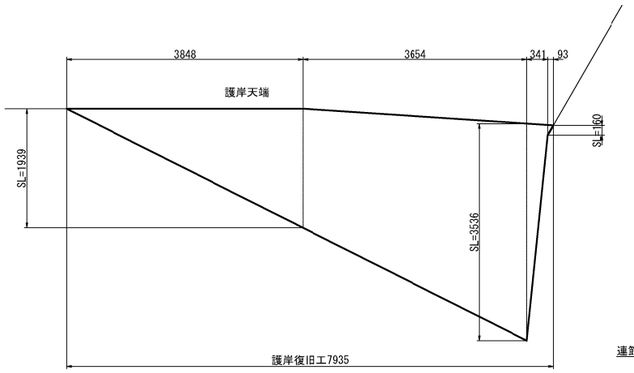
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋（下り線） P8橋脚土のう撤去図		
縮　尺	図　示	図面番号	110 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋(下り線) 護岸復旧図　S=1:500

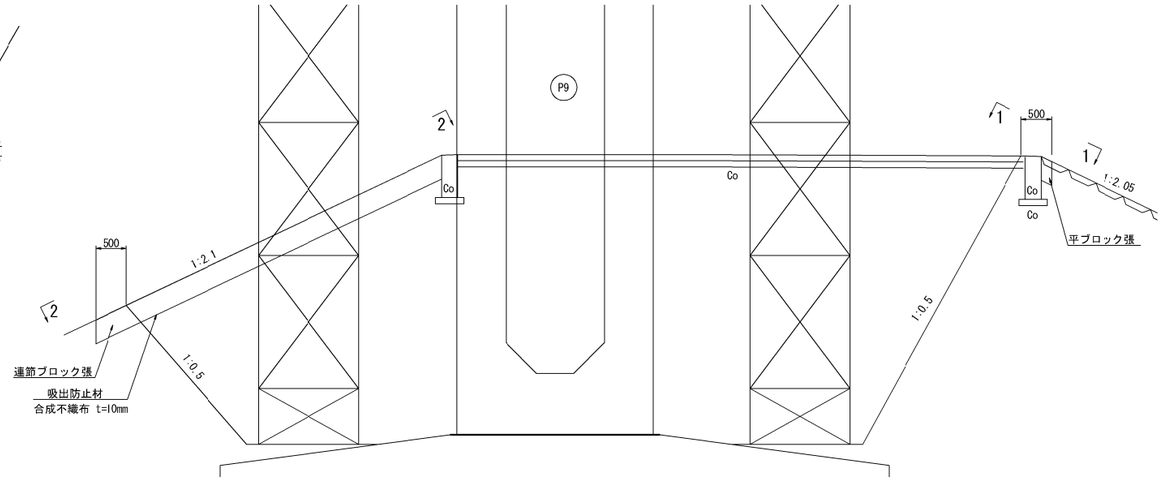
1－1展　開　図 S=1:100



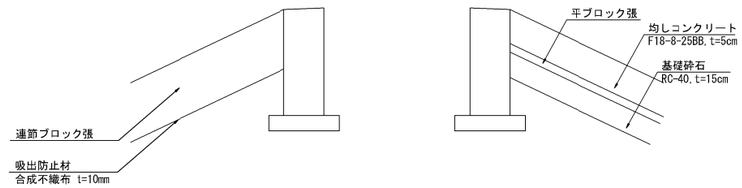
2－2展　開　図 S=1:100



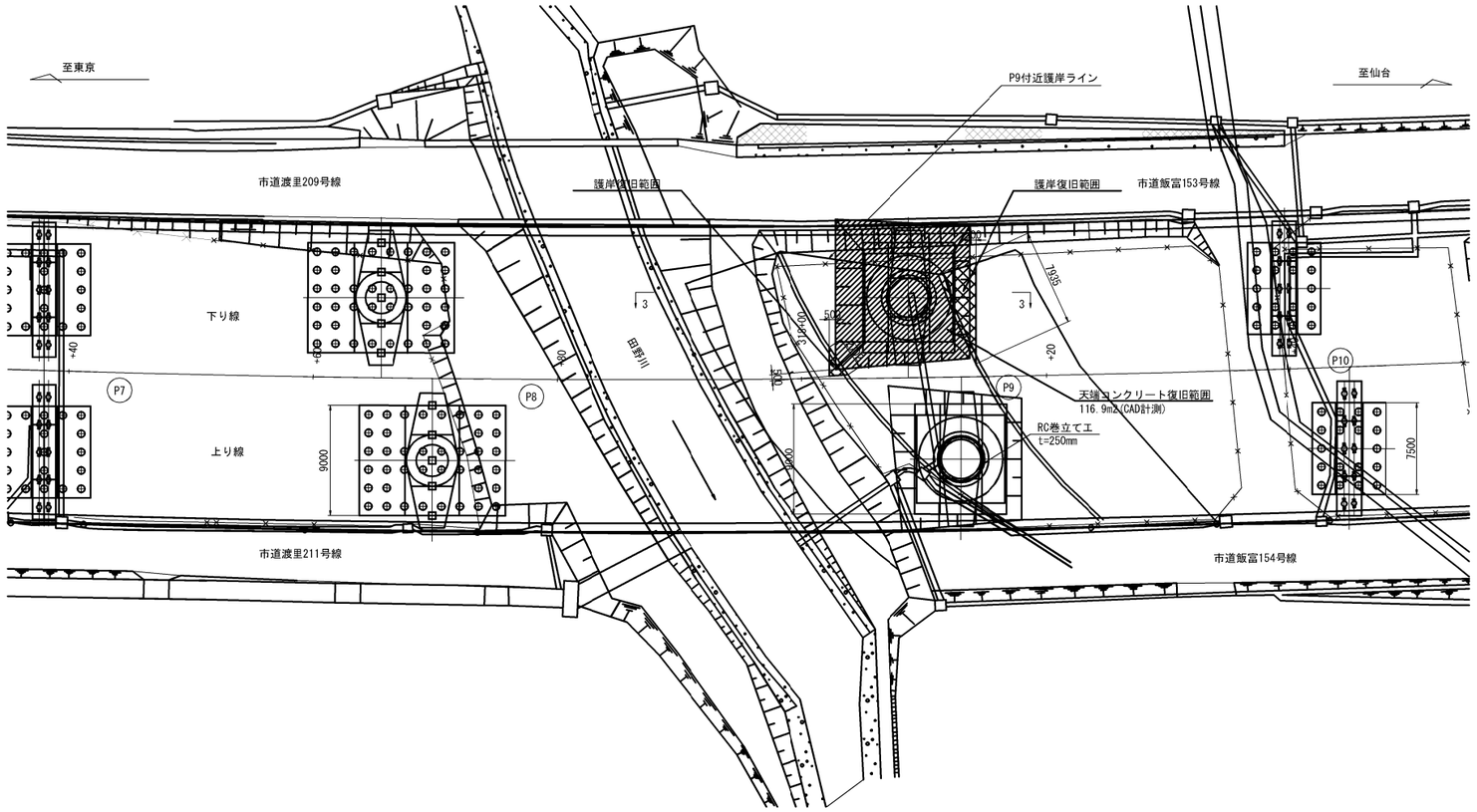
3－3断　面　図 S=1:100



天端詳細図　S=1:40



平　面　図



復旧数量表

項　目		単位	数量	備　考
連節ブロック張	150kg未満/個	m2	14.4	
連結線	亜鉛アルミニュウム メッキ鋼線φ6mm	t	0.013	14.4×4×0.22=13kg
吸出防止材(t=10mm)		m2	14.4	

項　目		単位	数量	備　考
平ブロック張	150kg未満/個	m2	2.0	
均しコンクリート	F18-8-25BB, t=5cm	m2	2.0	
基礎砕石	RC-40, t=15cm	m2	2.0	

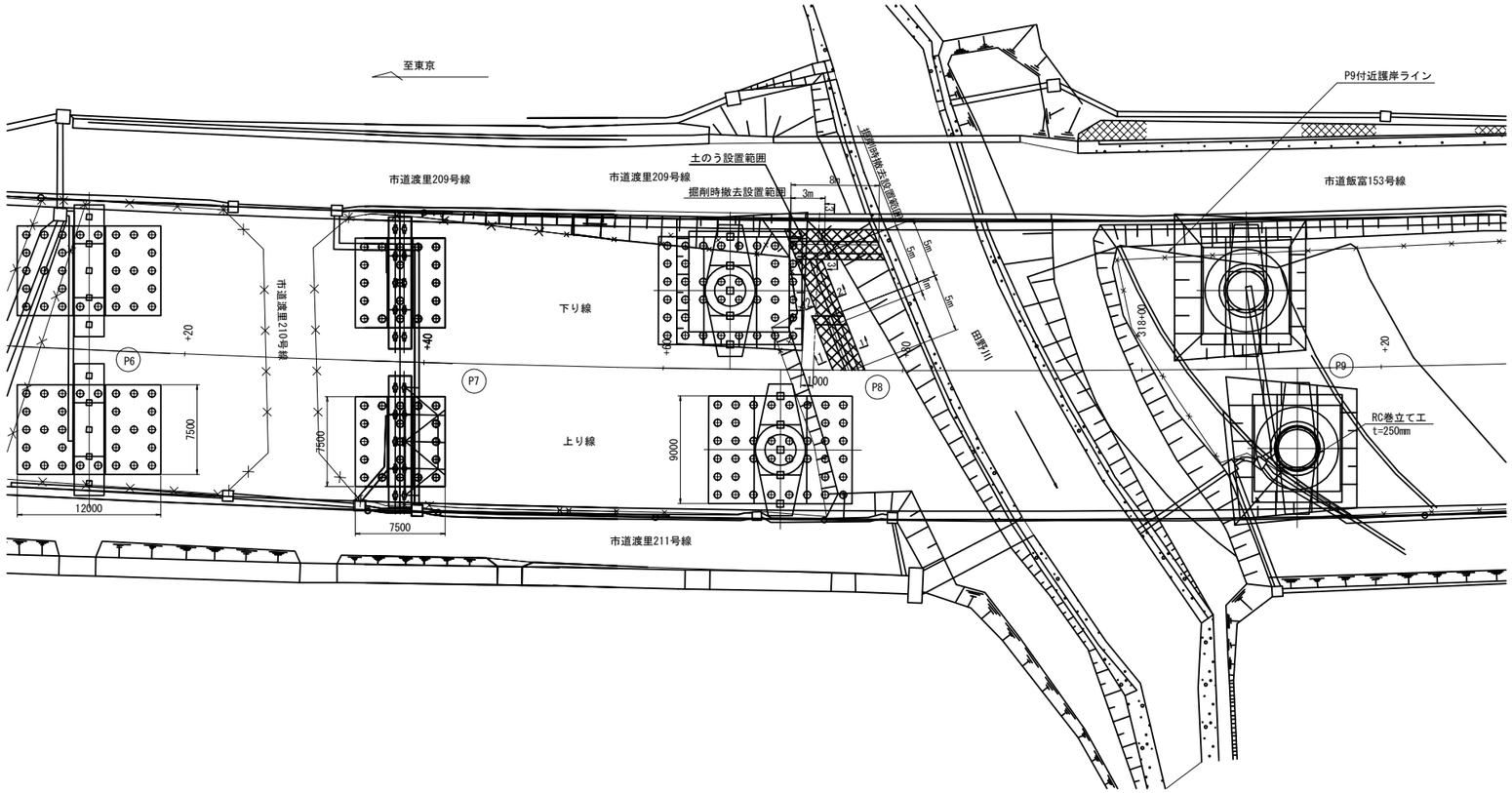
項　目		単位	数量	備　考
天端コンクリート		m2	116.9	

注記
・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
・施工前に現況を再度調査・寸法計測すること。

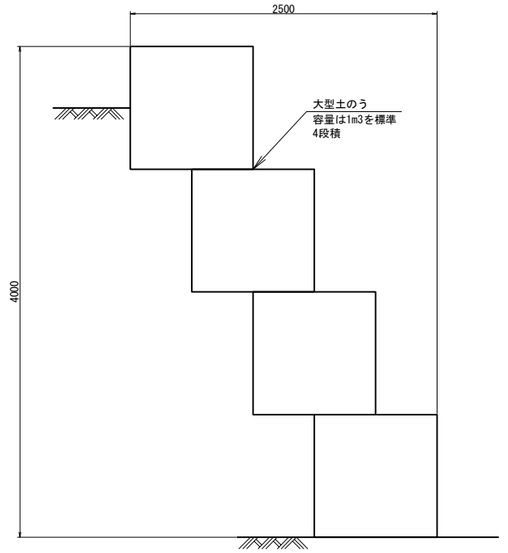
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	田野高架橋(下り線) 護岸復旧図		
縮　尺	図　示	図面番号	111 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

田野高架橋（下り線）P8橋脚土のう設置図 S=1:500

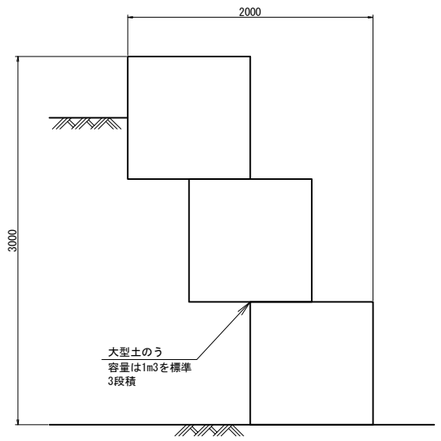
平　面　図



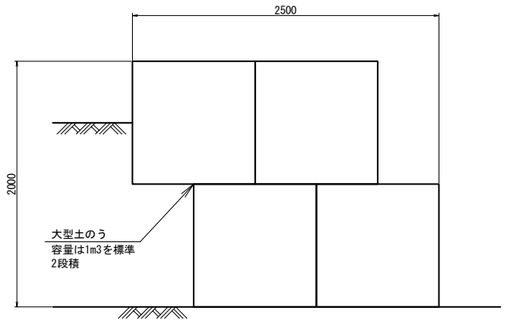
1 － 1　S=1:50



2 － 2　S=1:50



3 － 3　S=1:50



土のう設置図数量表

項　目	種　別	単　位	数　量	備　考
土のう		m^3	67.0	
		袋	67	容量は1m3を標準

注記
・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
・施工前に現況を再度調査・寸法計測すること。

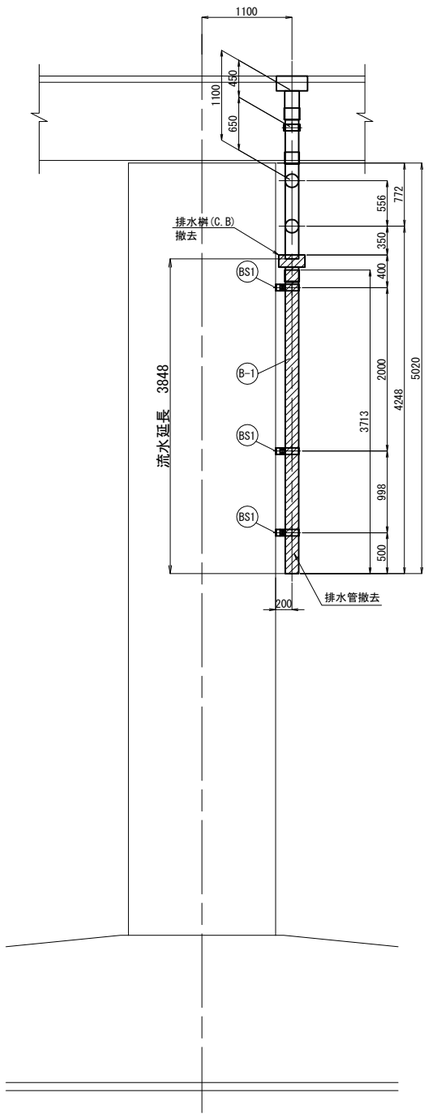
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事	
図面の種類	田野高架橋（下り線） P8橋脚土のう設置図
縮　尺	図　示　　図面番号　112 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その1) S=1:75

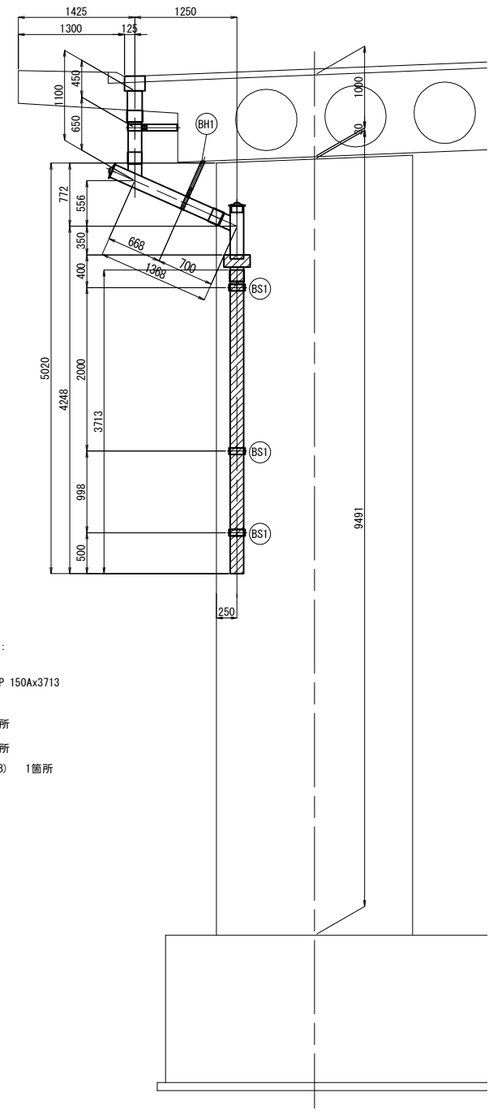
P1橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

側 面 図



正 面 図



既設撤去数量：

排水管：

(B-1) 1-VP 150Ax3713

排水金具：

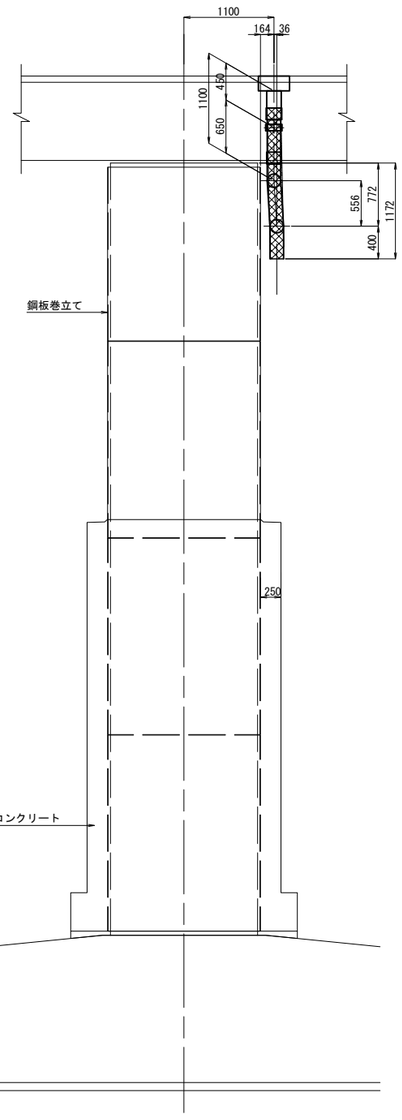
(BH1) 1箇所

(BS1) 3箇所

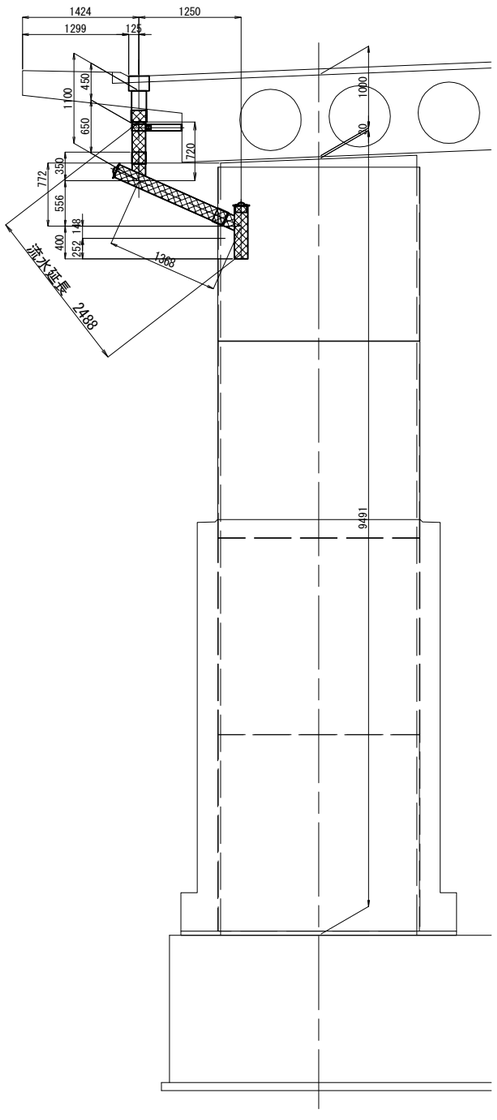
排水桝(C.B) 1箇所

一時撤去(再利用)図

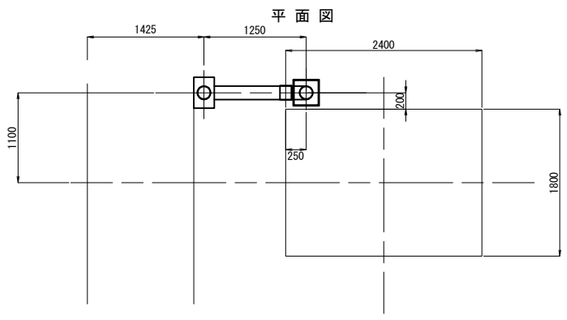
側 面 図



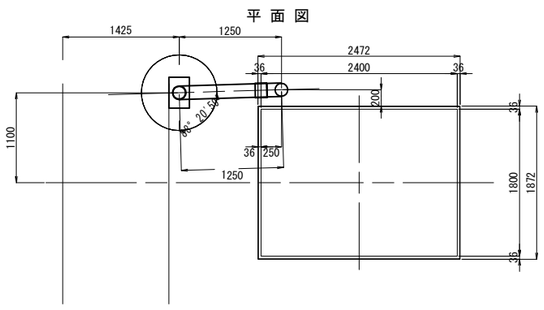
正 面 図



平 面 図



平 面 図



凡 例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

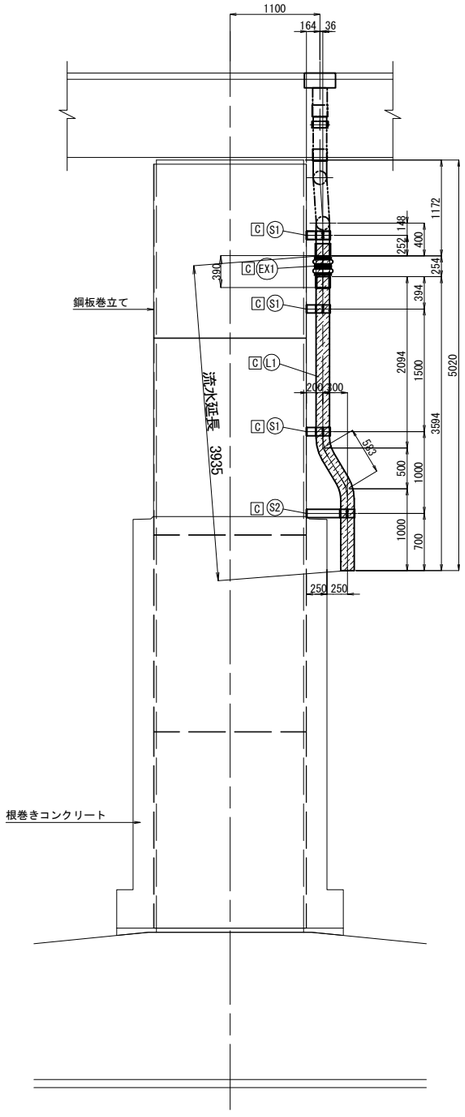
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	113 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その2) S=1:75

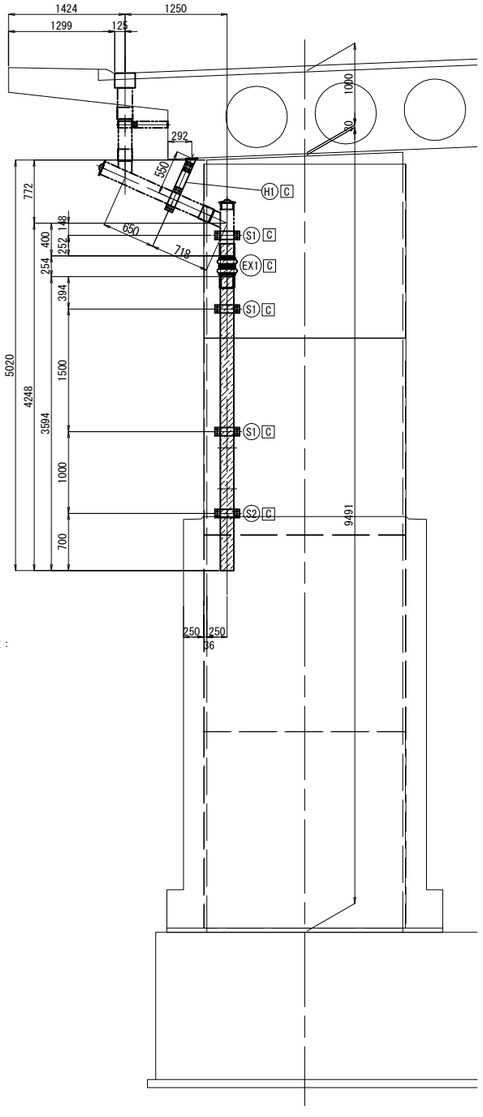
P1橋脚 排水装置 設置工

新設図

側 面 図



正 面 図



排水装置新設数量：

排水管：

(L1) 1箇所

排水金具：

(H1) 1箇所

(S1) 3箇所

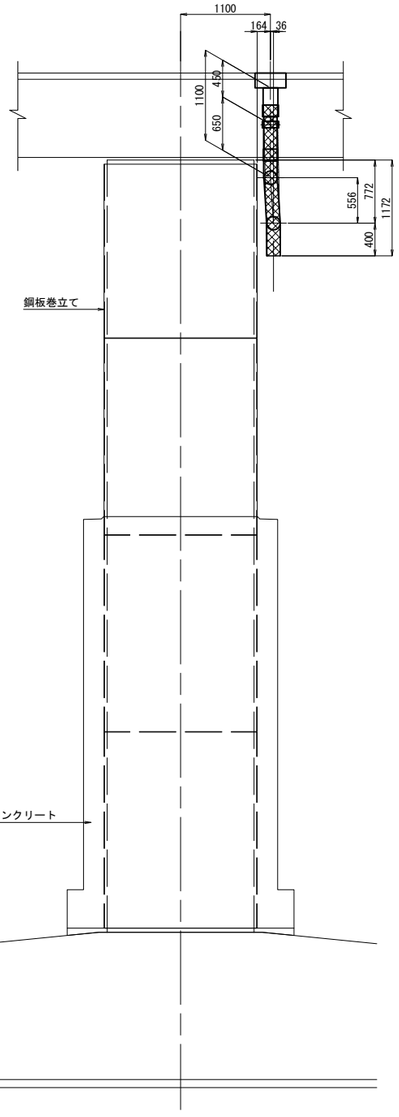
(S2) 1箇所

伸縮継手：

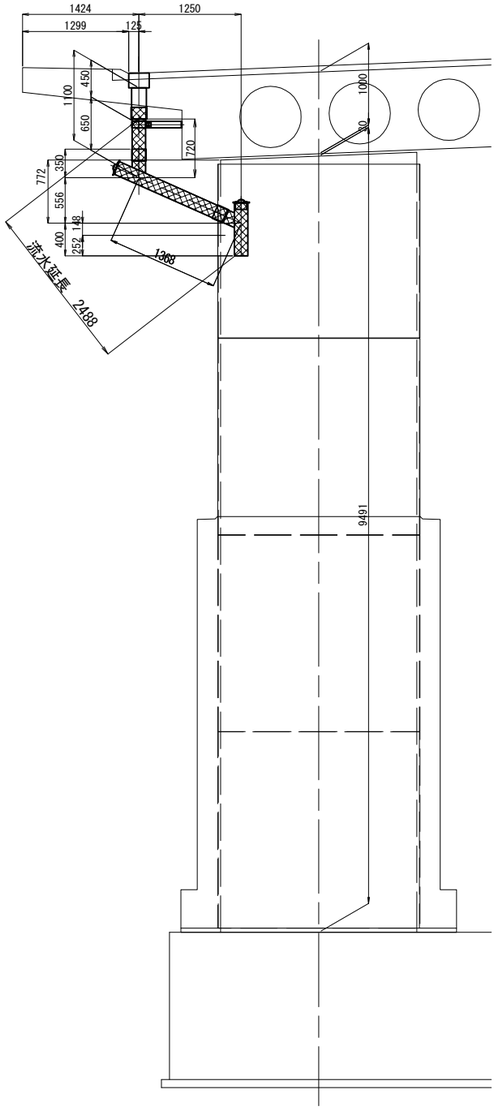
(EX1) 1箇所

再利用図

側 面 図



正 面 図



凡 例：

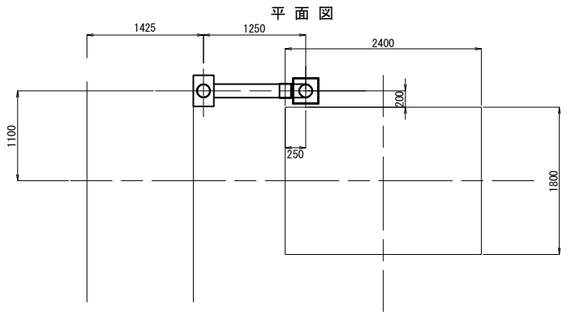
撤去範囲

流用範囲

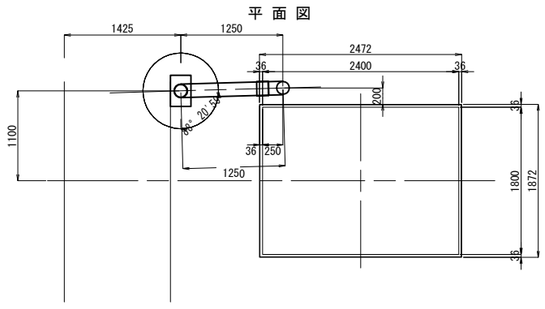
新設範囲

C ：全て新設部材

平 面 図



平 面 図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

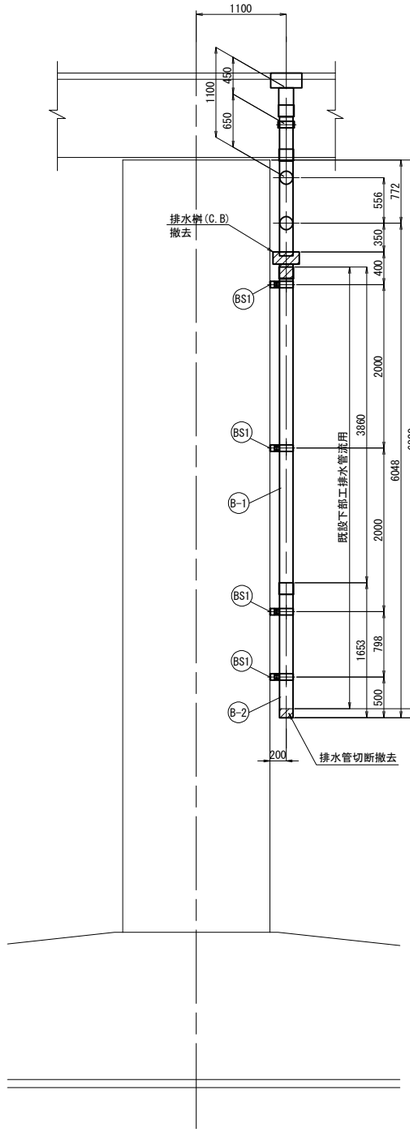
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	114 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その3) S=1:75

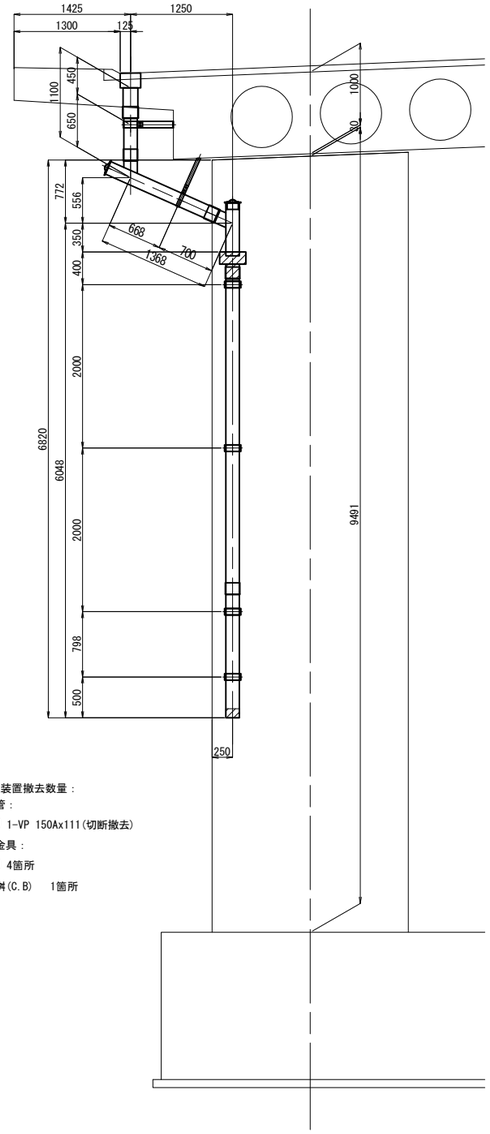
P2橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

側 面 図



正 面 図



既設排水装置撤去数量：

排水管：

(B-2) 1-VP 150Ax111(切断撤去)

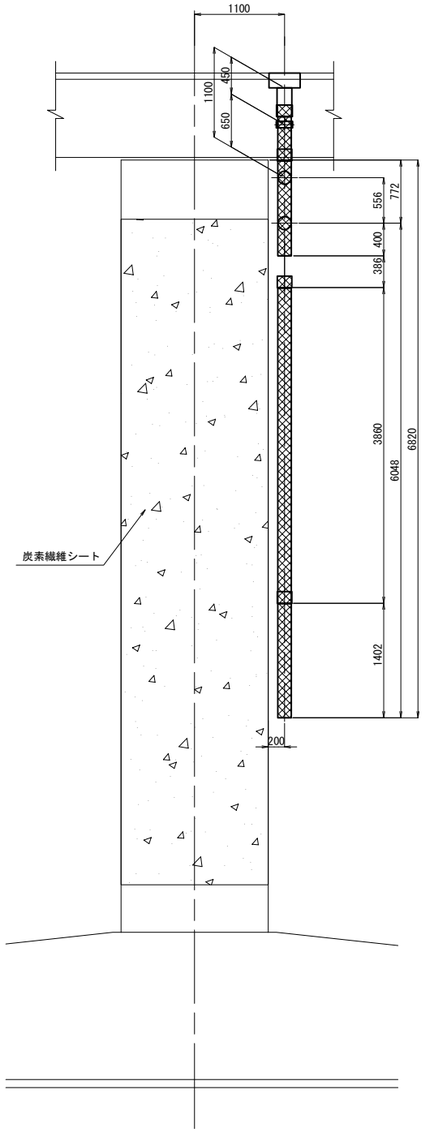
排水金具：

(BS1) 4箇所

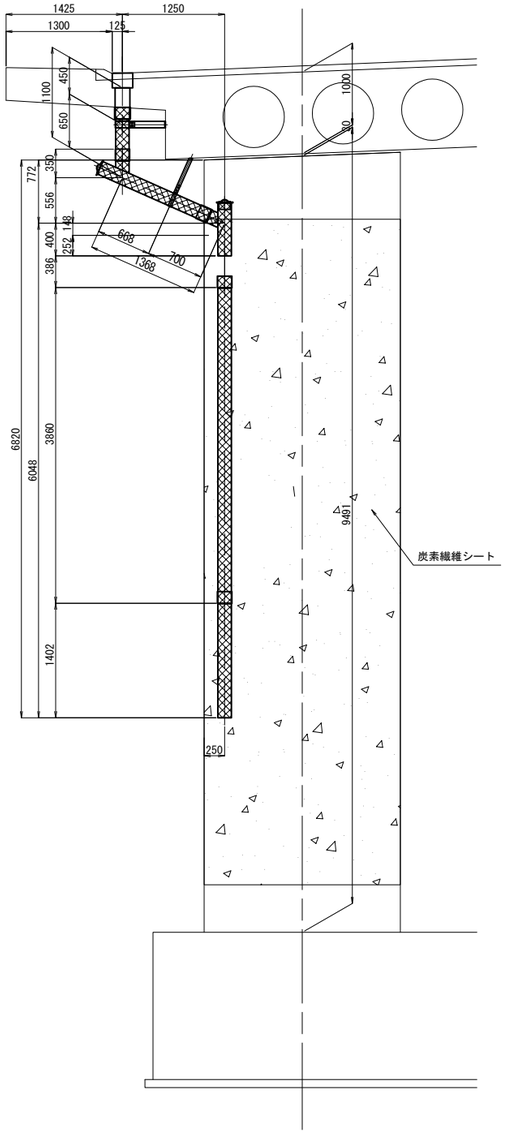
排水桝(C.B) 1箇所

一時撤去(再利用)図

側 面 図



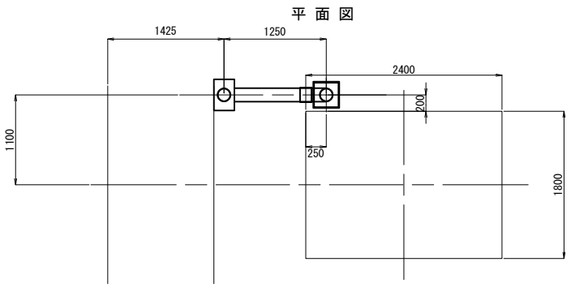
正 面 図



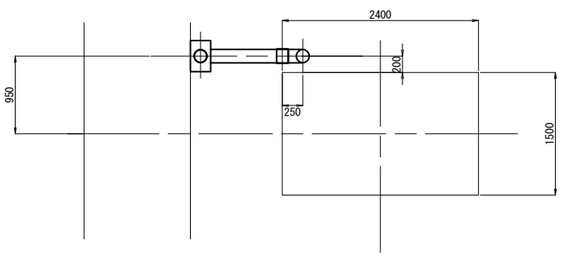
凡 例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

平 面 図



平 面 図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

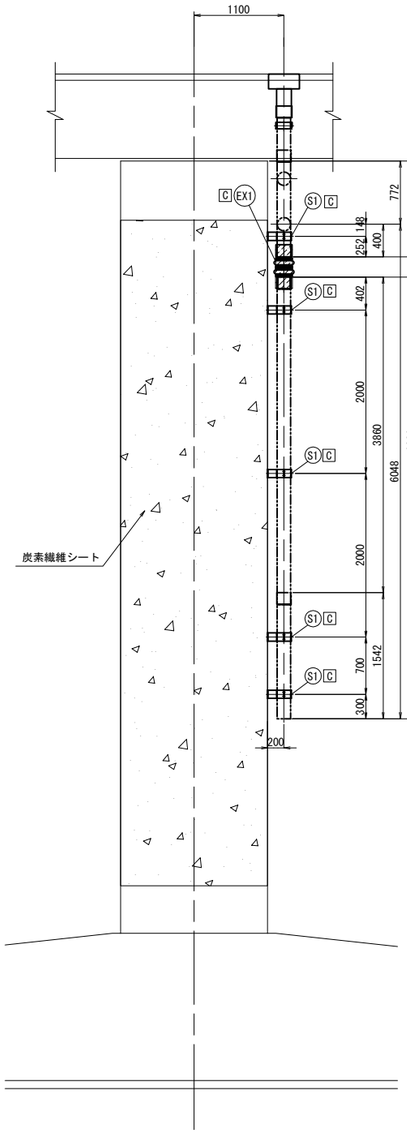
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	115 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その4) S=1:75

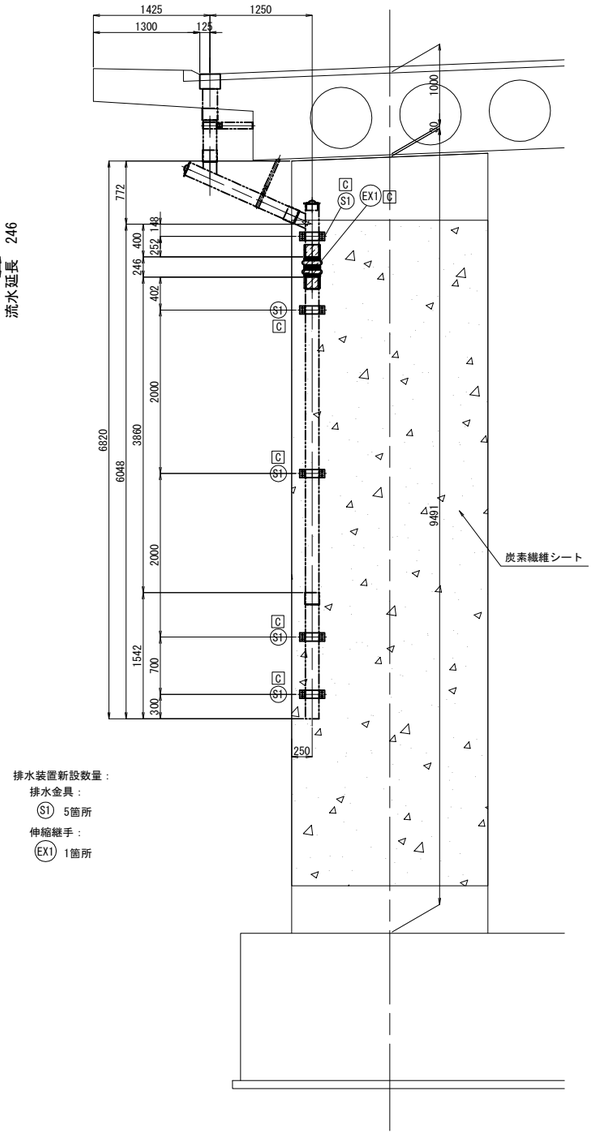
P2橋脚 排水装置 設置工

新設図

側 面 図



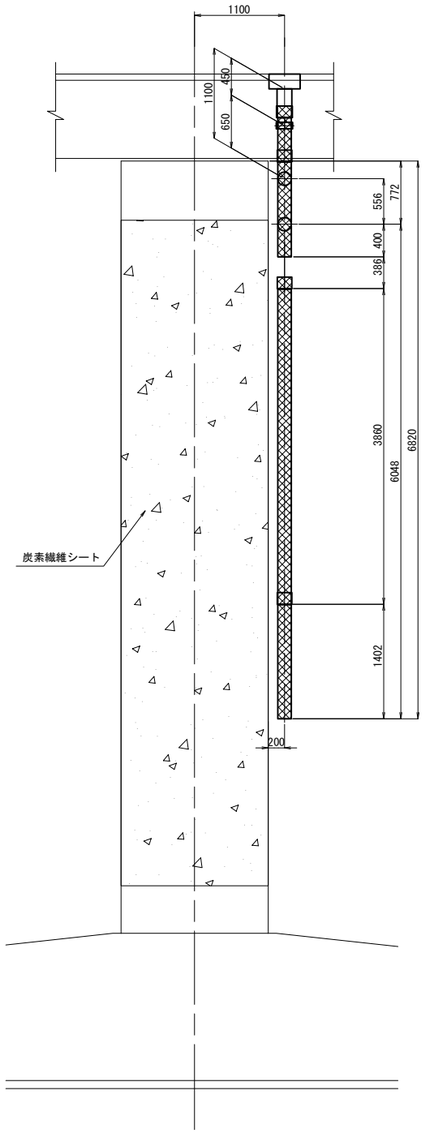
正 面 図



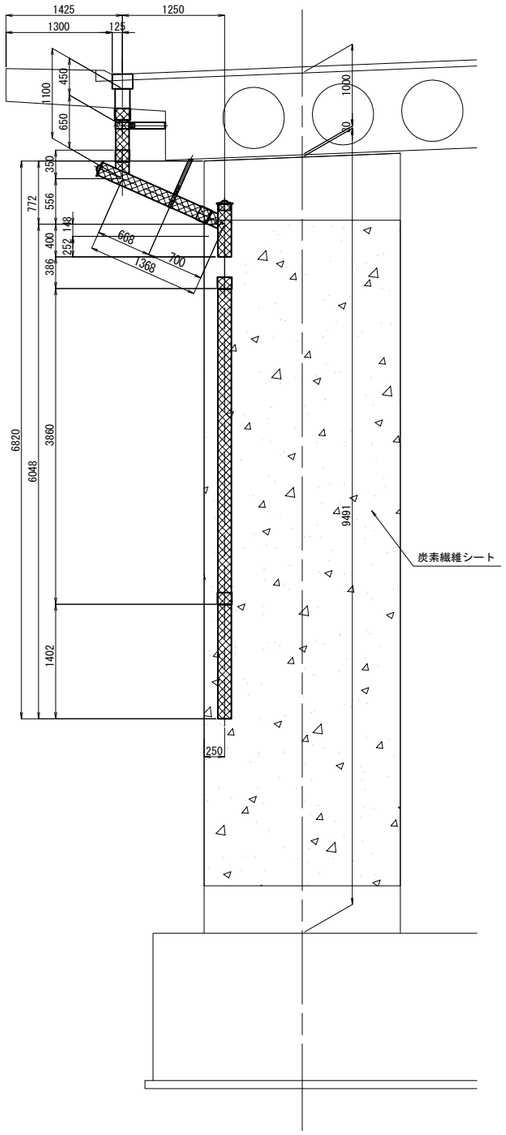
排水装置新設数量：
排水金具：
S1 5箇所
伸縮継手：
EX1 1箇所

再利用図

側 面 図



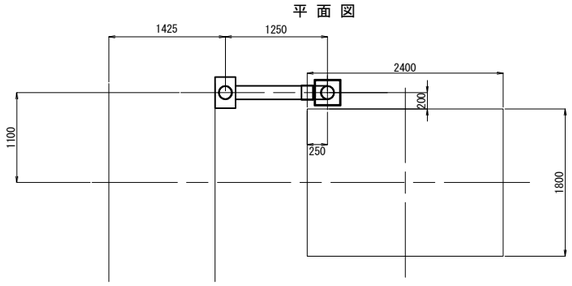
正 面 図



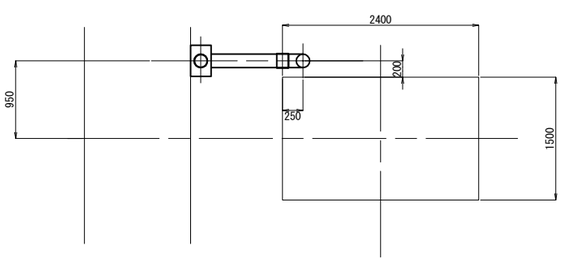
凡 例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

平 面 図



平 面 図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

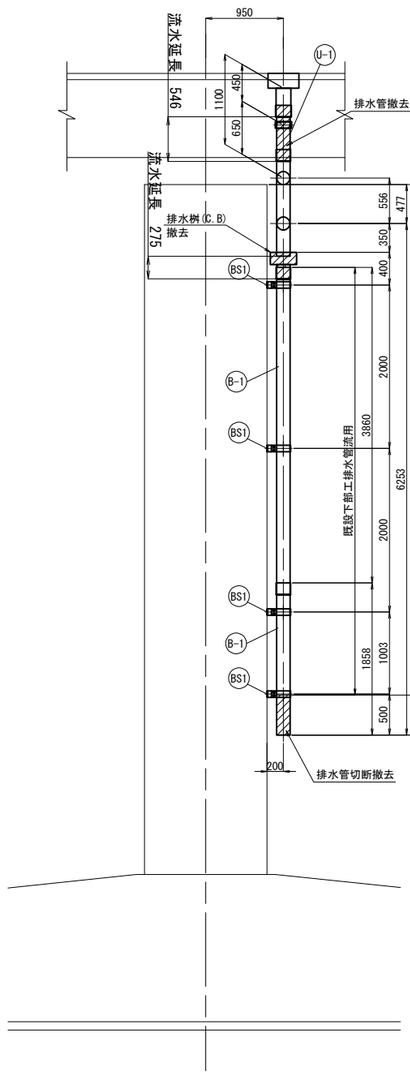
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その4)		
縮 尺	図 示	図面番号	116 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その5) S=1:75

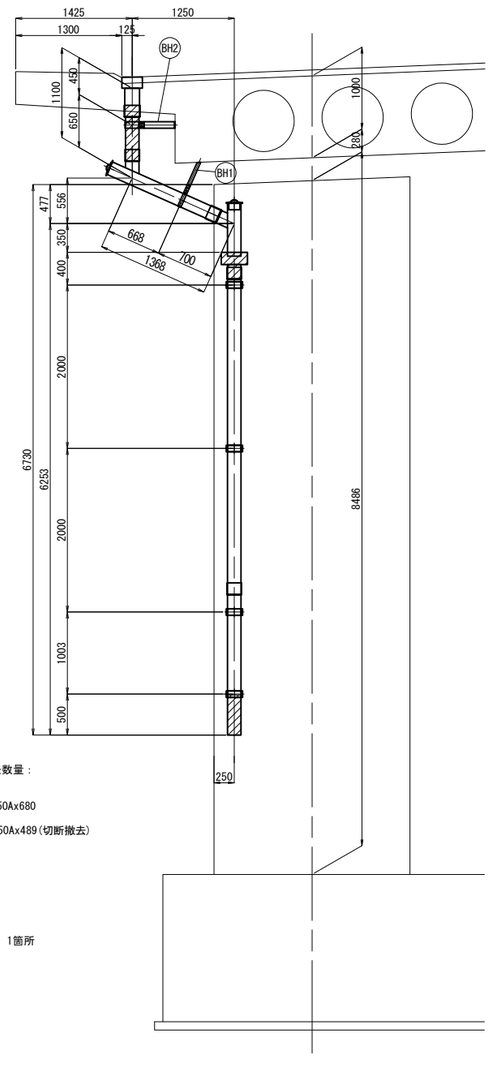
P3橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

側 面 図



正 面 図



既設排水装置撤去数量：

排水管：

- U-1 1-VP 150Ax680
- B-2 1-VP 150Ax489(切断撤去)

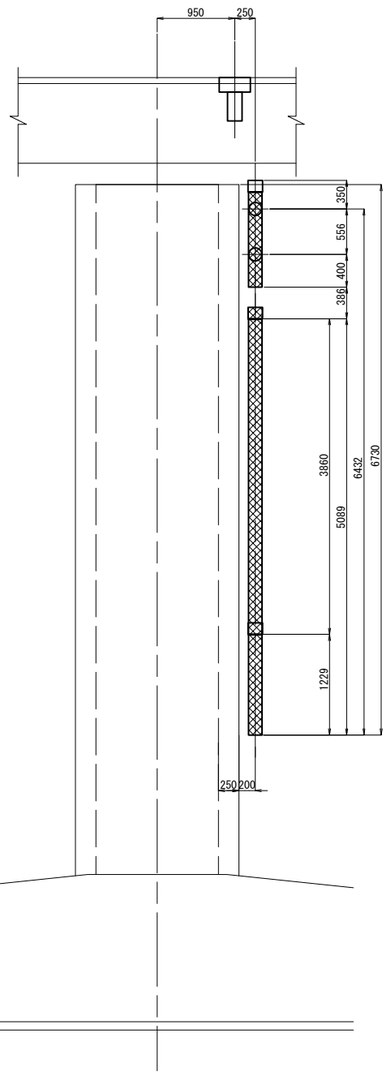
排水金具：

- BH1 1箇所
- BH2 1箇所
- BS1 4箇所

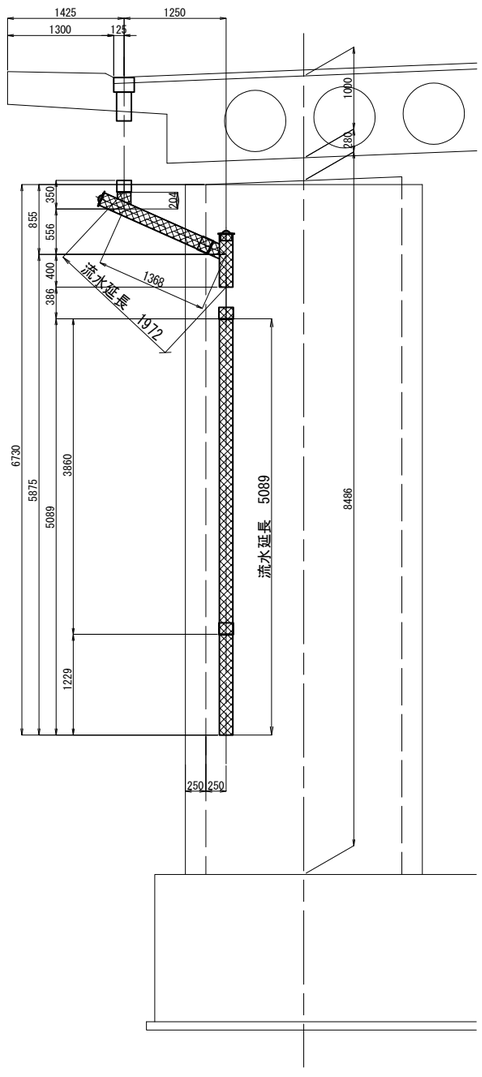
排水桝(C.B) 1箇所

一時撤去(再利用)図

側 面 図



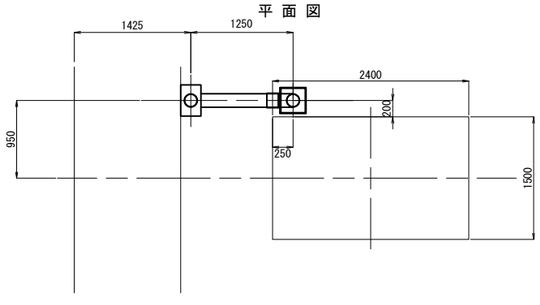
正 面 図



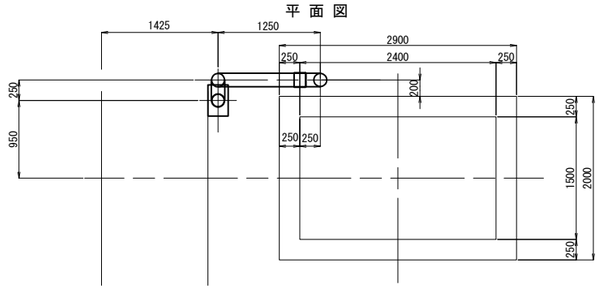
凡 例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

平 面 図



平 面 図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

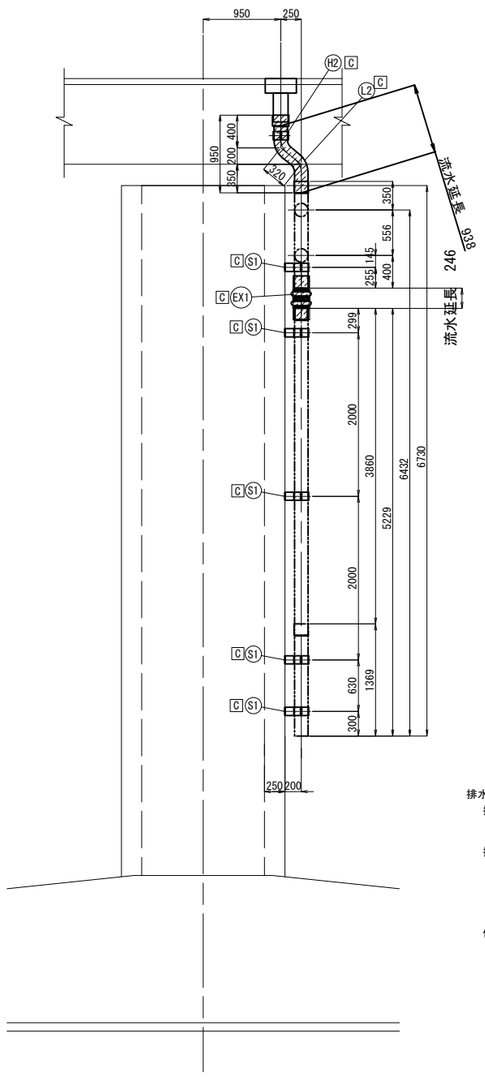
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その5)		
縮 尺	図 示	図面番号	117 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その6) S=1:75

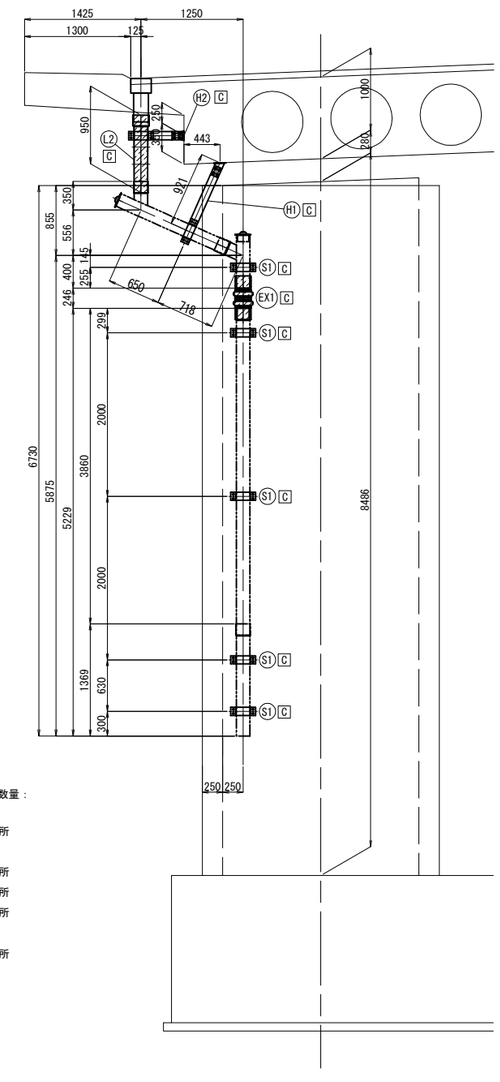
P3橋脚 排水装置 設置工

新設図

側 面 図



正 面 図



排水装置新設数量：

排水管：

L2 1箇所

排水金具：

H1 1箇所

H2 1箇所

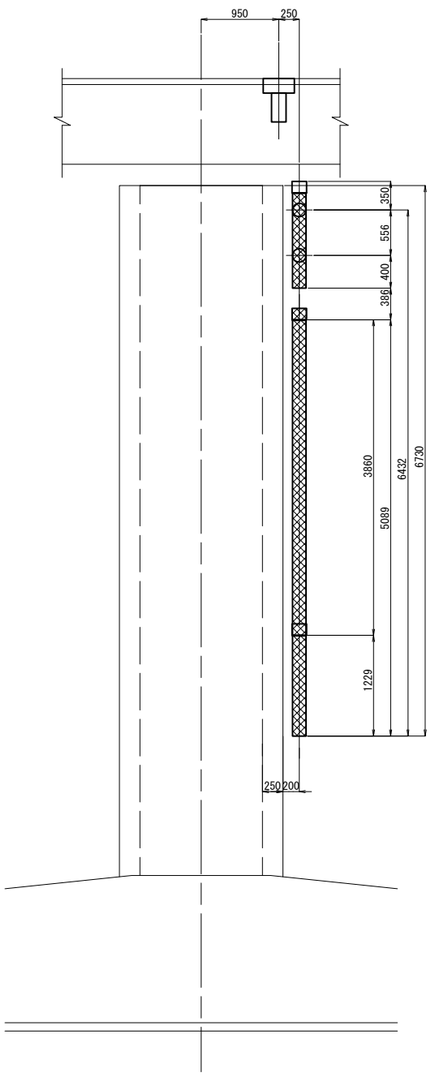
S1 5箇所

伸縮継手：

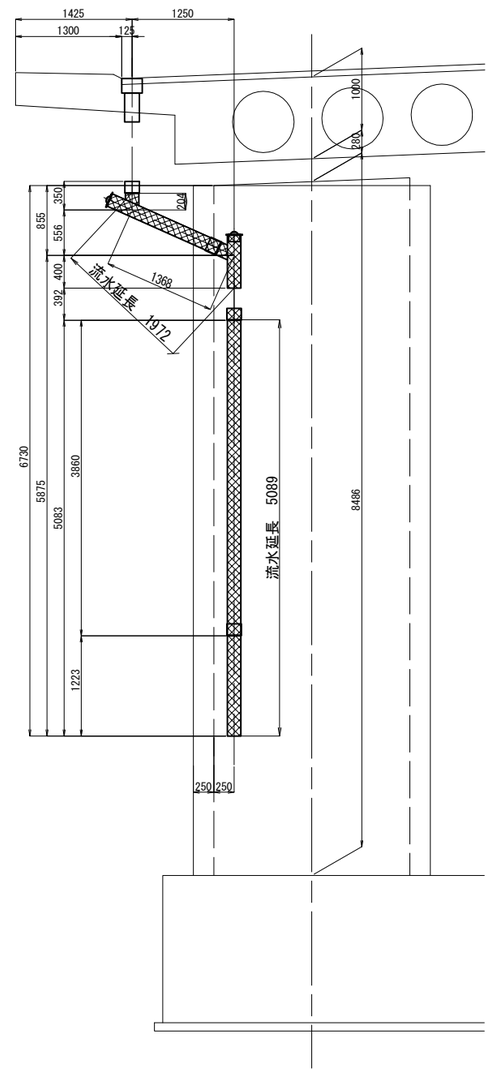
EX1 1箇所

再利用図

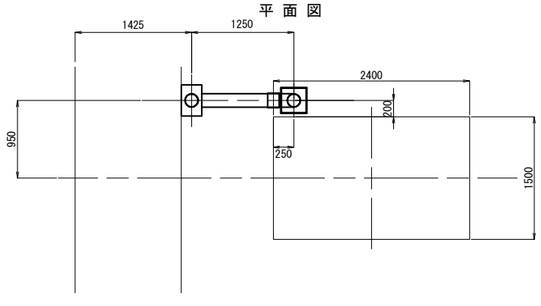
側 面 図



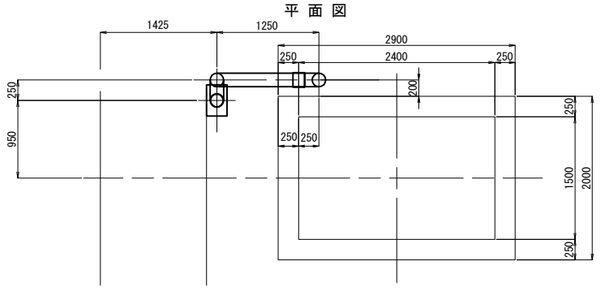
正 面 図



平 面 図



平 面 図



凡 例：

撤去範囲

流用範囲

新設範囲

C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

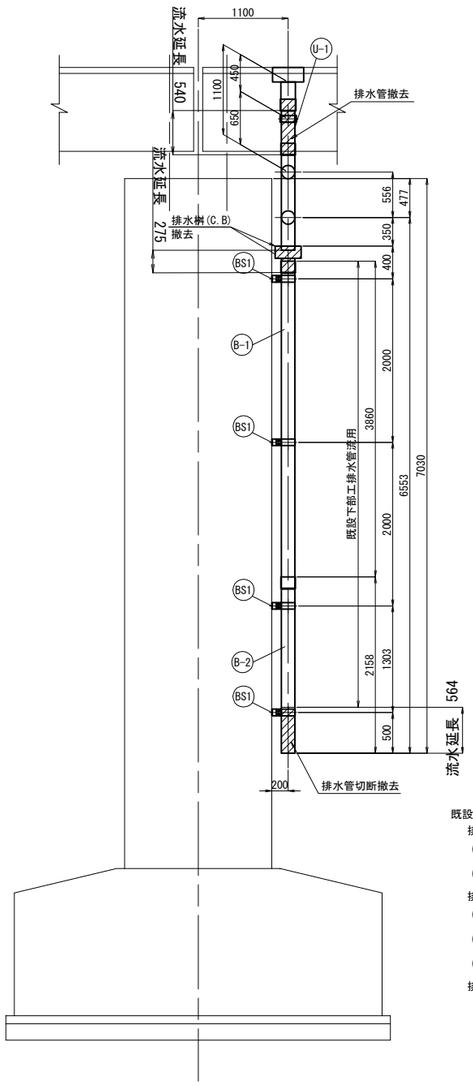
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その6)		
縮 尺	図 示	図面番号	118 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その7) S=1:75

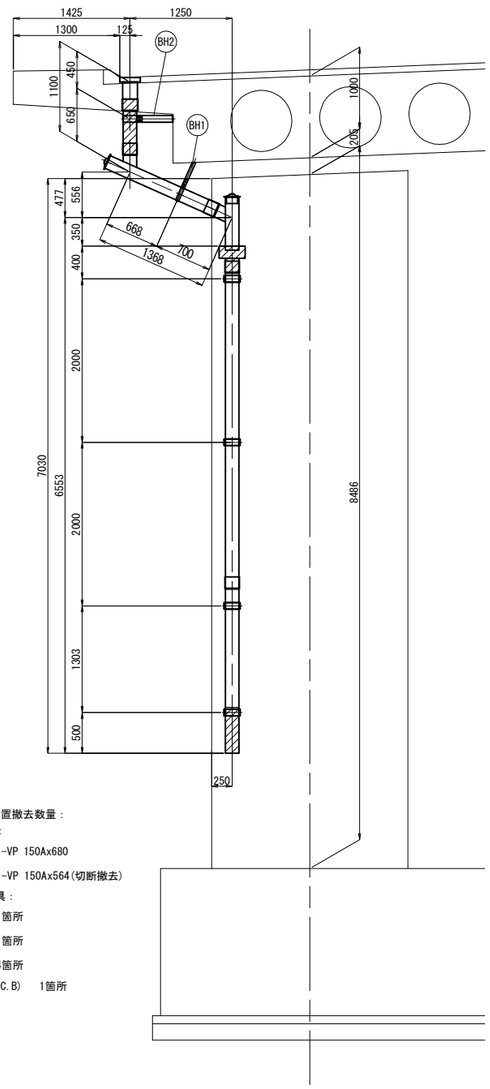
P4橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

側 面 図



正 面 図



既設排水装置撤去数量：

排水管：

U-1 1-VP 150Ax680

B-2 1-VP 150Ax564(切断撤去)

排水金具：

BH1 1箇所

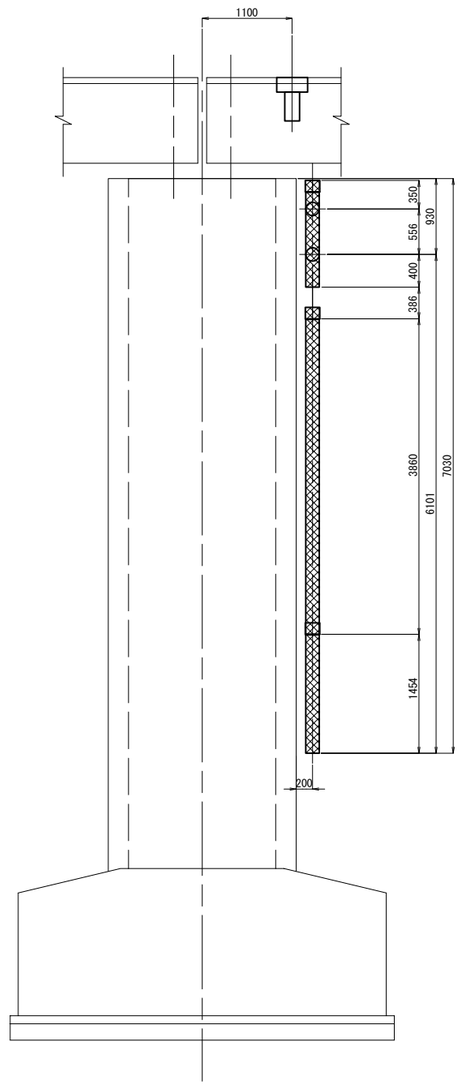
BH2 1箇所

BS1 4箇所

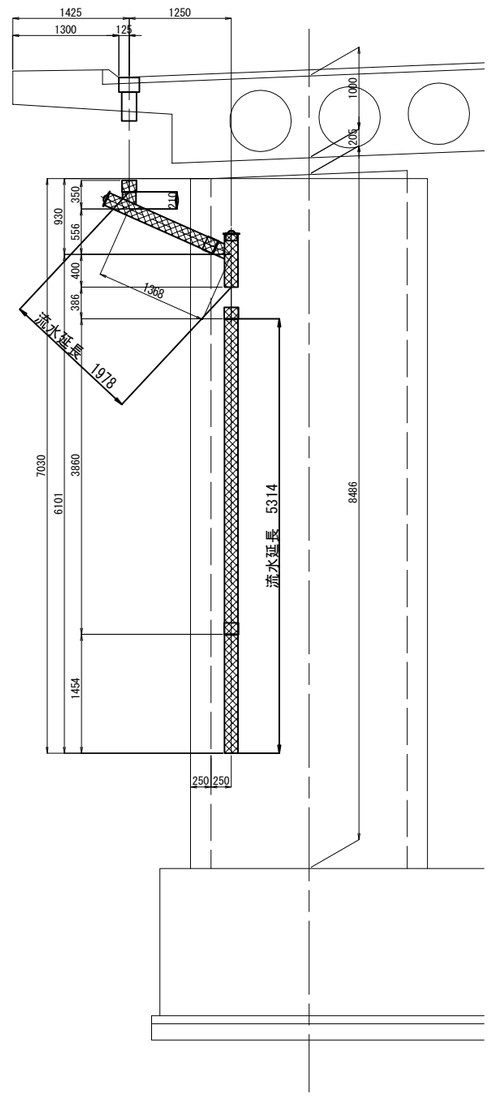
排水桝(C.B) 1箇所

一時撤去(再利用)図

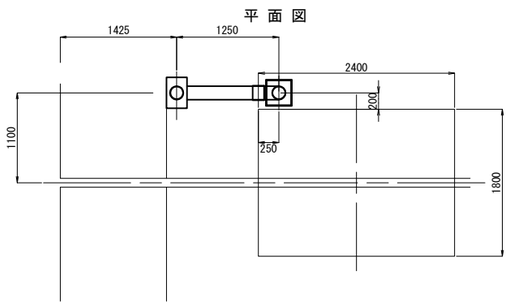
側 面 図



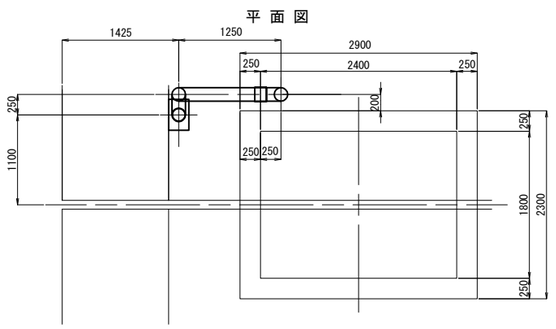
正 面 図



平 面 図



平 面 図



凡 例：

撤去範囲

流用範囲

新設範囲

C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

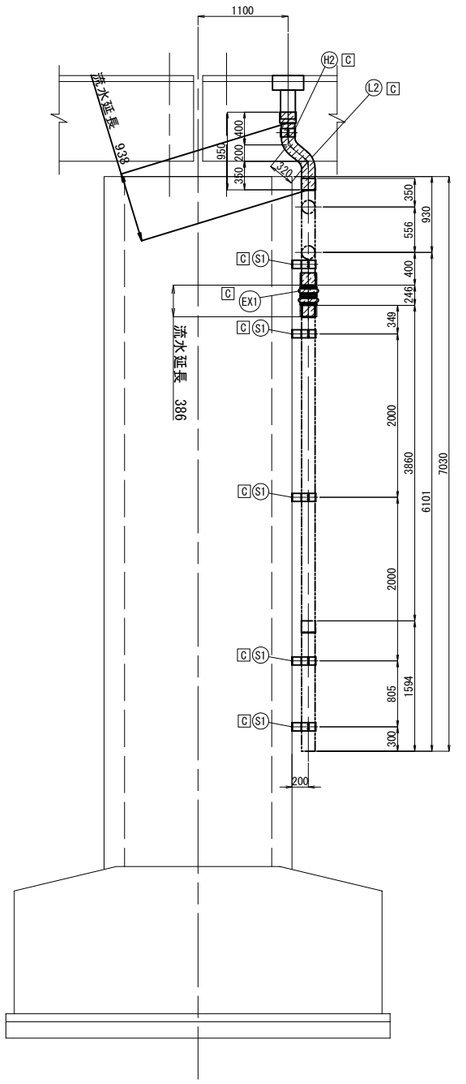
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その7)		
縮 尺	図 示	図面番号	119 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その8) S=1:75

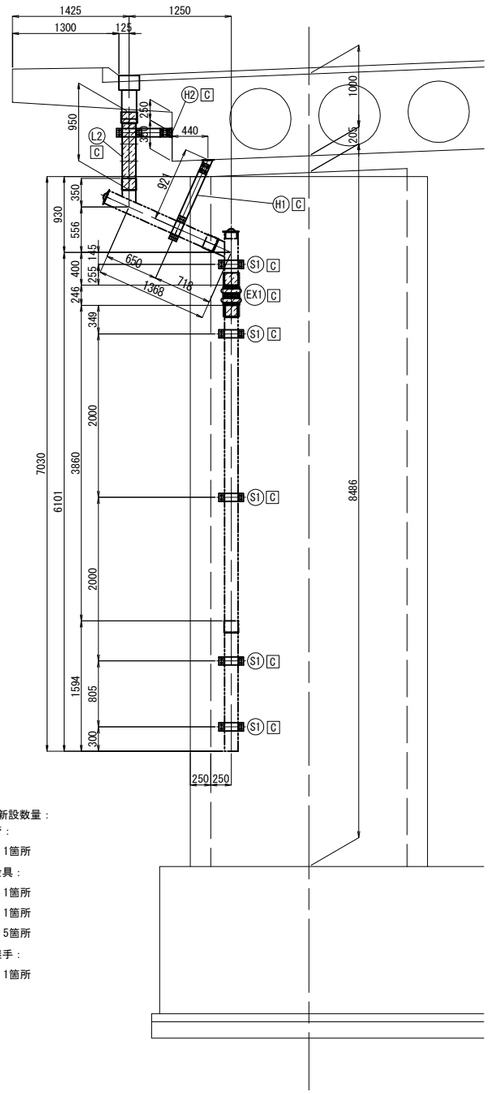
P4橋脚 排水装置 設置工

新設図

側 面 図



正 面 図



排水装置新設数量：

排水管：

(L2) 1箇所

排水金具：

(H1) 1箇所

(H2) 1箇所

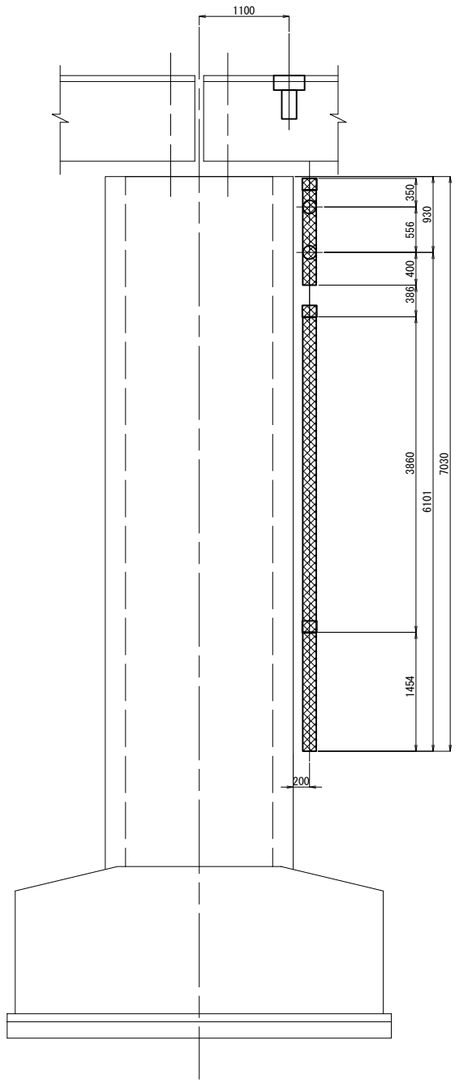
(S1) 5箇所

伸縮継手：

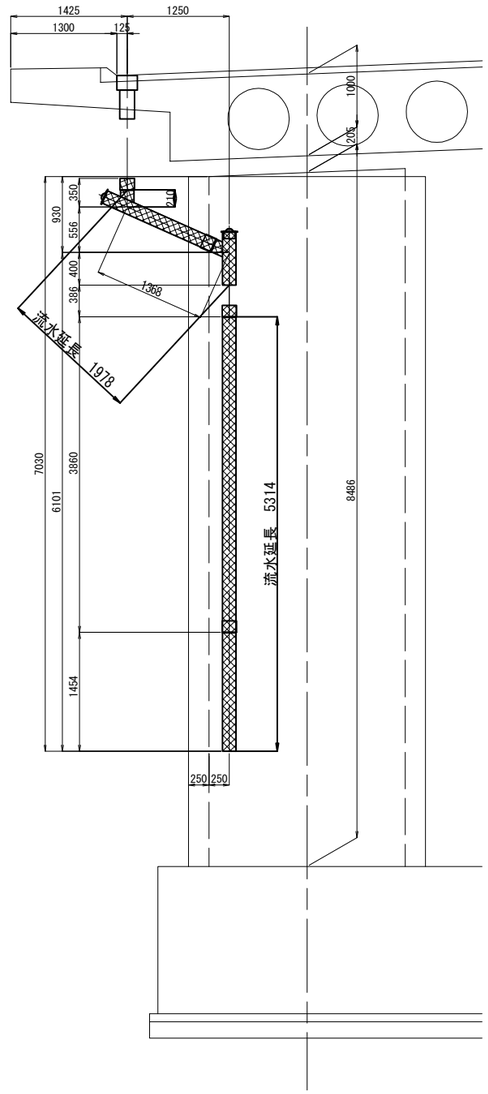
(EX1) 1箇所

再利用図

側 面 図



正 面 図



凡 例：

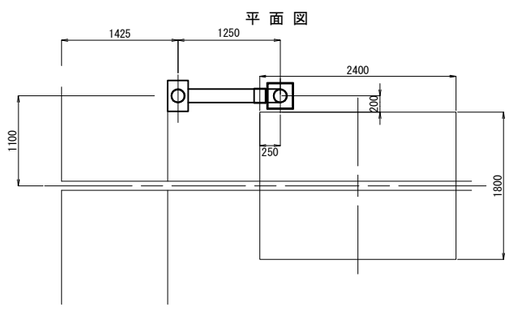
撤去範囲

流用範囲

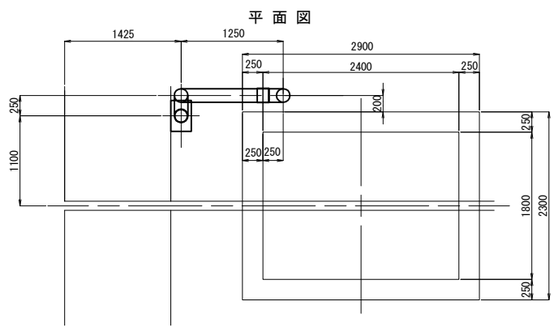
新設範囲

C ：全て新設部材

平 面 図



平 面 図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

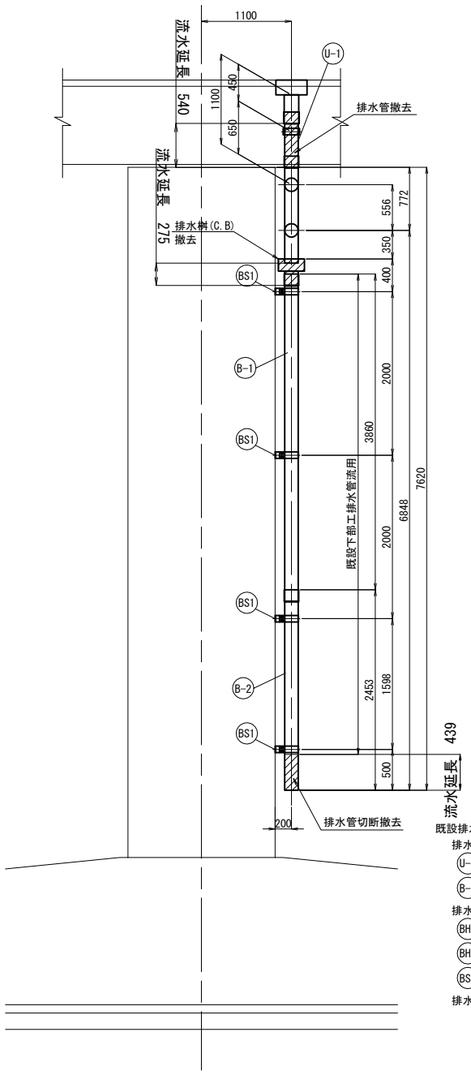
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その8)		
縮 尺	図 示	図面番号	120 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その9) S=1:75

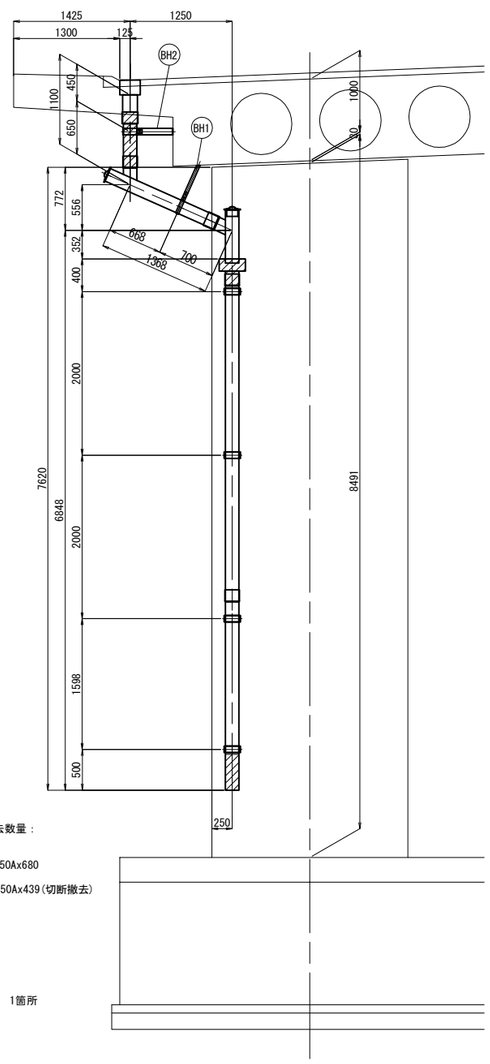
P5橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

側 面 図



正 面 図



既設排水装置撤去数量：

排水管：

U-1 1-VP 150Ax680

B-2 1-VP 150Ax439(切断撤去)

排水金具：

BH1 1箇所

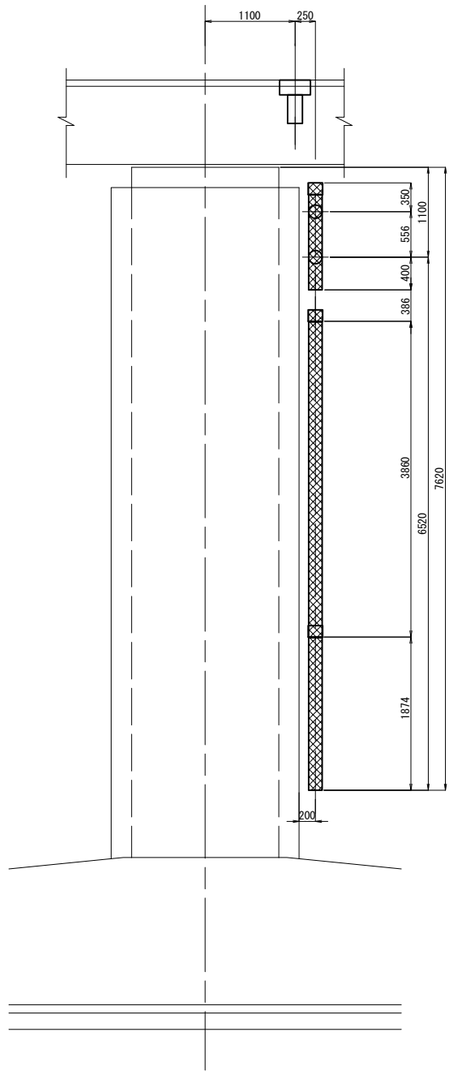
BH2 1箇所

BS1 4箇所

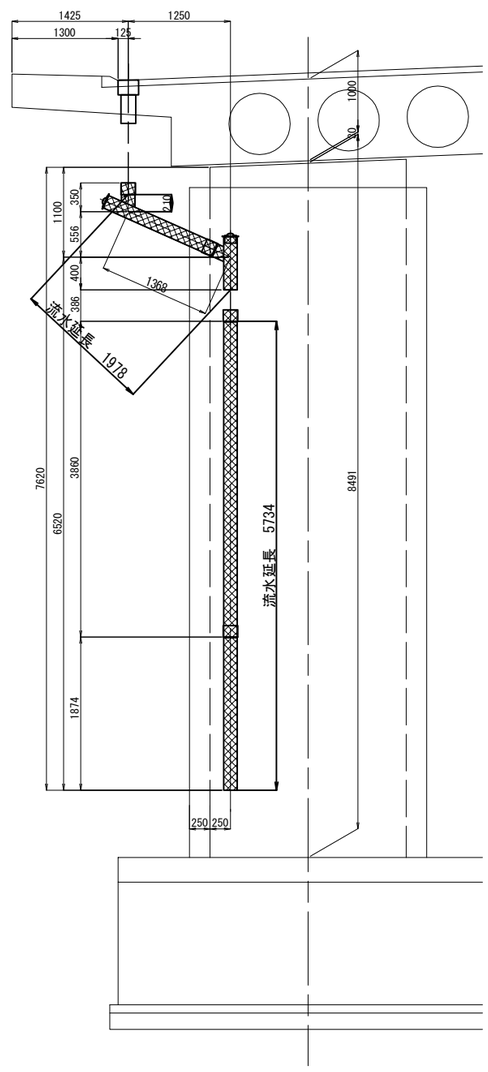
排水桝(C.B) 1箇所

一時撤去(再利用)図

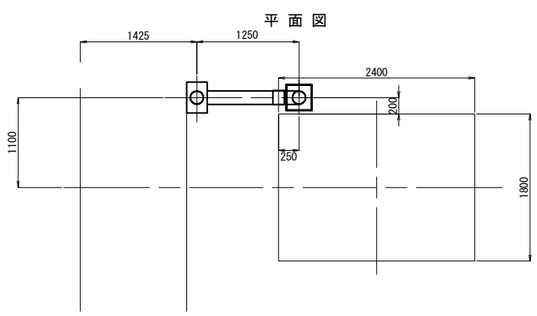
側 面 図



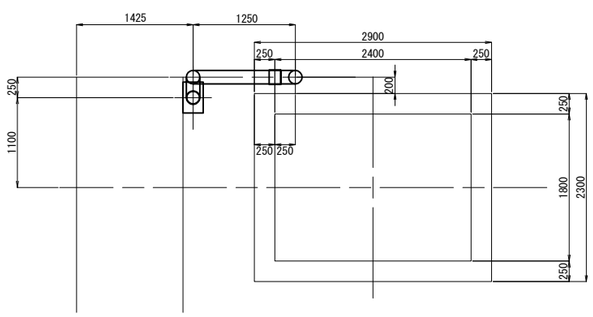
正 面 図



平 面 図



平 面 図



凡 例：

撤去範囲

流用範囲

新設範囲

C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

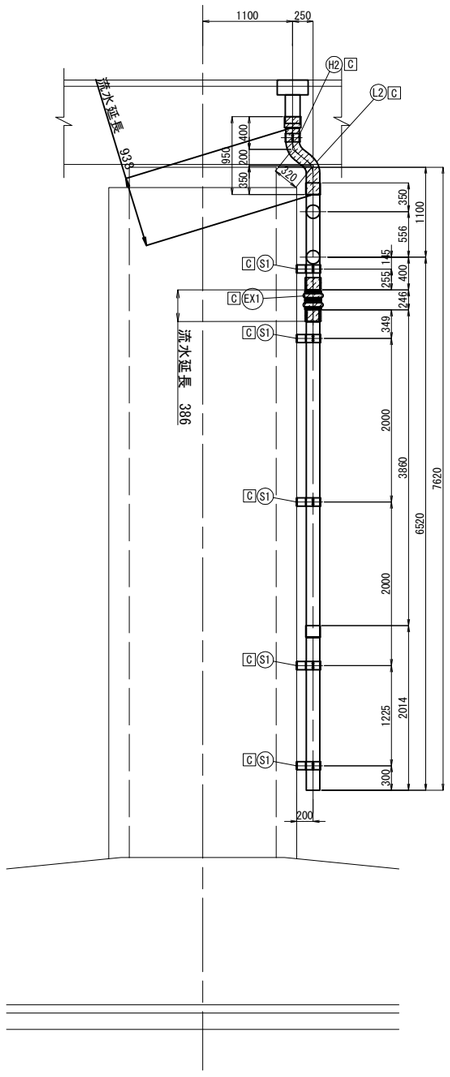
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その9)		
縮 尺	図 示	図面番号	121 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その10) S=1:75

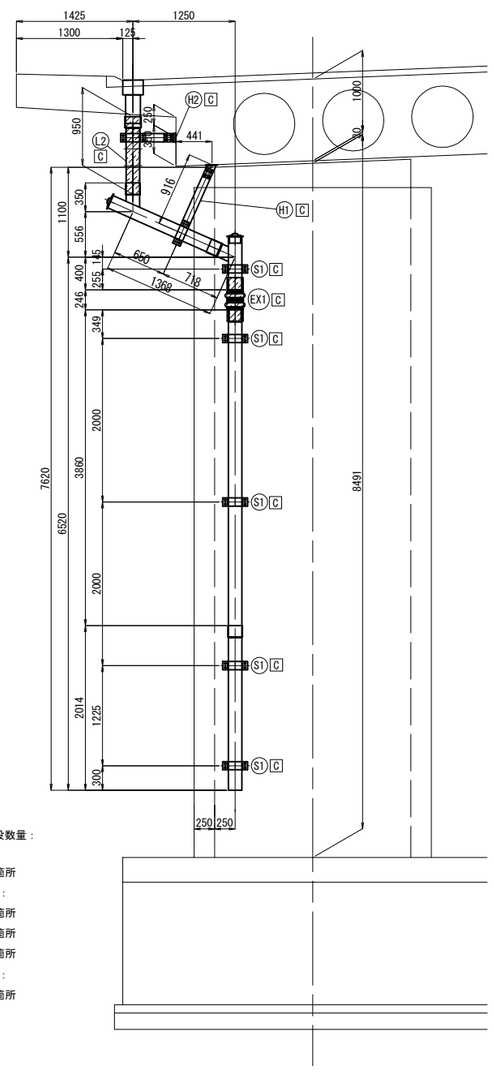
P5橋脚 排水装置 設置工

新設図

側 面 図



正 面 図



排水装置新設数量：

排水管：

L2 1箇所

排水金具：

H1 1箇所

H2 1箇所

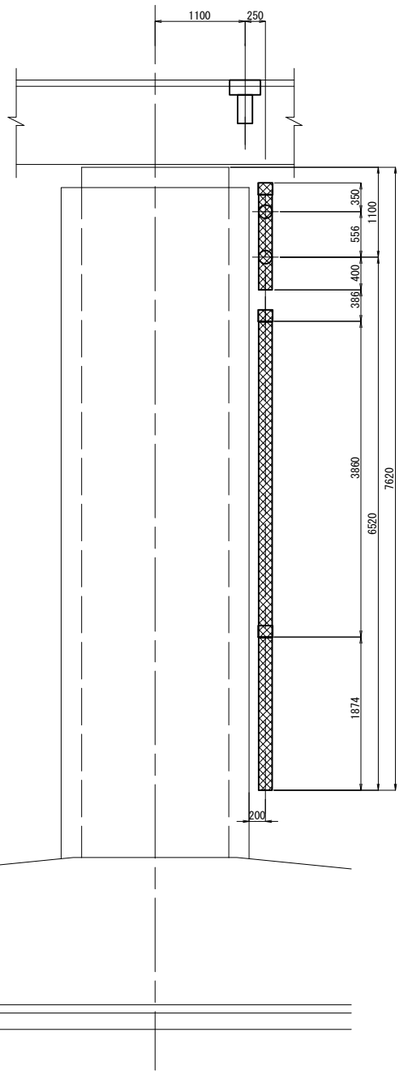
S1 5箇所

伸縮継手：

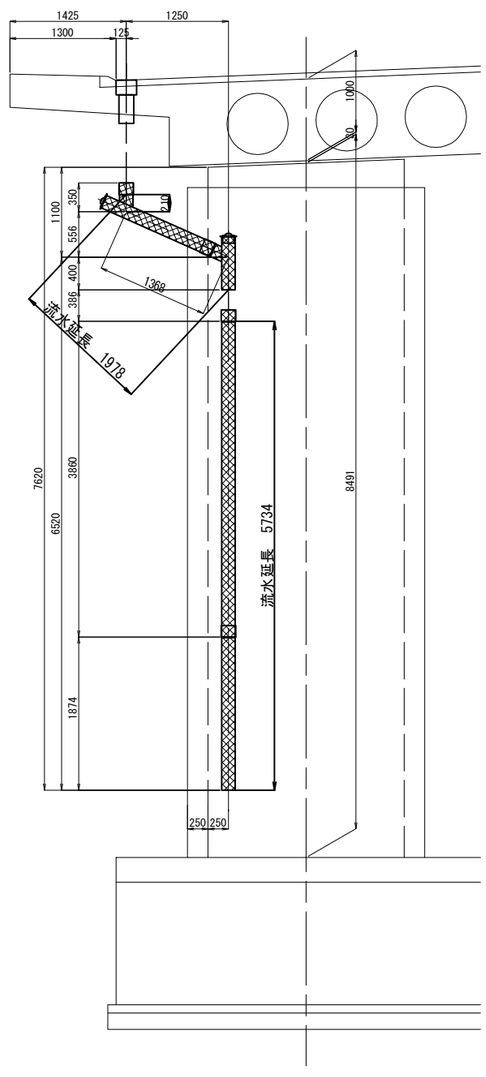
EX1 1箇所

再利用図

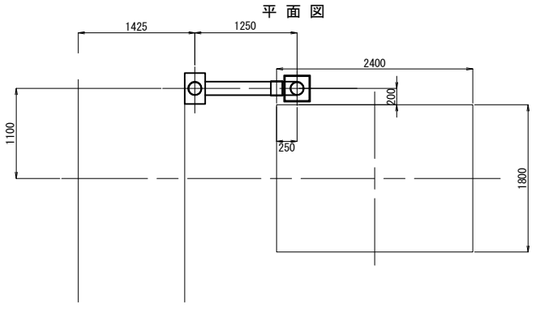
側 面 図



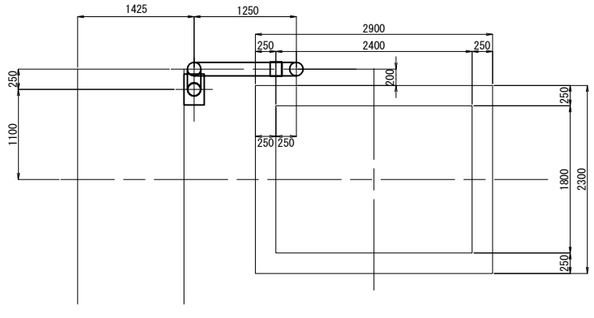
正 面 図



平 面 図



平 面 図



凡 例：

撤去範囲

流用範囲

新設範囲

C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

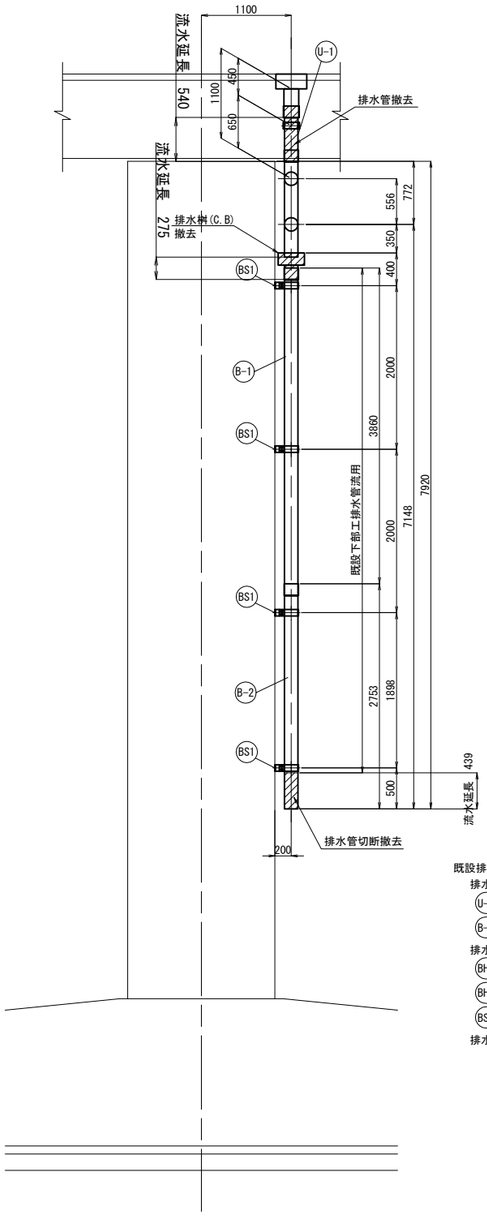
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その10)		
縮　尺	図　示	図面番号	122 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その11) S=1:75

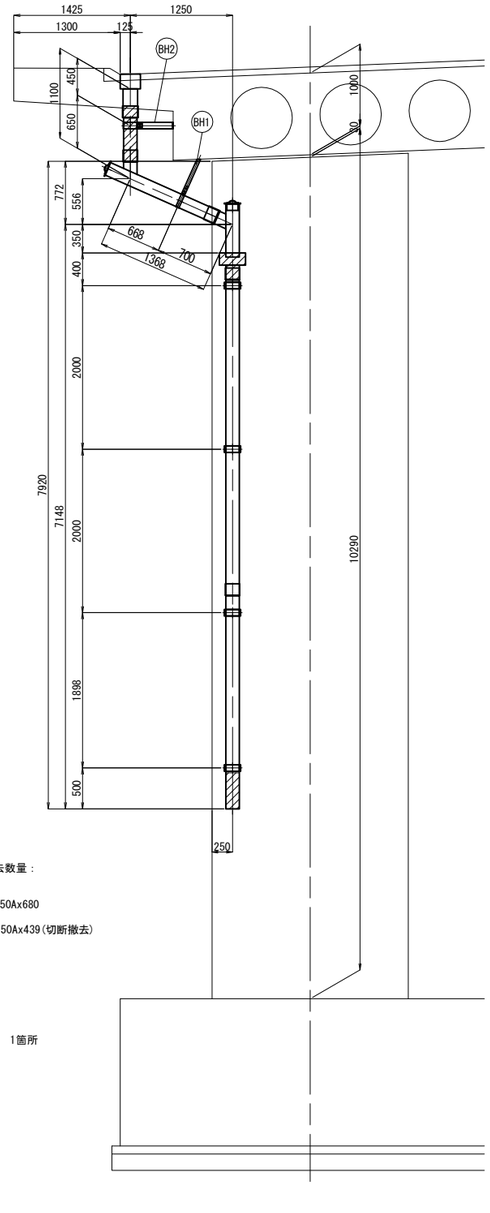
P6橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

側 面 図



正 面 図



既設排水装置撤去数量：

排水管：

(U-1) 1-VP 150Ax680

(B-2) 1-VP 150Ax439(切断撤去)

排水金具：

(BH1) 1箇所

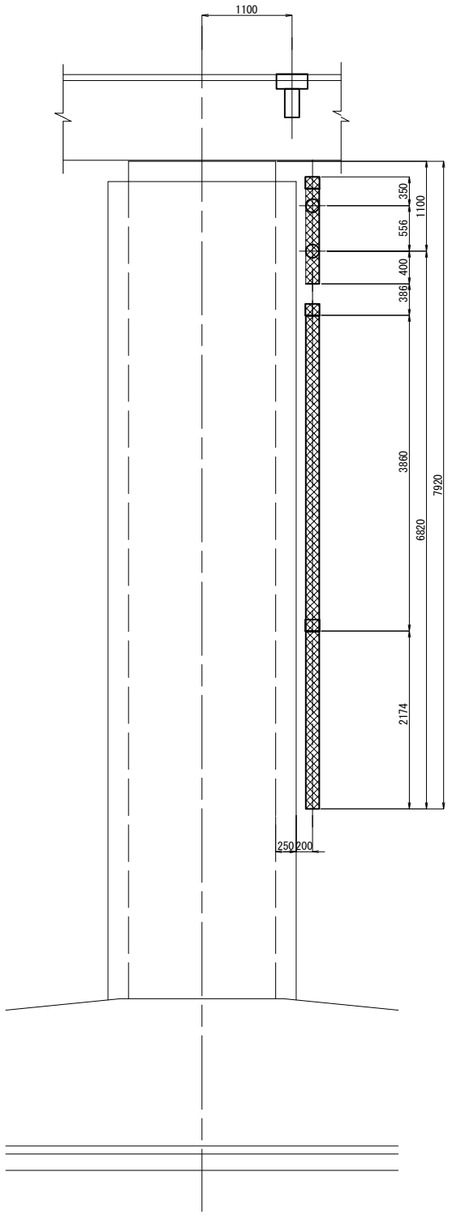
(BH2) 1箇所

(BS1) 4箇所

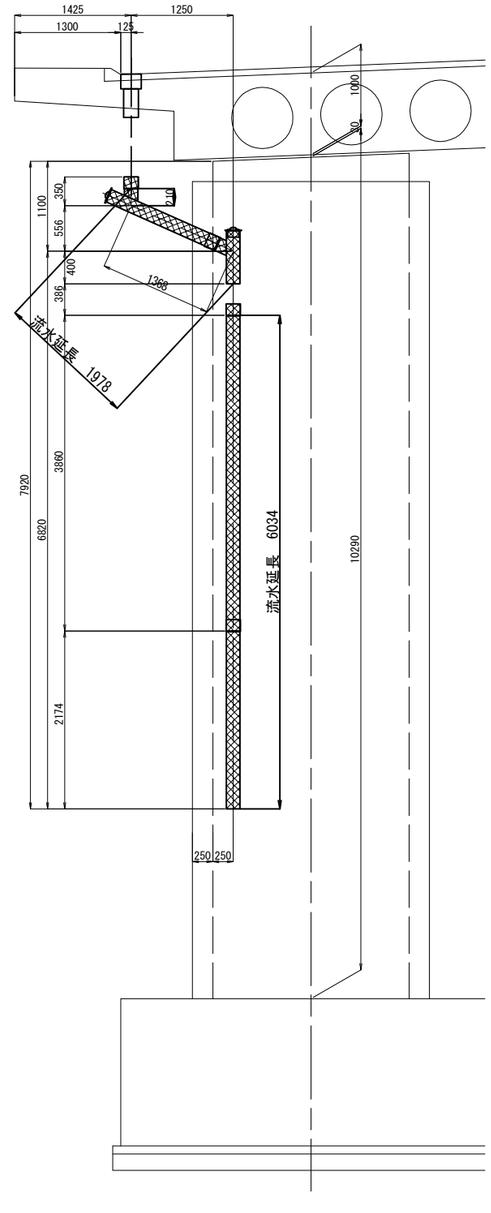
排水桝(C.B) 1箇所

一時撤去(再利用)図

側 面 図



正 面 図



凡 例：

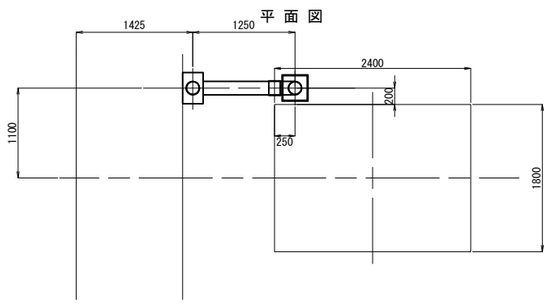
撤去範囲

流用範囲

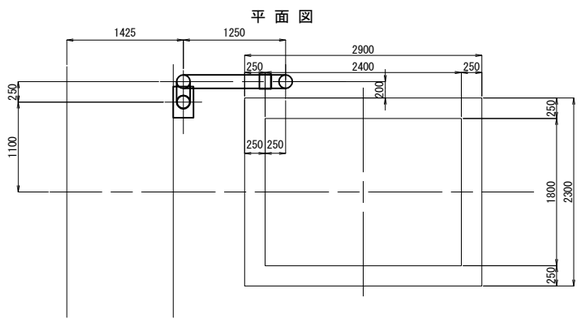
新設範囲

C ：全て新設部材

平 面 図



平 面 図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

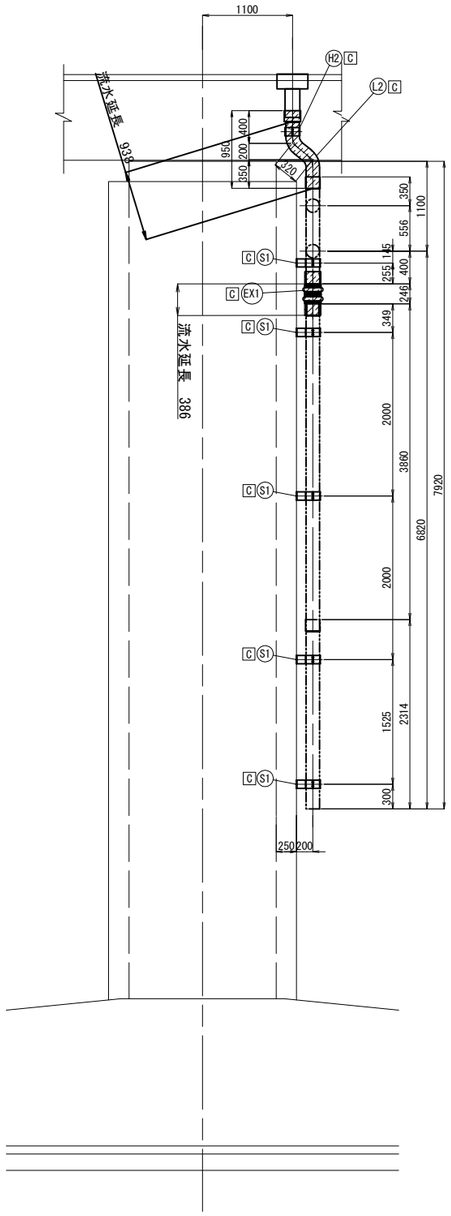
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その11)		
縮 尺	図 示	図面番号	123 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その12) S=1:75

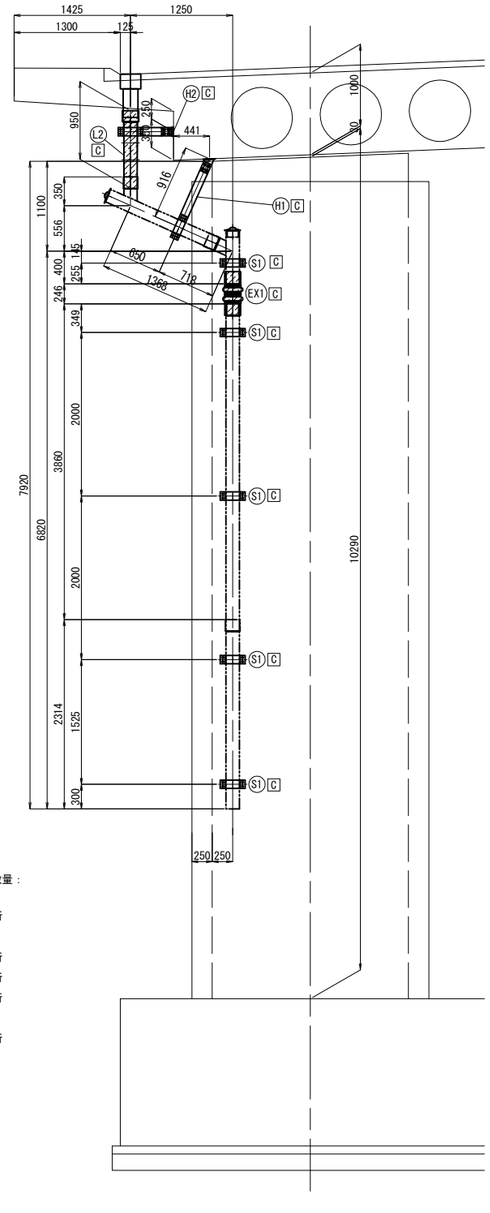
P6橋脚 排水装置 設置工

新設図

側 面 図



正 面 図



排水装置新設数量：

排水管：

L2 1箇所

排水金具：

H1 1箇所

H2 1箇所

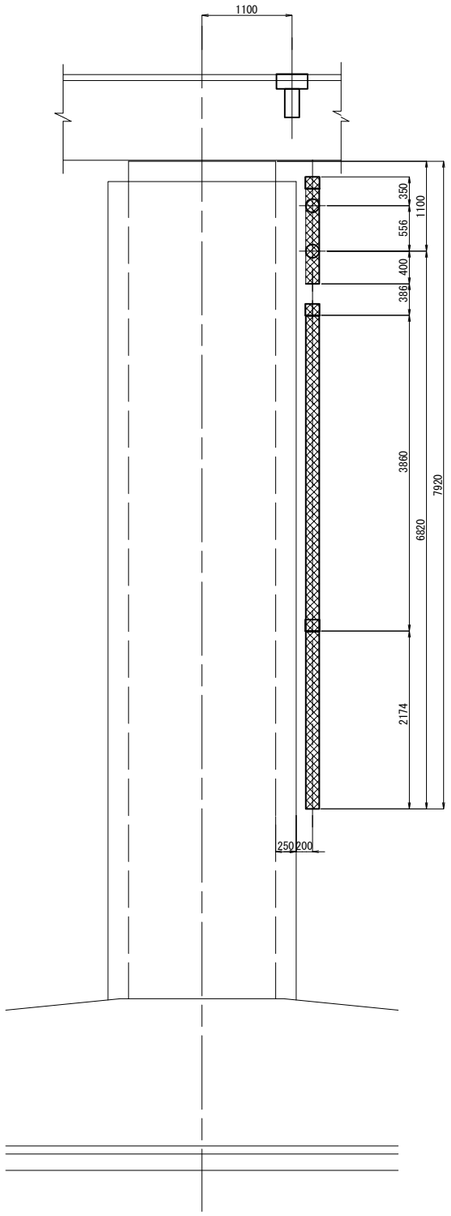
S1 5箇所

伸縮継手：

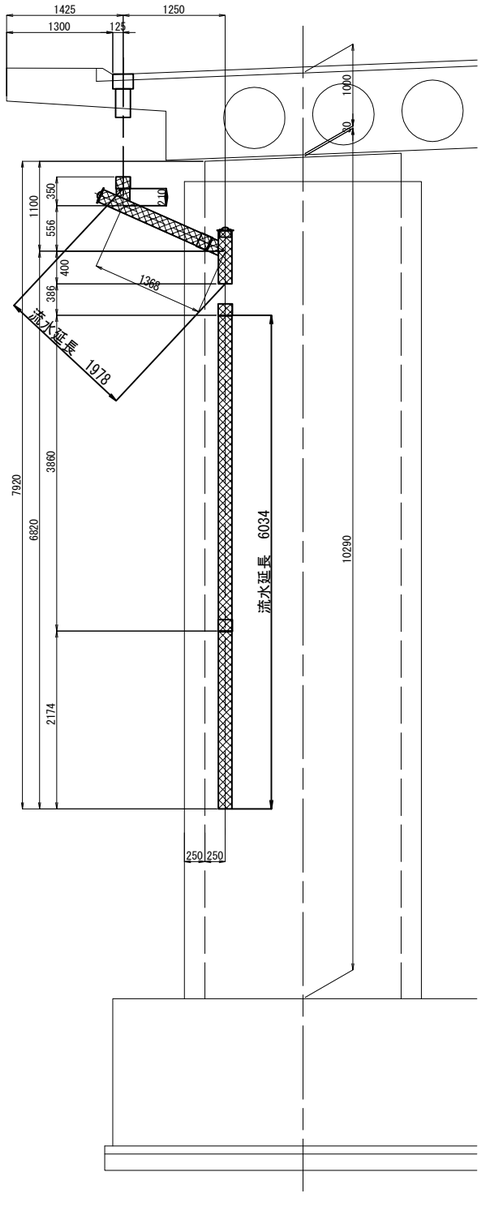
EX1 1箇所

再利用図

側 面 図



正 面 図



凡 例：

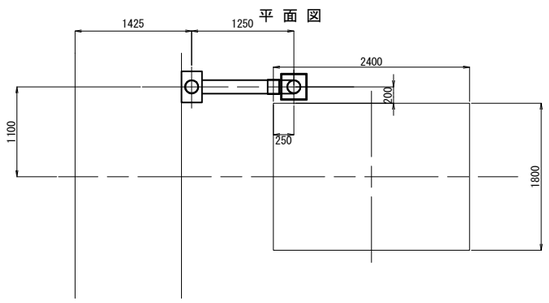
撤去範囲

流用範囲

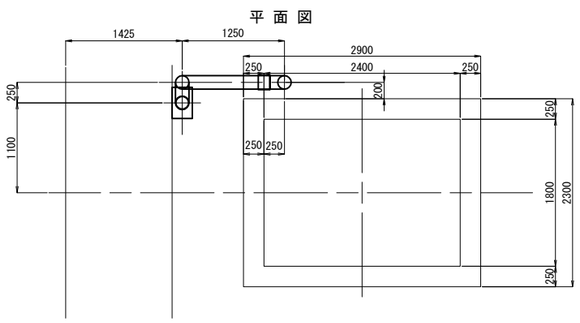
新設範囲

C ：全て新設部材

平 面 図



平 面 図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

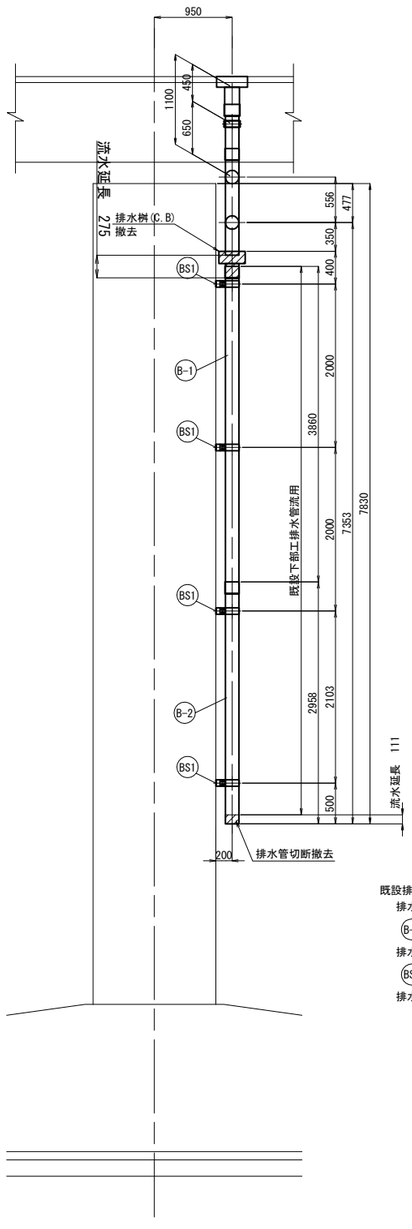
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その12)		
縮　尺	図　示	図面番号	124 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その13) S=1:75

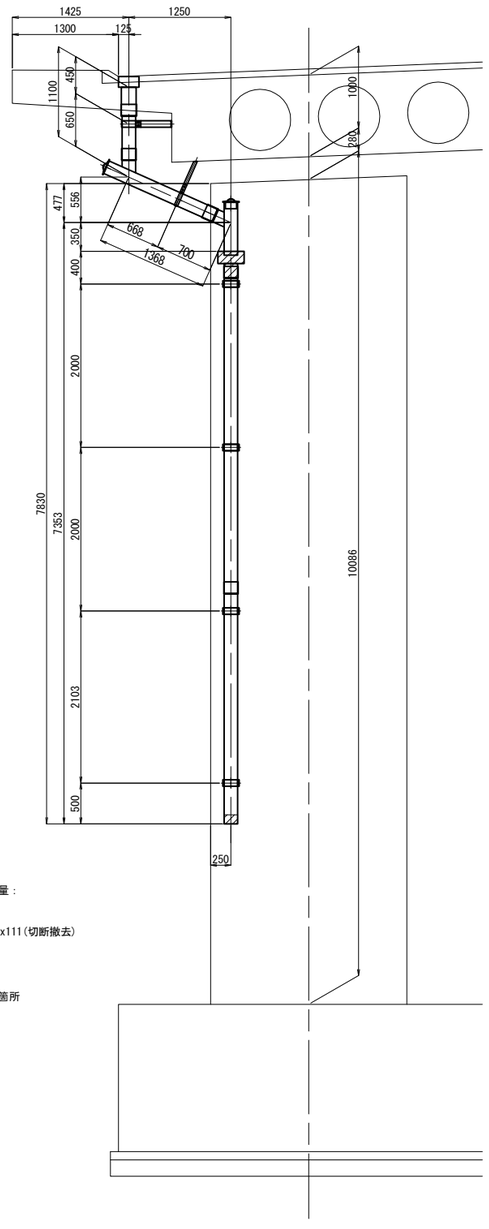
P7橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

側 面 図



正 面 図



既設排水装置撤去数量：

排水管：

(B-2) 1-VP 150Ax111(切断撤去)

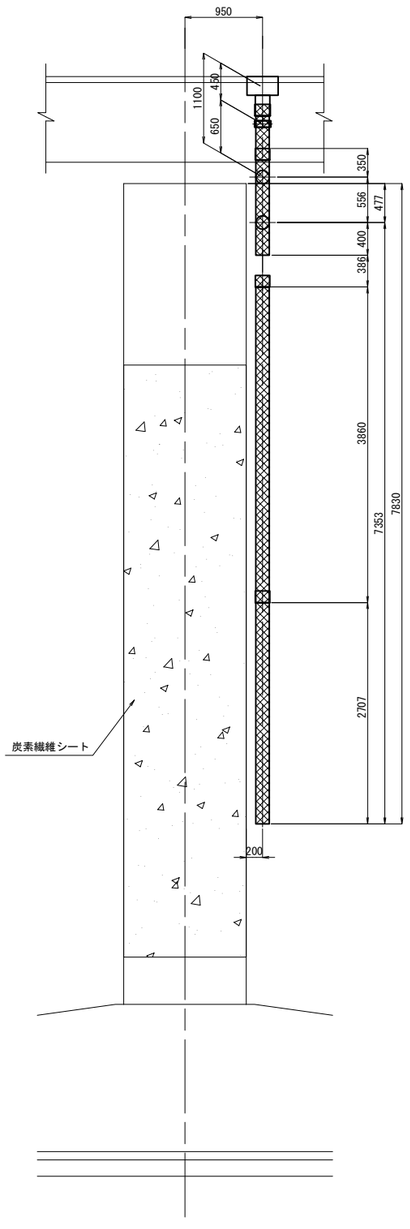
排水金具：

(BS1) 4箇所

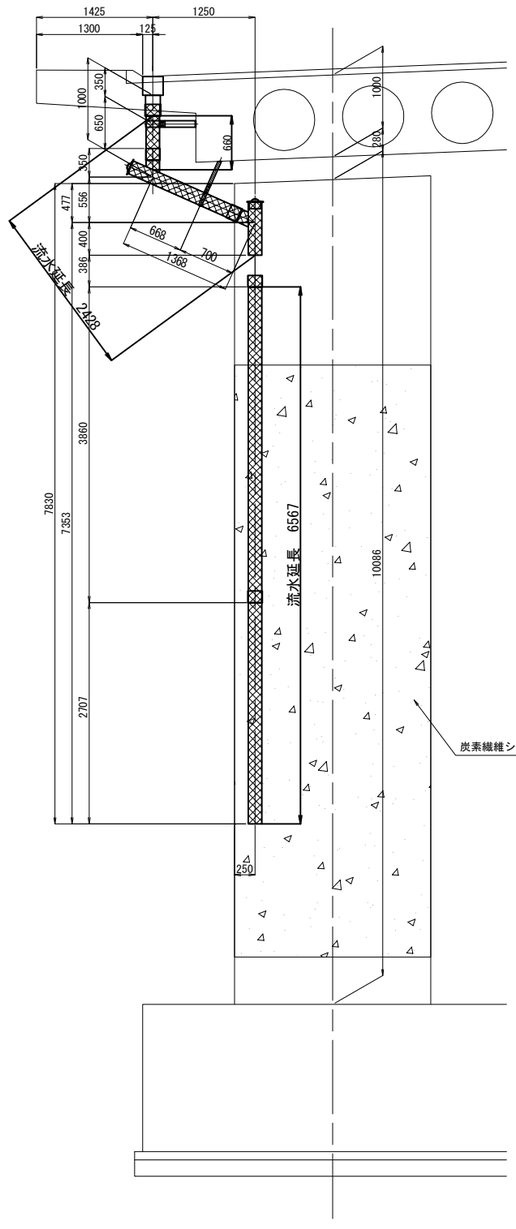
排水桝(C.B) 1箇所

一時撤去(再利用)図

側 面 図



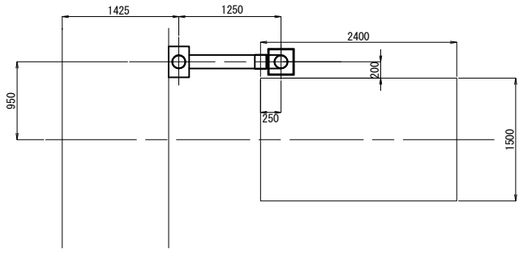
正 面 図



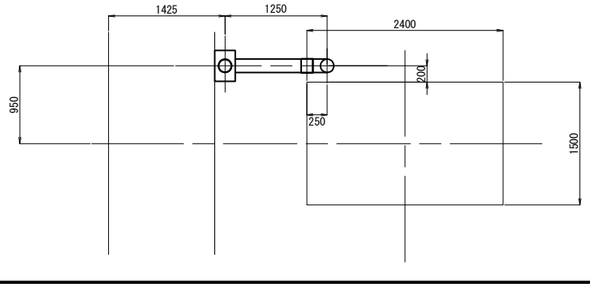
凡 例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

平 面 図



平 面 図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

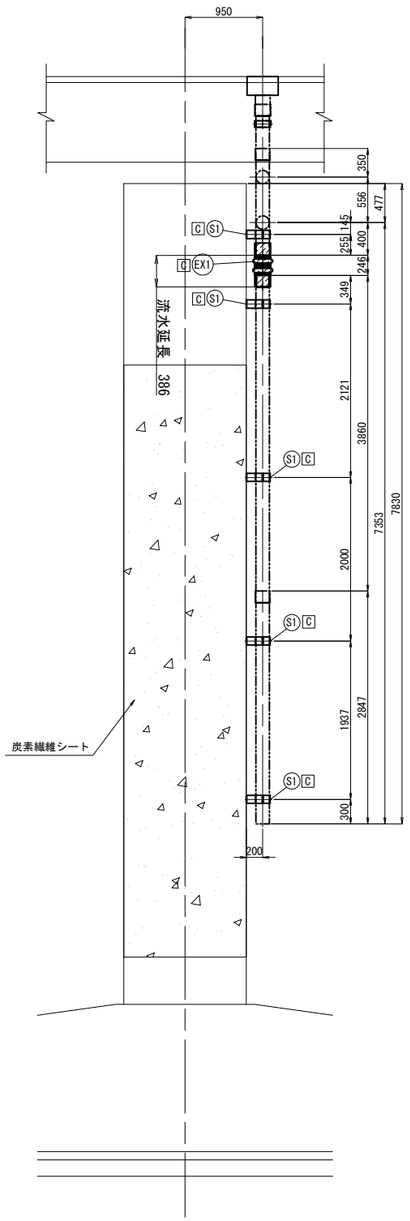
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その13)		
縮 尺	図 示	図面番号	125 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その14) S=1:75

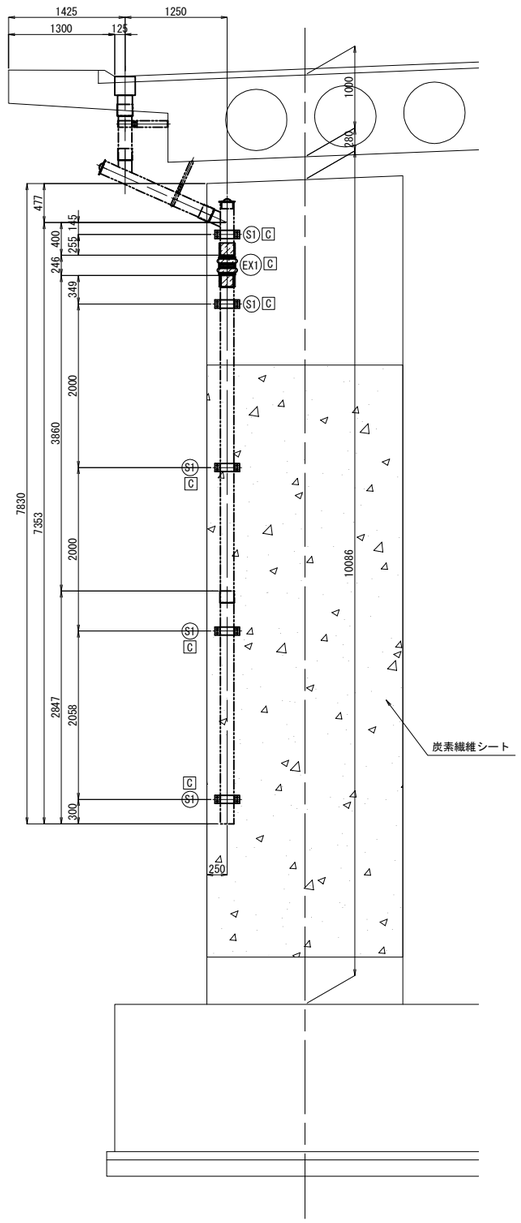
P7橋脚 排水装置 設置工

新設図

側 面 図



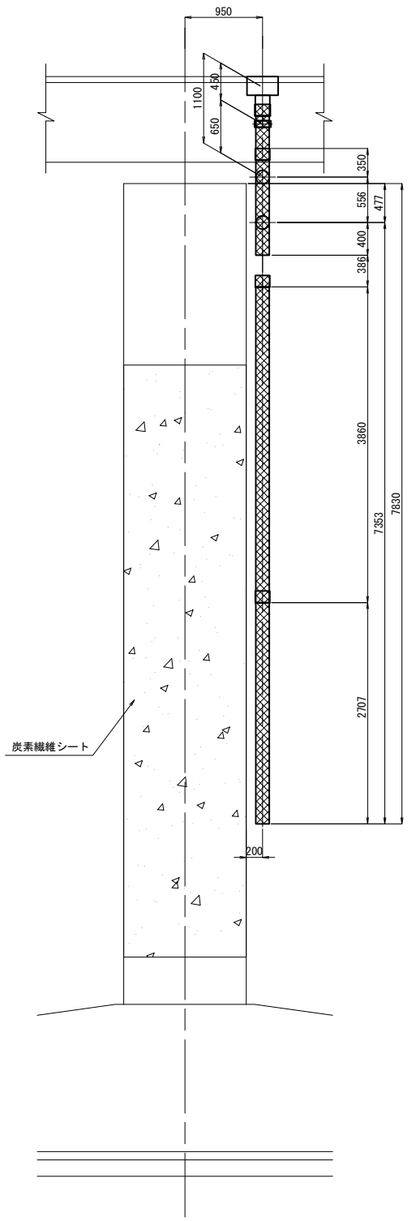
正 面 図



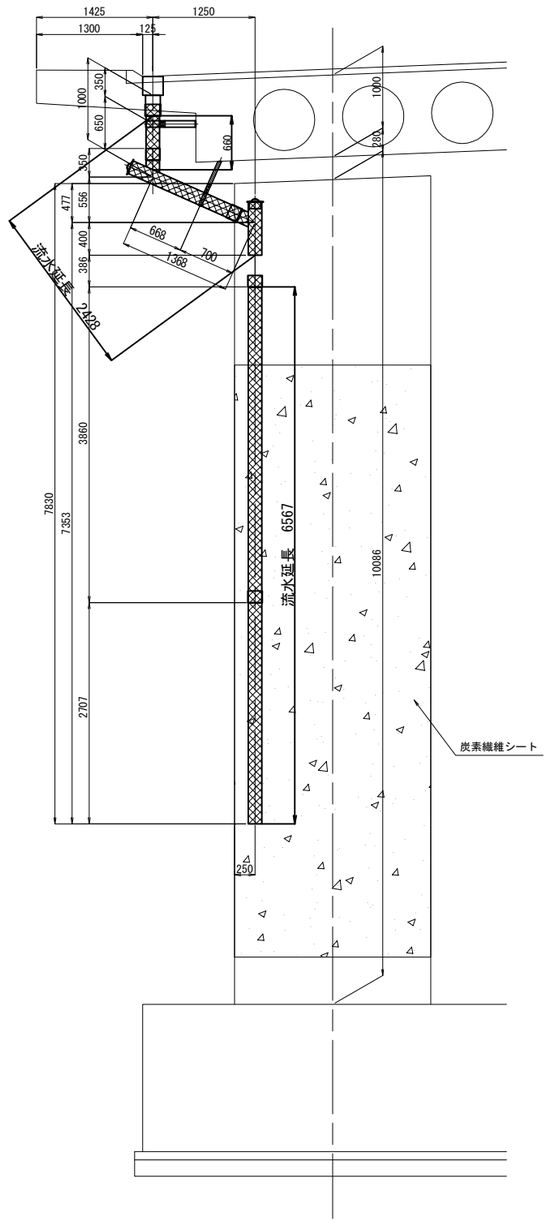
排水装置新設数量：
排水金具：
S1 5箇所
伸縮継手：
EX1 1箇所

再利用図

側 面 図



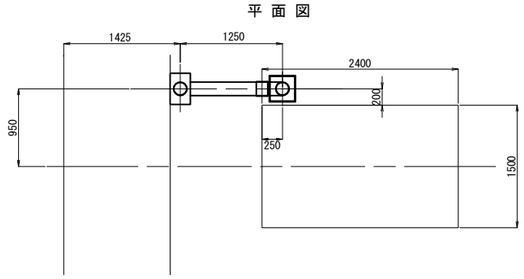
正 面 図



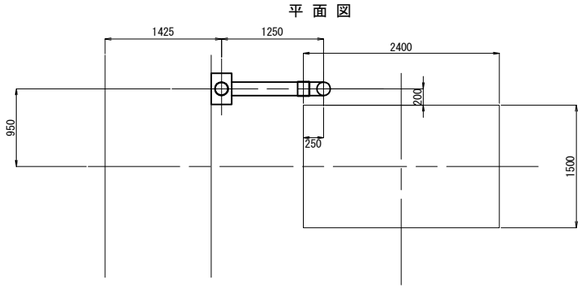
凡 例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

平 面 図



平 面 図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

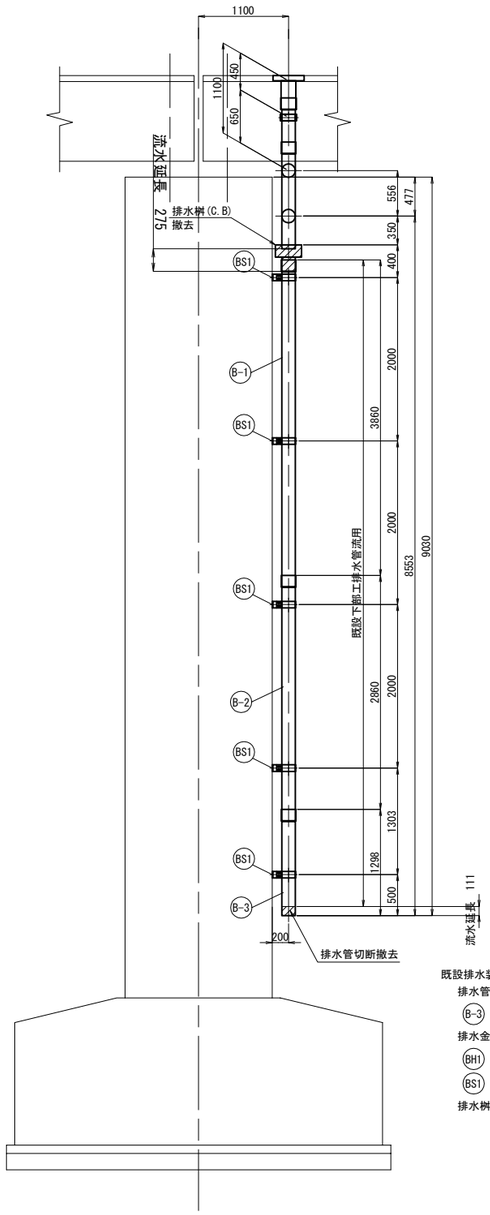
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その14)		
縮 尺	図 示	図面番号	126 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その15) S=1:75

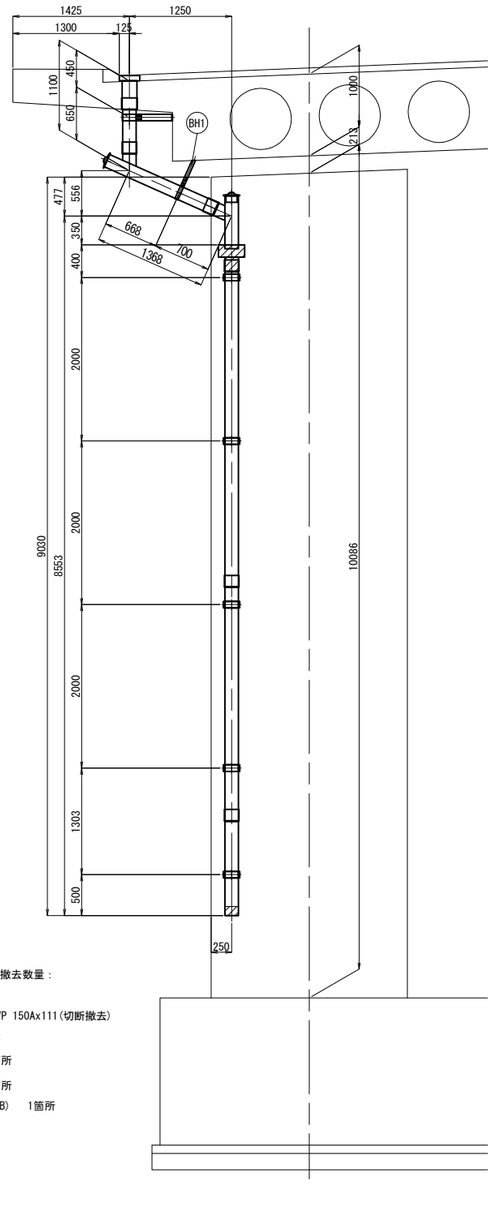
P8橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

側 面 図



正 面 図



既設排水装置撤去数量：

排水管：

(B-3) 1-VP 150Ax111(切断撤去)

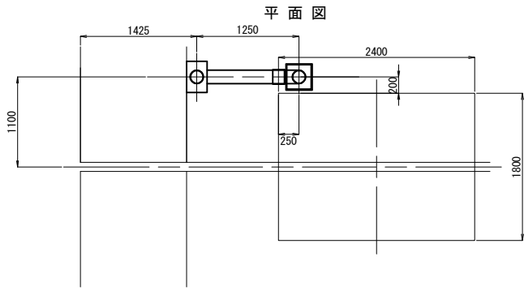
排水金具：

(BH1) 1箇所

(BS1) 5箇所

排水桝(C.B) 1箇所

平 面 図



凡 例：

撤去範囲

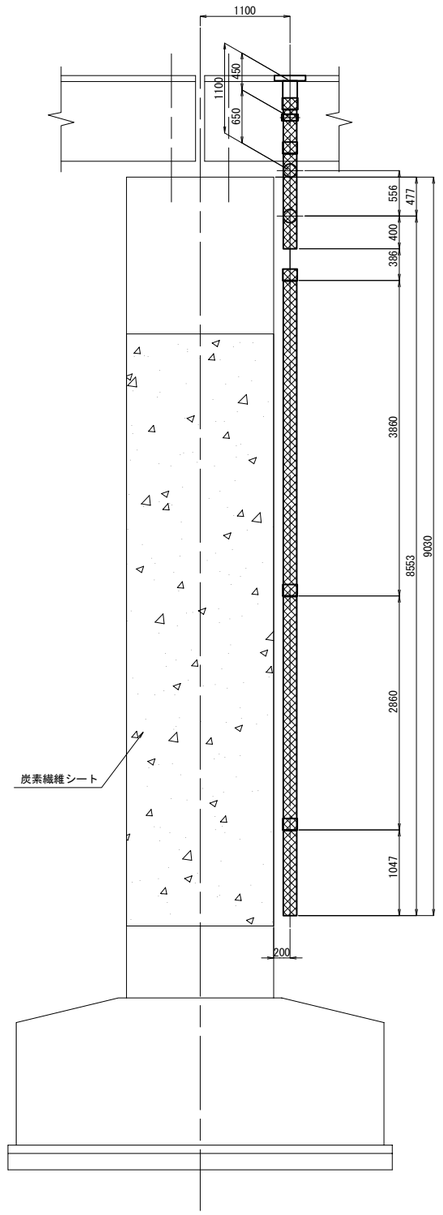
流用範囲

新設範囲

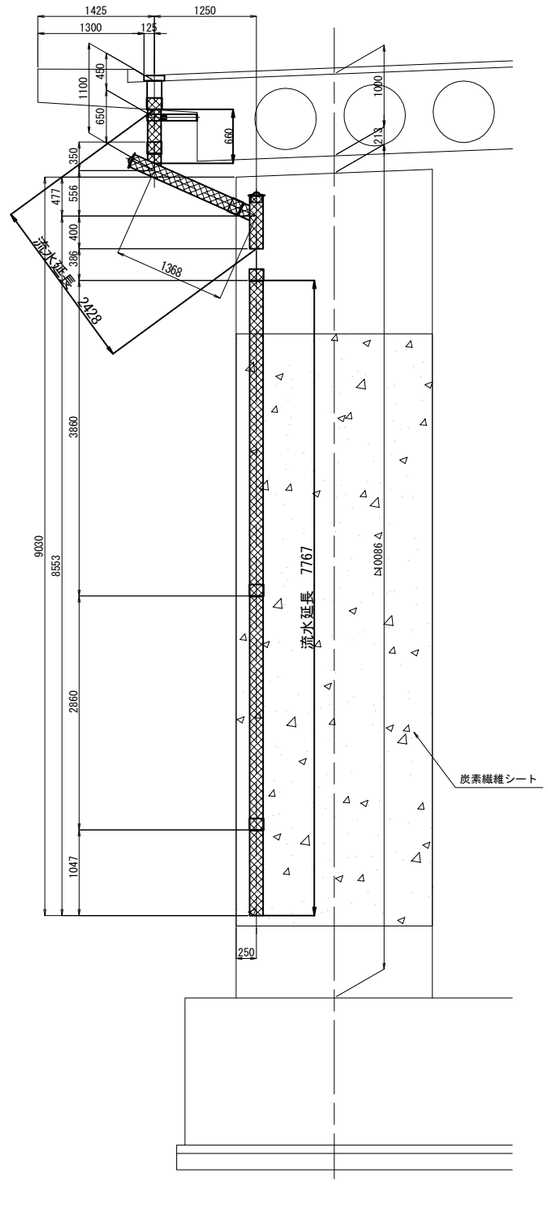
C ：全て新設部材

一時撤去(再利用)図

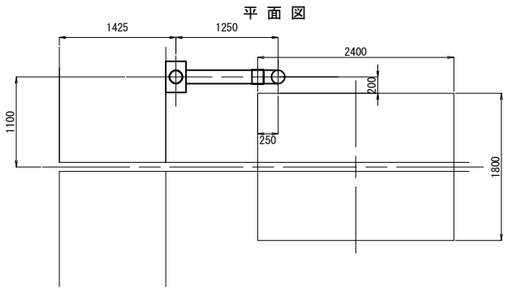
側 面 図



正 面 図



平 面 図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

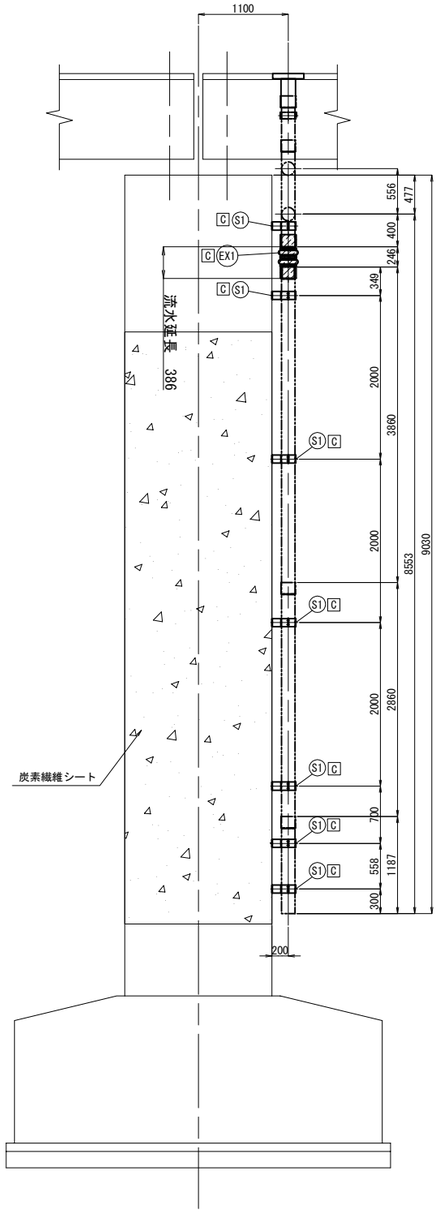
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その15)		
縮 尺	図 示	図面番号	127 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その16) S=1:75

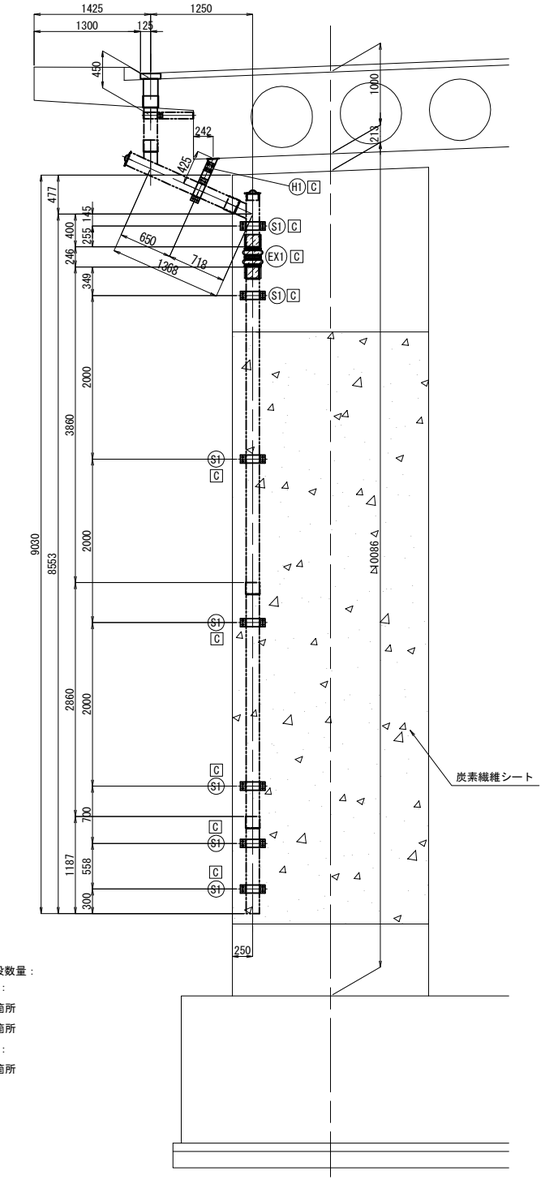
P8橋脚 排水装置 設置工

新設図

側 面 図



正 面 図



排水装置新設数量：

排水金具：

(H1) 1箇所

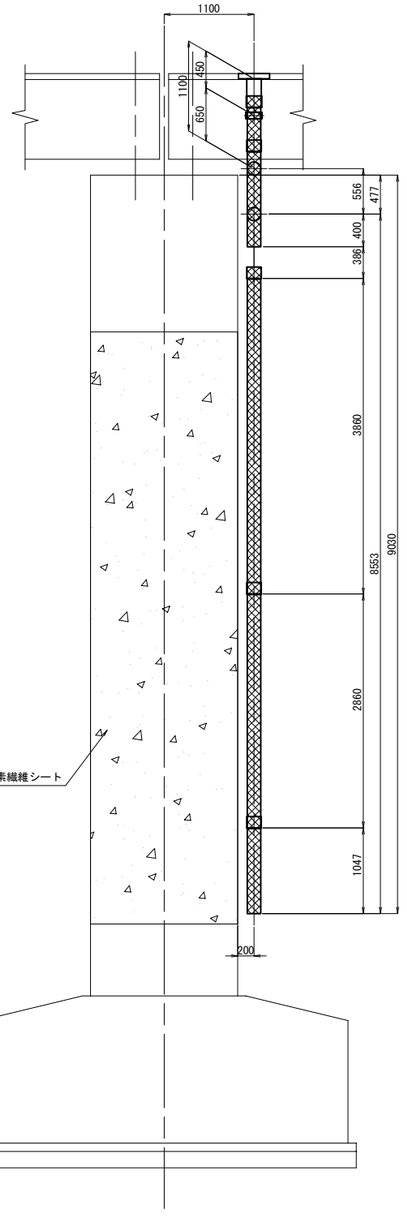
(S1) 7箇所

伸縮継手：

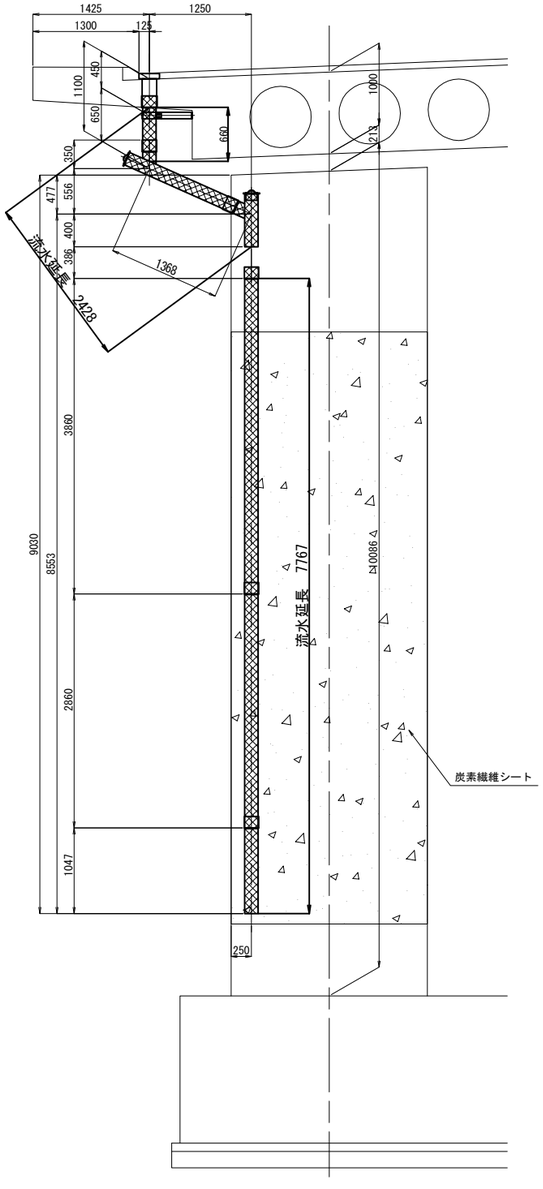
(EX1) 1箇所

再利用図

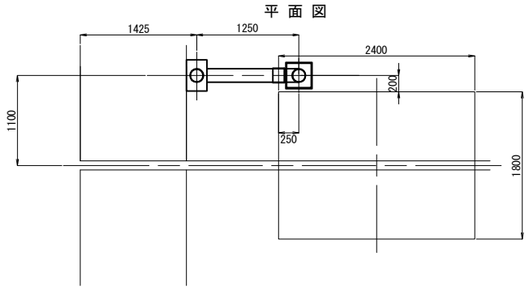
側 面 図



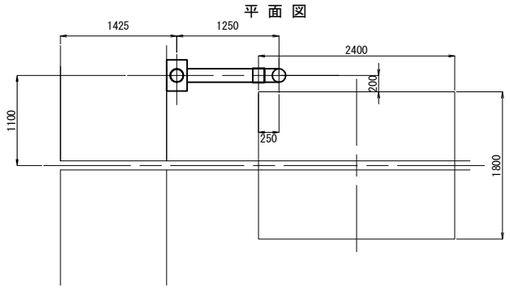
正 面 図



平 面 図



平 面 図



凡 例：

撤去範囲

流用範囲

新設範囲

C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

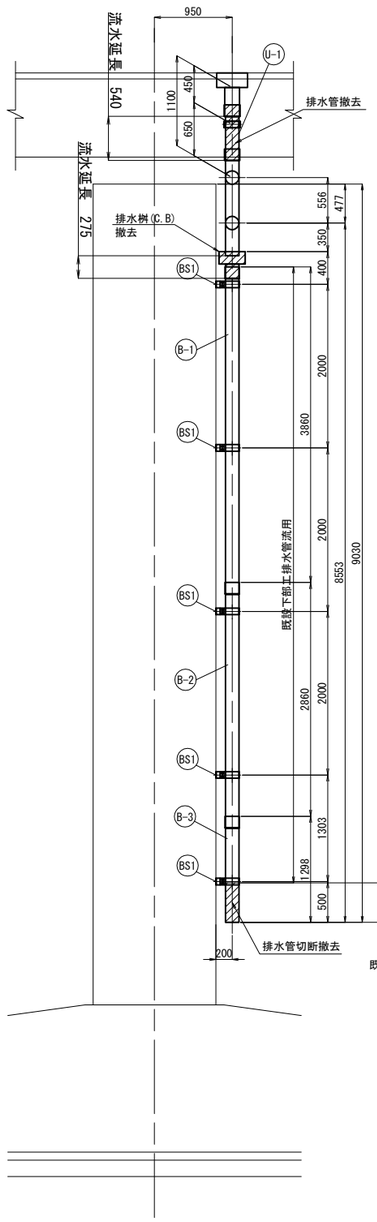
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その16)		
縮　尺	図　示	図面番号	128 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その17) S=1:75

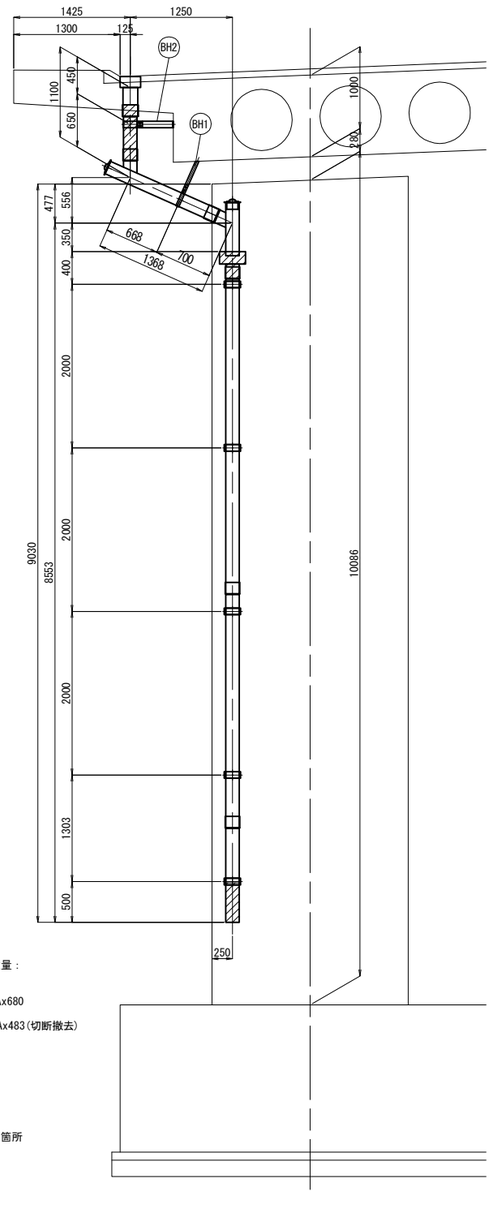
P9橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

側 面 図



正 面 図



既設排水装置撤去数量：

排水管：

(U-1) 1-VP 150Ax680

(B-3) 1-VP 150Ax483(切断撤去)

排水金具：

(BH1) 1箇所

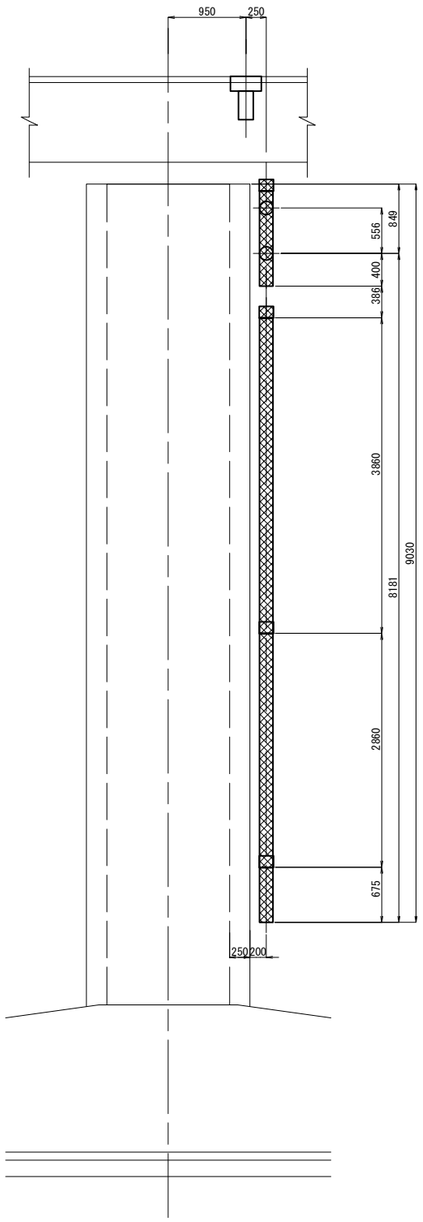
(BH2) 1箇所

(BS1) 5箇所

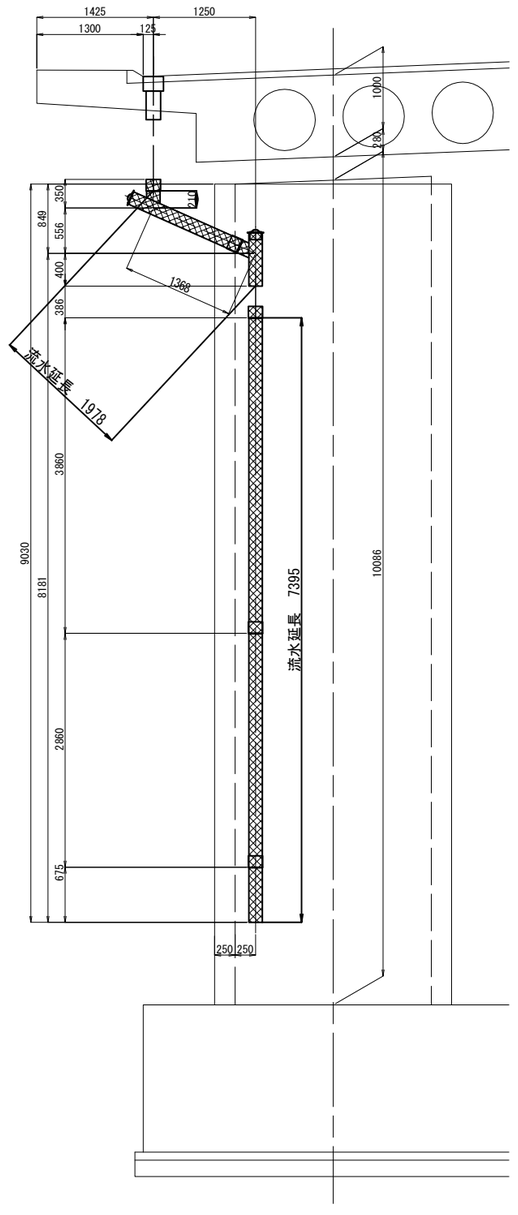
排水桝(C.B) 1箇所

一時撤去(再利用)図

側 面 図



正 面 図



凡 例：

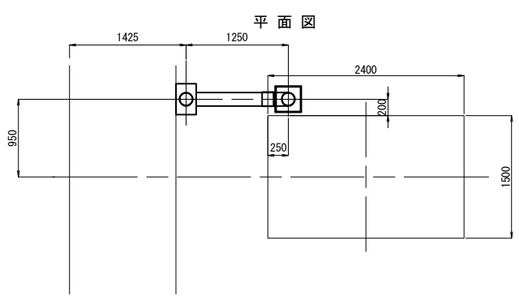
撤去範囲

流用範囲

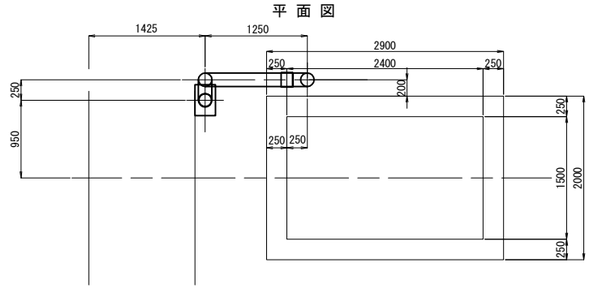
新設範囲

C ：全て新設部材

平 面 図



平 面 図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

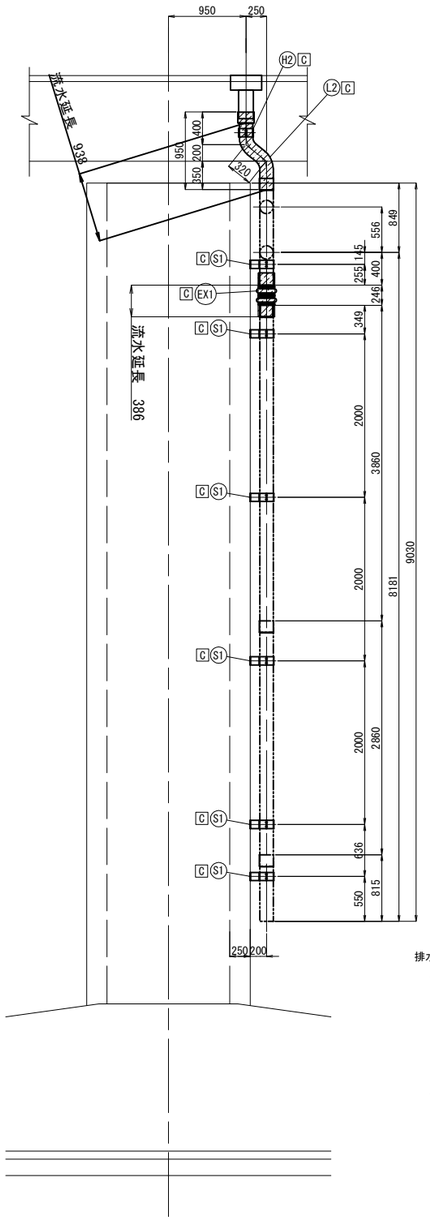
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その17)		
縮 尺	図 示	図面番号	129 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その18) S=1:75

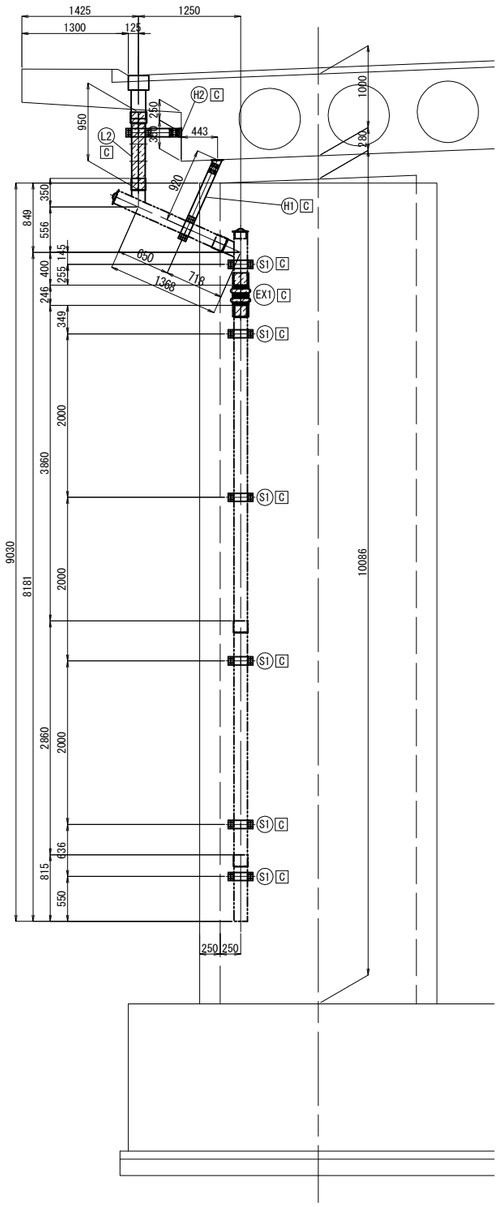
P9橋脚 排水装置 設置工

新設図

側 面 図



正 面 図



排水装置新設数量：

排水管：

L2 1箇所

排水金具：

H1 1箇所

H2 1箇所

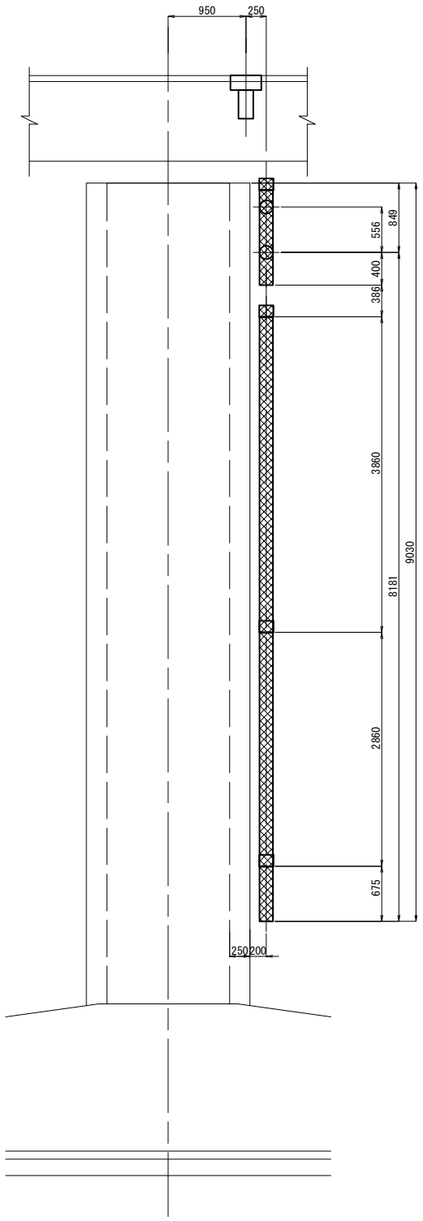
S1 6箇所

伸縮継手：

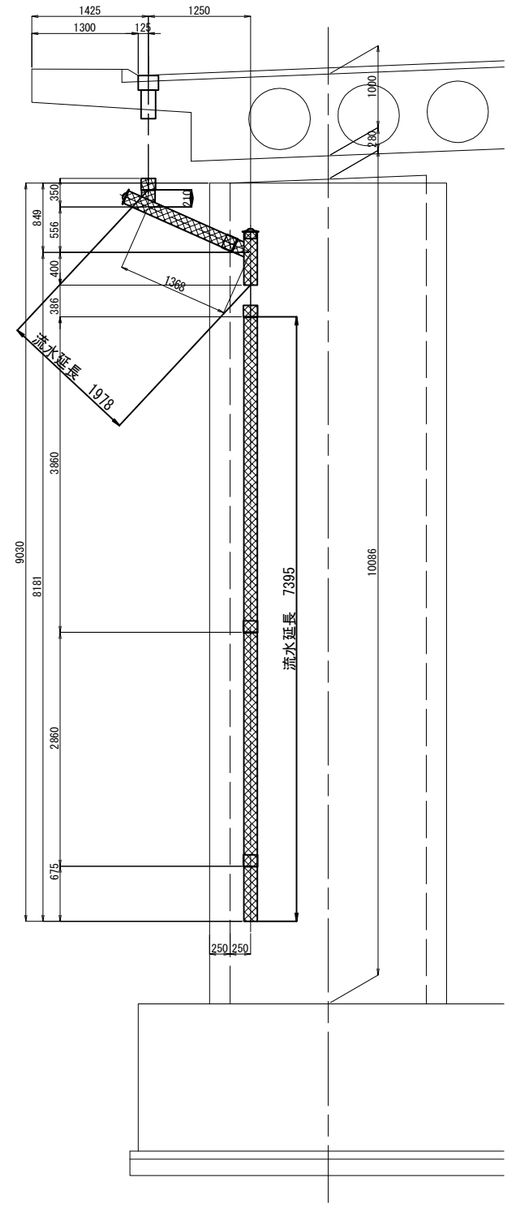
EX1 1箇所

再利用図

側 面 図



正 面 図



凡 例：

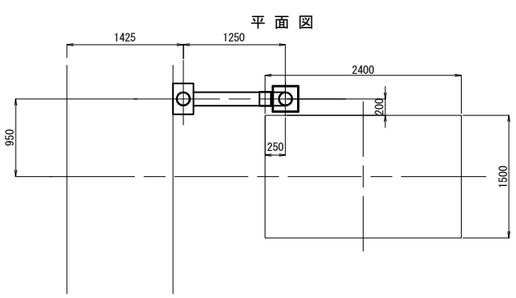
撤去範囲

流用範囲

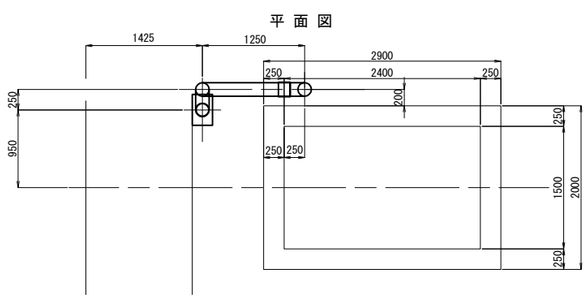
新設範囲

C ：全て新設部材

平 面 図



平 面 図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

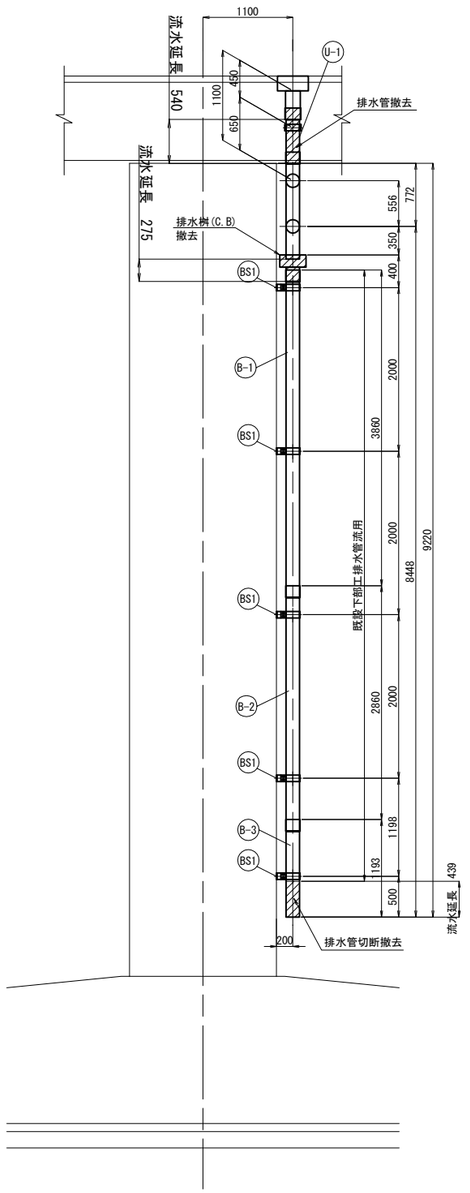
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その18)		
縮 尺	図 示	図面番号	130 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その19) S=1:75

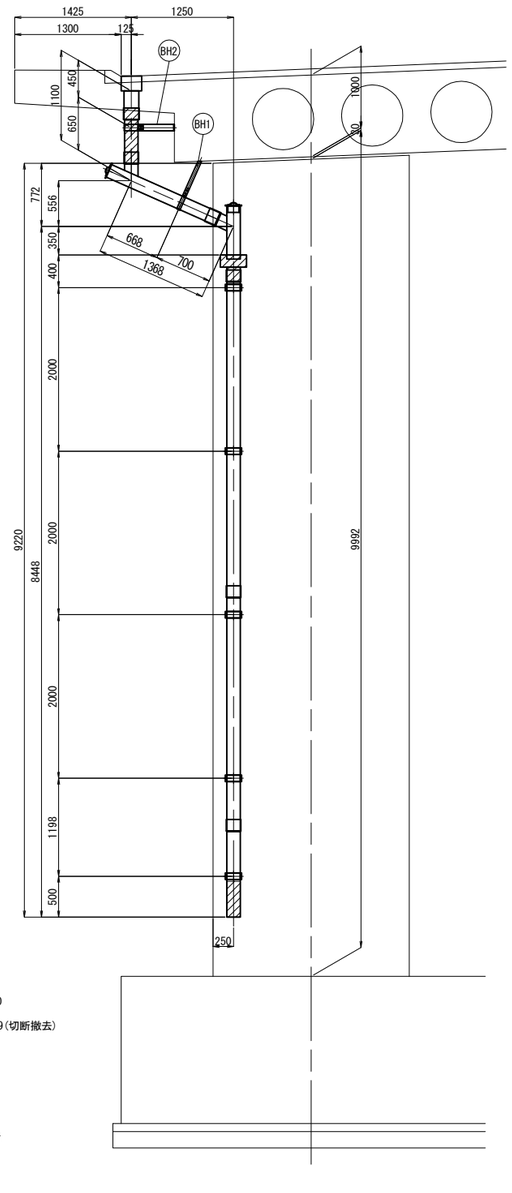
P10橋脚、P11橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

側 面 図



正 面 図



既設排水装置撤去数量：

排水管：

- (U-1) 1-VP 150Ax680
- (B-3) 1-VP 150Ax439(切断撤去)

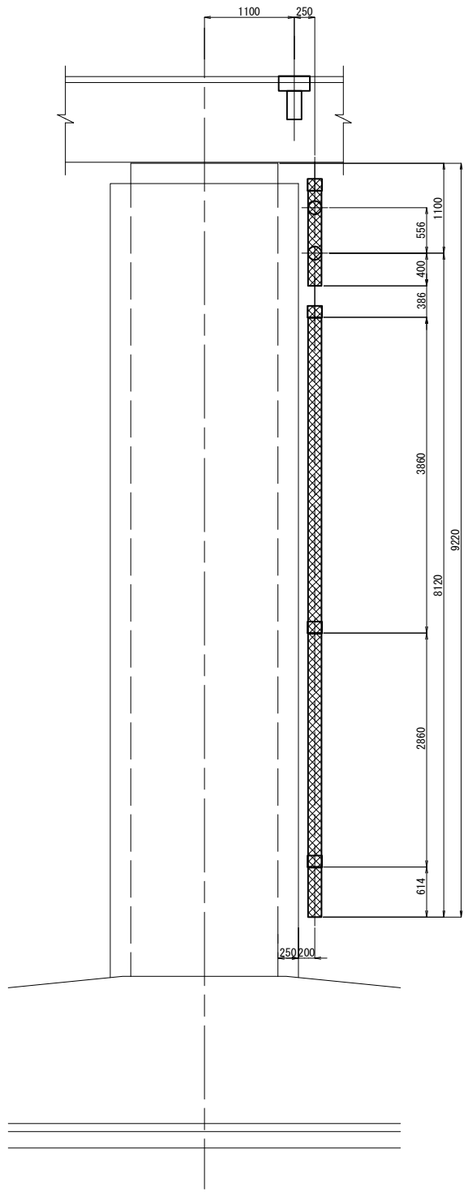
排水金具：

- (BH1) 1箇所
- (BH2) 1箇所
- (BS1) 5箇所

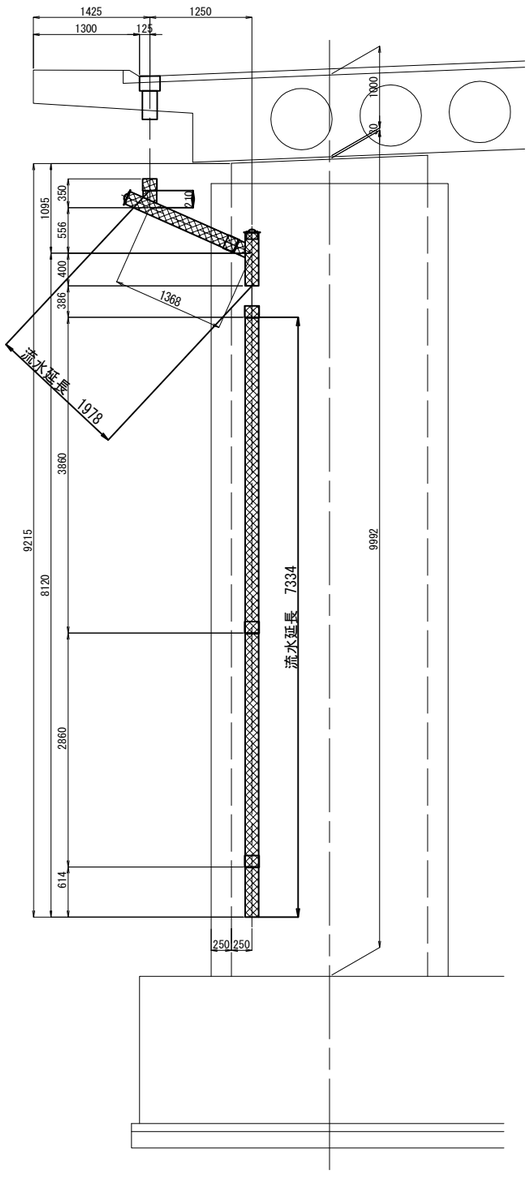
排水桝(C.B) 1箇所

一時撤去(再利用)図

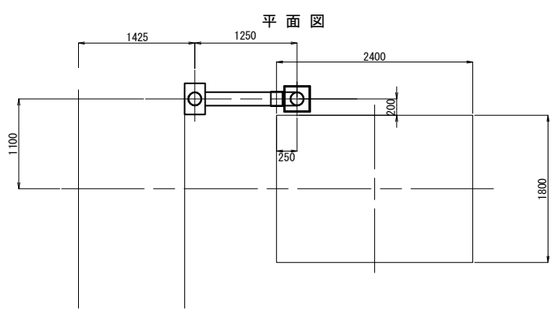
側 面 図



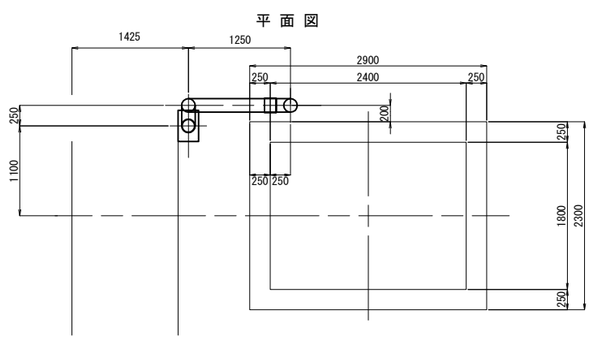
正 面 図



平 面 図



平 面 図



凡 例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

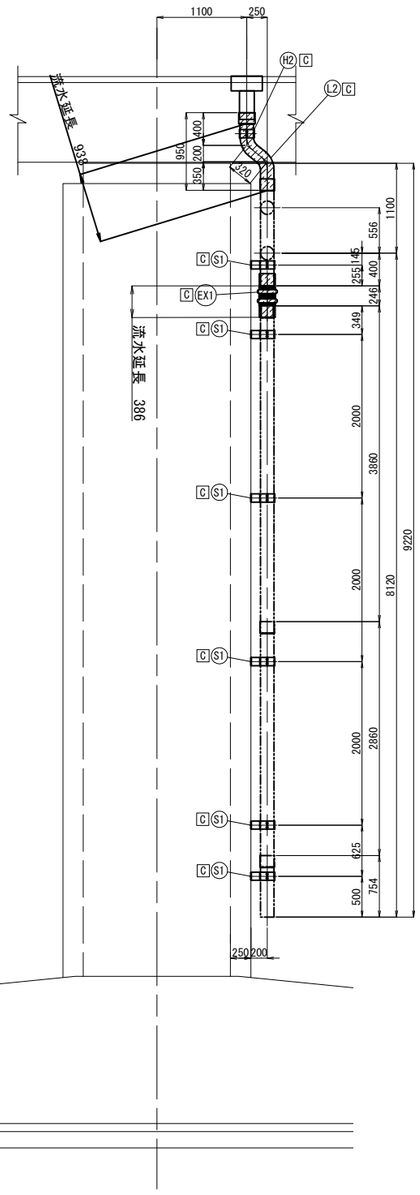
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その19)		
縮 尺	図 示	図面番号	131 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その20) S=1:75

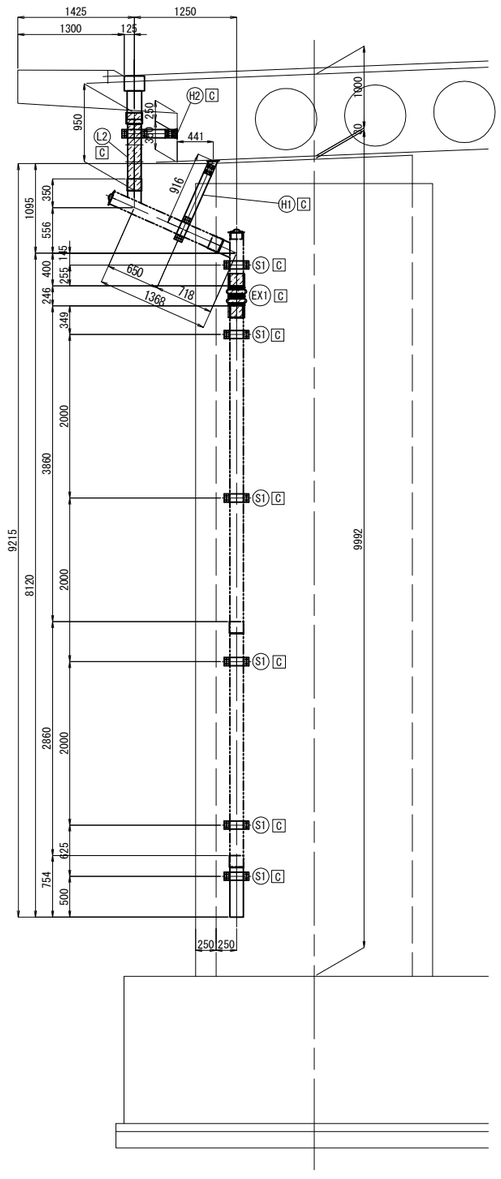
P10橋脚、P11橋脚 排水装置 設置工

新設図

側 面 図



正 面 図



排水装置新設数量：

排水管：

L2 1箇所

排水金具：

H1 1箇所

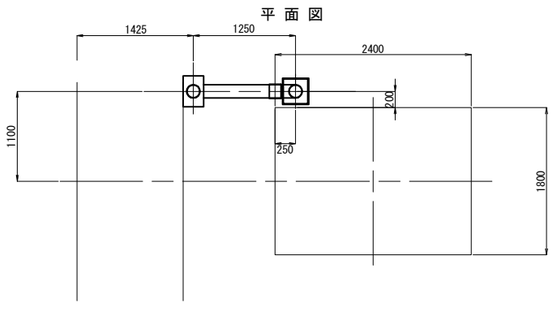
H2 1箇所

S1 6箇所

伸縮継手：

EX1 1箇所

平 面 図



凡 例：

撤去範囲

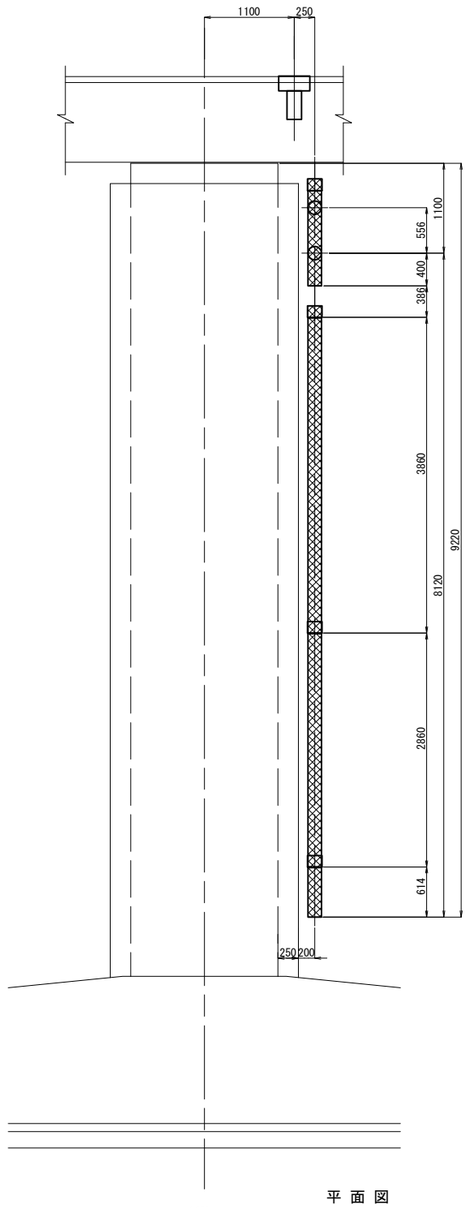
流用範囲

新設範囲

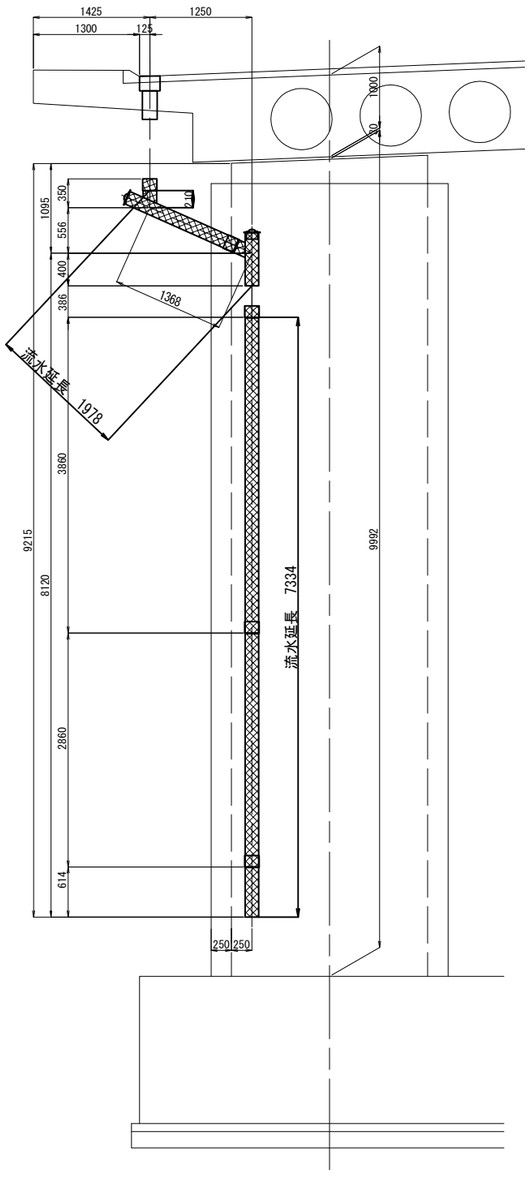
C ：全て新設部材

再利用図

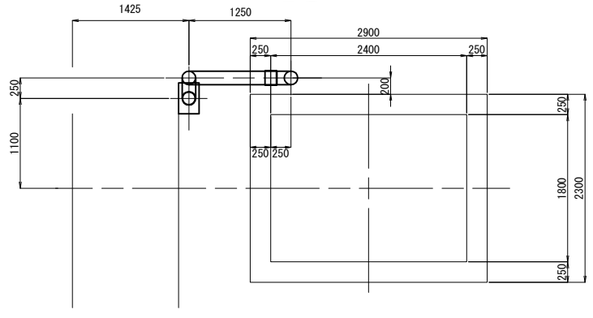
側 面 図



正 面 図



平 面 図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

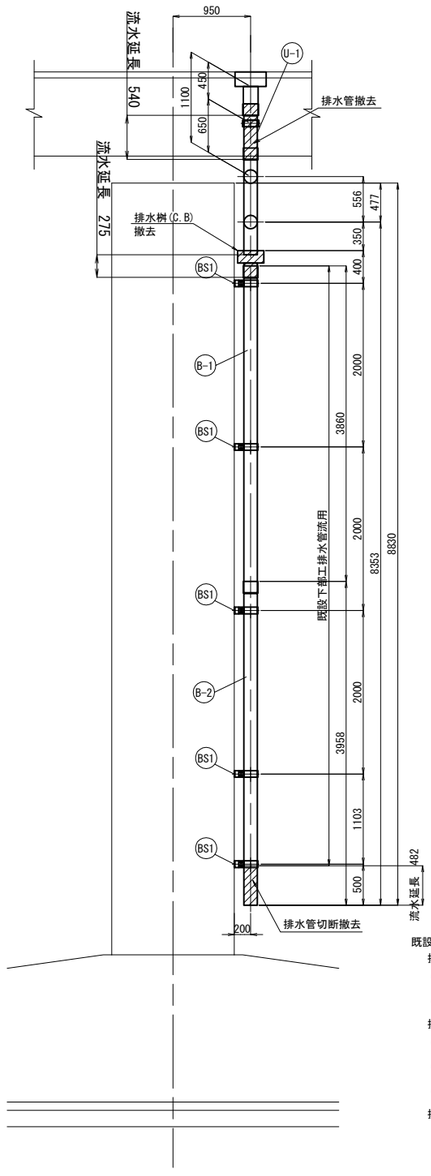
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その20)		
縮 尺	図 示	図面番号	132 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その21) S=1:75

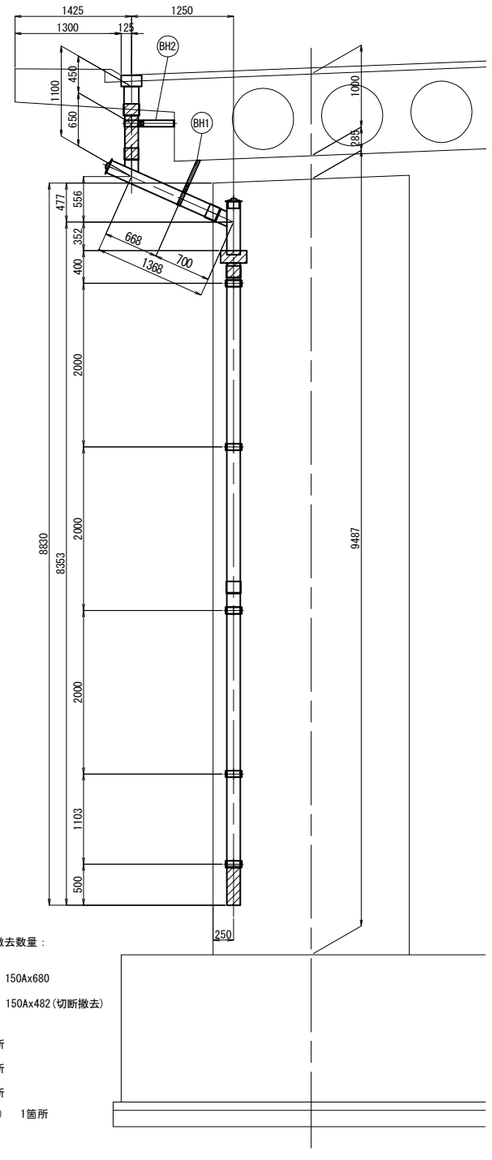
P12橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

側 面 図



正 面 図



既設排水装置撤去数量：

排水管：

- U-1 1-VP 150Ax680
- B-2 1-VP 150Ax482(切断撤去)

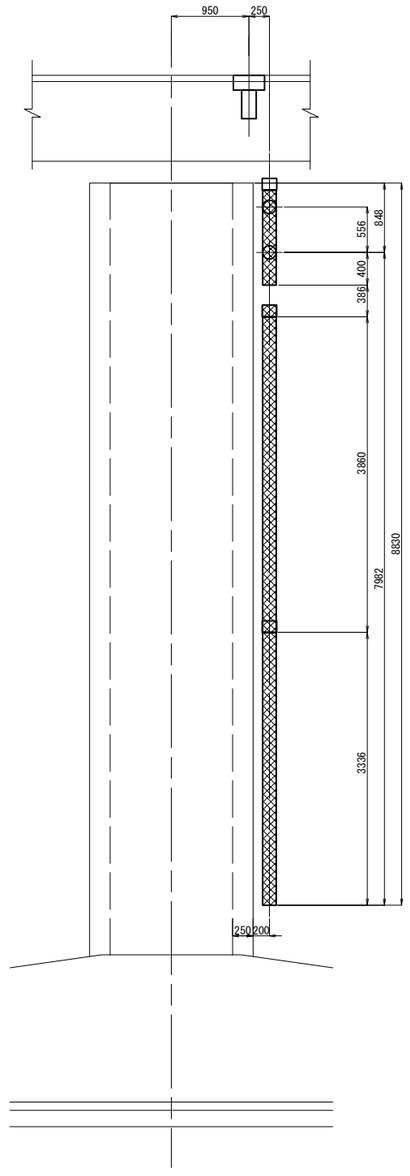
排水金具：

- BH1 1箇所
- BH2 1箇所
- BS1 5箇所

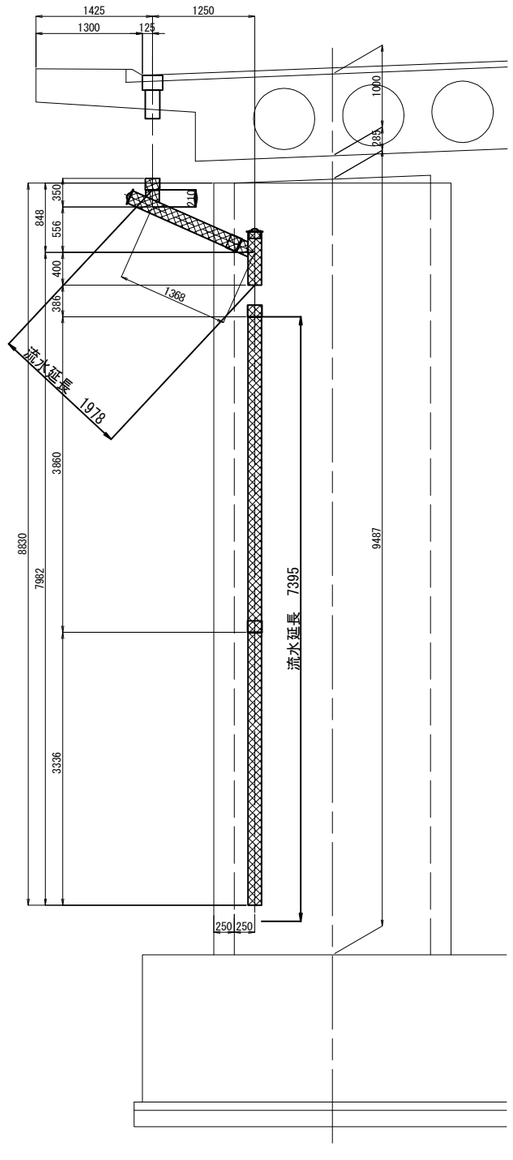
排水桝(C.B) 1箇所

一時撤去(再利用)図

側 面 図



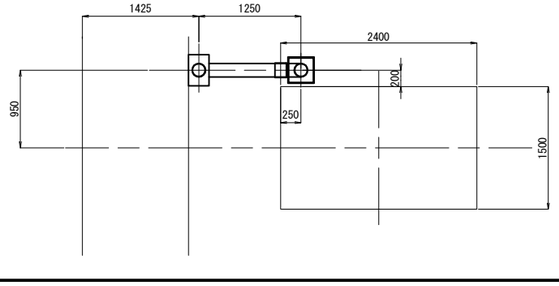
正 面 図



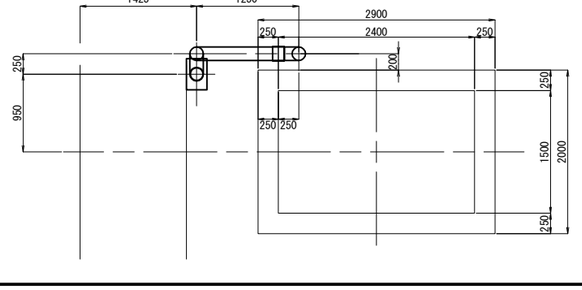
凡 例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材

平 面 図



平 面 図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

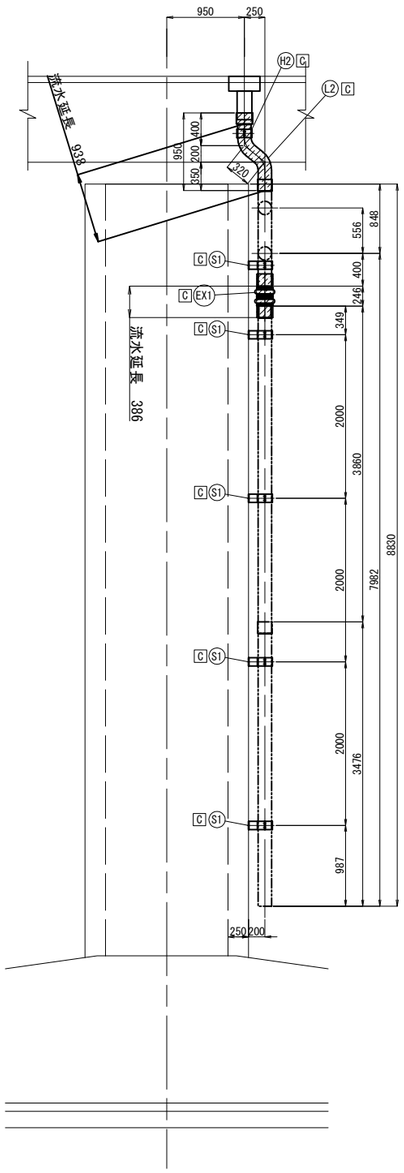
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その21)		
縮 尺	図 示	図面番号	133 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その22) S=1:75

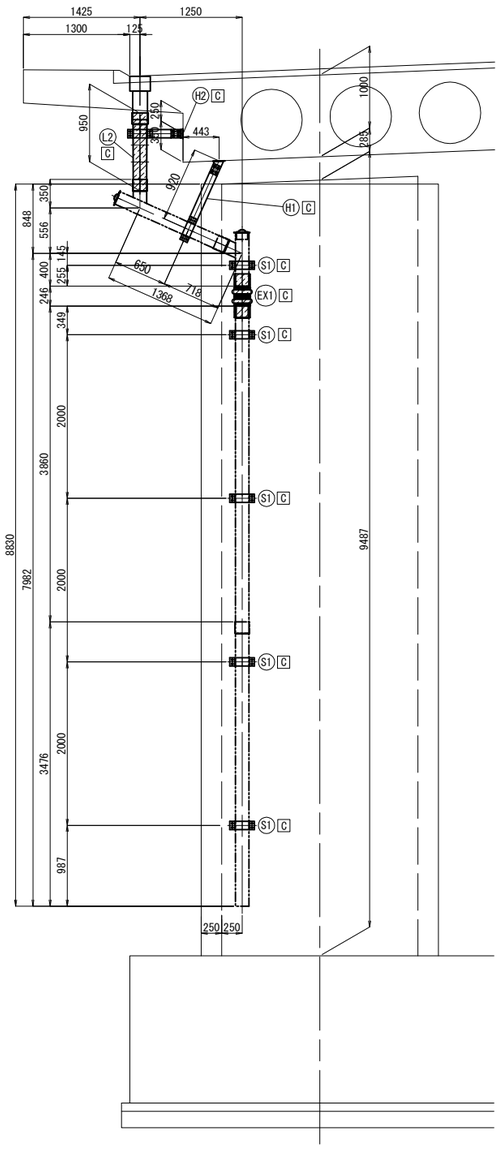
P12橋脚 排水装置 設置工

新設図

側 面 図



正 面 図



排水装置新設数量：

排水管：

L2 1箇所

排水金具：

H1 1箇所

H2 1箇所

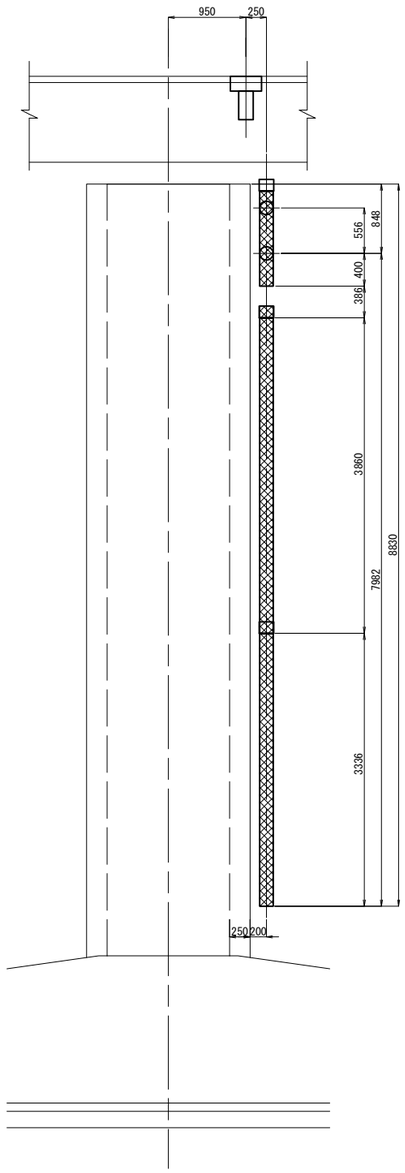
S1 5箇所

伸縮継手：

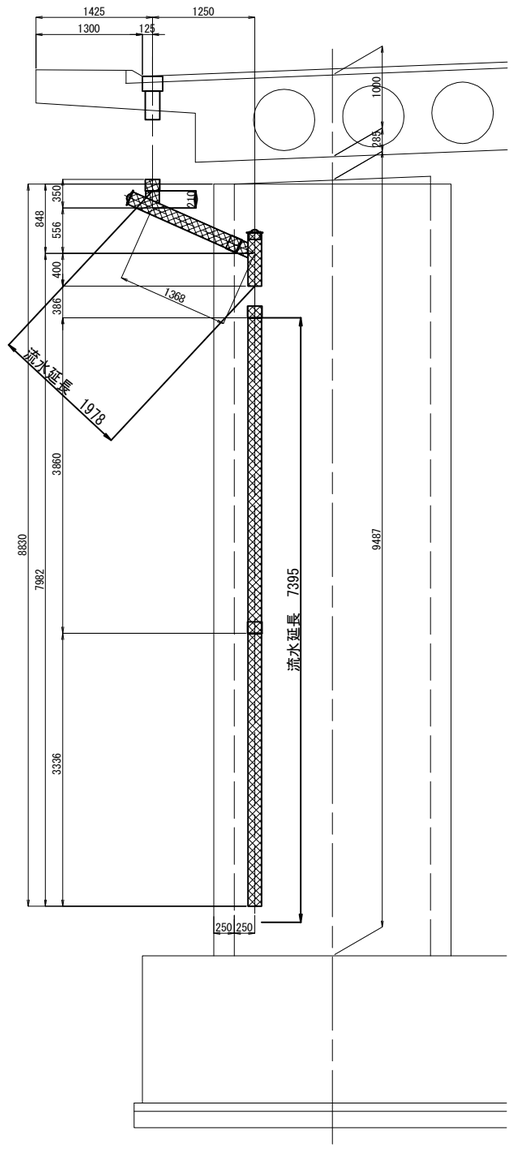
EX1 1箇所

再利用図

側 面 図



正 面 図



凡 例：

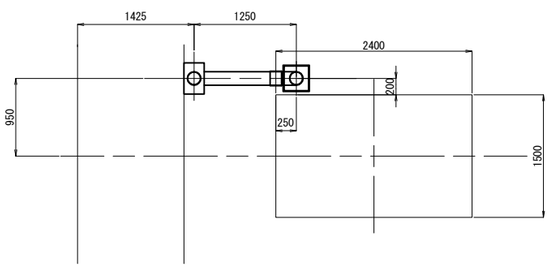
撤去範囲

流用範囲

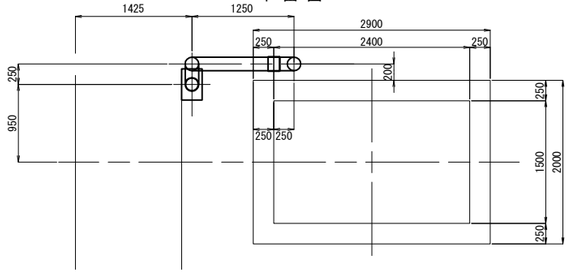
新設範囲

C ：全て新設部材

平 面 図



平 面 図



注 記

1. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

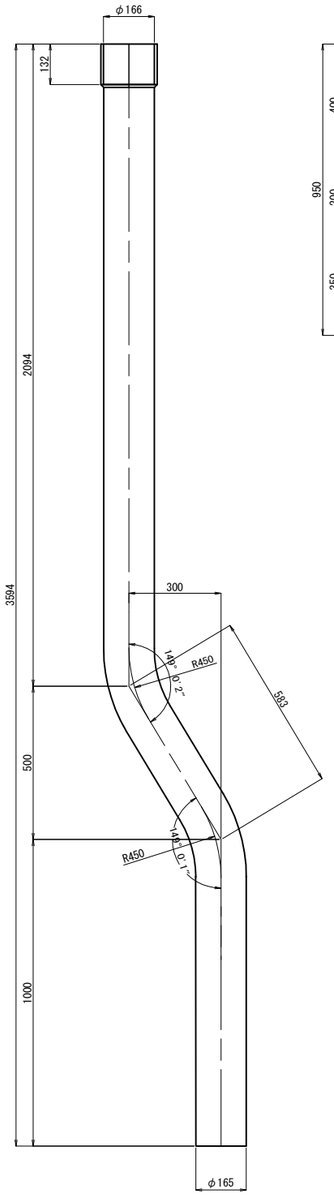
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その22)		
縮 尺	図 示	図面番号	134 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その23) S=1:20

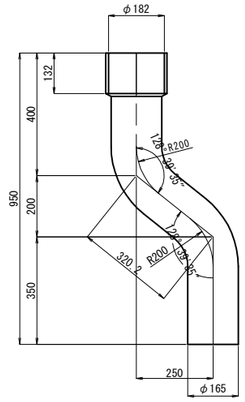
各部詳細図

加工管詳細

L1
P1橋脚
製作数：1

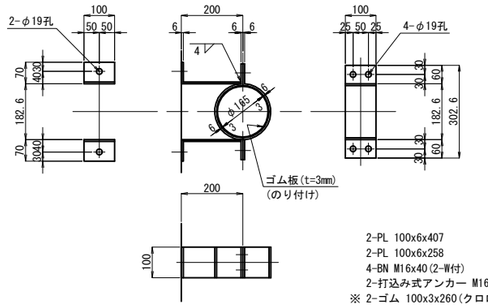


L2
P3～P6, P9～P12橋脚
製作数：各1



取付金具詳細

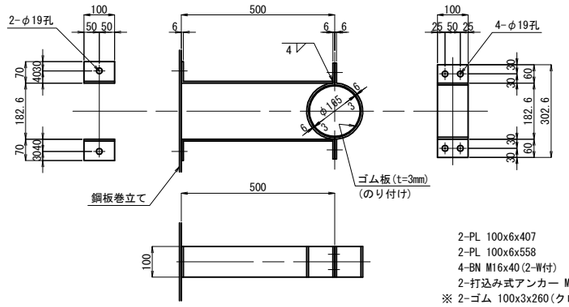
S1
製作数：n組



	n
P1橋脚	3
P2橋脚	5
P3橋脚	5
P4橋脚	5
P5橋脚	5
P6橋脚	5
P7橋脚	5
P8橋脚	7
P9橋脚	6
P10橋脚	6
P11橋脚	6
P12橋脚	5

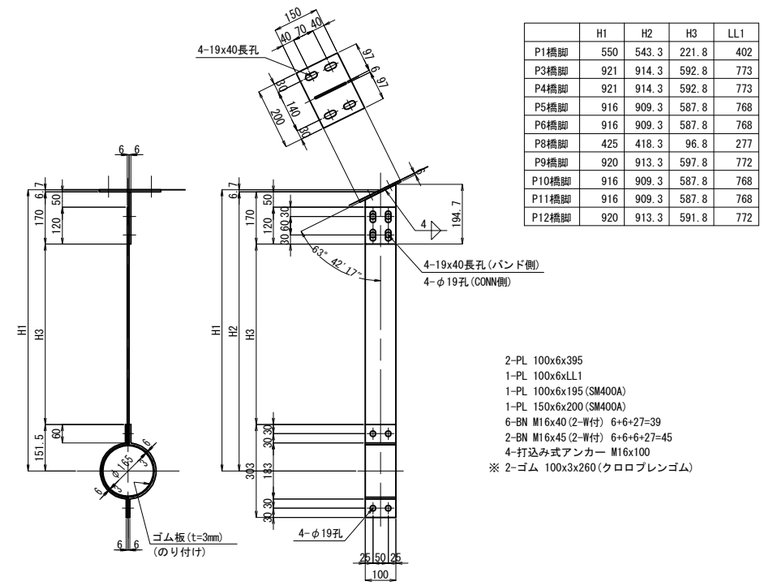
2-PL 100x6x407
2-PL 100x6x258
4-BN M16x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M16x100
※ 2-ゴム 100x3x260(クロロプレンゴム)

S2
P1橋脚
製作数：1組



2-PL 100x6x407
2-PL 100x6x558
4-BN M16x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M16x100
※ 2-ゴム 100x3x260(クロロプレンゴム)

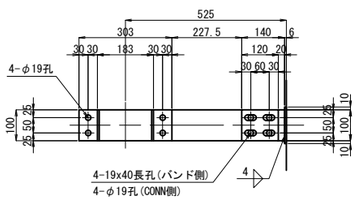
H1
製作数：各1組



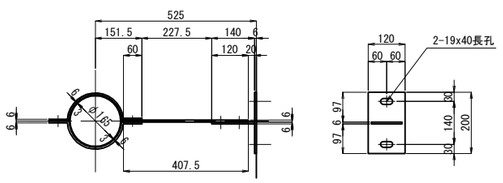
	H1	H2	H3	LL1
P1橋脚	550	543.3	221.8	402
P3橋脚	921	914.3	592.8	773
P4橋脚	921	914.3	592.8	773
P5橋脚	916	909.3	587.8	768
P6橋脚	916	909.3	587.8	768
P8橋脚	425	418.3	96.8	277
P9橋脚	920	913.3	597.8	772
P10橋脚	916	909.3	587.8	768
P11橋脚	916	909.3	587.8	768
P12橋脚	920	913.3	591.8	772

2-PL 100x6x395
1-PL 100x6xLL1
1-PL 100x6x195(SM400A)
1-PL 150x6x200(SM400A)
6-BN M16x40(2-W付) 6+6+27=39
2-BN M16x45(2-W付) 6+6+6+27=45
4-打込み式アンカー M16x100
※ 2-ゴム 100x3x260(クロロプレンゴム)

H2
P3～P6, P9～P12橋脚
製作数：各1組

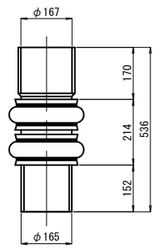


2-PL 100x6x395
1-PL 100x6x408
1-PL 100x6x140(SM400A)
1-PL 120x6x200(SM400A)
6-BN M16x40(2-W付)
2-BN M16x45(2-W付)
2-打込み式アンカー M16x100
※ 2-ゴム 100x3x260(クロロプレンゴム)



伸縮継手

EX1
P1～P12橋脚
設置数：各1



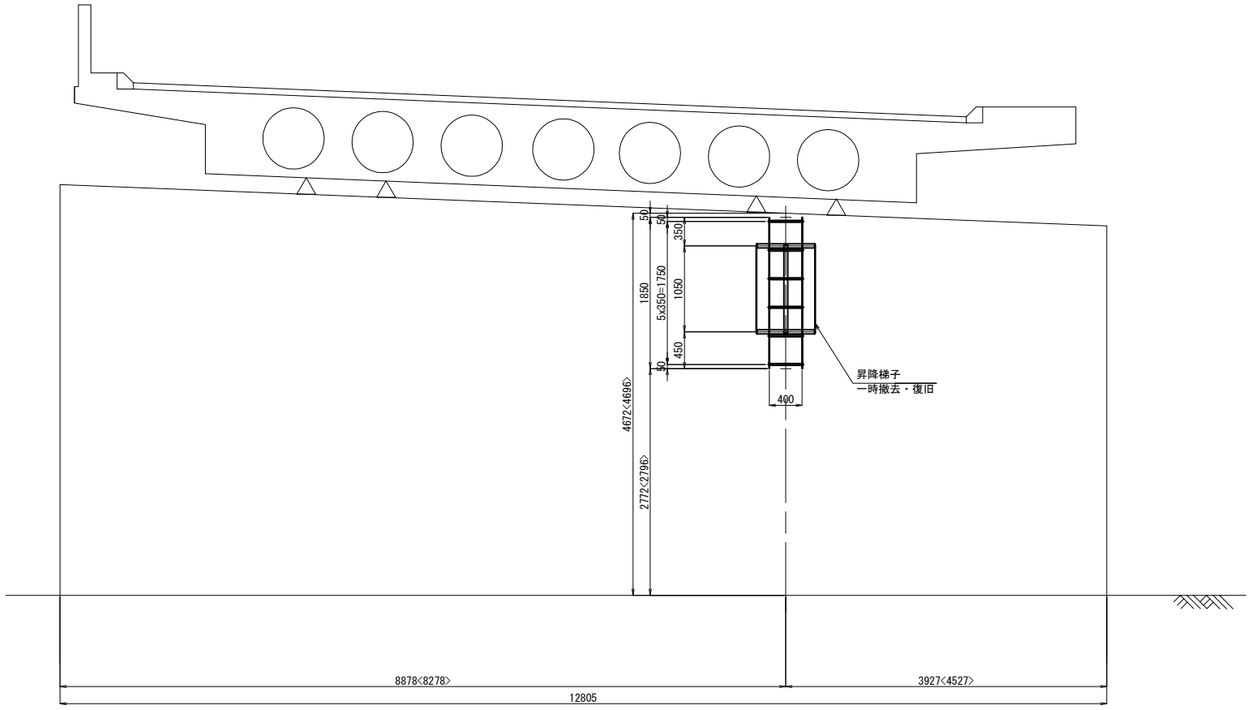
注 記

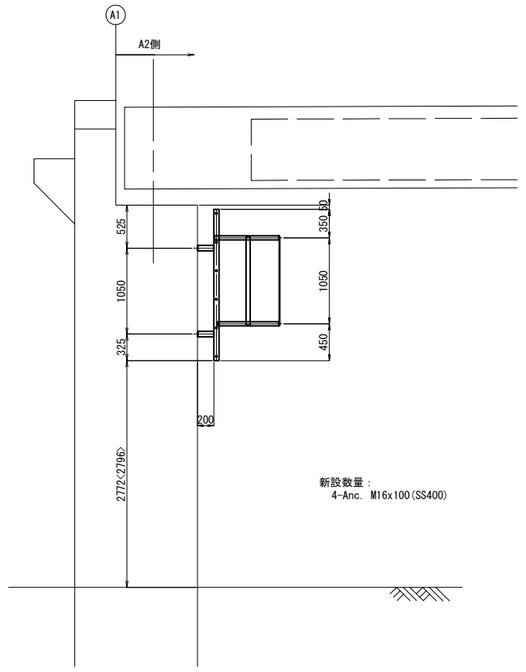
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
   亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
   但し、ボルト・ナット、板厚3.2mm未満の
   部材は、HDZT49とする。
3. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。
4. 普通ボルトは、全てゆるみ止めナット付きとする。
5. 施工時に現地計測の上、再確認を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その23)		
縮　尺	図　示	図面番号	135 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

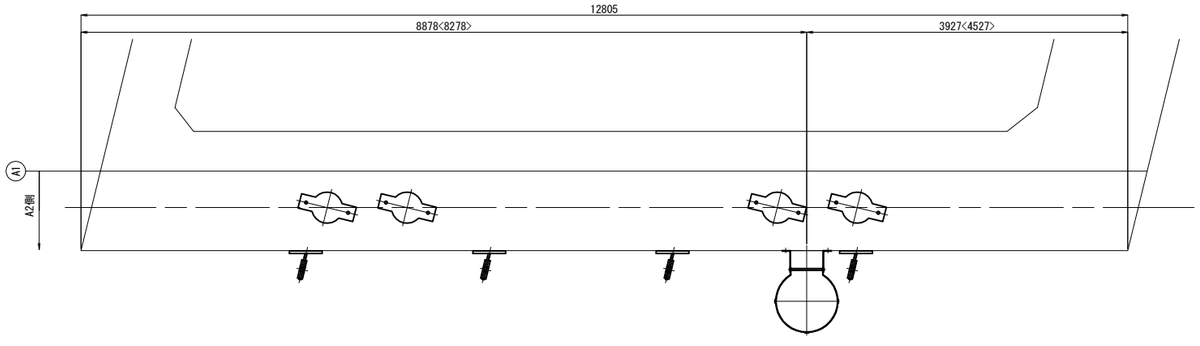
久慈川高架橋(上り線) 下部工検査路撤去・設置工(その1) S=1:75

A1橋台





< >内数値は梯子再設置後の数値を示す。



数量表

項　　目		単位	数量	備　考
撤　去（既　設）		kg	40	昇降梯子
設　置	復　旧	kg	40	〃
	取付アンカー M16×100	本	4	新設 BN含む

注 記
1. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、
付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、ボルト･ナット類はHDZT77とする。

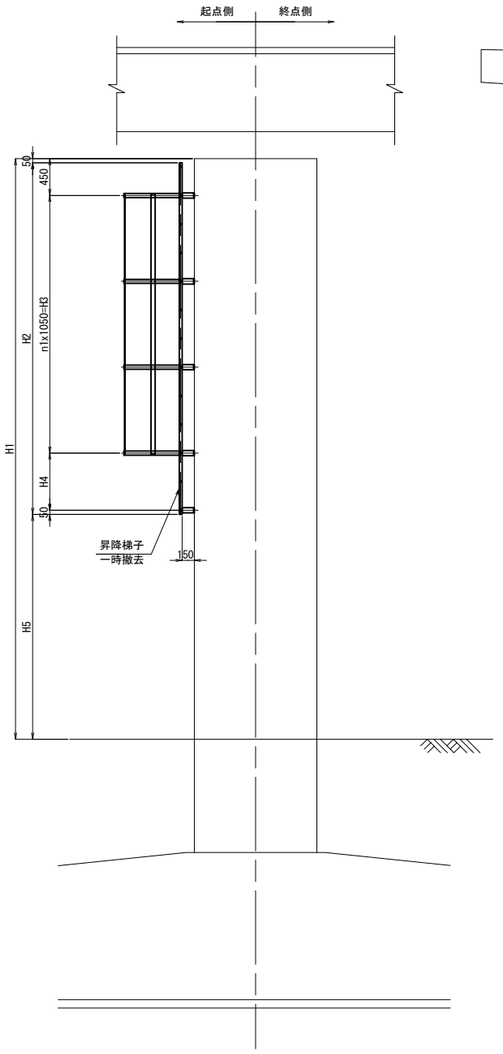
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 下部工検査路撤去・設置工(その1)		
縮　尺	図　示	図面番号	136 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 下部工検査路撤去・設置工(その2) S=1:75

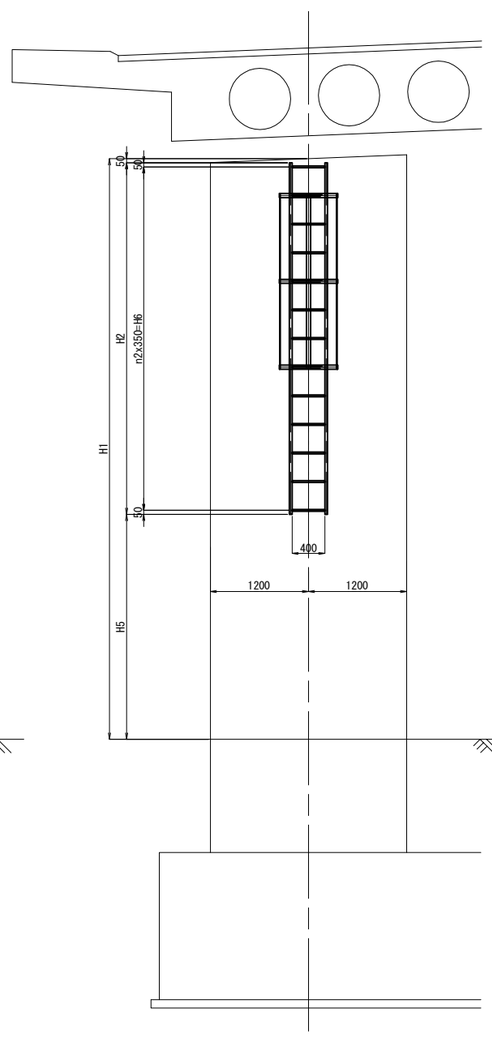
P3、P4、P9、P12橋脚

設置前

側 面 図



正 面 図

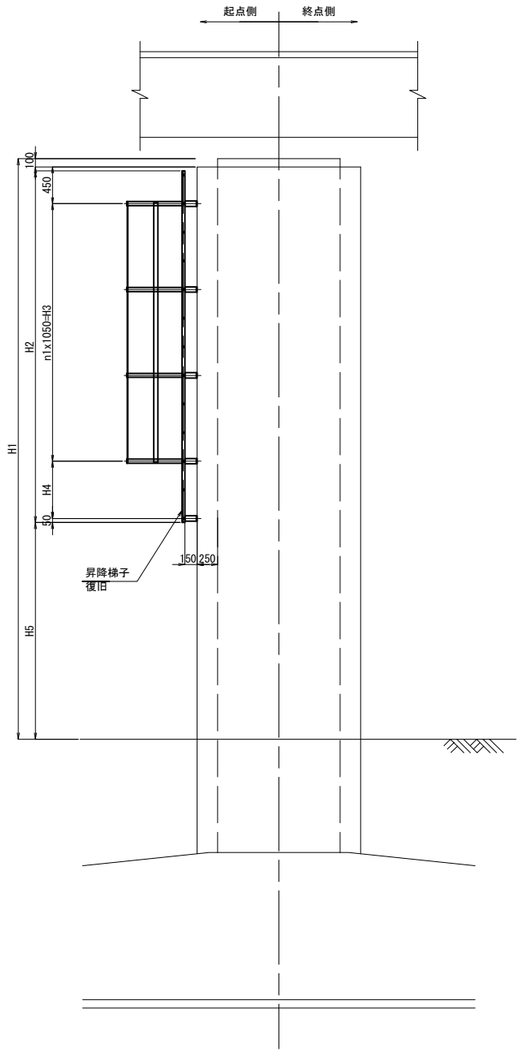


新設数量：
n3-Anc. M16x100(SS400)

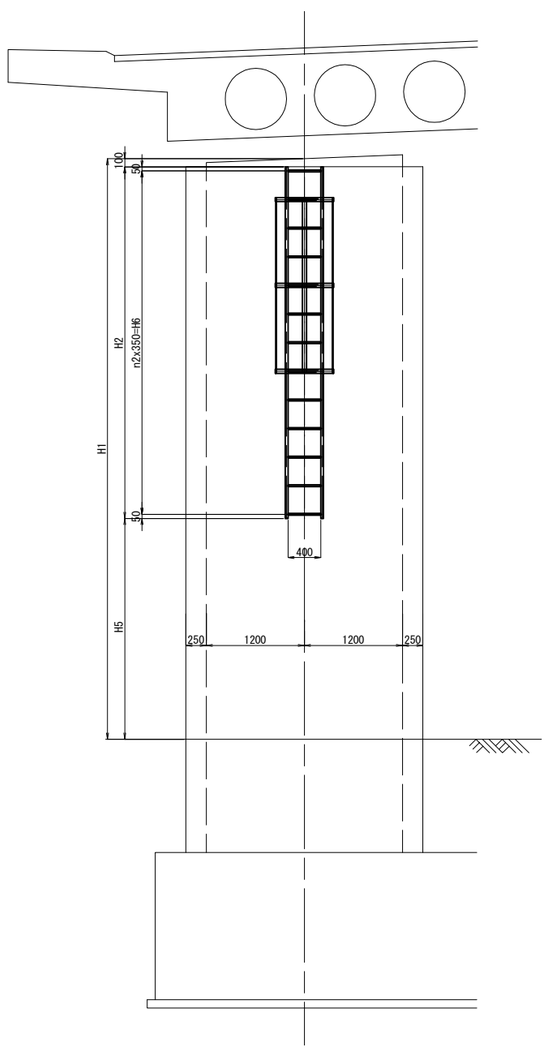
	P3	P4	P9	P12
設置位置	終点側	起点側	終点側	終点側
H1	7100	7500	9200	9100
H2	4300	4650	6400	6400
n1	3	4	5	5
H3	3150	4200	5250	5250
H4	700	0	700	700
H5	2700	2750	2700	2600
n2	12	13	18	18
H6	4200	4550	6300	6300
n3	10	10	14	14

設置後

側 面 図



正 面 図



数量表

項 目	撤 去 (既 設)	設 置	
		復 旧	取付アンカー
単 位	kg	kg	本
P3	85	85	10
P4	101	101	10
P9	131	131	14
P12	131	131	14
備 考	昇降梯子	昇降梯子	新設 BN含む

注 記

1. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、
付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、ボルト･ナット類はHDZT77とする。

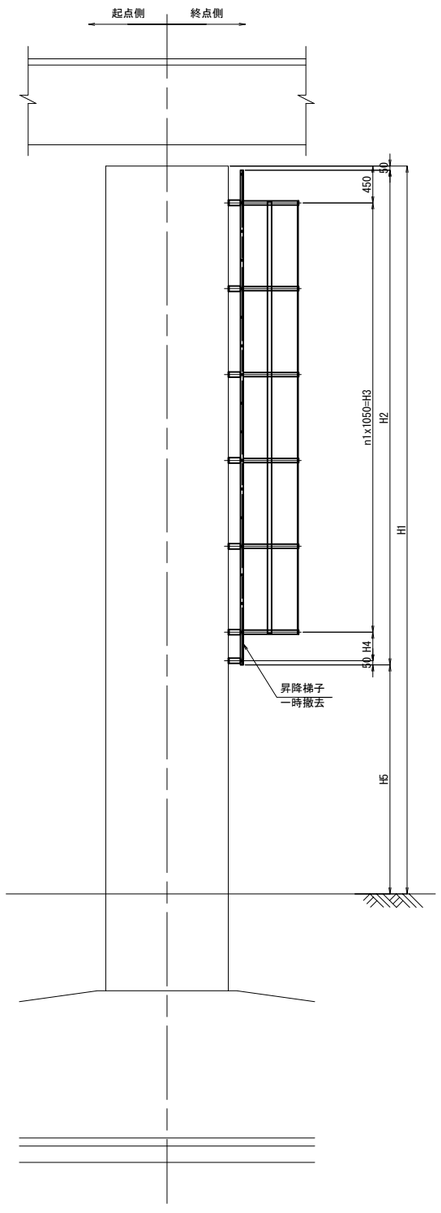
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 下部工検査路撤去・設置工(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	137 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 下部工検査路撤去・設置工(その3)　S=1:75

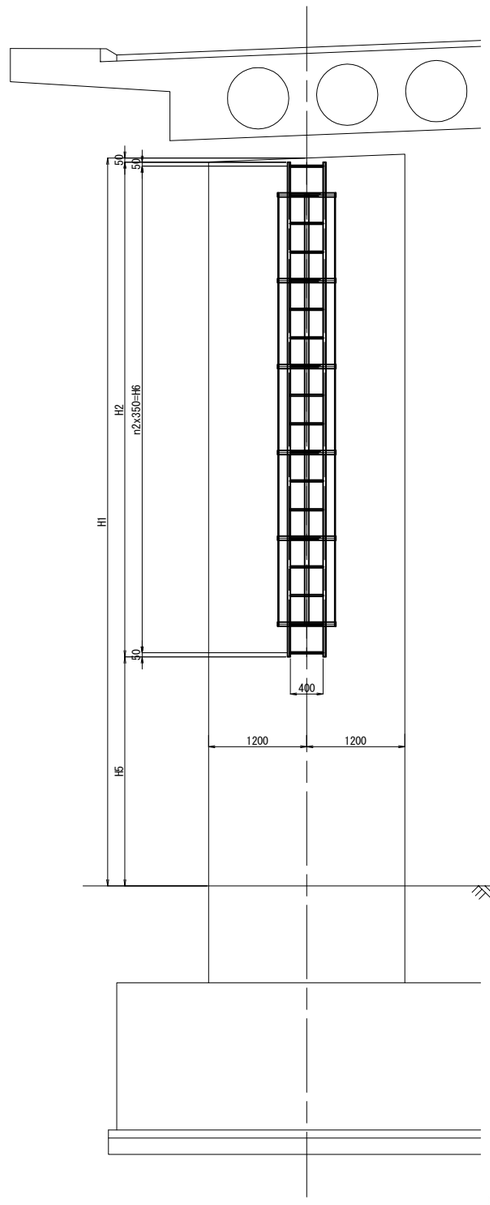
P7、P8橋脚

設置前

側 面 図

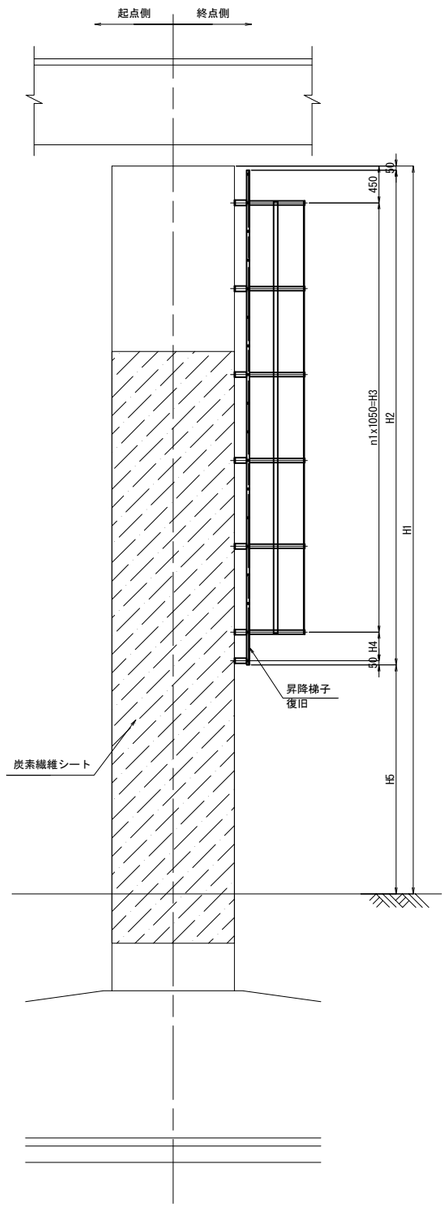


正 面 図

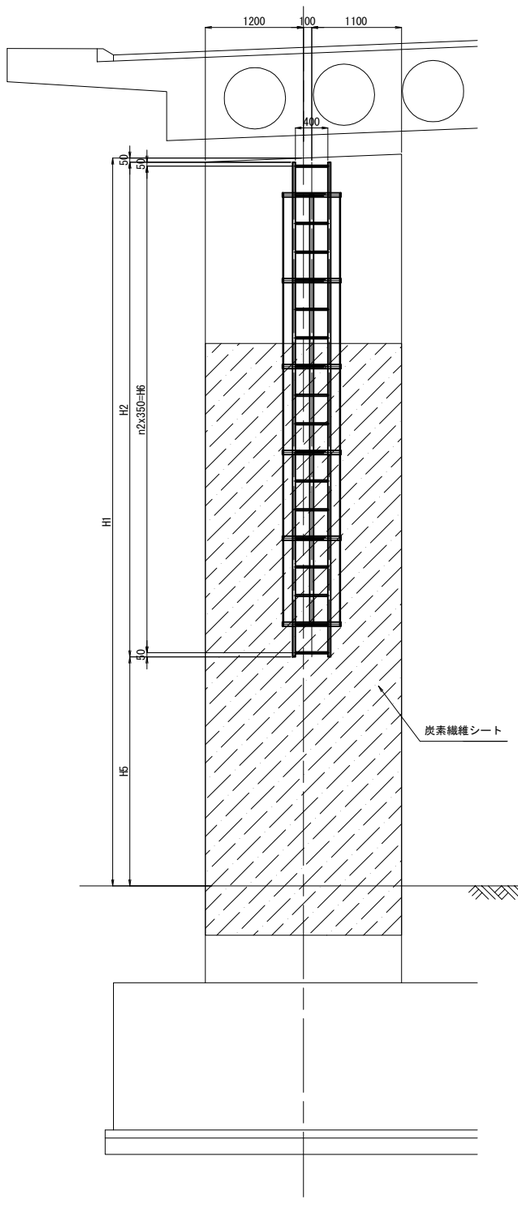


設置後

側 面 図



正 面 図



新設数量：
n3-Anc. M16x100(SS400)

	P7	P8
設置位置	終点側	起点側
H1	8900	9200
H2	5700	6400
n1	5	5
H3	5250	5250
H4	350	700
H5	2750	2750
n2	16	18
H6	5600	6300
n3	14	14

数量表

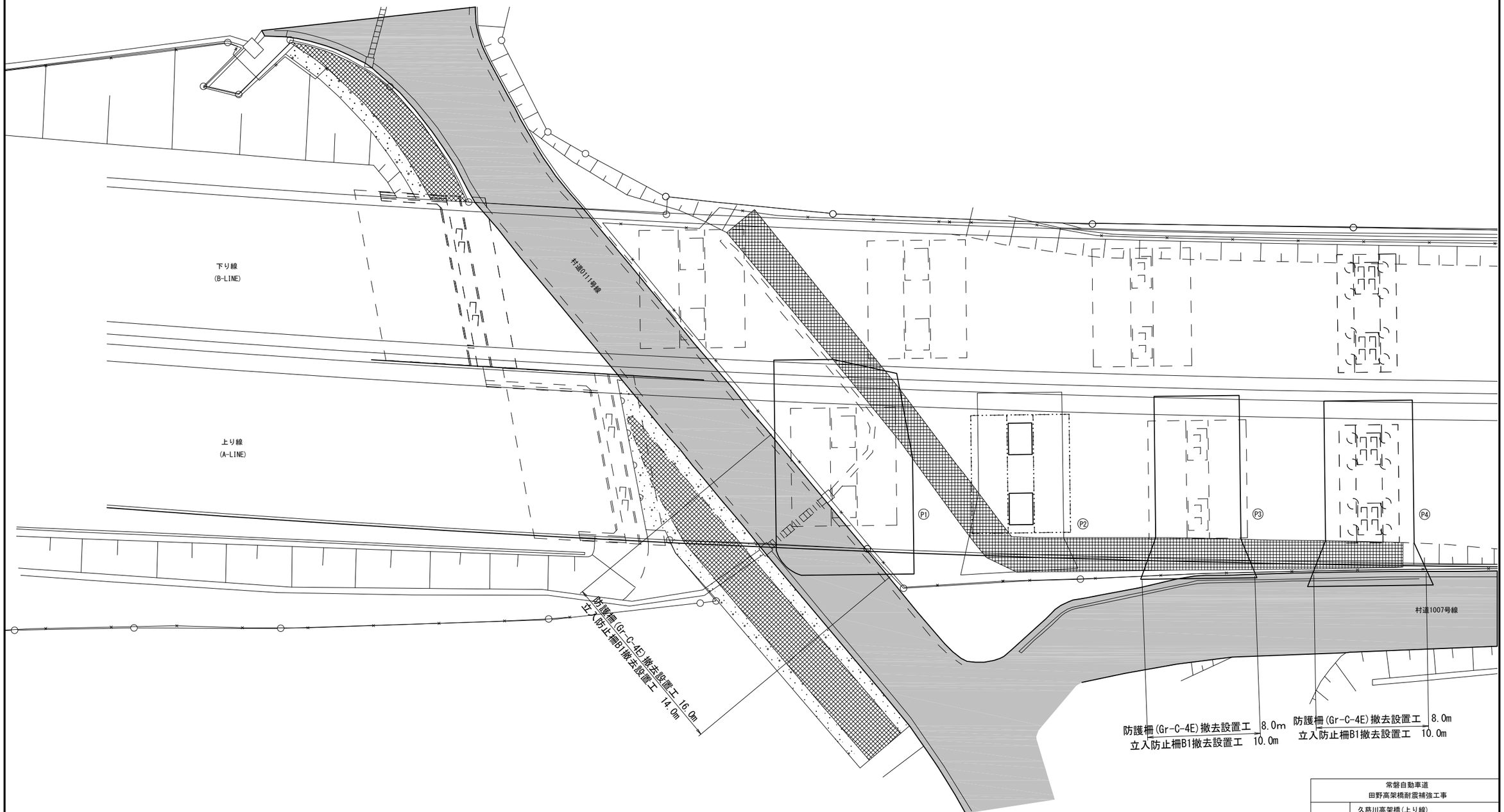
項　目	撤　去	設　置	
	(既　設)	復　旧	取付アンカー
単　位	kg	kg	本
P7	126	126	14
P8	131	131	14
備　考	昇降梯子	昇降梯子	新設 BN含む

注 記
1. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、
付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、ボルト･ナット類はHDZT77とする。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 下部工検査路撤去・設置工(その3)		
縮　尺	図　示	図面番号	138 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 防護柵・立入防止柵　撤去設置工　平面図(その1)　S=1:300

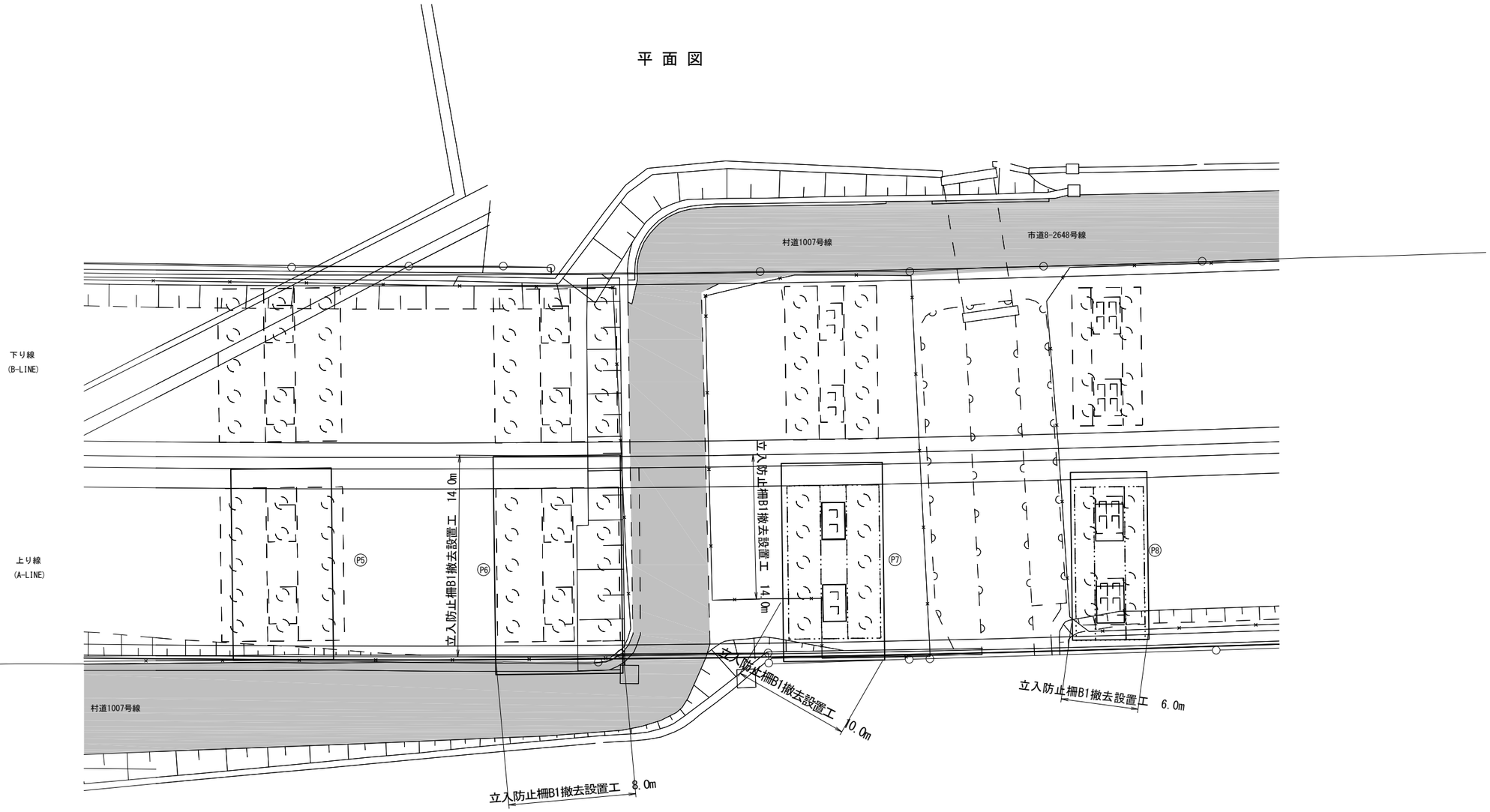
平 面 図



常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 防護柵・立入防止柵　撤去設置工 平面図（その1）		
縮　尺	図　示	図面番号	139 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 防護柵・立入防止柵　撤去設置工　平面図(その2)　S=1:300

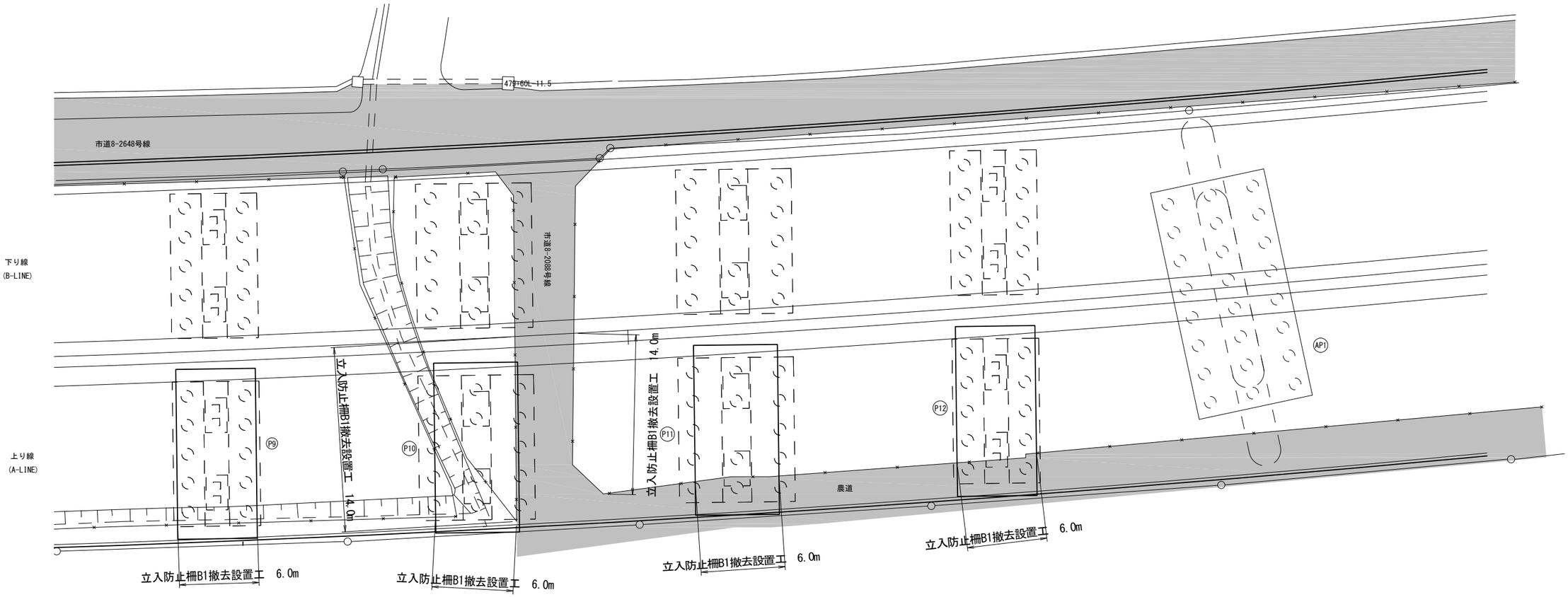
平 面 図



常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 防護柵・立入防止柵　撤去設置工 平面図 (その2)		
縮　尺	図　示	図面番号	140 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 防護柵・立入防止柵　撤去設置工　平面図(その3)　S=1:300

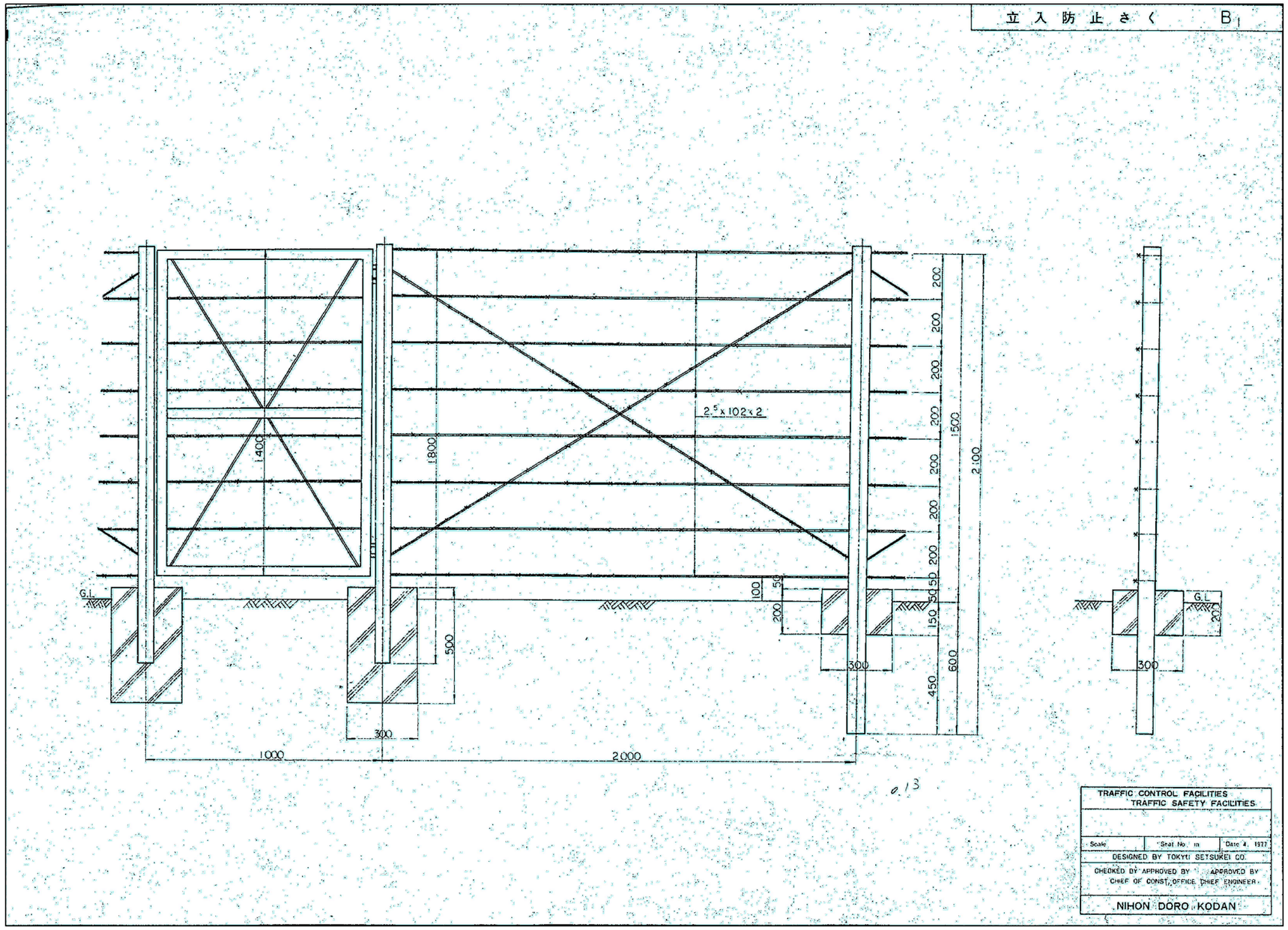
平 面 図



常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 防護柵・立入防止柵　撤去設置工 平面図（その3）		
縮　尺	図　示	図面番号	141 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) 立入防止柵B1　詳細図

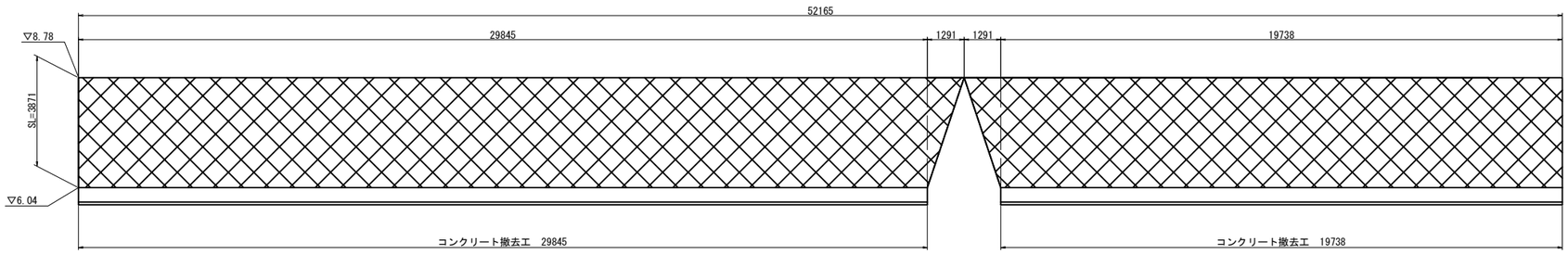
S=1:20



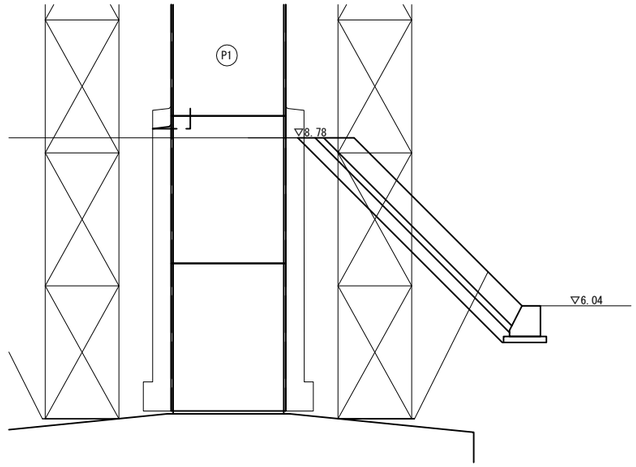
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事	
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) 立入防止柵B1　詳細図
縮　尺	図　示　　図面番号　142 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所

久慈川高架橋(上り線) コンクリートブロック張り撤去図　S=1:500

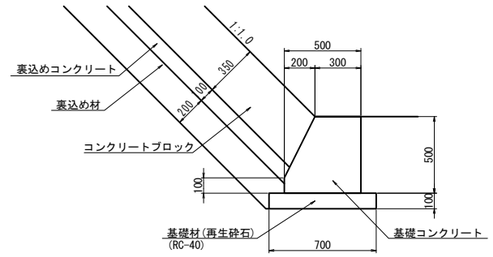
2 - 2 展　開　図 S=1:200



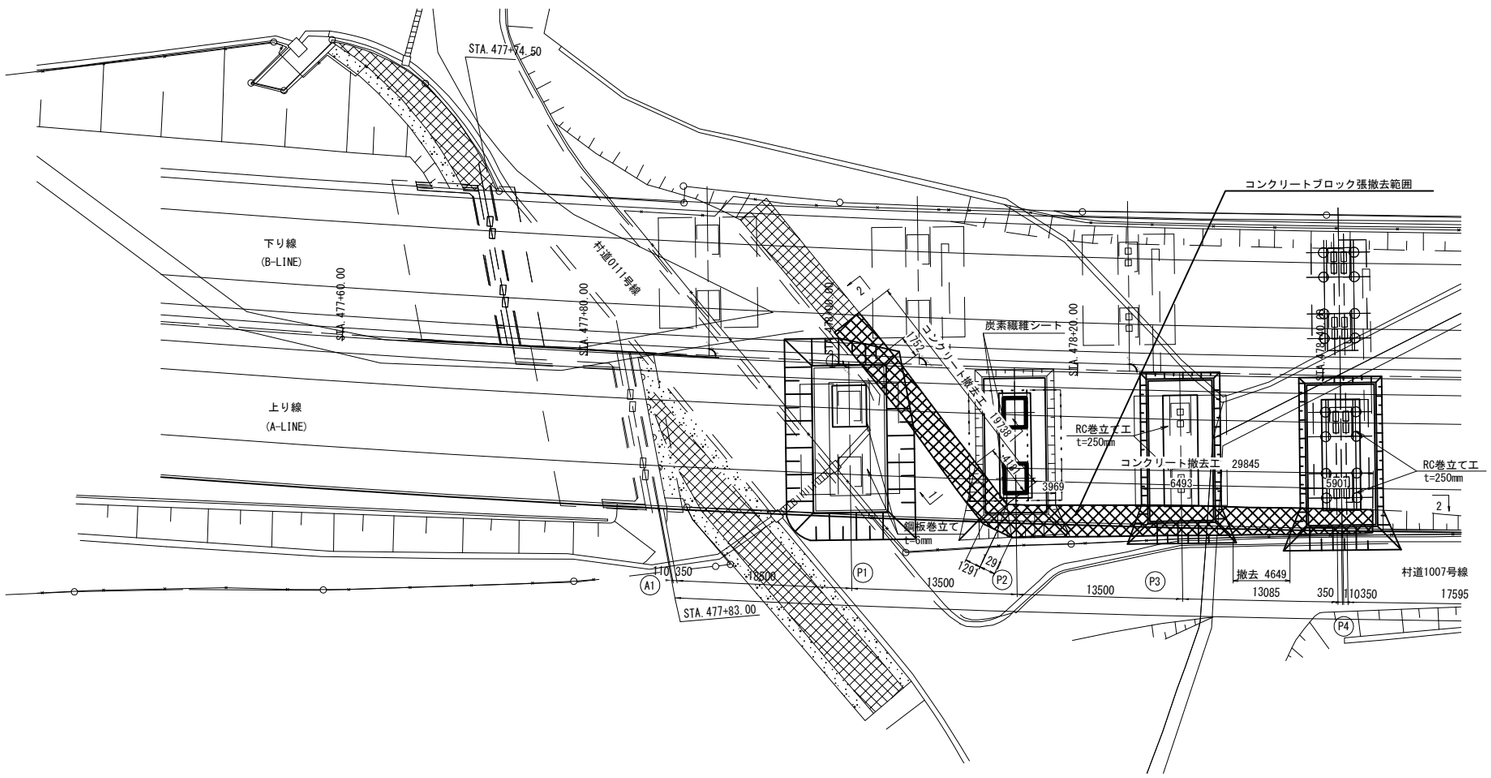
1 - 1 断　面　図 S=1:100



基礎工詳細図 S=1:40



平　面　図



数量表

項　目		単位	数量	備　考
コンクリートブロック張り	撤去	m2	196.9	
		m3	88.6	

数量表

項　目		単位	数量	摘　要
コンクリートブロック張工	コンクリートブロック(練)控35cm	m2	196.9	
裏込め材		m3	53.5	
基礎工	コンクリート基礎工 A(F)	m	49.6	

コンクリートブロック張り　材料表

項　目		単位	数量	摘　要
コンクリート	基礎C2-1	m3	19.9	裏込め
	胴込めD1-1	m3	38.5	コンクリート殻

コンクリート基礎　材料表

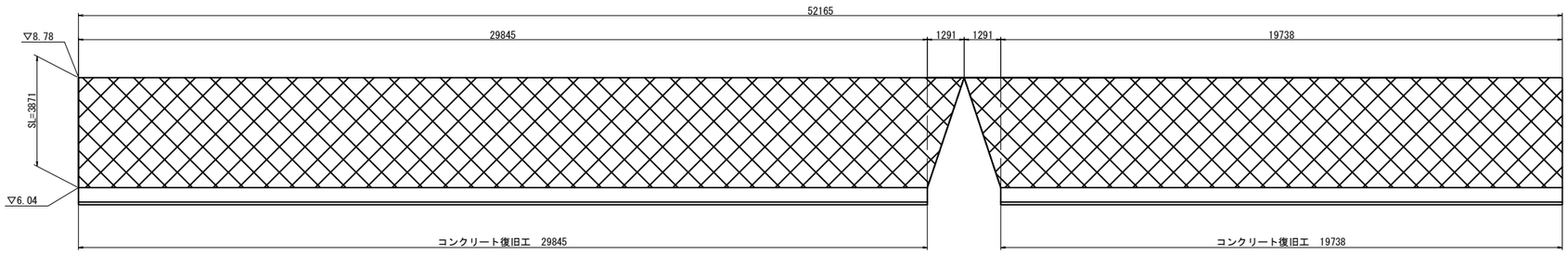
項　目	種　別	単位	数量	摘　要
基礎材	再生砕石(RC-40)	m3	3.5	
コンクリート		m3	10.4	
型枠		m2	29.7	

注記
・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
・施工前に現況を再度調査・寸法計測すること。

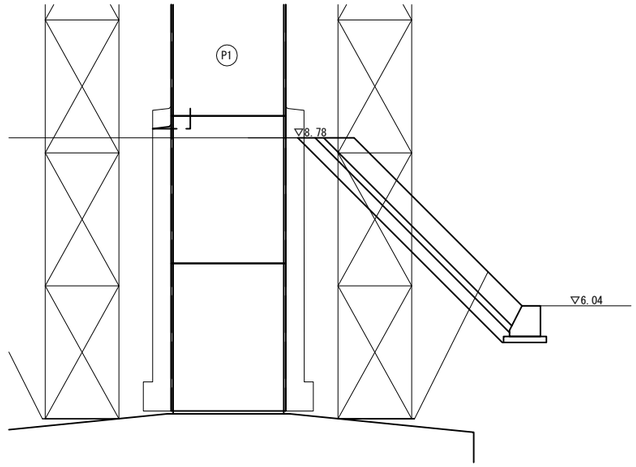
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) コンクリートブロック張り撤去図		
縮　尺	図　示	図面番号	143 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

久慈川高架橋(上り線) コンクリートブロック張り復旧図　S=1:500

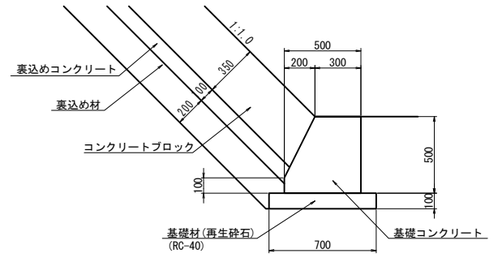
2 - 2 展　開　図 S=1:200



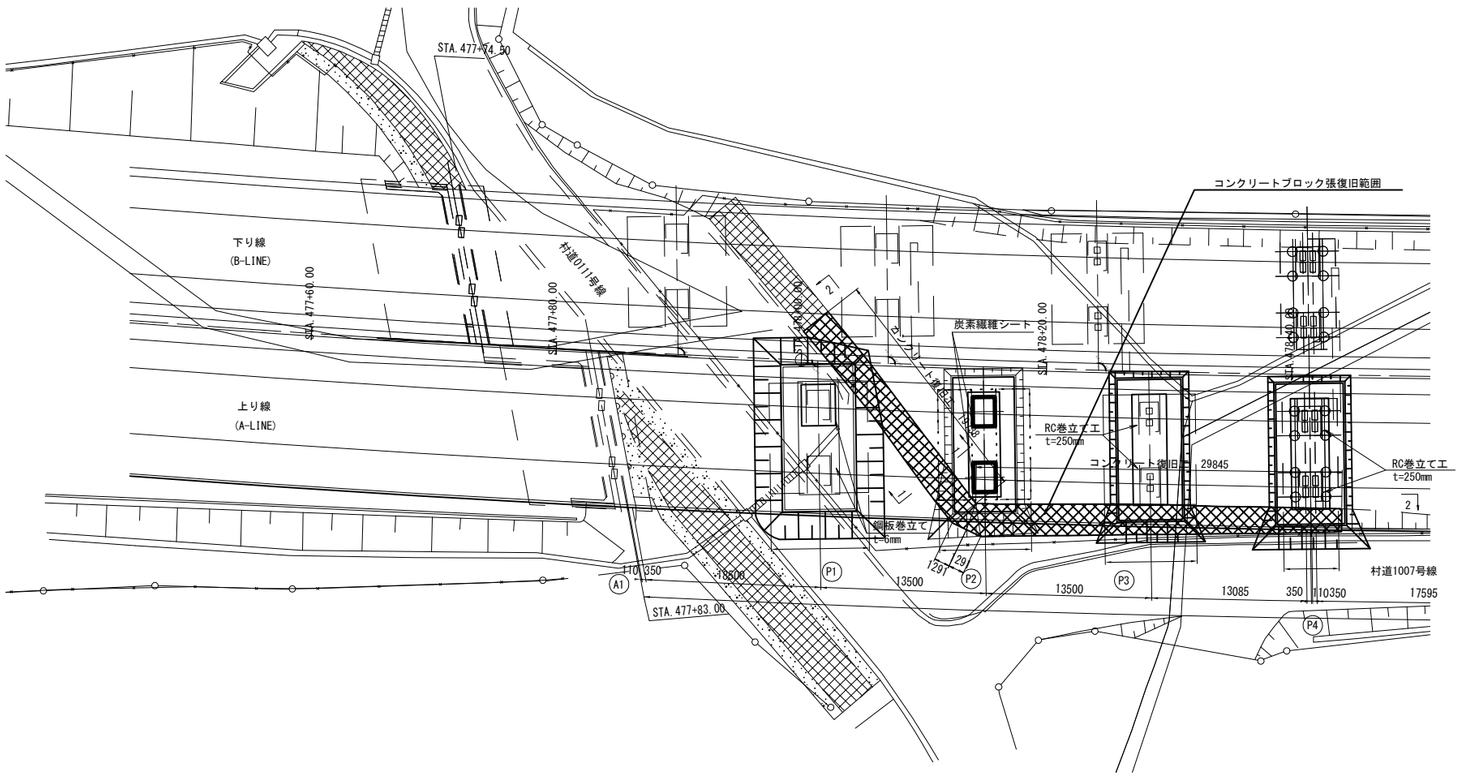
1 - 1 断　面　図 S=1:100



基礎工詳細図 S=1:40



平　面　図



数量表

項　目		単位	数量	備　考
コンクリートブロック張り	復旧	m2	196.9	
		m3	88.6	

数量表

項　目		単位	数量	摘　要
コンクリートブロック張工	コンクリートブロック(練)控35cm	m2	196.9	
裏込め材		m3	53.5	
基礎工	コンクリート基礎工 A(F)	m	49.6	

コンクリートブロック張り　材料表

項　目		単位	数量	摘　要
コンクリート	基礎C2-1	m3	19.9	裏込め
	胴込めD1-1	m3	38.5	胴込め

コンクリート基礎　材料表

項　目	種　別	単位	数量	摘　要
基礎材	再生砕石(RC-40)	m3	3.5	
コンクリート		m3	10.4	
型枠		m2	29.7	

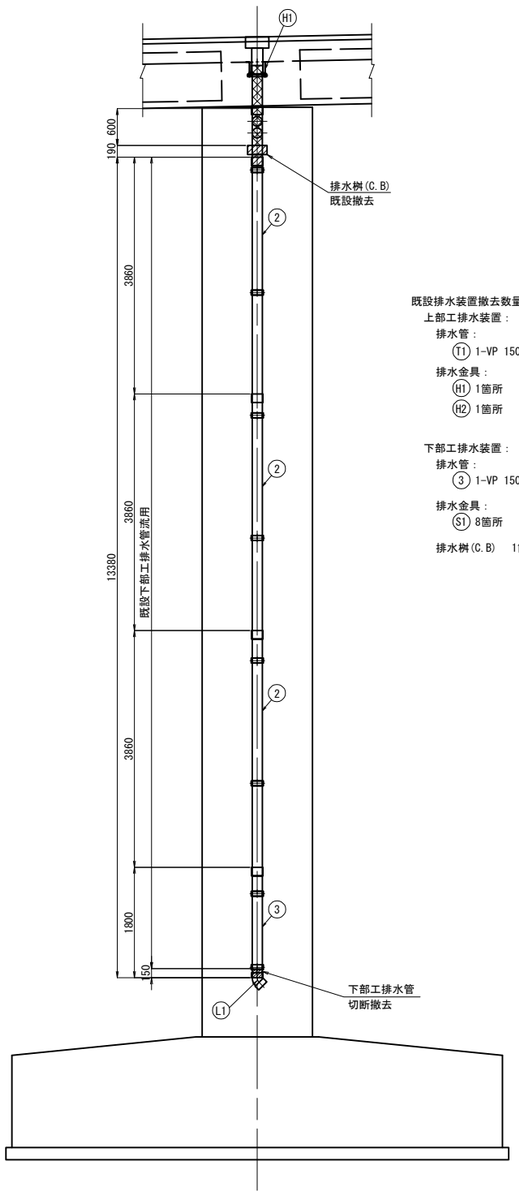
注記
・本図面は既存資料と現地調査結果を基に作成したものである。
・施工前に現況を再度調査・寸法計測すること。

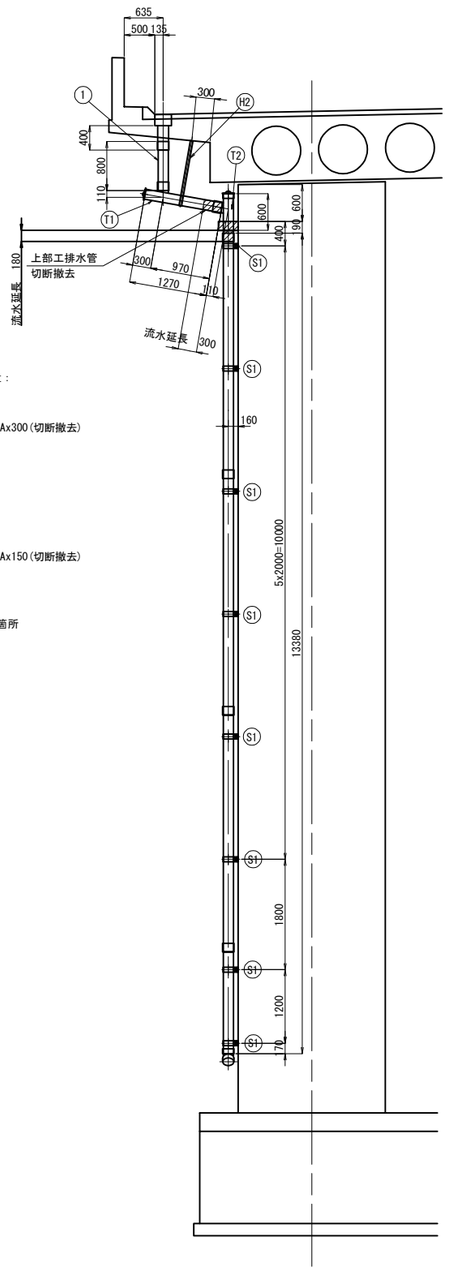
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	久慈川高架橋(上り線) コンクリートブロック張り復旧図		
縮　尺	図　示	図面番号	144 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

菩提橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その1)　S=1:100

P1橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

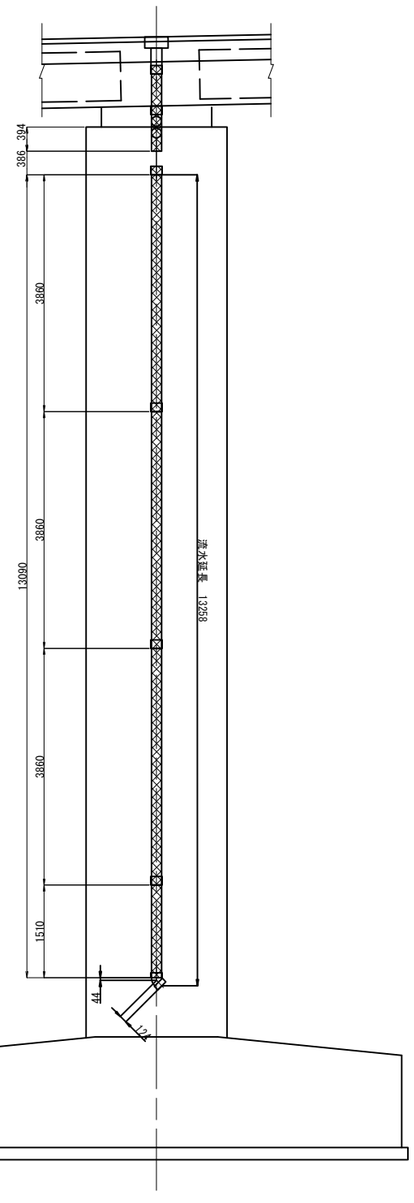


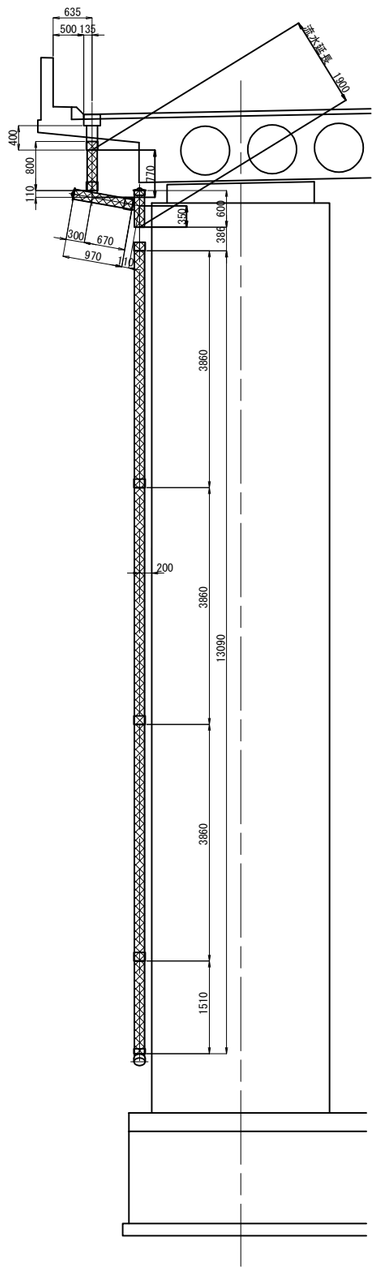


既設排水装置撤去数量：
上部工排水装置：
排水管：
(T1) 1-VP 150Ax300(切断撤去)
排水金具：
(H1) 1箇所
(H2) 1箇所

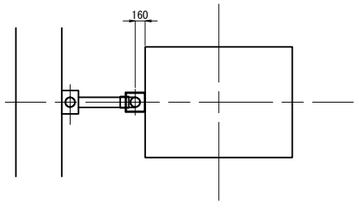
下部工排水装置：
排水管：
(3) 1-VP 150Ax150(切断撤去)
排水金具：
(S1) 8箇所
排水桝(C.B)　1箇所

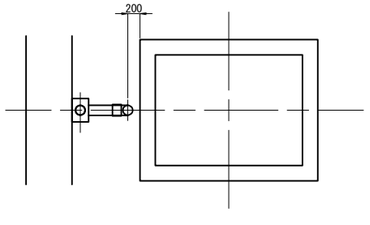
一時撤去(再利用)図





凡 例：
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材





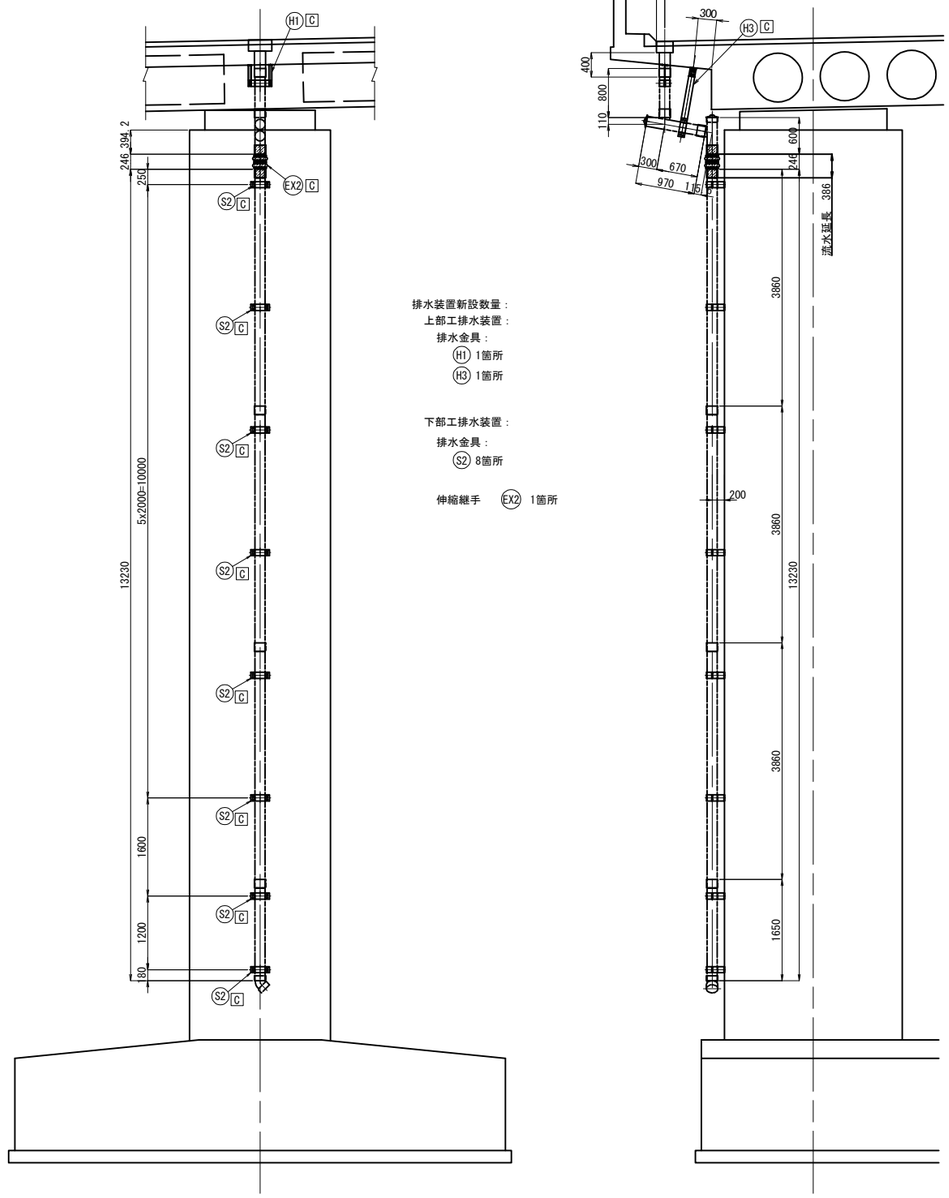
注 記
1. 施工時に現地計測の上、再確認を行う。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	菩提橋（上り線） 排水装置撤去・設置工(その1)		
縮　尺	図　示	図面番号	145 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

菩提橋（上り線）排水装置撤去・設置工(その2)　S=1:100

P1橋脚 排水装置 設置工

新設図

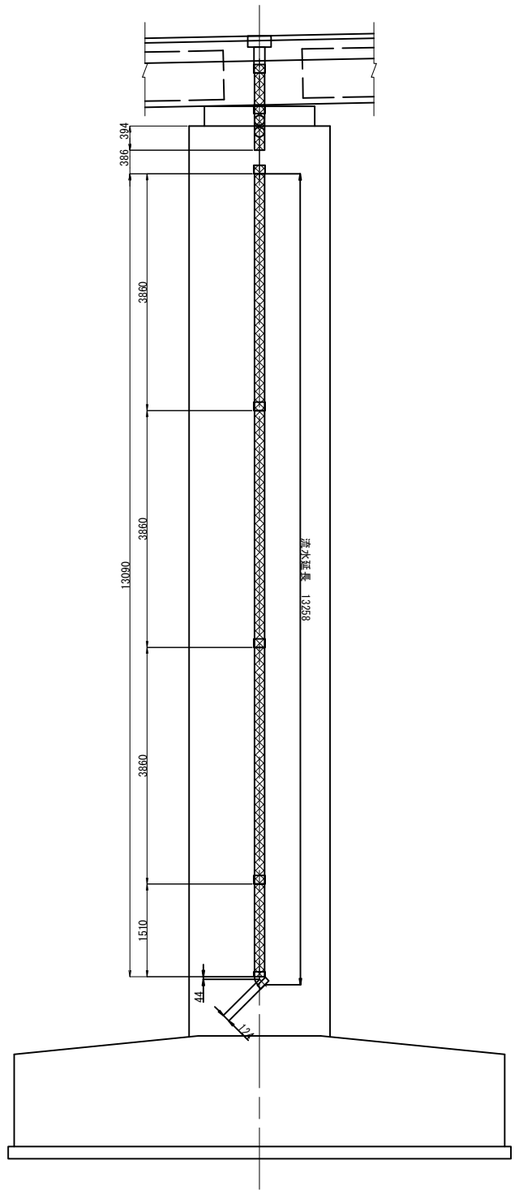


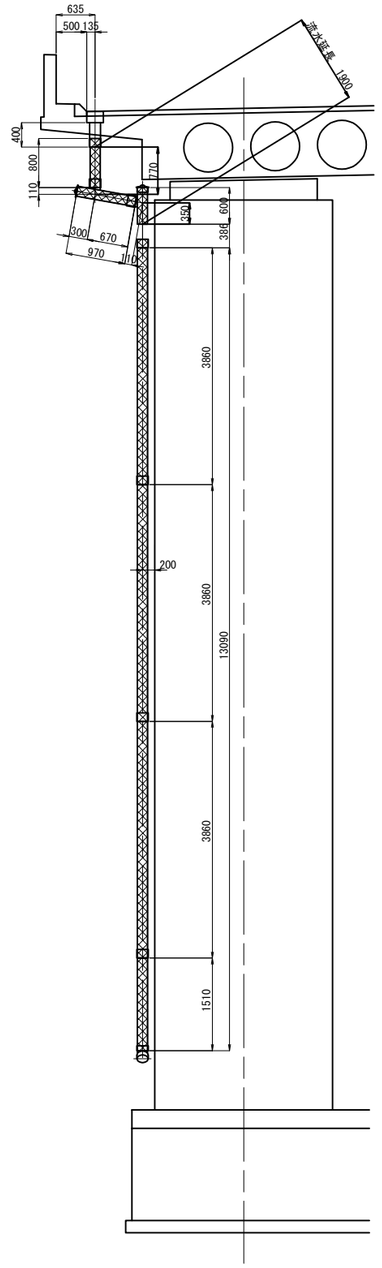
排水装置新設数量：
上部工排水装置：
排水金具：
H1 1箇所
H3 1箇所

下部工排水装置：
排水金具：
S2 8箇所

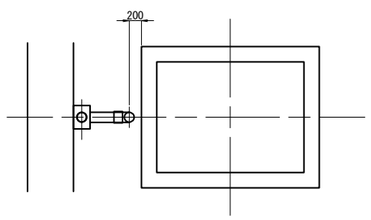
伸縮継手　EX2 1箇所

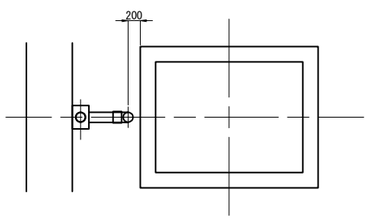
再利用図





凡 例：
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材





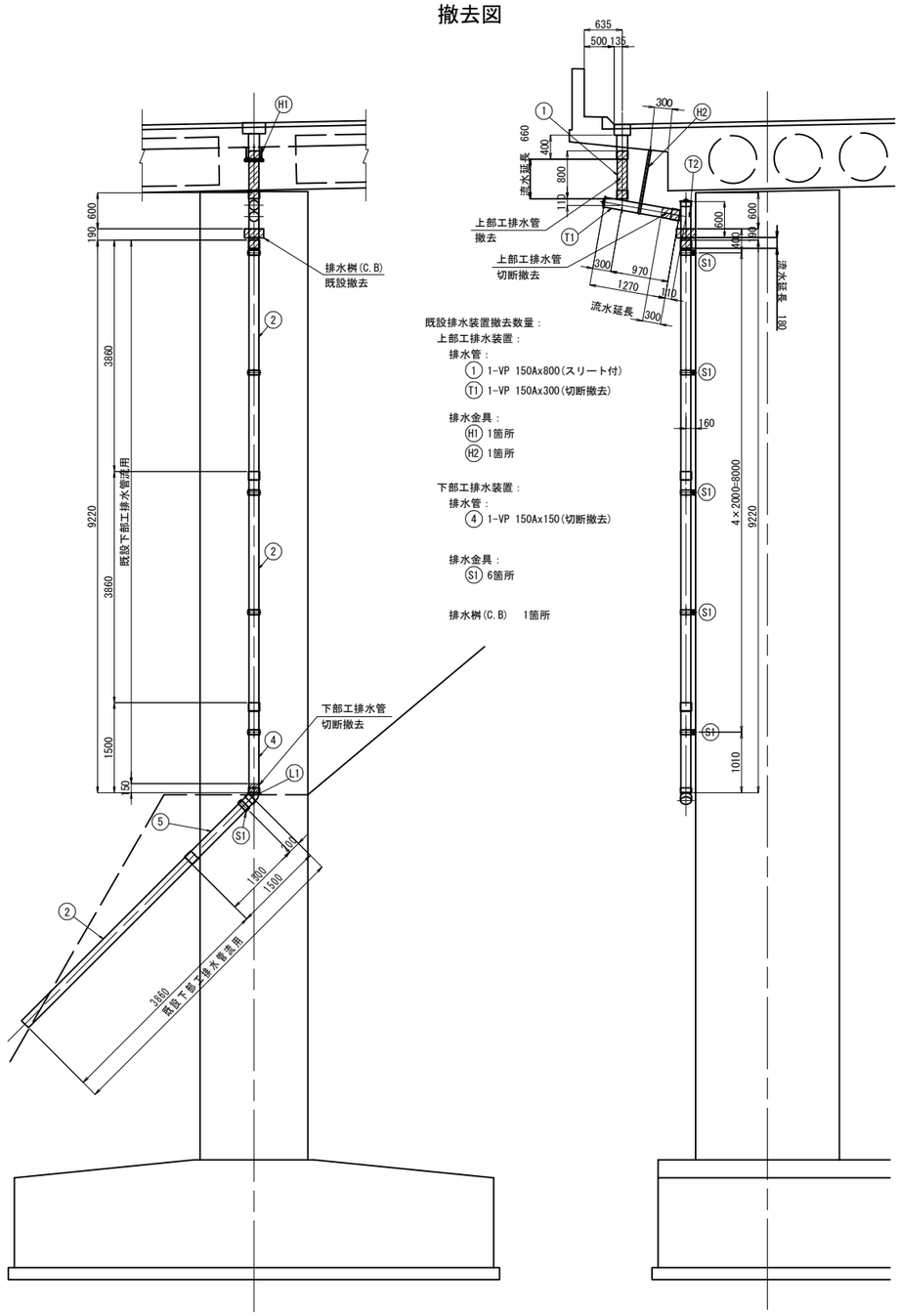
注 記
1. 施工時に現地計測の上、再確認を行う。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	菩提橋（上り線） 排水装置撤去・設置工(その2)		
縮　尺	図　示	図面番号	146 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

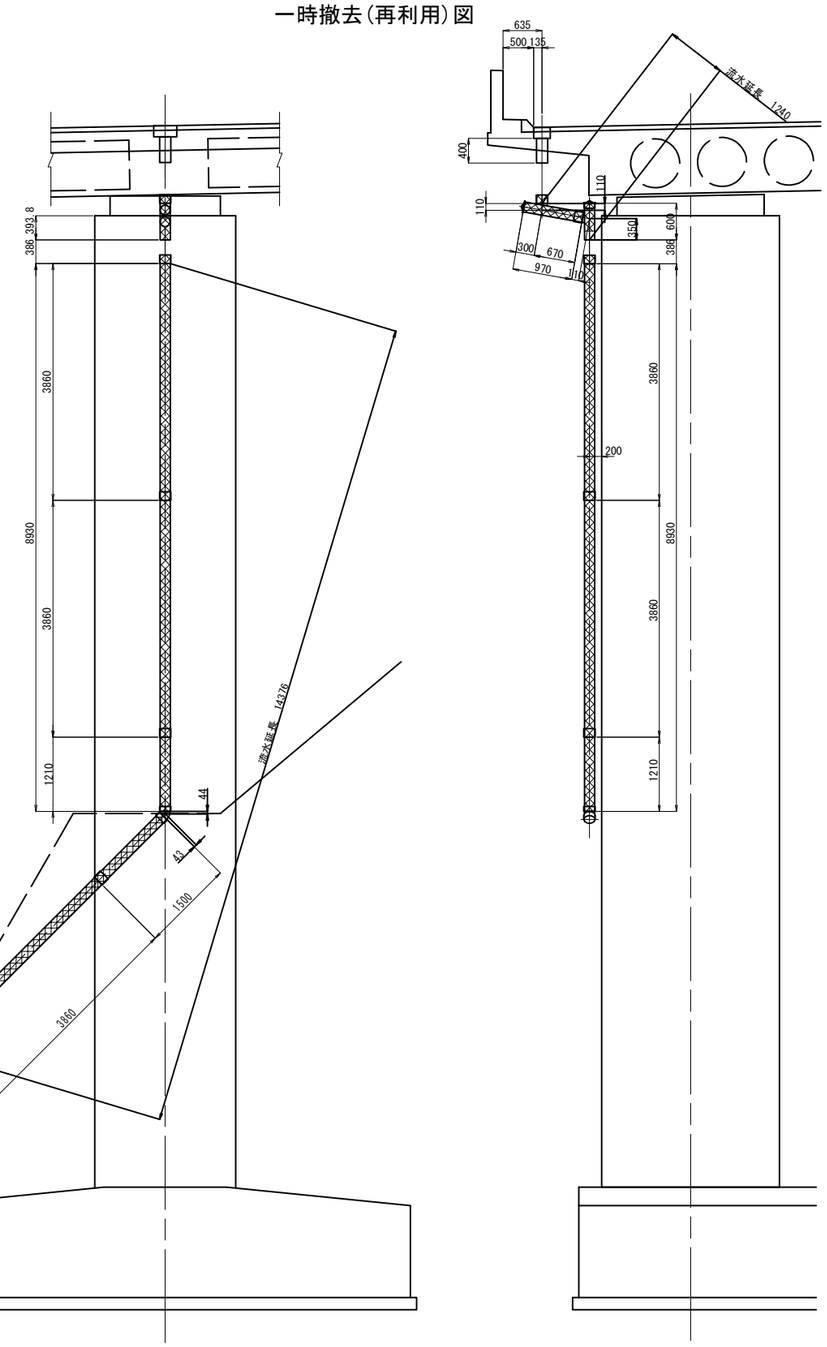
菩提橋（上り線）排水装置撤去・設置工(その3)　S=1:100

P2橋脚 排水装置 撤去工

撤去図

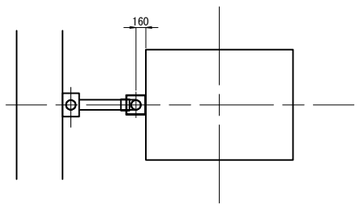


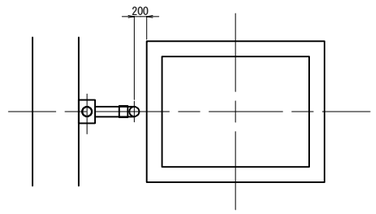
一時撤去(再利用)図



凡 例：

- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材





注 記

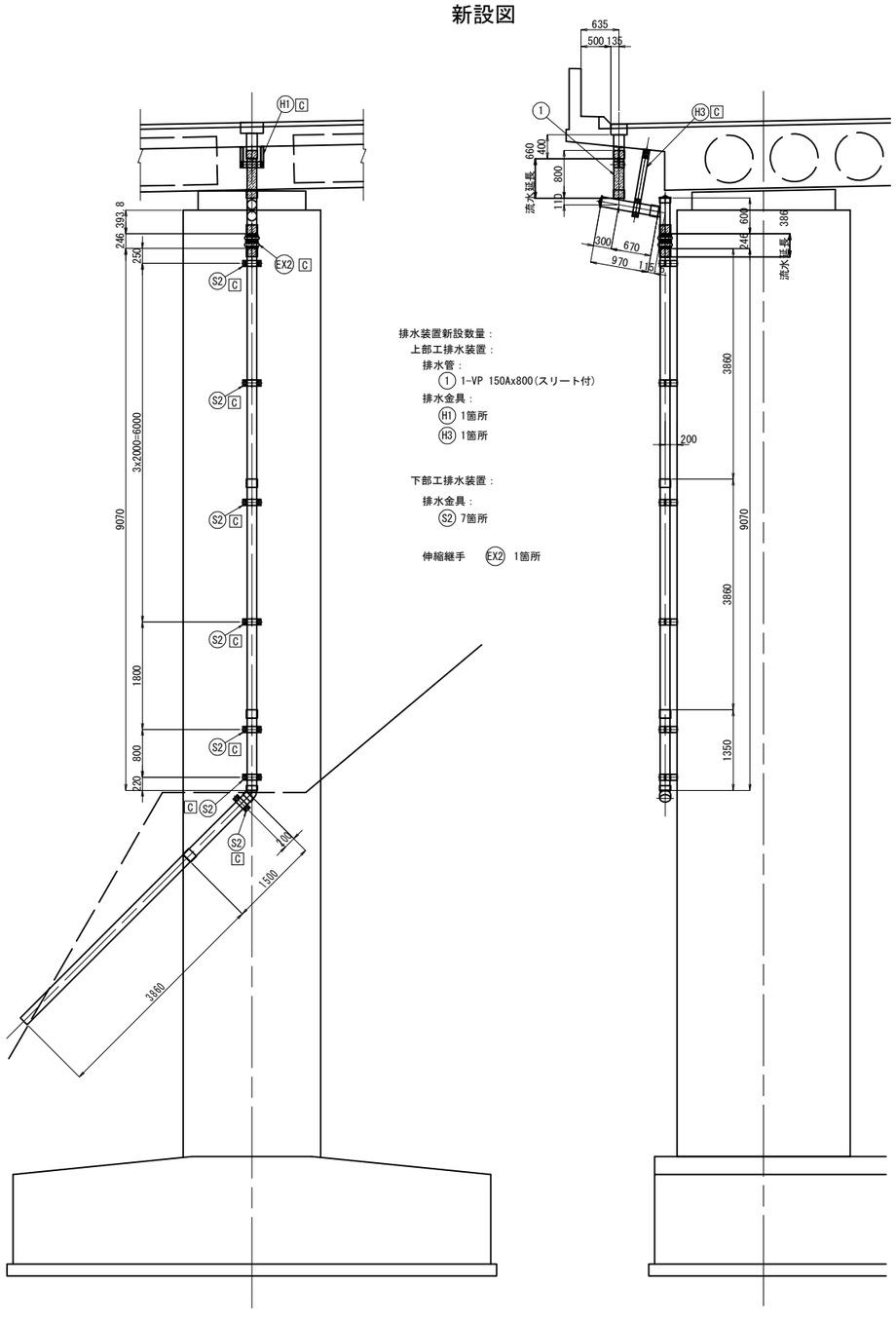
1. 施工時に現地計測の上、再確認を行う。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	菩提橋（上り線） 排水装置撤去・設置工(その3)		
縮　尺	図　示	図面番号	147 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

菩提橋（上り線）排水装置撤去・設置工(その4)　S=1:100

P2橋脚 排水装置 設置工

新設図

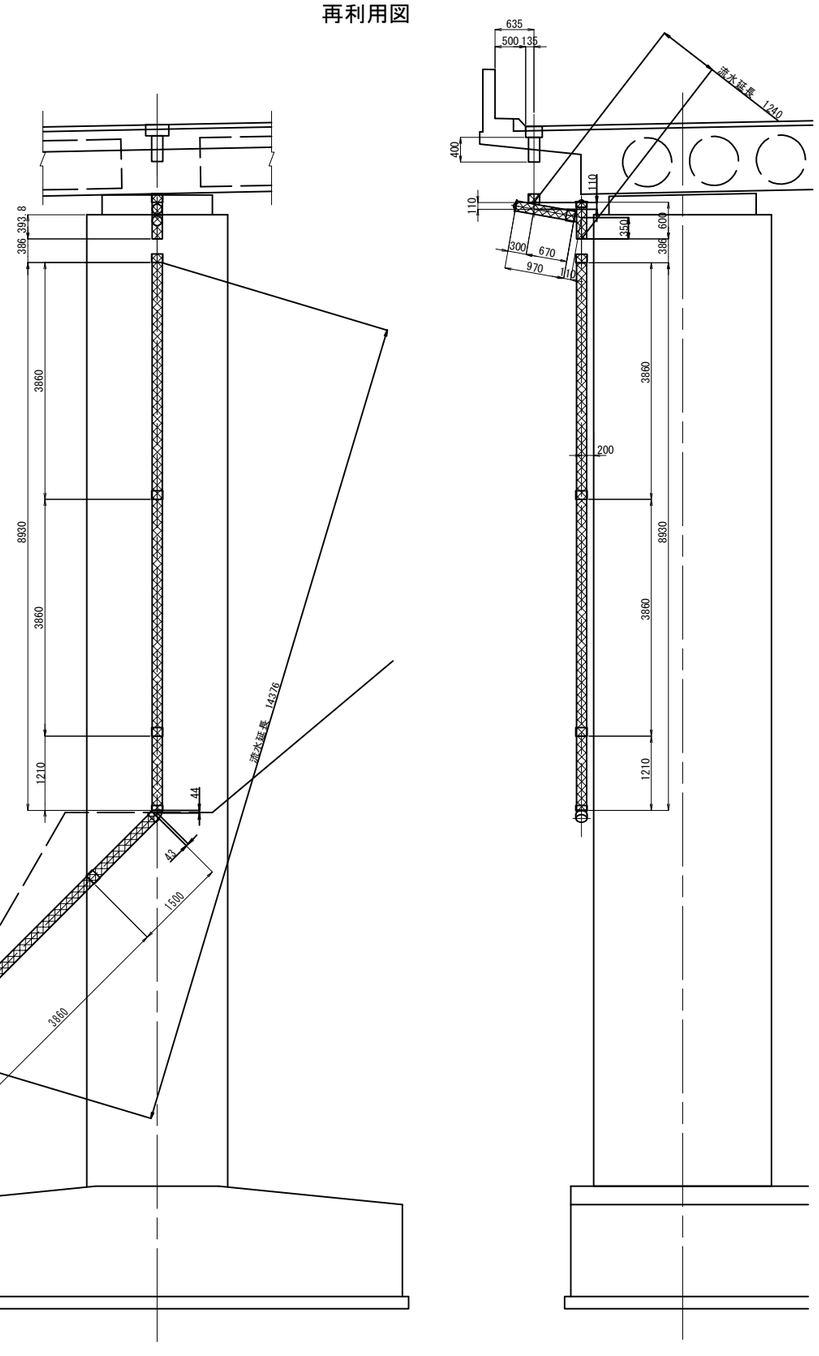


排水装置新設数量：
上部工排水装置：
排水管：
① 1-VP 150Ax800(スリート付)
排水金具：
H1 1箇所
H3 1箇所

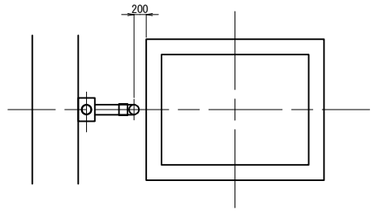
下部工排水装置：
排水金具：
S2 7箇所

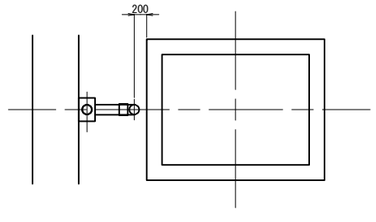
伸縮継手　EX2 1箇所

再利用図



凡 例：
- 撤去範囲
- 流用範囲
- 新設範囲
- C ：全て新設部材





注 記
1. 施工時に現地計測の上、再確認を行う。

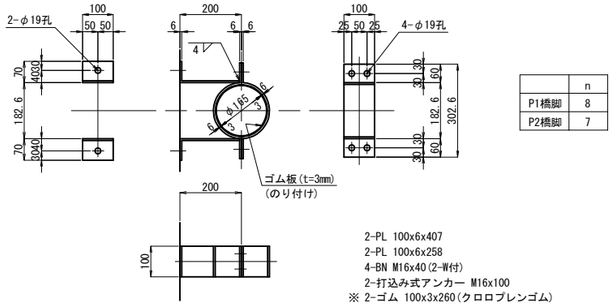
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	菩提橋（上り線） 排水装置撤去・設置工(その4)		
縮　尺	図　示	図面番号	148 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

菩提橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その5) S=1:20

各部詳細図

取付金具詳細

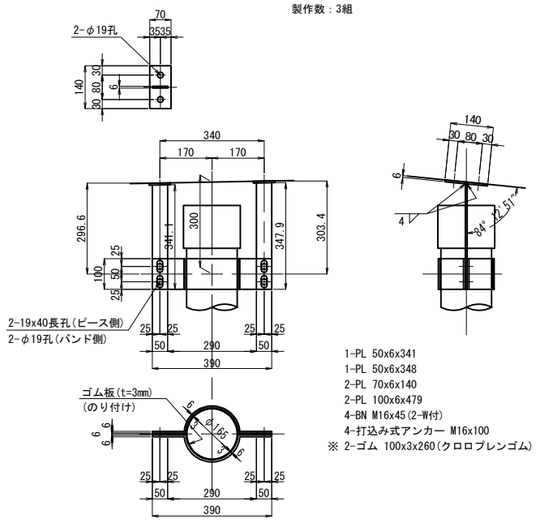
(S2)
製作数：15組



	n
P1橋脚	8
P2橋脚	7

2-PL 100x6x407
2-PL 100x6x258
4-BN M16x40(2-W付)
2-打込み式アンカー M16x100
※ 2-ゴム 100x3x260(クロロプレンゴム)

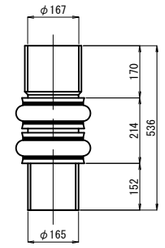
(H1)
製作数：3組



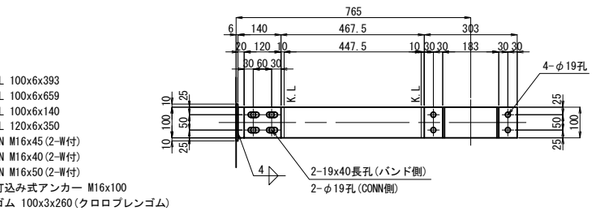
1-PL 50x6x341
1-PL 50x6x348
2-PL 70x6x140
2-PL 100x6x479
4-BN M16x45(2-W付)
4-打込み式アンカー M16x100
※ 2-ゴム 100x3x260(クロロプレンゴム)

伸縮継手

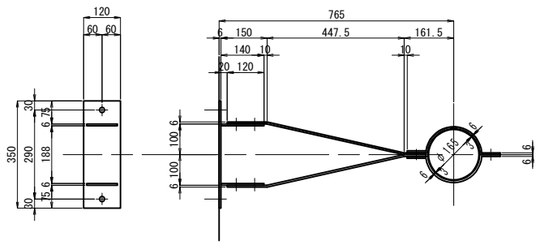
(EX2)
設置数：2



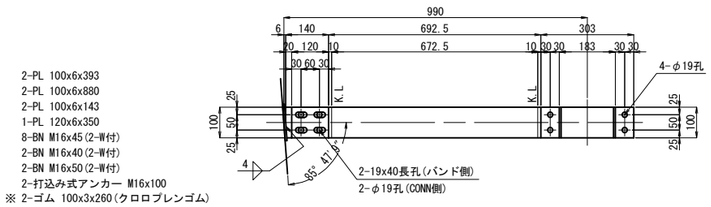
(H2)
製作数：1組



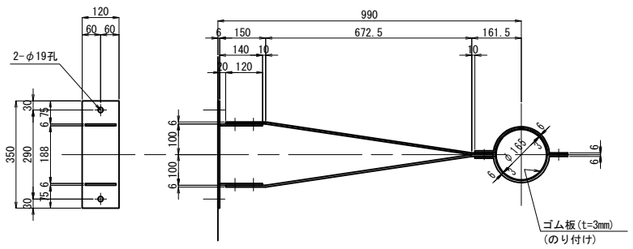
2-PL 100x6x393
2-PL 100x6x659
2-PL 100x6x140
1-PL 120x6x350
8-BN M16x45(2-W付)
2-BN M16x40(2-W付)
2-BN M16x50(2-W付)
2-打込み式アンカー M16x100
※ 2-ゴム 100x3x260(クロロプレンゴム)



(H3)
製作数：2組



2-PL 100x6x393
2-PL 100x6x880
2-PL 100x6x143
1-PL 120x6x350
8-BN M16x45(2-W付)
2-BN M16x40(2-W付)
2-BN M16x50(2-W付)
2-打込み式アンカー M16x100
※ 2-ゴム 100x3x260(クロロプレンゴム)



注 記

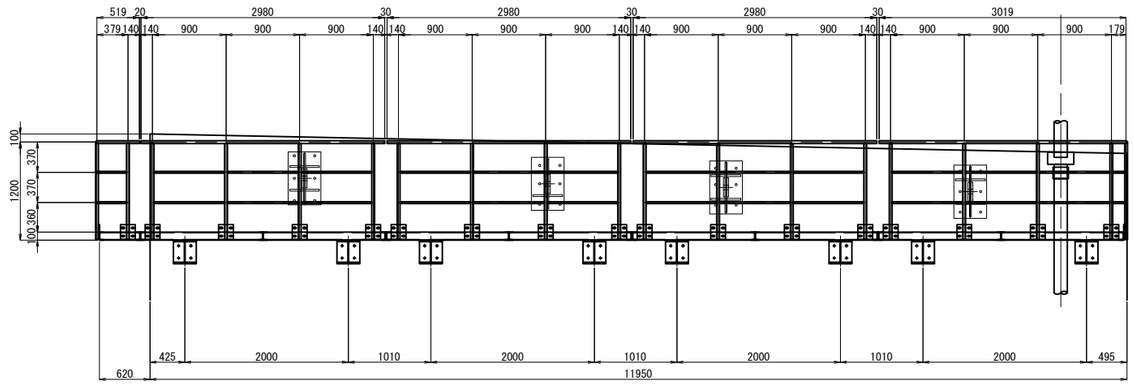
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. ※印以外の部材は、全て溶融亜鉛メッキ処理とする。
   亜鉛の付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
   但し、ボルト・ナット、板厚3.2mm未満の
   部材は、HDZT49とする。
3. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
   ボルト径+3mmを標準とする。
4. 普通ボルトは、全てゆるみ止めナット付きとする。
5. 施工時に現地計測の上、再確認を行う。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	菩提橋(上り線) 排水装置撤去・設置工(その5)		
縮　尺	図　示	図面番号	149 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

菩提橋(上り線) 下部工検査路撤去・設置工(その1) S=1:75

A1橋台 下部工検査路撤去詳細図

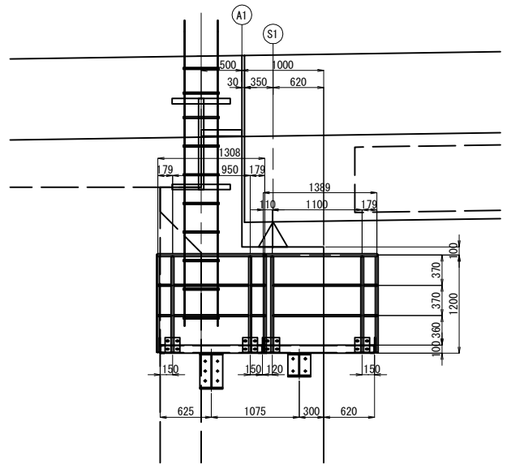
正面図
A - A



3-SGP 25Ax2980(SGP)
18-SGP 15Ax880(SGP)
12-SGP 25Ax1190(SGP)
24-PL 180x6x180
48-BN M16x45 (1-PW,1-SW)

1-SGP 25Ax3036(SGP)
1-SGP 25Ax615(SGP)
6-SGP 15Ax880(SGP)
2-SGP 15Ax180(SGP)
2-SGP 15Ax380(SGP)
5-SGP 25Ax1190(SGP)
10-PL 180x6x180
20-BN M16x45 (1-PW,1-SW)

側面図
B - B

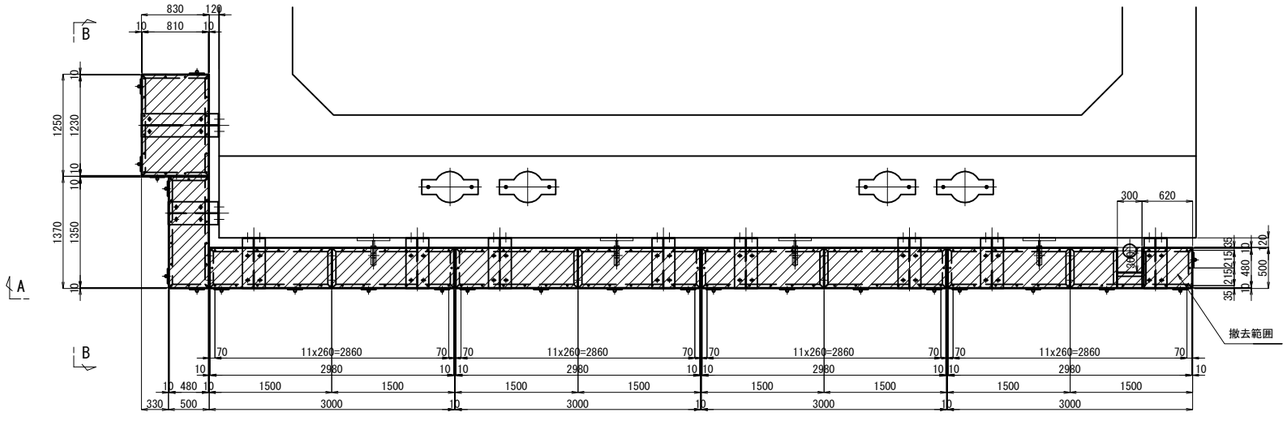


1-SGP 25Ax1342(SGP)
1-SGP 25Ax320(SGP)
1-SGP 25Ax876(SGP)
4-SGP 15Ax930(SGP)
4-SGP 15Ax180(SGP)
2-SGP 15Ax226(SGP)
2-SGP 15Ax710(SGP)
4-SGP 25Ax1190(SGP)
8-PL 180x6x180
16-BN M16x45 (1-PW,1-SW)

1-SGP 25Ax1406(SGP)
1-SGP 25Ax536(SGP)
2-SGP 15Ax1080(SGP)
2-SGP 15Ax180(SGP)
2-SGP 15Ax380(SGP)
3-SGP 25Ax1190(SGP)
6-PL 180x6x180
12-BN M16x45 (1-PW,1-SW)

2-[100x50x5x7.5x830
2-[100x50x5x7.5x1250
1-FB 50x6x820
1-CH PL 810x3.2x1230(SS400相当品)
16-BN M10x30 (1-TW,1-SW)
1-PL 250x9x810

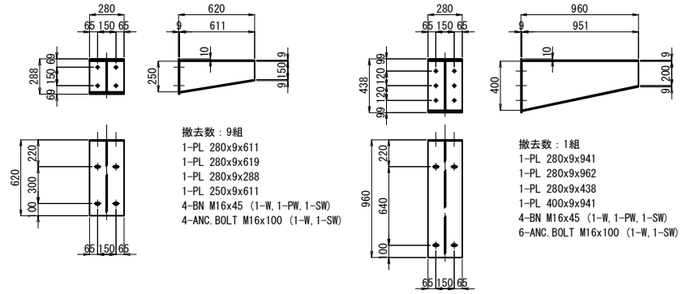
平面図



2-[100x50x5x7.5x500
2-[100x50x5x7.5x1370
1-CH PL 480x3.2x1350(SS400相当品)
2-BN M16x45 (1-PW,1-SW)
14-BN M10x30 (1-TW,1-SW)
1-PL 250x9x480

16-[100x50x5x7.5x500
16-[100x50x5x7.5x1500
2-L 50x50x6x480
1-L 50x50x6x300
4-CH PL 480x3.2x2980(SS400相当品)
10-BN M16x45 (1-PW,1-SW)
104-BN M10x30 (1-TW,1-SW)
8-PL 250x9x480

ブラケット詳細 S=1:50



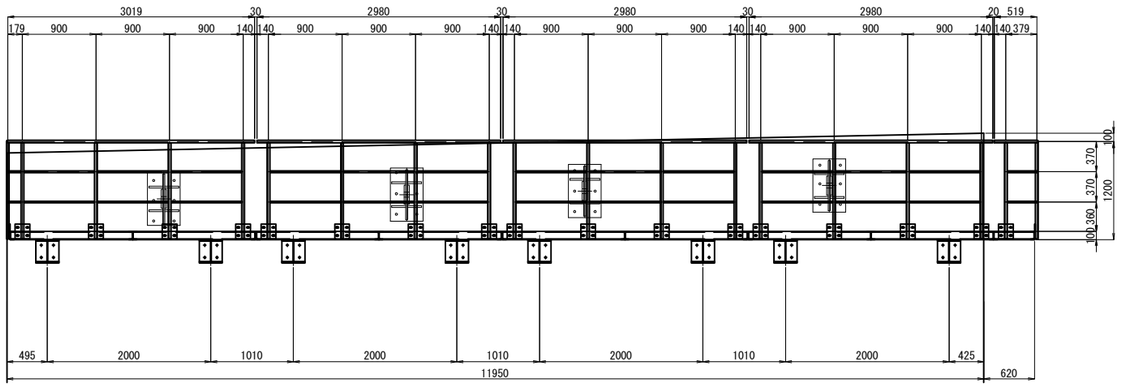
注 記
1. 特記なき材質は全てSS41とする。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	菩提橋(上り線) 下部工検査路撤去・設置工(その1)		
縮　尺	図　示	図面番号	150 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

菩提橋(上り線) 下部工検査路撤去・設置工(その2) S=1:75

A2橋台 下部工検査路撤去詳細図

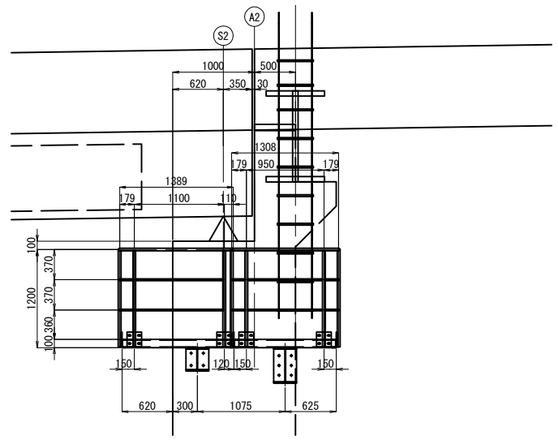
正面図
A - A



1-SGP 25Ax3036(SGP)
1-SGP 25Ax615(SGP)
6-SGP 15Ax880(SGP)
2-SGP 15Ax180(SGP)
2-SGP 15Ax380(SGP)
5-SGP 25Ax1190(SGP)
10-PL 180x6x180
20-BN M16x45 (1-PW,1-SW)

3-SGP 25Ax2980(SGP)
18-SGP 15Ax880(SGP)
12-SGP 25Ax1190(SGP)
24-PL 180x6x180
48-BN M16x45 (1-PW,1-SW)

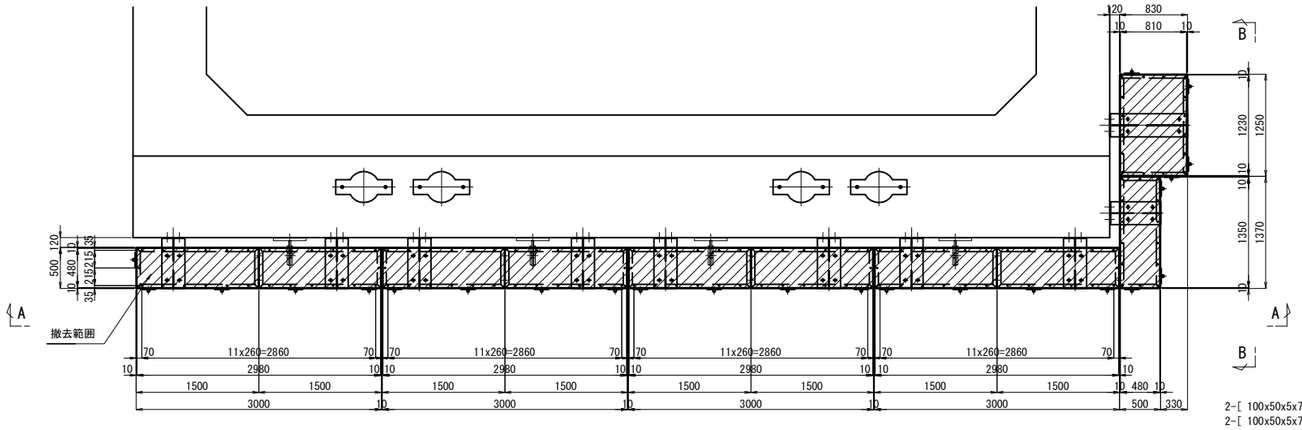
側面図
B - B



1-SGP 25Ax1406(SGP)
1-SGP 25Ax536(SGP)
2-SGP 15Ax1080(SGP)
2-SGP 15Ax180(SGP)
2-SGP 15Ax380(SGP)
3-SGP 25Ax1190(SGP)
6-PL 180x6x180
12-BN M16x45 (1-PW,1-SW)

1-SGP 25Ax1342(SGP)
1-SGP 25Ax320(SGP)
1-SGP 25Ax876(SGP)
4-SGP 15Ax930(SGP)
4-SGP 15Ax180(SGP)
2-SGP 15Ax226(SGP)
2-SGP 15Ax710(SGP)
4-SGP 25Ax1190(SGP)
8-PL 180x6x180
16-BN M16x45 (1-PW,1-SW)

平面図

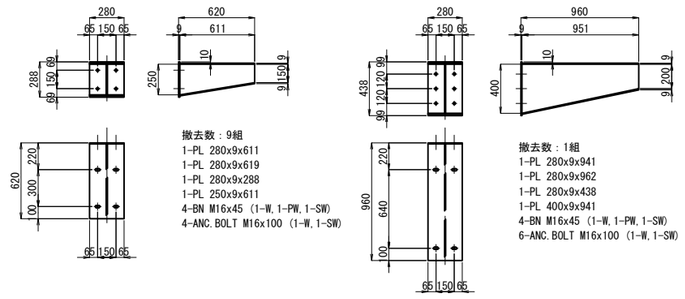


16-[100x50x5x7.5x500
16-[100x50x5x7.5x1500
4-CH PL 480x3.2x2980(SS400相当品)
10-BN M16x45 (1-PW,1-SW)
104-BN M10x30 (1-TW,1-SW)
8-PL 250x9x480

2-[100x50x5x7.5x830
2-[100x50x5x7.5x1250
1-FB 50x6x820
1-CH PL 810x3.2x1230(SS400相当品)
16-BN M10x30 (1-TW,1-SW)
1-PL 250x9x810

2-[100x50x5x7.5x500
2-[100x50x5x7.5x1370
1-CH PL 480x3.2x1350(SS400相当品)
2-BN M16x45 (1-PW,1-SW)
14-BN M10x30 (1-TW,1-SW)
1-PL 250x9x480

ブラケット詳細 S=1:50



撤去数：9組
1-PL 280x9x611
1-PL 280x9x619
1-PL 280x9x288
1-PL 250x9x611
4-BN M16x45 (1-W,1-PW,1-SW)
4-ANC.BOLT M16x100 (1-W,1-SW)

撤去数：1組
1-PL 280x9x941
1-PL 280x9x962
1-PL 280x9x438
1-PL 400x9x941
4-BN M16x45 (1-W,1-PW,1-SW)
6-ANC.BOLT M16x100 (1-W,1-SW)

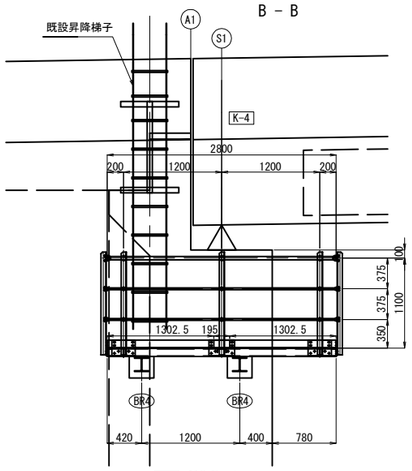
注 記
1. 特記なき材質は全てSS41とする。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	菩提橋(上り線) 下部工検査路撤去・設置工(その2)		
縮　尺	図　示	図面番号	151 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

菩提橋(上り線) 下部工検査路撤去・設置工(その3) S=1:75

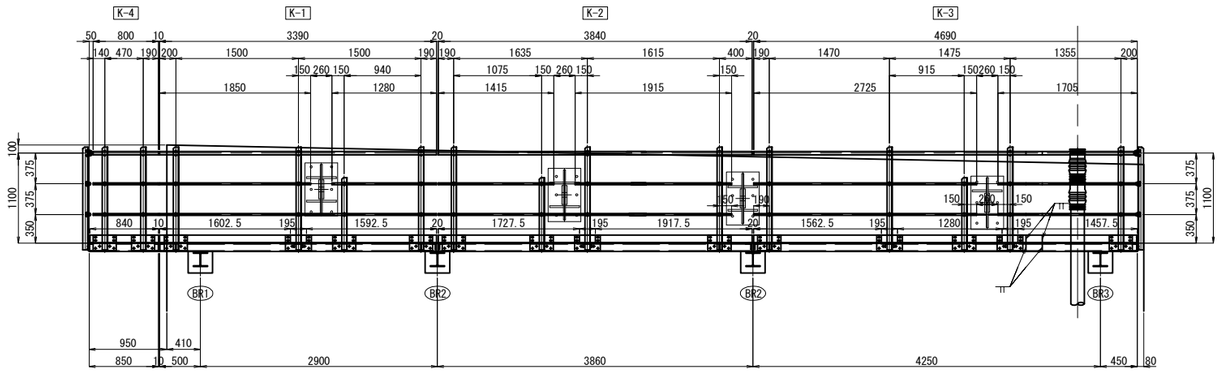
A1橋台 下部工検査路新設詳細図

側面図
B - B



K-4 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x2800(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x2800(STK400)
3-L 65x65x6x1258
2-PL 90x3.2x1303
2-PL 190x12x285(SM400A)
1-PL 190x12x315(SM400A)
12-BN M16x45(2-W)
12-BN M10x35(2-W)
3-U.BOLT 呼び 32C
6-U.BOLT 呼び 15C

正面図
A - A



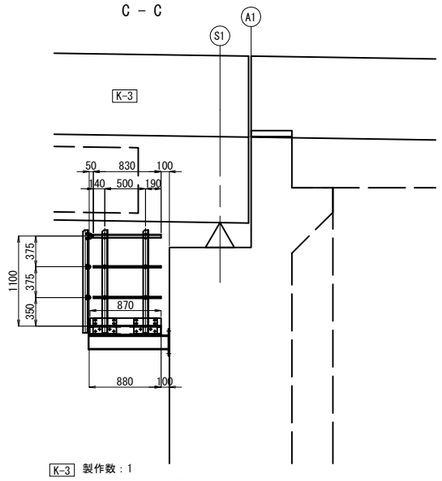
K-4 製作数：2
1-PIPE φ42.7x2.3x800(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x800(STK400)
2-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x840
2-PL 190x12x285(SM400A)
8-BN M16x45(2-W)
8-BN M10x35(2-W)
2-U.BOLT 呼び 32C
4-U.BOLT 呼び 15C

K-1 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x3390(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x3390(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x1850(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x1280(STK400)
3-L 65x65x6x1258
1-L 65x65x6x883
1-PL 90x3.2x1603
1-PL 90x3.2x1593
3-PL 190x12x285(SM400A)
1-PL 190x12x315(SM400A)
16-BN M16x45(2-W)
16-BN M10x35(2-W)
3-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

K-2 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x3840(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x3590(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x1415(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x1915(STK400)
3-L 65x65x6x1258
1-L 65x65x6x883
1-PL 90x3.2x1728
1-PL 90x3.2x1918
3-PL 190x12x285(SM400A)
1-PL 190x12x315(SM400A)
16-BN M16x45(2-W)
16-BN M10x35(2-W)
3-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

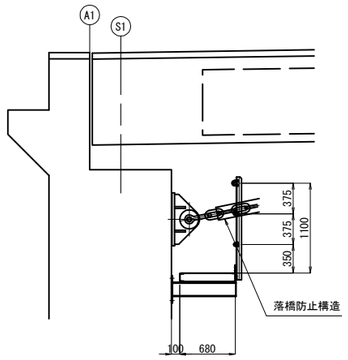
K-3 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x3343(STK400)
1-PIPE φ42.7x2.3x301(STK400)
1-PIPE φ42.7x2.3x1165(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x2725(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x349(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x292(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x1165(STK400)
4-L 65x65x6x1258
1-L 65x65x6x883
1-PL 90x3.2x1563
1-PL 90x3.2x1280
1-PL 90x3.2x99
1-PL 90x3.2x284
1-PL 90x3.2x1160
3-PL 190x12x285(SM400A)
2-PL 190x12x315(SM400A)
20-BN M16x45(2-W)
20-BN M10x35(2-W)
4-U.BOLT 呼び 32C
10-U.BOLT 呼び 15C

側面図
C - C

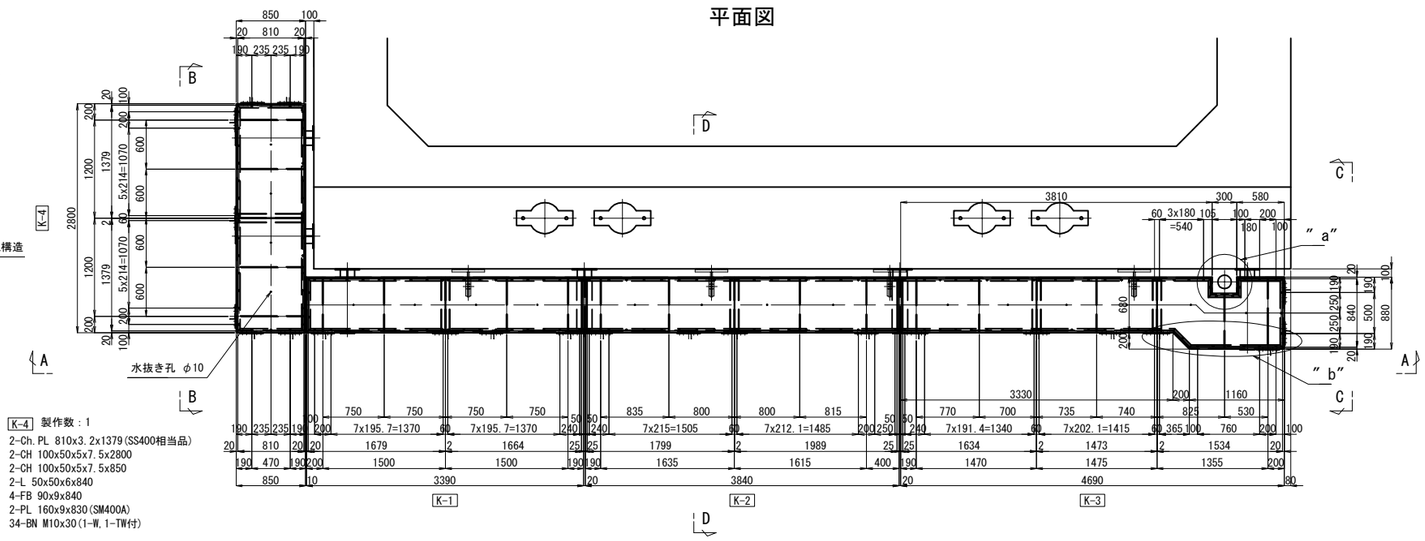


K-3 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x830(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x830(STK400)
2-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x870
2-PL 190x12x285(SM400A)
8-BN M16x45(2-W)
8-BN M10x35(2-W)
2-U.BOLT 呼び 32C
4-U.BOLT 呼び 15C

側面図
D - D



平面図



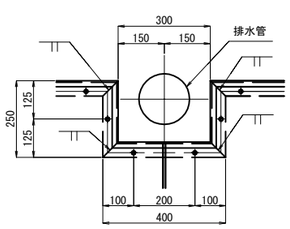
K-4 製作数：1
2-Ch.PL 810x3.2x1379(SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x2800
2-CH 100x50x5x7.5x850
2-L 50x50x6x840
4-FB 90x9x840
2-PL 160x9x830(SM400A)
34-BN M10x30(1-W,1-TW付)

K-1 製作数：1
1-Ch.PL 640x3.2x1679(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x1664(SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x3390
1-CH 100x50x5x7.5x680
1-L 75x75x6x670
2-L 50x50x6x670
4-FB 90x9x670
1-PL 160x9x660(SM400A)
1-PL 60x9x660(SM400A)
38-BN M10x30(1-W,1-TW付)

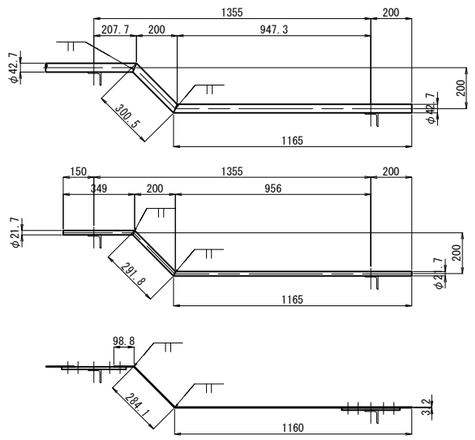
K-2 製作数：1
1-Ch.PL 640x3.2x1799(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x1989(SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x3840
2-L 75x75x6x670
2-L 50x50x6x670
4-FB 90x9x670
2-PL 60x9x660(SM400A)
38-BN M10x30(1-W,1-TW付)

K-3 製作数：1
1-Ch.PL 640x3.2x1634(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x1473(SS400相当品)
1-Ch.PL 840x3.2x1534(SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7.5x3351
1-CH 100x50x5x7.5x304
1-CH 100x50x5x7.5x1160
1-CH 100x50x5x7.5x880
1-CH 100x50x5x7.5x580
2-CH 100x50x5x7.5x250
1-CH 100x50x5x7.5x400
1-CH 100x50x5x7.5x3810
1-L 75x75x6x670
4-L 50x50x6x670
4-FB 90x9x670
1-FB 90x9x870
1-PL 60x9x660(SM400A)
1-PL 160x9x860(SM400A)
56-BN M10x30(1-W,1-TW付)

″a″部詳細 S=1:20



″b″部詳細 S=1:30



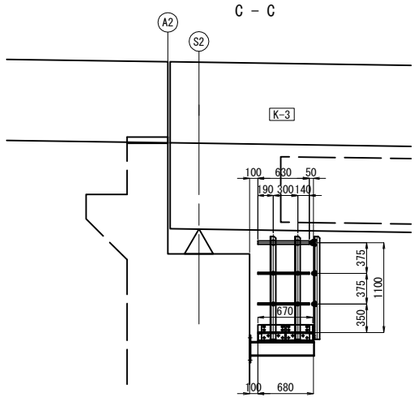
注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT77とする。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けるのが良い。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	菩提橋(上り線) 下部工検査路撤去・設置工(その3)		
縮尺	図示	図面番号	152 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

菩提橋(上り線) 下部工検査路撤去・設置工(その4) S=1:75

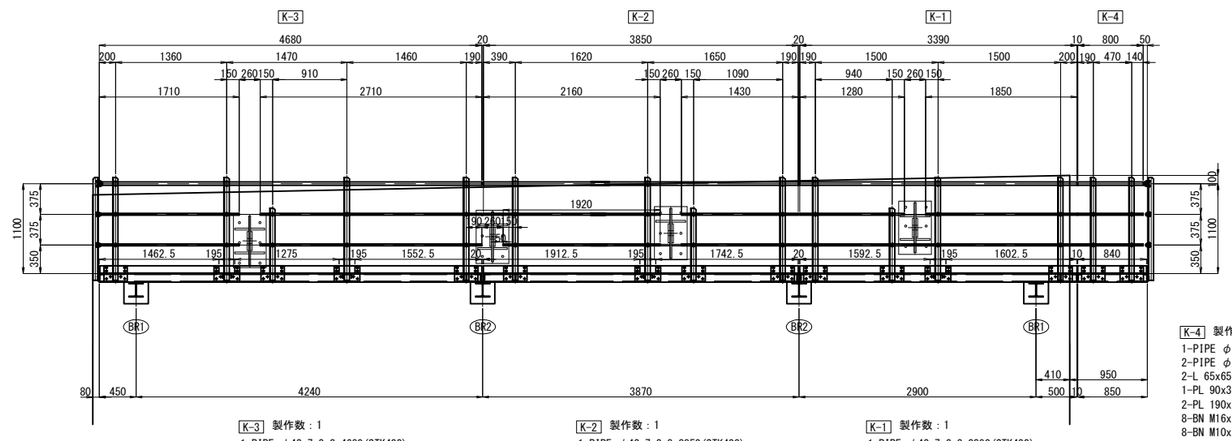
A2橋台 下部工検査路新設詳細図

側面図
C - C



K-3 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x630(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x630(STK400)
2-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x670
2-PL 190x12x285(SM400A)
8-BN M16x45(2-W)
8-BN M10x35(2-W)
2-U.BOLT 呼び 32C
4-U.BOLT 呼び 15C

正面図
A - A



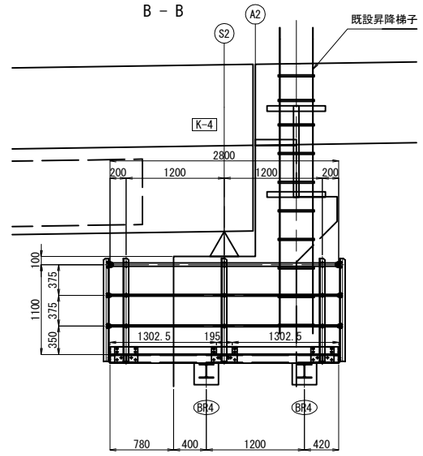
K-3 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x4680(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x2710(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x1710(STK400)
4-L 65x65x6x1258
1-L 65x65x6x883
1-PL 90x3.2x1553
1-PL 90x3.2x1275
1-PL 90x3.2x1463
3-PL 190x12x285(SM400A)
2-PL 190x12x315(SM400A)
20-BN M16x45(2-W)
20-BN M10x35(2-W)
4-U.BOLT 呼び 32C
10-U.BOLT 呼び 15C

K-2 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x3850(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x1430(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x2160(STK400)
3-L 65x65x6x1258
1-L 65x65x6x883
1-PL 90x3.2x1743
1-PL 90x3.2x1913
3-PL 190x12x285(SM400A)
1-PL 190x12x315(SM400A)
16-BN M16x45(2-W)
16-BN M10x35(2-W)
3-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

K-1 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x3390(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x3390(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x1850(STK400)
1-PIPE φ21.7x1.9x1280(STK400)
3-L 65x65x6x1258
1-L 65x65x6x883
1-PL 90x3.2x1603
1-PL 90x3.2x1593
3-PL 190x12x285(SM400A)
1-PL 190x12x315(SM400A)
16-BN M16x45(2-W)
16-BN M10x35(2-W)
3-U.BOLT 呼び 32C
8-U.BOLT 呼び 15C

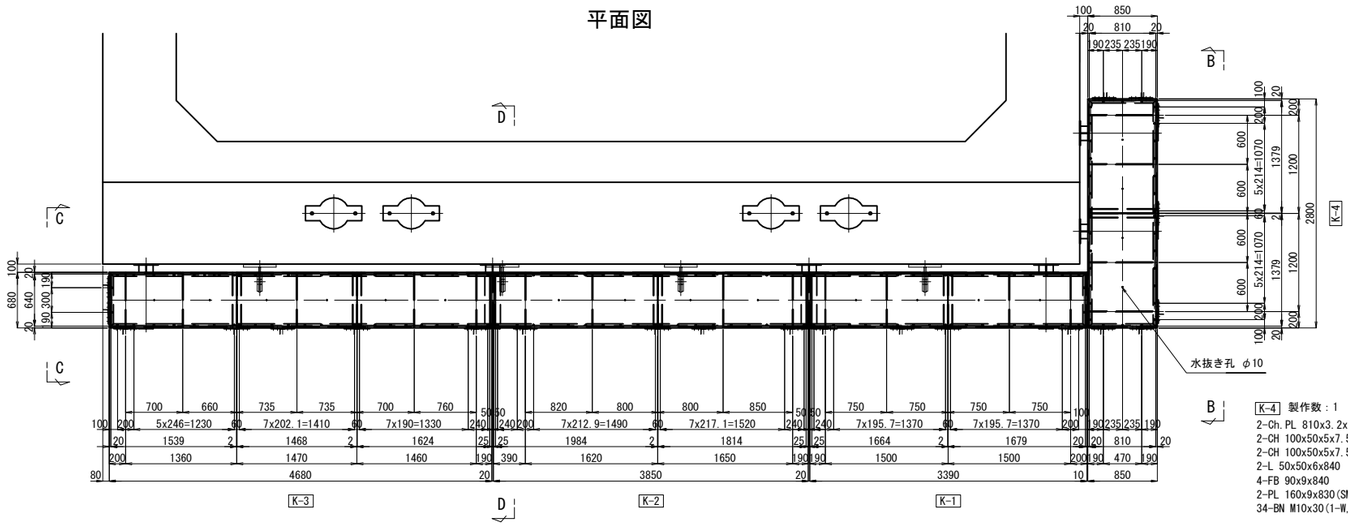
K-4 製作数：2
1-PIPE φ42.7x2.3x800(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x800(STK400)
2-L 65x65x6x1258
1-PL 90x3.2x840
2-PL 190x12x285(SM400A)
8-BN M16x45(2-W)
8-BN M10x35(2-W)
2-U.BOLT 呼び 32C
4-U.BOLT 呼び 15C

側面図
B - B



K-4 製作数：1
1-PIPE φ42.7x2.3x2800(STK400)
2-PIPE φ21.7x1.9x2800(STK400)
3-L 65x65x6x1258
2-PL 90x3.2x1303
2-PL 190x12x285(SM400A)
1-PL 190x12x315(SM400A)
12-BN M16x45(2-W)
12-BN M10x35(2-W)
3-U.BOLT 呼び 32C
6-U.BOLT 呼び 15C

平面図



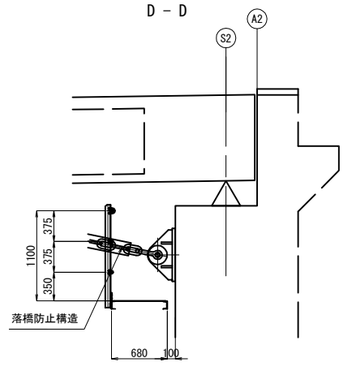
K-4 製作数：1
2-Ch.PL 810x3.2x1379(SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x2800
2-CH 100x50x5x7.5x850
2-L 50x50x6x840
4-FB 90x9x840
2-PL 160x9x830(SM400A)
34-BN M10x30(1-W,1-TW付)

K-3 製作数：1
1-Ch.PL 640x3.2x1624(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x1468(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x1539(SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x4680
1-CH 100x50x5x7.5x680
1-L 75x75x6x670
4-L 50x50x6x670
5-FB 90x9x670
1-PL 160x9x660(SM400A)
1-PL 60x9x660(SM400A)
50-BN M10x30(1-W,1-TW付)

K-2 製作数：1
1-Ch.PL 640x3.2x1814(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x1984(SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x3850
2-L 75x75x6x670
2-L 50x50x6x670
4-FB 90x9x670
2-PL 60x9x660(SM400A)
38-BN M10x30(1-W,1-TW付)

K-1 製作数：1
1-Ch.PL 640x3.2x1679(SS400相当品)
1-Ch.PL 640x3.2x1664(SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x3390
1-CH 100x50x5x7.5x680
1-L 75x75x6x670
2-L 50x50x6x670
4-FB 90x9x670
1-PL 160x9x660(SM400A)
1-PL 60x9x660(SM400A)
38-BN M10x30(1-W,1-TW付)

側面図
D - D

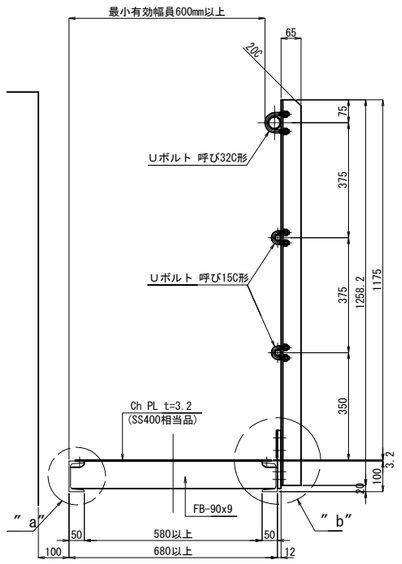


注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT77とする。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けるのが良い。

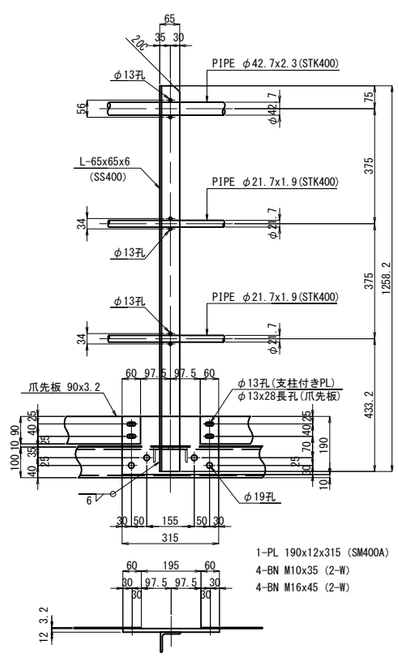
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	菩提橋(上り線) 下部工検査路撤去・設置工(その4)		
縮尺	図示	図面番号	153 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

菩提橋(上り線) 下部工検査路撤去・設置工(その5) S=1:20

歩廊断面及び構造詳細図

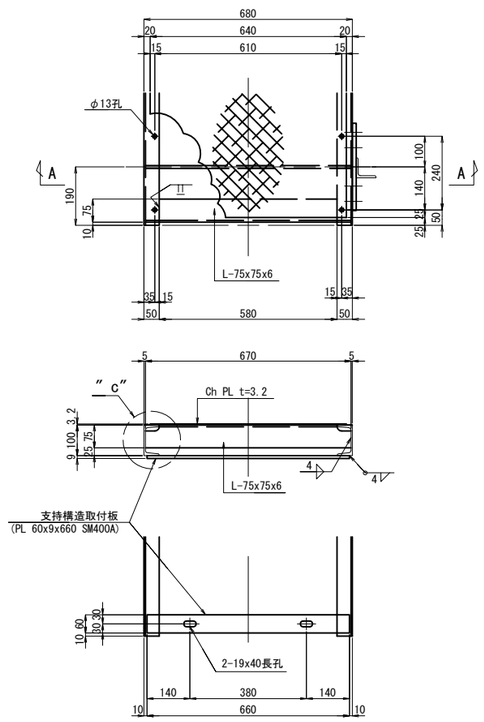


共通詳細図

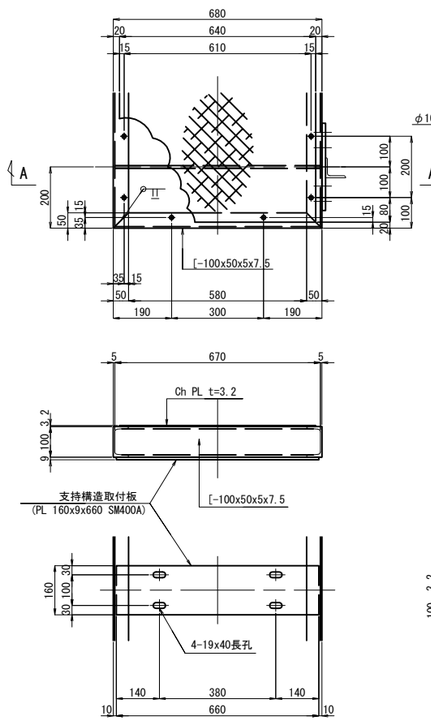


歩廊端部詳細図

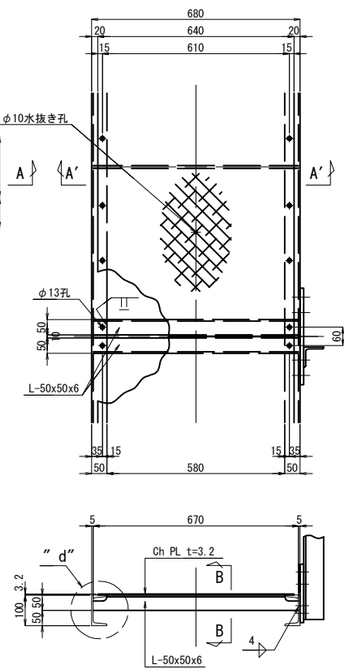
掛け違い部



端部

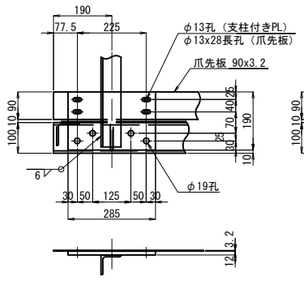


歩廊中間部詳細図

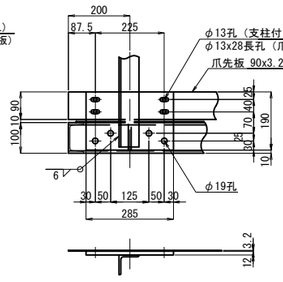


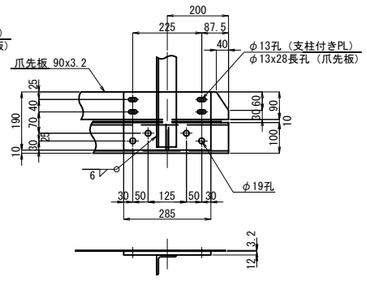
端支柱部

掛け違い部

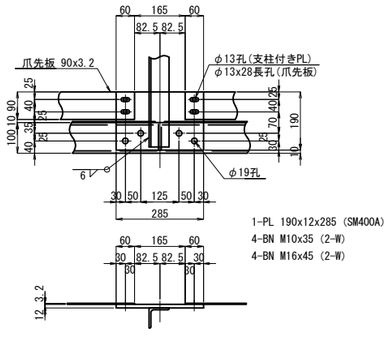


一般部

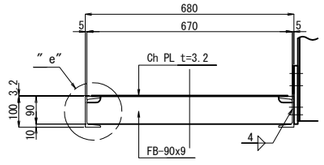




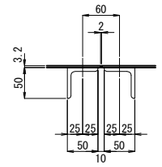
中間支柱部



A - A　A′ - A′

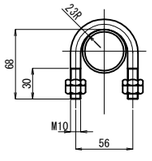


B - B S=1:10

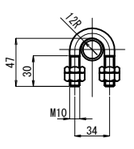


Uボルト詳細 S=1:6

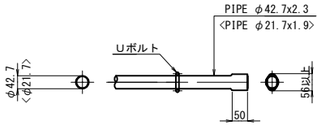
呼び32C形
(PIPE φ42.7用)



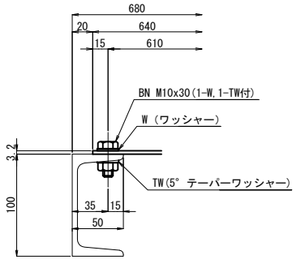
呼び15C形
(PIPE φ21.7用)



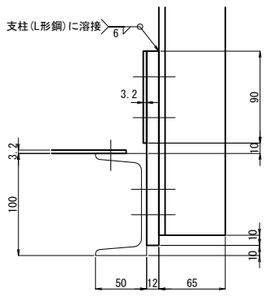
手摺り抜け落ち防止加工



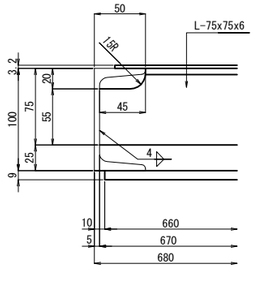
〃a〃部詳細 S=1:6



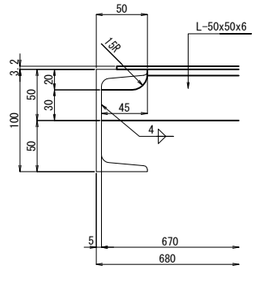
〃b〃部詳細 S=1:6



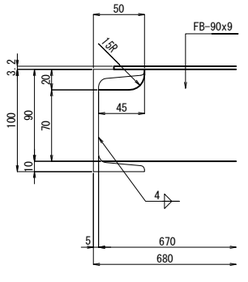
〃c〃部詳細 S=1:6



〃d〃部詳細 S=1:6



〃e〃部詳細 S=1:6



メッキ部材表

便覧規格	規格	付着量	検査路適用鋼材
厚さ3.2mm未満の鋼板 普通ボルト 手摺りパイプ、縞鋼板	HDZ 35	350g/m2以上	チェッカープレート 手摺りパイプ 普通ボルト・ナット
厚さ3.2mm以上の鋼板、形鋼 高力ボルト	HDZ 55	550g/m2以上	形鋼、プレート 高力ボルト・ナット

注 記

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT77とする。
4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
5. 床材に縞鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m)程度に1箇所程度設けるのが良い。

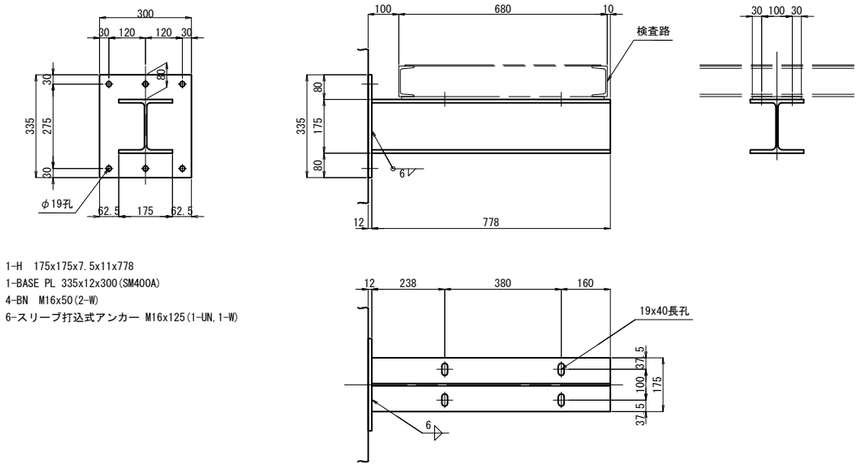
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	菩提橋(上り線) 下部工検査路撤去・設置工(その5)		
縮　尺	図　示	図面番号	154 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

菩提橋(上り線) 下部工検査路撤去・設置工(その6) S=1:20

ブラケット詳細図

BR1

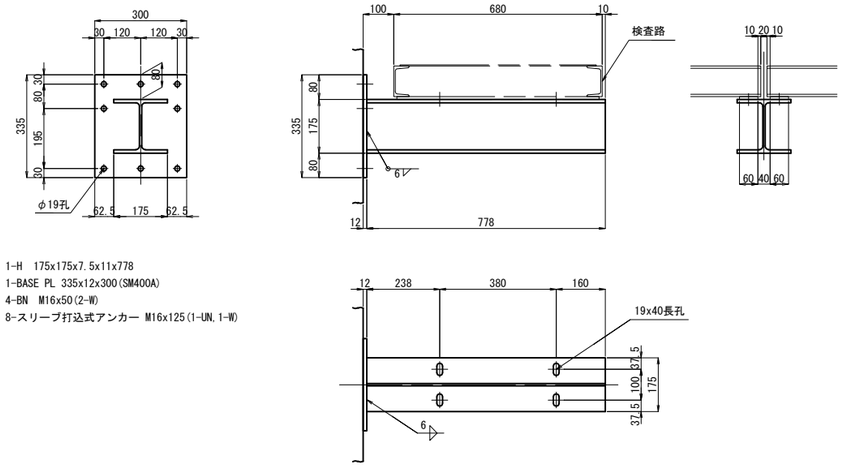
(製作数：3)



1-H 175x175x7.5x11x778
1-BASE PL 335x12x300(SM400A)
4-BN M16x50(2-W)
6-スリーブ打込式アンカー M16x125(1-UN,1-W)

BR2

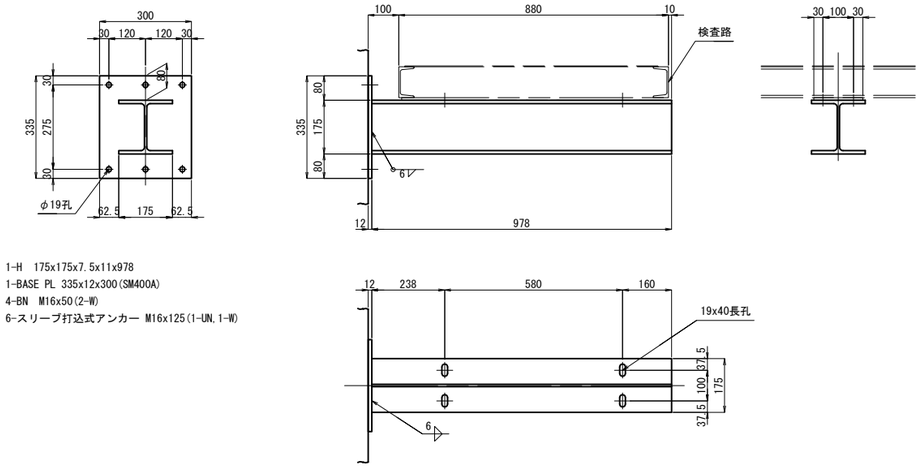
(製作数：4)



1-H 175x175x7.5x11x778
1-BASE PL 335x12x300(SM400A)
4-BN M16x50(2-W)
8-スリーブ打込式アンカー M16x125(1-UN,1-W)

BR3

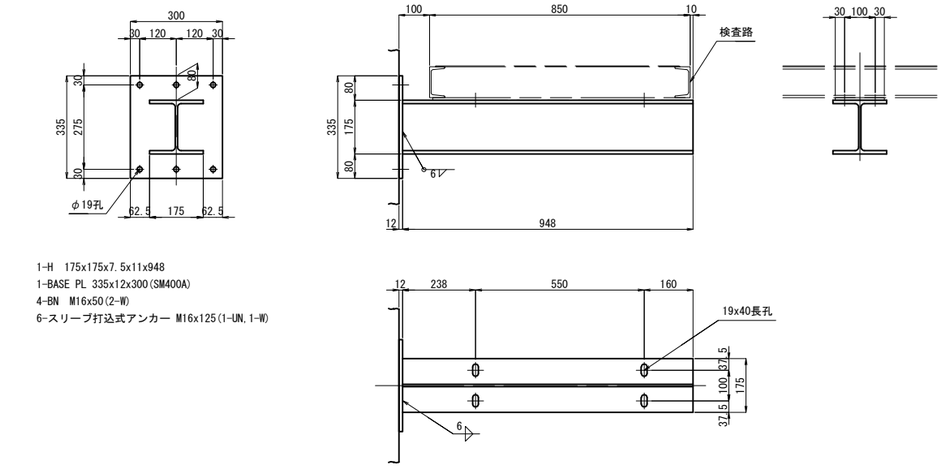
(製作数：1)



1-H 175x175x7.5x11x978
1-BASE PL 335x12x300(SM400A)
4-BN M16x50(2-W)
6-スリーブ打込式アンカー M16x125(1-UN,1-W)

BR4

(製作数：4)



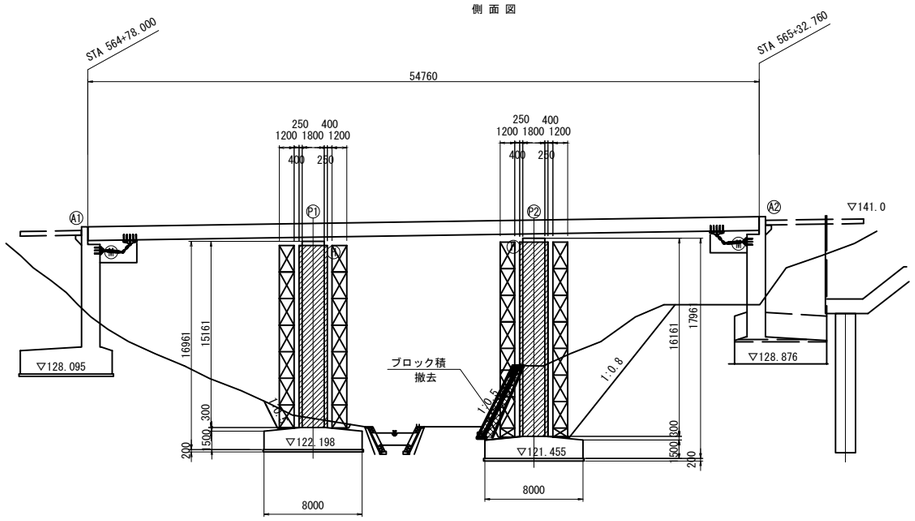
1-H 175x175x7.5x11x948
1-BASE PL 335x12x300(SM400A)
4-BN M16x50(2-W)
6-スリーブ打込式アンカー M16x125(1-UN,1-W)

注 記
1．特記なき材質は全てSS400とする。
2．Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3．鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト･ナット類はHDZT77とする。
4．ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。

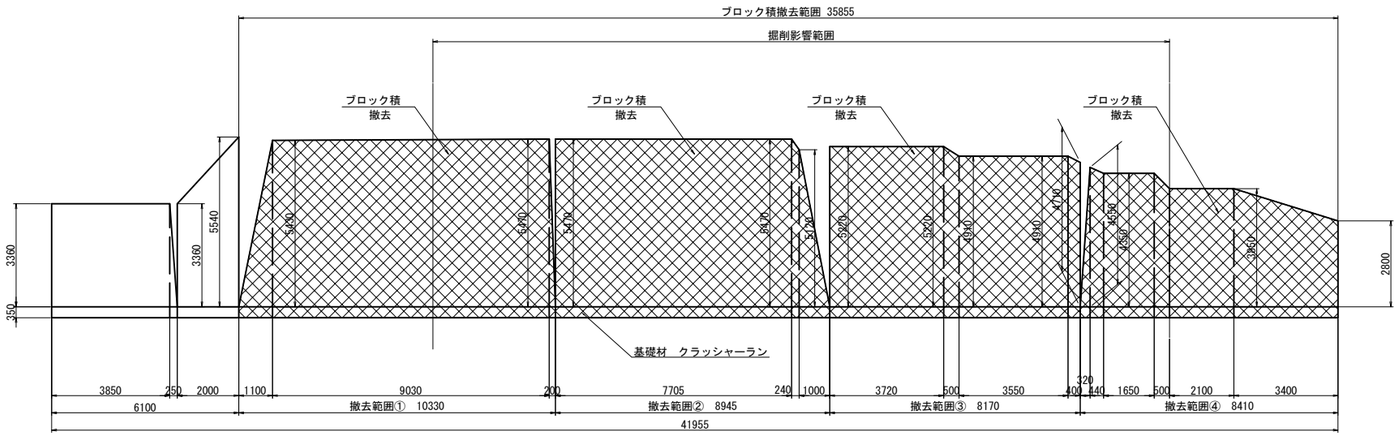
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	菩提橋(上り線) 下部工検査路撤去・設置工(その6)		
縮　尺	図　示	図面番号	155 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

菩提橋(上り線) ブロック積撤去図　S=1:500

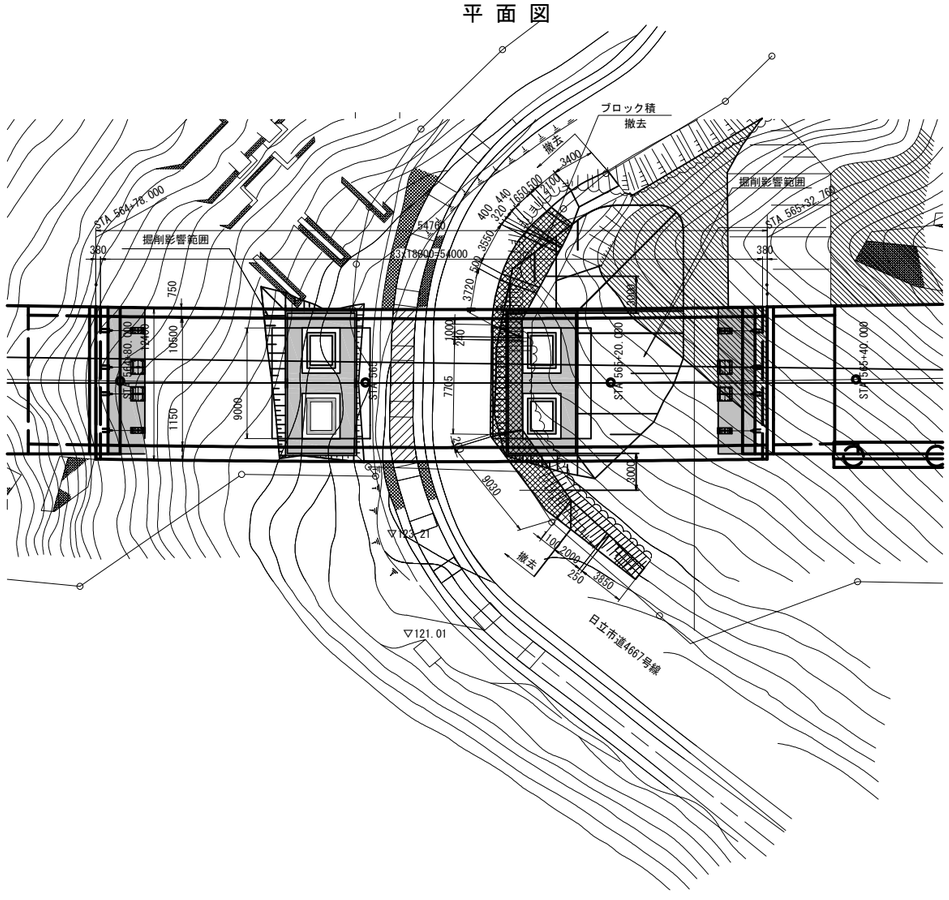
側 面 図



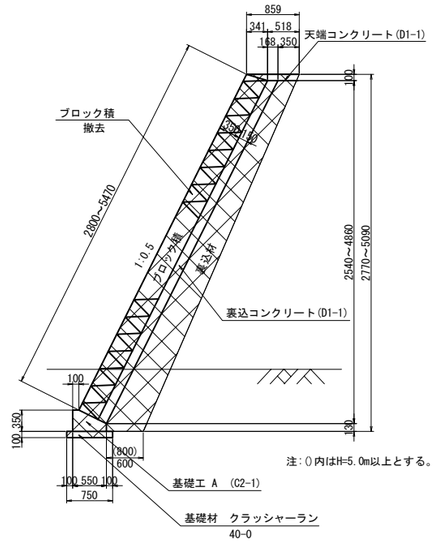
ブロック積撤去展開図　S=1:200



平 面 図



標準断面図 S=1：100



注：()内はH=5.0m以上とする。

数量表

項　目		単位	数量	備　考
コンクリートブロック積工	撤去	m2	171.3	
		m3	85.7	

数量表

項　目		単位	数量	摘　要
コンクリートブロック積工		m2	171.3	
裏込め材		m3	62.3	
基礎工	コンクリート基礎工 A(F)	m	35.9	

コンクリートブロック積　材料表

項　目		単位	数量	摘　要
コンクリート		m3	25.9	裏込め
		m3	31.1	コンクリート殻

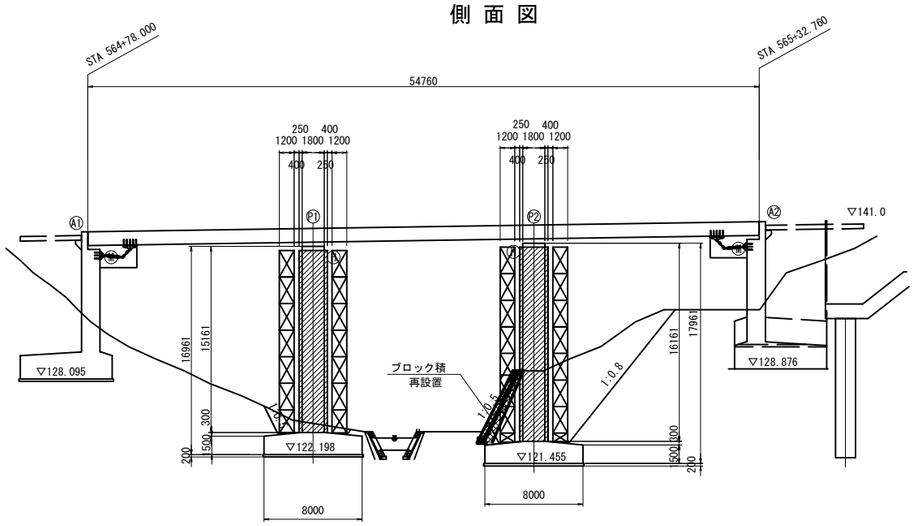
コンクリート基礎　材料表

項　目	種　別	単位	数量	摘　要
基礎材	クラッシャーラン	m3	2.7	
コンクリート		m3	4.9	
型枠		m2	16.1	

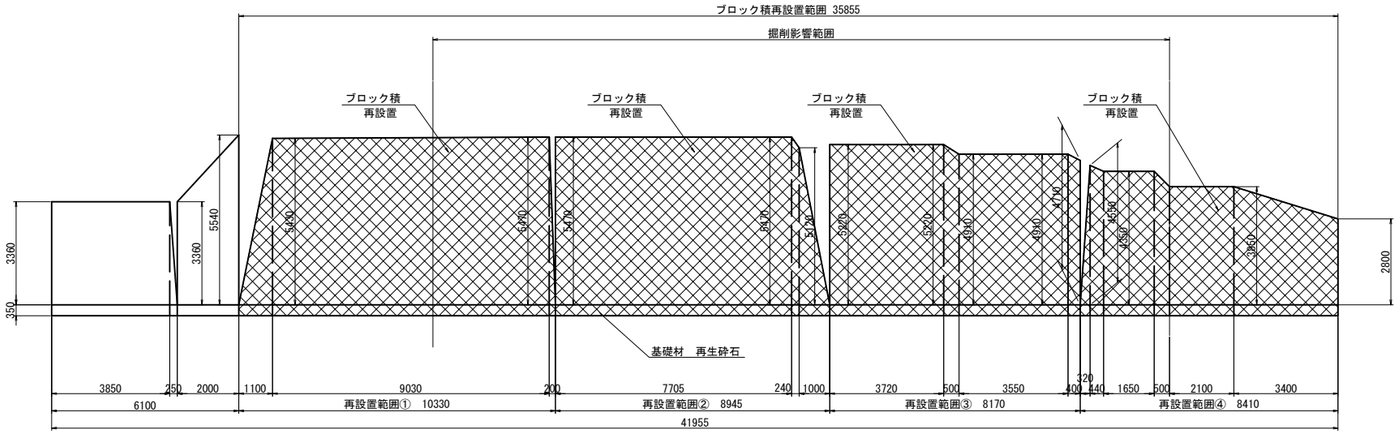
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事	
図面の種類	菩提橋(上り線) ブロック積撤去図
縮　尺	図　示　図面番号　156 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所

菩提橋(上り線) ブロック積再設置図 S=1:500

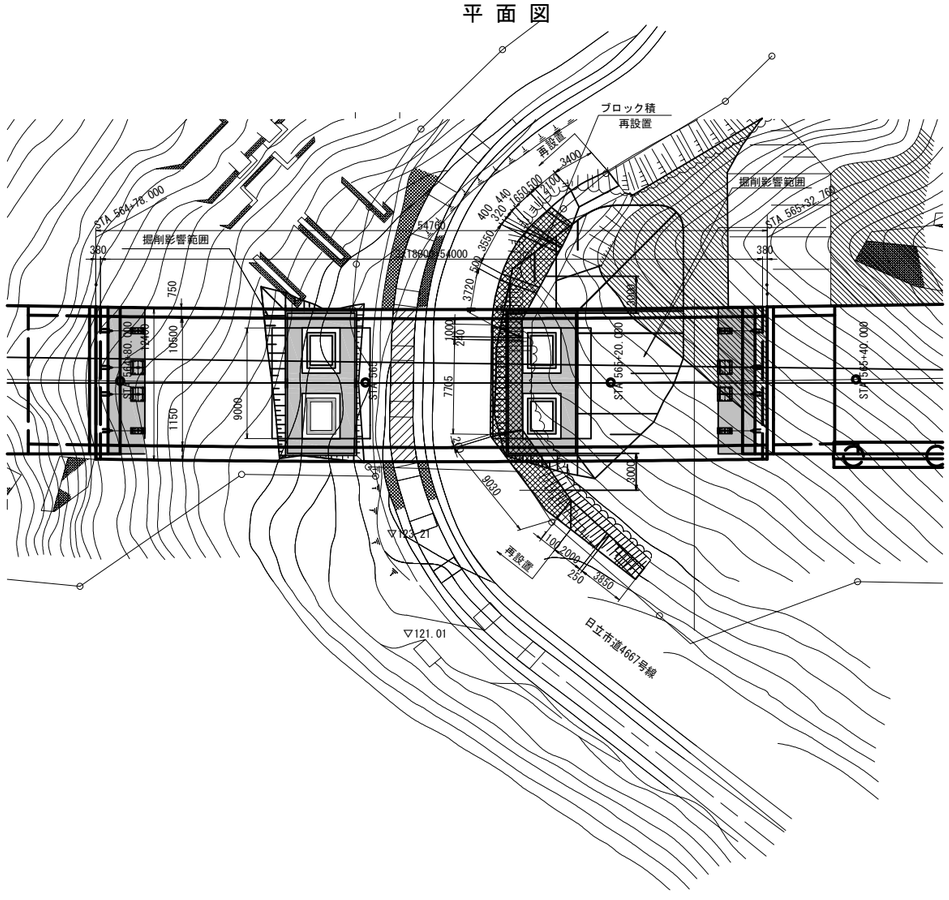
側 面 図



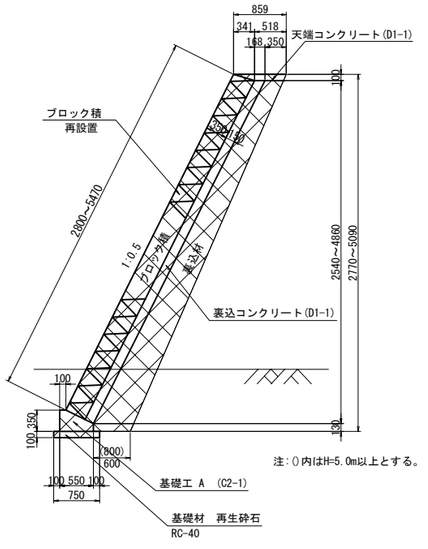
ブロック積再設置展開図 S=1:200



平 面 図



標準断面図 S=1:100



注:()内はH=5.0m以上とする。

数量表

項 目		単位	数量	備 考
コンクリートブロック積工	再設置	m2	171.3	
		m3	85.7	

数量表

項 目		単位	数量	摘 要
コンクリートブロック積工		m2	171.3	
裏込め材		m3	62.3	
基礎工	コンクリート基礎工 A(F)	m	35.9	

コンクリートブロック積 材料表

項 目		単位	数量	摘 要
コンクリート		m3	25.9	裏込め
		m3	31.1	胴込め

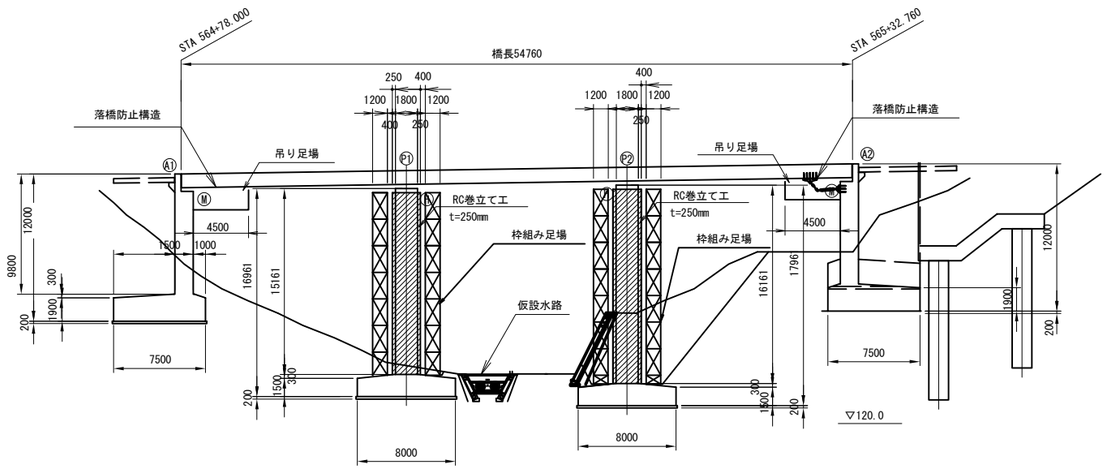
コンクリート基礎 材料表

項 目	種 別	単位	数量	摘 要
基礎材	再生砕石(RC-40)	m3	2.7	
コンクリート		m3	4.9	
型枠		m2	16.1	

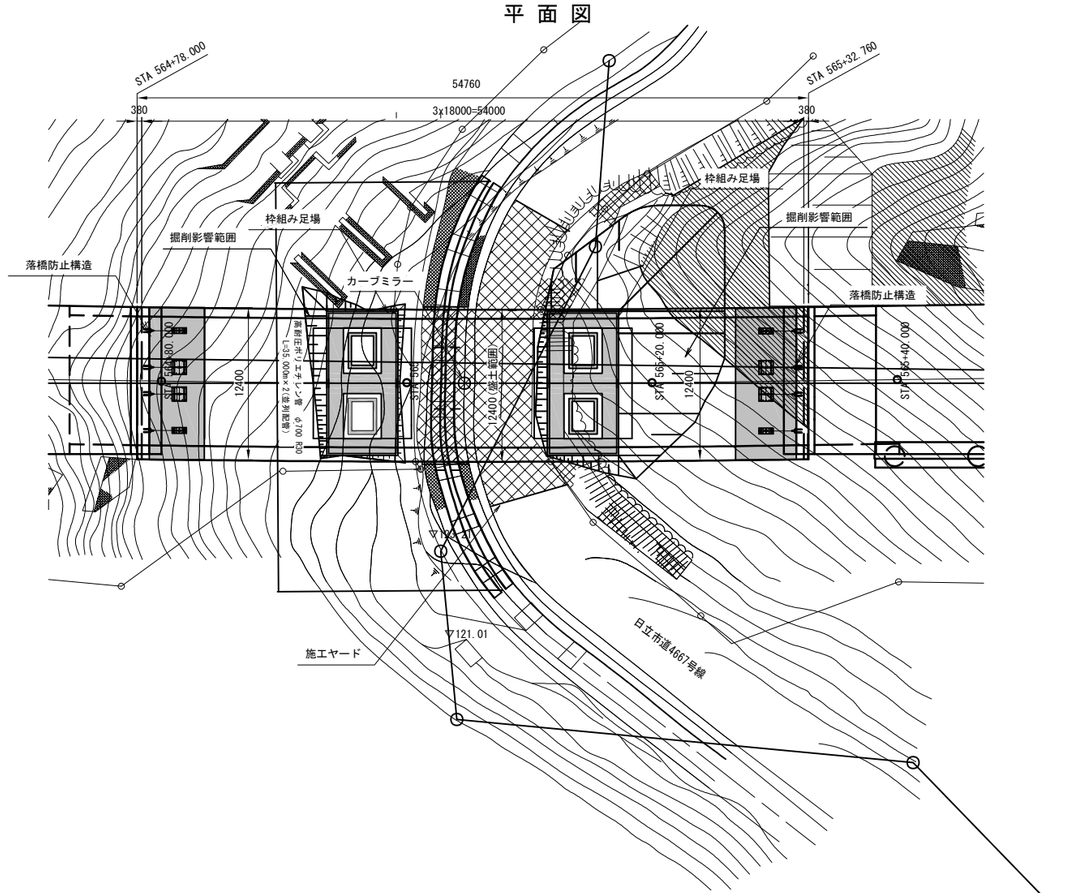
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	菩提橋(上り線) ブロック積再設置図		
縮 尺	図 示	図面番号	157 / 210
設計会社名	株式会社 復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

菩提橋(上り線) 仮設水路計画図　S=1:500

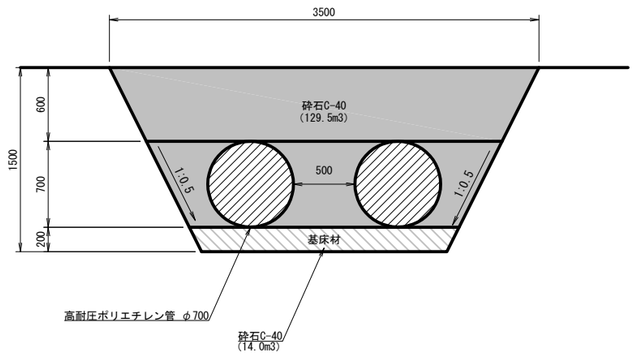
側 面 図



平 面 図



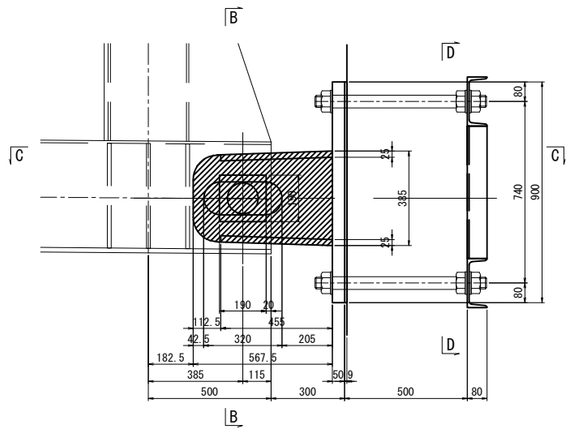
仮設水路断面図　S=1:50



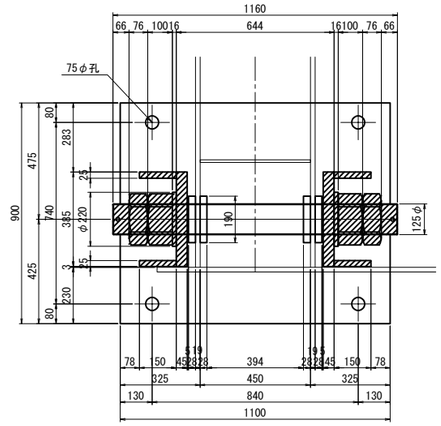
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	菩提橋(上り線) 仮設水路計画図		
縮　尺	図　示	図面番号	158 / 210
設計会社名	株式会社　復建技術コンサルタント		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋(上り線) A2橋台 撤去工 耐震連結装置 構造図 S=1:25

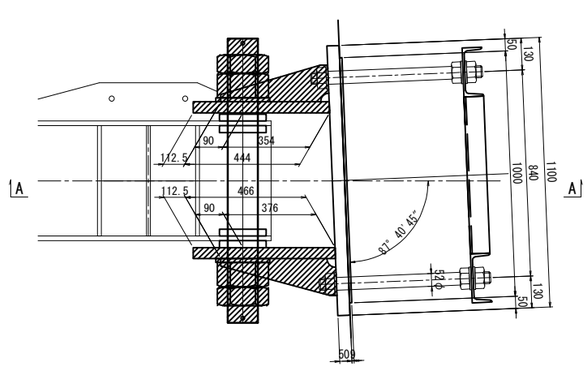
A - A



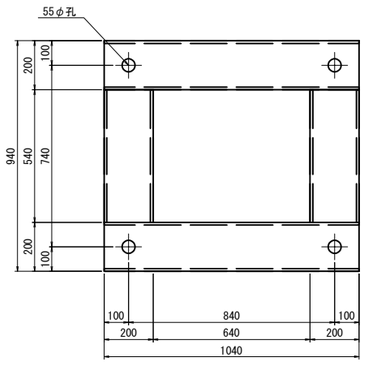
B - B



C - C



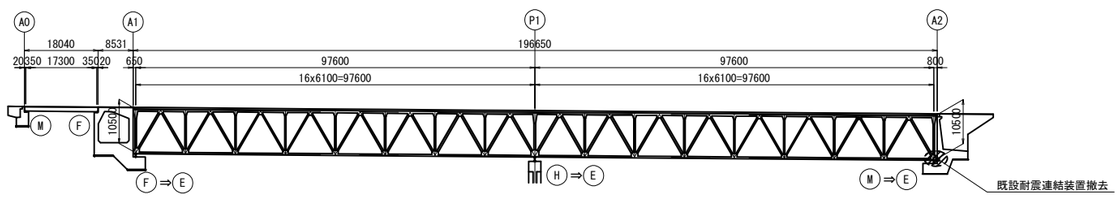
D - D



耐震連結装置撤去数量 (撤去数:2基)
1-PL 385x45x 557(SM520C)
1-PL 385x45x 581(SM520C)
2-Rib PL 150x25x 444(SM490YB)
2-Rib PL 150x25x 475(SM490YB)
1-PIN φ125x1160(S35C)
2-WASHER PL φ220x16(SS400)
2-NUT M125(1種)(SS400)
2-NUT M125(3種)(SS400)
2-割ピン φ16x160 (SWRM10)

耐震連結装置撤去ガス切断延長(対象箇所:2箇所)
t=45mm:385x2=770mm
t=25mm:150x4=600mm
M125ボルト : 1本

配 置 図 S=1:1500

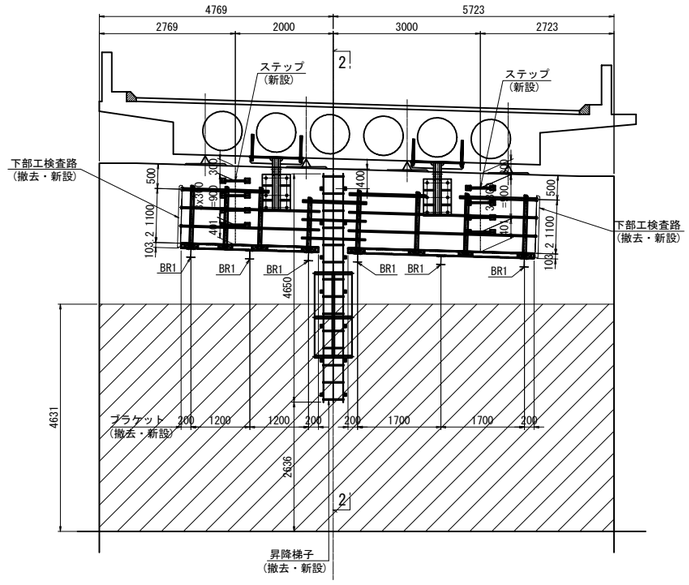


注記
1)切断部分の既設鋼材面は防錆処理すること。

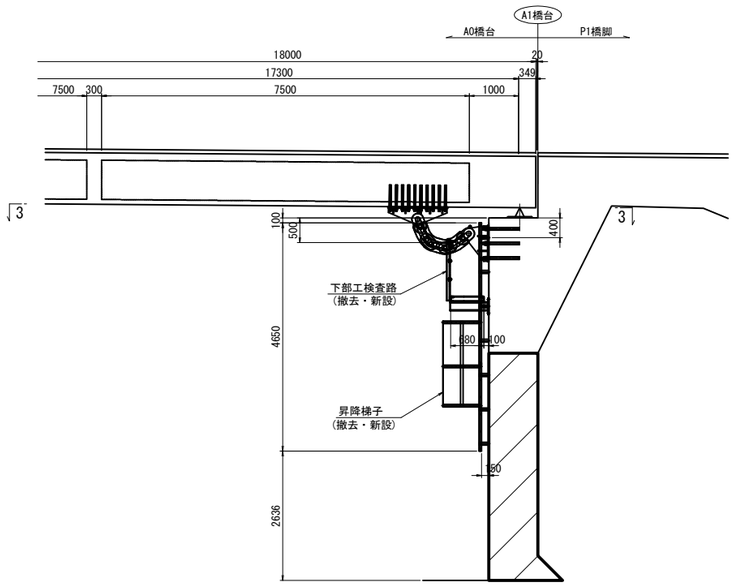
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋(上り線) A2橋台 撤去工 耐震連結装置 構造図		
縮尺	図 示	図面番号	159 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋(上り線) A1橋台(起点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その1)　縮尺=1:125

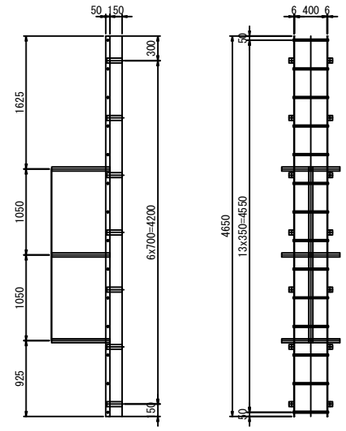
正 面 図
(1 - 1)



側 面 図
(2 - 2)

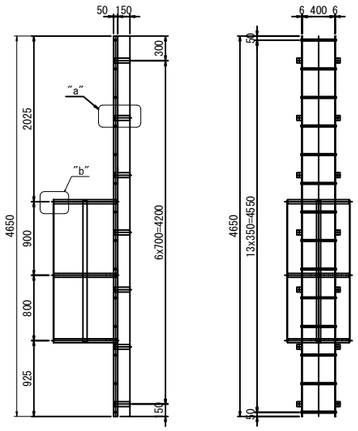


昇降梯子(撤去)　縮尺=1:75



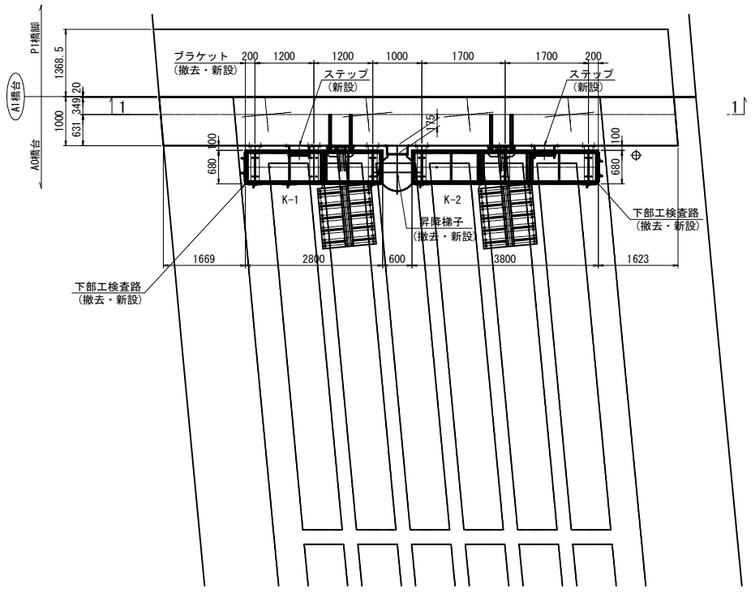
タラップ
撤去材料
2-FB 50x6x4650
3-FB 50x6x1880
1-FB 50x6x2150
14-FB 60x6x250
14-RB φ22x432(SR24)
9-BN M16x35
14-ホールインアンカー M16x120

昇降梯子(新設)　縮尺=1:75



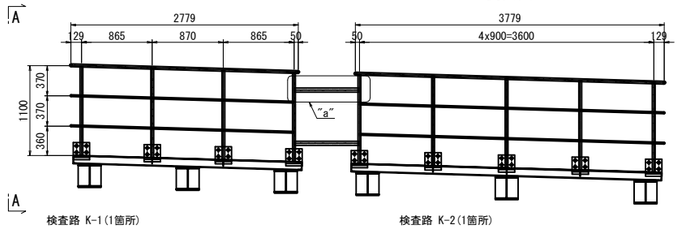
タラップ
新設材料
2-FB 50x6x4650
3-バンドFB 50x4.5x2092
3-FB 50x4.5x1730
14-FB 60x6x250
14-RB φ22x432
9-BN M16x35
14-ホールインアンカー M16x120

平 面 図
(3 - 3)



下部工検査路 K-1(撤去)

側面図



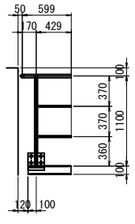
検査路 K-1(1箇所)
撤去材料
1-Ch.PL 480x3.2x2780
2-CH 100x50x5x7.5x500
2-CH 100x50x5x7.5x2800
2-FB 75x6x490
26-BN M12x30
5-PL 200 x 6 x 180
5-PL 200 x 6 x 210
20-BN M16 x 40
1-SGP 25A x 616
1-SGP 25A x 2796
5-SGP 25A x 1100
2-SGP 15A x 434
2-SGP 15A x 134
4-SGP 15A x 853
2-SGP 15A x 858

下部工検査路 K-2(撤去)　縮尺=1:75

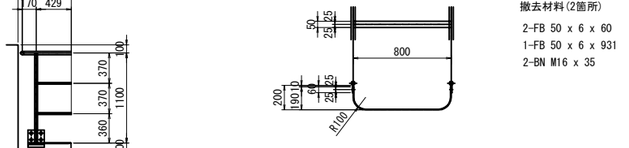
側面図

検査路 K-2(1箇所)
撤去材料
1-Ch.PL 480x3.2x3780
2-CH 100x50x5x7.5x500
2-CH 100x50x5x7.5x3800
3-FB 75x6x490
38-BN M12x30
6-PL 200 x 6 x 180
6-PL 200 x 6 x 210
24-BN M16 x 40
1-SGP 25A x 3796
1-SGP 25A x 616
6-SGP 25A x 1100
8-SGP 15A x 888
2-SGP 15A x 134
2-SGP 15A x 434

A - A　縮尺=1:75

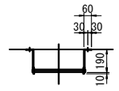


"a"部詳細図　縮尺=1:50



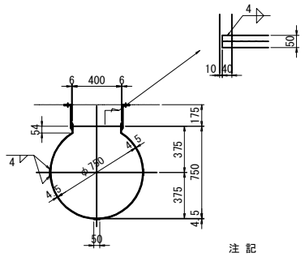
撤去材料(2箇所)
2-FB 50 x 6 x 60
1-FB 50 x 6 x 931
2-BN M16 x 35

"a"部詳細図　縮尺=1:50



"b"部詳細図　縮尺=1:25

転落防止リング詳細　縮尺=1:50



注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。

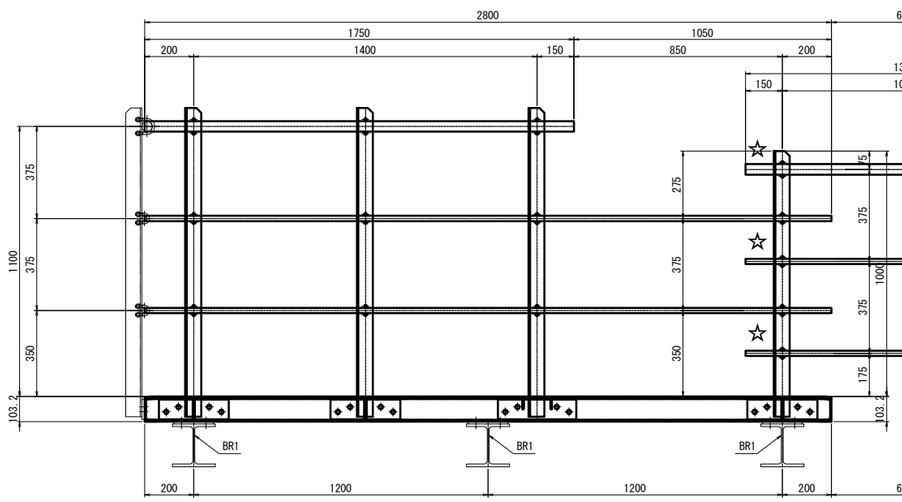
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋(上り線) A1橋台(起点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その1)		
縮　尺	図 示	図面番号	160 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋(上り線) A1橋台(起点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その2)

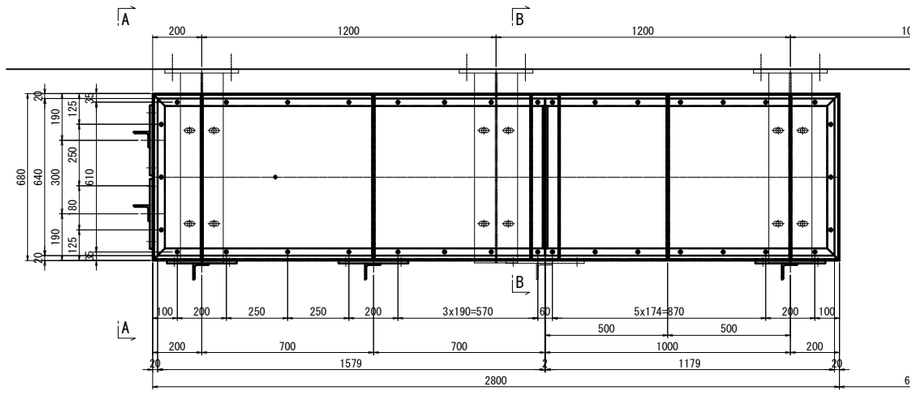
縮尺=1:25

下部工検査路 K-1(新設)

側面図

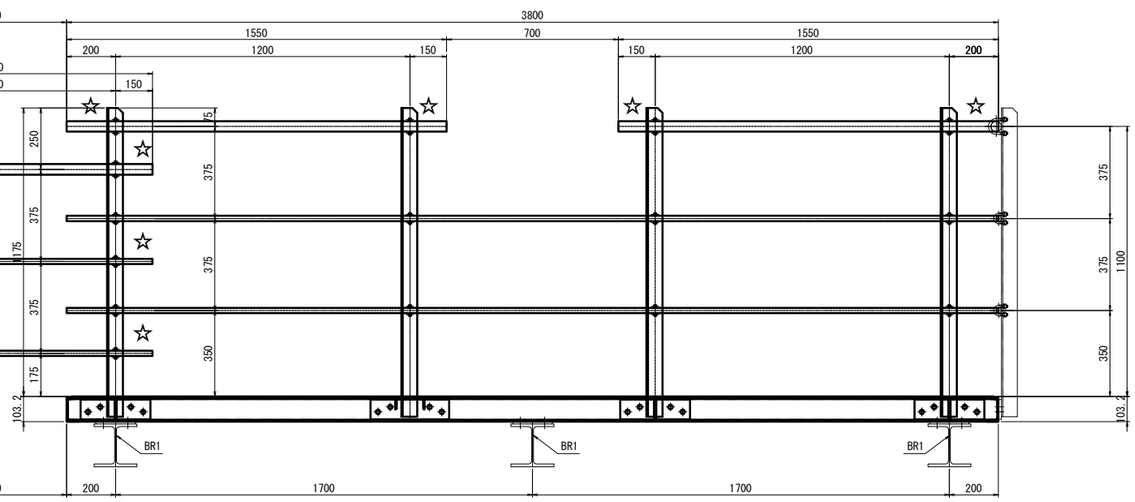


平面図

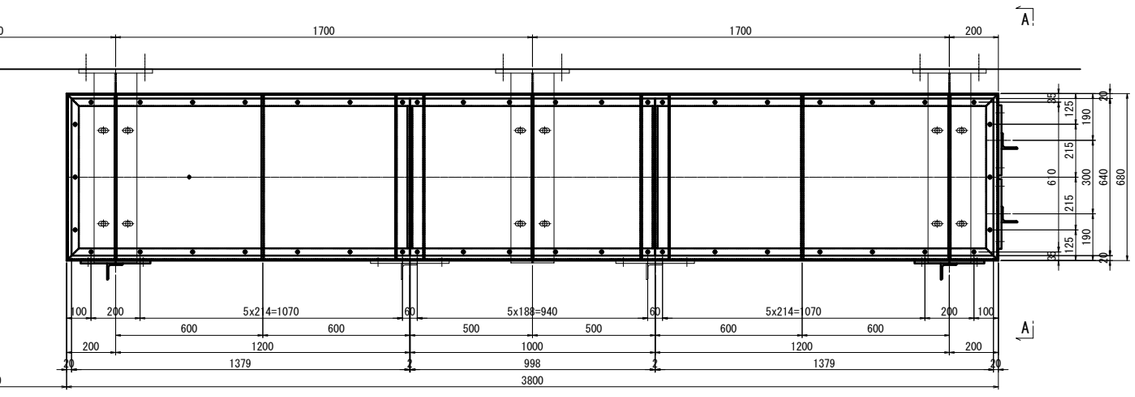


下部工検査路 K-2(新設)

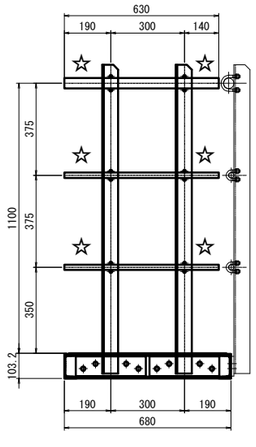
側面図



平面図



A － A



手摺部(2箇所)
- 1-Pipe φ42.7x2.3x630(STK400)
- 2-Pipe φ21.7x1.9x630(STK400)
- 2-L 65x65x6x1258
- 2-PL 80x12x285(SM400A)
- 8-BN M16 x 45 (2-W)
- 2-Uボルト 呼び 32C
- 4-Uボルト 呼び 15C

新設材料(K-1)

歩廊部
- 1-Ch.PL 640x3.2x1579(SS400相当品)
- 1-Ch.PL 640x3.2x1179(SS400相当品)
- 2-CH 100x50x5x7.5x2800
- 2-CH 100x50x5x7.5x680
- 2-L 50x50x6x670
- 4-FB 90x9x740
- 36-BN M10x30(1-W,1-TW)
- 3-PL 160x9x660(SM400A)

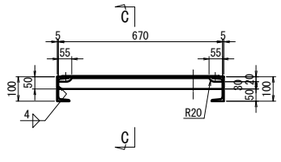
手摺部
- 1-Pipe φ42.7x2.3x1750(STK400)
- 1-Pipe φ42.7x2.3x1300(STK400)
- 2-Pipe φ21.7x1.9x2800(STK400)
- 2-Pipe φ21.7x1.9x1300(STK400)
- 3-L 65x65x6x1258
- 1-L 65x65x6x1083
- 3-PL 80x12x285(SM400A)
- 1-PL 80x12x320(SM400A)
- 16-BN M16 x 45 (2-W)
- 4-Uボルト 呼び 32C
- 10-Uボルト 呼び 15C

新設材料(K-2)

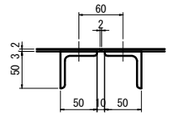
歩廊部
- 2-Ch.PL 640x3.2x1379(SS400相当品)
- 1-Ch.PL 640x3.2x 998(SS400相当品)
- 2-CH 100x50x5x7.5x3800
- 2-CH 100x50x5x7.5x680
- 4-L 50x50x6x670
- 5-FB 90x9x740
- 46-BN M10x30(1-W,1-TW)
- 3-PL 160x9x660(SM400A)

手摺部
- 2-Pipe φ42.7x2.3x1550(STK400)
- 2-Pipe φ21.7x1.9x3800(STK400)
- 4-L 65x65x6x1258
- 3-PL 80x12x285(SM400A)
- 1-PL 80x12x320(SM400A)
- 16-BN M16 x 45 (2-W)
- 5-Uボルト 呼び 32C
- 10-Uボルト 呼び 15C

B － B



C － C 縮尺=1:7.5

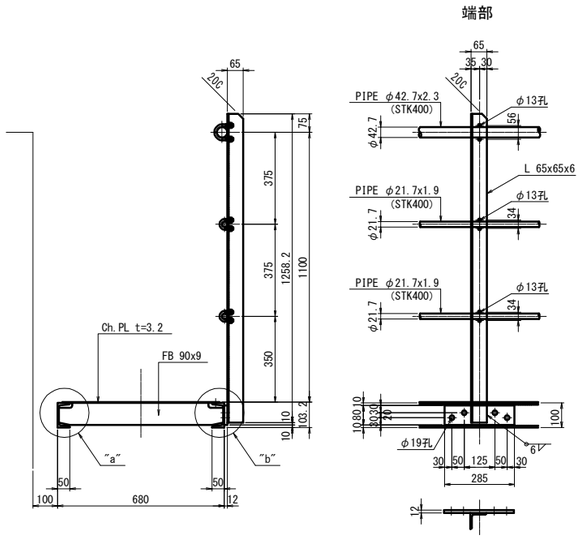


注　記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとし、
   規格はJIS H8641 HDZT77 とする。
   但し、パイプ、ボルト、ナット、ワッシャーは
   JIS H8641 HDZT49 とする。
3. ナットは全てUナットとする。
4. ☆印部は、端部抜け落ち防止加工を施す。
   抜け落ち防止加工詳細は、(その3)を参照のこと。

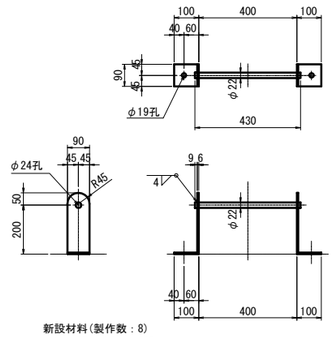
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋(上り線) A1橋台(起点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その2)		
縮　尺	図 示	図面番号	161 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋(上り線) A1橋台(起点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その3)　縮尺=1:25

歩廊断面及び構造詳細(爪先板無し)



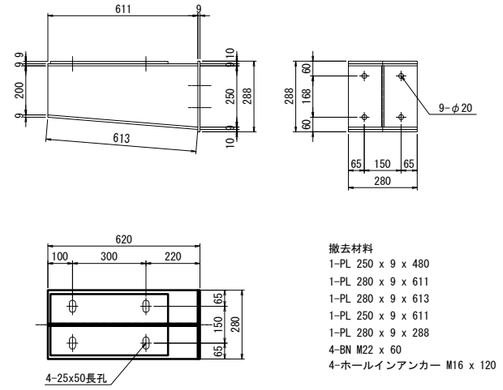
ステップ詳細　縮尺=1:25



新設材料(製作数：8)
1 - RB　φ22 x 430
2 - FB　90 x 6 x 350
2 - 打込式アンカー M16x125 (ゆるみ止めナット付き)

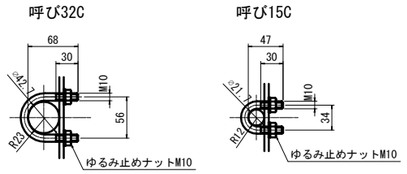
ブラケット(撤去)

K-1,K-2(6箇所)

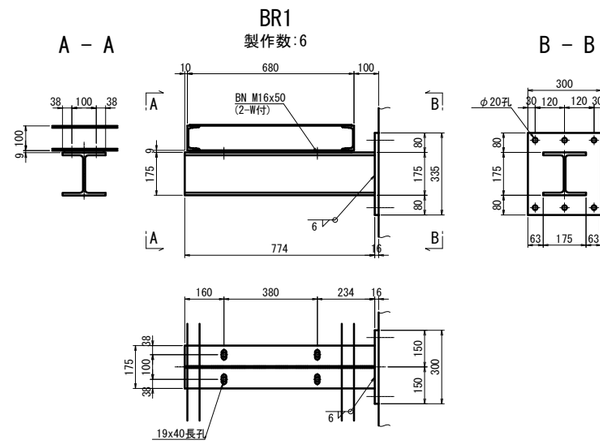


撤去材料
1-PL 250 x 9 x 480
1-PL 280 x 9 x 611
1-PL 280 x 9 x 613
1-PL 250 x 9 x 611
1-PL 280 x 9 x 288
4-BN M22 x 60
4-ホールインアンカー M16 x 120

Uボルト詳細　縮尺=1:7.5

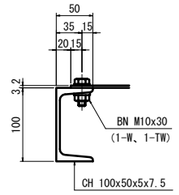


ブラケット(新設)

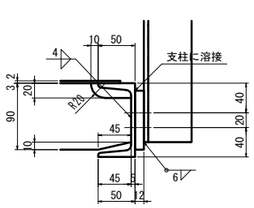


1 - H 175 x 175 x 7.5 x 11 x 774
1 - BASE PL 335 x 16 x　300(SM400A)
4 - BN M16 x 50(2-W付)
6 - 打込式アンカー M16 x 125 (ゆるみ止めナット付き)

"a"部詳細　縮尺=1:7.5

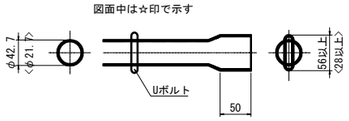


"b"部詳細　縮尺=1:7.5

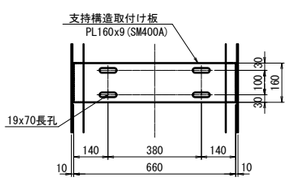


手摺端部抜け落ち防止加工詳細　縮尺=1:25

支柱2本で手摺りを固定する箇所のみ
図面中は☆印で示す



支持構造取付け板詳細図



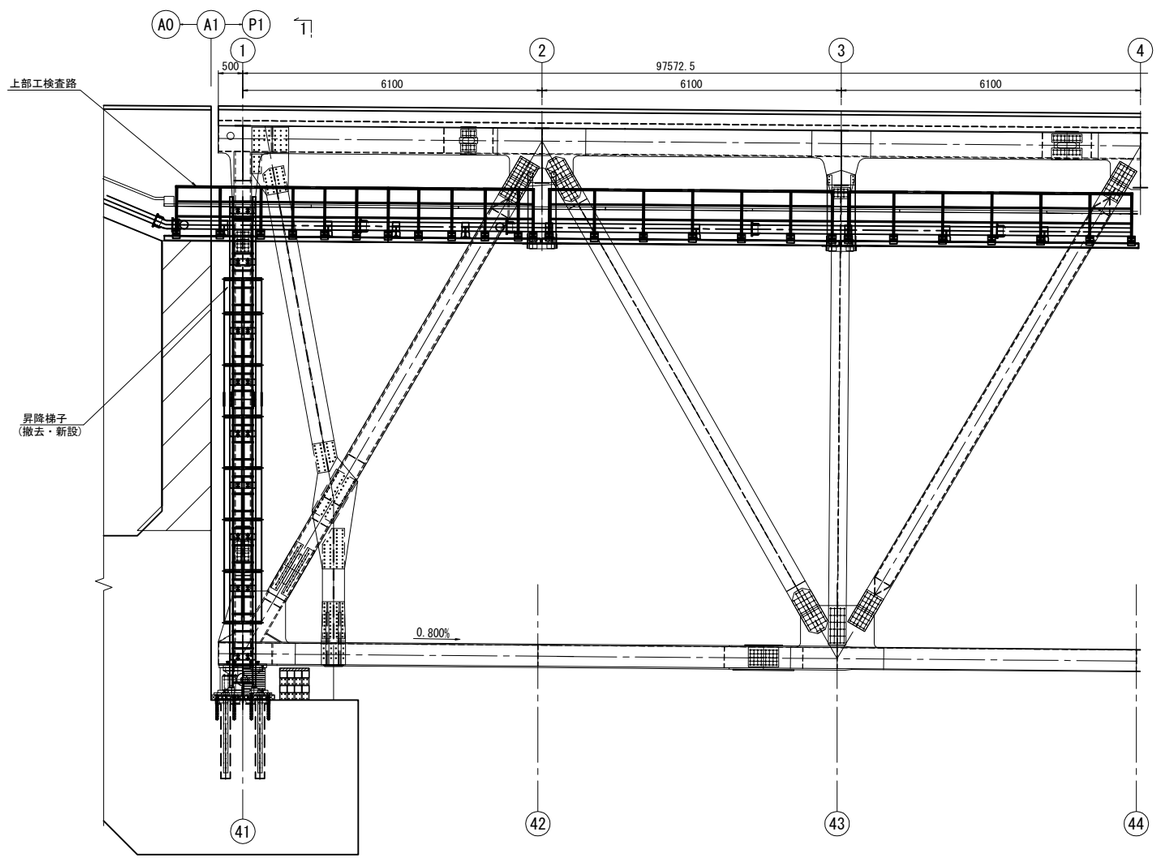
注　記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとし、
　規格はJIS H8641 HDZT77 とする。
　但し、パイプ、ボルト、ナット、ワッシャーは
　JIS H8641 HDZT49 とする。
3. ナットは全てUナットとする。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋(上り線) A1橋台(起点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その3)		
縮　尺	図 示	図面番号	162 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

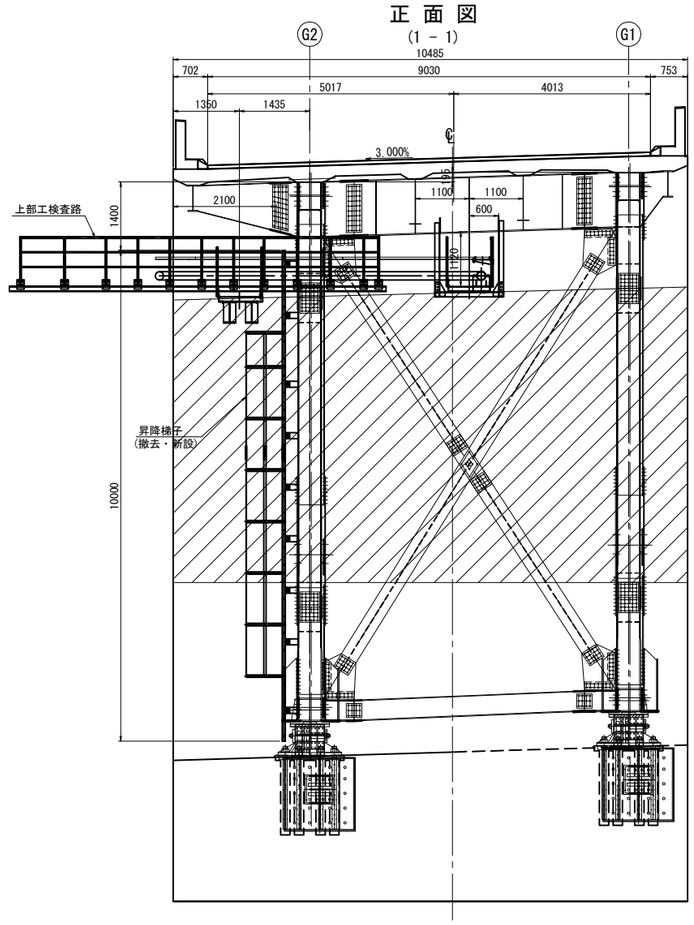
宮田川橋(上り線) A1橋台(終点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その1)

縮尺=1:125

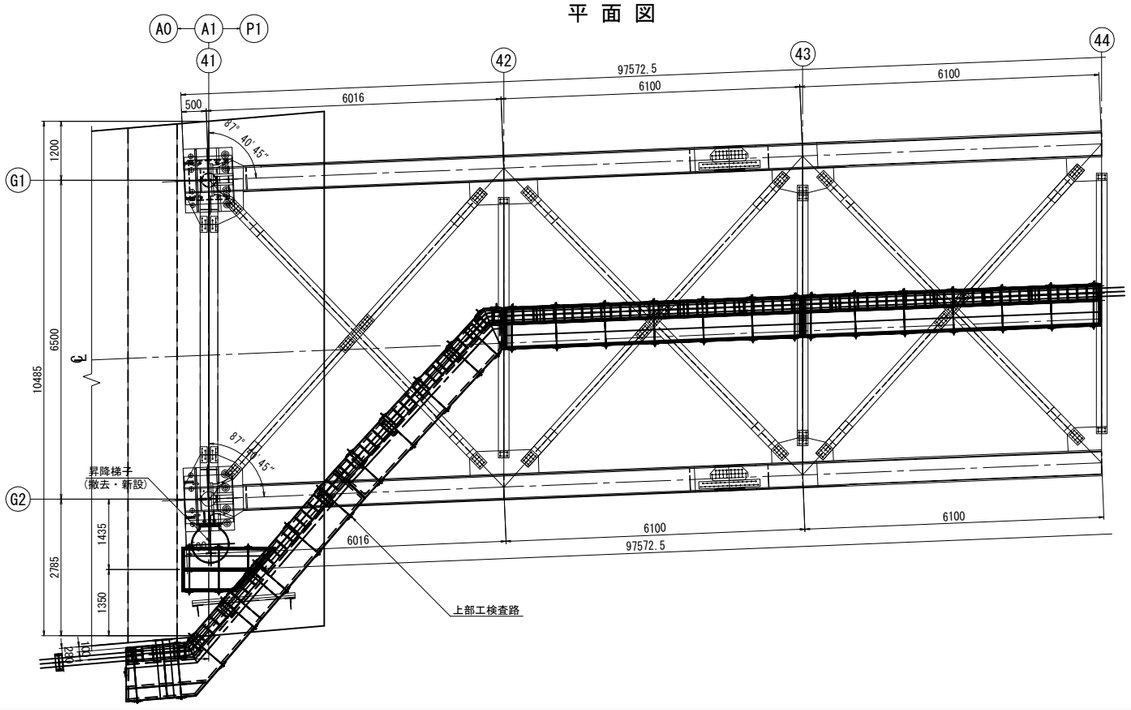
側面図



正面図
(1 - 1)



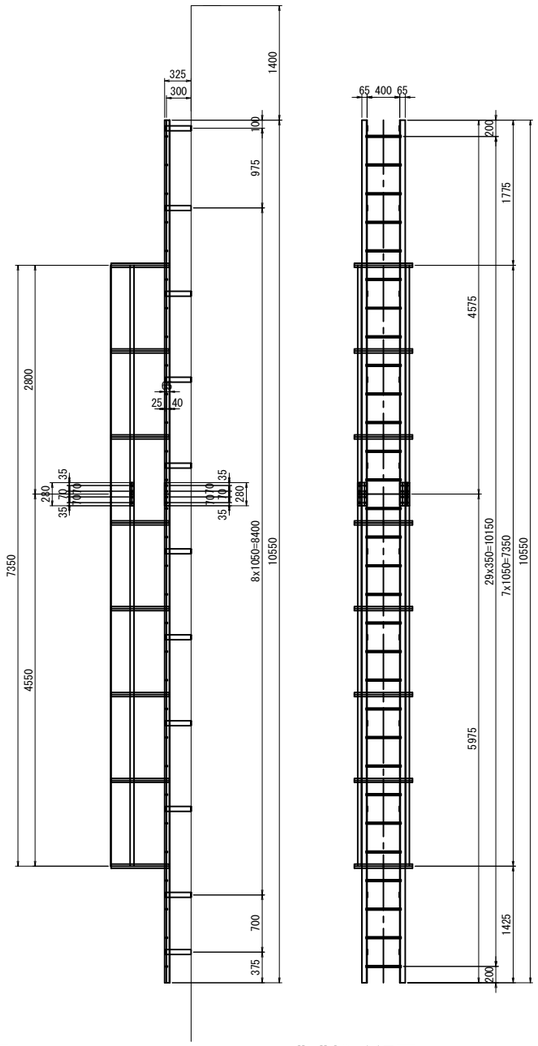
平面図



常盤自動車道 田野高架橋耐震補強工事				
図面の種類	宮田川橋(上り線) A1橋台(終点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その1)			
縮　尺	図 示	図面番号	163 / 210	
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所			

宮田川橋(上り線) A1橋台(終点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その2)　縮尺=1:75

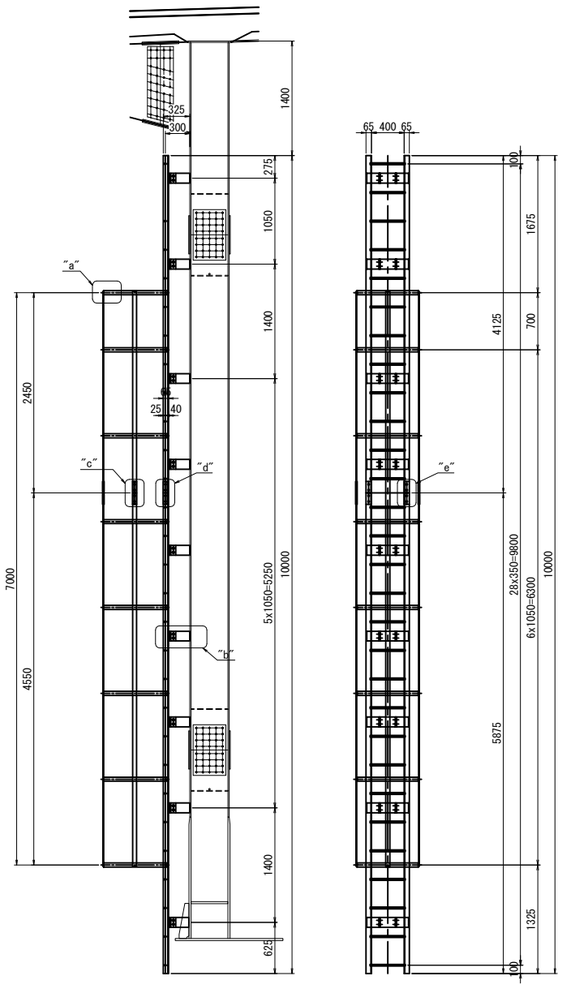
昇降梯子(撤去)



撤去材料
梯子
30-RB φ22x430
2-L 65x65x6x4575
2-L 65x65x6x5975
8-FB 50x6x1900
3-FB 50x6x2825
3-FB 50x6x4575

2-FB 65x6x280
8-FB 50x6x280
20-BN M16x45(座金付)
22-FB 65x6x375
22-ホールインアンカー M16
22-Nut M16

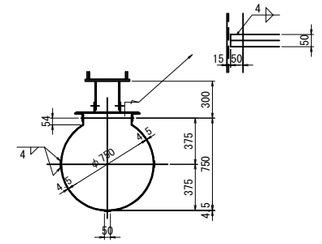
昇降梯子(新設)



新設材料
梯子
29-RB φ22x430
2-L 65x65x6x4125
2-L 65x65x6x5875
8-FB 50x4.5x2112
3-FB 50x4.5x2465
3-FB 50x4.5x4565

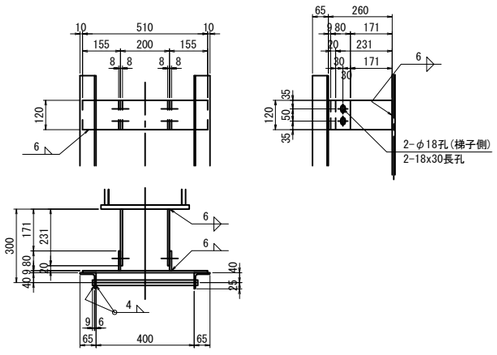
2-FB 65x6x280
8-FB 50x6x280
20-BN M16x45(座金付)
9-ConnPL.120x9x510
18-ConnPL.120x8x231
18-ConnPL.120x8x 80
36-BN M16x40(1-W)

転落防止リング詳細　縮尺=1:50

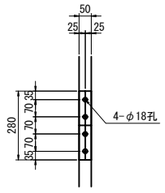


"a"部詳細図　縮尺=1:25

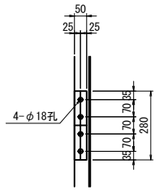
"b"部詳細図　縮尺=1:25



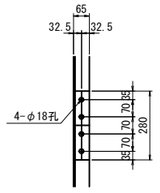
"c"部詳細図　縮尺=1:25



"d"部詳細図　縮尺=1:25



"e"部詳細図　縮尺=1:25



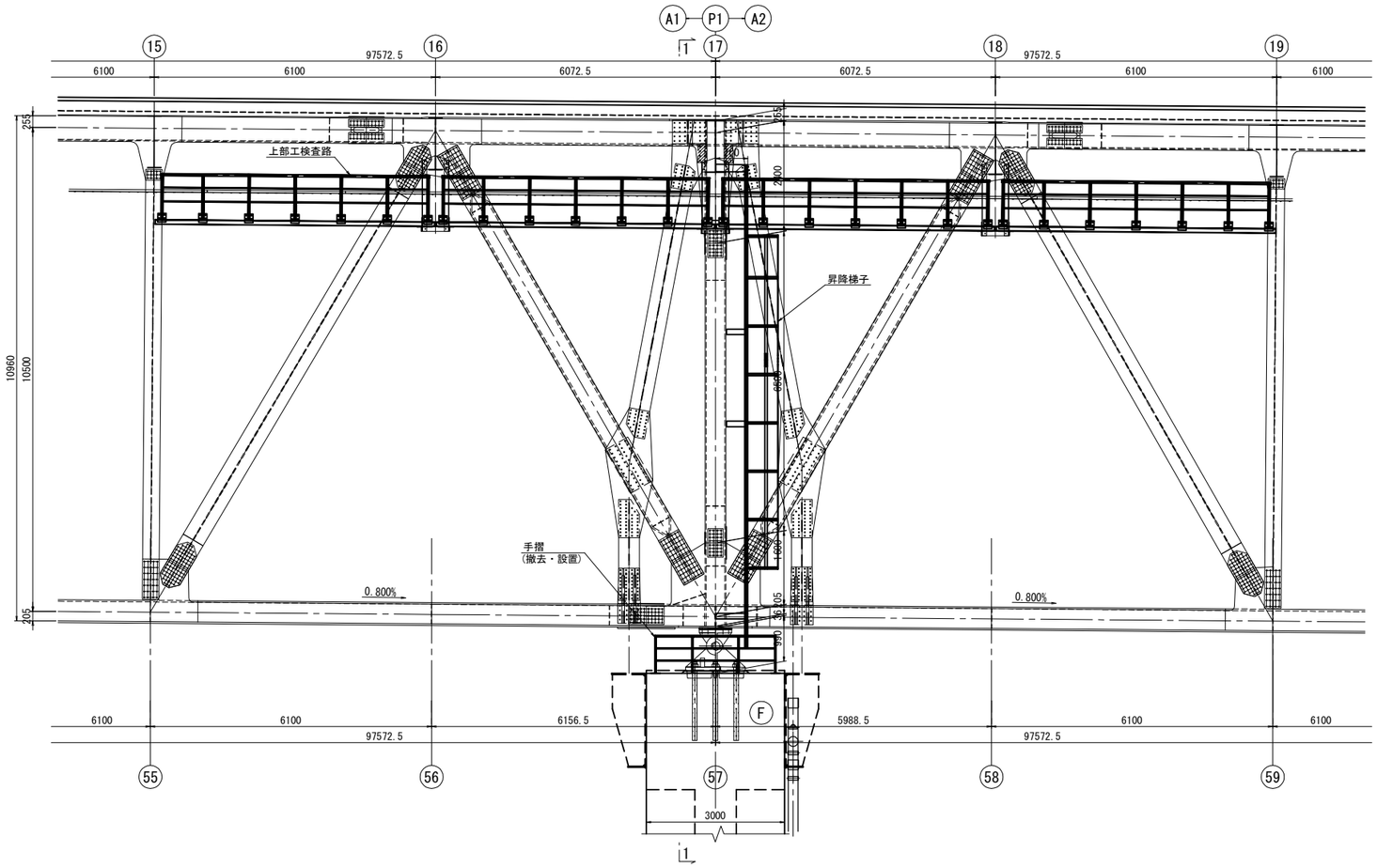
注　記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとし、
規格はJIS H8641 HDZT77 とする。
但し、パイプ、ボルト、ナット、ワッシャーは
JIS H8641 HDZT49 とする。
3. ナットは全てUナットとする。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋(上り線) A1橋台(終点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その2)		
縮　尺	図 示	図面番号	164 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

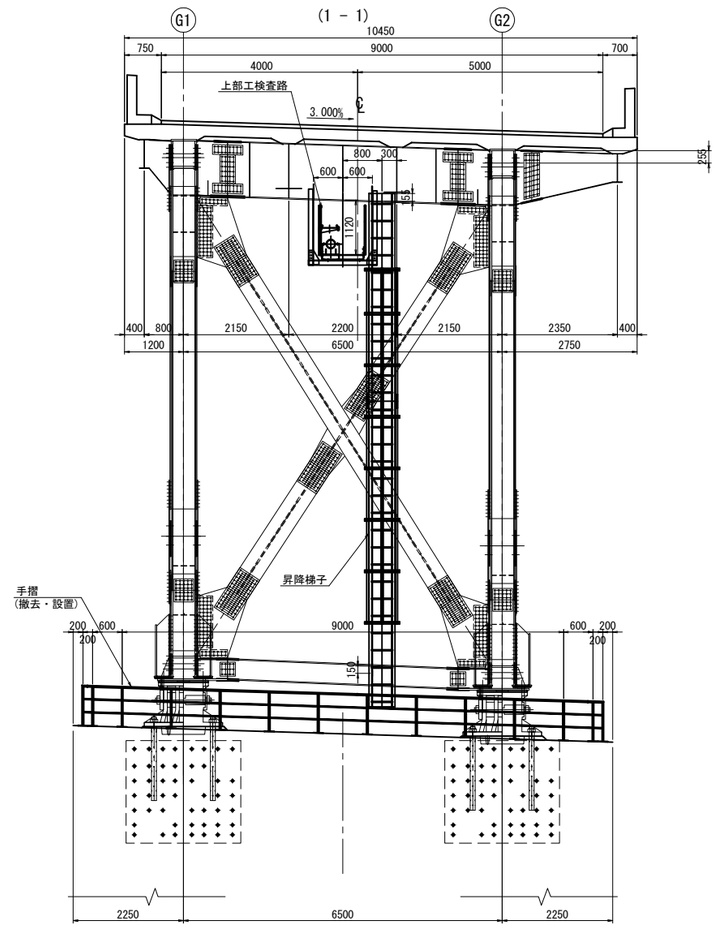
宮田川橋(上り線) P1橋脚 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その1)

縮尺=1:125

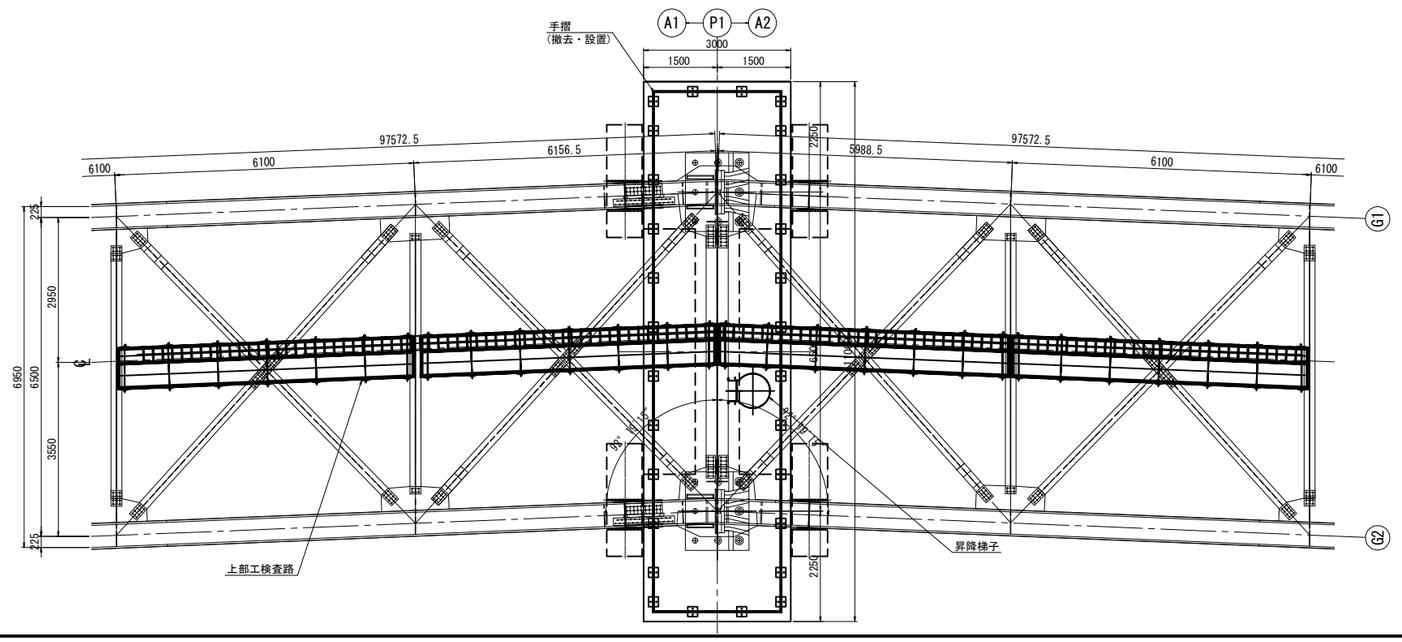
側面図



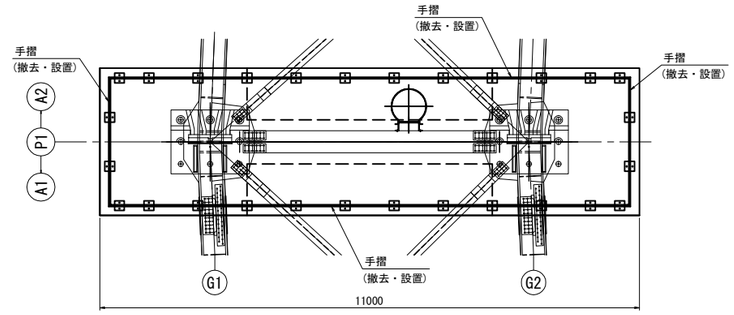
正面図



平面図



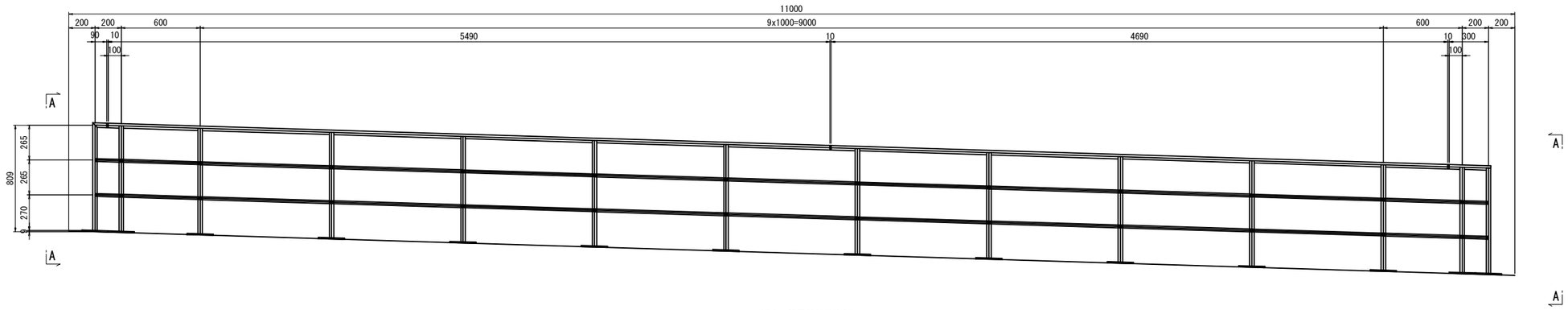
平面図



常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋(上り線) P1橋脚 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その1)		
縮　尺	図 示	図面番号	165 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋(上り線) P1橋脚 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その2)　縮尺=1:37.5

検査用手摺(撤去・設置)

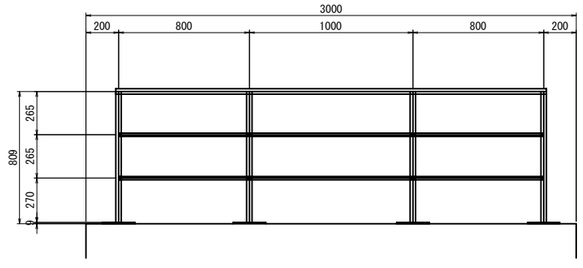


撤去・設置材料(2箇所)
1-SGP 25Ax5490
1-SGP 25Ax4690
2-SGP 20Ax 85
16-SGP 15Ax 988
2-SGP 15Ax 567
2-SGP 15Ax 967
2-SGP 15Ax 588
4-SGP 8Ax 37
12-SGP 25Ax 800
12-PL 200x9x200

撤去材料
24-Hole in Anchor M16x120

新設材料
24-打ち込み式アンカー M16x125

A - A



撤去・設置材料(2箇所)
1-SGP 25Ax2634
1-SGP 25Ax 317
1-SGP 25Ax 107
1-SGP 20Ax 85
2-SGP 15Ax 988
2-SGP 15Ax 205
4-SGP 15Ax 792
2-SGP 15Ax 184
2-SGP 8Ax 37
2-SGP 25Ax 800
2-PL 200x9x200

撤去材料
4-Hole in Anchor M16x120

新設材料
4-打ち込み式アンカー M16x125

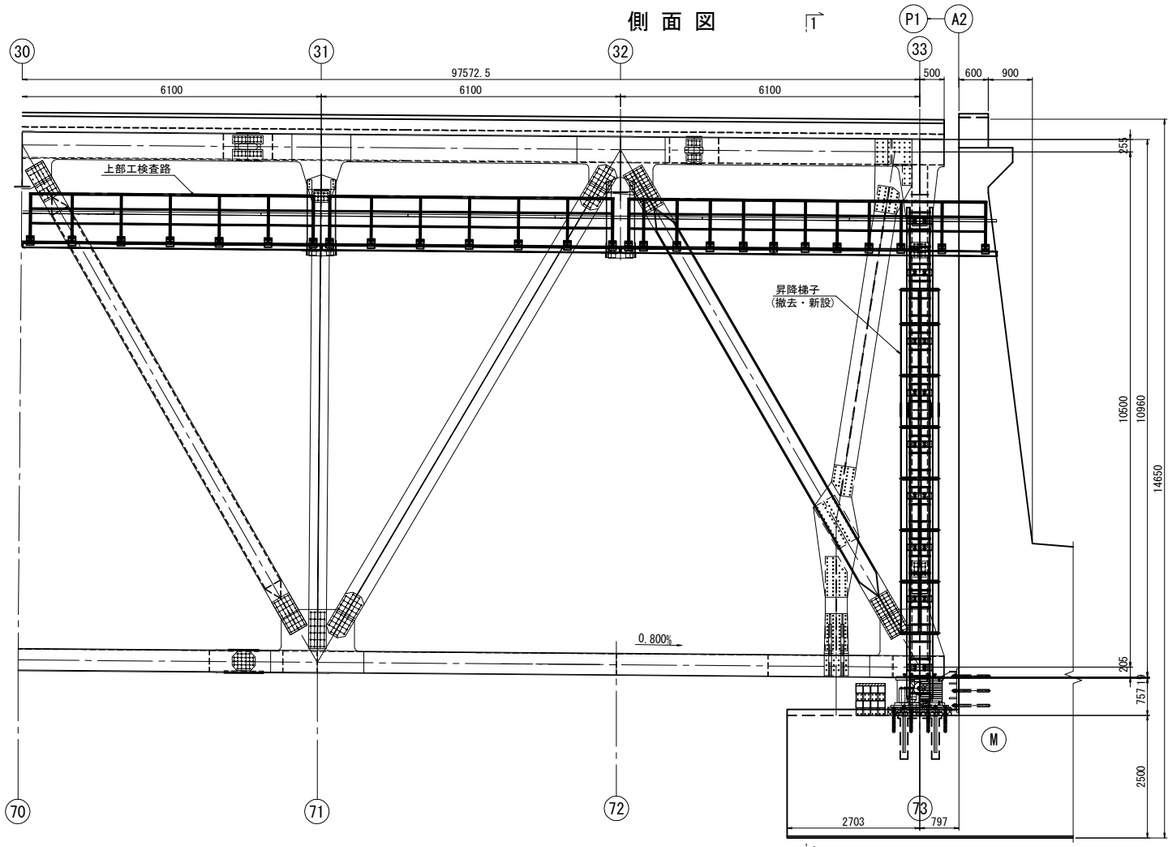
注　記
1.特記なき材質は全てSS400とする。
2.部材は、全て溶融亜鉛メッキとし、
　規格はJIS H8641 HDZT77 とする。
　但し、パイプ、ボルト、ナット、ワッシャーは
　JIS H8641 HDZT49 とする。
3.ナットは全てUナットとする。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋(上り線) P1橋脚 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その2)		
縮　尺	図 示	図面番号	166 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋(上り線) A2橋台 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その1)

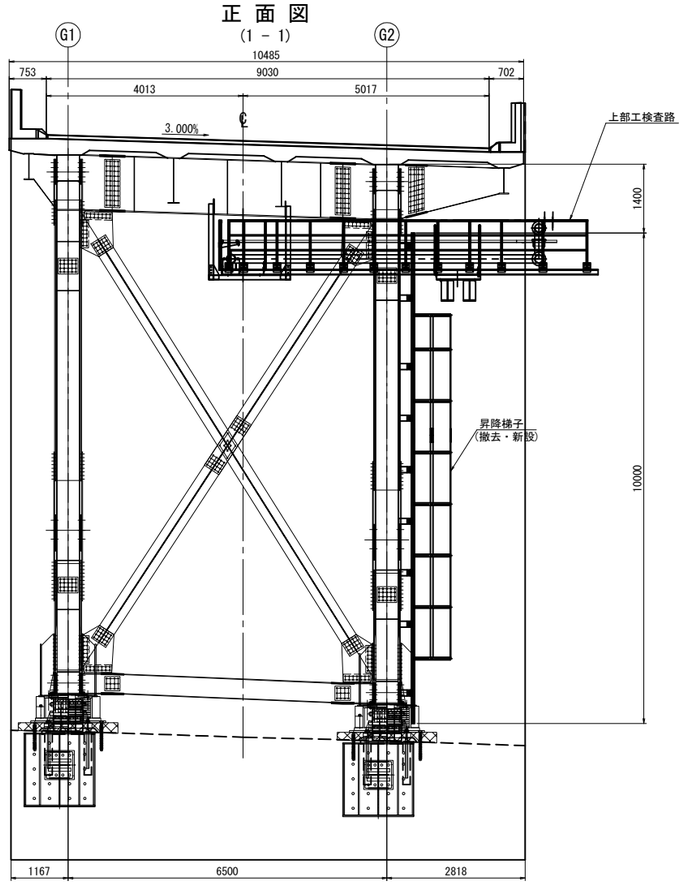
縮尺=1:125

側面図

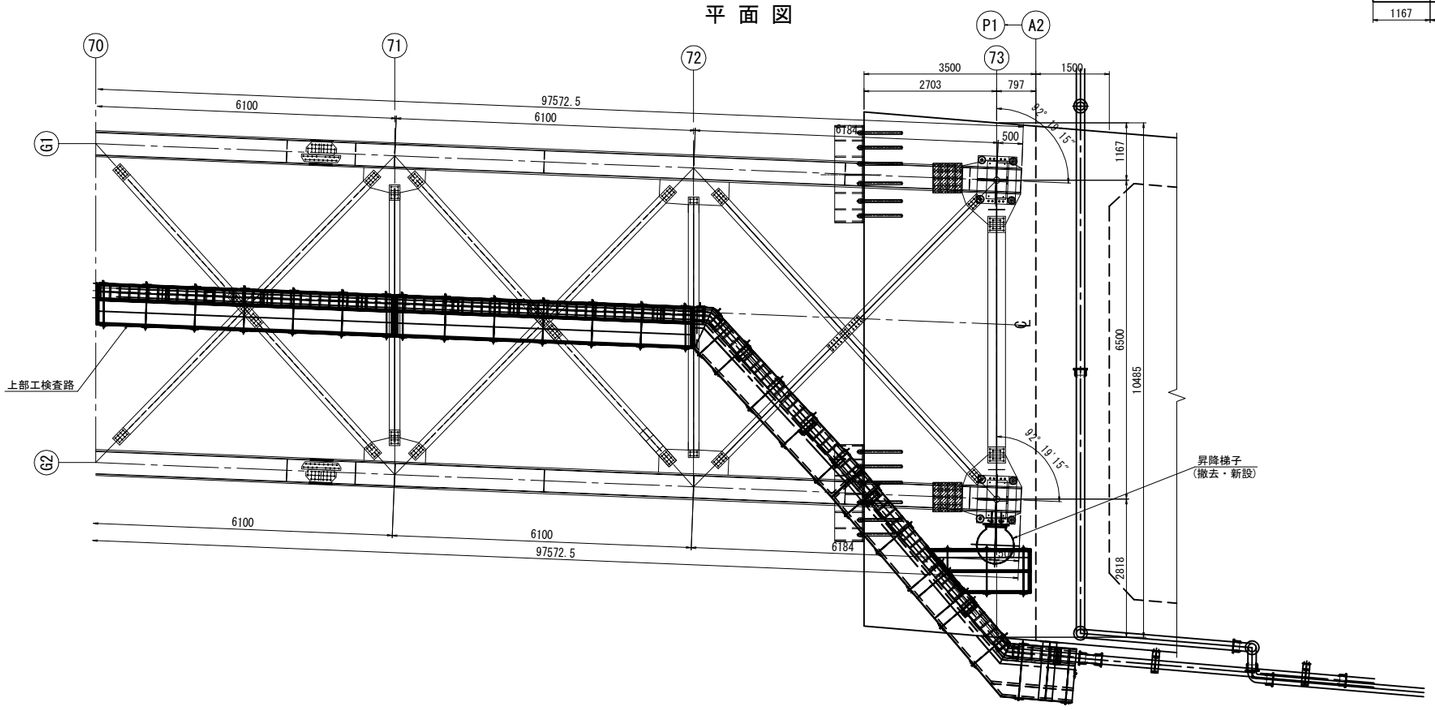


正面図

(1 - 1)



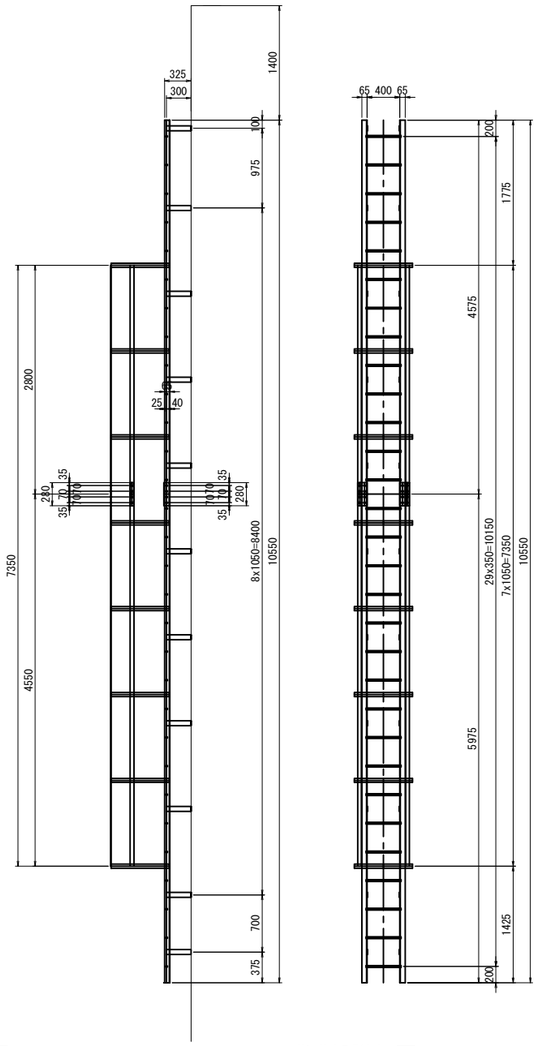
平面図



常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋(上り線) A2橋台 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その1)		
縮　尺	図 示	図面番号	167 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋(上り線) A2橋台 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その2)　縮尺=1:75

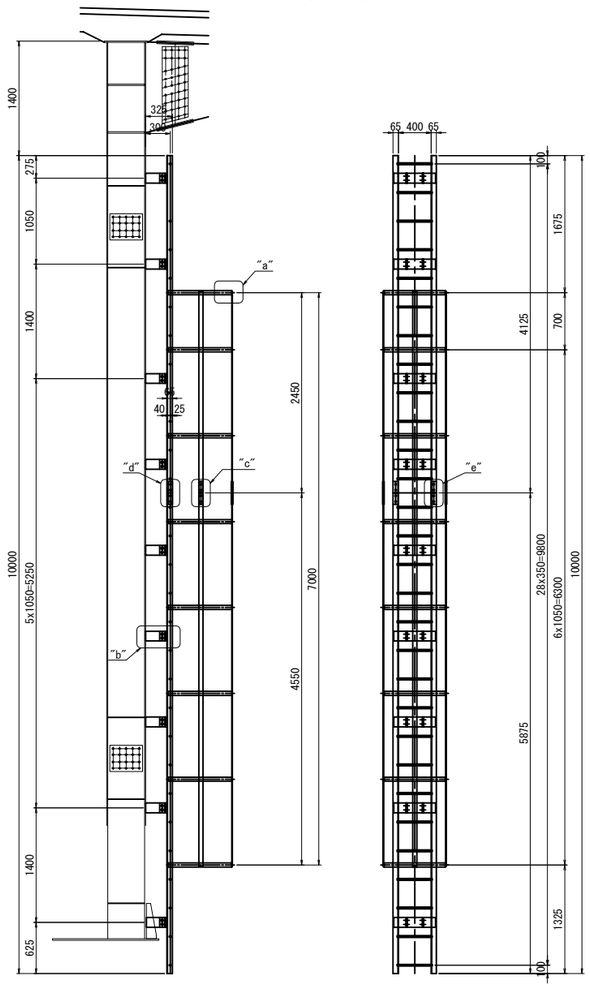
昇降梯子(撤去)



撤去材料
梯子
- 30-RB φ22x430
- 2-L 65x65x6x4575
- 2-L 65x65x6x5975
- 8-FB 50x6x1900
- 3-FB 50x6x2825
- 3-FB 50x6x4575

- 2-FB 65x6x280
- 8-FB 50x6x280
- 20-BN M16x45(座金付)
- 22-FB 65x6x375
- 22-ホールインアンカー M16
- 22-Nut M16

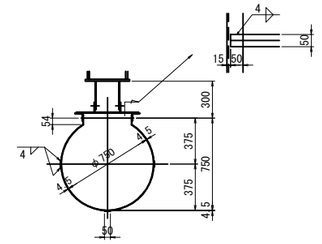
昇降梯子(新設)



新設材料
梯子
- 29-RB φ22x430
- 2-L 65x65x6x4125
- 2-L 65x65x6x5875
- 8-FB 50x4.5x2112
- 3-FB 50x4.5x2465
- 3-FB 50x4.5x4565

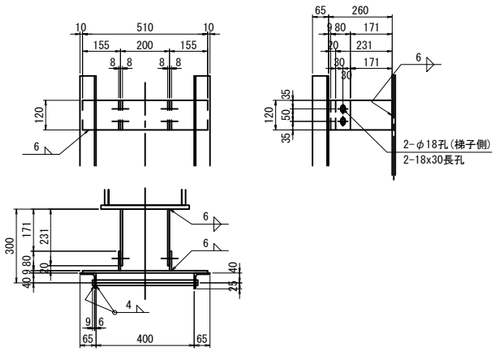
- 2-FB 65x6x280
- 8-FB 50x6x280
- 20-BN M16x45(座金付)
- 9-ConnPL.120x9x510
- 18-ConnPL.120x8x231
- 18-ConnPL.120x8x 80
- 36-BN M16x40(1-W)

転落防止リング詳細　縮尺=1:50

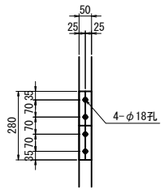


"a"部詳細図　縮尺=1:25

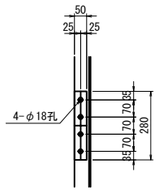
"b"部詳細図　縮尺=1:25



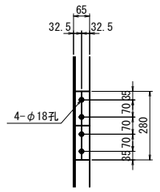
"c"部詳細図　縮尺=1:25



"d"部詳細図　縮尺=1:25



"e"部詳細図　縮尺=1:25

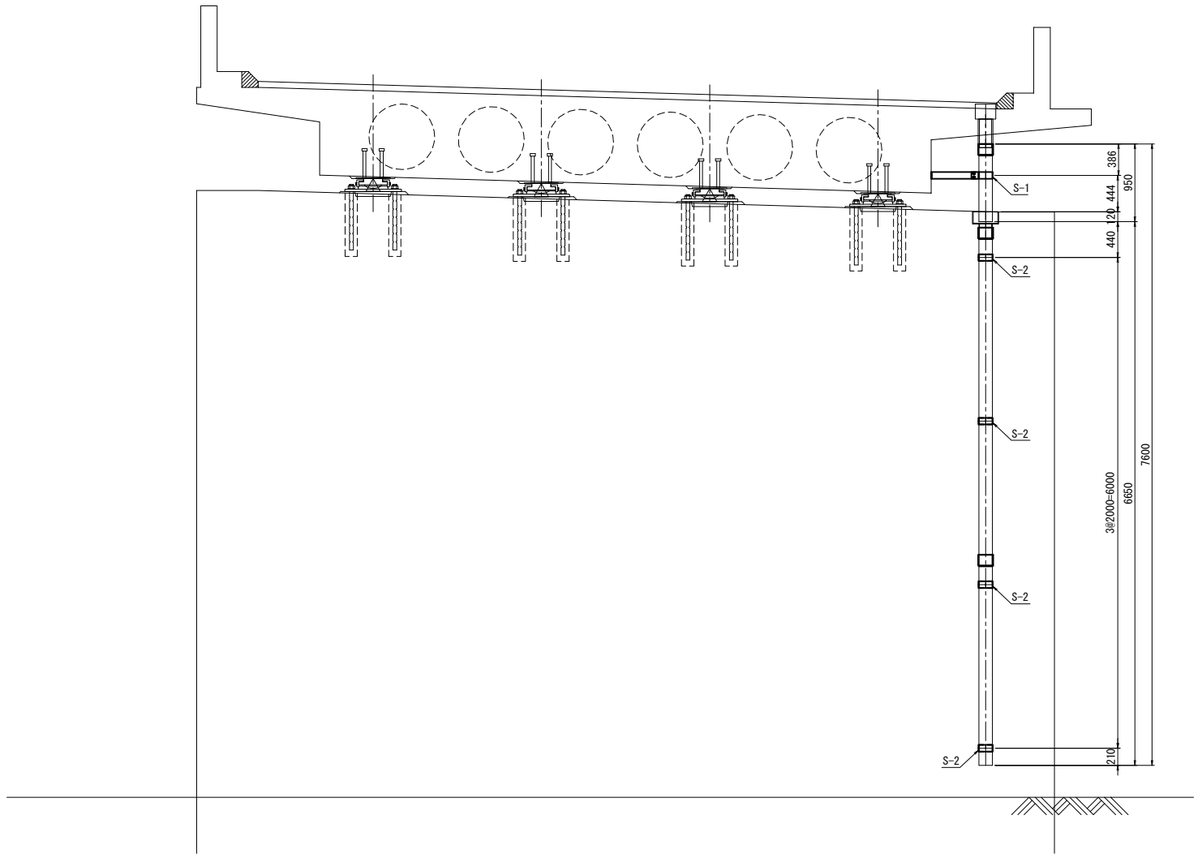


注　記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとし、
   規格はJIS H8641 HDZT77 とする。
   但し、パイプ、ボルト、ナット、ワッシャーは
   JIS H8641 HDZT49 とする。
3. ナットは全てUナットとする。

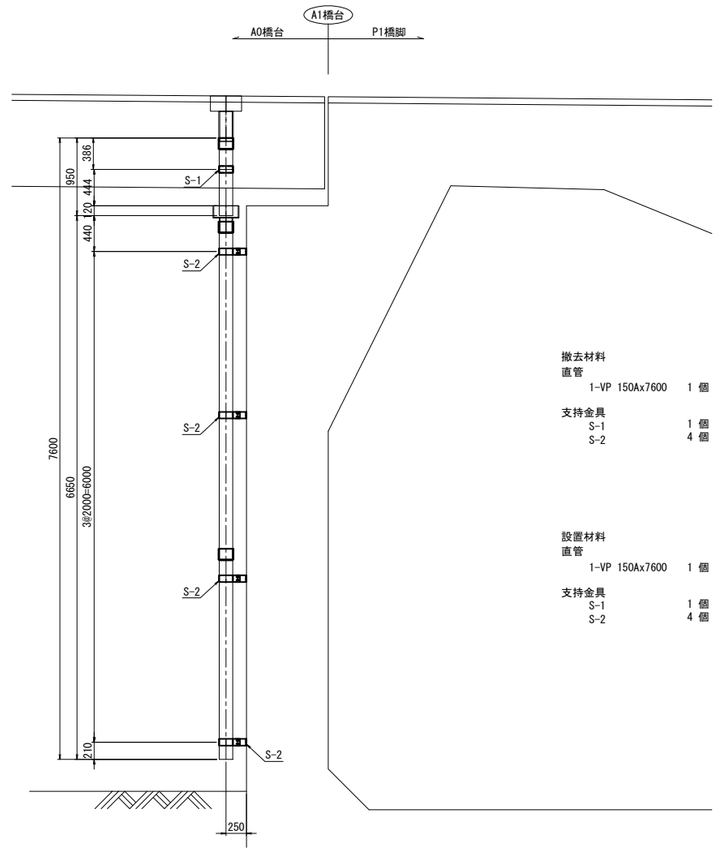
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋(上り線) A2橋台 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その2)		
縮　尺	図 示	図面番号	168 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋(上り線) A1橋台(起点側) 撤去・設置工、新設工　排水装置構造図 S=1:75

正 面 図



側 面 図



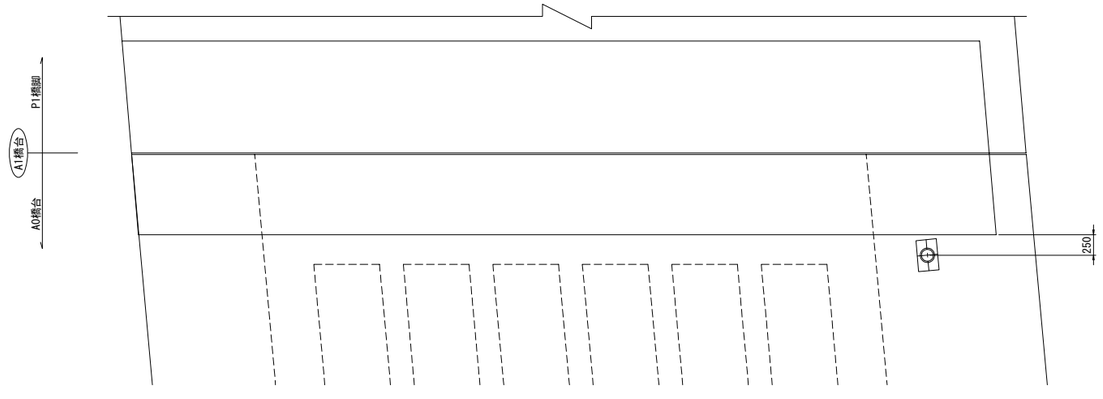
撤去材料
直管
1-VP 150Ax7600　1 個

支持金具
S-1　1 個
S-2　4 個

設置材料
直管
1-VP 150Ax7600　1 個

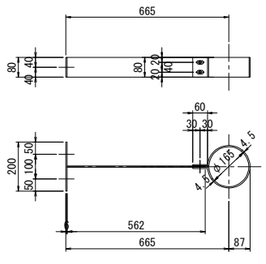
支持金具
S-1　1 個
S-2　4 個

平 面 図



排水管取付金具詳細図　縮尺=1:25

S-1

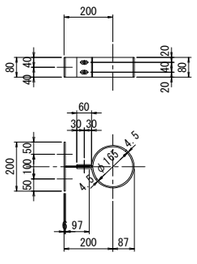


(撤去・設置材料)
1-PL 80x6x200
1-PL 80x6x562
1-PL 80x4.5x647
2-BN φ13x40
2-アンカーボルト φ13x90

(撤去材料)
2-アンカーボルト φ13x90

(新設材料)
2-アンカーボルト φ13x90

S-2



(撤去・設置材料)
1-PL 80x6x200
1-PL 80x6x97
1-PL 80x4.5x647
2-BN φ13x40
2-アンカーボルト φ13x90

(撤去材料)
2-アンカーボルト φ13x90

(新設材料)
2-アンカーボルト φ13x90

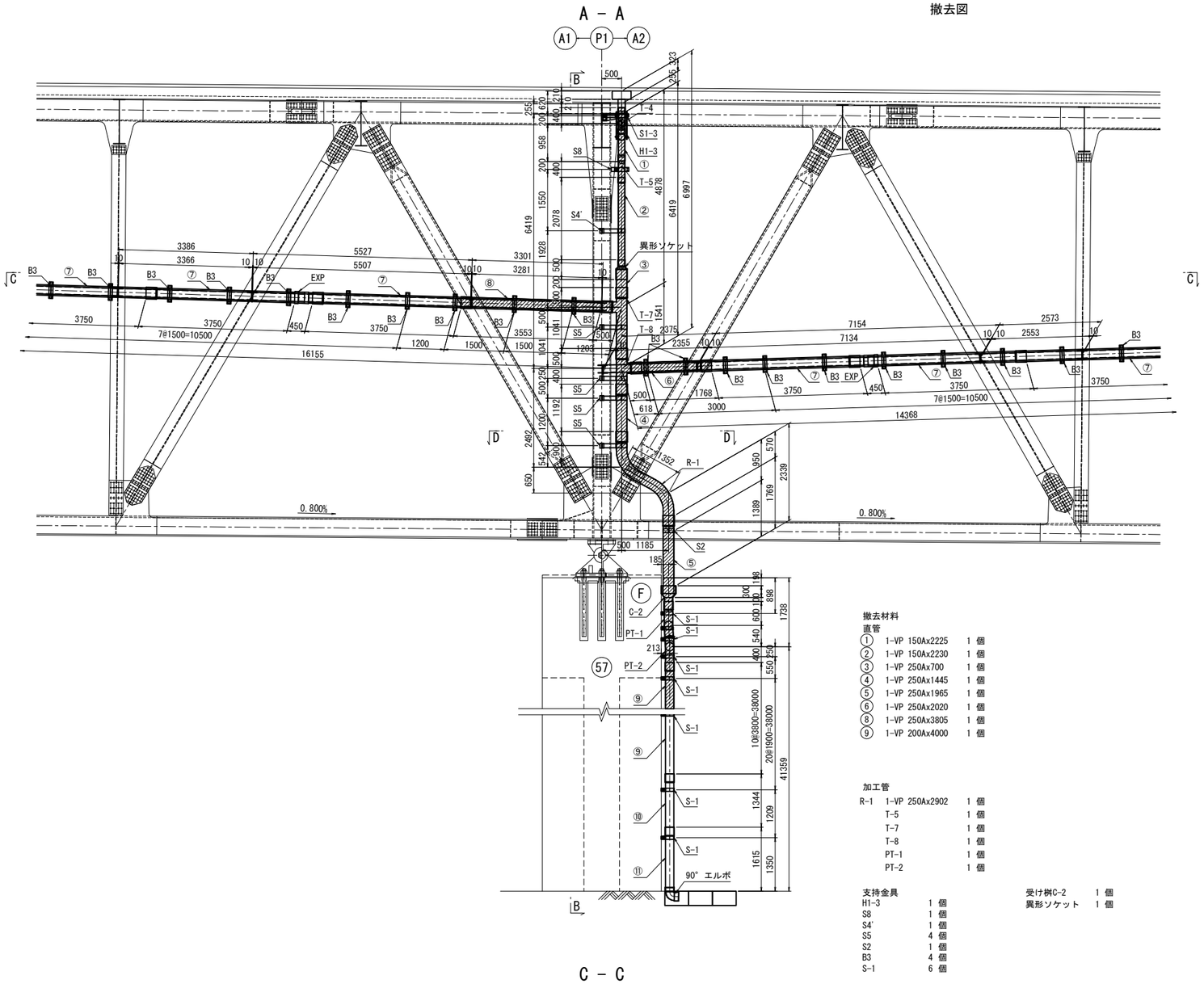
注記)
既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。

常盤自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋(上り線) A1橋台(起点側) 撤去・設置工、新設工　排水装置構造図		
縮　尺	図　示	図面番号	169 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

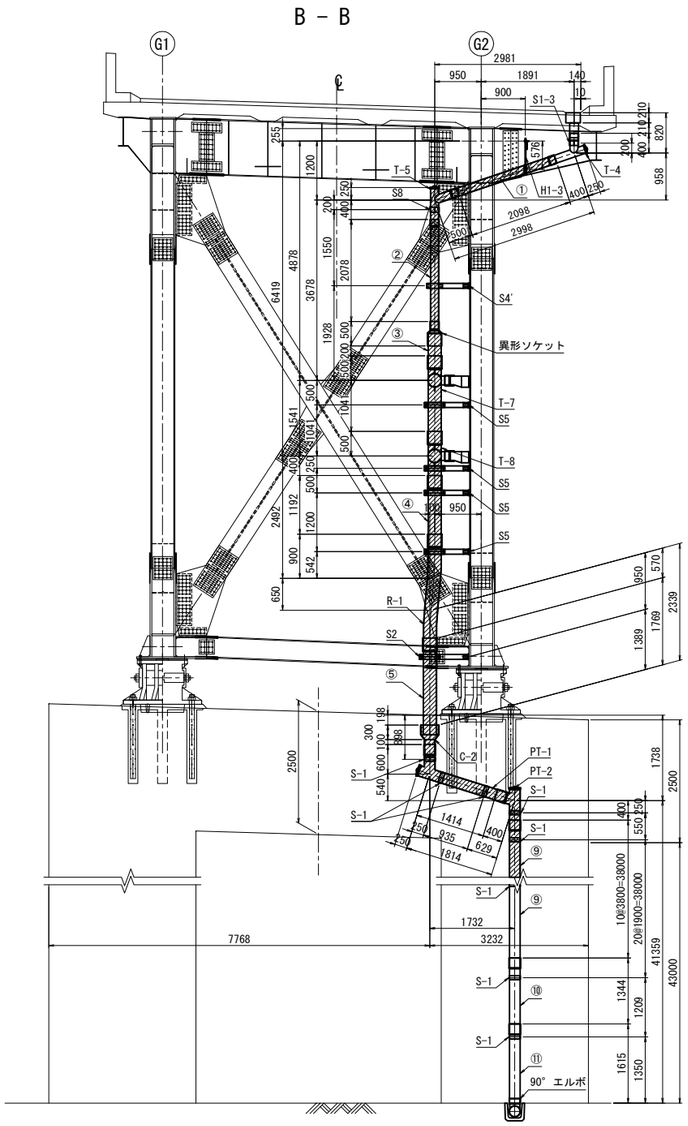
宮田川橋(上り線) P1橋脚 撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その1) S=1:75

撤去図

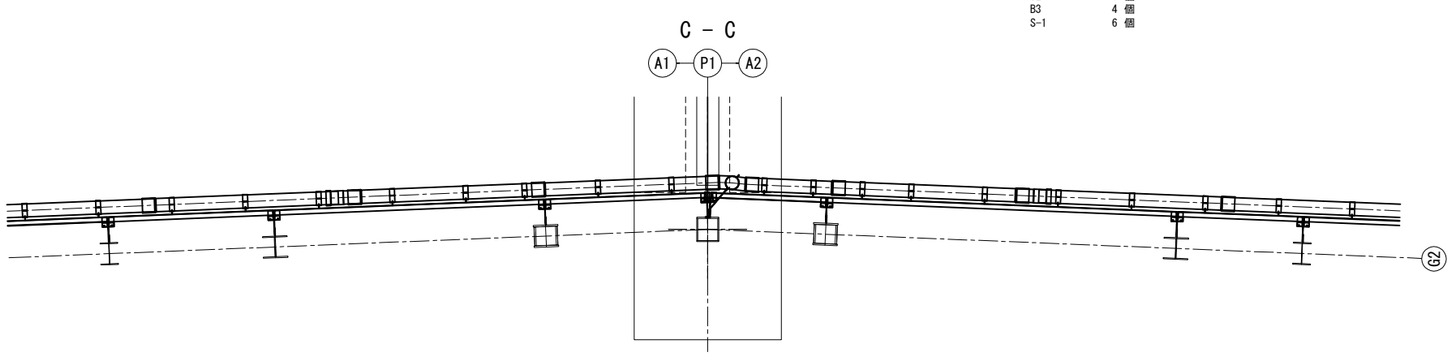
A - A



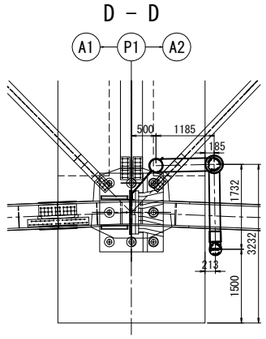
B - B



C - C



D - D



撤去材料

直管

①	1-VP 150Ax2225	1	個
②	1-VP 150Ax2230	1	個
③	1-VP 250Ax700	1	個
④	1-VP 250Ax1445	1	個
⑤	1-VP 250Ax1965	1	個
⑥	1-VP 250Ax2020	1	個
⑧	1-VP 250Ax3805	1	個
⑨	1-VP 200Ax4000	1	個

加工管

R-1	1-VP 250Ax2902	1	個
	T-5	1	個
	T-7	1	個
	T-8	1	個
	PT-1	1	個
	PT-2	1	個

支持金具

H1-3	1	個	
S8	1	個	
S4'	1	個	
S5	4	個	
S2	1	個	
B3	4	個	
S-1	6	個	

受け桝C-2	1	個	
異形ソケット	1	個	

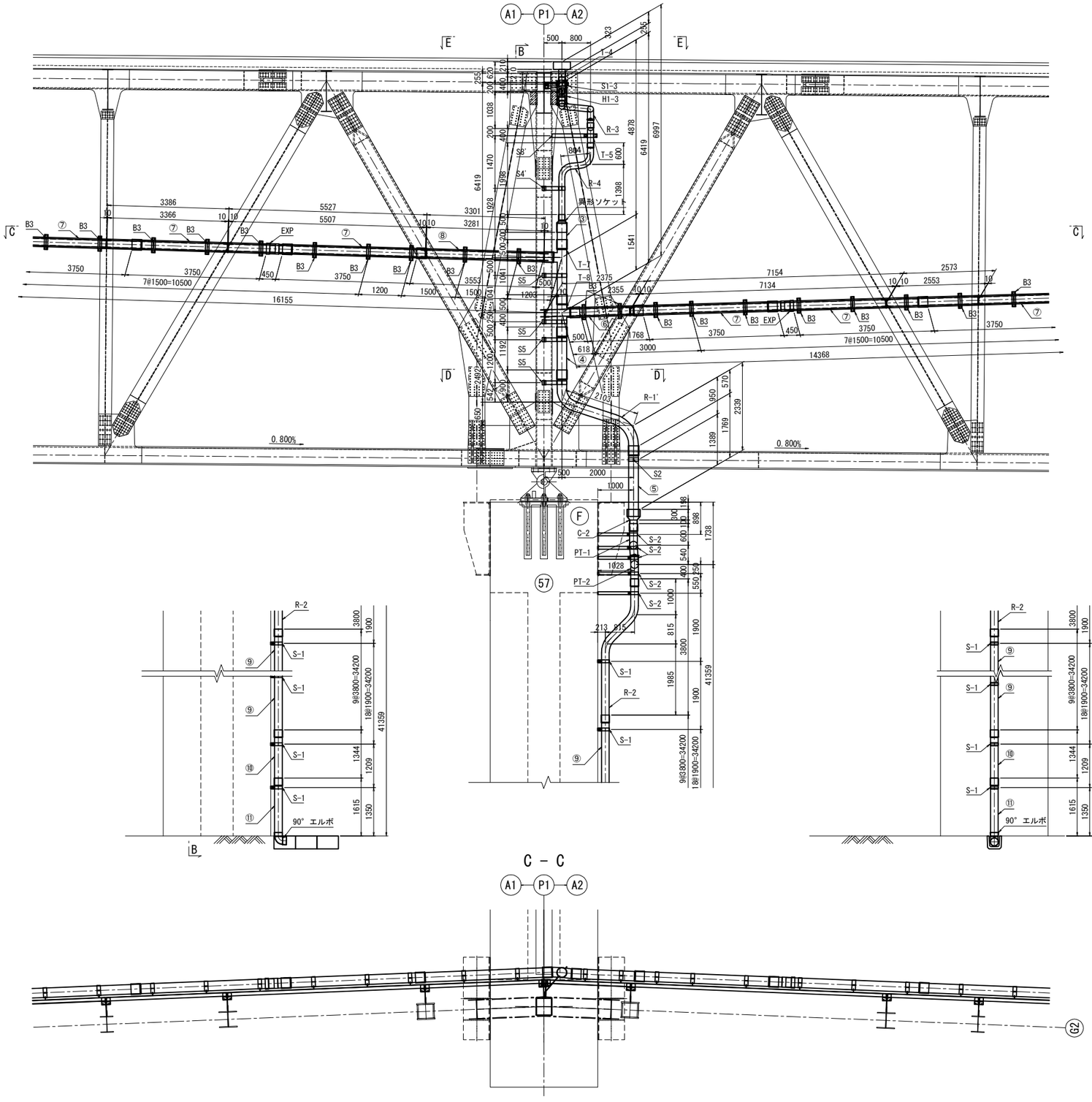
注記)
既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋(上り線) P1橋脚 **撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その1)**		
縮　尺	図 示	図面番号	170 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

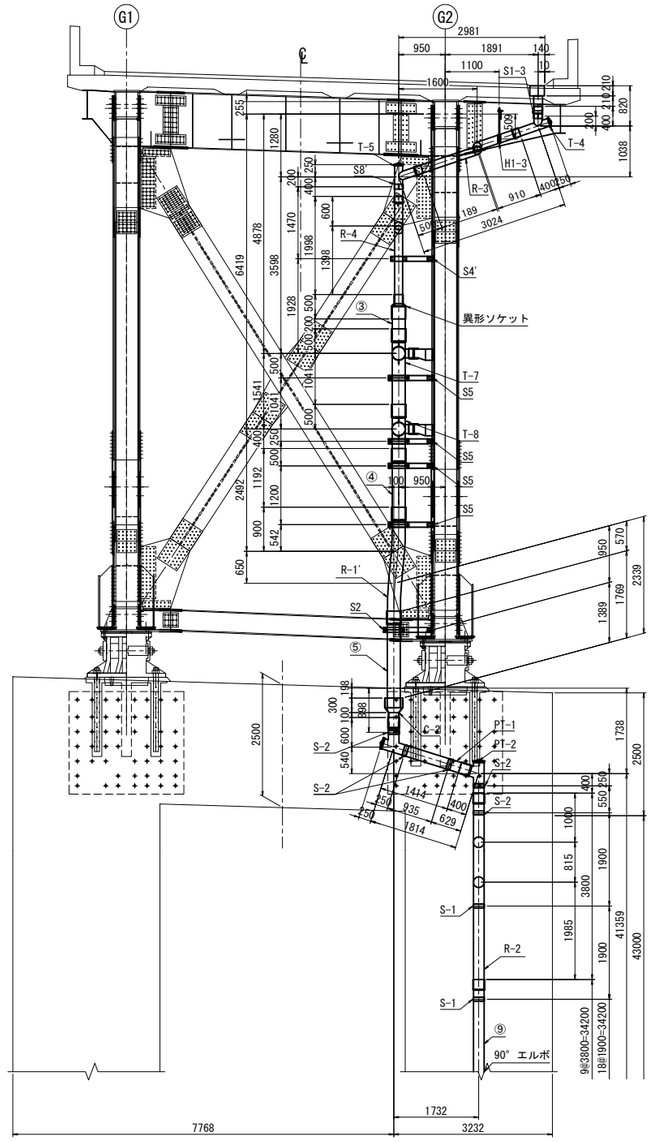
宮田川橋(上り線) P1橋脚 撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その2) S=1:75

設置・新設工

A － A



B － B



C － C

設置材料

直管

③	1-VP 250Ax700	1	個
④	1-VP 250Ax1445	1	個
⑤	1-VP 250Ax1965	1	個
⑥	1-VP 250Ax2020	1	個
⑧	1-VP 250Ax3805	1	個

支持金具

H1-3	1	個
S4'	1	個
S5	4	個
S2	1	個
B3	4	個
S-1	1	個

加工管

T-5	1	個
T-7	1	個
T-8	1	個
PT-1	1	個
PT-2	1	個

受け桝C-2	1	個
異形ソケット	1	個

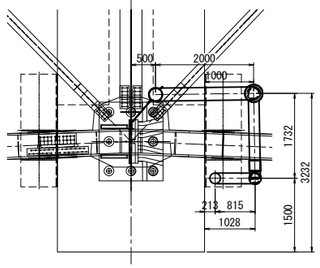
注記)
既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋(上り線) P1橋脚 **撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その2)**		
縮　尺	図 示	図面番号	171 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

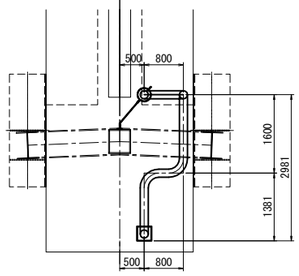
宮田川橋(上り線) P1橋脚 撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その3) S=1:75

設置・新設工

D － D



E － E



新設材料
加工管

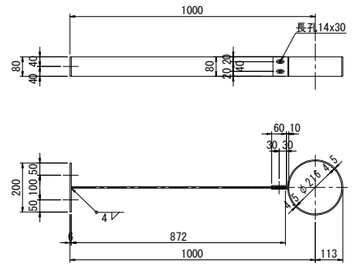
R-1'	1-VP 250Ax3578	1	個
R-2	1-VP 200Ax4286	1	個
R-3	1-VP 150Ax2772	1	個
R-4	1-VP 150Ax2671	1	個

支持金具

S8'	1	個
S-2	5	個

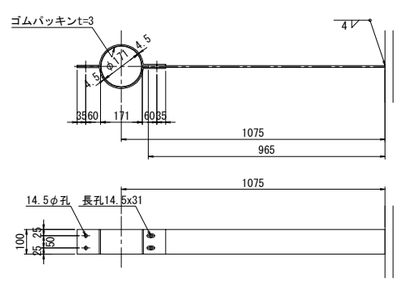
新規製作排水管取付金具詳細図　縮尺=1:25

S-2



(新設材料)
1-PL 80x6x200
1-PL 80x6x872
1-PL 80x4.5x817
2-BN φ13x40
2-アンカーボルト φ13x90

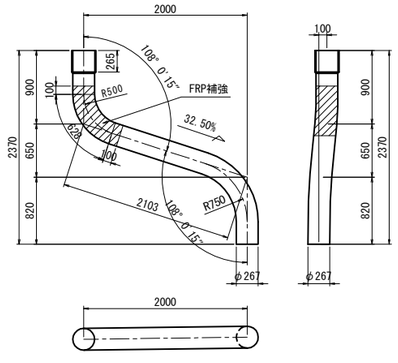
S8'



(新設材料)
2-PL 100x4.5x452
1-PL 100x8x148
4-BN M12x40

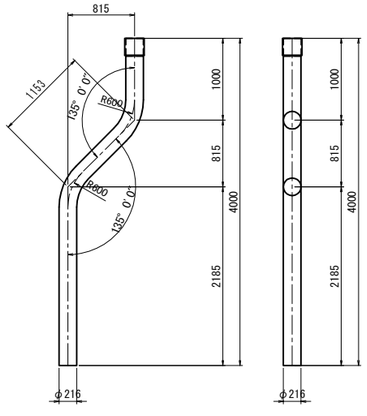
新規製作排水管詳細図　縮尺=1:75

R-1'



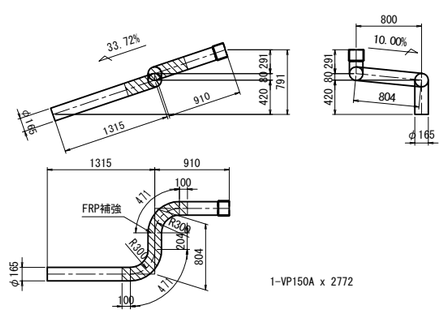
1-VP250A x 3578

R-2



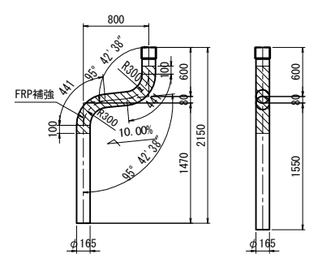
1-VP200A x 4286

R-3



1-VP150A x 2772

R-4



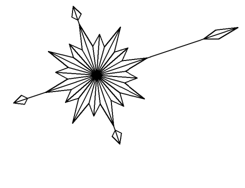
1-VP150A x 2671

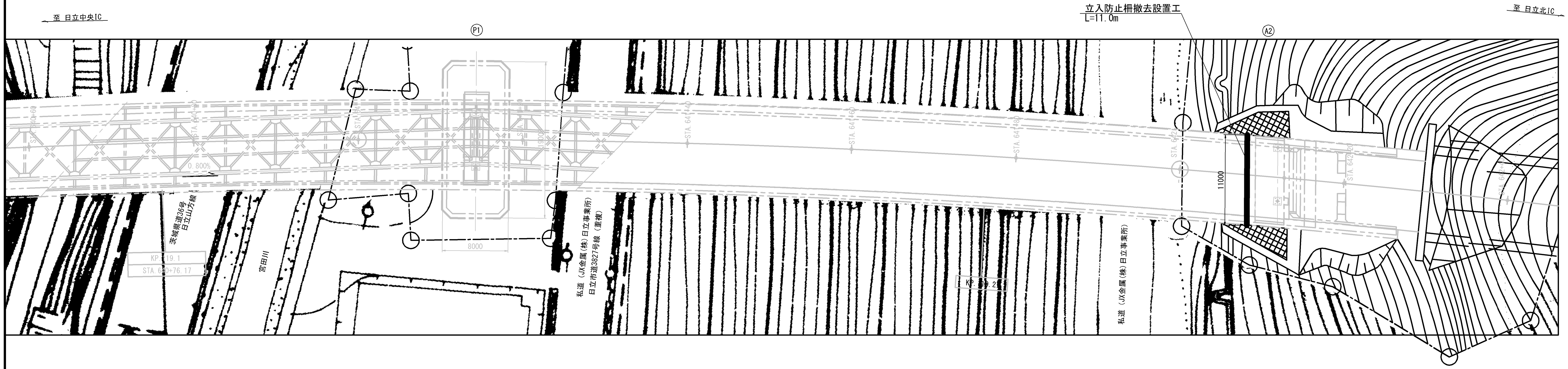
注記)
既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋(上り線) P1橋脚 **撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その3)**		
縮　尺	図 示	図面番号	172 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋（上り線）立入防止柵　撤去設置工　平面図

平 面 図　S=1:500

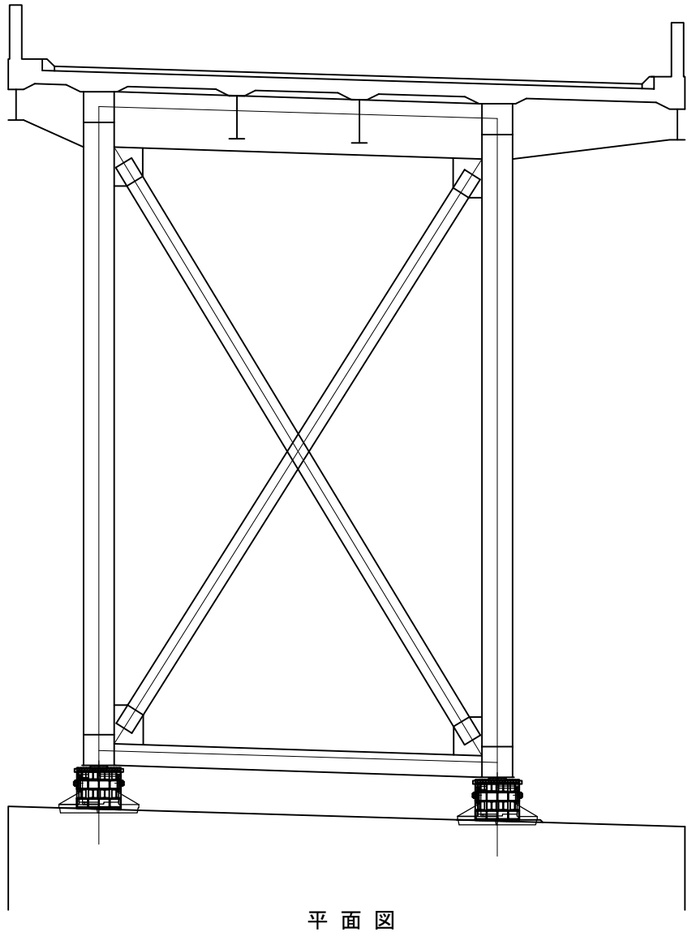




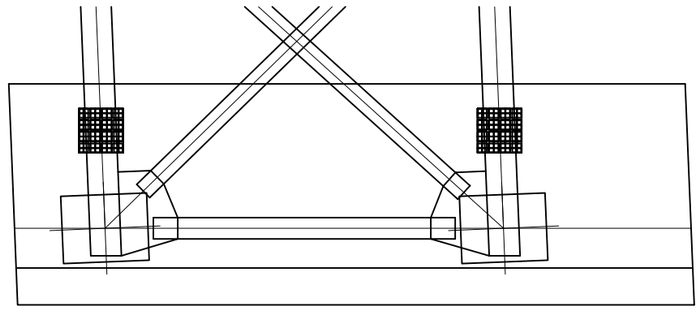
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事	
図面の種類	宮田川橋(上り線) 立入防止柵　撤去設置工　平面図
縮　　尺	1:500　図面番号　173 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所

宮田川橋（上り線）仮設段差防止構造　撤去・設置図　S=1:100

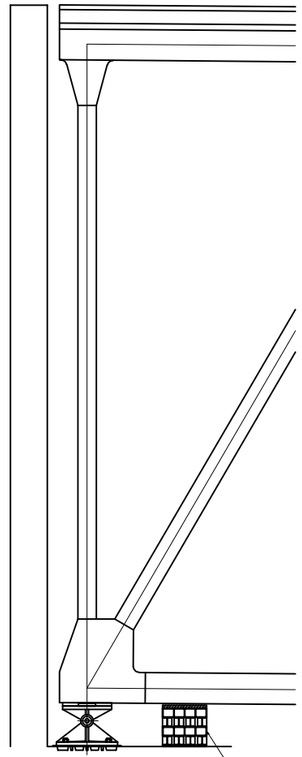
正 面 図



平 面 図



側 面 図



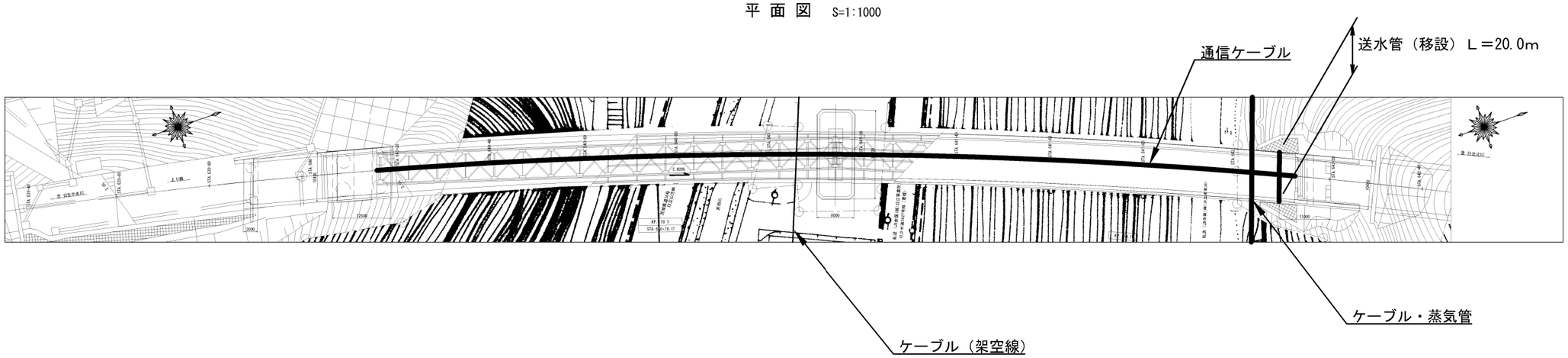
測定箇所		段差防止タイプ 直角×橋軸	サンドル段数 (H=150㎜)	サンドル本数	備考
A1	G1(終点側)	4列×4列	4	16	
	G2(終点側)	4列×4列	4	16	
A2	G1(起点側)	4列×4列	4	16	
	G2(起点側)	4列×4列	4	16	

※サンドルの上に緩衝材（クロロプレンゴム、厚さ:50㎜）を設置する

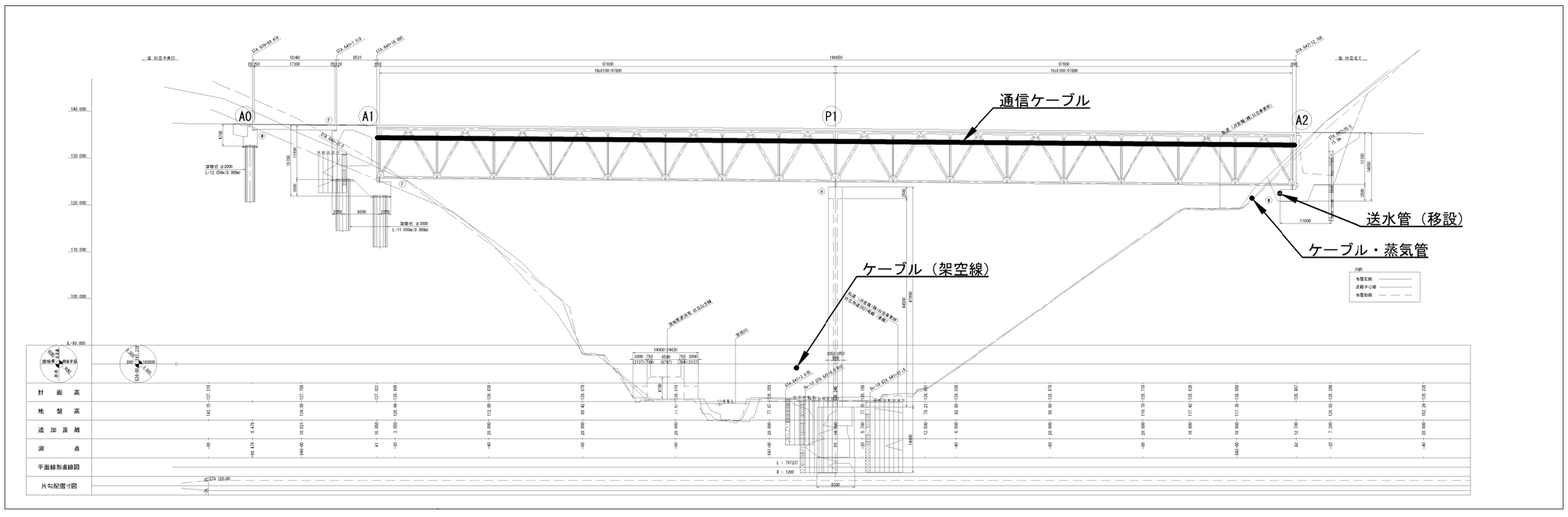
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋（上り線） 仮設段差防止構造　撤去・設置図		
縮　尺	図 示	図面番号	174 / 210
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋（上り線） ケーブル配置図

平 面 図　S=1:1000



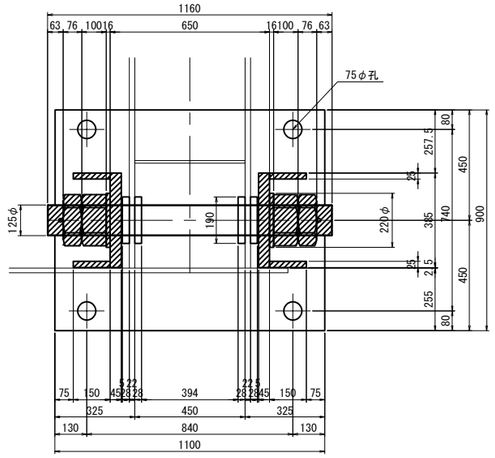
側 面 図　S=1:1000



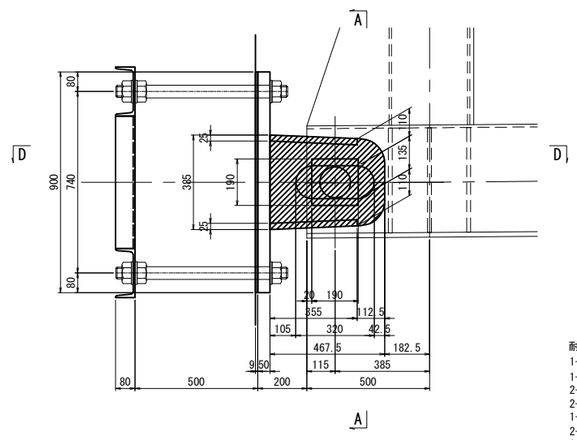
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事	
図面の種類	宮田川橋（上り線） ケーブル配置図
縮　尺	1:1000
図面番号	175 / 210
設計会社名	
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所

宮田川橋(下り線) P2橋脚(終点側) 撤去工 耐震連結装置 構造図 S=1:25

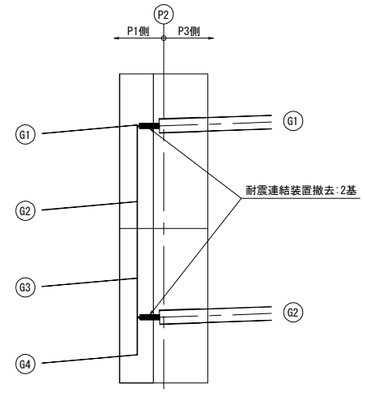
A － A



B － B



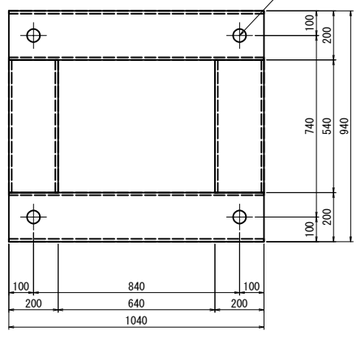
配置図



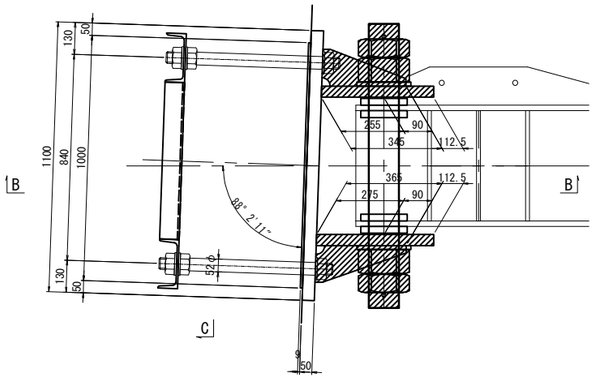
耐震連結装置撤去数量 (撤去数:2基)
1-PL 385x45x 458(SM520C)
1-PL 385x45x 478(SM520C)
2-Rib PL 150x25x 344(SM490YB)
2-Rib PL 150x25x 373(SM490YB)
1-PIN φ125x1160(S35C)
2-WASHER PL φ220x16(SS400)
2-NUT M125(1種)(SS400)
2-NUT M125(3種)(SS400)
2-割ピン φ16x160 (SWRM10)

耐震連結装置撤去ガス切断延長(対象箇所:2箇所)
t=45mm:385x2=770mm
t=25mm:150x4=600mm
M125ボルト : 1本

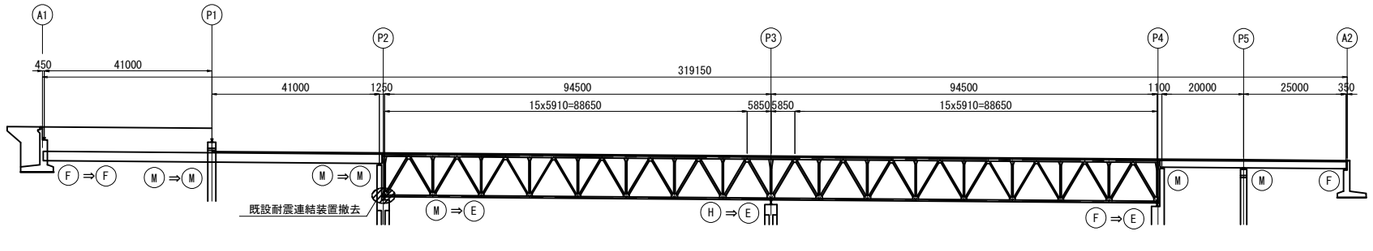
C － C



D － D



施工箇所 S=1:1500



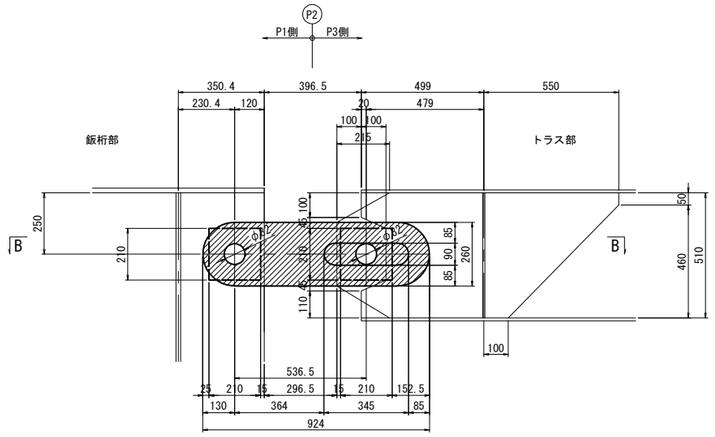
注記
1)切断部分の既設鋼材面は防錆処理すること。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2橋脚(終点側) 撤去工 耐震連結装置 構造図		
縮尺	図示	図面番号	176 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

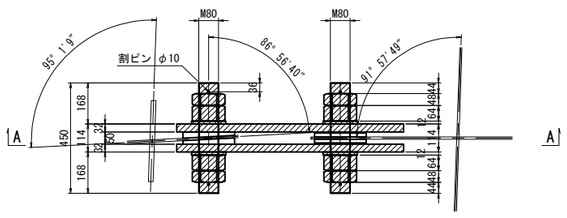
宮田川橋(下り線) P2橋脚 撤去工 耐震連結装置 構造図 S=1:25

トラス部G1桁

A-A



B-B



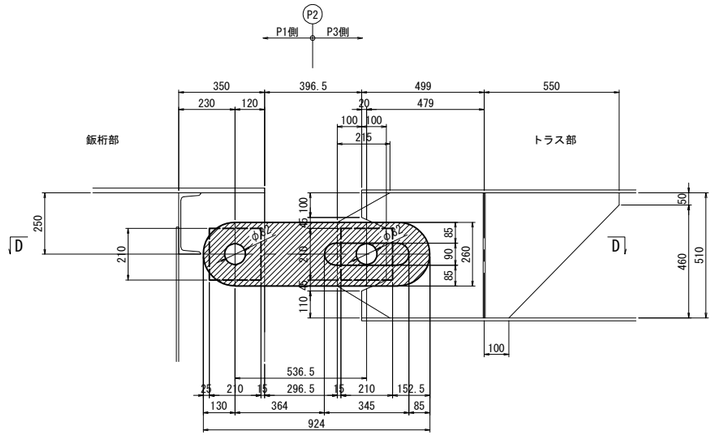
耐震連結装置撤去数量(トラス部G1桁)

2-PL 260x32x924(SM400A)
2-PIN φ80x450(S35C)
4-NUT M80(1種)
4-NUT M80(3種)
4-WASHER PL φ140x12(SS400)
4-割ピン φ10x110 (SWRM10)

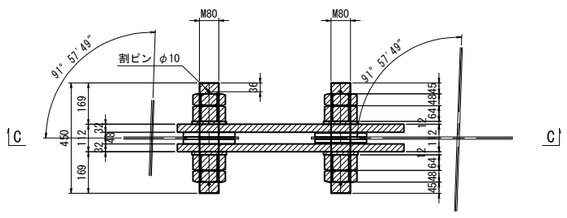
耐震連結装置撤去ガス切断延長
M80ボルト:2本

トラス部G2桁

C-C



D-D

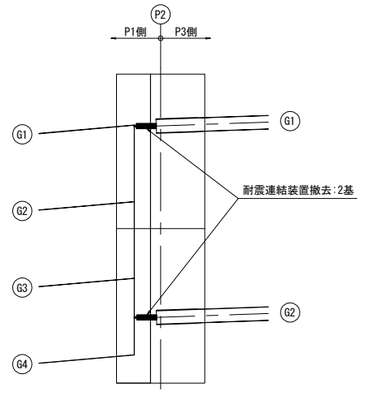


耐震連結装置撤去数量(トラス部G2桁)

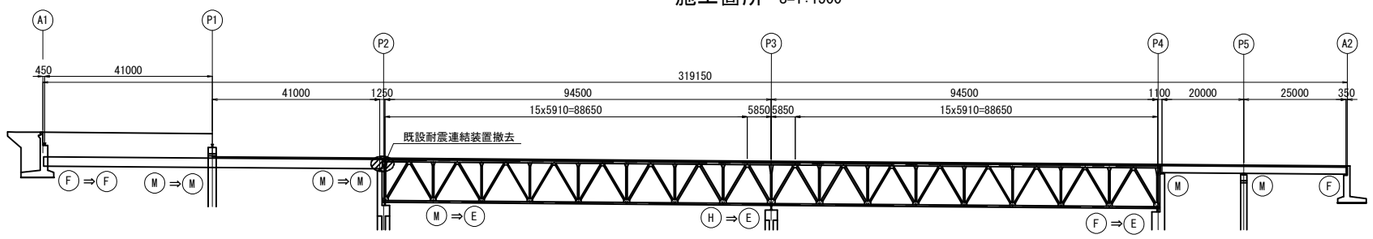
2-PL 260x32x924(SM400A)
2-PIN φ80x450(S35C)
4-NUT M80(1種)
4-NUT M80(3種)
4-WASHER PL φ140x12(SS400)
4-割ピン φ10x110 (SWRM10)

耐震連結装置撤去ガス切断延長
M80ボルト:2本

配置図



施工箇所 S=1:1500



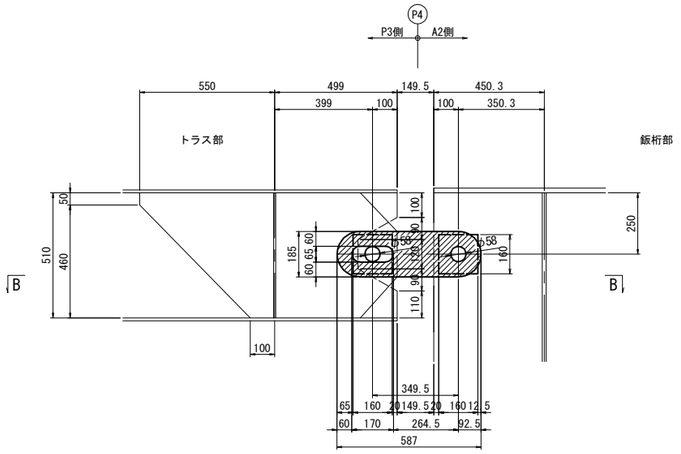
注記
1)切断部分の既設鋼材面は防錆処理すること。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P2橋脚 撤去工 耐震連結装置 構造図		
縮尺	図 示	図面番号	177 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

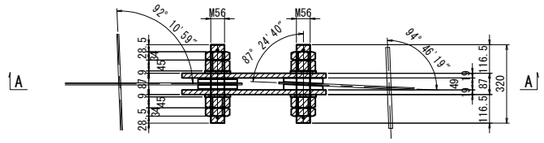
宮田川橋(下り線) P4橋脚 撤去工 耐震連結装置 構造図 S=1:25

トラス部G1桁

A-A



B-B



耐震連結装置撤去数量(トラス部G1桁)

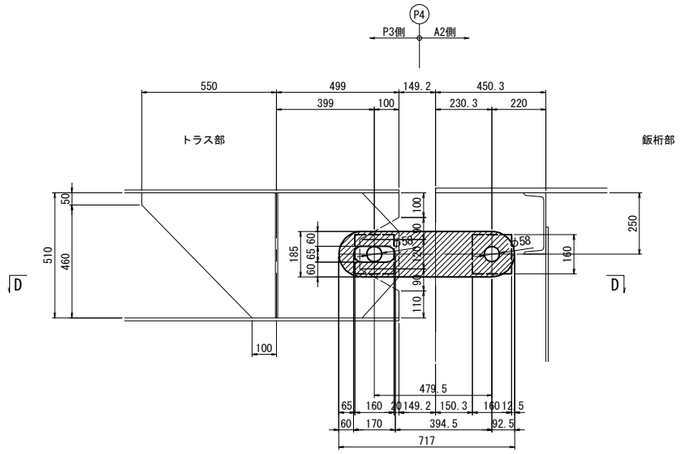
2-PL　185x19x587(SS400)
2-PIN　φ56x320(S35C)
4-NUT　M56(1種)
4-NUT　M56(3種)
4-WASHER PL φ105x9(SS400)
4-割ピン φ10x70 (SWRM10)

耐震連結装置撤去ガス切断延長

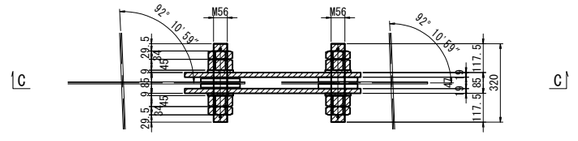
M56ボルト:2本

トラス部G2桁

C-C



D-D



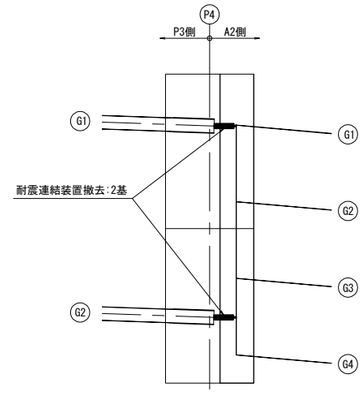
耐震連結装置撤去数量(トラス部G2桁)

2-PL　185x19x717(SS400)
2-PIN　φ56x320(S35C)
4-NUT　M56(1種)
4-NUT　M56(3種)
4-WASHER PL φ105x9(SS400)
4-割ピン φ10x70 (SWRM10)

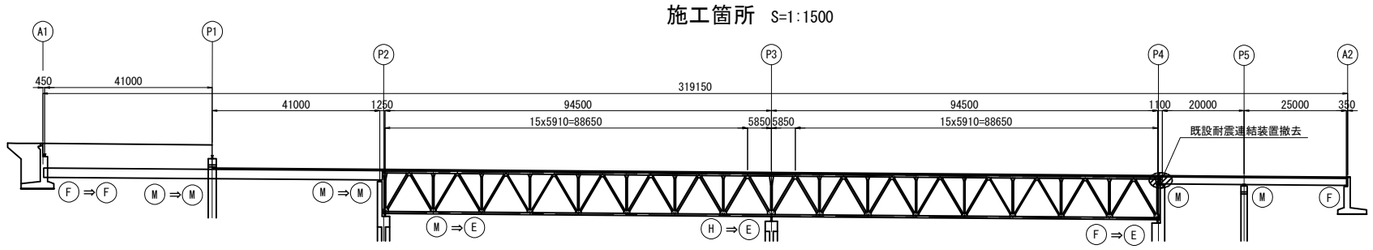
耐震連結装置撤去ガス切断延長

M56ボルト:2本

配置図



施工箇所 S=1:1500

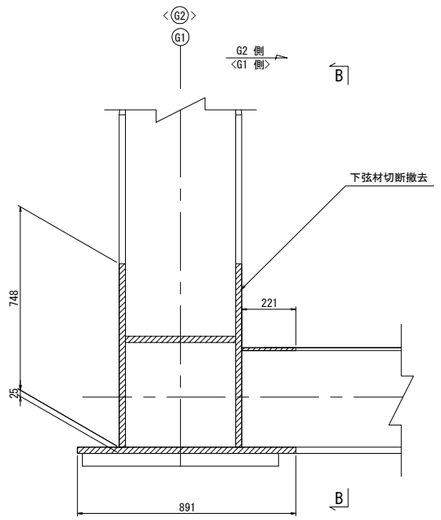


注記
1)切断部分の既設鋼材面は防錆処理すること。

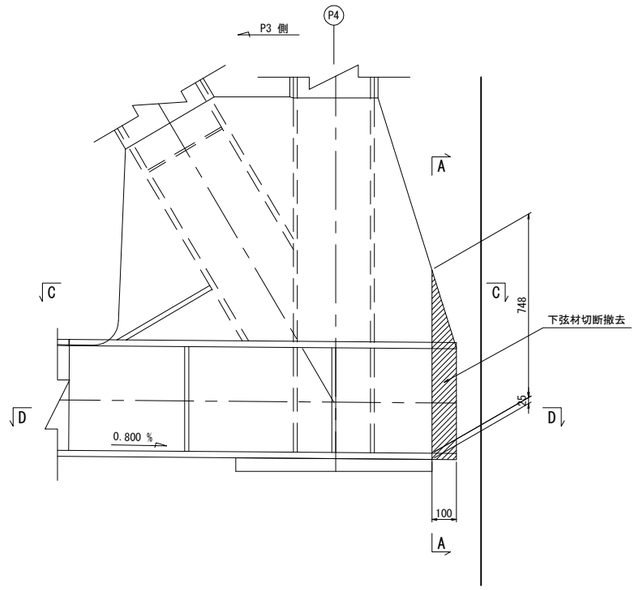
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4橋脚 撤去工 耐震連結装置 構造図		
縮　尺	図　示	図面番号	178 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋(下り線) P4橋脚(起点側) 撤去工 下弦材切断 構造図 S=1:25

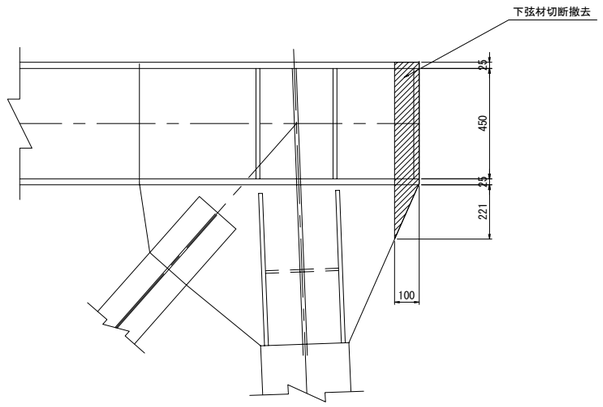
A - A



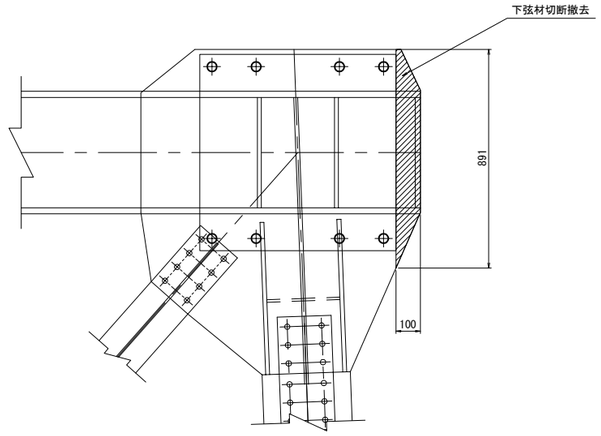
B - B



C - C



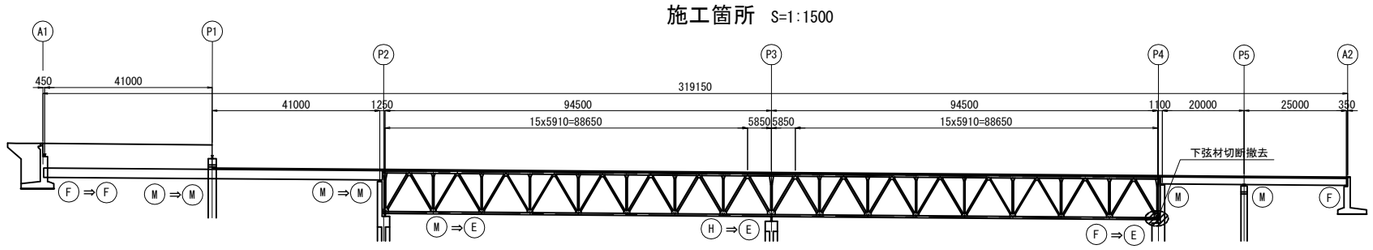
D - D



下弦材撤去数量
1箇所当り (撤去数：2箇所)
2-GUSS PL 100x25x748 (SM490YB)
1-TOP PL 100x25x450 (SM490YB)
1-GUSS PL 100x12x221 (SS400)
1-Bott PL 100x25x891 (SM490YB)
1-END PL 427x9x450 (SS400)

下弦材撤去ガス切断延長
(対象箇所：2箇所)
t=25:748x2+891+450=2837mm
t=12:221mm

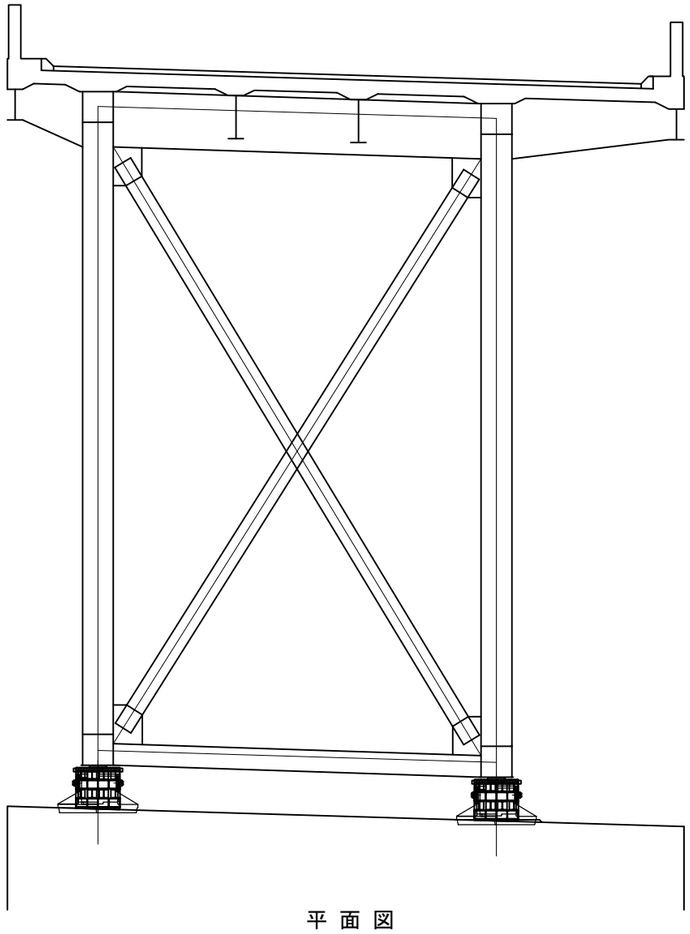
施工箇所 S=1:1500



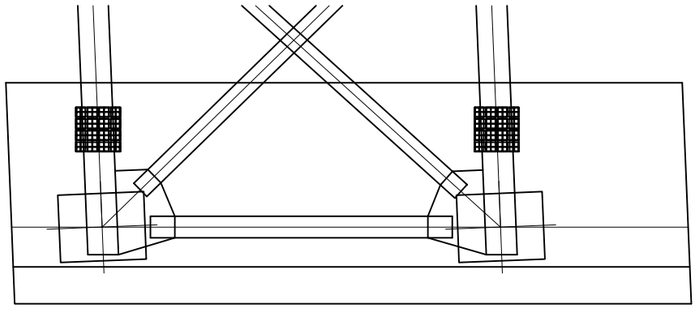
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) P4橋脚(起点側) 撤去工 下弦材切断 構造図		
縮尺	図 示	図面番号	179 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋（下り線）仮設段差防止構造　撤去・設置図　S=1:100

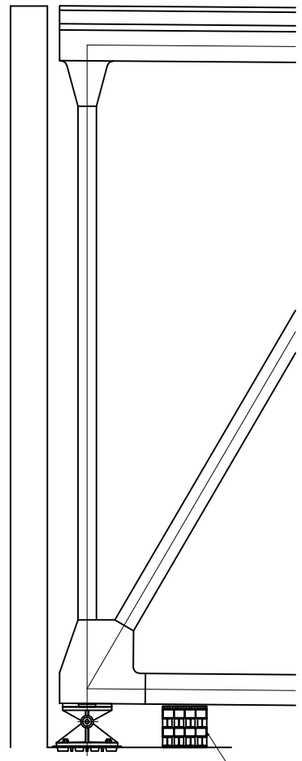
正 面 図



平 面 図



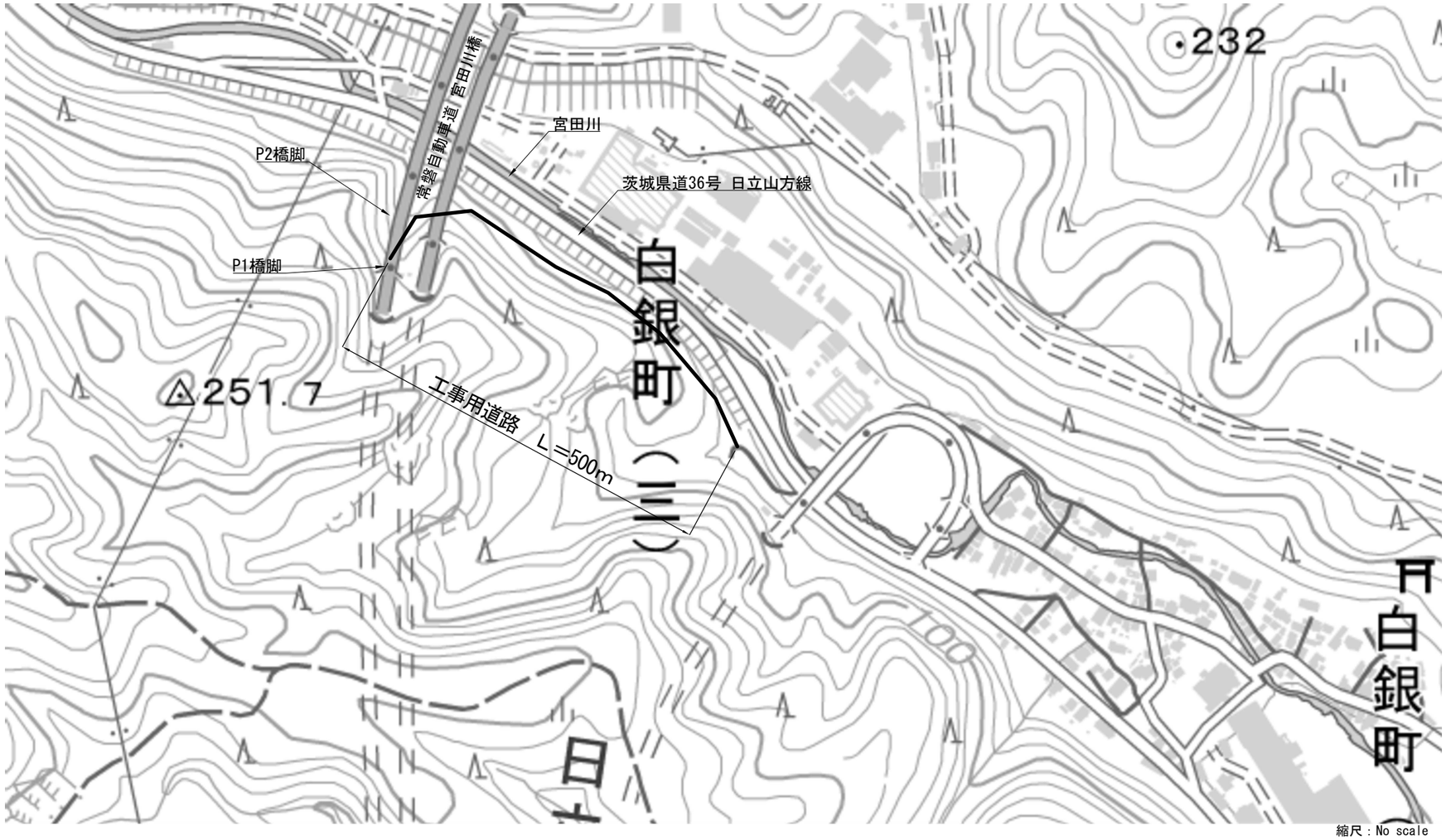
側 面 図



測定箇所		段差防止タイプ 直角×橋軸	サンドル段数 (H=150㎜)	サンドル本数	備考
P2	G1(終点側)	4列×4列	4	16	
	G2(終点側)	4列×4列	4	16	
P4	G1(起点側)	4列×4列	4	16	
	G2(起点側)	4列×4列	4	16	

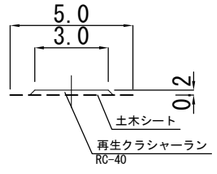
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線） 仮設段差防止構造　撤去・設置図		
縮　尺	図 示	図面番号	180 / 210
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋(下り線) 工事用道路計画図



縮尺：No scale

工事用道路標準断面図　縮尺 1:250

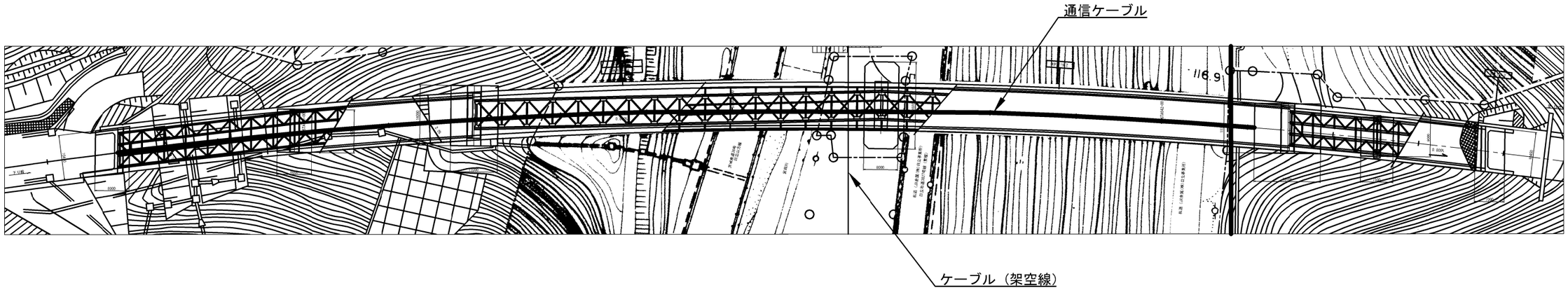


注記) この図は国土地理院のウェブサイト（https://maps.gsi.go.jp/#13/36.700632/140.690746/&base=std&base_grayscale=1&ls=std&disp=1&vs=c0g1j0h0k0l0u0t0z0r0s0m0f0&d=m1）の地図をもとに東日本高速道路(株)関東支社水戸管理事務所が作成したもの。

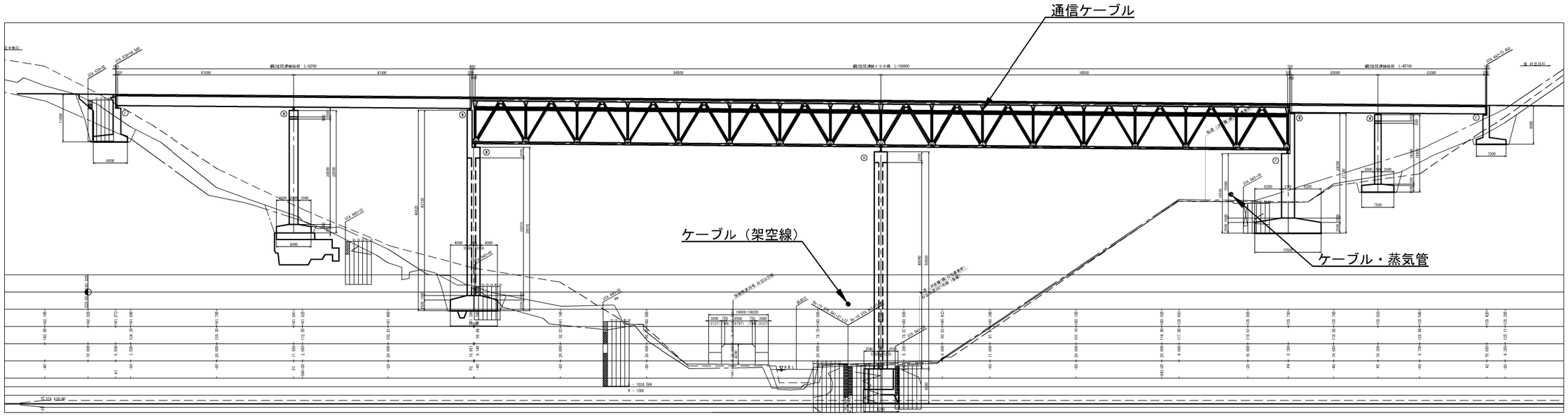
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋(下り線) 工事用道路計画図		
縮　尺	図示	図面番号	181 / 210
設計会社名	――――		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

宮田川橋（下り線） ケーブル配置図

平 面 図　S=1:1000



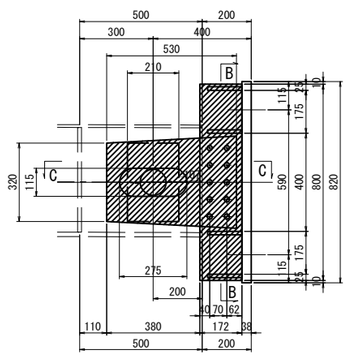
側 面 図　S=1:1000



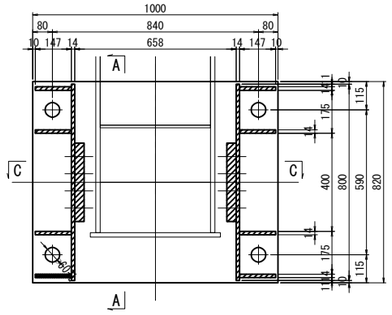
常盤自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	宮田川橋（下り線） ケーブル配置図		
縮　　尺	1:1000	図面番号	182 / 210
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

数沢川橋(上り線) P3橋脚(起点側) 撤去工 耐震連結装置 構造図 S=1:25

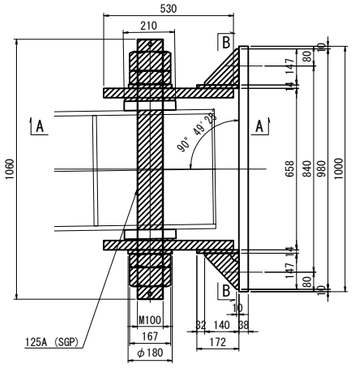
A-A



B-B



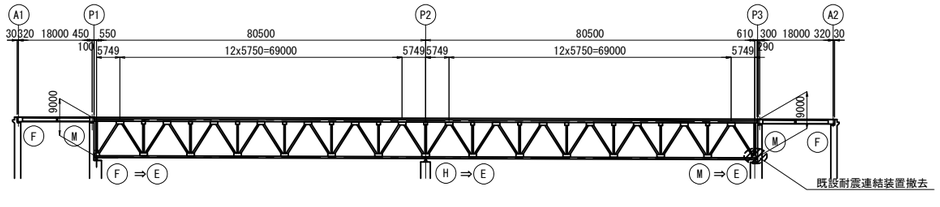
C-C



耐震連結装置撤去数量 (撤去数:2基)
2-PL 376x38x 530(SM520B)
2-PL 172x14x 800(SS400)
8-PL 140x14x 147(SS400)
20-HTB M22x95(F10T)
1-PIPE 125Ax452(SGP)
1-PIN φ105x1060(S35C)
2-NUT M100(1種)(SS400)
2-NUT M100(3種)(SS400)
2-WASHER PL φ180x16(SS400)
2-割ピン φ13x160 (SWRM10)

耐震連結装置撤去ガス切断延長(対象箇所:2箇所)
t=14mm:147x8=1176mm
t=14mm:800x2=1600mm
M100ボルト : 1本

配 置 図 S=1:1500

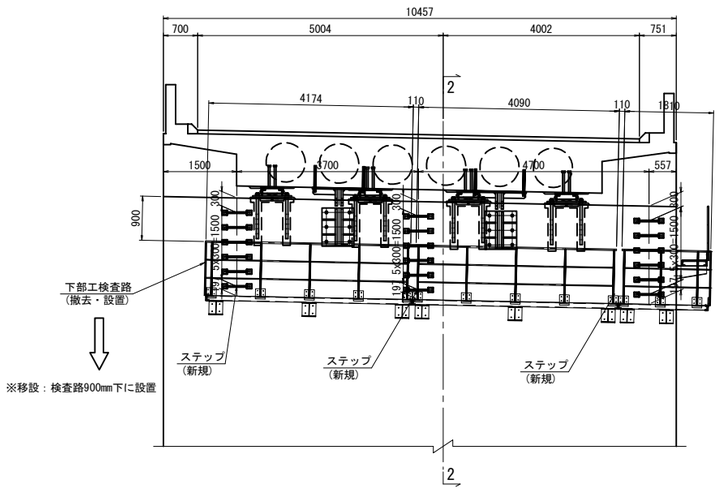


注記
1)切断部分の既設鋼材面は防錆処理すること。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P3橋脚(起点側) 撤去工 耐震連結装置 構造図		
縮尺	図示	図面番号	183 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸管理事務所		

数沢川橋(上り線) A1橋台 撤去・設置工、新設工　検査路構造図　縮尺=1:125

正 面 図
(1 - 1)



下部工検査路 AK-1(1箇所)

撤去・設置材料
- 1-SGP 25A x 4773
- 6-SGP 25A x 1100
- 6-SGP 15A x 987
- 2-SGP 15A x 982
- 2-SGP 15A x 545
- 2-SGP 15A x 164
- 6-PL 6x180x200
- 2-CH 100x50x5x7.5x4195
- 2-CH 100x50x5x7.5x 490
- 3-RIB FB 75x6x490
- 3-PL 8x250x480
- 6-PL 6x200x210
- 1-Ch.PL 3.2x480x4195
- 12-BN M22x60
- 24-BN M16x40
- 36-BN M12x30

下部工検査路 AK-2(1箇所)

撤去・設置材料
- 1-SGP 25A x 4090
- 5-SGP 25A x 1100
- 4-SGP 15A x 987
- 4-SGP 15A x 982
- 5-PL 6x180x200
- 2-CH 100x50x5x7.5x4190
- 2-CH 100x50x5x7.5x 490
- 3-RIB FB 75x6x490
- 3-PL 8x250x480
- 5-PL 6x200x210
- 1-Ch.PL 3.2x480x4190
- 12-BN M22x60
- 20-BN M16x40
- 36-BN M12x30

下部工検査路 AK-3(1箇所)

撤去・設置材料
- 1-SGP 25A x 1810
- 3-SGP 25A x 1100
- 4-SGP 15A x 737
- 2-SGP 15A x 512
- 3-PL 6x180x200
- 1-CH 100x50x5x7.5x1826
- 1-CH 100x50x5x7.5x1313
- 1-CH 100x50x5x7.5x 490
- 1-CH 100x50x5x7.5x 706
- 1-RIB FB 75x6x490
- 2-PL 8x250x480
- 3-PL 6x200x210
- 1-Ch.PL 3.2x480x1826
- 8-BN M22x60
- 12-BN M16x40
- 15-BN M12x30

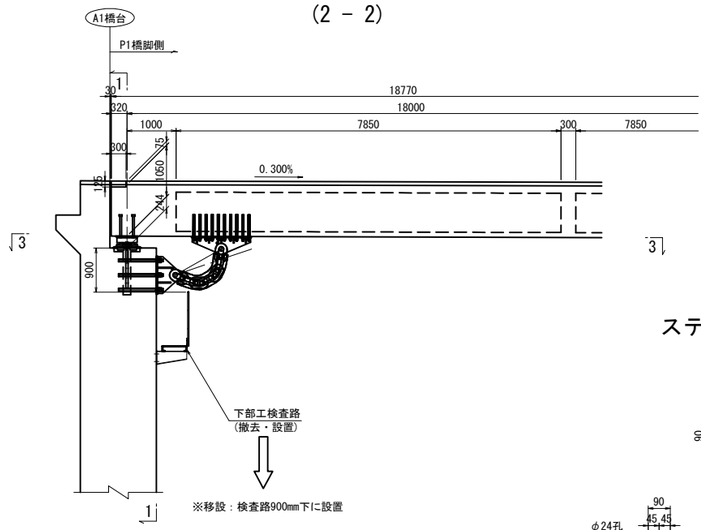
ブラケット (11箇所)

撤去・設置材料
- 1-PL 9x280x611
- 1-PL 9x250x611
- 1-PL 9x280x619
- 1-PL 9x280x288

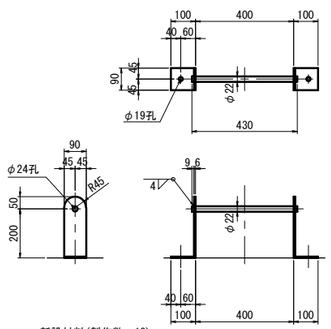
撤去材料
- 4-ホールインアンカーM16x120

新設材料
- 4-ホールインアンカーM16x120

側 面 図
(2 - 2)

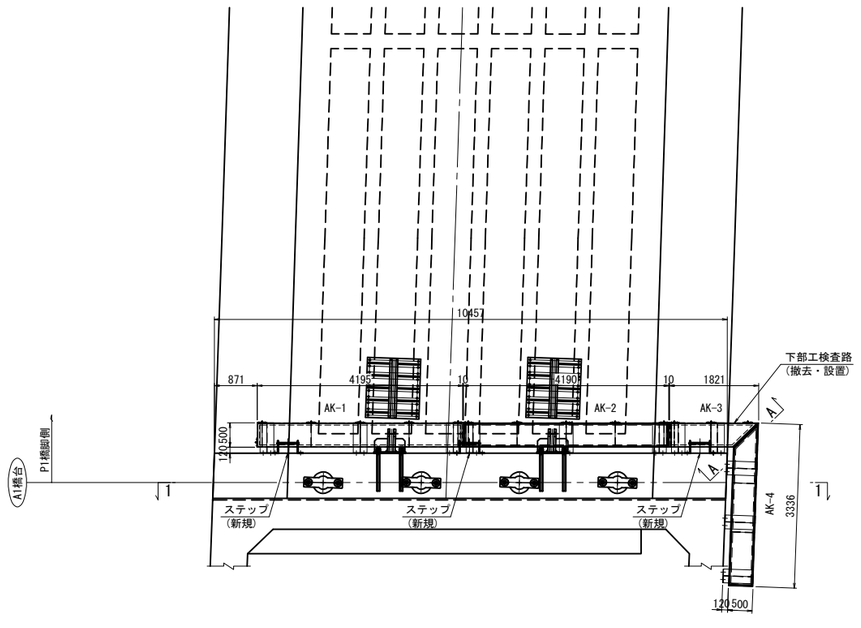


ステップ詳細　縮尺=1:25

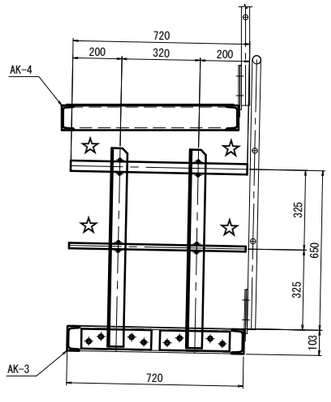


新設材料(製作数：18)
- 1 - RB φ22 x 430
- 2 - FB 90 x 6 x 350
- 2 - 打込式アンカー M16x125（ゆるみ止めナット付き）

平 面 図
(3 - 3)



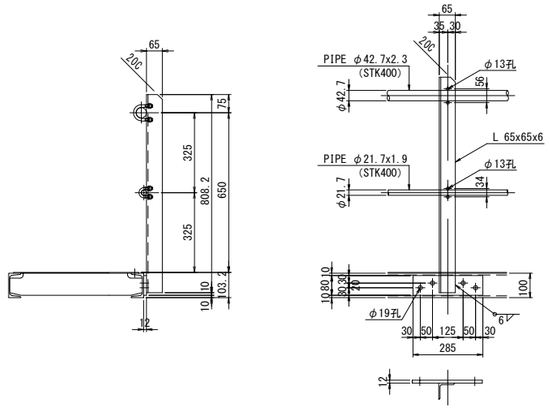
A - A　縮尺=1:25



下部工検査路 AK-3(1箇所)

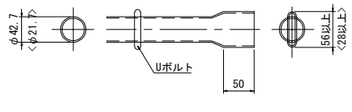
新設材料
- 1-Pipe φ42.7x2.3x720(STK400)
- 1-Pipe φ21.7x1.9x720(STK400)
- 2-L 65x65x6x808
- 2-PL 80x12x285(SM400A)
- 8-BN M16 x 45 (2-W)
- 2-Uボルト 呼び 32C
- 2-Uボルト 呼び 15C

歩廊断面及び構造詳細(爪先板無し)　縮尺=1:25



手摺端部抜け落ち防止加工詳細　縮尺=1:25

支柱2本で手摺りを固定する箇所のみ
図面中は☆印で示す

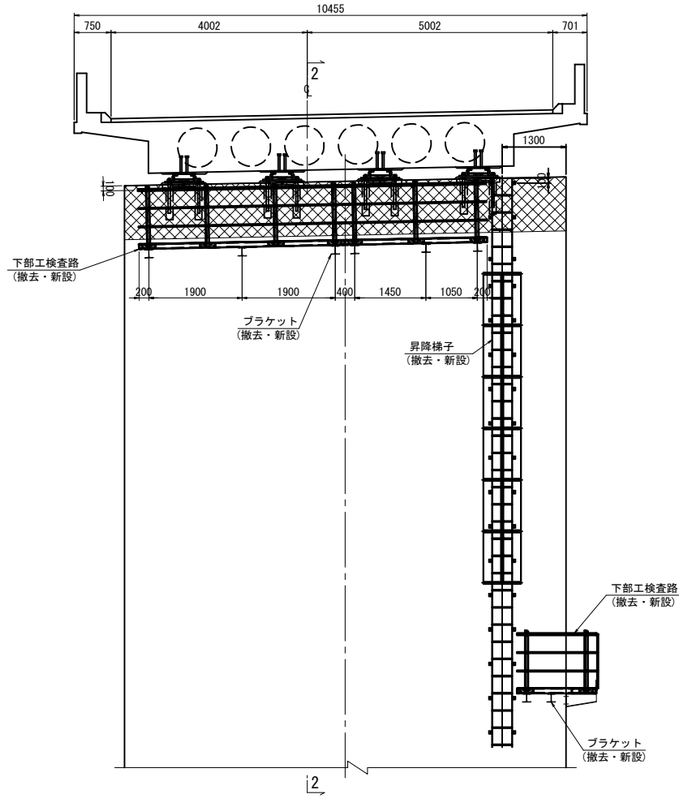


注　記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとし、
   規格はJIS H8641 HDZT77 とする。
   但し、パイプ、ボルト、ナット、ワッシャーは
   JIS H8641 HDZT49 とする。
3. ナットは全てUナットとする。

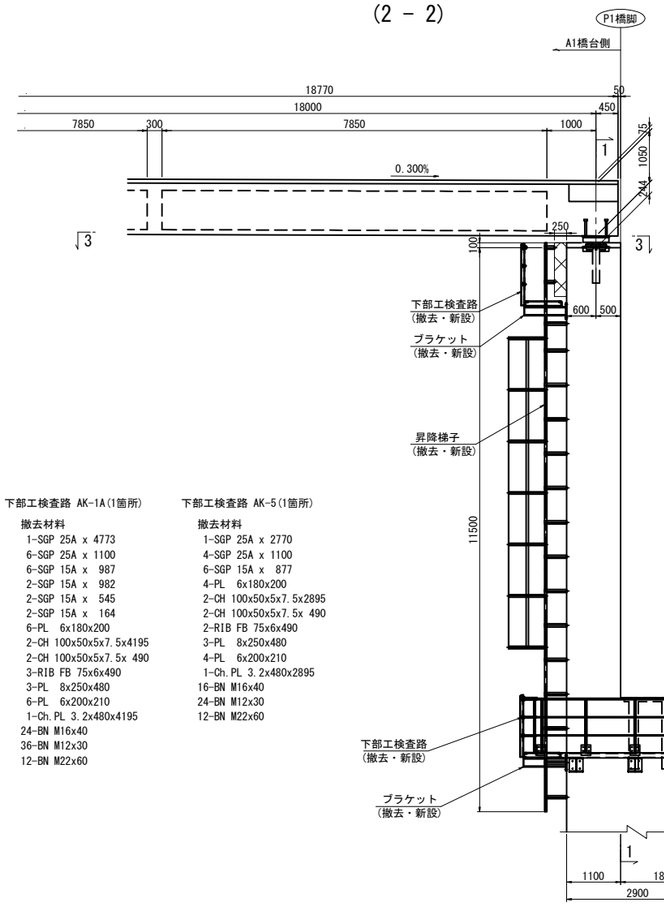
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) A1橋台 撤去・設置工、新設工　検査路構造図		
縮　尺	図　示	図面番号	184 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

数沢川橋(上り線) P1橋脚(起点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その1)　縮尺=1:125

正 面 図 (1 - 1)



側 面 図 (2 - 2)



下部工検査路 AK-1A(1箇所)

撤去材料

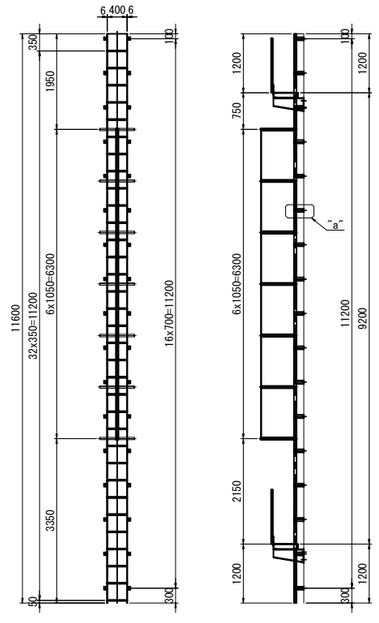
1-SGP 25A x 4773	
6-SGP 25A x 1100	
6-SGP 15A x 987	
2-SGP 15A x 982	
2-SGP 15A x 545	
2-SGP 15A x 164	
6-PL 6x180x200	
2-CH 100x50x5x7.5x4195	
2-CH 100x50x5x7.5x 490	
3-RIB FB 75x6x490	
3-PL 8x250x480	
6-PL 6x200x210	
1-Ch.PL 3.2x480x4195	
24-BN M16x40	
36-BN M12x30	
12-BN M22x60	

下部工検査路 AK-5(1箇所)

撤去材料

1-SGP 25A x 2770	
4-SGP 25A x 1100	
6-SGP 15A x 877	
4-PL 6x180x200	
2-CH 100x50x5x7.5x2895	
2-CH 100x50x5x7.5x 490	
2-RIB FB 75x6x490	
3-PL 8x250x480	
4-PL 6x200x210	
1-Ch.PL 3.2x480x2895	
16-BN M16x40	
24-BN M12x30	
12-BN M22x60	

昇降梯子(撤去)

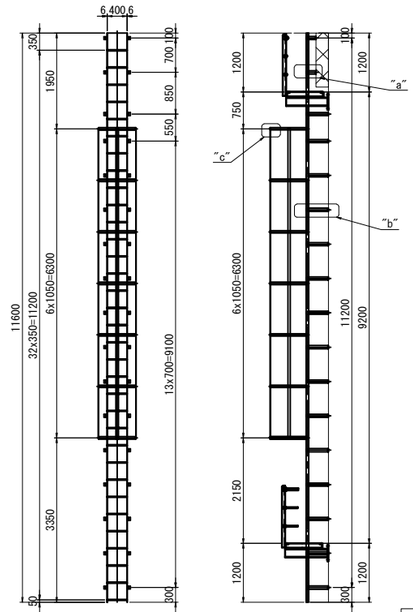


タラップ

撤去材料

2-FB 50x6x11600	
1-FB 50x6x 265	
4-FB 50x6x 145	
1-FB 50x6x 6350	
7-バンドFB 50x6x1880	
34-FB 60x6x 250	
33-RB φ22x432	
33-BN M16x35	
34-ホールインアンカーM16	

昇降梯子(新設)

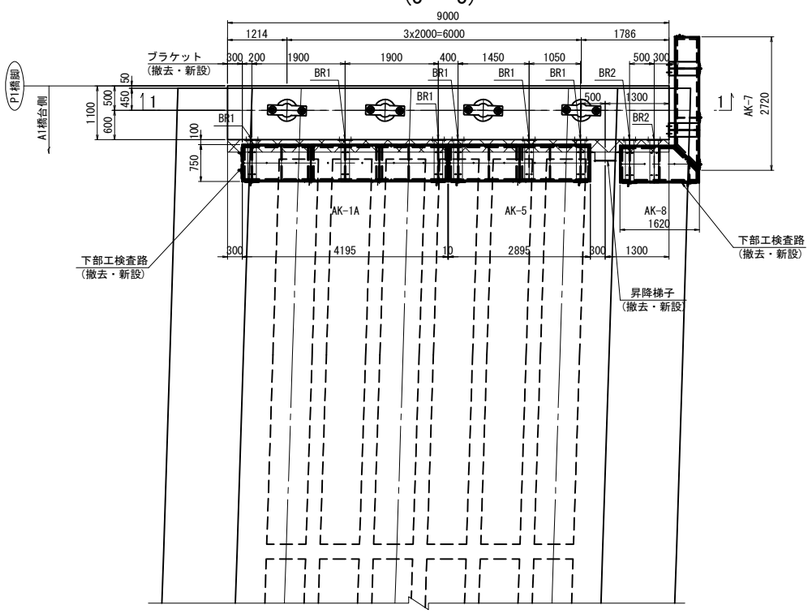


タラップ

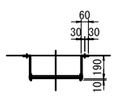
新設材料

2-FB 50x6x11600	
1-FB 50x6x 265	
4-FB 50x6x 145	
3-FB 50x6x 6330	
7-バンドFB 50x6x1960	
4-FB 60x6x 250	
30-FB 60x6x 500	
33-RB φ22x432	
33-BN M16x35	
34-ホールインアンカーM16	

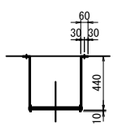
平 面 図 (3 - 3)



"a"部詳細図　縮尺=1:50

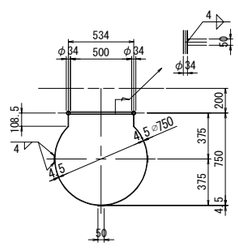


"b"部詳細図　縮尺=1:50



"c"部詳細図　縮尺=1:25

転落防止リング詳細　縮尺=1:50



注 記

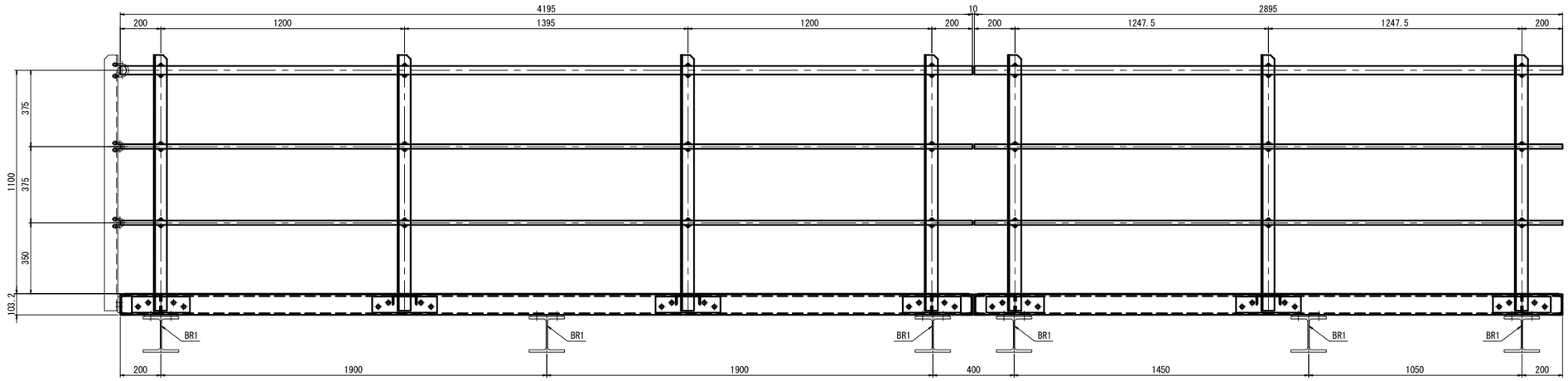
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P1橋脚(起点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その1)		
縮　尺	図　示	図面番号	185 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

数沢川橋(上り線) P1橋脚(起点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その2)　縮尺=1:25

下部工検査路 AK-1A(新設)

側面図



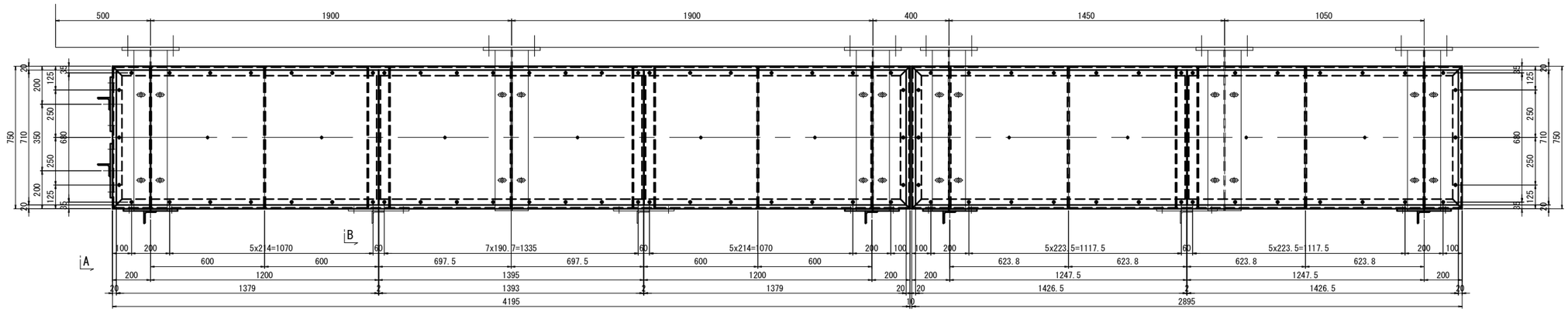
下部工検査路 AK-5(新設)

側面図

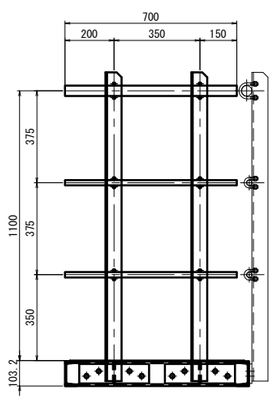
A

B

平面図



A － A



新設材料(AK-1A)
歩廊部
2-Ch.PL 710x3.2x1379(SS400相当品)
1-Ch.PL 710x3.2x1393(SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x4195
2-CH 100x50x5x7.5x750
4-L 50x50x6x740
5-FB 90x9x740
50-BN M10x30(1-W,1-TW)
3-PL 160x9x730(SM400A)

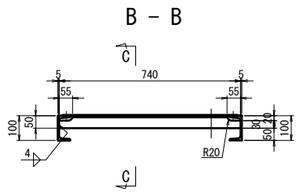
手摺部
1-Pipe φ42.7x2.3x4195(STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x4195(STK400)
4-L 65x65x6x1258
2-PL 80x12x285(SM400A)
2-PL 80x12x320(SM400A)
16-BN M16 x 45 (2-W)
4-Uボルト 呼び 32C
8-Uボルト 呼び 15C

1-Pipe φ42.7x2.3x700(STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x700(STK400)
2-L 65x65x6x1258
2-PL 80x12x285(SM400A)
8-BN M16 x 45 (2-W)
2-Uボルト 呼び 32C
4-Uボルト 呼び 15C

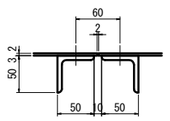
新設材料(AK-5)
歩廊部
2-Ch.PL 710x3.2x1427(SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x2895
2-CH 100x50x5x7.5x750
2-L 50x50x6x740
4-FB 90x9x740
34-BN M10x30(1-W,1-TW)
3-PL 160x9x730(SM400A)

手摺部
1-Pipe φ42.7x2.3x2895(STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x2895(STK400)
3-L 65x65x6x1258
2-PL 80x12x285(SM400A)
1-PL 80x12x320(SM400A)
12-BN M16 x 45 (2-W)
3-Uボルト 呼び 32C
6-Uボルト 呼び 15C

B － B



C － C　縮尺=1:7.5

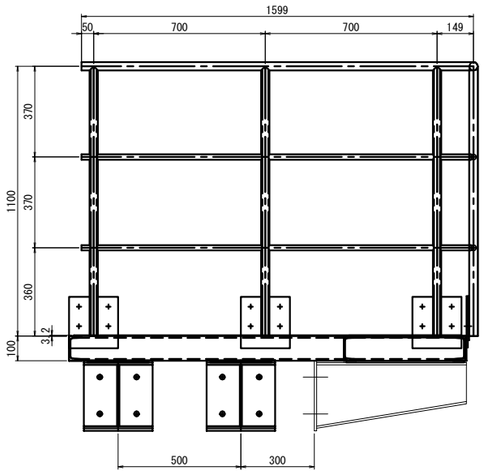


注　記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとし、
規格はJIS H8641 HDZT77 とする。
但し、パイプ、ボルト、ナット、ワッシャーは
JIS H8641 HDZT49 とする。
3. ナットは全てUナットとする。

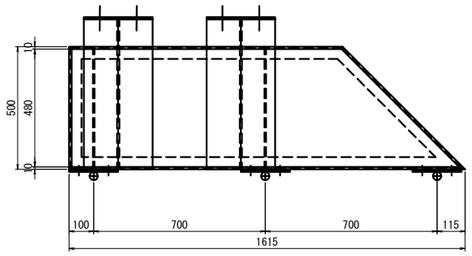
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P1橋脚(起点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その2)		
縮　尺	図　示	図面番号	186 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

数沢川橋(上り線) P1橋脚(起点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その3)　縮尺=1:25

下部工検査路 AK-8(撤去)



検査路 AK-8(1箇所)
撤去材料
1-CH 100x50x5x7.5x490
1-CH 100x50x5x7.5x697
1-CH 100x50x5x7.5x1615
1-CH 100x50x5x7.5x1115
1-Ch.PL 3.2x480x1615
1-FB 75x6x490
2-PL 8x250x480
3-PL 6x200x210
12-BN M12x30
8-BN M22x60
3-SGP 25Ax1100
1-SGP 25Ax1599
2-SGP 15Ax 286
4-SGP 15Ax 687
3-PL 6x180x200
12-BN M16x40

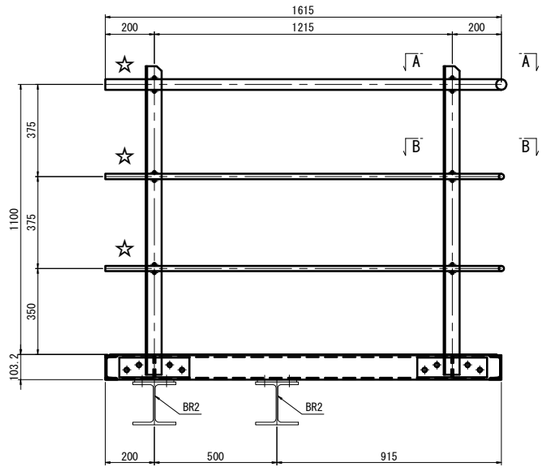


検査路 AK-8(1箇所)
新設材料
1-Pipe φ42.7x2.3x1865(STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x1865(STK400)
2-L 65x65x6x1258
2-PL 80x12x285(SM400A)
8-BN M16 x 45 (2-W)
2-Uボルト 呼び 32C
4-Uボルト 呼び 15C

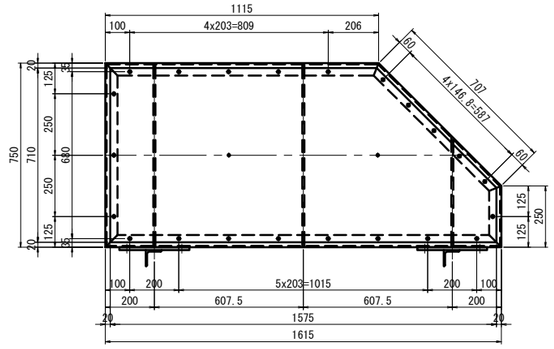
1-Ch.PL 710x3.2x1575(SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7.5x1615
1-CH 100x50x5x7.5x 250
1-CH 100x50x5x7.5x 707
1-CH 100x50x5x7.5x1115
1-CH 100x50x5x7.5x 750
2-FB 90x9x740
1-FB 90x9x442
22-BN M10x30(1-W,1-TW)
2-PL 160x8x730(SM400A)

下部工検査路 AK-8(新設)

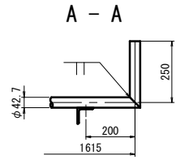
側面図



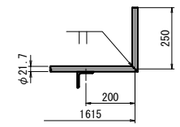
平面図



A－A

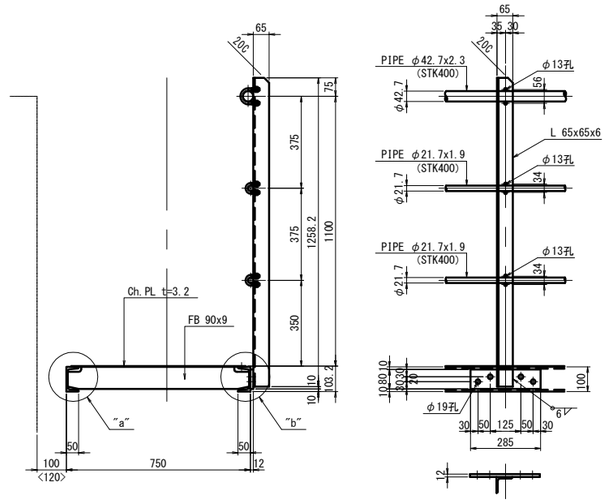


B－B

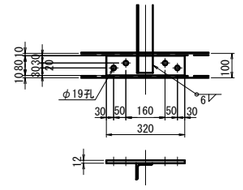


歩廊断面及び構造詳細(爪先板無し)

端部

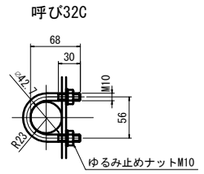


中間部

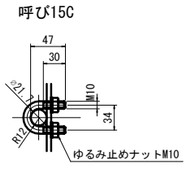


Uボルト詳細　縮尺=1:7.5

呼び32C

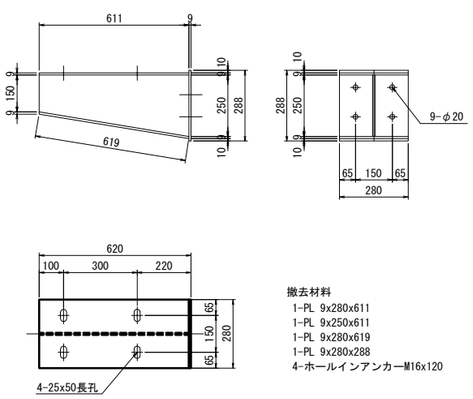


呼び15C



ブラケット(撤去)

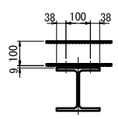
AK-1A,AK-5,AK-8(8箇所)



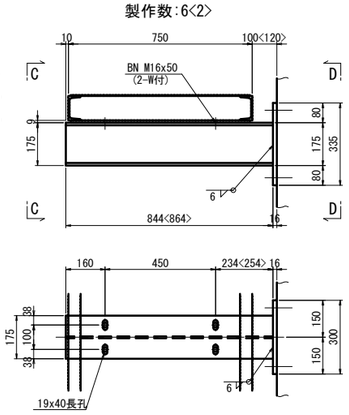
撤去材料
1-PL 9x280x611
1-PL 9x250x611
1-PL 9x280x619
1-PL 9x280x288
4-ホールインアンカーM16x120

ブラケット(新設)

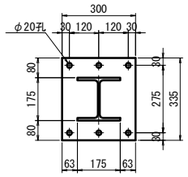
C－C



BR1 〈BR2〉
製作数:6〈2〉

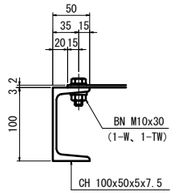


D－D

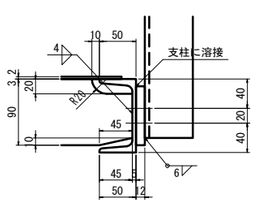


1－H 175 x 175 x 7.5 x 11 x 844〈864〉
1－BASE PL 335 x 16 x 300(SM400A)
4－BN M16 x 50(2-W付)
6－打込式アンカー M16 x 125 (ゆるみ止めナット付き)

"a"部詳細　縮尺=1:7.5

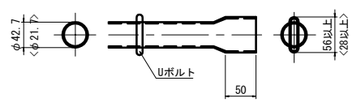


"b"部詳細　縮尺=1:7.5

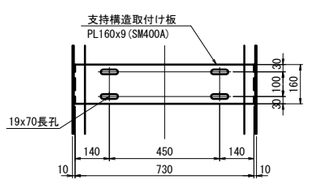


手摺端部抜け落ち防止加工詳細　縮尺=1:25

支柱2本で手摺りを固定する箇所のみ
図面中は☆印で示す



支持構造取付け板詳細図

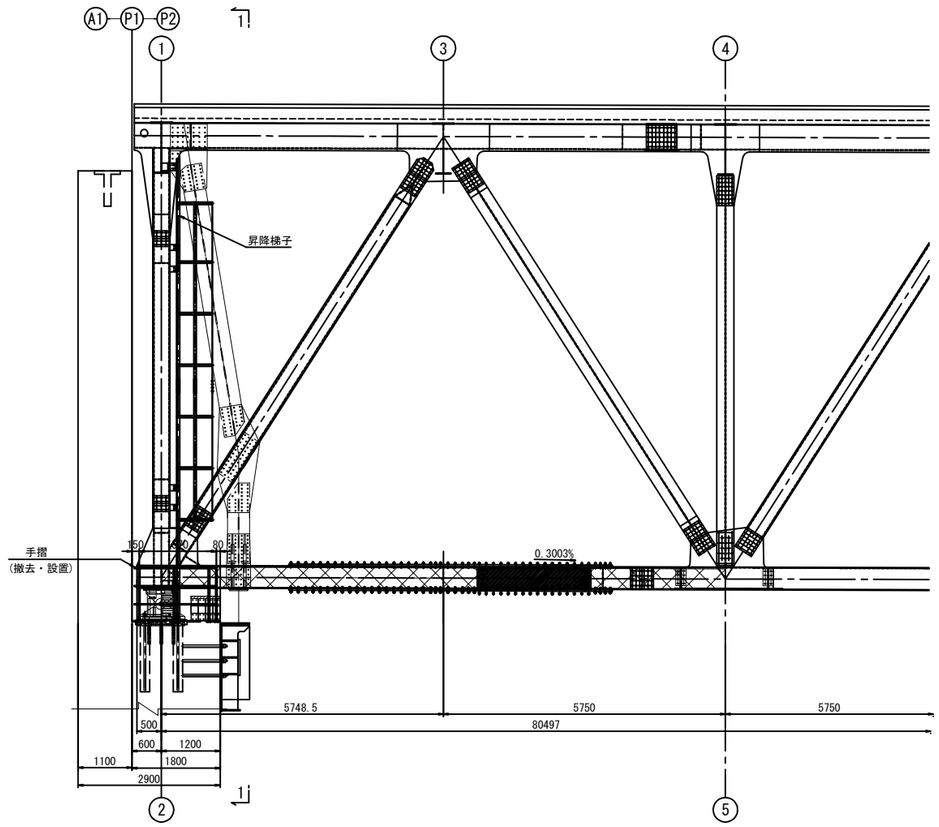


注　記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとし、
規格はJIS H8641 HDZT77 とする。
但し、パイプ、ボルト、ナット、ワッシャーは
JIS H8641 HDZT49 とする。
3. ナットは全てUナットとする。

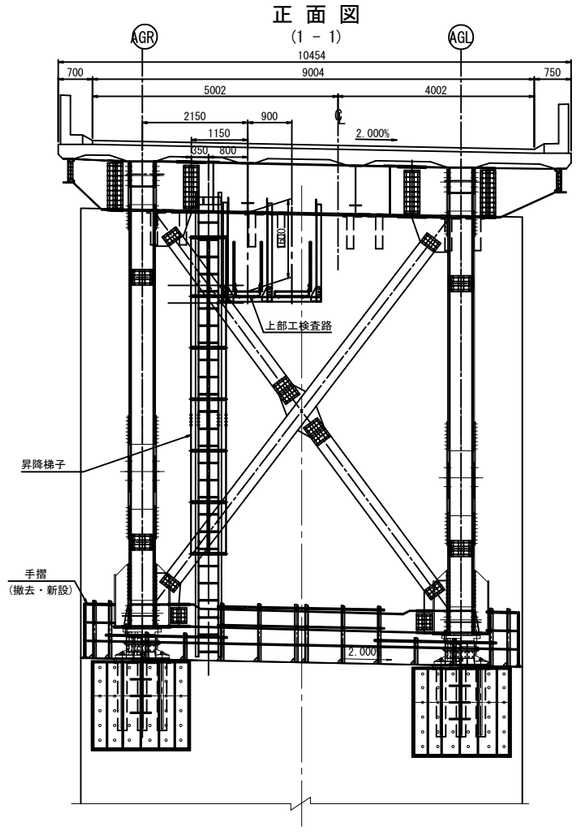
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P1橋脚(起点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その3)		
縮　尺	図　示	図面番号	187 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

数沢川橋(上り線) P1橋脚(終点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その1)　縮尺=1:125

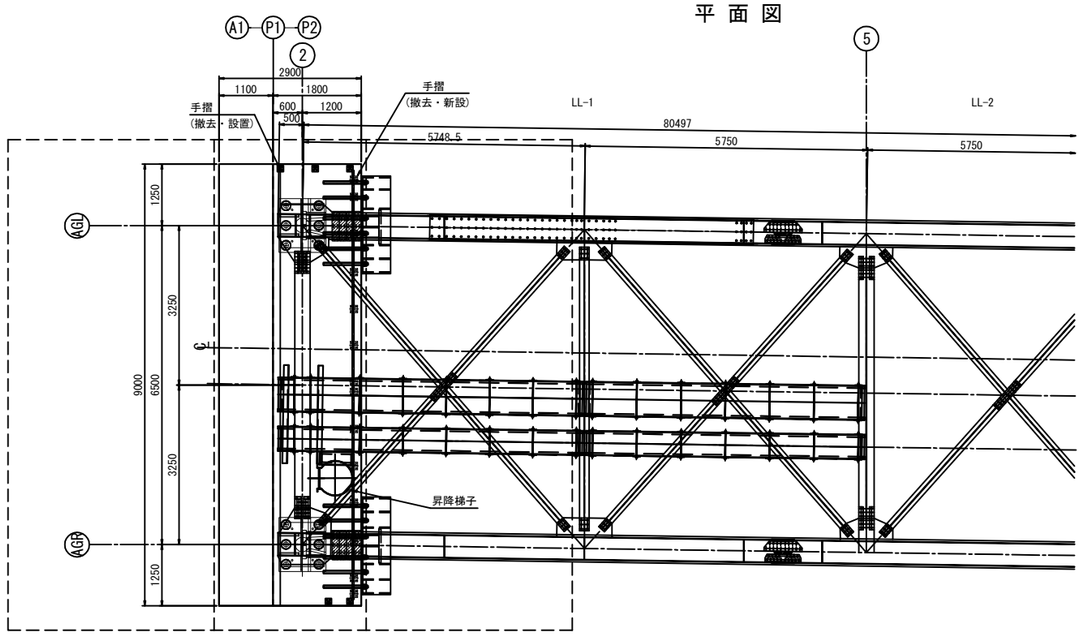
側面図



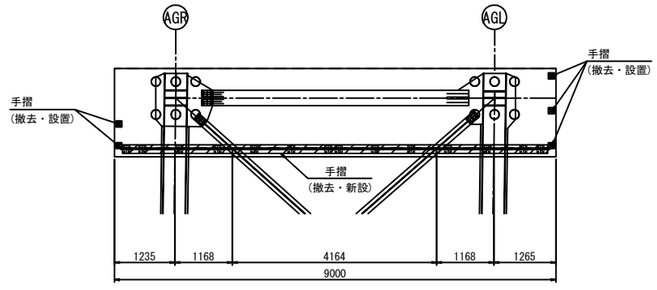
正面図
(1 - 1)



平面図



平面図



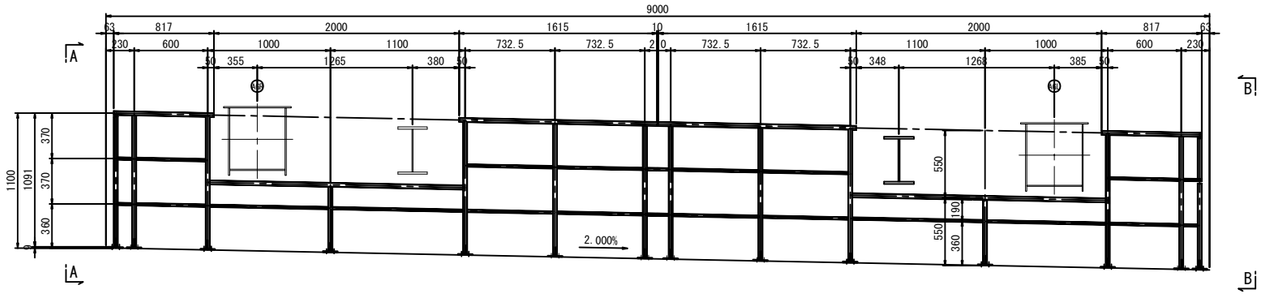
注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P1橋脚(終点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その1)		
縮　尺	1:125	図面番号	188 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

数沢川橋(上り線) P1橋脚(終点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その2)　縮尺=1:50

検査用手摺詳細図

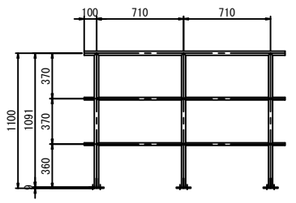
検査用手摺(撤去)



撤去材料
2-SGP 25Ax811
2-SGP 25Ax2100
2-SGP 25Ax1609
10-SGP 25Ax1091
2-SGP 25Ax541
4-SGP 15Ax 151
4-SGP 15Ax 574
2-SGP 15Ax 974
2-SGP 15Ax1074
8-SGP 15Ax 707
4-SGP 15Ax 84

12-Base PL 120x9x120
12-Rib PL 30x6x 70
48-Hole in Anchor M16x120
8-PL φ34 x3.2
8-PL φ21.7x3.2

A － A

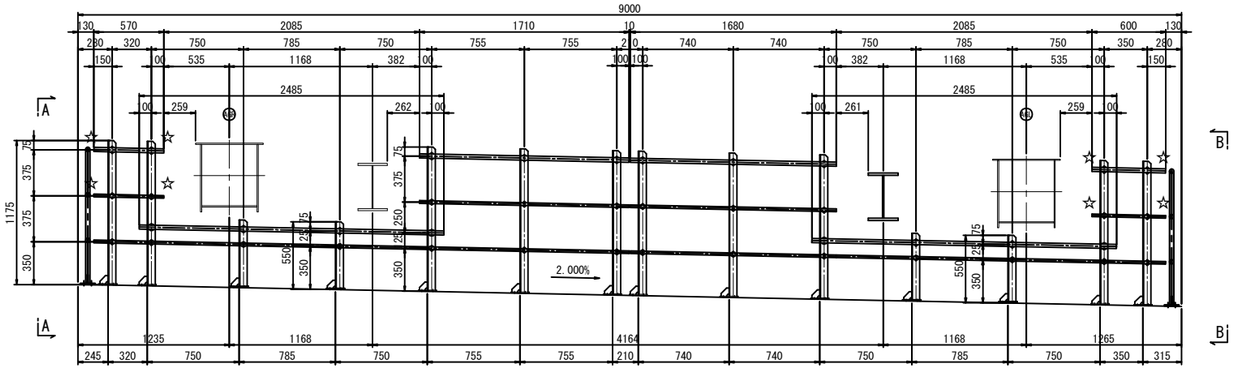


撤去・設置材料
1-SGP 25Ax1637
3-SGP 25Ax1091
2-SGP 15Ax 84
4-SGP 15Ax 684
2-SGP 15Ax 107
3-Base PL 120x9x120
3-Rib PL 30x6x 70
2-PL φ34 x3.2
4-PL φ21.7x3.2

撤去材料
12-Hole in Anchor M16x120

撤去・新設材料
12-Hole in Anchor M16x120

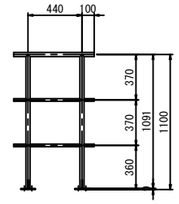
検査用手摺(新設)



新設材料
1-Pipe φ34x2.3x 570 (STK400)
1-Pipe φ34x2.3x2486 (STK400)
1-Pipe φ34x2.3x1710 (STK400)
1-Pipe φ21.7x1.9x 570(STK400)
1-Pipe φ21.7x1.9x4366(STK400)
1-Pipe φ21.7x1.9x1710(STK400)
5-L 65x65x6x1166
2-L 65x65x6x 541
7-RIB PL 65x6x65(SM400A)
7-BASE PL 150x9x150(SM400A)
28-打ち込み式アンカー M16x125
9-Uボルト 呼び 25C
12-Uボルト 呼び 15C

1-Pipe φ34x2.3x 600 (STK400)
1-Pipe φ34x2.3x2486 (STK400)
1-Pipe φ34x2.3x1680 (STK400)
1-Pipe φ21.7x1.9x 600(STK400)
1-Pipe φ21.7x1.9x4366(STK400)
1-Pipe φ21.7x1.9x1680(STK400)
5-L 65x65x6x1166
2-L 65x65x6x 541
7-RIB PL 65x6x65(SM400A)
7-BASE PL 150x9x150(SM400A)
28-打ち込み式アンカー M16x125
9-Uボルト 呼び 25C
12-Uボルト 呼び 15C

B － B



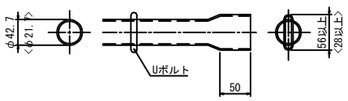
撤去・設置材料
1-SGP 25Ax 657
2-SGP 25Ax1091
2-SGP 15Ax 84
2-SGP 15Ax 414
2-SGP 15Ax 107
2-Base PL 120x9x120
2-Rib PL 30x6x 70
2-PL φ34 x3.2
2-PL φ21.7x3.2

撤去材料
8-Hole in Anchor M16x120

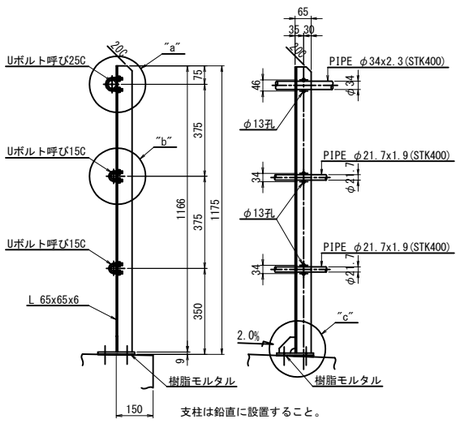
撤去・新設材料
8-Hole in Anchor M16x120

手摺端部抜け落ち防止加工詳細　縮尺=1:25

支柱2本で手摺りを固定する箇所のみ
図面中は☆印で示す

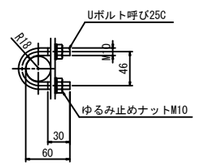


転落防止柵詳細　縮尺=1:25

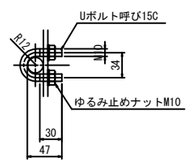


支柱は鉛直に設置すること。

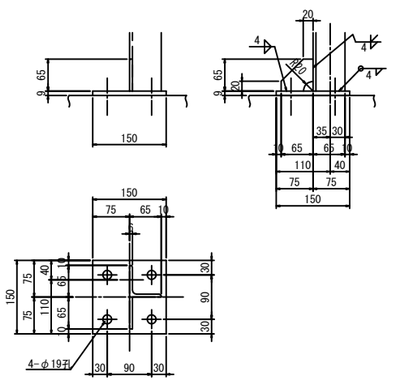
"a"部詳細　縮尺=1:7.5



"b"部詳細　縮尺=1:7.5



"c"部詳細　縮尺=1:12.5

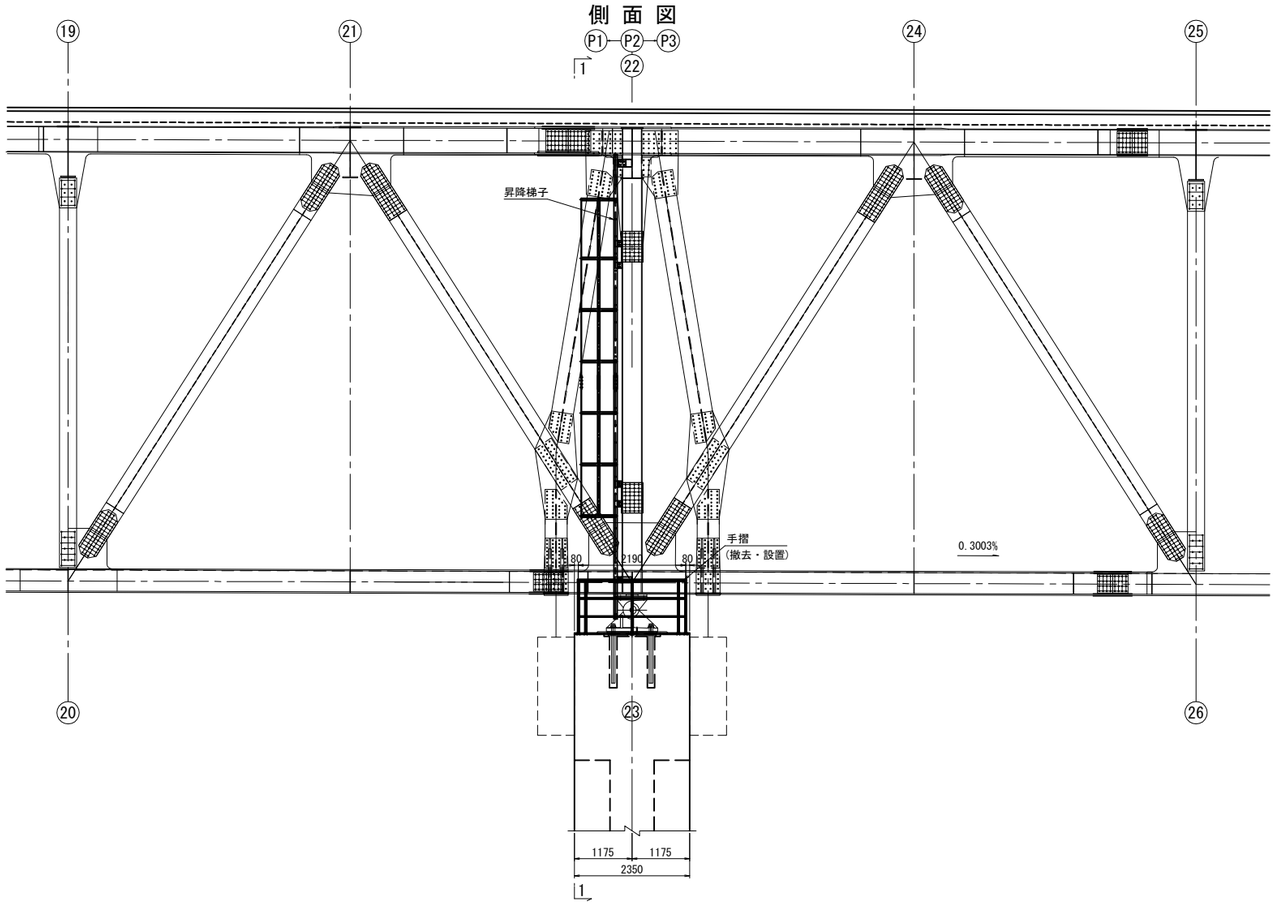


注　記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとし、
　規格はJIS H8641 HDZT77 とする。
　但し、パイプ、ボルト、ナット、ワッシャーは
　JIS H8641 HDZT49 とする。
3. ナットは全てUナットとする。

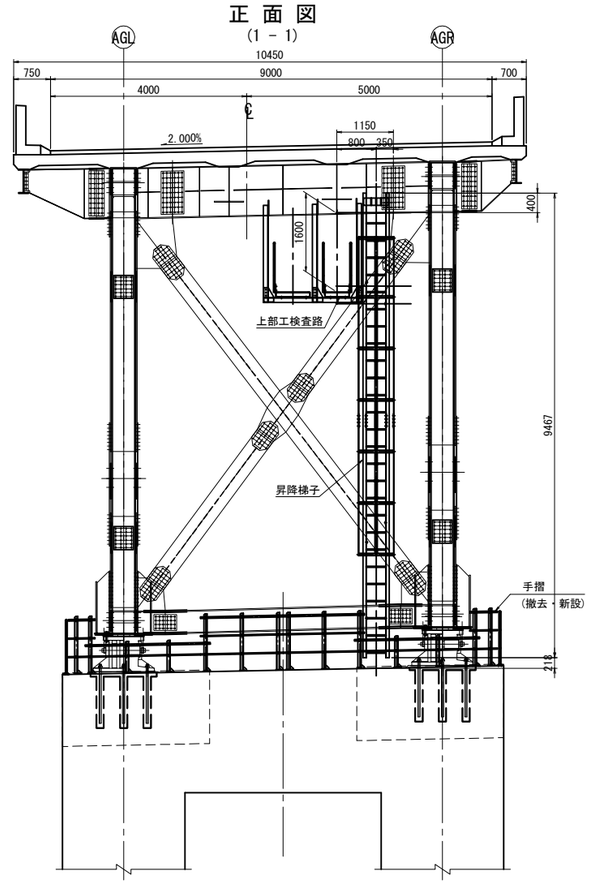
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P1橋脚(終点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その2)		
縮　尺	図　示	図面番号	189 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

数沢川橋(上り線) P2橋脚 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その1)　縮尺=1:125

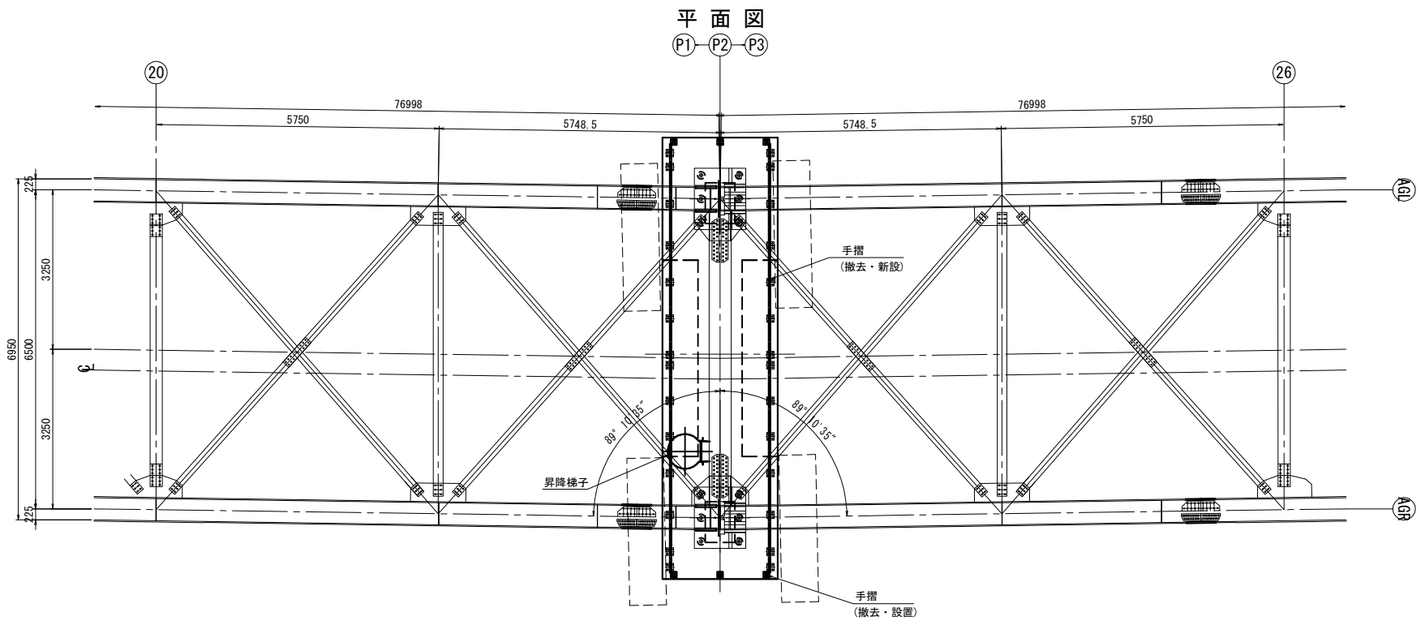
側面図



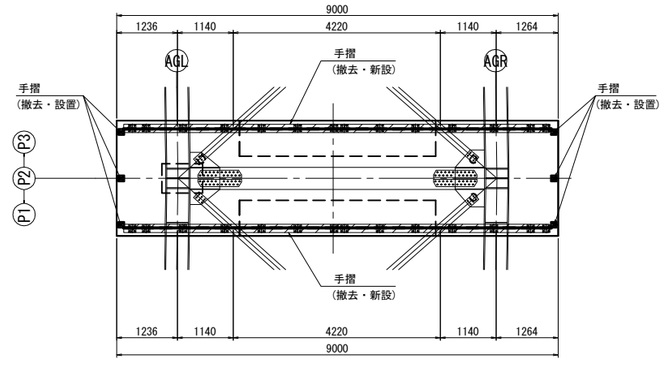
正面図
(1 - 1)



平面図



平面図



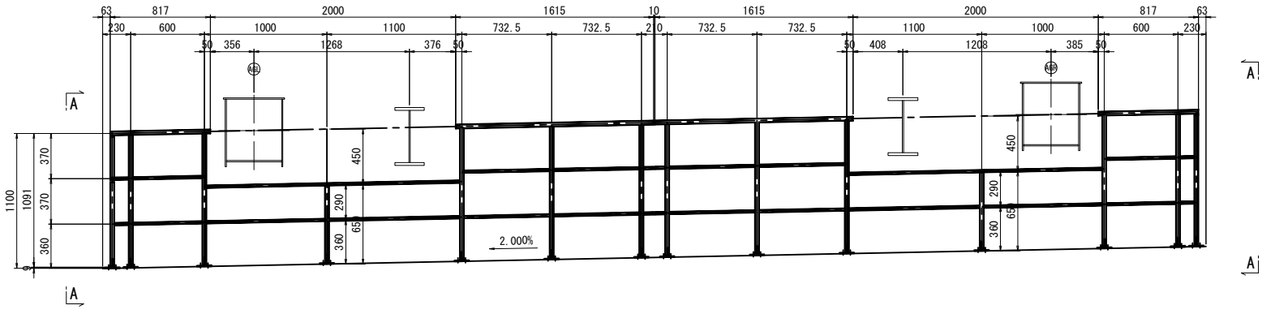
注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。

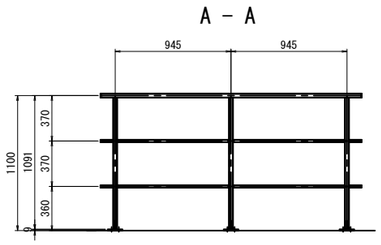
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P2橋脚 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その1)		
縮　尺	1:125	図面番号	190 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

数沢川橋(上り線) P2橋脚 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その2)　縮尺=1:50

検査用手摺詳細図

検査用手摺(撤去)





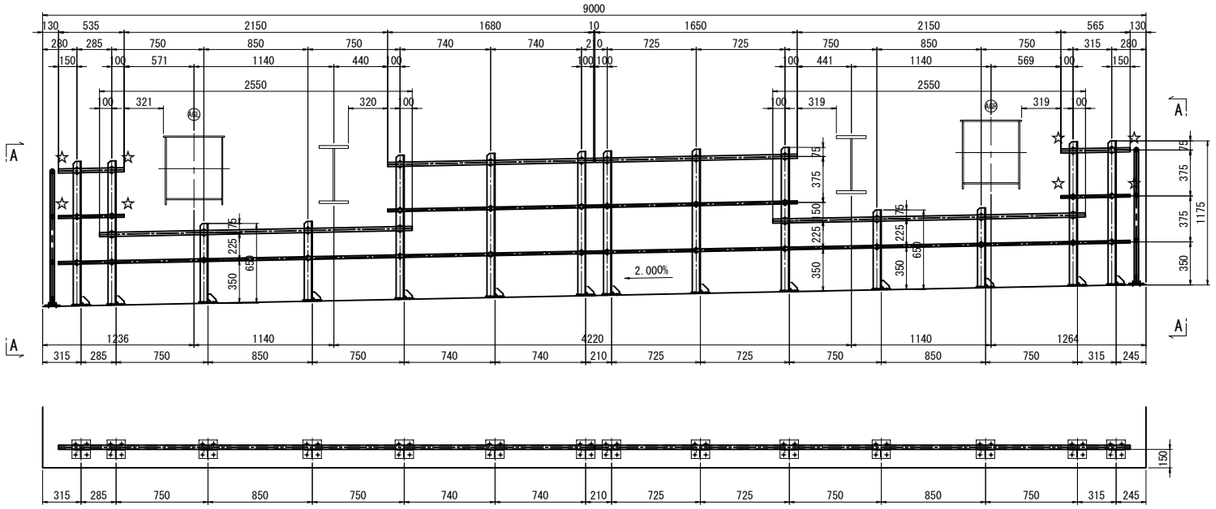
撤去・設置材料
- 2-SGP 25Ax2130
- 6-SGP 25Ax1091
- 8-SGP 15Ax107
- 8-SGP 15Ax919
- 6-Base PL 120x9x120
- 6-Rib PL 30x6x 70
- 4-PL φ34 x3.2
- 8-PL φ21.7x3.2

撤去材料
- 24-Hole in Anchor M16x120

撤去・新設材料
- 24-Hole in Anchor M16x120

撤去材料
- 4-SGP 25Ax811
- 4-SGP 25Ax2100
- 4-SGP 25Ax1609
- 20-SGP 25Ax1091
- 4-SGP 25Ax641
- 8-SGP 15Ax151
- 8-SGP 15Ax574
- 4-SGP 15Ax974
- 4-SGP 15Ax1074
- 16-SGP 15Ax707
- 8-SGP 15Ax84
- 24-Base PL 120x9x120
- 24-Rib PL 30x6x 70
- 96-Hole in Anchor M16x120
- 16-PL φ34 x3.2
- 16-PL φ21.7x3.2

検査用手摺(新設)

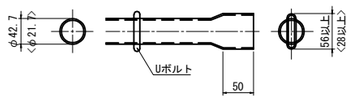


新設材料(2箇所)
- 1-Pipe φ34x2.3x 535 (STK400)
- 1-Pipe φ34x2.3x2551 (STK400)
- 1-Pipe φ34x2.3x1680 (STK400)
- 1-Pipe φ21.7x1.9x 535(STK400)
- 1-Pipe φ21.7x1.9x4366(STK400)
- 1-Pipe φ21.7x1.9x1680(STK400)
- 5-L 65x65x6x1166
- 2-L 65x65x6x 641
- 7-RIB PL 65x6x65(SM400A)
- 7-BASE PL 150x9x150(SM400A)
- 28-打ち込み式アンカー M16x125
- 9-Uボルト 呼び 25C
- 12-Uボルト 呼び 15C

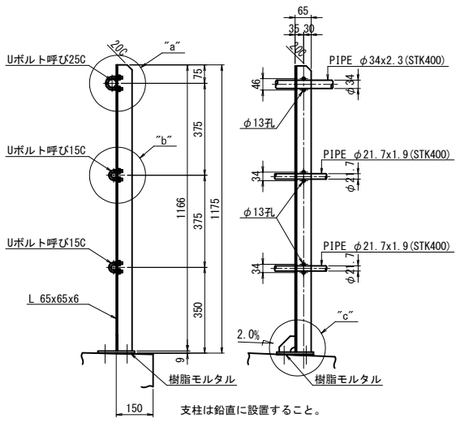
新設材料(2箇所)
- 1-Pipe φ34x2.3x 565 (STK400)
- 1-Pipe φ34x2.3x2551 (STK400)
- 1-Pipe φ34x2.3x1650 (STK400)
- 1-Pipe φ21.7x1.9x 565(STK400)
- 1-Pipe φ21.7x1.9x4366(STK400)
- 1-Pipe φ21.7x1.9x1650(STK400)
- 5-L 65x65x6x1166
- 2-L 65x65x6x 641
- 7-RIB PL 65x6x65(SM400A)
- 7-BASE PL 150x9x150(SM400A)
- 28-打ち込み式アンカー M16x125
- 9-Uボルト 呼び 25C
- 12-Uボルト 呼び 15C

手摺端部抜け落ち防止加工詳細　縮尺=1:25

支柱2本で手摺りを固定する箇所のみ
図面中は☆印で示す

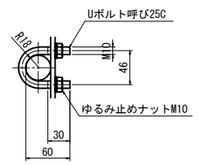


転落防止柵詳細　縮尺=1:25

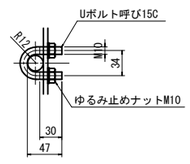


支柱は鉛直に設置すること。

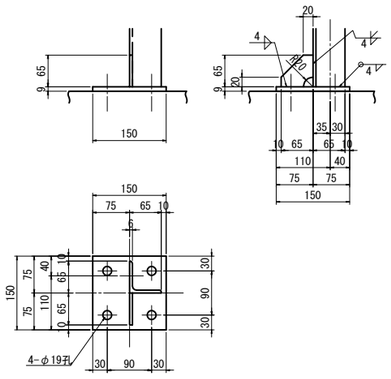
"a"部詳細　縮尺=1:7.5



"b"部詳細　縮尺=1:7.5



"c"部詳細　縮尺=1:12.5



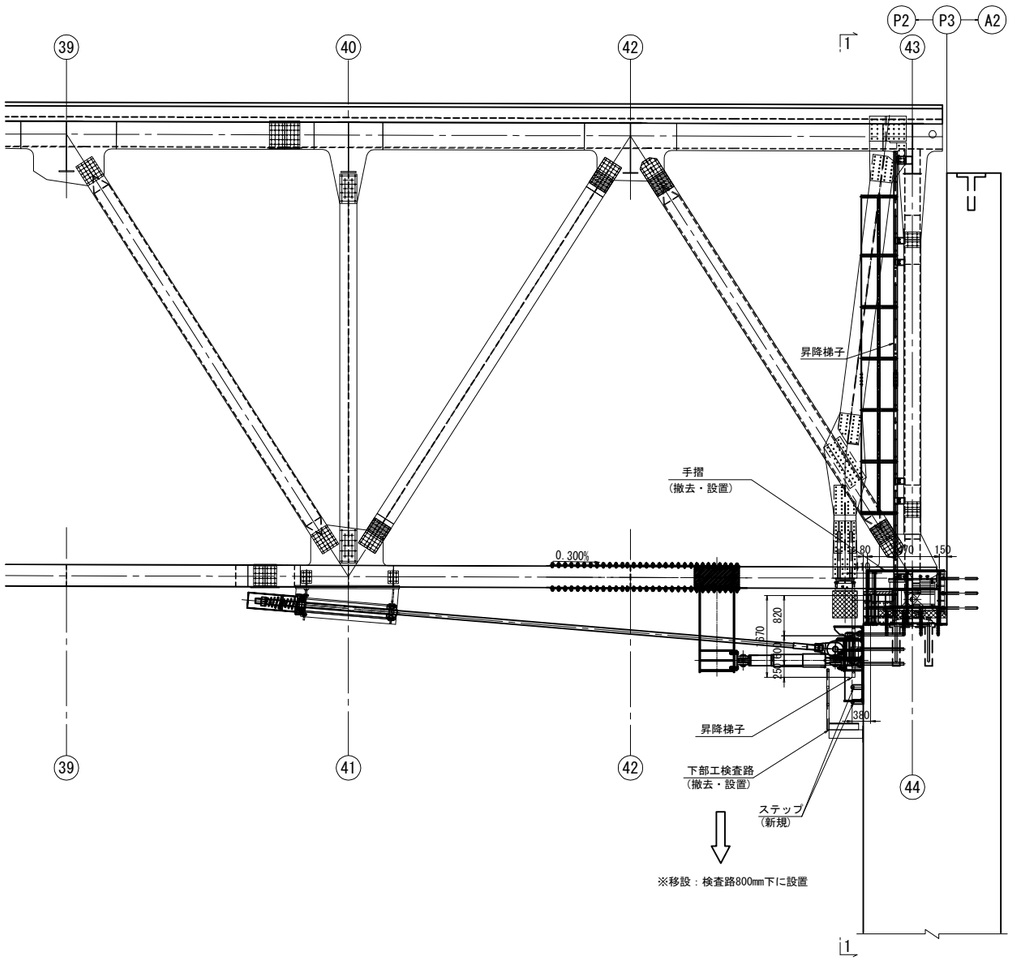
注　記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとし、
   規格はJIS H8641 HDZT77 とする。
   但し、パイプ、ボルト、ナット、ワッシャーは
   JIS H8641 HDZT49 とする。
3. ナットは全てUナットとする。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P2橋脚 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その2)		
縮　尺	図　示	図面番号	191 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

数沢川橋(上り線) P3橋脚(起点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その1)

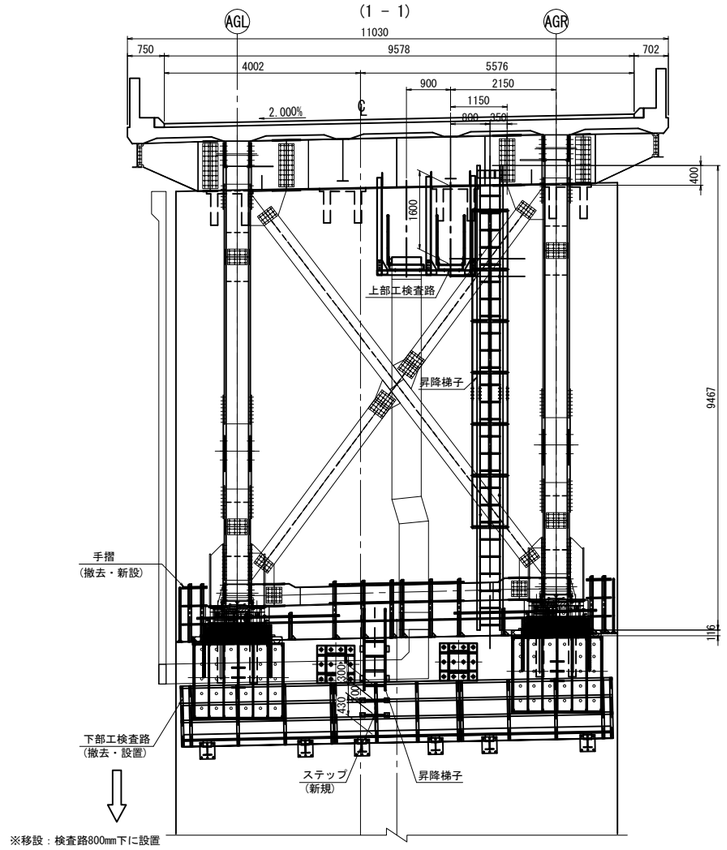
縮尺=1:125

側面図

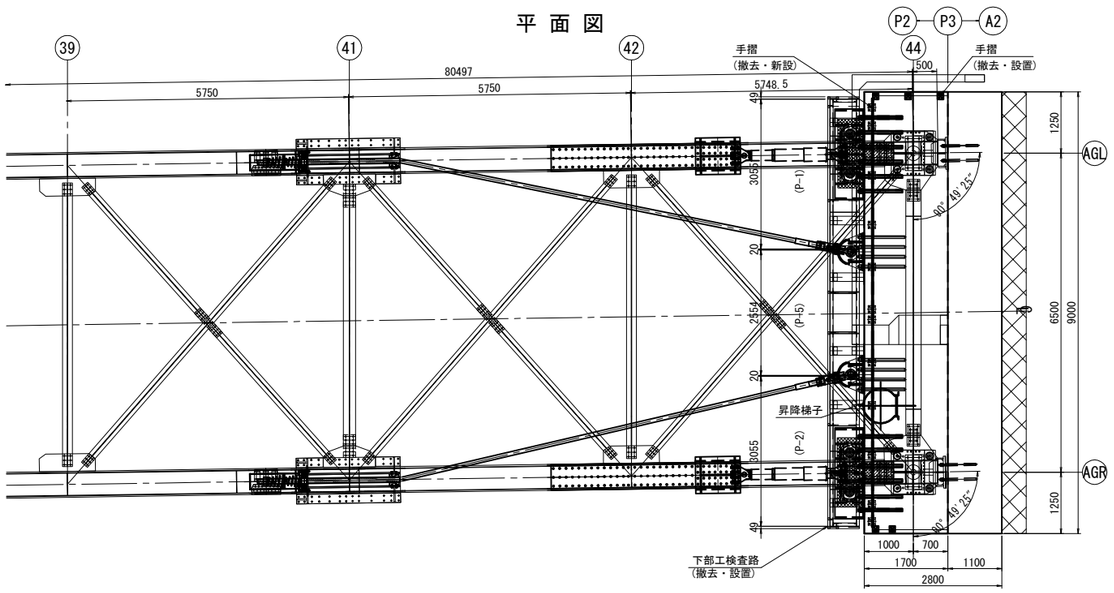


正面図

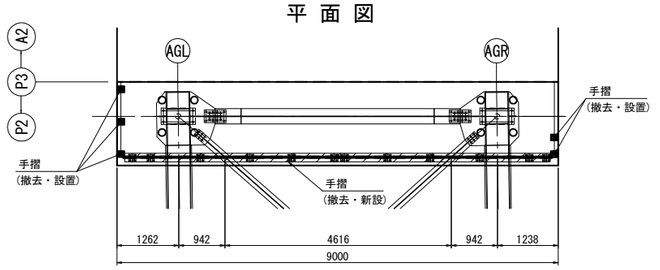
(1 - 1)



平面図



平面図



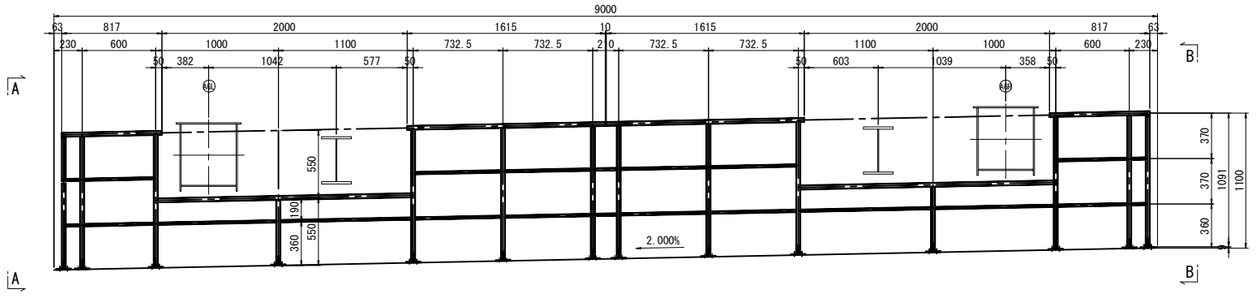
注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P3橋脚(起点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その1)		
縮　尺	1:125	図面番号	192 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

数沢川橋(上り線) P3橋脚(起点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その2)　縮尺=1:50

検査用手摺詳細図

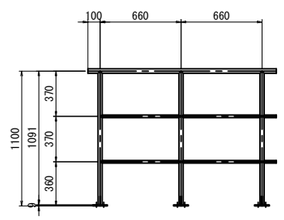
検査用手摺(撤去)



撤去材料
2-SGP 25Ax811
2-SGP 25Ax2100
2-SGP 25Ax1609
10-SGP 25Ax1091
2-SGP 25Ax541
4-SGP 15Ax 151
4-SGP 15Ax 574
2-SGP 15Ax 974
2-SGP 15Ax1074
8-SGP 15Ax 707
4-SGP 15Ax 84

12-Base PL 120x9x120
12-Rib PL 30x6x 70
48-Hole in Anchor M16x120
8-PL φ34 x3.2
8-PL φ21.7x3.2

A － A

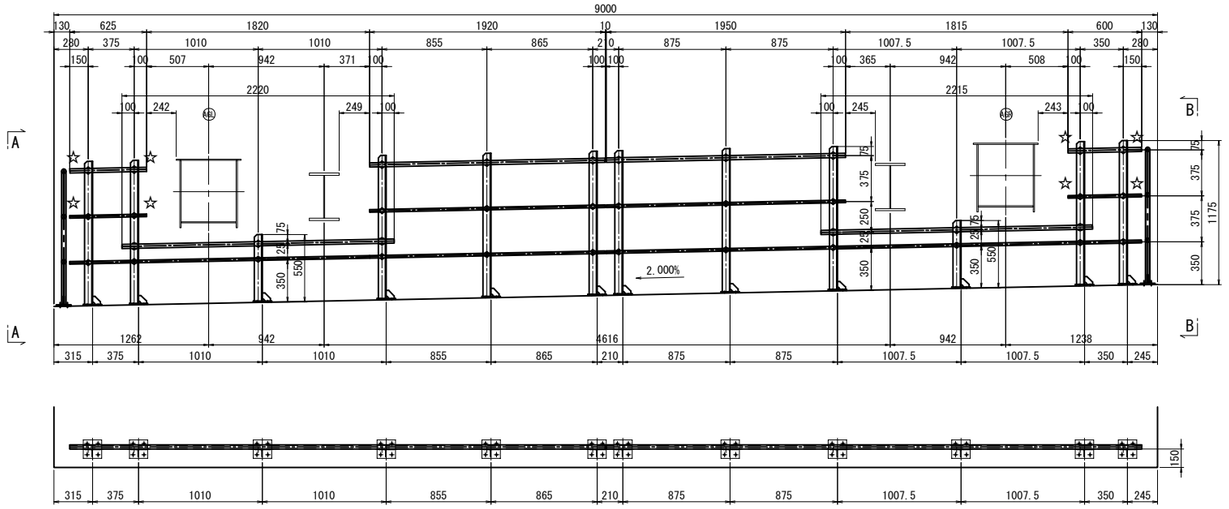


撤去・設置材料
1-SGP 25Ax1537
3-SGP 25Ax1091
2-SGP 15Ax 84
4-SGP 15Ax 634
2-SGP 15Ax 107
3-Base PL 120x9x120
3-Rib PL 30x6x 70
2-PL φ34 x3.2
2-PL φ21.7x3.2

撤去材料
12-Hole in Anchor M16x120

撤去・新設材料
12-Hole in Anchor M16x120

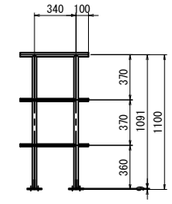
検査用手摺(新設)



新設材料
1-Pipe φ34x2.3x 625 (STK400)
1-Pipe φ34x2.3x2221 (STK400)
1-Pipe φ34x2.3x1920 (STK400)
1-Pipe φ21.7x1.9x 625(STK400)
1-Pipe φ21.7x1.9x4366(STK400)
1-Pipe φ21.7x1.9x1920(STK400)
5-L 65x65x6x1166
1-L 65x65x6x 541
6-RIB PL 65x6x65(SM400A)
6-BASE PL 150x9x150(SM400A)
24-打ち込み式アンカー M16x125
8-Uボルト 呼び 25C
11-Uボルト 呼び 15C

新設材料
1-Pipe φ34x2.3x 600 (STK400)
1-Pipe φ34x2.3x2215 (STK400)
1-Pipe φ34x2.3x1950 (STK400)
1-Pipe φ21.7x1.9x 600(STK400)
1-Pipe φ21.7x1.9x4366(STK400)
1-Pipe φ21.7x1.9x1950(STK400)
5-L 65x65x6x1166
1-L 65x65x6x 541
6-RIB PL 65x6x65(SM400A)
6-BASE PL 150x9x150(SM400A)
24-打ち込み式アンカー M16x125
8-Uボルト 呼び 25C
11-Uボルト 呼び 15C

B － B



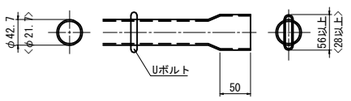
撤去・設置材料
1-SGP 25Ax 557
2-SGP 25Ax1091
2-SGP 15Ax 84
2-SGP 15Ax 314
2-SGP 15Ax 107
2-Base PL 120x9x120
2-Rib PL 30x6x 70
2-PL φ34 x3.2
2-PL φ21.7x3.2

撤去材料
8-Hole in Anchor M16x120

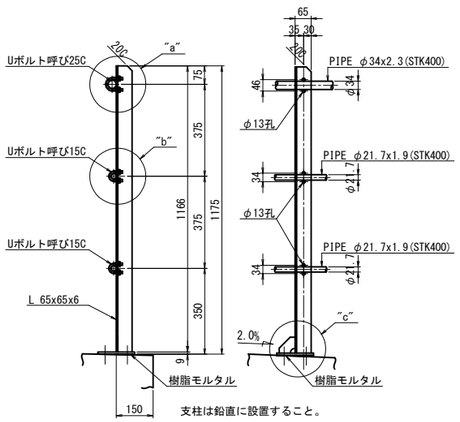
撤去・新設材料
8-Hole in Anchor M16x120

手摺端部抜け落ち防止加工詳細　縮尺=1:25

支柱2本で手摺りを固定する箇所のみ
図面中は☆印で示す

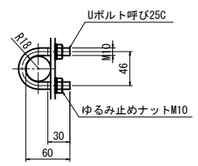


転落防止柵詳細　縮尺=1:25

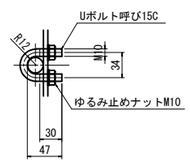


支柱は鉛直に設置すること。

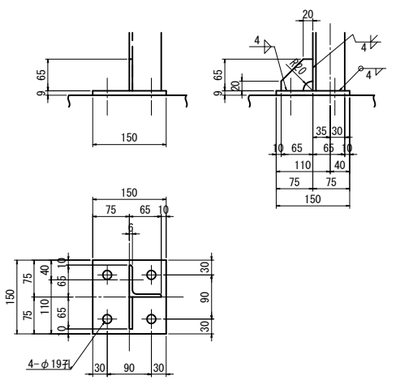
"a"部詳細　縮尺=1:7.5



"b"部詳細　縮尺=1:7.5



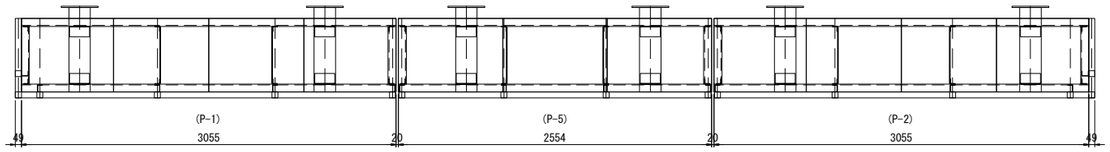
"c"部詳細　縮尺=1:12.5

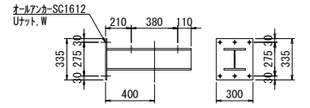


注　記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとし、
規格はJIS H8641 HDZT77 とする。
但し、パイプ、ボルト、ナット、ワッシャーは
JIS H8641 HDZT49 とする。
3. ナットは全てUナットとする。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P3橋脚(起点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その2)		
縮　尺	図　示	図面番号	193 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

数沢川橋(上り線) P3橋脚(起点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その3)　縮尺=1:50





ブラケット (6箇所)

撤去・設置材料
- 1-H 175x175x8x12x688 (SUS304)
- 1-PL 300x12x335 (SUS304)
- 4-六角M16x50,Uﾅｯﾄ,2W (SUS304)

撤去材料
- 6-ｵｰﾙｱﾝｶｰ SC1612,Uﾅｯﾄ,W (SUS304)

新設材料
- 6-ｵｰﾙｱﾝｶｰ SC1612,Uﾅｯﾄ,W (SUS304)

下部工ＦＲＰ検査路 P-1(1箇所)

撤去・設置材料
- 1 - [125 x 65 x 7.5 x 3055 (FRP) 主桁
- 1 - [125 x 65 x 7.5 x 2990 (FRP) 主桁
- 1 - [125 x 65 x 7.5 x 535 (FRP) 横桁
- 1 - [125 x 65 x 7.5 x 470 (FRP) 横桁
- 2 - FB100 x 6 x 470 (FRP) 補強板
- 1 - FB100 x 6 x 3052 (FRP) 爪先板
- 1 - FB100 x 6 x 589 (FRP) 爪先板
- 2 - UB15t - 600 x 774.5 (FRP) 床板
- 2 - UB15t - 600 x 750 (FRP) 床板
- 1 - □49 x 4 x 3003 (FRP) 手摺
- 1 - □49 x 4 x 551 (FRP) 手摺
- 6 - □49 x 4 x 910 (FRP) 水平材
- 2 - □49 x 4 x 376 (FRP) 水平材
- 4 - □49 x 4 x 126 (FRP) 水平材
- 6 - □49 x 4 x 1191 (FRP) 支柱
- 6 - □40 x 6 x 600 (FRP) 支柱下部補強
- 6 - □40 x 6 x 85 (FRP) T字ジョイント
- 4 - □40 x 6 x 129 (FRP) 十字ジョイント
- 5 - □49用 (FRP) エンドコネクタ

- 4 - PL6 x 125 x 85 x 163 (SUS304) 固定ブラケット
- 16 - 六角M10 x 30BT , Uﾅｯﾄ , 2W (SUS304)
- 8 - L50 x 50 x 3 x 100 (SUS304) 取付ブラケット
- 6 - [49 x 57.5 x 3 x 100 (SUS304) 支柱ブラケット
- 4 - PL2 x 139 x 169 (SUS304) 手摺補強PL
- 4 - PL2 x 48 x 84.5 (SUS304) (端部)連結PL
- 8 - PL2 x 48 x 121 (SUS304) (中央部)連結PL
- 8 - トラスM 8x65BT,Uﾅｯﾄ (SUS304) 手摺補強PL取付用
- 16 - トラスM10x40BT,Uﾅｯﾄ,W (SUS304) 床板取付用
- 16 - 六角M 6 x 65BT ,Uﾅｯﾄ , 2W (SUS304) 連結PL取付用
- 38 - 六角M10 x 30BT , Uﾅｯﾄ , 2W (SUS304) 支柱・取付ﾌﾞﾗｹｯﾄ取付用
- 18 - 六角M10 x 70BT , Uﾅｯﾄ , 2W (SUS304) 支柱,爪先板取付用
- 48 - ナイロンリベット(短) (PA)
- 12 - ナイロンリベット(長) (PA)

下部工ＦＲＰ検査路 P-5(1箇所)

撤去・設置材料
- 2 - [125 x 65 x 7.5 x 2554 (FRP) 主桁
- 2 - [125 x 65 x 7.5 x 470 (FRP) 横桁
- 2 - FB100 x 6 x 470 (FRP) 補強板
- 1 - FB100 x 6 x 2548 (FRP) 爪先板
- 3 - UB15t - 600 x 850 (FRP) 床板
- 1 - □49 x 4 x 2450 (FRP) 手摺
- 6 - □49 x 4 x 784 (FRP) 水平材
- 4 - □49 x 4 x 1191 (FRP) 支柱
- 4 - □40 x 6 x 600 (FRP) 支柱下部補強
- 4 - □40 x 6 x 85 (FRP) T字ジョイント
- 2 - □40 x 6 x 129 (FRP) 十字ジョイント
- 2 - □49用 (FRP) エンドコネクタ

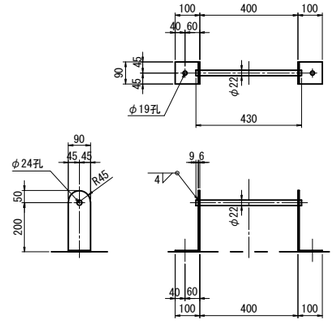
- 4 - PL6 x 125 x 85 x 163 (SUS304) 固定ブラケット
- 16 - 六角M10 x 30BT , Uﾅｯﾄ , 2W (SUS304)
- 8 - L50 x 50 x 3 x 100 (SUS304) 取付ブラケット
- 4 - [49 x 57.5 x 3 x 100 (SUS304) 支柱ブラケット
- 4 - PL2 x 139 x 169 (SUS304) 手摺補強PL
- 4 - PL2 x 48 x 84.5 (SUS304) (端部)連結PL
- 8 - トラスM 8x65BT,Uﾅｯﾄ (SUS304) 手摺補強PL取付用
- 16 - トラスM10x40BT,Uﾅｯﾄ,W (SUS304) 床板取付用
- 10 - 六角M 6 x 65BT ,Uﾅｯﾄ , 2W (SUS304) 連結PL取付用
- 32 - 六角M10 x 30BT , Uﾅｯﾄ , 2W (SUS304) 支柱・取付ﾌﾞﾗｹｯﾄ取付用
- 12 - 六角M10 x 70BT , Uﾅｯﾄ , 2W (SUS304) 支柱,爪先板取付用
- 28 - ナイロンリベット(短) (PA)

下部工ＦＲＰ検査路 P-2(1箇所)

撤去・設置材料
- 1 - [125 x 65 x 7.5 x 3055 (FRP) 主桁
- 1 - [125 x 65 x 7.5 x 2990 (FRP) 主桁
- 1 - [125 x 65 x 7.5 x 535 (FRP) 横桁
- 1 - [125 x 65 x 7.5 x 470 (FRP) 横桁
- 2 - FB100 x 6 x 470 (FRP) 補強板
- 1 - FB100 x 6 x 3052 (FRP) 爪先板
- 1 - FB100 x 6 x 589 (FRP) 爪先板
- 2 - UB15t - 600 x 774.5 (FRP) 床板
- 2 - UB15t - 600 x 750 (FRP) 床板
- 1 - □49 x 4 x 3003 (FRP) 手摺
- 1 - □49 x 4 x 551 (FRP) 手摺
- 6 - □49 x 4 x 910 (FRP) 水平材
- 2 - □49 x 4 x 376 (FRP) 水平材
- 4 - □49 x 4 x 126 (FRP) 水平材
- 6 - □49 x 4 x 1191 (FRP) 支柱
- 6 - □40 x 6 x 600 (FRP) 支柱下部補強
- 6 - □40 x 6 x 85 (FRP) T字ジョイント
- 4 - □40 x 6 x 129 (FRP) 十字ジョイント
- 5 - □49用 (FRP) エンドコネクタ

- 4 - PL6 x 125 x 85 x 163 (SUS304) 固定ブラケット
- 16 - 六角M10 x 30BT , Uﾅｯﾄ , 2W (SUS304)
- 8 - L50 x 50 x 3 x 100 (SUS304) 取付ブラケット
- 6 - [49 x 57.5 x 3 x 100 (SUS304) 支柱ブラケット
- 4 - PL2 x 139 x 169 (SUS304) 手摺補強PL
- 4 - PL2 x 48 x 84.5 (SUS304) (端部)連結PL
- 8 - PL2 x 48 x 121 (SUS304) (中央部)連結PL
- 8 - トラスM 8x65BT,Uﾅｯﾄ (SUS304) 手摺補強PL取付用
- 16 - トラスM10x40BT,Uﾅｯﾄ,W (SUS304) 床板取付用
- 16 - 六角M 6 x 65BT ,Uﾅｯﾄ , 2W (SUS304) 連結PL取付用
- 38 - 六角M10 x 30BT , Uﾅｯﾄ , 2W (SUS304) 支柱・取付ﾌﾞﾗｹｯﾄ取付用
- 18 - 六角M10 x 70BT , Uﾅｯﾄ , 2W (SUS304) 支柱,爪先板取付用
- 48 - ナイロンリベット(短) (PA)
- 12 - ナイロンリベット(長) (PA)

ステップ詳細　縮尺=1:25



新設材料(製作数：2)
- 1 - RB φ22 x 430 (SS400)
- 2 - FB 90 x 6 x 350 (SS400)
- 2 - 打込式アンカー M16x125 (ゆるみ止めナット付き)

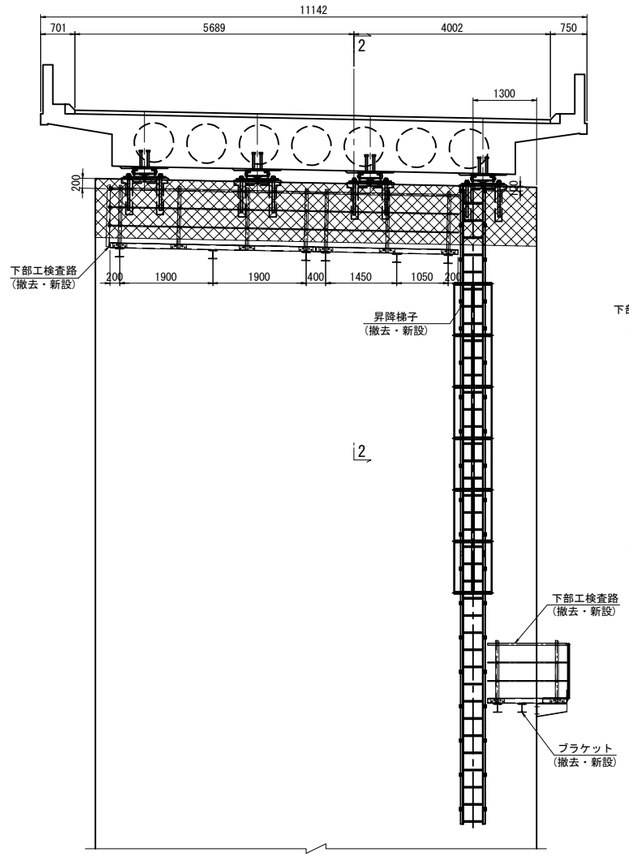
注 記
1. 特記なき材質は、全てFRPとする。
2. ナットは、全て緩み止めナットを使用する。
3. FRP部材は全てフッ素樹脂25μを施す。
   塗膜厚はJIS K 5600-1-7とする。
   色はグレー(N6)相当とする。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P3橋脚(起点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その3)		
縮　尺	図　示	図面番号	194 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

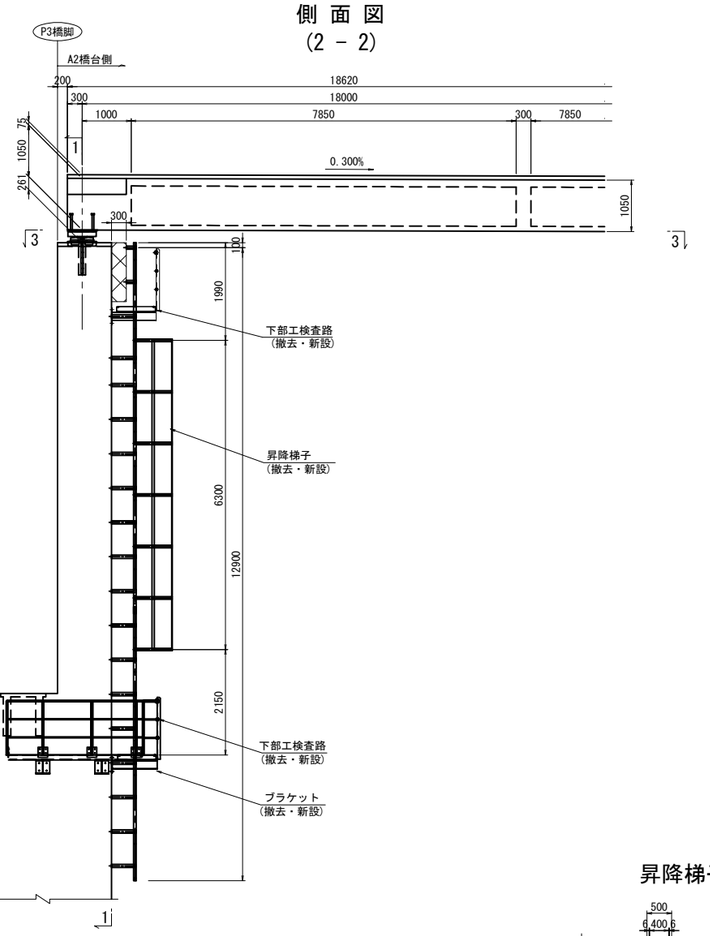
数沢川橋(上り線) P3橋脚(終点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その1)

縮尺=1:125

正面図 (1 - 1)



側面図 (2 - 2)



下部工検査路 AK-1(1箇所)

撤去材料

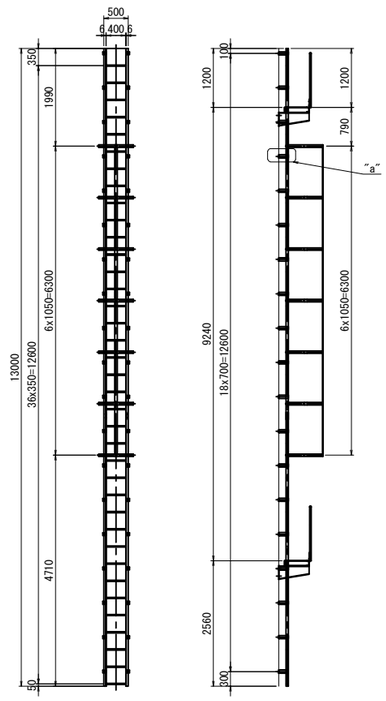
1-SGP 25A x 4773	
6-SGP 25A x 1100	
6-SGP 15A x 987	
2-SGP 15A x 982	
2-SGP 15A x 545	
2-SGP 15A x 164	
6-PL 6x180x200	
2-CH 100x50x5x7.5x4195	
2-CH 100x50x5x7.5x 490	
3-RIB FB 75x6x490	
3-PL 8x250x480	
6-PL 6x200x210	
1-Ch.PL 3.2x480x4195	
12-BN M22x60	
24-BN M16x40	
36-BN M12x30	

下部工検査路 AK-5A(1箇所)

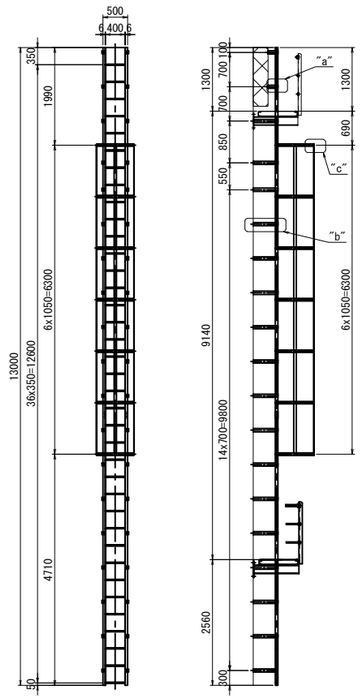
撤去材料

1-SGP 25A x 2770	
4-SGP 25A x 1100	
6-SGP 15A x 877	
4-PL 6x180x200	
2-CH 100x50x5x7.5x2895	
2-CH 100x50x5x7.5x 490	
2-RIB FB 75x6x490	
3-PL 8x250x480	
4-PL 6x200x210	
1-Ch.PL 3.2x480x2895	
12-BN M22x60	
16-BN M16x40	
24-BN M12x30	

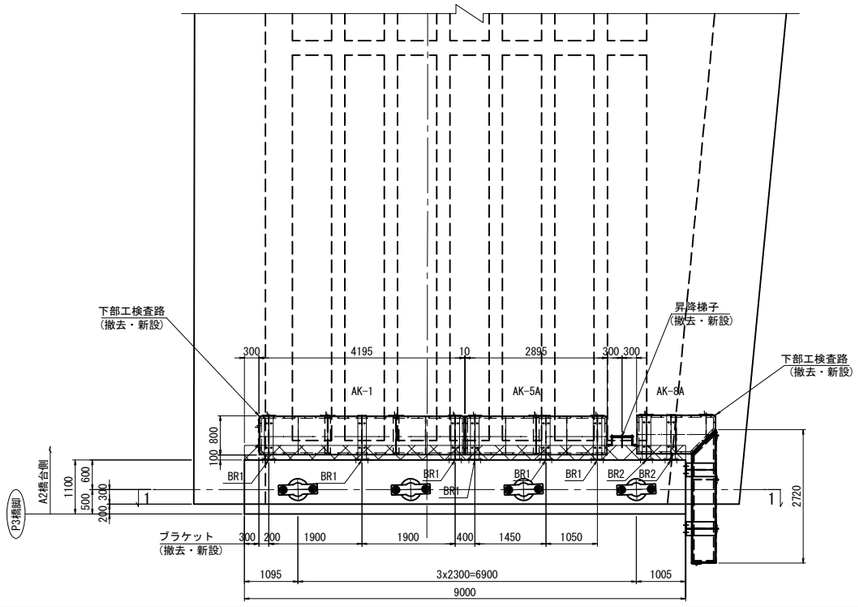
昇降梯子(撤去)



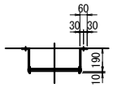
昇降梯子(新設)



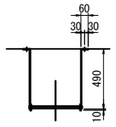
平面図 (3 - 3)



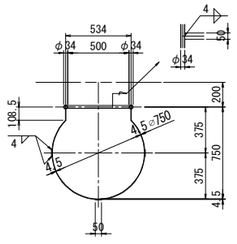
"a"部詳細図　縮尺=1:50



"b"部詳細図　縮尺=1:50



転落防止リング詳細　縮尺=1:50



"c"部詳細図　縮尺=1:25

タラップ

撤去材料

2-FB 50x6x13000	
1-FB 50x6x 265	
4-FB 50x6x 145	
1-FB 50x6x 6350	
7-バンドFB 50x6x1880	
38-FB 60x6x 250	
37-RB φ22x432	
33-BN M16x35	
38-ホールインアンカーM16	

タラップ

新設材料

2-FB 50x6x13000	
1-FB 50x6x 265	
4-FB 50x6x 145	
3-FB 50x6x 6330	
7-バンドFB 50x6x1960	
4-FB 60x6x 250	
34-FB 60x6x 550	
37-RB φ22x432	
33-BN M16x35	
38-ホールインアンカーM16	

注記

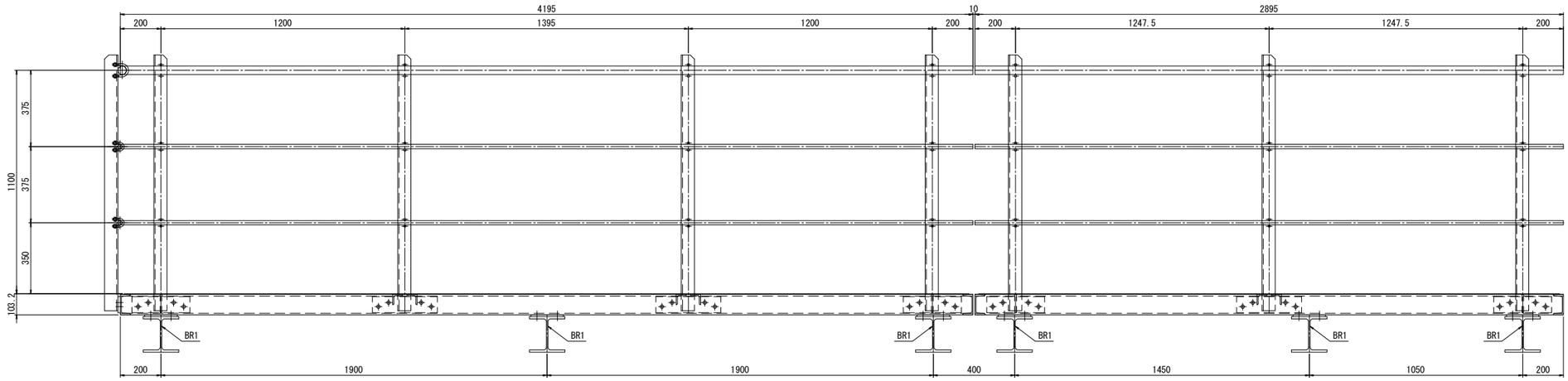
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P3橋脚(終点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	195 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

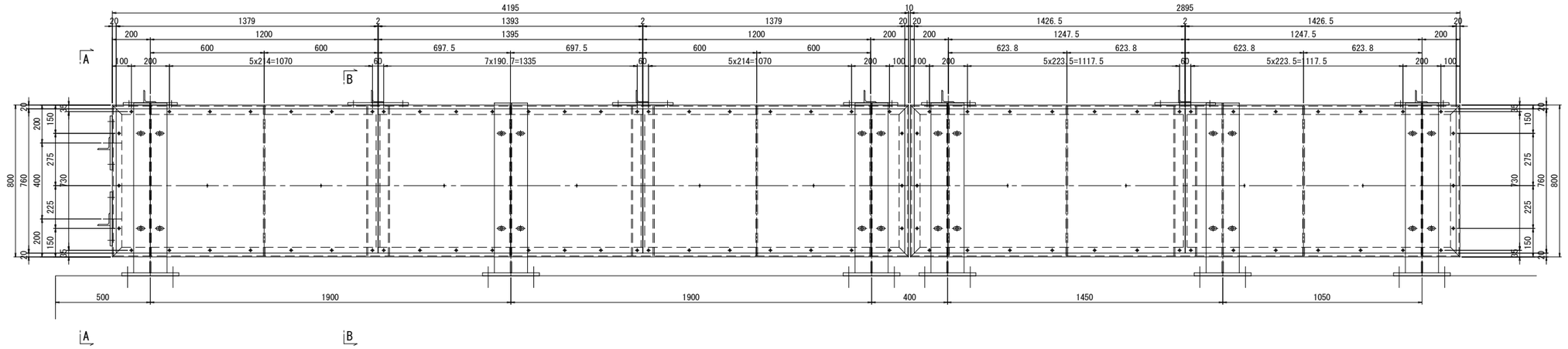
数沢川橋(上り線) P3橋脚(終点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その2)　縮尺=1:25

下部工検査路 AK-1(新設)

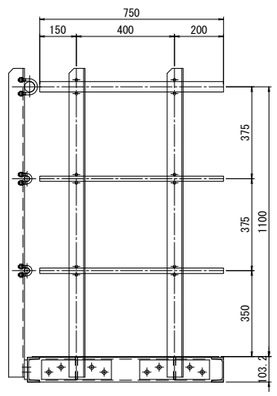
側面図



平面図



A － A



新設材料(AK-1A)
歩廊部
2-Ch.PL 760x3.2x1379(SS400相当品)
1-Ch.PL 760x3.2x1393(SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x4195
2-CH 100x50x5x7.5x800
4-L 50x50x6x790
5-FB 90x9x790
50-BN M10x30(1-W,1-TW)
3-PL 160x9x780(SM400A)

手摺部
1-Pipe φ42.7x2.3x4195(STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x4195(STK400)
4-L 65x65x6x1258
2-PL 80x12x285(SM400A)
2-PL 80x12x320(SM400A)
16-BN M16 x 45 (2-W)
4-Uボルト 呼び 32C
8-Uボルト 呼び 15C

1-Pipe φ42.7x2.3x750(STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x750(STK400)
2-L 65x65x6x1258
2-PL 80x12x285(SM400A)
8-BN M16 x 45 (2-W)
2-Uボルト 呼び 32C
4-Uボルト 呼び 15C

下部工検査路 AK-5A(新設)

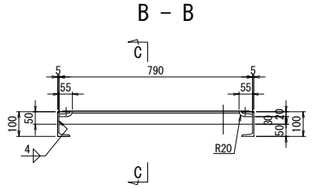
側面図

平面図

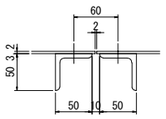
新設材料(AK-5)
歩廊部
2-Ch.PL 760x3.2x1427(SS400相当品)
2-CH 100x50x5x7.5x2895
2-CH 100x50x5x7.5x800
2-L 50x50x6x790
4-FB 90x9x790
34-BN M10x30(1-W,1-TW)
3-PL 160x9x780(SM400A)

手摺部
1-Pipe φ42.7x2.3x2895(STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x2895(STK400)
3-L 65x65x6x1258
2-PL 80x12x285(SM400A)
1-PL 80x12x320(SM400A)
12-BN M16 x 45 (2-W)
3-Uボルト 呼び 32C
6-Uボルト 呼び 15C

B － B



C － C 縮尺=1:7.5

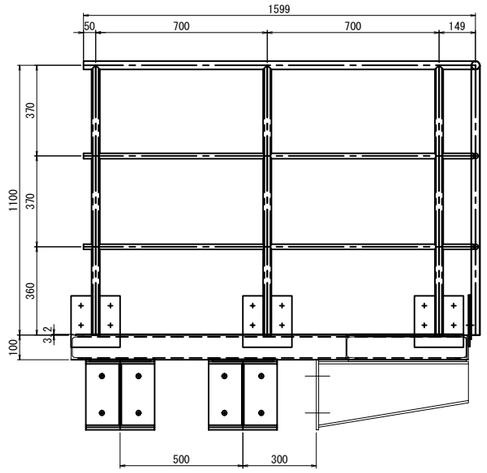


注　記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとし、
　規格はJIS H8641 HDZT77 とする。
　但し、パイプ、ボルト、ナット、ワッシャーは
　JIS H8641 HDZT49 とする。
3. ナットは全てUナットとする。

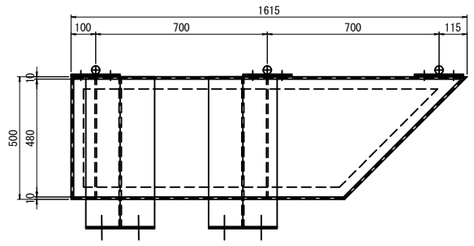
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事	
図面の種類	数沢川橋(上り線) P3橋脚(終点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その2)
縮　尺	図　示　　図面番号　196 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所

数沢川橋(上り線) P3橋脚(終点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その3)　縮尺=1:25

下部工検査路 AK-8A(撤去)



検査路 AK-8(1箇所)
撤去材料
1-CH 100x50x5x7.5x490
1-CH 100x50x5x7.5x697
1-CH 100x50x5x7.5x1615
1-CH 100x50x5x7.5x1115
1-Ch.PL 3.2x480x1615
1-FB 75x6x490
2-PL 8x250x480
3-PL 6x200x210
12-BN M12x30
8-BN M22x60
3-SGP 25Ax1100
1-SGP 25Ax1599
2-SGP 15Ax 286
4-SGP 15Ax 687
3-PL 6x180x200
12-BN M16x40

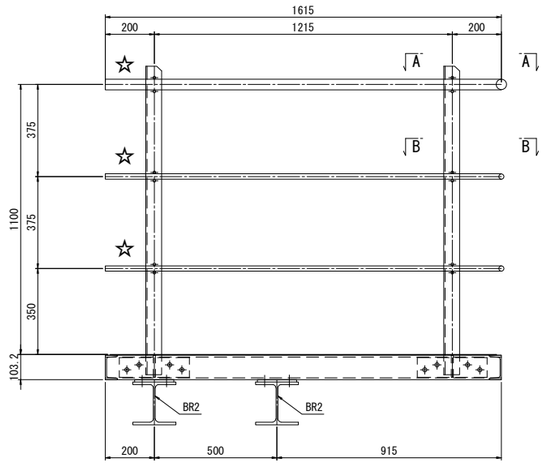


検査路 AK-8(1箇所)
新設材料
1-Pipe φ42.7x2.3x1865(STK400)
2-Pipe φ21.7x1.9x1865(STK400)
2-L 65x65x6x1258
2-PL 80x12x285(SM400A)
8-BN M16 x 45 (2-W)
2-Uボルト 呼び 32C
4-Uボルト 呼び 15C

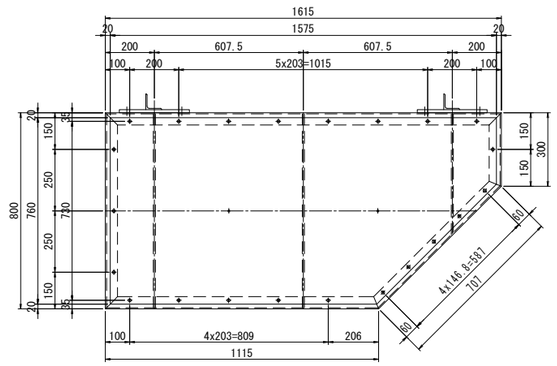
1-Ch.PL 760x3.2x1575(SS400相当品)
1-CH 100x50x5x7.5x1615
1-CH 100x50x5x7.5x 300
1-CH 100x50x5x7.5x 707
1-CH 100x50x5x7.5x1115
1-CH 100x50x5x7.5x 800
2-FB 90x9x790
1-FB 90x9x492
22-BN M10x30(1-W,1-TW)
2-PL 160x8x780(SM400A)

下部工検査路 AK-8A(新設)

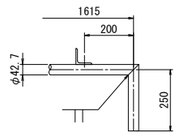
側面図



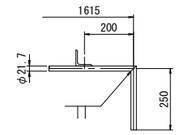
平面図



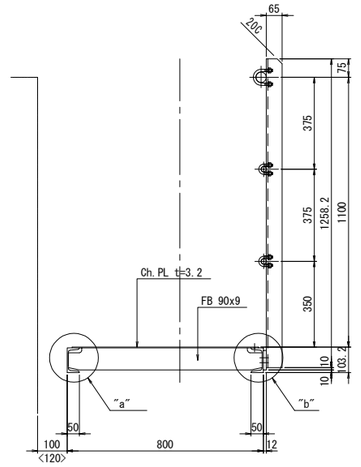
A - A



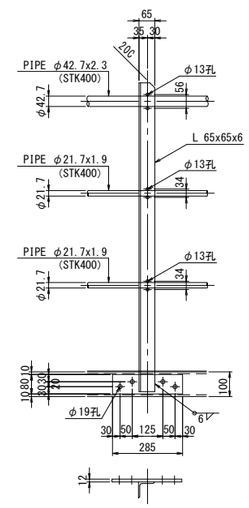
B - B



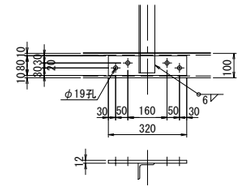
歩廊断面及び構造詳細(爪先板無し)



端部

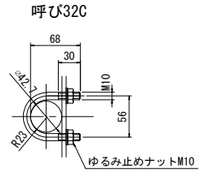


中間部

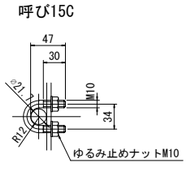


Uボルト詳細　縮尺=1:7.5

呼び32C

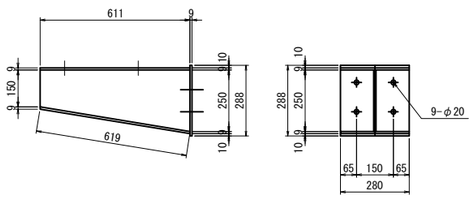


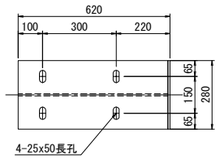
呼び15C



ブラケット(新設)

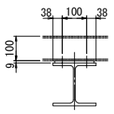
ブラケット(撤去)
AK-1, AK-5A, AK-8A(8箇所)



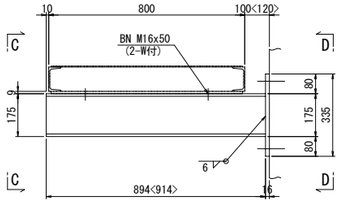


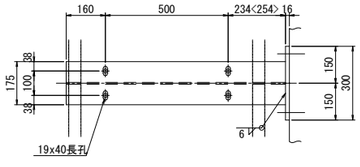
撤去材料
1-PL 9x280x611
1-PL 9x250x611
1-PL 9x280x619
1-PL 9x280x288
4-ホールインアンカーM16x120

C - C



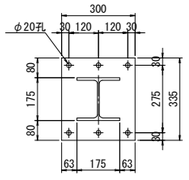
BR1 <BR2>
製作数:6<2>



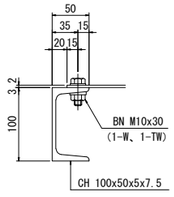


1 - H 175 x 175 x 7.5 x 11 x 894<914>
1 - BASE PL 335 x 16 x 300(SM400A)
4 - BN M16 x 50(2-W付)
6 - 打込式アンカー M16 x 125 (ゆるみ止めナット付き)

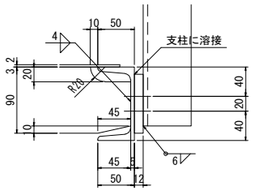
D - D



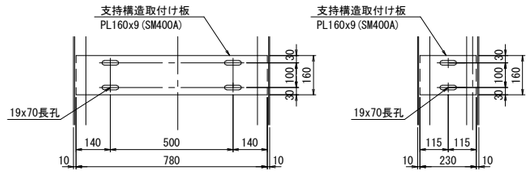
"a"部詳細　縮尺=1:7.5



"b"部詳細　縮尺=1:7.5

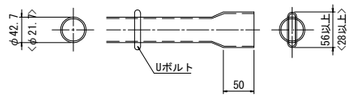


支持構造取付け板詳細図



手摺端部抜け落ち防止加工詳細　縮尺=1:25

支柱2本で手摺りを固定する箇所のみ
図面中は☆印で示す

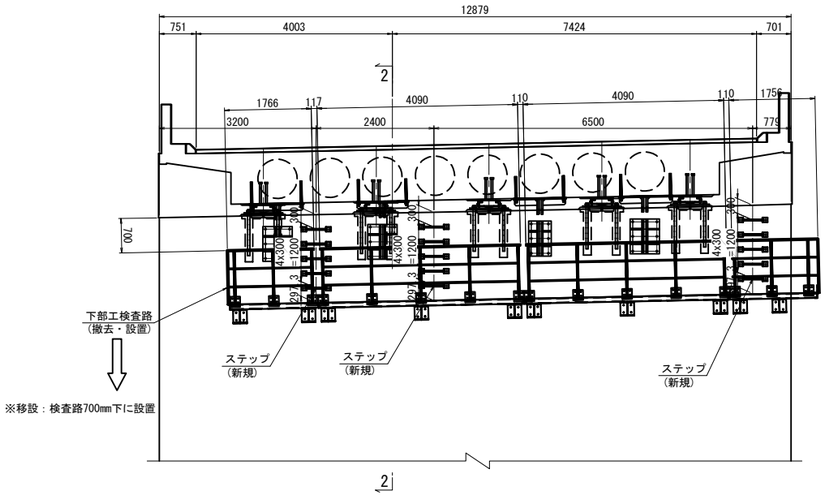


注　記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとし、
規格はJIS H8641 HDZT77 とする。
但し、パイプ、ボルト、ナット、ワッシャーは
JIS H8641 HDZT49 とする。
3. ナットは全てUナットとする。

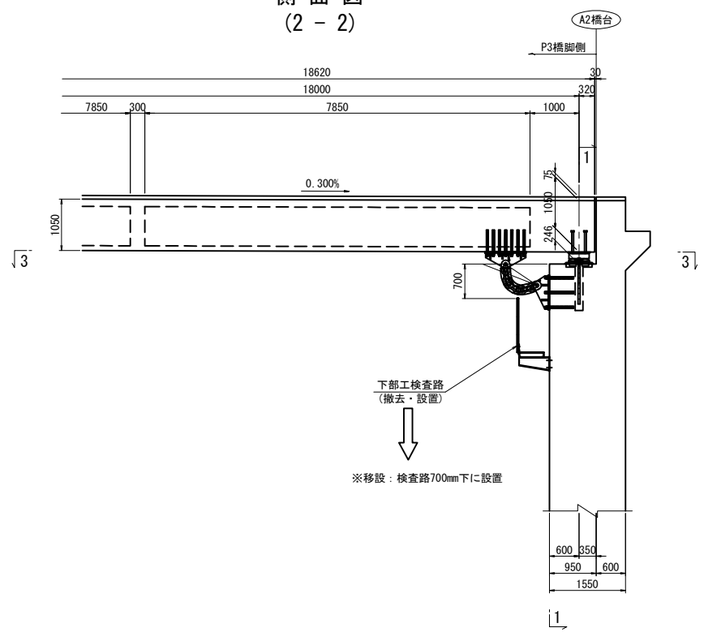
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P3橋脚(終点側) 撤去・設置工、新設工　検査路構造図(その3)		
縮　尺	図　示	図面番号	197 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

数沢川橋(上り線) A2橋台 撤去・設置工、新設工　検査路構造図　縮尺=1:125

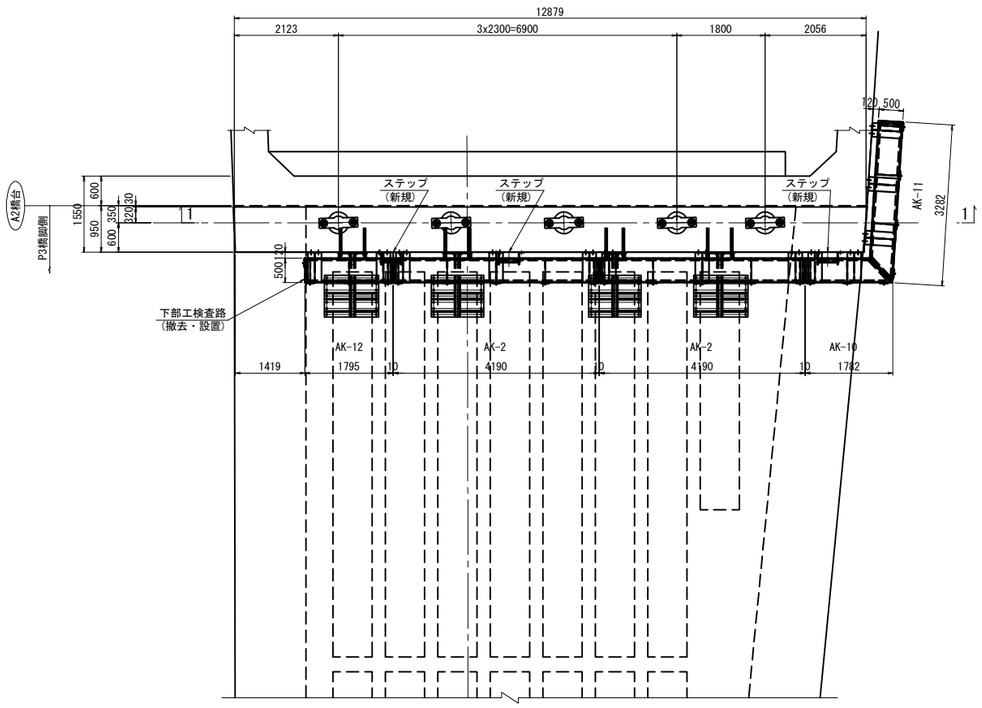
正 面 図
(1 - 1)



側 面 図
(2 - 2)



平 面 図
(3 - 3)



下部工検査路 AK-2(1箇所)

撤去・設置材料
- 1-SGP 25A x 4090
- 5-SGP 25A x 1100
- 4-SGP 15A x 987
- 4-SGP 15A x 982
- 5-PL 6x180x200
- 2-CH 100x50x5x7.5x4190
- 2-CH 100x50x5x7.5x 490
- 3-RIB FB 75x6x490
- 3-PL 8x250x480
- 5-PL 6x200x210
- 1-Ch.PL 3.2x480x4190
- 12-BN M22x60
- 20-BN M16x40
- 36-BN M12x30

下部工検査路 AK-10(1箇所)

撤去・設置材料
- 1-SGP 25A x 1756
- 3-SGP 25A x 1100
- 4-SGP 15A x 737
- 2-SGP 15A x 404
- 3-PL 6x180x200
- 1-CH 100x50x5x7.5x 490
- 1-CH 100x50x5x7.5x1772
- 1-CH 100x50x5x7.5x1302
- 1-CH 100x50x5x7.5x 676
- 1-RIB FB 75x6x490
- 2-PL 8x250x480
- 3-PL 6x200x210
- 1-Ch.PL 3.2x480x1772
- 8-BN M22x60
- 12-BN M16x40
- 15-BN M12x30

下部工検査路 AK-11(1箇所)

撤去・設置材料
- 1-SGP 25A x 3261
- 4-SGP 25A x 1100
- 6-SGP 15A x 987
- 4-PL 6x180x200
- 1-CH 100x50x5x7.5x 490
- 1-CH 100x50x5x7.5x3277
- 1-CH 100x50x5x7.5x2807
- 2-RIB FB 75x6x490
- 3-PL 8x250x480
- 4-PL 6x200x210
- 1-Ch.PL 3.2x480x3277
- 12-BN M22x60
- 16-BN M16x40
- 27-BN M12x30

下部工検査路 AK-12(1箇所)

撤去・設置材料
- 1-SGP 25A x 2365
- 4-SGP 25A x 1100
- 4-SGP 15A x 778
- 2-SGP 15A x 565
- 2-SGP 15A x 764
- 4-PL 6x180x200
- 2-CH 100x50x5x7.5x1795
- 2-CH 100x50x5x7.5x 490
- 1-FB 75x6x490
- 2-PL 8x250x480
- 4-PL 6x200x210
- 1-Ch.PL 3.2x480x1795
- 8-BN M22x60
- 16-BN M16x40
- 16-BN M12x30

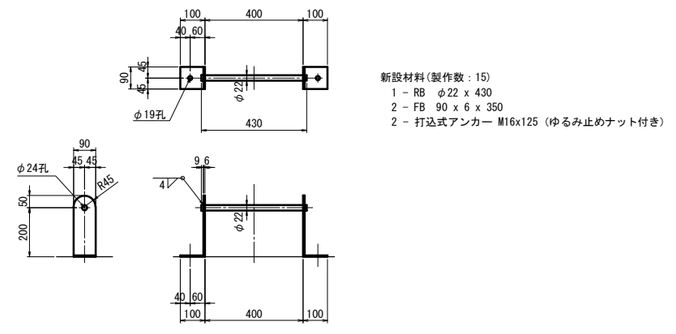
ブラケット (13箇所)

撤去・設置材料
- 1-PL 9x280x611
- 1-PL 9x250x611
- 1-PL 9x280x619
- 1-PL 9x280x288

撤去材料
- 4-ホールインアンカーM16x120

新設材料
- 4-ホールインアンカーM16x120

ステップ詳細　縮尺=1:25



新設材料(製作数：15)
- 1 - RB φ22 x 430
- 2 - FB 90 x 6 x 350
- 2 - 打込式アンカー M16x125（ゆるみ止めナット付き）

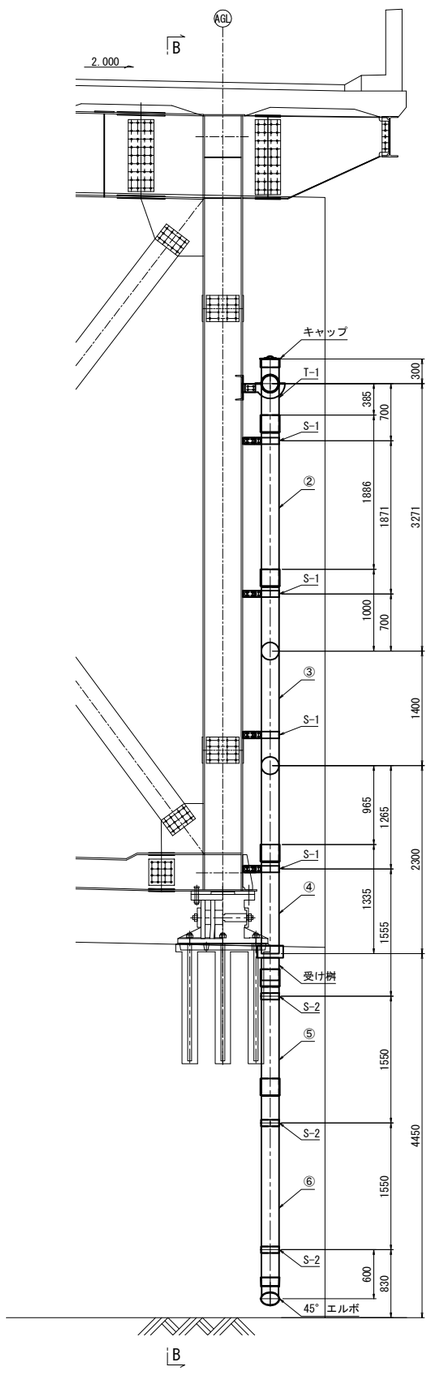
注 記
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) A2橋台 撤去・設置工、新設工　検査路構造図		
縮　尺	図　示	図面番号	198 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

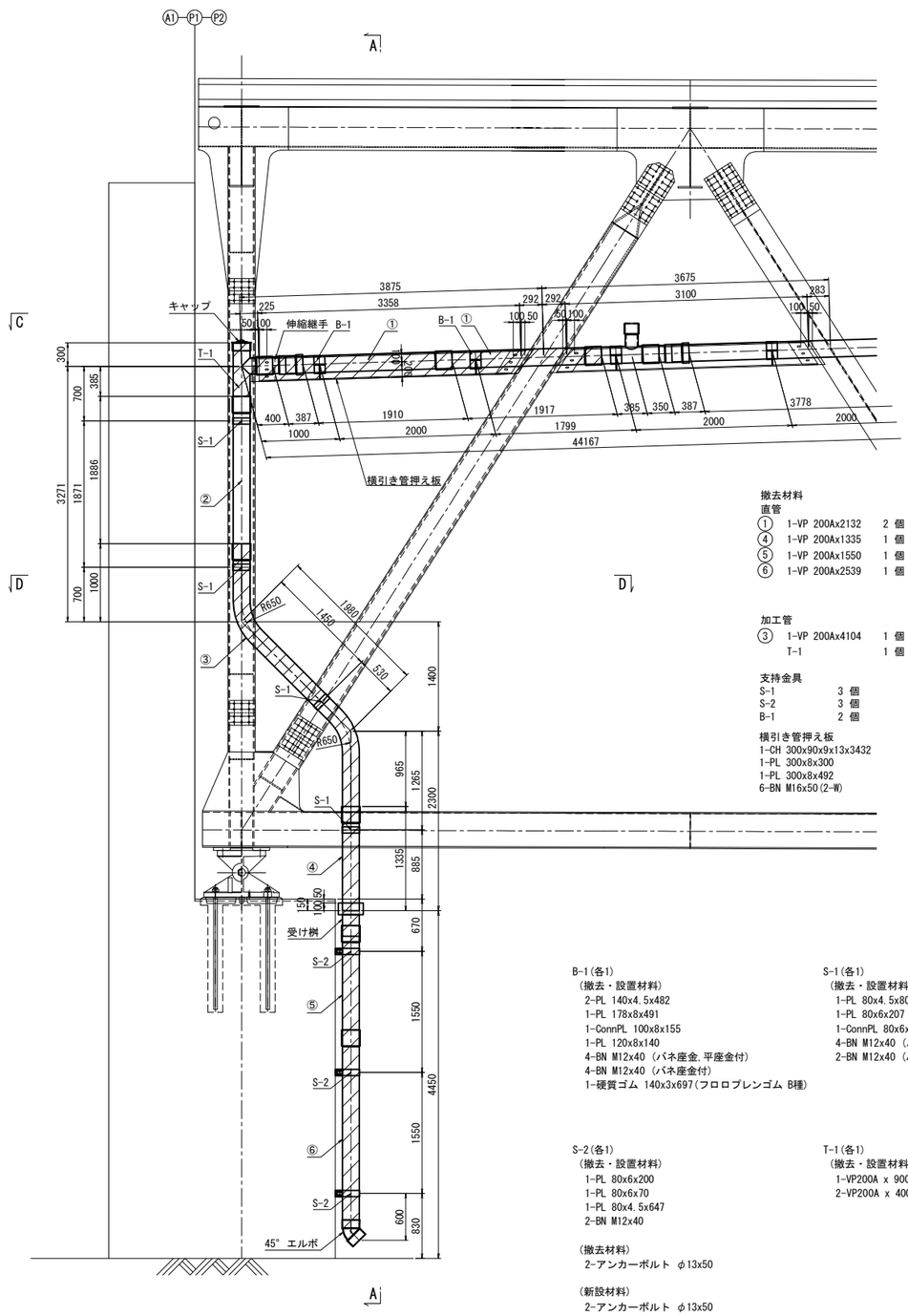
数沢川橋(上り線) P1橋脚(終点側) 撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その1)　S=1:75

撤去図

A - A



B - B



撤去材料

直管

①	1-VP 200Ax2132	2	個
④	1-VP 200Ax1335	1	個
⑤	1-VP 200Ax1550	1	個
⑥	1-VP 200Ax2539	1	個

加工管

③	1-VP 200Ax4104	1	個
	T-1	1	個

支持金具

S-1	3	個
S-2	3	個
B-1	2	個

横引き管押え板

1-CH 300x90x9x13x3432
1-PL 300x8x300
1-PL 300x8x492
6-BN M16x50(2-W)

受け桝	1	個
キャップ	1	個
45° エルボ	1	個
伸縮継手	1	個

B-1(各1)
(撤去・設置材料)
2-PL 140x4.5x482
1-PL 178x8x491
1-ConnPL 100x8x155
1-PL 120x8x140
4-BN M12x40 (バネ座金,平座金付)
4-BN M12x40 (バネ座金付)
1-硬質ゴム 140x3x697(フロロプレンゴム B種)

S-1(各1)
(撤去・設置材料)
1-PL 80x4.5x808
1-PL 80x6x207
1-ConnPL 80x6x150
4-BN M12x40 (バネ座金,平座金付)
2-BN M12x40 (バネ座金付)

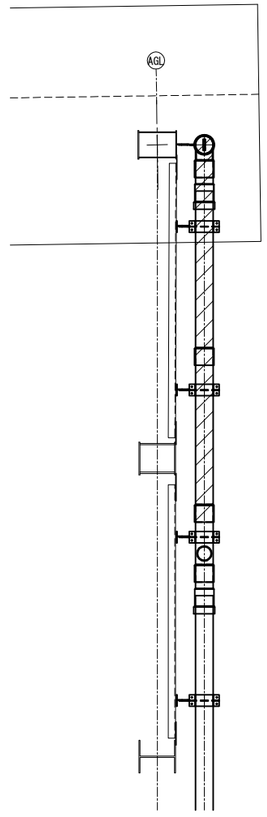
S-2(各1)
(撤去・設置材料)
1-PL 80x6x200
1-PL 80x6x70
1-PL 80x4.5x647
2-BN M12x40

(撤去材料)
2-アンカーボルト φ13x50

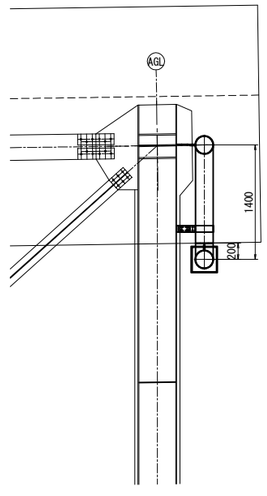
(新設材料)
2-アンカーボルト φ13x50

T-1(各1)
(撤去・設置材料1)
1-VP200A x 900
2-VP200A x 400(スリーブ)

C - C



D - D



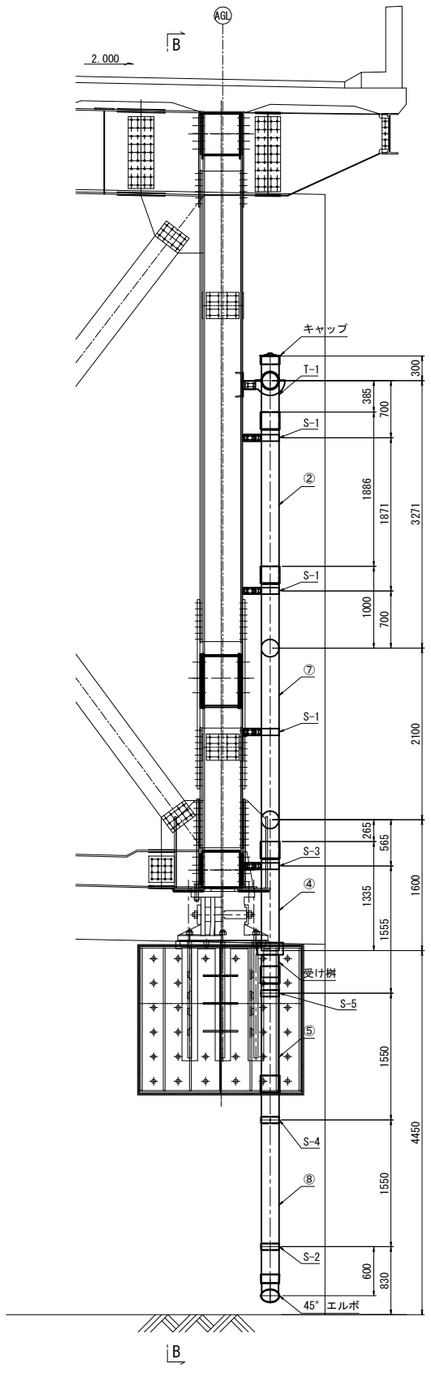
注記)
既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P1橋脚(終点側) **撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その1)**		
縮　尺	1:75	図面番号	199 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

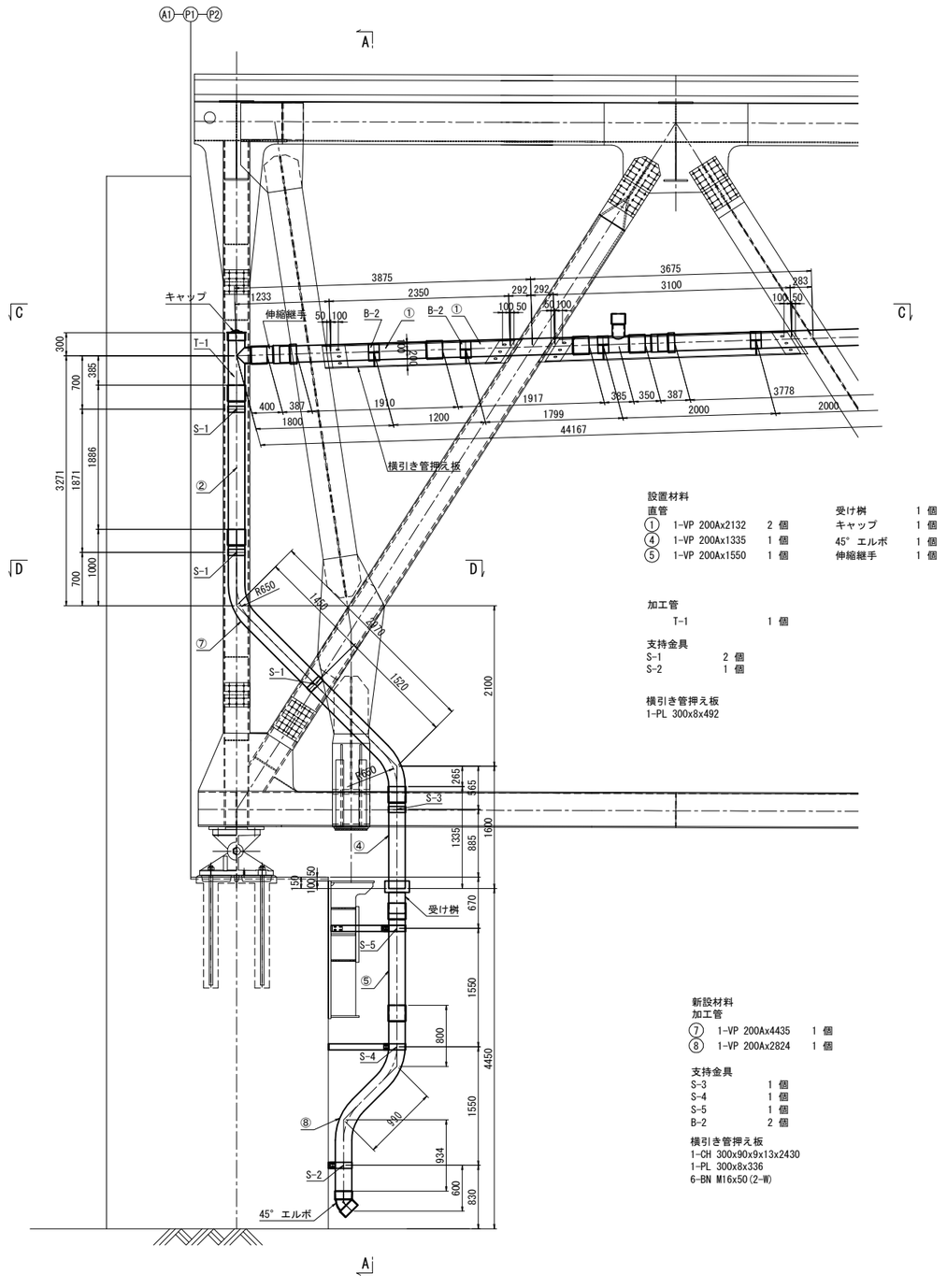
数沢川橋(上り線) P1橋脚(終点側) 撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その2)　S=1:75

撤去・設置図

A - A



B - B



設置材料

直管					
①	1-VP 200Ax2132	2 個	受け桝	1 個
④	1-VP 200Ax1335	1 個	キャップ	1 個
⑤	1-VP 200Ax1550	1 個	45° エルボ	1 個
			伸縮継手	1 個

加工管

T-1		1 個

支持金具

S-1	2 個
S-2	1 個

横引き管押え板
1-PL 300x8x492

新設材料
加工管

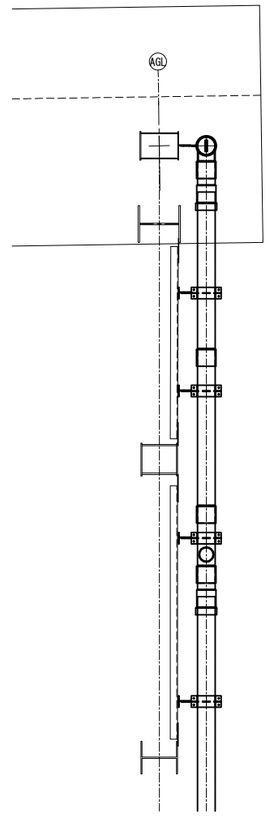
⑦	1-VP 200Ax4435	1 個
⑧	1-VP 200Ax2824	1 個

支持金具

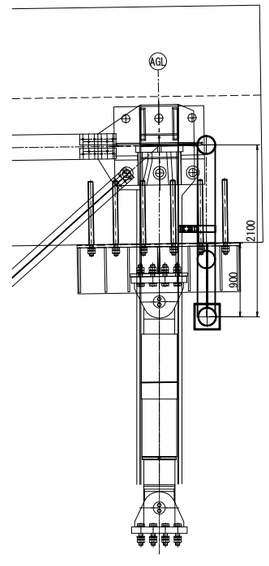
S-3	1 個
S-4	1 個
S-5	1 個
B-2	2 個

横引き管押え板
1-CH 300x90x9x13x2430
1-PL 300x8x336
6-BN M16x50(2-W)

C - C



D - D



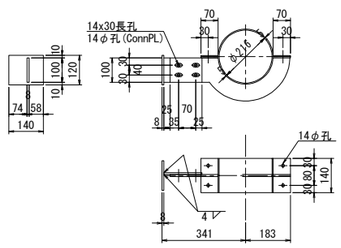
注記)
既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P1橋脚(終点側) **撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その2)**		
縮　尺	1:75	図面番号	200 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

数沢川橋(上り線) P1橋脚(終点側) 撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その3)　S=1:25

新規製作排水管取付金具詳細図

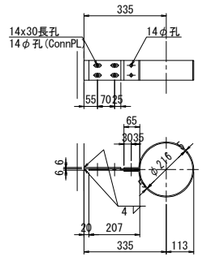
B-2
(B-1の改造)



(撤去・設置材料)
- 2-PL 140x4.5x482
- 1-PL 178x8x491
- 1-ConnPL 100x8x155
- 1-PL 120x8x140
- 4-BN M12x40 (バネ座金,平座金付)
- 4-BN M12x40 (バネ座金付)
- 1-硬質ゴム 140x3x697(フロロプレンゴム B種)

(新設材料)
- 1-ConnPL 100x8x155
- 1-PL 120x8x140

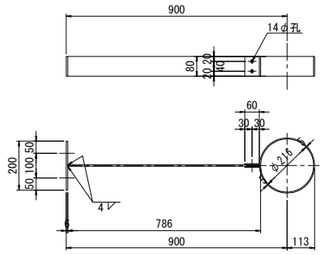
S-3
(S-1の改造)



(撤去・設置材料)
- 1-PL 80x4.5x808
- 1-PL 80x6x207
- 1-ConnPL 80x6x150
- 4-BN M12x40 (バネ座金,平座金付)
- 2-BN M12x40 (バネ座金付)

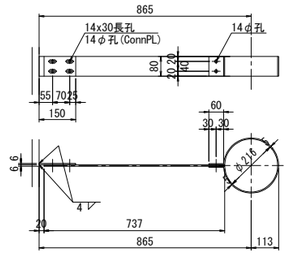
(新設材料)
- 1-ConnPL 80x6x150

S-4



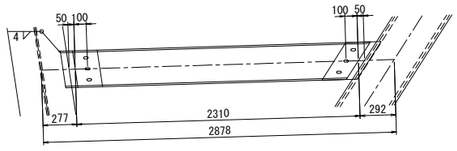
(新設材料)
- 1-PL 80x6x200
- 1-PL 80x6x786
- 1-PL 80x4.5x808
- 2-BN M12x40 (バネ座金,平座金付)
- 2-アンカーボルト φ13x50

S-5

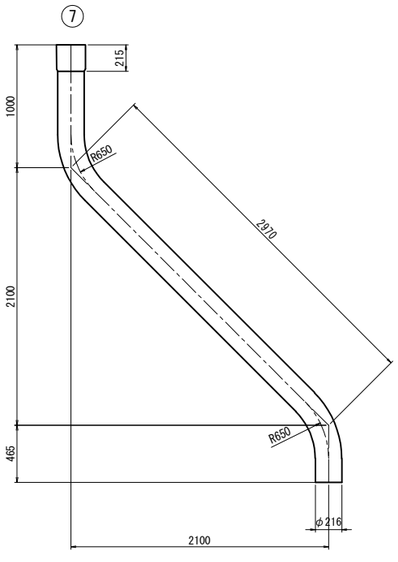


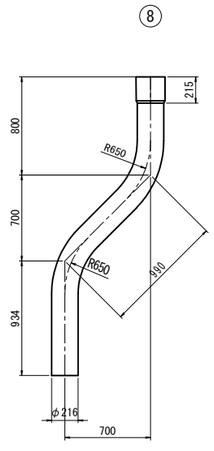
(新設材料)
- 1-PL 80x4.5x808
- 1-PL 80x6x737
- 1-ConnPL 80x6x150
- 4-BN M12x40 (バネ座金,平座金付)
- 2-BN M12x40 (バネ座金付)

新規製作横引き管押え板詳細図　縮尺=1:50



新規製作排水管詳細図　縮尺=1:50

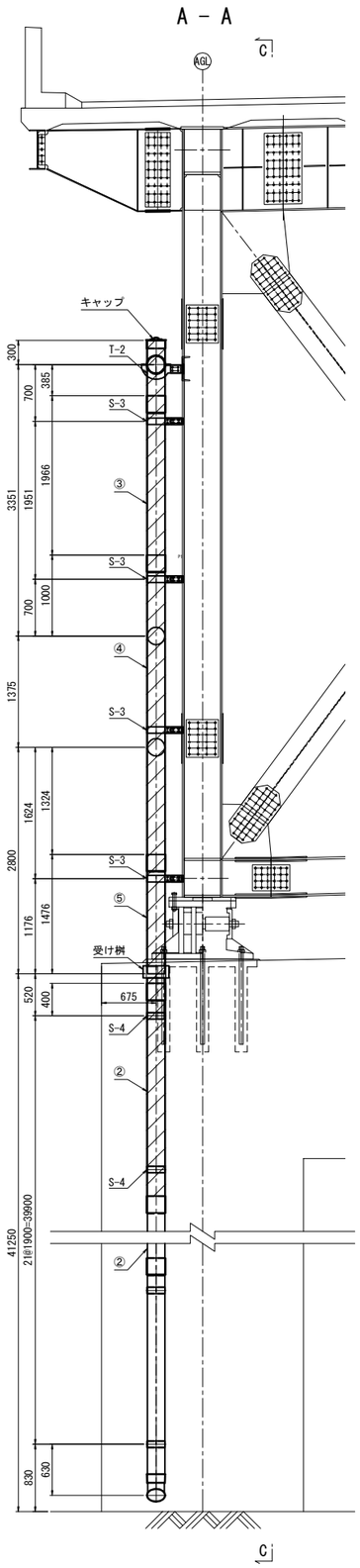


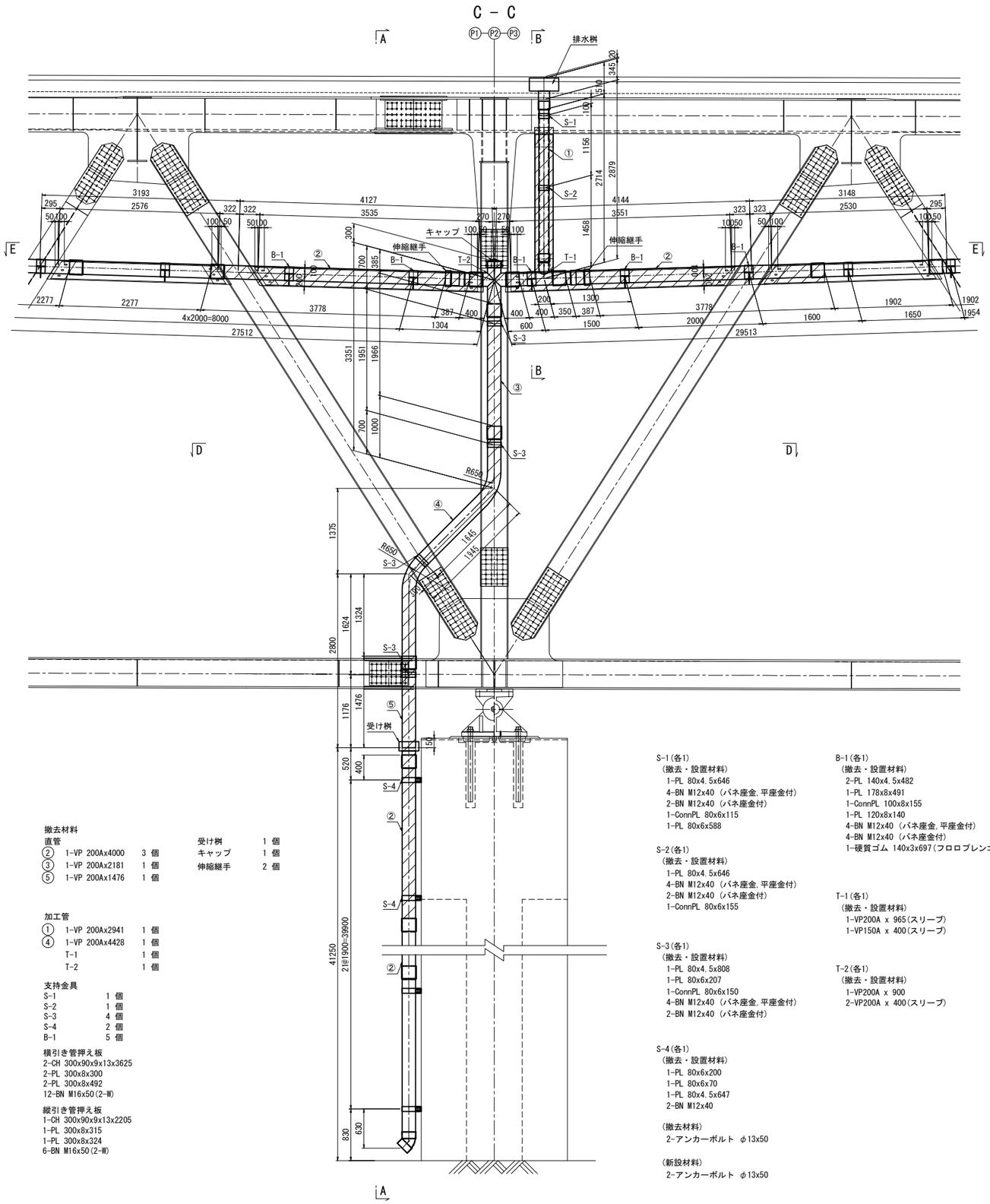


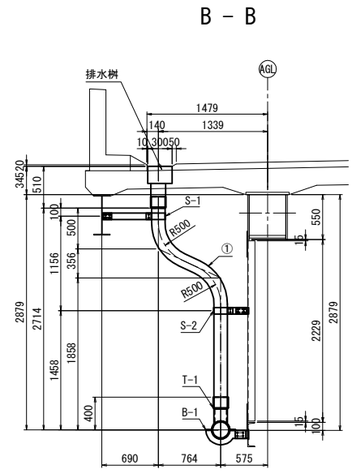
注記)
既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。

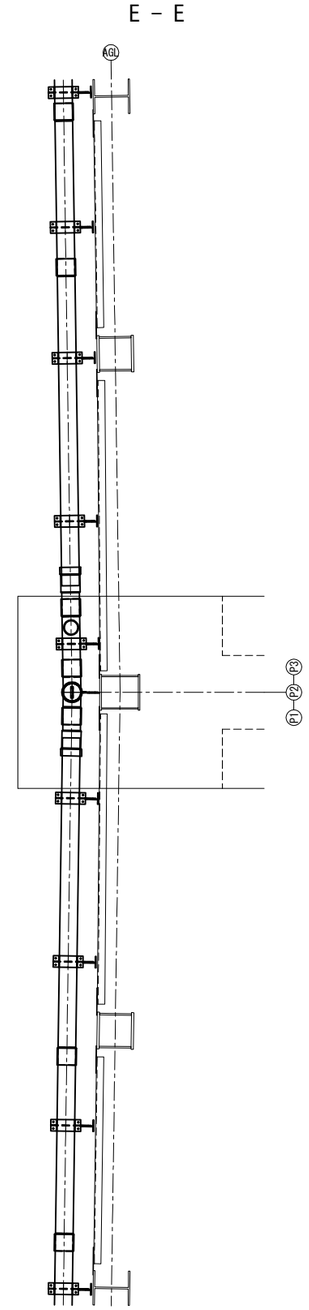
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P1橋脚(終点側) **撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その3)**		
縮　尺	図　示	図面番号	201 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

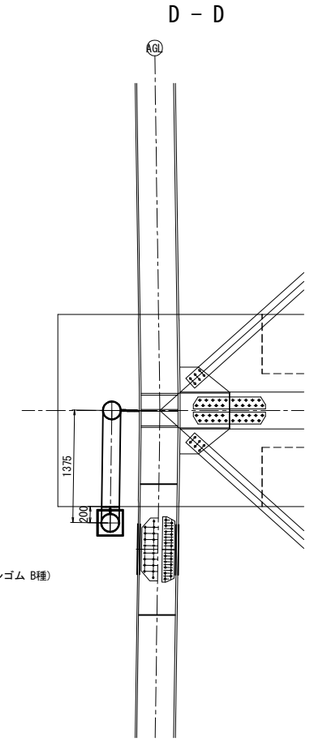
数沢川橋(上り線) P2橋脚 撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その1)　S=1:75











撤去材料

直管			受け桝		1 個
②	1-VP 200Ax4000	3 個	キャップ		1 個
③	1-VP 200Ax2181	1 個	伸縮継手		2 個
⑤	1-VP 200Ax1476	1 個			

加工管

①	1-VP 200Ax2941	1 個
④	1-VP 200Ax4428	1 個
	T-1	1 個
	T-2	1 個

支持金具

S-1	1 個
S-2	1 個
S-3	4 個
S-4	2 個
B-1	5 個

横引き管押え板
2-CH 300x90x9x13x3625
2-PL 300x8x300
2-PL 300x8x492
12-BN M16x50(2-W)

縦引き管押え板
1-CH 300x90x9x13x2205
1-PL 300x8x315
1-PL 300x8x324
6-BN M16x50(2-W)

S-1(各1)
(撤去・設置材料)
1-PL 80x4.5x646
4-BN M12x40 (バネ座金,平座金付)
2-BN M12x40 (バネ座金付)
1-ConnPL 80x6x115
1-PL 80x6x588

S-2(各1)
(撤去・設置材料)
1-PL 80x4.5x646
4-BN M12x40 (バネ座金,平座金付)
2-BN M12x40 (バネ座金付)
1-ConnPL 80x6x155

S-3(各1)
(撤去・設置材料)
1-PL 80x4.5x808
1-PL 80x6x207
1-ConnPL 80x6x150
4-BN M12x40 (バネ座金,平座金付)
2-BN M12x40 (バネ座金付)

S-4(各1)
(撤去・設置材料)
1-PL 80x6x200
1-PL 80x6x70
1-PL 80x4.5x647
2-BN M12x40

(撤去材料)
2-アンカーボルト φ13x50

(新設材料)
2-アンカーボルト φ13x50

B-1(各1)
(撤去・設置材料)
2-PL 140x4.5x482
1-PL 178x8x491
1-ConnPL 100x8x155
1-PL 120x8x140
4-BN M12x40 (バネ座金,平座金付)
4-BN M12x40 (バネ座金付)
1-硬質ゴム 140x3x697(フロロプレンゴム B種)

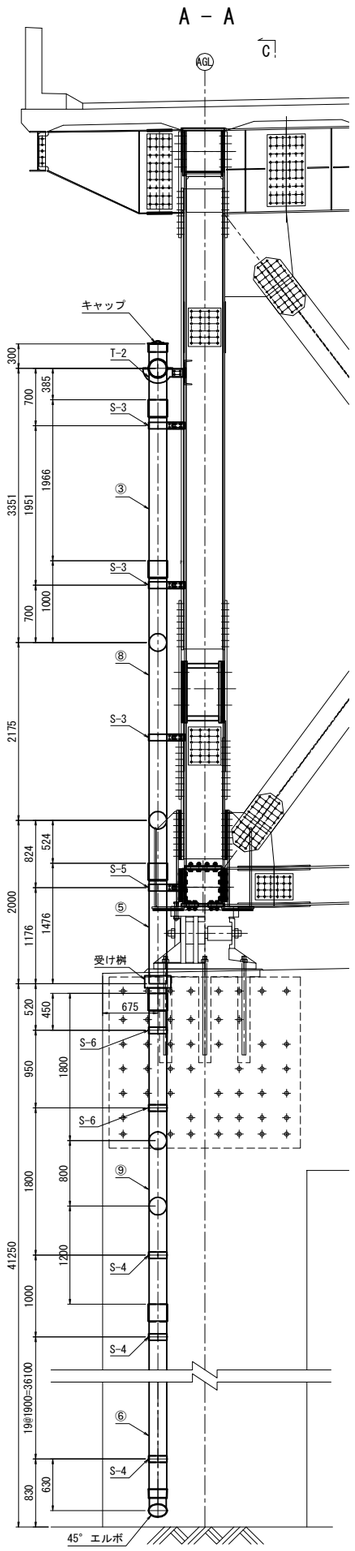
T-1(各1)
(撤去・設置材料)
1-VP200A x 965(スリーブ)
1-VP150A x 400(スリーブ)

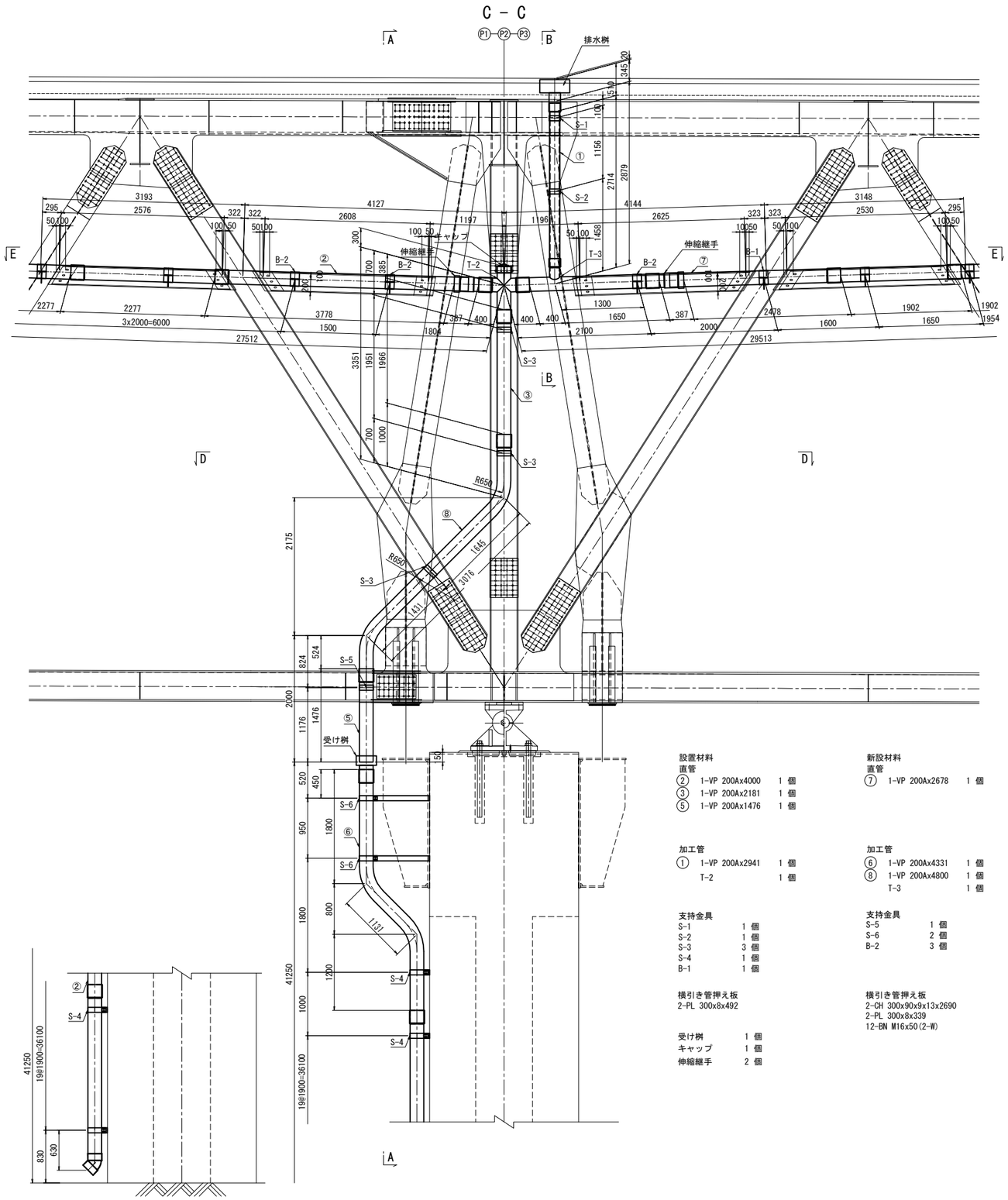
T-2(各1)
(撤去・設置材料)
1-VP200A x 900
2-VP200A x 400(スリーブ)

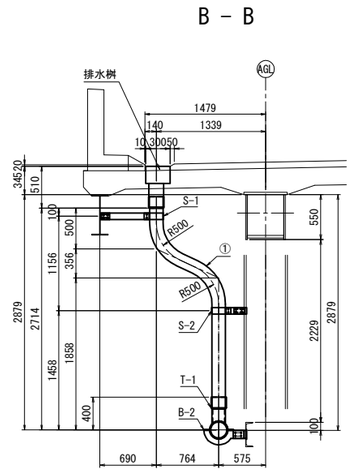
注記)
既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。

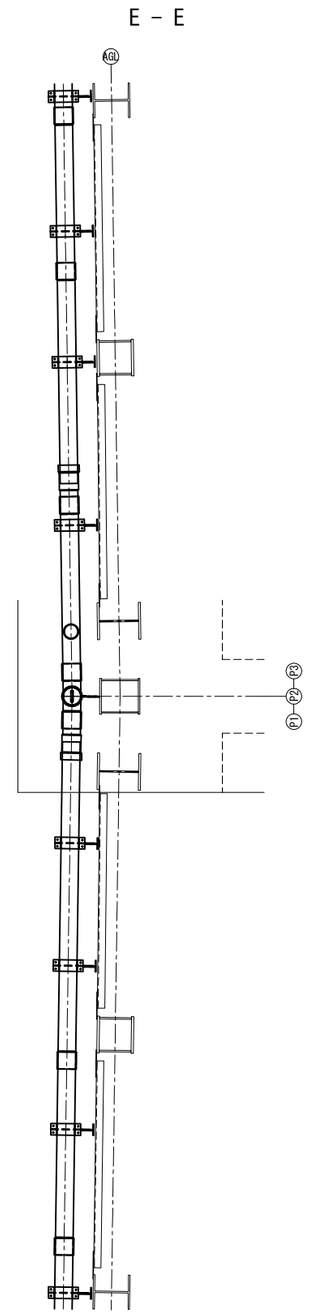
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P2橋脚 **撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その1)**		
縮　尺	1:75	図面番号	202 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

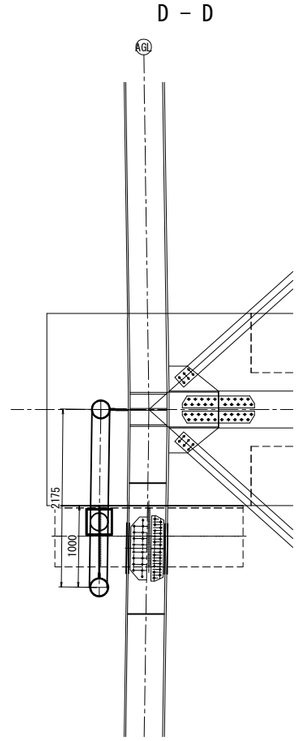
数沢川橋(上り線) P2橋脚 撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その2)　S=1:75











設置材料
直管
② 1-VP 200Ax4000 1 個
③ 1-VP 200Ax2181 1 個
⑤ 1-VP 200Ax1476 1 個

加工管
① 1-VP 200Ax2941 1 個
T-2 1 個

支持金具
S-1 1 個
S-2 1 個
S-3 3 個
S-4 1 個
B-1 1 個

横引き管押え板
2-PL 300x8x492

受け桁 1 個
キャップ 1 個
伸縮継手 2 個

新設材料
直管
⑦ 1-VP 200Ax2678 1 個

加工管
⑥ 1-VP 200Ax4331 1 個
⑧ 1-VP 200Ax4800 1 個
T-3 1 個

支持金具
S-5 1 個
S-6 2 個
B-2 3 個

横引き管押え板
2-CH 300x90x9x13x2690
2-PL 300x8x339
12-BN M16x50(2-W)

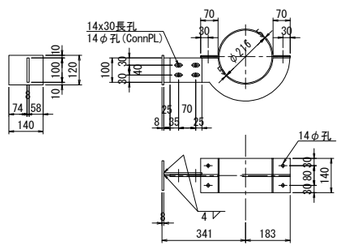
注記)
既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P2橋脚 **撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その2)**		
縮　尺	1:75	図面番号	203 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

数沢川橋(上り線) P2橋脚 撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その3)　S=1:25

新規製作排水管取付金具詳細図

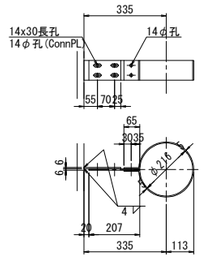
B-2
(B-1の改造)



(撤去・設置材料)
- 2-PL 140x4.5x482
- 1-PL 178x8x491
- 1-ConnPL 100x8x155
- 1-PL 120x8x140
- 4-BN M12x40 (バネ座金,平座金付)
- 4-BN M12x40 (バネ座金付)
- 1-硬質ゴム 140x3x697(フロロプレンゴム B種)

(新設材料)
- 1-ConnPL 100x8x155
- 1-PL 120x8x140

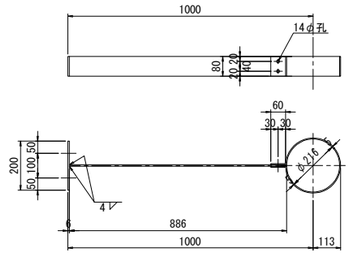
S-5
(S-1の改造)



(撤去・設置材料)
- 1-PL 80x4.5x808
- 1-PL 80x6x207
- 1-ConnPL 80x6x150
- 4-BN M12x40 (バネ座金,平座金付)
- 2-BN M12x40 (バネ座金付)

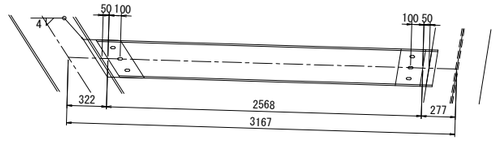
(新設材料)
- 1-ConnPL 80x6x150

S-6

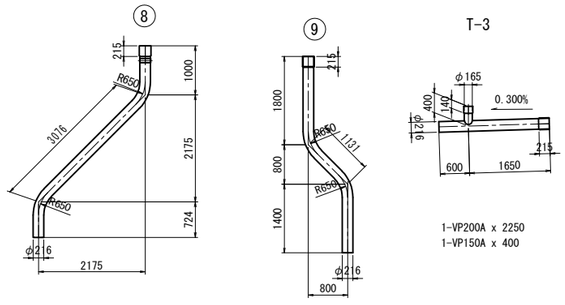


(新設材料)
- 1-PL 80x4.5x808
- 1-PL 80x6x886
- 1-PL 80x6x200
- 2-BN M12x40 (バネ座金,平座金付)
- 2-アンカーボルト φ13x50

新規製作横引き管押え板詳細図　縮尺=1:50



新規製作排水管詳細図　縮尺=1:125



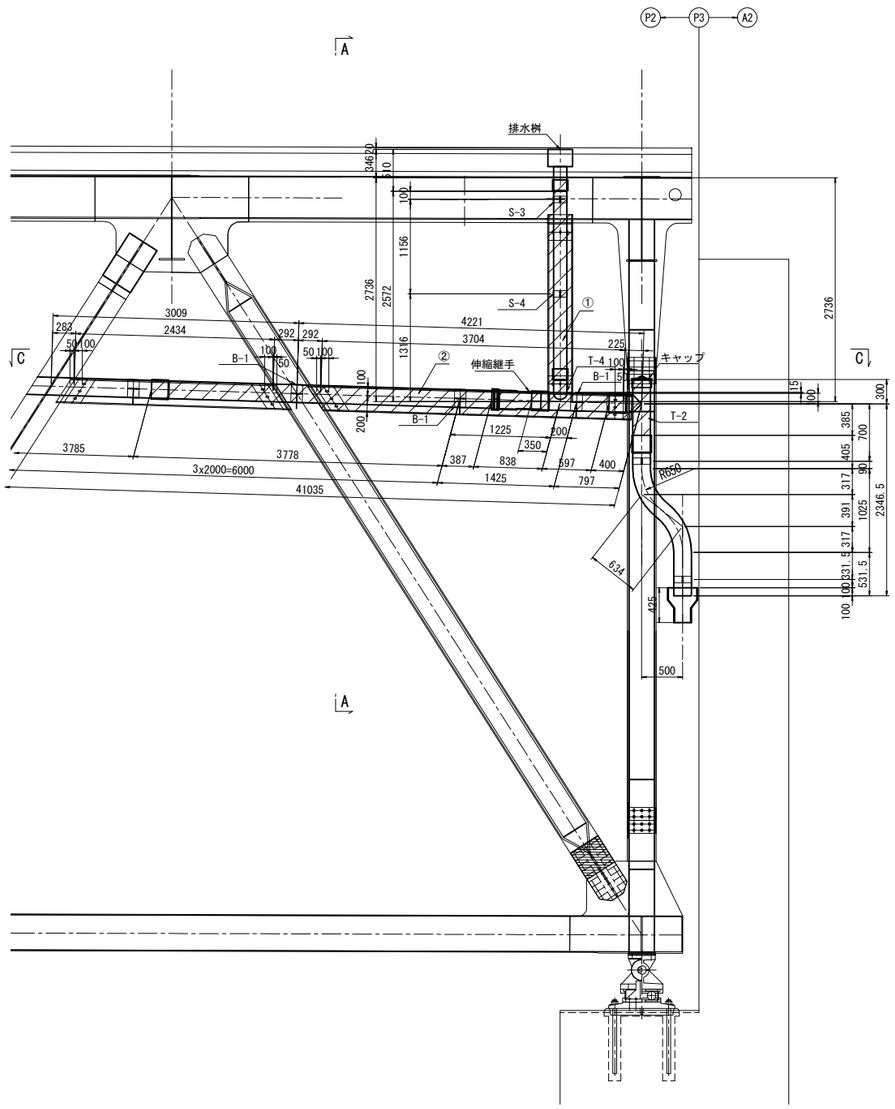
1-VP200A x 2250
1-VP150A x 400

注記)
既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。

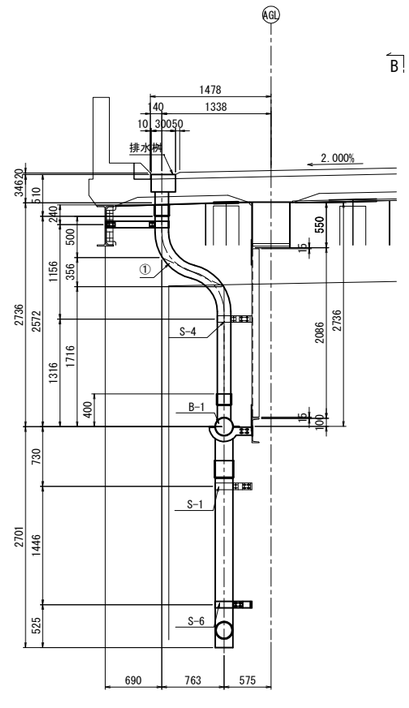
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P2橋脚 **撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その3)**		
縮　尺	図　示	図面番号	204 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

数沢川橋(上り線) P3橋脚(起点側) 撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その1)　S=1:75

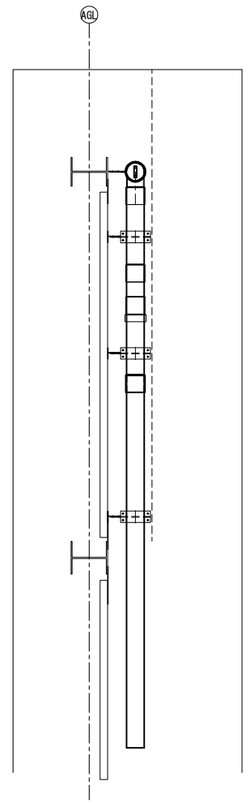
B － B



A － A



C － C



撤去材料
直管
② 1-VP 200Ax4000　1 個

加工管
① 1-VP 200Ax2812　1 個
T-2　1 個
T-4　1 個

支持金具
S-3　1 個
S-4　1 個
B-1　3 個

キャップ　1 個
伸縮継手　1 個

横引き管押え板
1-CH 300 x 90 x 9 x 13 x 3770
1-PL 300 x 8 x 300
1-PL 300 x 8 x 492
6-BN M16 x 50(2-W)

縦引き管押え板
1-CH 300 x 90 x 9 x 13 x 2061
1-PL 300 x 8 x 315
1-PL 300 x 8 x 324
6-BN M16 x 50(2-W)

T-2(各1)
(撤去・設置材料)
1-VP200A x 900
1-VP200A x 400(スリーブ)

T-4(各1)
(撤去・設置材料)
1-VP200A x 1162(スリーブ)
1-VP150A x 400(スリーブ)

B-1(各1)
(撤去・設置材料)
2-PL 140x4.5x482
1-PL 178x8x491
1-ConnPL 100x8x155
1-PL 120x8x140
1-硬質ゴム 140x3x697(フロロプレンゴム B種)

(撤去材料)
4-BN M12x40 (バネ座金,平座金付)
4-BN M12x40 (バネ座金付)

(新設材料)
8-BN M12x40 (1-UN)

S-3(各1)
(撤去・設置材料)
1-PL 80x4.5x646
1-ConnPL 80x6x115
1-PL 80x6x588

(撤去材料)
4-BN M12x40 (バネ座金,平座金付)
2-BN M12x40 (バネ座金付)

(新設材料)
6-BN M12x40 (1-UN)

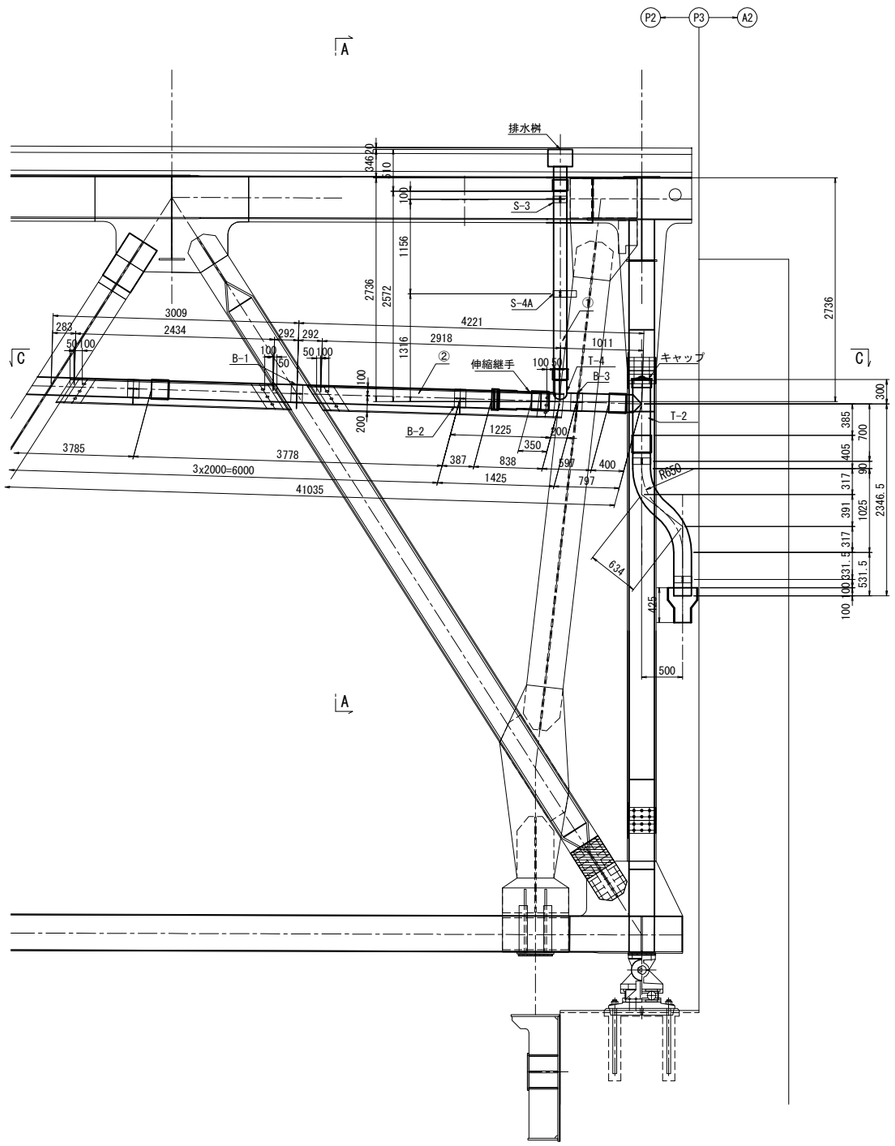
S-4(各1)
(撤去材料)
1-PL 80x4.5x646
4-BN M12x40 (バネ座金,平座金付)
2-BN M12x40 (バネ座金付)
1-ConnPL 80x6x155
1-PL 80x6x234

注記)
既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。

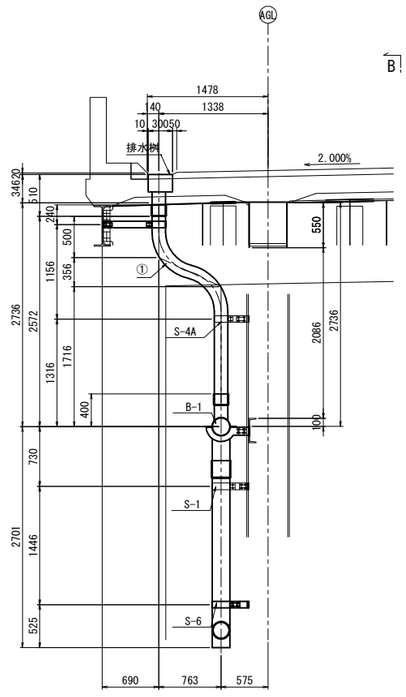
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P3橋脚(起点側) **撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その1)**		
縮　尺	1:75	図面番号	205 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

数沢川橋(上り線) P3橋脚(起点側) 撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その2)　S=1:75

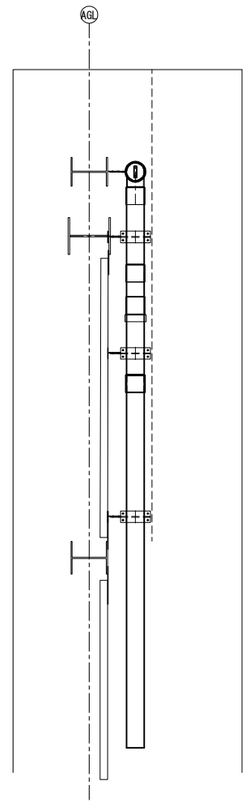
B － B



A － A



C － C



設置材料
直管

② 1-VP 200Ax4000　1 個

加工管
① 1-VP 200Ax2812　1 個
T-2　1 個
T-4　1 個

支持金具
S-3　1 個
B-1　1 個

キャップ　1 個
伸縮継手　1 個

横引き管押え板
1-PL 300 x 8 x 492

新設材料
支持金具
S-4A　1 個
B-2　1 個
B-3　1 個

横引き管押え板
1-CH 300x90x9x13x2944
1-PL 300x8x325
6 -BN M16x50(1-UN)

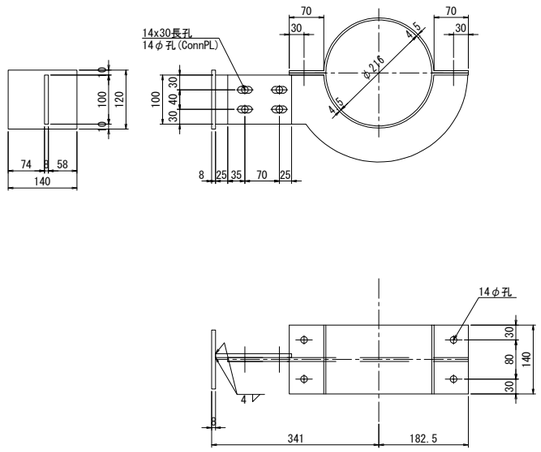
注記)
既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。

常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P3橋脚(起点側) **撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その2)**		
縮　尺	1:75	図面番号	206 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

数沢川橋(上り線) P3橋脚(起点側) 撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その3) S=1:12.5

新規製作排水管取付金具詳細図

B-2
(B-1の改造)

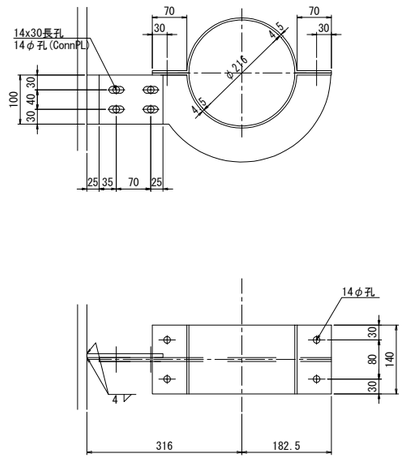


(撤去・設置材料)
- 2-PL 140x4.5x482
- 1-PL 178x8x491
- 1-硬質ゴム 140x3x697(フロロプレンゴム B種)

(撤去材料)
- 1-ConnPL 100x8x155
- 1-PL 120x8x140
- 4-BN M12x40 (バネ座金,平座金付)

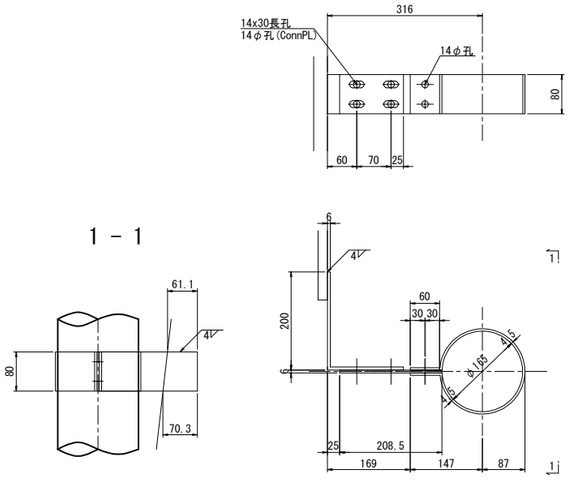
(新設材料)
- 1-ConnPL 100x8x155
- 1-PL 120x8x140
- 8-BN M12x40 (1-UN)

B-3



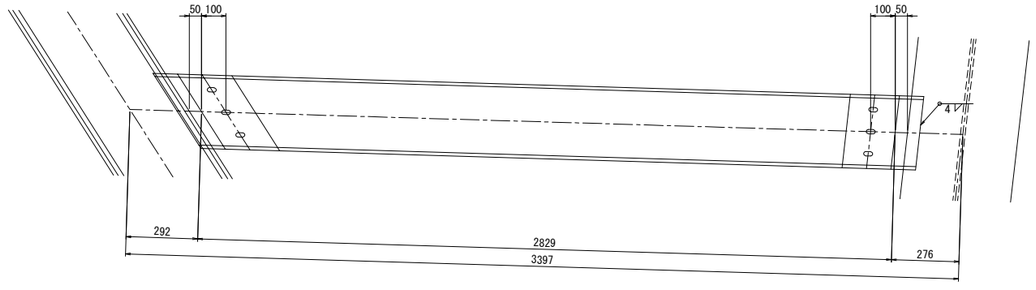
(新設材料)
- 2-PL 140x4.5x482
- 1-PL 178x8x474
- 4-BN M12x40 (1-UN)
- 1-硬質ゴム 140x3x697(フロロプレンゴム B種)
- 1-ConnPL 100x8x155
- 4-BN M12x40 (1-UN)

S-4A



(新設材料)
- 1-PL 80x4.5x646
- 4-BN M12x40 (1-UN)
- 2-BN M12x40 (1-UN)
- 1-ConnPL 80x6x355
- 1-PL 80x6x209

新規製作横引き管押え板詳細図　縮尺=1:25



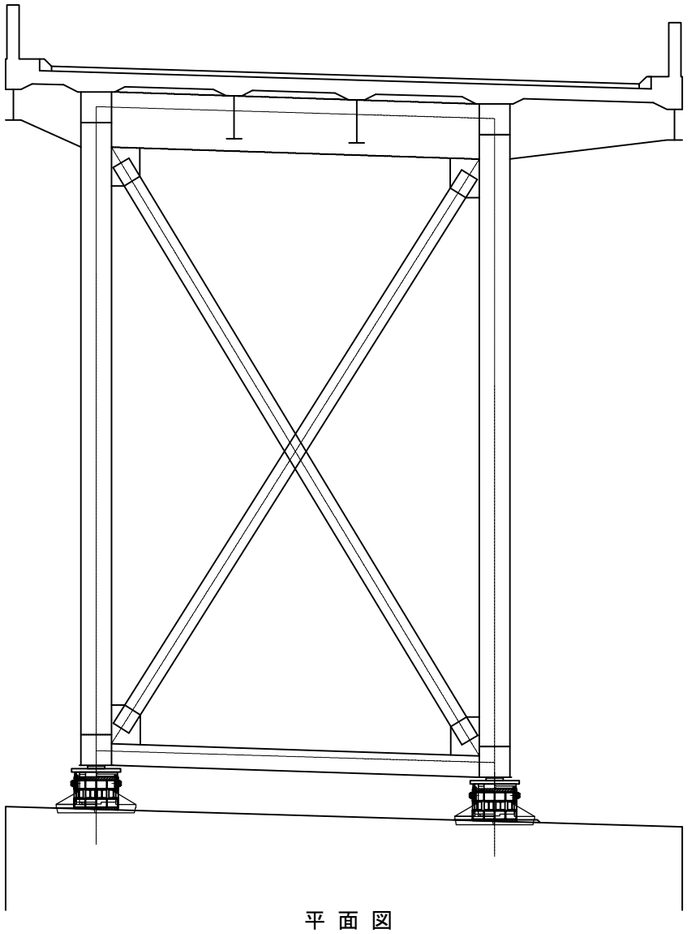
新設材料
横引き管押え板
- 1-CH 300x90x9x13x2944
- 1-PL 300x8x325
- 6 -BN M16x50(1-UN)

注記)
既設構造物の寸法は現地にて再計測の上施工を行うこと。

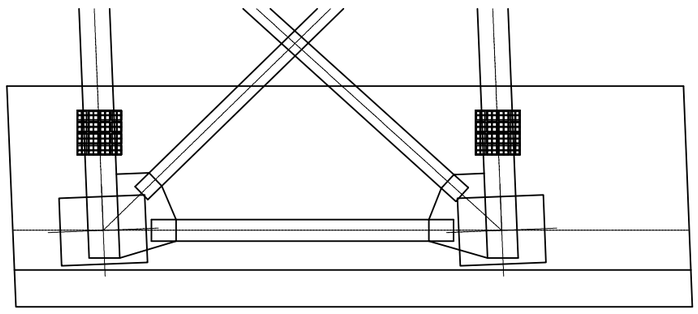
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) P3橋脚(起点側) **撤去・設置工、新設工　排水装置構造図(その3)**		
縮　尺	図　示	図面番号	207 / 210
設計会社名	大日本ダイヤコンサルタント株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		

数沢川橋(上り線) 仮設段差防止構造　撤去・設置図(その1)　S=1:100

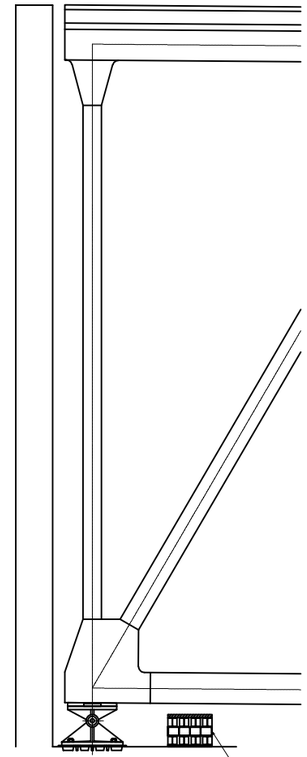
正 面 図



平 面 図



側 面 図

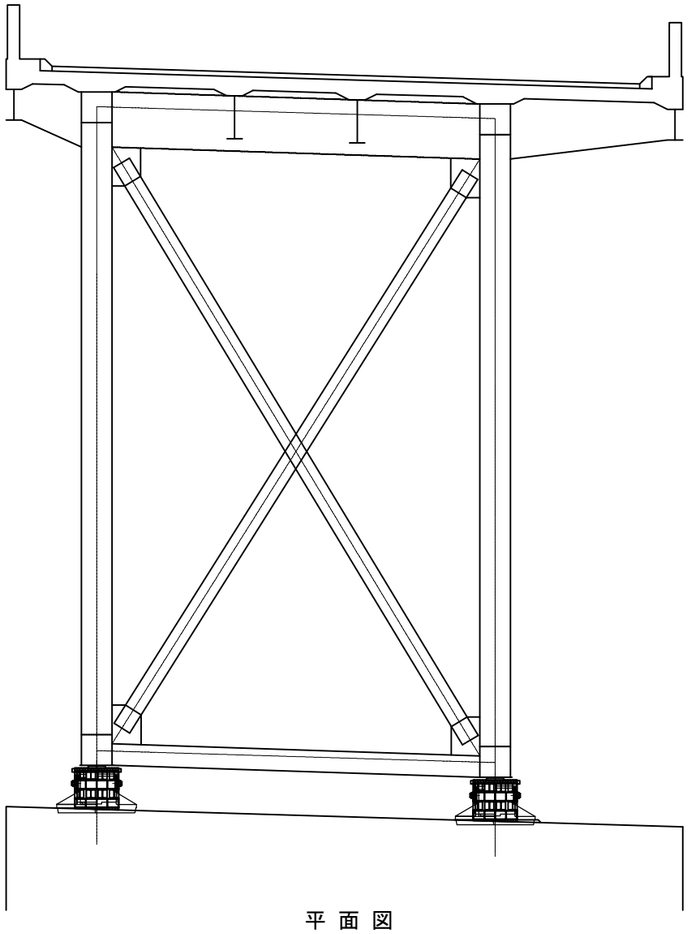


測定箇所		段差防止タイプ 直角×橋軸	サンドル段数 (H=150mm)	サンドル本数	備考
P1	G1(終点側)	4列×4列	3	12	
	G2(終点側)	4列×4列	3	12	

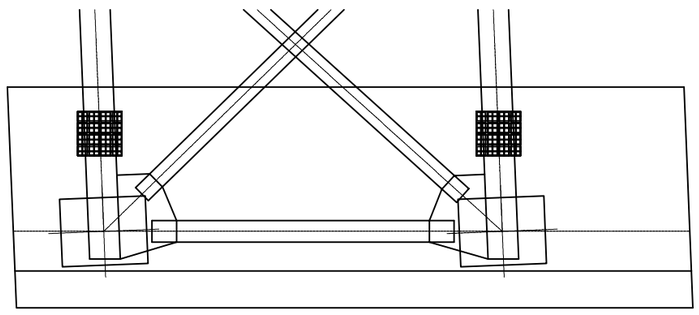
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) 仮設段差防止構造　撤去・設置図(その1)		
縮　尺	図 示	図面番号	208 / 210
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸営管理事務所		

数沢川橋(上り線) 仮設段差防止構造　撤去・設置図(その2)　S=1:100

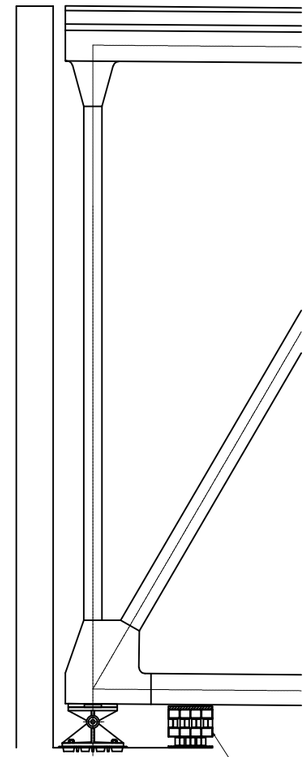
正 面 図



平 面 図



側 面 図

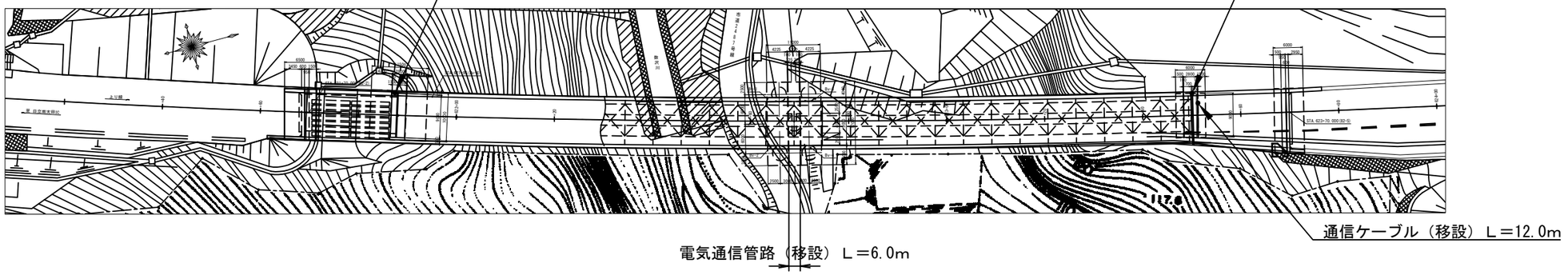


測定箇所		段差防止タイプ 直角×橋軸	サンドル段数 (H=150mm)	サンドル本数	備考
P3	G1(起点側)	3列×4列	4	15	
	G2(起点側)	3列×4列	4	15	

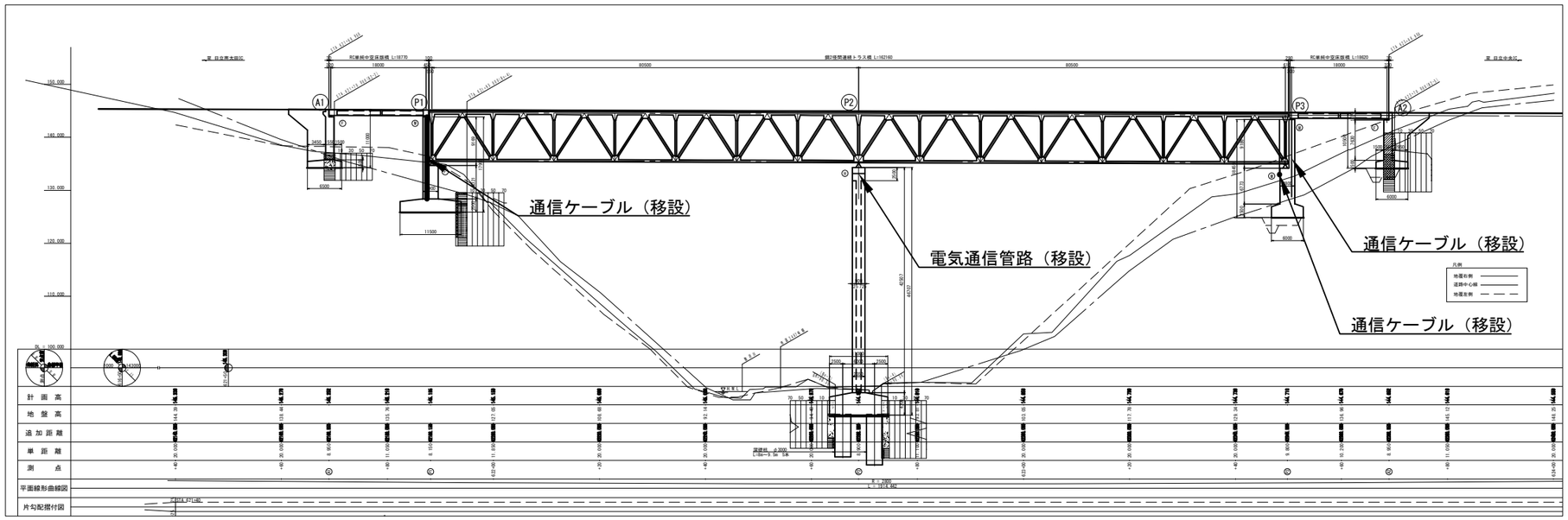
常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) 仮設段差防止構造　撤去・設置図(その2)		
縮　尺	図 示	図面番号	209 / 210
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 水戸宮管理事務所		

数沢川橋(上り線) ケーブル配置図

平 面 図 S=1:1000



側 面 図 S=1:1000



常磐自動車道 田野高架橋耐震補強工事			
図面の種類	数沢川橋(上り線) ケーブル配置図		
縮　　尺	1:1000	図面番号	210 / 210
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社　関東支社 水戸管理事務所		